

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 18 年版 (2005. 1—12)

独立行政法人国立文化財機構

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES,
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11(1936)年に当研究所美術部(平成19年4月1日付で企画情報部に統合)の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されました。この出版事業は、昭和27(1952)年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年4月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年4月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されても変わることなく受けつがれています。今回は、その第63冊目となります。

この平成18年版は、平成17年(2005年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承していますが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあつては、各項目とも調査・採録すべき事項が急増しているため、各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状です。そのため、平成14年には、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査して一部構成を改めましたが、今回も、それを継承しました。

ところで、本年鑑に収められた平成17年の情報等に基づき検証すれば、まさに国の文化財行政の歴史の転換点であったことを明らかにしています。一方、美術界全体をみても、変化の著しい年であったといえます。しかし、変化の著しい現状であればこそ、社会における美術の果たす役割はより大きく、かつ、美術の価値はより高まってきたと考えます。こうした状況を正確に把握するためにも、本年鑑が一年間の美術界の動向を歴史として残すべきものとして、活用されることを願っています。

なお、この年鑑の編集には、企画情報部近・現代視覚芸術研究室と同部文化形成研究室とが当たり、同部文化財アーカイブズ研究室の協力を得ました。資料を提供して下さった多くの方々、国公立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成20年3月

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所

所長 鈴木規夫

凡 例

- 1 本年鑑は、平成17(2005)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 5 「美術展覧会」の欄は、平成12年版の年鑑より「企画展」「作家展」「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術、及び近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会、および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される主要な公募を原則とする展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を()内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。
- 7 「美術文献目録」の欄は、平成12年版の年鑑より「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 刊行物の名称は一部略称とした。略称については、81頁の一覧を参照されたい。
- 9 本年鑑は、田中淳(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(同部文化財アーカイブズ研究室長)、塩谷純(同部文化形成研究室長)、綿田稔(同部主任研究員)、皿井舞(同部研究員)、江村知子(同部研究員)、菅沼万里絵(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆にあたっては、稲葉信子(当研究所文化遺産国際協力センター国際企画情報研究室長)、森井順之(当研究所保存修復科学センター研究員)の協力を得るとともに、今井陽子(東京国立近代美術館工芸館)、唐澤昌宏(同前)、北村仁美(同前)、島敦彦(国立国際美術館)、増田玲(東京国立近代美術館)、松本透(同前)の6氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、秋山佳奈子、榎園亜紀子、齋藤紀子、佐藤直子、鈴木伸子、田代有甚、鶴岡明美、中緒晶子、永田真紀、永松左知、本田光子の11君の献身的な編集補助を得たので、ここに記しておきたい。

目 次

序	i
凡 例	iii
目 次	iv
平成17(2005)年美術界年史	1
美術展覧会	7
企 画 展	7
作 家 展	39
団 体 展	69
美術文献目録	75
凡 例	75
収録定期刊行物誌名	76
定期刊行物所載文献	83
目 次	83
美術展覧会図録所載文献	349
企 画 展	349
作 家 展	363
物 故 者	377

平成 17 (2005) 年 美術界 年 史

1 月

- 第46回毎日芸術賞受賞者決定 優れた芸術活動をした個人、団体に贈られる同賞の今年度の受賞者が決定した。美術関係では、「金沢21世紀美術館」を共同設計した妹島和世、西沢立衛が選ばれた。1月28日、東京のパレスホテルで贈呈式が行われた。

2 月

- 「瀧口修造 夢の漂流物」展開催 詩人であり、美術評論家であった瀧口修造(1903-1979)の多岐にわたる活動を網羅的に回顧する展覧会が、2月5日より世田谷美術館で開催された。内容は、戦前期にシュルレアリズムと出会い、以来、詩作、美術評論、翻訳等の活動をつづけ、生涯にわたり美術、文学、音楽、舞踏、映像等芸術全般にわたって「前衛」を見つめ続け、独自に思索を深めつづけた瀧口のもとに集まった芸術家の作品、さらに自ら描いた作品、身近に置かれていたオブジェ、資料等700点余りが出品され、近現代の芸術界にとって大きくも稀有な存在であった「思索家」の全貌を見渡すための意欲的な展示となった。(会期、4月10日まで。富山県立近代美術館に巡回。)

- 文化庁予算決まる 平成17年度の文化庁予算が発表され、前年度より0.01%プラス、1200万円増額の1016億500万円となった。項目別では「文化財の保存整備・活用」の一環として、高松塚古墳、キトラ古墳の保存修理等のための予算が増額された。また、昨年の文化財保護法の一部改正により重要文化的景観や民俗技術を新たな保護の対象とし、登録文化財制度の範囲を美術工芸品、記念物、有形民俗文化財に拡大したことに伴う新規事業「重要文化的景観保護推進事業」に1億円、「登録記念物保存修理」に5,000万円があてられた。また、「新たな文化拠点の整備」として来年度開館の国立新美術館、今年度開館の九州国立博物館にそれぞれ整備費がついた。一方、独立行政

法人国立美術館、同国立博物館、同文化財研究所に対する運営交付金は昨年よりそれぞれ減額された。

3 月

- 芸術選奨受賞者決定 芸術の分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人々に贈られる芸術選奨の受賞者が、3月8日文化庁より発表された。美術関係では、日本画家中野嘉之(59)(個展「天空水」)、写真家宮本隆司(57)(世田谷美術館での個展「壊れゆくもの・生まれいずるもの」)が文部科学大臣賞、また建築家青木淳(48)(作品集『青木淳 JUN AOKI COMPLETE WORKS 1 1991-2004』に収められた建築群)、「芸術振興」として三鷹の森ジブリ美術館長宮崎吾朗(38)(同美術館の企画展等)が同新人賞を受賞した。贈呈式は、3月15日に都内のホテルで行われた。

- 「自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—」展開催 「自然の叡智」をメインテーマとする「愛・地球博」(2005年日本国際博覧会)開催を記念して、同テーマのもとに日本美術の歴史と伝統をふりかえる展覧会が、3月11日より愛知県美術館で開催された。内容は、「第一章 聖なる自然」、「第二章 理想の風景」、「第三章 季節の中で」、「第四章 動植物へのまなざし」、「第五章 実在の場所—名所絵から風景画へ」の5章から構成され、8世紀の「過去現在因果経」(国宝)から近代美術までの日本の絵画の優品156点が出品された。(会期、5月8日まで。)

- 第12回 VOCA 賞受賞者決定 具象、抽象の区別なく、絵画、平面表現に取り組む40歳以下の作家を対象とした「VOCA」展(同展実行委員会、財団法人日本美術協会、上野の森美術館主催)の最高賞であるVOCA賞は、日野之彦の「あおむけ」、「口に両手」に決定した。奨励賞には、居城純子、中川トラヲの2名、佳作賞に手塚愛子、羽毛田優子の2名が選ばれた。なお展覧会は、3月15日から30日まで上野の森美術館で開催された。

- 国宝の答申 文化審議会(阿刀田高会長)は、3月18日、熊野速玉大社(和歌山県新宮市)の「木造熊野速玉

大神坐像」など4体を国宝に指定するように中山成彬文部科学大臣に答申した。また、曾我蕭白の「紙本著色群仙図六曲屏風」(文化庁所蔵)など46件を重要文化財(美術工芸品)に指定するように答申した。あわせて日本初のテレビ塔である「名古屋テレビ塔」など197件を登録有形文化財(建造物)にするように求めた。

- 「ゴッホ展 孤高の画家の原風景」展開催 「花魁(溪斎英泉による)」、「種まく人」、「夜のカフェテラス」、「子守女(ルーラン夫人の肖像)」、「糸杉と星の見える道」等、オランダのファン・ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館等の所蔵するゴッホの作品30点を中心とする展覧会が、3月23日より東京国立近代美術館で開催された。内容は、フィンセント・ファン・ゴッホの生涯と芸術を、歴史的、文化的背景から学術的に見直そうとするものであったが、東京展では、会期中に518,307人、大阪展では360,613人、愛知展では423,745人という、いずれも記録的な入場者数にのぼった。これは国内におけるゴッホに対する一般の人気だけではなく、社会的な事象として記録されるべきであり、社会における美術愛好層の拡大と観客動員の今日における意味を考えさせる結果となった。(会期、5月22日まで。国立国際美術館、愛知県美術館に巡回。)

- 日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院(三浦朱門院長)は、3月24日、芸術の分野で顕著な功績のあった人に贈る平成16年度の日本芸術院受賞者を決定した。恩賜賞・日本芸術院賞の第1部(美術)受賞者には、日本画家川崎春彦(76)(日展出品作「朝明けの湖」に対して)、日本芸術院賞には、洋画家寺坂公雄(71)(日展出品作「アクロポリスへの道」に対して)、彫刻家能島征二(63)(日展出品作「慈愛—こもれび」に対して)、書家黒野清宇(74)(日展出品作「梅の花」に対して)が選ばれた。授賞式は、6月20日に東京・上野の日本芸術院会館で行われた。

4 月

- 「曾我蕭白 無頼という愉悅」展開催 曾我蕭白は、近年の研究により、これまで伊勢出身といわれていたが、京都の商家の生まれであったことが判明した。その蕭白がなぜ伊勢及び播州を中心に創作活動をおこなったのか、その理由を明らかにすべく、蕭白芸術の全貌を見直す展覧会が、4月12日より京都国立博物館で開催された。内容は、山水、絵馬、花鳥、人物の4章から構成、122点が出品され、これまでと異なった画家像を検証する試みとなった。(会期、5月15日まで。)

- 建造物の重要文化財指定の答申 文化審議会(阿刀田

高会長)は、4月22日、建長寺(神奈川県鎌倉市)の山門と法堂など9件を重要文化財(建造物)に指定するように中山成彬文部科学大臣に答申した。また青森県黒石市の中野保存地区など3ヶ所を重要伝統的建造物群保存地区に選定するように答申した。

- 第24回土門拳賞受賞者決定 昨年一年間に作品を発表したプロ、アマを問わない写真家を対象とする同賞(毎日新聞社主催)の第24回受賞者に、「PIERCING THE SKY—天を射る」(東京都写真美術館、求龍堂より同名の写真集を刊行)を開催した坂田栄一郎(64)が決定した。同賞受賞作品展が、4月25日から5月14日まで銀座ニコンサロンで開催された。

5 月

- 史跡・名勝の指定 文化審議会(阿刀田高会長)は、5月20日、旧富岡製糸場(群馬県富岡市)など15件を史跡に、香具山、畝傍山、耳成山の大和三山(奈良県橿原市)など3件を名勝に、ほかに草岡の大明神ザクラ(山形県長井市)を天然記念物に指定するように中山成彬文部科学大臣に答申した。

- 「アジアの潜在力—海と島が育んだ美術」展開催 東アジアの海洋地域美術、工芸作品を支える技術、意匠を海を通じての伝播から見直そうとするユニークな発想に基づく展覧会が、5月24日より愛知県美術館で開催された。内容は、歴史的、作品のジャンルの分類からはなれ、「I 彫る」、「II 染める」、「III 型取る、肉づける」という人間と自然の素材との関係を三章によって分類構成し、土器、民俗遺品から現代美術作品まで網羅され、「海」で繋がり、交流した跡を大胆に提示した展覧会となり、アジアの今日を考える上で、後に上げる「アジアのキュビズム」展とは対照的なアプローチであった。(会期、7月10日まで。)

6 月

- 「東京大学コレクションXX 関野貞アジア踏査」展開催 国内にとどまらず朝鮮半島、中国大陆にわたるまで踏査し、今日の建築史、考古学、美術史にわたって幅広く業績を残した関野貞の収集した学術標本を中心にした展覧会が、6月4日より東京大学総合研究博物館で開催された。内容は、関野の幅広い関心を反映し、かつその先駆的な業績を検証するため、学際的で多面的な視点から見直されており、同展のために編集された図録は、その記録として貴重なものであった。(会期、9月4日まで。)

○第9回手塚治虫文化賞 戦後のマンガ文化に大きな業績を残した手塚治虫を記念する同賞の第9回受賞者が決定した。昨年発行されたすべてのマンガ単行本の中で最も優れた作品に贈られるマンガ大賞は、手塚治虫の「鉄腕アトム」をリメイクした浦沢直樹(45)の「PLUTO」、清新な才能や斬新な表現に与えられる新生賞には、「夕風の街 桜の国」のこうの史代(37)が選ばれた。また、マンガ文化の発展に貢献した個人・団体に贈られる特別賞には川崎市市民ミュージアムが選ばれ、同館のマンガ作品や資料の収集、企画展開催等の活動が評価された。6月7日、東京・丸の内の東京会館で贈呈式が行われた。

○「構造社展 昭和期彫刻の鬼才たち」開催 1926年に結成された彫刻を中心とする在野団体「構造社」の活動と作品を初めて回顧する展覧会が、6月18日より福井市美術館(アトラボふくい)で開催された。内容は、同団体の主要な会員20名の作品、資料等を展示するとともに、これまで検証が充分におこなわれてこなかった昭和前期における彫刻と建築、記念碑、装飾美術、絵画等との多彩な関係を見直す機会となった。(会期、7月18日まで。宇都宮美術館、札幌芸術の森美術館、松戸市立博物館に巡回。)

○高松塚古墳石室解体保存決定 国の特別史跡である高松塚古墳(奈良県明日香村)で国宝壁画の修復保存策をめぐり、文化庁の恒久保存対策検討会(座長、渡邊明義・前東京文化財研究所長)が、6月27日に都内で開かれた。会議の結果、「現在の環境で壁画を維持するのは困難」として、墳丘を掘り壁画の描かれた石室を取り出す石室解体案の採用を決めた。壁画の修復が完了した段階で、石室を墳丘に戻す方針だが、特別史跡の現状を大幅に変更するという措置となり異例の判断となった。

7 月

○「明代絵画と雪舟」展開催 日本の中世画壇の巨匠雪舟等楊を軸に同時代の中国明代絵画との比較を試みた展覧会が、7月2日より根津美術館で開催された。内容は、雪舟の作品10件を中心に、新たに紹介された作品を含む明代絵画60件を加え、両者の比較及び日本の中世絵画と密接な関係にある明代絵画の展開を紹介するものであった。(会期、8月14日まで。)

○人間国宝指定 文化審議会(阿刀田高会長)は、7月15日、5人を重要無形文化財の保持者(人間国宝)に認定するように中山成彬文部科学大臣に答申した。「工芸技術の部」では、鉄釉陶器の原清(69)、紬織の佐々木苑子(66)、鍍金の大澤光民(63)、竹工芸の勝城蒼鳳(71)の4人が選定された。今回の認定で、芸能59

人、工芸技術58人の計117人となった。ほかに文化財を守る技術である「選定保存技術」として金唐紙製作の上田尚(71)、石盤葺の佐々木信平(58)が選定された。

○「模写・模造と日本美術—うつす・まなぶ・つたえる—」展開催 洋の東西を問わず古今の多くの芸術家が試みていた模写・模造に焦点をあてた展覧会が、7月20日より東京国立博物館で開催された。同展では、江戸時代の狩野派を中心とする画家による名画の模写から明治時代に岡倉天心が中心となってすすめた模写・模造作品、さらに近年までの文化財保護の目的から行われた模写まで幅広く作品を展示し、創作、文化財保護等の面から「模写・模造」の意味を考える内容となった。(会期、9月11日まで。)

○「古密教 日本密教の胎動」展開催 平安時代はじめ空海によって日本に密教が伝えられたといわれるが、すでに奈良時代から数多くの密教經典が伝えられている事実注目した展覧会が、7月26日より奈良国立博物館にて開催された。内容は、奈良時代の洗練された古典美に、密教特有の呪術性が加わった造形性に焦点をあてその独自性を検証するため文化財108件が出品された。(会期、9月4日まで。)

8 月

○「松島・天橋立・厳島 日本三景」展開催 江戸時代以降、「日本三景」としてひろく知られた松島(宮城県)、天橋立(京都府)、厳島(広島県)の海浜景観に注目し、それに関わる文化財によって構成した展覧会が、8月2日より広島県立美術館で開催された。内容は、「日本三景」に関わる中世の絵巻から近世の名所風俗図屏風、写生・真景図、風景版画、近現代の日本画まで絵画作品を中心に130点あまりで構成され、その景観の美しさに魅せられつづけた日本人の美意識の展開と、現代における意味を問い直す機会となった。(会期、9月4日まで。京都文化博物館、東北歴史博物館に巡回。)

○「アジアのキュビスム—境界なき対話」展開催 20世紀初頭にヨーロッパで生まれたキュビスムが、アジア各地においてどのように受容され、展開されていったかを検証する国際展が、8月9日より東京国立近代美術館で開催された。内容は、中国、台湾、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイのアジア諸地域で、キュビスムがひとつの「西洋」のモダニズム様式にとどまらず、個々の地域の時代と社会、文化的背景の中で多様、多彩に受容されたことを示すものとなり、アジアの「近代」を再考する初めての、

しかも国際的な試みであった。(会期、10月2日まで。徳壽宮美術館(韓国国立現代美術館分館)、シンガポール美術館に巡回。)

9 月

- 「日本のアール・ヌーヴォー—1900-1923 エ芸とデザインの新時代」展開催 1900年のパリ万国博覧会を契機に日本にもたらされた「アール・ヌーヴォー」を受容とその発展としての創作の面から見直す展覧会が、9月17日より東京国立近代美術館工芸館で開催された。内容は、「Ⅰ. 日本人が見たヨーロッパ世紀末」、「Ⅱ. 日本のアール・ヌーヴォー」、「Ⅲ. Life 生活/生命—日本のアール・ヌーヴォーのその後」から構成され、同時代の様式を受容した日本の芸術家たちの多様な創作が多岐にわたり展覧された。(会期、11月27日まで。)

10 月

- 三井記念美術館開館 約300年の伝統をもつ三井家が江戸時代から収集した日本東洋の美術品を展示していた三井文庫別館が三井本館(中央区日本橋室町2)に移転し、10月8日に三井記念美術館として開館した。施設は、同館7階(約2870平方メートル)に設けられ、展示室は約915平方メートル。開館記念展として「美の伝統 三井家伝世の名宝」展を開催し、国宝6点、重要文化財20点を含む所蔵品が展示された。(会期、12月25日まで。)
- 「復古大和絵師 為恭—幕末王朝恋慕—」展開催 江戸時代後期に古画の名品から直接学ぶことで、大和絵の復興をはかった一群の復古大和絵派のなかでも掉尾をかざる幕末の岡田為恭をとりあげた展覧会が、10月8日より大和文華館で開催された。内容は、幕末期に大和絵の近代化をはかった為恭の全貌を紹介するために、93点の作品によって構成され、その芸術の再評価が意欲的、実証的にめざされていた。(会期、11月13日まで。)
- 「中世信濃の名僧—知られざる禅僧たちの営みと造形—」展開催 中世の信濃において中国大陸の精神文化との交流を果たしていた禅僧たちの活動に注目した展覧会が、10月15日より飯田市美術博物館において開催された。同市上川路の曇秀山開善寺(臨済宗妙心寺派)は、官寺として鎌倉五山に次ぐ十刹の地位を得て重きをおかれていた。来朝僧清拙正澄の開山になる同寺の所蔵品を中心に、中世信濃に縁のある禅僧に関わる絵画、彫刻、墨蹟等65点が出品され、中世における一地方と大陸文化との豊かな交流を、禅僧たちの営みを通じて歴史的、文化的に検証した展覧会となった。(会期、11月23日まで。)
- 九州国立博物館開館 全国で4番目の国立博物館として同博物館(福岡県太宰府市)が10月16日から一般公開され、開館特別記念展「美の国 日本」が開催された。同博物館は、「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」ことを基本理念としている。また施設は、地下2階、地上5階建てで、延べ床面積約30,000平方メートル、常設展示室は約4,000平方メートルで、太宰府天満宮に近接している。
- 第17回世界文化賞 世界の優れた芸術家に贈られる高松宮殿下記念世界文化賞(総裁、常陸宮殿下、財団法人日本美術協会主催)の第17回授賞式が、10月18日、東京・元赤坂の明治記念館で行われた。美術関係の受賞者は、絵画部門では、ロバート・ライマン(75、アメリカ)、彫刻部門では三宅一生(67)、建築部門では谷口吉生(68)が選ばれた。
- 「北斎展」開催 国内外において最も親しまれている浮世絵師葛飾北斎の全貌を紹介する展覧会が、10月25日より東京国立博物館において開催された。内容は、70年に及ぶ画業を下記のとおり6期に分け、肉筆画、錦絵、版本等495点が出品された。構成は、「第一期 春朗期—習作の時代」、「第二期 宗理期—宗理様式の展開」、「第三期 葛飾北斎期—読本挿絵への傾注」、「第四期 戴斗期—多彩な絵手本の時代」、「第五期 為一期—錦絵の時代」、「第六期 画狂老人亡期—最晩年」となっていた。なお、同展には会期中332,939人の入館者があり、同館の同年の特別展としては、4月開催の「世界遺産・博物館島 ペルリンの至宝展—よみがえる美の聖域」(337,475人)に次ぐ記録となった。(会期、12月4日まで。)
- 「もの派—再考—」展開催 日本の戦後、現代美術を顧みるとき、ひとつの大きなエポックとなった「もの派」の芸術を今日的な視点から見直す展覧会が、10月25日より国立国際美術館で開催された。「もの派」とは、もとよりひとつのグループの名称ではない。むしろ同時代的におきた芸術の既成概念に対する異議、批判をこめた「素材」を表現に転化した芸術家たちの総称であった。同展では、そうした時代の現象に対して発端としての高松次郎、関根伸夫、さらに展開させた李禹煥等に焦点をあてて「もの派」の歴史的な意味を問い直す試みであった。(会期、12月18日まで。)
- 第17回国華賞受賞者決定 日本及び東洋の美術をテーマにした研究論文を対象に創設された同賞(同賞顕彰基金主催)受賞者が公表された。国華賞には、武藤純子『初期浮世絵と歌舞伎』(笠間書院、2005年3月)、また国華奨励賞に姜素妍『朝鮮前期の観音菩薩

の様式的変容とその応身妙法の図像—京都・知恩院蔵(観世音菩薩三十二応)の明朝形式の受容を中心に」(『仏教芸術』276号、2004年9月)と福島泰子「アジヤンター第17窟(シンハラ物語)図一場面解釈の再検討と物語表現の特質」(『国華』1316号、2005年6月)が選ばれた。贈呈式が、10月27日朝日新聞社東京本社で開催された。

- 文化勲章、文化功労者決定 政府は、10月28日、平成17年度の文化勲章受章者5人と文化功労者15人を発表した。美術関係では、陶芸の青木龍山(79)が文化勲章を受章。また、美術評論家の高階秀爾(73)、彫刻家の建畠覚造(86)が文化功労者に選ばれた。
- 建造物の重要文化財指定の答申 文化審議会(阿刀田高会長)は、10月28日、東大寺二月堂を国宝に、旧沢沢家飛鳥山邸(東京都北区)など9件の建造物を重要文化財に指定するように中山成彬文部科学大臣に答申した。これにより建造物の国宝は213件、257棟となった。

11 月

- 「昭和の美術 1945年まで—(目的芸術)の軌跡」展開催 昭和戦前期の美術界において、政治社会的な目的から統制に向かうプロパガンダ的な美術と、大衆からの主張としてのプロレタリア美術運動の両面を横断的に検証しようとする展覧会が、11月3日より新潟県立近代美術館で開催された。内容は、「Ⅰ 社会闘争の時代—プロレタリア美術運動の高潮と終焉」、「Ⅱ 戦争と全体主義の時代—拡張する戦争美術とその諸相」の2部から構成され、上記の両極の美術を「目的芸術」と一括してみようとする視点にたち、戦前期の美術が矛盾を内包しながら、一方で多くの共通点をもち激動の時代のなかで創作されていた軌跡を正面から辿ろうとした展覧であった。(会期、12月11日まで。)
- 文化人による国立博物館・美術館・文化財研究所の独立行政法人見直しに対する危惧の声明 独立行政法人の見直しを進める政府の有識者会議(座長、飯田亮セコム最高顧問)が、10月28日、小泉純一郎首相に提出した指摘事項の中に、国立博物館、国立美術館、文化財研究所の3法人の統合が求められていた。これに対して、平山郁夫(東京芸術大学学長)、高階秀爾(大原美術館長)が呼びかけ人となり、「効率性追求による文化芸術の衰退を危惧する」との声明書を、36人の文化人賛同者を加えて、11月9日、小坂憲次文部科学大臣と河合隼雄文化庁長官に手渡した。
- 国立博物館と文化財研究所の統合の勧告 総務省に設置されている政策評価・独立行政法人評価委員会(丹

羽宇一郎委員長)は、11月14日、独立行政法人の改廃に関する「勧告の方向性」をまとめ、関係する9府省の閣僚に通知した。ここで、文部科学省所管の国立博物館と文化財研究所の統合が求められた。

- キトラ古墳の保存検討 国の特別史跡であるキトラ古墳(奈良県明日香村)の壁画保存策を検討している文化庁の調査研究委員会(座長、藤本強・国学院大学教授)は、11月14日に奈良県で会議を持ち、壁画を石壁ごと取り出す部分解体も視野に入れて検討することを確認した。
- 第27回サントリー学芸賞受賞者決定 サントリー文化財団主催の同賞の受賞者が、11月10日に発表された。「芸術・文学部門」では、宮下規久朗(神戸大学)『カラヴァッジョ』(名古屋大学出版会)が選出された。贈呈式は、12月9日、東京丸ノ内の東京会館で行われた。
- 重要文化的景観の指定答申 文化審議会(阿刀田高会長)は、11月18日、文化財保護法の改正(2005年4月1日施行)に伴い、新たに設けられた「重要文化的景観」に近江八幡の水郷(滋賀県近江八幡市)の選定を小坂憲次文部科学大臣に答申した。また、同法改正で所有者の自主的な保護に期待する登録制度を建造物以外の記念物(名勝地)にも広げ、函館公園(北海道函館市)など3件が答申された。
- 日本芸術院新会員決定 日本芸術院(三浦朱門院長)は、11月29日、新会員9人を発表した。第一部(美術)では、洋画家寺坂公雄(72)、彫塑の蛭田二郎(72)、陶芸家の河合誓徳(78)が選ばれた。これにより、現在の定員120名に対して、今回の補充により会員数は114人となった。

12 月

- 第17回倫雅美術奨励賞受賞者決定 新鋭の美術評論家や美術史家を顕彰する倫雅美術奨励賞(同基金主催)の第17回目の受賞者が決定した。「美術評論部門」では「瀧口修造—夢の漂流物」展の企画及びカタログ中の論文により杉山悦子(世田谷美術館)に、「美術史研究部門」では「安井仲治—写真のすべて」展の企画及びカタログ中の論文により光田由里(渋谷区立松涛美術館)が選出された。授賞式は、12月12日、東京、赤坂プリンスホテルで行われた。

美術展覧会

企画展

(ア)

AURTISM 6.28—7.3 早稲田大学
学生会館
毎日 7.3 窪田千代

アート&テクノロジーの過去と未来
10.21—12.25 NTTインターコ
ミュニケーション・センター(ICC)
10+1* 41 樫木野衣
美術手帖 872
東京 12.3 藤田一人
読売夕刊 11.24 前田恭二

アートコミュニケーション—回復展
part II 3.7—3.19 ギャラリー
なつか

アートSO展 2005年スペシャルオ
リンピックス冬季世界大会文化芸
術協賛イベント 2.12—3.1 長
野県信濃美術館

アートフェア東京1回 8.6—8.8
東京国際フォーラム
ギャラリー* 241
新美術新聞 1065
朝日夕刊 8.25 栗田玲子
日経 6.27

アートフェスタいわて2004 岩手芸
術祭選抜展 3.8—3.21 岩手県
立美術館

アート・ミーツ・メディア：知覚の
冒険 1.21—3.21 NTTインター
コミュニケーション・センター
(ICC)
ART iT 6 原久子／久保田テツ
朝日夕刊 3.8 西田健作

art-Link上野—谷中2005 9.23—
10.10 上野、谷中、根津、千駄木
新美術新聞 1065

アール・デコ展 きらめくモダンの
夢 4.16—6.26 東京都美術館
(福岡市美術館、サントリーミュ
ージアム[天保山])
芸術新潮 666
ジャポニスム研究 25 橋本順光

美術手帖 864 池上ちか子
朝日 6.2 上間常正
朝日夕刊 5.20 山盛英司
産経 5.31 岡本耕治
読売 4.10 天野知香
読売 4.25
読売 6.7 とよた真帆
読売 6.9 千足伸行
読売夕刊 3.9 前田恭二
読売夕刊 4.25 関昭郎
読売夕刊 6.9

アール・ヌーボー硝子小品展 3.23
—3.29 高島屋(日本橋)

アイスバーグ作戦 公文書等の記録
資料に見る沖縄戦 8.2—10.2
沖縄県公文書館

愛・地球博アートプログラム 幸福
のかたち DIVERSE WAYS OF
HAPPINESS 3.25—9.25 愛・
地球博会場内グローバル・コモン
周辺の7カ所
美術手帖 862 山内宏泰

愛知県陶磁資料館コレクション や
きものの狍犬 1.5—3.26 大阪
市立東洋陶磁美術館
目の眼 353

MOTアニュアル2005 愛と孤独、
そして笑い 1.15—3.21 東京都
現代美術館
美術手帖 862 荷宮和子
朝日夕刊 2.2 高階秀爾
朝日夕刊 2.18 西田健作

藍の諸相 簡描 暮らしの染め
10.15—12.4 姫路市書写の里・
美術工芸館

outOin展 3.21—3.27 應典院

葵の会 7.18—7.23 銀座スルガ台
画廊

青木繁記念大賞公募展14回 6.4—
6.19 郡山市立美術館

「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界
4.29—6.26 山梨県立文学館

明石焼と兵庫のやきもの～古窯から
現代陶工までの名品展～ 1.4—
1.30 明石市立文化博物館

陶説 622 稲原昭嘉

赤シャツと考古学 明治期の古墳発
見 12.9—2.12 愛媛県歴史文化
博物館

赤ずきんと名作絵本の原画たち ト
ロースドルフ絵本美術館 11.26
—1.15 板橋区立美術館
芸術新潮 674
朝日夕刊 11.24 松本猛

第1期コレクション展 秋田の洋画
—明治生まれの先駆者たち—
4.27—6.26 秋田県立近代美術館
ARK 44 金沢資子

第III期コレクション展 秋田美術人
国記 9.14—11.27 秋田県立近
代美術館
ARK 45 山本丈志

芥川家旧蔵の雛人形 2.11—3.10
すみだ郷土文化資料館
朝日 2.22

AGAINST TASTE展 2.22—3.5
人形町エキジビットスペース・ヴ
イジョンズ

曙会展5回 11.29—12.4 銀座ス
ルガ台画廊

憧れの食堂車と全国駅弁めぐり—メ
ニューやラベルあれこれ— 10.8
—11.27 天理大学付属天理参考
館

朝倉無声収集の見世物(版画) 7.5
—10.2 日本浮世絵博物館

朝倉無声収集の見世物(版画)2
10.4—12.25 日本浮世絵博物館

朝日チャリティー美術展 東京展80
回 3.4—3.7 松屋(銀座)
朝日夕刊 2.18
朝日夕刊 3.4

アジアのキュビスム—境界なき対話
8.9—10.2 東京国立近代美術館
あいだ 119 藤枝晃雄
新美術新聞 1065 松本透
美術手帖 868
美術手帖 871 田中正之
遠近 7 水沢勉
朝日夕刊 8.25 山盛英司

東京 8.27 藤田一人
日経 8.19
日経 9.4 (律)
毎日夕刊 9.20 三田晴夫
読売夕刊 9.6 前田恭二

アジアの潜在力 海と島が育んだ美術 5.24—7.10 愛知県美術館
あいだ 115、116 稲賀繁美
朝日夕刊 6.20 田中三蔵
日経 7.4
毎日夕刊 6.23 峯村敏明
読売夕刊 7.7 前田恭二

アジア漫画展10回—アジアの環境問題 10.22—11.11 国際交流基金
フォーラム
日経 10.19

あしがら田園アート展 9.17—11.6
足柄上地域

飛鳥・奈良の色～高松塚古墳女子群像の服色に迫る～ 4.2—6.5 高
崎市染料植物園
東京 3.5

飛鳥の奥津城—キトラ・カラト・マルコ・高松塚。 4.16—5.29 奈
良文化財研究所飛鳥資料館

麻生の道 彫刻展 4.17—3.21 川
崎市麻生区吹上交差点周辺道路
毎日夕刊 5.6 三田晴夫

足立美術館名品展 3.1—5.31 足
立美術館

あったかく暮らす 1.26—3.13 豊
島区立郷土資料館

アトリエ・エレマン・ブレザンの作家たちの絵画展—現在のアートの要素がここに在る— 11.1—4.30
聖路加国際病院
アートトップ 207 (山)

アトリエ押花デザイン展 6.26—
6.29 アトリエ・モーブ
毎日夕刊 6.23 小島正美

アナザームーブメント2005—Slow Arts— 10.7—10.16 金沢市内各
所

アニマルランド 東アジアの美術に見る動物表現 10.2—11.27 和
泉市久保惣記念美術館

AniMate。アニメイト。展～日韓現代アートに見るアニメ的なもの～
アート横断III 2.3—3.29 福岡

アジア美術館
STUDIO VOICE 351

あの遺跡この遺物 埼玉発掘50年史
7.16—8.31 埼玉県立博物館

アフガニスタンの至宝～流出文化財を守れ 7.9—12.11 平山郁夫シ
ルクロード美術館
東京 8.25 (峯)
日経 12.4 (竹)

橋の会展3回 7.11—7.17 ギャラ
リウムサシ

アフリカのストリート・アート展—都市のくらしを彩るものたち—
2.26—9.27 国立民族学博物館
ドーム 82 山本育夫

天橋立紀行～その歴史と美術～開館35周年記念秋期特別展 9.13—
11.23 京都府立丹後郷土資料館

A MUSE LAND 2006 スイート・メモリーズ 12.14—1.29 北海
道立近代美術館
美術手帖 874

アムステルダム国立美術館展 オランダ絵画の黄金時代 10.25—
1.15 兵庫県立美術館
美術手帖 872
日経 10.15

アメリカーホイットニー美術館コレクションに見る アメリカの素顔展 8.27—10.2 府中市美術館
(長崎県美術館、金沢21世紀美術館、北九州市立美術館、郡山市立美術館、兵庫県立美術館)
芸術新潮 670
美術手帖 870

歩み 歌会始御題によせて 3.30—
5.8 式年遷宮記念神宮美術館

荒川区立小学校図画工作展覧会
1.19—1.27 町屋文化センター
朝日 1.21

新たな国民のたから—文化庁購入文化財展 特集陳列 7.26—9.4
東京国立博物館
毎日夕刊 8.16
読売夕刊 8.27 前田恭二

アラビアンナイト大博覧会 12.22
—1.31 国立民族学博物館

有田工業高校卒業制作展36回 1.25
—1.30 九州陶磁文化館

有田陶交会展20回 3.8—3.13 九
州陶磁文化館

有田窯業大学校卒業制作展19回
3.1—3.6 九州陶磁文化館

歩いた描いた記録した～お遍路さんと共に四国を廻った品々～ 四国遍路 4.23—6.6 愛媛県歴史文化博物館

アルス・ノーヴァ—現代美術と工芸のはざまに 1.15—3.27 東京都
現代美術館
朝日夕刊 2.21 山盛英司
日経 2.23 宝玉正彦
読売夕刊 3.3 前田恭二

アルタイの至宝展～秘境シベリアから草原のシルクロードへ～ ロシア科学アカデミー所蔵 6.3—
7.18 仙台市博物館
東北アジア研究センターニュー
ス* 25 山田勝芳

アルタイの至宝展～秘境シベリアから草原のシルクロードへ～ ロシア科学アカデミー所蔵 7.26—
9.4 静岡県立美術館
芸術新潮 669

アルテ・ボーヴェラ 貧しい芸術
3.19—6.12 豊田市美術館
芸術新潮 665 和田忠彦
美術手帖 865 暮沢剛巳
美術フォーラム21 12 平芳幸浩
朝日夕刊 5.19 田中三蔵
日経 4.6 宝玉正彦
毎日夕刊 4.25 三田晴夫
読売夕刊 4.21 前田恭二

ある日のメルカード風景 マヤのくに・グアテマラの生活と信仰
6.2—7.10 たばこと塩の博物館

アルプスの少女ハイジ展～その作り手たちの仕事～ 5.21—5.31 三
鷹の森ジブリ美術館
読売夕刊 7.8

アンデルセン生誕200年～デンマーク・夢を追いつづけた旅人～
7.17—8.14 滋賀県立近代美術館

アンデルセンの生涯とその作品
11.19—12.25 通信総合博物館

(イ)

遺愛の名品展—滴凍の茶会—正木孝

之没後20年 3.26—5.29 正木美術館
iichiko design展 企業のデザイン展
1回 4.11—4.24 東京芸術大学
 大学美術館陳列館
 芸術新潮 666
 美術手帖 865 奥村雄樹
家展〜記憶のかたち〜 2.7—2.8
 高井戸ミサワホームMIFパーク
 朝日 2.16 鈴木京一
家康の遺産—駿府御分物—新装開館
・文庫公開70周年記念特別展
 8.3—9.25 名古屋市蓬左文庫
いきもの図鑑〜牧野四子吉の世界〜
 7.16—8.28 秋田県立博物館
EXIT展 5.16—5.21 シロタ画廊
石・火山・ひと 秋田の大地とくらし 9.17—11.27 秋田県立博物館
石川の工芸作家たち 日展・伝統工芸展を中心に 2.26—4.10 石川県七尾美術館
石川ゆかりの京都の日本画家たち
 10.27—12.23 石川県立美術館
 石川県立美術館だより 266
石空間展5 現在彫刻幸福論 11.16—11.26 神奈川県民ホールギャラリー
石の記憶—ヒロシマ・ナガサキ 被爆60周年 東京大学総合研究博物館巡回 7.2—8.7 和歌山市立博物館
石山古墳 三重県埋蔵文化財展24回
 3.12—6.5 斎宮歴史博物館
椅子 芹沢銈介の集めた 1.4—5.22
 静岡市立芹沢銈介美術館
椅子のデザイン 日本の(座)の誕生から未来へ 1.29—3.27 埼玉県立近代美術館
 読売夕刊 3.16 芥川喜好
出雲・玉造アートフェスティバル
1回 4.27—5.31 玉造温泉街
 毎日夕刊 5.24 石川健次
イスラエル美術の兆し 他文化社会に生きる 6.10—7.3 トーキョーワンダーサイト本郷
 朝日夕刊 6.28 山盛英司
 毎日夕刊 6.30 三田晴夫
イスラエル美術の兆し 他文化社会

に生きる 6.10—7.7 ヨコハマ
 ポートサイドギャラリー
 朝日夕刊 6.27 山盛英司
 毎日夕刊 6.30 三田晴夫
イスラム世界の服飾文化 1.6—3.11 文化学園服飾博物館
 芸術新潮 664
遺跡の世界「ここまでわかった武蔵国府」府中市制施行50周年特別記念展 2.25—3.13 府中市郷土の森博物館
 博物館研究 444 深澤靖幸
遺跡の世界2005 上円下方墳って何だろう? & 最新発掘速報 7.16—8.31 府中市郷土の森博物館
伊勢の陶器 万古焼〜沼波弄山から桑名万古へ〜 10.25—11.27 桑名市博物館
伊勢の文人 1.25—3.27 神宮徴古館
鉄心斎コレクション3 伊勢物語の世界 9.3—9.25 芦屋市立美術館
磯部蜷気楼の謎—雷と蜷気楼と神と人 10.21—1.22 安中市ふるさと学習館
偉大なるシルクロードの遺産展 オアシス国家の光芒 4.16—5.22 香川県歴史博物館
板橋区伝統工芸展8回 素晴らしき哉、Low-tech〜High-techを超える人の技〜 7.16—9.25 板橋区立郷土資料館
板橋の作家'02〜'04展 3.12—4.17 板橋区立美術館
イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2005 開館25周年スペシャル 7.9—8.14 板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館)
 みづゑ 73 山尾実花/山本麻実
イタリアンレースの黄金期 ヴェネツィアのルネッサンス レースの誕生 2.26—4.17 尾西市三岸節子記念美術館
—衣帯水の世界—古の日韓交流— 10.23—11.27 下関市立考古博物館
市岡家と博覧会の父田中芳男 9.9—10.10 飯田市美術館

敵島神社国宝展 台風被災復興支援
 1.2—2.13 奈良国立博物館
 目の眼 342 編集部
敵島神社国宝展 台風被災復興支援
 3.25—5.8 東京芸術大学大学美術館
 朝日夕刊 4.8 西田健作
 産経 4.12 岡本耕治
 東京 3.31 (青)
 読売夕刊 3.16
 読売夕刊 3.26 前田恭二
 読売夕刊 4.25 宮尾登美子
イップとヤネケ 7.5—9.4 佐倉市立美術館
移動美術展 平成17年度岩手県立美術館 10.14—10.23 大船渡市立博物館
戌の名前 11.21—12.10 成山画廊
 芸術新潮 673
井上円了の民具コレクション 妖怪学の源流をたずねて 10.4—11.27 中野区立歴史民俗資料館
祈りと美の伝承—諸院家の家宝— 10.1—12.4 醍醐寺霊宝館
祈りのすがた—下野の仏画— 10.1—11.13 栃木県立博物館
祈りの美—奈良国立博物館の名宝 4.21—6.5 神奈川県立金沢文庫
 毎日夕刊 5.16
祈り〜卑弥呼といのりの小道具〜 10.22—12.11 松山市考古館
イマージュ日光川 修復完成記念 描かれた神橋と山内 7.16—9.11 小杉放菴記念日光美術館
いま甦る手織機の世界 11.9—11.13 東京農工大学工学部附属繊維博物館
いま甦る武人のこころ—日本の刀—赤羽刀から見た刀剣の歴史と美 2.19—3.21 四日市市立博物館
 四日市市立博物館研究紀要 13 赤川一博
いわて近代洋画100年展 4.23—7.3 萬鉄五郎記念美術館/もりおか啄木・賢治青春館/岩手町立石神の丘美術館
 芸術新潮 667
岩手県公会堂アートショウ2005 8.12—8.21 岩手県公会堂

岩手町の風土とくらし 7.16—8.28
岩手町立石神の丘美術館
印象派と西洋絵画の巨匠 10.8—
11.27 成羽町美術館
independent —イメージと形成—
2005 11.29—12.4 愛知県美術
館ギャラリーG1、2室
美術手帖 876 金井直
イントウ・アニメーション4 7.16
—7.19 センオン杉並
毎日 7.16 高島博之
インド サリーの世界 装うインド
9.8—12.6 国立民族学博物館
インドネシア90年代後半の若手作家
達 Passing on Distance 6.25
—7.24 ギャラリーNAF(名古屋)

(ウ)

ヴィクトル・ユゴーとロマン派展
ユゴー生誕200周年記念 3.5—
4.17 サントリーミュージアム
[天保山](北海道立近代美術館)
Without Thought 6 6.18—6.28
D&Department(東京)
AXIS 116 神吉弘邦
上杉謙信 4.23—6.13 米沢市上杉
博物館
ヴェネツィアンビーズの美と工房
9.13—9.19 三越(銀座)
上野の森美術館大賞展23回 明日を
ひらく 絵画 4.22—5.1 上野の
森美術館(福岡市美術館、京都府
京都文化博物館、彫刻の森美術
館)
WELCOME—KIDI PARSONS展
10.27—10.30 AXISギャラリー
・アネックス
デザインの現場 144 杉村裕之
VOCA展2005 現代美術の展望—新
しい平面の作家たち 3.15—3.30
上野の森美術館
From web てんびょう 2004.03.
05—2005.07.06 松浦良介
朝日夕刊 3.22 山盛英司
毎日夕刊 3.22 三田晴夫
浮世絵・絵図でめぐる かながわの
名所 収蔵資料展 5.28—7.3
横浜市歴史博物館
浮世絵1010の世界 THEATRE1010

ギャラリー開館記念特別展示
3.10—3.30 THEATRE1010ギ
ャラリー
朝日 3.12
浮世絵で楽しむ江戸の旅〜東海道宿
場めぐり〜 4.23—5.22 たばこ
と塩の博物館
浮世絵の楽器たち 10.1—11.26
太田記念美術館
浮世絵花ざかり くらしを彩る江戸
の華 1.22—2.27 たばこと塩の
博物館
浮世絵百花繚乱展—女の装い・雪月
花・ファッション— 1.3—2.6
ひろしま美術館
浮世絵名品—美人画、役者絵、風景
画の世界— 10.1—12.18 富士
美術館
浮世絵名品展—春信、歌麿、写楽、
北斎、広重…揃い踏み—平木コレ
クション 11.12—12.11 山梨県
立美術館
浮世絵モダン 深水・五葉・巴水
…伝統木版画の隆盛 10.8—
11.23 町田市立国際版画美術館
日本の漆工芸Ⅱ 宴の器提重—お芝
居・お花見・舟遊び— 春季特別
展 3.18—5.22 細見美術館
うたのちから—古今集・新古今集の
世界— 10.28—11.18 国文学研
究資料館
うたのちから—和歌の時代史—
10.18—11.27 国立歴史民俗博物
館
歴博 135 田島公
美しき日本 大正昭和の旅 8.30—
10.16 江戸東京博物館
毎日 8.29
読売 9.23 新田太郎
うつわ〜江戸時代の飲食具〜 5.9
—8.12 徴古館(財団法人鍋島報
効会)
ウナセラ・ディ・トーキョー—
ANOHI ANOTOKI—残像の東京物
語1935〜1992 4.23—5.29 世田
谷美術館
美術手帖 868 北澤ひろみ
ウニの分類学 重井陸夫博士コレク
ション 10.15—4.16 東京大学

総合研究博物館
宇野千代展—書いた、恋した、生き
た— 開館10周年企画展 4.29—
6.12 世田谷文学館
日経 5.29 浦田憲治
馬の絵作品展11回 10.8—10.16
鹿追町民ホール
海・川・水の造形 9.6—10.16 徳
島市立徳島城博物館
海のシルクロードから琉球王国へ
未来への道標 琉球—中国・福建
交流五〇〇年展 3.20—5.8 浦
添市美術館
きよらさ 46
海を渡った日本文化 日韓交流展
10.7—12.11 宮崎県立西都原考
古博物館
梅と美術 2.18—3.27 大和文華館
シリーズここまでわかった考古学
瓜生堂遺跡の最新研究 2.19—
3.27 大阪府立弥生文化博物館
OUROBOROS展7回[東北芸術工
科大学卒業制作展] 3.25—3.30
AXISギャラリー

(エ)

栄光の大ナポレオン展 文化の光彩
と人間のロマン 11.3—12.23
東京富士美術館(福岡市美術館、
香川県歴史博物館、関西国際文化
センター)
毎日 10.31 米本浩二
毎日 11.9
毎日 12.13 五木田聡
毎日夕刊 12.1、5 藤本ひとみ
英国作家の版画展 COLLECTION
11.15—12.10 西村画廊
ロックヤーおばあちゃんの宝物 英
国ドールハウス展 2.10—2.22
大丸ミュージアム(東京)
産経 2.9
永青文庫の近代日本画—細川家に集
まった巨匠たち 9.27—11.13
永青文庫
A—TO展 4th 9.19—9.24 ユニグ
ラバス銀座館
エヴォリューションカフェ 2.18—
3.15 BankART Studio NYK
美術手帖 864 畑中朋子

EVOLUTION16 3回 1.26—2.1
高島屋(日本橋)

描かれた海辺の風景 7.8—9.4 千葉県立安房博物館

描かれた動物・植物—江戸時代の博物誌— 10.14—10.27 国立国会図書館(同関西館)

描かれた琉球 8.25—9.19 浦添市美術館
きよらさ 47

series I「絵図」と「絵画」との間で
岡村桂三郎・菅原健彦・間島秀徳・三瀬夏之介 11.28—12.17 ギャラリー・オーブ

大地の芸術祭 越後妻有2005 夏
10 days—真夏の里山体験—
7.31—8.9 新潟県越後妻有全域
絵地図いろいろ 開館七周年記念
企画展 8.1—10.10 神奈川県立金沢文庫
地方史研究 319 湯浅治久

越前松平家ゆかりの刀剣 10.1—11.7 福井市立郷土歴史博物館

えっ!?会津が首都?? 若松城天守閣再建40周年記念展 7.1—10.2 若松城天守閣郷土博物館

エッグアート展 1.27—1.28 コラッセふくしま2階にぎわいイベントコーナー
朝日 1.28

X—COLOR／グラフィティ in Japan
10.1—12.4 水戸芸術館現代美術ギャラリー／水戸中心市街地
芸術新潮 672
STUDIO VOICE 358 深沢慶太
STUDIO VOICE 360 窪田研二
STUDIO VOICE 360 KRESS
美術手帖 871
美術手帖 873 大和田良
朝日夕刊 10.21 村田真
朝日夕刊 11.17 鈴木京一
日経夕刊 8.11

江戸狩野派ってなに? 館蔵品展
4.23—7.3 板橋区立美術館
読売 5.21

シリーズ西陣ものがたりII—江戸時代前期の文化と人々—平成17年度新春展 1.7—3.21 茶道資料館
江戸時代の科学技術と信州・上田

9.10—11.20 上田市立博物館

江戸と桐生 華やかなりし文人交流展 11.19—12.18 群馬県立近代美術館

干支にのらなかった動物たち 9.6—12.24 姫路市書写の里・美術工芸館

江戸の外国公使館 港郷土資料館特別展 6.1—7.3 港郷土資料館
港郷土資料館だより 56 吉崎雅規

江戸の人形文化と名工原舟月—人形師・雛祭り・山車人形— 10.8—12.4 とちぎ蔵の街美術館

江戸の華と技 須坂藩のお雛さまと蚤譜、印籠・根付 3.3—5.5 須坂市立博物館

江戸の花博「百花園とゆかりの人々」
3.3—3.23 すみだリバーサイドホール・ギャラリー
朝日 3.16

江戸の花々 3.1—3.26 太田記念美術館

江戸のパロディ 3.19—5.8 さいたま市立博物館

江戸の武家屋敷 10.26—12.17 昭和女子大学光葉博物館

江戸のリッチモンド あこがれの王子・飛鳥山展 3.19—5.8 北区飛鳥山博物館

エトルリアの世界展 新イタリア文化会館開館記念 10.30—12.11
イタリア文化会館
芸術新潮 673
読売夕刊 10.19 篠塚千恵子

絵になった富士山 6.18—7.24 山梨県立美術館

NHKハート展 あなたからはじまる。NHKハート・プロジェクト
3.1—3.6 三越(日本橋)

NWBA3 4.29—5.8 EXREALM
STUDIO VOICE 353 編集部

絵本におけることばとイメージ展
11.14—12.17 武蔵野美術大学美術資料図書館

絵馬とアイコン 芹沢銈介コレクションより 6.4—9.4 静岡市立芹沢銈介美術館

エルミタージュ美術館展 華やぐ女

平成17年美術展覧会(企エ、オ)

たち ルネサンスから新古典まで
5.21—7.18 名古屋市美術館(岩手県立美術館、島根県立石見美術館)
美術手帖 865

エルミタージュ美術館名作展 花の光景 花でたどるヨーロッパの暮らしと文化 静岡市政令指定都市移行記念 4.23—9.25 静岡アートギャラリー
新美術新聞 1056 寺田未緒

円空大賞展3回 8.27—10.23 岐阜県美術館
毎日夕刊 9.6 三田晴夫
読売夕刊 9.21 芥川喜好

ENDURANCE エンデュランス
7.5—7.30 トーキョーワンダーサイト渋谷/nca | nichido contemporary art

(オ)

古い—古いをめぐる美とカタチ—
4.23—6.5 福島県立博物館
博物館研究 448 川延安直
朝日 5.11 宮代栄一
読売夕刊 5.18 芥川喜好

おいしいキッチンプロジェクト
10.6—10.10 ふくい南青山291
STUDIO VOICE 359

王権と儀礼 埴輪群像の世界 10.8—12.11 大阪府立近つ飛鳥博物館

王権と木製威信具—華麗なる古代木匠の世界—平成17年度春季特別展
4.23—6.5 滋賀県立安土城考古博物館

黄金の谷の輝き 10.1—11.30 静岡市立登呂博物館

黄金の分銅—天下人の遺産—
12.17—3.12 日本銀行金融研究所貨幣博物館

王たちの墓—香川の古墳— 2.10—4.3 香川県歴史博物館

王朝貴族の装束展—衣服を通して見る文化の国風化— 5.17—6.12 東京大学教養学部美術博物館
産経 6.2 猪谷千香

王朝への誘い—大阪青山短期大学コレクション—蓬左文庫公開70周年

記念 9.28—11.6 名古屋市蓬左
文庫
近江麻模様 4.29—6.19 近江商人
博物館
近江湖北の山岳信仰 2.5—3.13
市長浜城歴史博物館
近江天保一揆とその時代 10.15—
11.20 野洲市歴史民俗博物館
近江の国府と郡衙〜発掘された古代
の役所〜 2.26—4.17 大津市歴
史博物館
近江の彫刻—神とまじわるほとけた
ち— 5.21—6.26 栗東歴史民俗
博物館
近江八景—浮世絵編— 2.22—4.10
大津市歴史博物館
大津市歴史博物館だより 57
近江八景から琵琶湖八景へ 9.30—
10.25 彦根城博物館
大分県美術展の歩み—O・G賞を中
心に— 4.12—5.8 大分県立芸
術会館
おおいた蘭学事始—文明開化への道
— 10.14—11.27 大分県立歴史
博物館
デアルテ 22 平川毅
大倉集古館所蔵 近世・近代の名画
9.20—10.23 町田市立博物館
大阪・アート・カレイドスコープ2
回 OSAKA 05 交通するアート／
万華鏡の複眼思考のススメ
3.5—3.24 大阪府立現代美術セ
ンター／海岸通ギャラリー・
CASO
新美術新聞 1050 (美)
大阪・アート・カレイドスコープ3
回 do art yourself 11.25—12.17
大阪府立現代美術センター
日英交流 大坂歌舞伎展—上方役者
絵と都市文化— 10.1—11.23
大阪歴史博物館(早稲田大学坪内
博士記念演劇博物館)
大坂図屏風—景観と風俗をさぐる—
10.8—11.13 大阪城天守閣
大阪府所蔵美術作品1 7.26—8.28
大阪府立近つ飛鳥博物館
大阪府所蔵美術作品 9.2—9.29
中之島図書館
太田記念美術館名品展 開館25周年

記念 1.4—2.26 太田記念美術
館
朝日夕刊 2.5 山盛英司
大津絵 1.7—3.27 日本民芸館
朝日夕刊 3.5 田中三蔵
読売夕刊 2.2 芥川喜好
大塚テキスタイルデザイン専門学校
卒業制作展 3.10—3.12 AXIS
ギャラリー
AXIS 115
大原美術館展 古典になった前衛た
ち ルノワール、マティスからフ
ォンタナまで 12.17—2.5 岡崎
市美術館
大原美術館 名画の宝宝箱 9.17—
11.6 宮城県美術館
オープン・ネイチャー 情報として
の自然が開くもの 4.29—7.3
NTTインターコミュニケーション
・センター(ICC)
STUDIO VOICE 354 宮村周子
美術手帖 866 楠見清
岡倉天心展 日本文化と世界戦略
2.5—6.26 ワタリウム美術館
朝日 6.16 山盛英司
朝日夕刊 2.18 遠藤健
毎日 1.30 大久保喬樹
毎日夕刊 2.17 三田晴夫
読売夕刊 4.28 前田恭二
岡倉天心と日本美術院展 近代日本
画の歩み 1.19—1.31 高島屋
(日本橋)(高島屋(京都)、高島屋
(なんば))
お金 貨幣の歴史と兵庫の紙幣
10.1—11.23 たつの市立龍野歴
史文化資料館
岡本太郎記念現代芸術大賞展8回
2.27—4.10 川崎市岡本太郎美術
館
朝日夕刊 3.2 西田健作
岡山県の成立 開館記念 9.7—10.9
岡山県立記録資料館
岡山・林原美術館の名宝—国宝の太
刀と大名道具— 7.24—8.22 彦
根城博物館
岡山美術百科 9.30—11.13 岡山
県立美術館
沖縄戦と戦後復興 12.7—12.12
那覇市パレットくもじリウボウホ

ール
沖縄の染織—紅型・平織— 8.2—
9.25 とちぎ蔵の街美術館
沖Ⅱ遺跡と藤岡の弥生時代 10.22
—12.4 藤岡歴史館
贈るころ・受けとられた美—世界
の国々との交流のなかで 1.8—
2.27 宮内庁三の丸尚蔵館
おれと切手で楽しむ世界旅行 7.5
—9.4 おれと切手の博物館
男の顔 4.11—4.26 HOUSE OF SHI-
SEIDO
美術手帖 866 福住廉
音と人の風景 6.21—7.31 東北歴
史博物館
踊るサテュロス 2.19—3.13 東京
国立博物館
アートトップ 202
朝日 3.3 西田健作
日経夕刊 2.28 (白)
読売 1.1 島村菜津／丹羽隆子
読売 2.27
読売夕刊 2.12 青柳正規
読売夕刊 2.28
おながすいたはらべこだっ!〜縄
文時代のごはん〜 7.16—9.4
横浜市歴史博物館
尾上松之助と時代劇スターの系譜
4.5—10.9 東京国立近代美術館
フィルムセンター
おはなしの絵—物語りと絵解き—
7.5—9.19 大分県立歴史博物館
おひなさま展 2.5—3.6 中野区立
歴史民俗資料館
お雛様展 2.10—4.11 田中本家博
物館
おひなさま展 2.19—3.6 板橋区
立郷土資料館
朝日 2.27
おひなさま展 2.22—4.10 愛媛県
歴史文化博物館
お水取り 2.15—3.21 奈良国立博
物館
オモテヤで 1.12—2.13 宇都宮美
術館
親子で楽しむ 夏の思い出ミュージ
アム 7.9—8.29 秋田県立近代
美術館
オランダ絵画の黄金時代—アムステ

ルダム国立美術館展 10.25—1.15 兵庫県立美術館
織の挑戦者たち—北村武資とすはたの会 9.19—10.26 ダイワ・ジャパン・ハウス
Alternative Paradise～もうひとつの楽園 11.5—3.5 金沢21世紀美術館
美術手帖 873
尾張徳川家の源氏物語 11.9—12.11 名古屋市蓬左文庫
尾張徳川家の雛まつり 2.5—4.10 徳川美術館
コレクション+αで楽しむシリーズ 音楽「色、線、形、そして音」 9.17—11.6 徳島県立近代美術館
音容の会 11.7—11.12 サエグサ画廊

(カ)

絵画が語る時代と人 日本画でみる アニュアル・レポート 12.17—2.5 秋田県立近代美術館
絵画でつづる源氏物語—描き継がれた源氏絵の系譜— 10.1—11.6 徳川美術館
絵画・墨跡と李朝の陶芸 館蔵 秋の優品 9.3—10.23 五島美術館
絵画の力—今日の絵画 近年の新収蔵作品を中心として 11.3—12.11 いわき市立美術館
絵画の向こうにあるもの 込められたメッセージ 11.2—12.25 メナード美術館
絵画の行方—現代美術の美しさって何? 12.10—2.19 府中市美術館
あいだ 121 藤枝晃雄
あいだ 123 小林俊介
日経 12.16 宝玉正彦
解剖考古学 シカ—縄文時代シカをどのように利用したか— 3.19—5.15 千葉県立上総博物館
雅楽—伝統とその意匠美 4.16—7.10 宮内庁三の丸尚蔵館
画家たちが愛したアンデルセンとグリム 9.16—11.29 安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより 38 松方路子

画家たちの旅 所蔵風景画名作選 11.6—2.5 姫路市立美術館
加越能の俳諧～収蔵資料40年の歩み～ 9.23—11.6 石川県立歴史博物館
加賀百万石の武装と美術 石川県立歴史博物館交流展企画展78回 4.23—5.29 群馬県立歴史博物館
香川県美術展覧会70回 6.1—7.10 香川県文化会館
覚園寺—開山智海心慧700年忌記念— 10.8—11.13 鎌倉国宝館
笠間芸術の森陶芸展 カサマソダチ 拡大常設展 開館5周年記念展覧会 7.2—8.28 茨城県陶芸美術館
風ひかる棚田 4.23—7.10 秋田県立博物館
風を彩るうちわと扇子 はいばら聚玉堂コレクションによる 平成17年度春季特別展 5.14—6.25 昭和女子大学光葉博物館
家族の肖像—分岐する世界と統合する意識— 1.19—2.18 名古屋大学博物館
美術手帖 862 秋庭史典
刀の極めどころ 館蔵名刀展 2.19—3.27 五島美術館
花鳥画の煌々展 東洋の精華 10.22—5.21 名古屋ボストン美術館
日経 11.16 竹田博志
花鳥画の愉しみ 近現代日本画と工芸、洋画 1.2—2.27 メナード美術館
花鳥図屏風 4.2—5.8 根津美術館
花鳥風月—屏風絵の世界 12.23—2.12 静岡県立美術館
家庭画報大賞展10回 9.13—9.25 三越(日本橋)
神奈川散歩 多賀谷無人風景画展 3.1—3.27 かながわグリーンハウス
かながわの三匹獅子舞 獅子頭の世界 1.29—3.13 神奈川県立歴史博物館
金沢美術工芸大学教員作品展2004 寄りあう語法—6人の表現— 3.15—3.21 金沢21世紀美術館
金沢文庫の名宝—鎌倉武家文化の精華— 12.3—1.15 奈良国立博物館

平成17年美術展覧会(企オ、カ)

朝日夕刊 12.5 小滝ちひろ
金子みすゞ いのちとこころの宇宙 童謡詩人 12.27—1.16 高島屋(横浜)
雅美と超俗—琳派と文人画派 9.17—12.4 逸翁美術館
芸術新潮 671
CAF. ネビュラ展 11.16—11.27 埼玉県立近代美術館
鎌倉の古絵図—新重文・浄光明寺絵図公開—神奈川県博物館協会創立50周年記念 6.2—7.3 鎌倉国宝館
釜の登場 平安時代の煮炊き具を探る 7.16—8.28 かみつけの里博物館
紙がお金になった! 11.15—1.15 紙の博物館(東京)
上黒岩岩陰遺跡とその時代—縄文文化の源流をたどる— 7.16—9.5 愛媛県歴史文化博物館
神と人の交差点 8.5—10.30 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館
蒲生氏郷—戦国を駆け抜けた武将— 蒲生氏郷生誕450年記念 10.8—11.6 滋賀県立安土城考古博物館
COLOR IN LIVE 4.14—4.16 スパイラルガーデン&ホール
デザインの現場 140 橋本麻里
デザインの現場 141 中山真理
唐絵の屏風—中国古典世界への憧憬— 4.2—5.8 根津美術館
からくり灯火具～江戸の粋と技術～ 9.15—2.28 日本のあかり博物館
ガラス三大巨匠展～偉大な作家達それぞれの個性～ガレ・ドーム・ラリック 11.1—4.23 大—美術館
ガラスの博物誌～ガラス文化の源流を辿る～ 10.1—2.19 中近東文化センター
読売 9.27
樺太アイヌ民族誌～アイヌ工芸に見る技・匠・文化～ 2.5—3.13 板橋区立郷土資料館
朝日 2.6
産経 2.6
COLORFUL温泉 絵画の湯 11.26—12.20 三鷹市美術ギャラリー
唐物茶入 5.14—6.26 根津美術館

華麗なる伊万里、雅の京焼 10.4—
12.4 東京国立博物館表慶館
東京 10.20 (青)
読売 8.29 西岡努
読売 11.1、6 伊藤嘉章
読売夕刊 9.29 伊藤嘉章
読売夕刊 10.12—15、29 前田
恭二
華麗なるカーマスコットの世界
10.15—3.5 箱根ラリック美術館
ギャラリー* 248
華麗なる17世紀ヨーロッパ絵画 ヨ
ハネ・パウロ2世美術館のパロ
ック 4.7—6.5 広島県立美術館
華麗なる梅花の表現展 2.19—3.21
茨城県近代美術館
新美術新聞 1048 中田智則
華麗なるマイセン陶器—シノワズリ
ー、ロココからアール・ヌーヴォ
ーまで— 11.19—1.22 東京都
庭園美術館
新美術新聞 1075 高波真知子
東京 1.4
東京 12.3 櫻庭美咲
東京夕刊 12.22 竹内順一
東京夕刊 12.26 芹川英子
東京夕刊 12.27 南川三治郎
華麗なる装いの世界 江戸・明治・
大正 共立女子学園コレクション
4.2—6.12 泉屋博古館分館
日経 5.18
画廊が選んだ名作展 開廊45周年特
別企画 11.16—11.26 不忍画廊
ギャラリー 247
かわいいミニチュア 4.23—7.24
MOA美術館
芸術新潮 667
陶説 628 (森)
目の眼 346
かわさき現代彫刻展2005 臨海工業
地帯から 9.26—12.16 テクノハ
ブイノベーション川崎(THINK)
歓喜院聖天堂の建築彫刻 刻まれた
鼓動 10.8—11.20 埼玉県立博
物館
“歓迎、歓迎”北京の現代美術 1.24
—3.25 ペイスギャラリー
芸術新潮 663
毎日夕刊 2.25 三田晴夫

韓国文化コンテンツ秀作展 2.24—
3.2 東京恵比寿ガーデンプレイ
ス内ガーデンルーム
From web てんびょう 2004.03.
05—2005.07.06 藤田一人
漢詩人岡本黄石の生涯—第二章 そ
の詩業と交友— 11.1—11.27
世田谷区立郷土資料館
漢字の歴史と書体をたどる—甲骨・
王羲之・顔真卿— 10.18—12.18
台東区立書道博物館
館蔵美術工芸名品展 再編10周年記
念 4.16—5.15 神奈川県立歴史
博物館
館蔵品による狩野派 10.7—12.18
大倉集古館
館蔵名品選 1.1—3.21 田原市博
物館
GUNDAM—来たるべき未来のため
に— 7.15—8.13 サントリーミ
ュージアム[天保山]
ギャラリー* 243
STUDIO VOICE 356 深沢慶太
読売夕刊 7.29 石田汗太
GUNDAM—来たるべき未来のため
に— 11.6—12.25 上野の森美
術館
美術手帖 870 奥村雄樹
朝日夕刊 11.29 西田健作
産経 11.1—3 東谷隆司
産経 11.3 酒井潤
産経 11.8 猪谷千香
産経 11.9 伊藤鉄平
産経 11.10 岡本耕治
産経 11.12
産経 11.20 河野朋子
産経 12.7 伊賀紀比古
産経 12.8 伊藤鉄平
産経 12.10 猪谷千香
菅茶山とその世界 III 黄葉夕陽村舎
に憩う 10.14—11.13 広島県立
歴史博物館
官展を彩った名品・話題作—大正～
昭和初期の絵画と工芸 7.23—
9.25 宮内庁三の丸尚蔵館
関東南画大集合へのぞいてみよう心
の風景—江戸文化シリーズ21
9.17—10.23 板橋区立美術館
芸術新潮 671

新美術新聞 1070 安村敏信
読売 10.5

韓流四つの個性 朴永大・尹吉泳・
林茂相・金鐘相 2.27—3.4 ギ
ャラリー・アート・ポイント

(キ)

キアロスクーロールネサンスとパロ
ックの多色木版画 フリッツ・ル
フト・コレクションの所蔵作品に
よる 10.8—12.11 国立西洋美
術館
朝日夕刊 11.25 西田健作
企業が写した昭和の風景 4.23—
6.19 物流博物館
読売夕刊 5.11 芥川喜好
菊池ビエンナーレ展1回 4.9—5.15
菊池寛実記念智美術館
紀州徳川家伝来の楽器 8.13—9.19
国立歴史民俗博物館
歴博 131 日高薫
日経 9.6
季節を祝う郷土玩具 1.4—3.6 高
槻市立しろあと歴史館
木象嵌 日本の木画 金子コレクシ
ョンによる 6.18—7.18 佐野美
術館
寄贈品展 4.29—6.18 中野区立歴
史民俗資料館
北大路魯山人と岡本家の人びと展
10.8—1.9 川崎市岡本太郎美術
館
北区の板碑—石が語る歴史—
10.22—12.4 北区飛鳥山博物館
北村季吟—没後300年記念展—
4.29—6.12 野洲市歴史民俗博物
館
北社の縄文文化—山と川に育まれた
1万年の歴史— 9.17—2.5 長
坂郷土資料館
吉祥のデザイン—金のきらめき—
1.1—1.25 彦根城博物館
切手と戦争展—もうひとつの昭和戦
史— 1.26—1.30 切手の博物館
読売 1.21
キティ・エックス展 7.28—8.28
そごう美術館
「きのうよりワクワクしてきた。」
ブリコラージュ・アート・ナウ

日常の冒険者たち 3.17—6.7
 国立民族学博物館
 STUDIO VOICE 354 原久子
 ドーム 82 山本育夫
 美術運動史研究会ニュース 75
 山崎明子
 美術手帖 864 編集部
 朝日夕刊 6.10 鈴木京一
 きのくに仮面の世界—高野山周辺の
 芸能と紀伊徳川家の能— 4.23—
 6.5 和歌山県立博物館
 紀伊国屋書店所蔵絵画展 1.3—
 1.17 紀伊国屋画廊
 読売夕刊 1.12 芥川喜好
 木下翔太コレクション 6.11—9.4
 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
 木の表現—播磨木工芸の系譜 6.24
 —7.24 姫路市書写の里・美術工
 芸館
 木の夢、木の歌 9.15—9.25 ギャ
 ラリー万世
 気まぐれ美術館 洲之内コレクショ
 ン展 4.9—6.5 茨城県近代美術
 館
 時代を切り開くまなざし—木村伊兵
 衛写真賞の30年—1975—2005
 4.23—6.19 川崎市市民ミュージ
 アム
 朝日 5.5 木幡和枝
 毎日夕刊 5.25 飯沢耕太郎
 木村家伝来 良寛墨宝展 4.20—
 4.26 東京美術倶楽部
 目の眼 344
 きものの美—彩をまとう匠を着る—
 1.4—1.30 石川県立美術館
 石川県立美術館だより 255
 九州陶磁器デザイナー協会展16回
 2.22—2.27 九州陶磁文化館
 九州の陶磁 4.5—6.26 日本民芸
 館
 9坪ハウス展 こどもと暮らす9坪
 ハウス 10.1—10.10 D-秋葉原
 テンポラリー
 日経 8.29
 宮殿とモスクの至宝 イスラム美術
 展 V&A美術館ジャミール・ギャ
 ラリー 10.1—12.4 世田谷美術
 館
 芸術新潮 671

東京 10.13 (青)
 読売 9.26
 読売 11.8 小池百合子
 読売 11.10 庄野真代
 読売夕刊 9.24 清水真砂
 読売夕刊 11.24 佐藤健哉／浮
 津亜由美／井川優衣子
 旧柳川藩主立花家伝来 能面・能装
 束の世界 11.19—12.18 御花史
 料館
 デアルテ 22 才藤あずさ
 シリーズ「ここまでわかった考古学」
 久宝寺遺跡の最新成果—河内平野
 における古墳出現を探る— 3.19
 —4.10 大阪府立近つ飛鳥博物館
 京都近代日本画のあゆみ 京都国立
 近代美術館所蔵名品展 6.11—
 7.10 豊橋市美術館
 郷土の作家たち 油彩画を中心に
 収蔵作品展 1.22—3.27 富岡市
 立美術館・福沢一郎美術館
 京都美術文化賞17回 1.20—1.28
 中信御池ギャラリー
 京都を学ぶ 荘厳—京の町衆、仏を
 かざる— 11.11—12.24 大谷大
 学博物館
 京の雅・都のひとびと—琳派と京焼
 — 9.3—10.30 出光美術館
 読売夕刊 9.27 前田恭二
 京のやきもの—仁清・乾山・楽代々
 — 6.11—7.31 静嘉堂文庫美術
 館
 芸術新潮 669
 読売夕刊 6.25 前田恭二
 京の優雅—小袖と屏風—千總コレク
 ション 8.24—8.29 高島屋(日
 本橋)(京都府京都文化博物館)
 毎日 8.24 岸桂子
 恐竜博2005 3.19—7.3 国立科学
 博物館
 美術手帖 862 池上ちかこ
 巨匠たちの描く北の大地—ぐるっと
 漫遊—北海道 10.22—12.7 北
 海道立釧路芸術館
 巨匠たちのパレット&絵画展—梅
 原、安井からピカソ、ダリまで—
 4.23—6.19 川越市立美術館
 巨匠展—今そして未来2005— 5.3
 —5.9 三越(日本橋)

新美術新聞 1055 武田厚
 美術の窓 260 武田厚
 巨匠にみる「絵とは何か」展NO. 07
 併催 昭和世代の画家たち展
 1.14—1.19 名古屋画廊
 巨匠にみる「絵とは何か」展NO. 08
 併催 昭和世代の画家たち展
 4.8—4.14 名古屋画廊
 巨匠名作回顧 5.16—5.31 フジカ
 ワ画廊
 清澄オープニング 11.11—12.3
 小山登美夫ギャラリー
 美術手帖 872
 巨大埴輪とイワレの王墓—桜井茶臼
 山・メスリ山古墳の全容— 10.8
 —11.27 奈良県立橿原考古学研
 究所附属博物館
 煌めきのかたち—20世紀ガラスの精
 華 7.30—9.19 釧路市立美術館
 桐生再演11回 街における試み
 11.3—12.4 桐生市
 キリンアートプロジェクト2005
 9.30—10.23 タマダプロジェクト
 アートスペース
 東京 10.6 (青)
 読売夕刊 10.6 前田恭二
 毎日夕刊 11.1 五十嵐太郎
 銀座あおぞらDEアート 5.8 銀座
 泰明小学校校庭
 ギャラリー* 241
 毎日 4.11 窪田千代
 銀座スペースデザイン・学生コンペ
 ティション3回 3.3—3.8 TEP-
 CO銀座館
 朝日 3.7
 近世絵画の水脈 狩野派から若冲、
 大雅へ—静岡県立美術館所蔵によ
 る— 11.18—12.25 大分市美術
 館
 日経 11.14
 近世禅画と東洋陶磁—富岡重憲コレ
 クションより— 5.9—6.4 早稲
 田大学會津八一記念博物館
 近代うるし工芸 10.17—12.17 敦
 井美術館
 近代から現代へ 木版画の革新—恩
 地孝四郎から萩原英雄まで—
 2.19—3.27 山梨県立美術館
 近代芸術家の書展 11.1—12.25

何必館・京都現代美術館
目の眼 352
近代滔々 琵琶湖・淀川・狭山池
10.8—11.27 大阪府立狭山池博
物館
近代日本画の美の世界—至純の住友
コレクション— 9.23—11.6 泉
屋博古館分館
近代日本の風景画展 1.15—3.13
講談社野間記念館
近代日本画名品展 松岡美術館名品
選 1.5—4.17 松岡美術館
近代日本美術の名作展—高橋由一か
ら松本竣介まで—収蔵品による
4.9—5.29 神奈川県立近代美術
館(鎌倉)
近代日本洋画への道 10.1—11.13
滋賀県立近代美術館
近代の化粧100年—20世紀をリード
したMO・GAたち— 8.25—9.7
ポーラミュージアム アネックス
近代の美術 6.21—7.18 石川県立
美術館
石川県立美術館だより 261
近代の歴史画と講談社の絵本
10.29—12.18 講談社野間記念館

(ク)

クーゲルブリッツ『日独コミックア
ート展』 7.2—7.17 ヒルサイド
フォーラム
STUDIO VOICE 356
草駈ける道、海渡る道—シルクロ
ードの工芸品—春季特別展示 4.5
—5.22 姫路市書写の里・美術工
芸館
くし・かんざし・こうがい 江戸の
アクセサリ— 2.8—3.27 とち
ぎ蔵の街美術館
櫛・かんざし・美 沢乃井櫛かんざ
し美術館所蔵 4.23—6.12 掛川
市二の丸美術館
熊谷守一大賞展6回 11.13—11.27
アートミュージアムギンザ
熊野速玉大社の名宝—新宮の歴史と
ともに—世界遺産登録記念特別展
10.22—11.27 和歌山県立博物館
熊本の華人展 11.4—11.13 熊本
市現代美術館

熊本のやきもの 八代焼 6.28—
8.31 永青文庫
雲の晴れ間のトッカータ 全館コレ
クション展 6.5—7.10 宇都宮
美術館
くらしといのり 12.10—4.9 秋田
県立博物館
くらしの今&昔 子ども文化財
7.16—9.4 高槻市立しろあと歴
史館
くらしの植物苑 伝統の朝顔 8.9
—9.4 国立歴史民俗博物館
くらしの造形16 回れ・まわれ・水
車—武蔵野の水車ミュージアム—
10.17—11.3 武蔵野美術大学美
術資料図書館
くらしの版画 毎日を楽しむために
6.25—9.25 町田市立国際版画美
術館
GLASS WORKS 2005 2.25—3.6
アートガーデンかわさき
蔵出し逸品 高知県立美術館収蔵名
品展2005 5.29—7.24 高知県立
美術館
GRADUATE EXHIBITION '05 3.2
—3.21 女子美術大学
公募 蔵を描こう 12.17—1.22
とちぎ蔵の街美術館
クリスチャン 道 7.1—7.29 横
田茂ギャラリー
グリム童話の世界 7.23—8.9 西
武ギャラリー
毎日 7.22
Groupe Jeune Cheval 鶴飼容子・
肥沼守・小西雅也・ヒラキムツミ
8.29—9.3 銀座スルガ台画廊
グループ空 7.25—7.30 銀座スル
ガ台画廊
グループV展46回 4.18—4.23 シ
ロタ画廊
グループ プシケ展38回 9.5—
9.10 シロタ画廊
久留米から出土したお宝—歴史のか
たりべたち— 10.22—11.13 久
留米市埋蔵文化財センター
グルメとトイレの考古学—古代の食
い道楽— 7.22—9.19 地底の森
ミュージアム
グローバル・プレイヤーズ 日本と

ドイツの現代アーティスト 9.17
—10.17 BankART 1929 Yoko-
hama/BankART Studio NYK
美術手帖 870
美術手帖 872 市原研太郎
毎日夕刊 10.4 三田晴夫
読売夕刊 9.22 前田恭二
GLOBAL PLAYERS in galleries
9.12—9.24 ギャラリーなつか/
コバヤシ画廊/ギャラリイK/ギ
ャラリー現/ギャラリー山口/ギ
ャラリー東京ユマニテ/藍画廊/
ギャラリー21+葉/なびす画廊/
ギャラリーQ/東京画廊/ギャラ
リー 菊/CAI Contemporary Art
Institute
グローバルメディア 2005 おたく
：人格=空間=都市 2.5—3.13
東京都写真美術館
ユリイカ 506 森川嘉一郎
朝日夕刊 2.28
産経 3.8 岡本耕治
毎日夕刊 4.18 ヤマダトモコ
読売夕刊 3.8 石田汗太
黒川古文化研究所名品展 4.16—
5.15 黒川古文化研究所
黒田清輝、岸田劉生の時代 コレク
ションにみる明治・大正の画家た
ち 9.3—3.12 ポーラ美術館
群炎展43回 2.14—2.26 東京都美
術館
新美術新聞 1052 (Y・I)
群馬青年ビエンナーレ'05 6.11—
7.18 群馬県立近代美術館
群馬の埴輪と古墳文化 群馬県立歴
史博物館交流展 4.23—5.29 石
川県立歴史博物館
(ケ)
景観 もとの島 2.1—2.28 せん
だいメディアテーク
美術手帖 863 清水建人
美術手帖 863 和田浩一
慶珊寺の遺宝—武州富岡の古刹—
6.9—7.10 神奈川県立金沢文庫
新羅1000年の都 慶州の古瓦 10.3
—11.26 天理ギャラリー
芸術院の日本画 日本芸術院所蔵
4.29—6.12 天竜市立秋野不矩美

術館(茨城県天心記念五浦美術館、大丸ミュージアムKOBÉ、秋田市立千秋美術館)
芸術館ファンタジー 12.17—3.12
 北海道立釧路芸術館
芸大コレクション展 資料は繋ぐ—名作と下絵・連作 4.8—5.29
 東京芸術大学大学美術館
芸能人の多才な美術 田原市誕生2周年 8.20—8.29 田原市博物館
激動の幕末を拓いた藩士たち 10.25—12.11 須坂市立博物館
元気がでるアート展'05 in まちや 1.14—1.19 ムーブ町屋
 朝日 1.14
源氏絵—古典美への憧れ— 2.27—3.27 和泉市久保惣記念美術館
源氏絵—華やかなる王朝の世界— 1.8—3.6 出光美術館
 芸術新潮 663
 目の眼 341
 朝日夕刊 1.29 山盛英司
 読売 1.26—28 内藤正人
源氏物語の意匠 11.9—12.11 名古屋屋左文庫
検証! 兵庫の災害史—その時、なにが起きたのか— 1.15—3.21 兵庫県立歴史博物館
 博物館研究 445 堀田浩之
「幻触」展 6.4—8.6 鎌倉画廊
 毎日夕刊 7.5 三田晴夫
 読売夕刊 6.16 前田恭二
幻想のコレクション 芝川照吉 劉生、達吉、柏亭らを支えたもう一つの美術史 12.6—1.29 渋谷区立松涛美術館
 芸術新潮 672 瀬尾典昭 談
 芸術新潮 674
 毎日夕刊 12.27 三田晴夫
現代ガラス大賞展2回・富山2005 8.26—9.25 富山市民プラザ・アートギャラリー
 新美術新聞 1062
 新美術新聞 1068 川上貴裕
現代ガラスの挑戦—光の彫刻展 Toyama City Collection 6.4—8.21 菊池寛実記念智美術館
現代漆芸の巨匠—日本芸術院会員と人間国宝— 3.3—5.30 石川県

輪島漆芸美術館
現代世界の建築家展 6.17—7.31
 GAギャラリー
 読売夕刊 7.23 高野清見
現代石窟プロジェクト・1千年のメッセージ 3.15—3.20 朝日アートギャラリー
 朝日 3.15
現代中国の美術展 中国第10回全国美術展受賞優秀作品による 12.10—2.5 茨城県近代美術館(新潟市美術館、日中友好会館美術館、福岡アジア美術館)
銅版画の地平Ⅲ 現代銅版画の交差路 12.3—2.26 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
 毎日夕刊 12.2 石川健次
現代日本彫刻展21回 10.1—11.13 宇部市野外彫刻美術館
 毎日 10.13 渡辺亮一
現在のポートレート〜You are here〜 11.21—1.22 パルテノン多摩
現代版画の潮流 2.26—3.27 町田市立国際版画美術館
 新美術新聞 1049 滝沢恭司
 版画芸術 127 秋田
現代美術のABC〜アートはあなたのそばにある〜平成17年度市町村立美術館等活性化事業 7.23—8.28 福井市美術館(新潟市新津美術館、八幡浜市民ギャラリー、周南市美術館)
現代レアリズム絵画展二回—現代写実絵画研究所—存在への問いかけ 4.27—5.3 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 1054 米倉守
遣唐使と唐の美術 7.20—9.11 東京国立博物館
 新美術新聞 1068 山下裕二
 ユリイカ 513 竹西寛子
 朝日 7.13 渡辺延志
 東京 8.4 (青)
遣唐使と唐の美術 9.20—10.10 奈良国立博物館
 芸術新潮 671 木下直之
гент美術館名品展 西洋近代美術のなかのベルギー 6.11—9.4 世田谷美術館(高松市美術館、い

わき市立美術館、埼玉県立近代美術館)
 新美術新聞 1058 遠藤望
 東京 6.25 中村隆夫
 読売 5.30
 読売 6.7 高木陽子
 読売 7.5、6 遠藤望
原爆と呉 8.5—8.31 大和ミュージアム
源平合戦と北陸—義経伝説を育んだふるさと— 7.23—8.28 石川県立歴史博物館
源平合戦を馬が行く 2.16—4.17 馬の博物館
源流の縄文遺跡—宮の平遺跡の全貌— 6.25—7.24 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

(コ)

小磯良平大賞展7回 小磯絵画の逸品 神戸市立小磯記念美術館所蔵品から 5.26—5.30 大丸ミュージアム(東京)
古伊万里展—古九谷・柿右衛門・金襴手— 9.10—12.24 松岡美術館
 目の眼 349
恋よりどきどき コンテンポラリーダンスの感覚 アイステーション 10.1—10.13 東京都写真美術館
 芸術新潮 671
 美術手帖 871
 美術手帖 873 岡見さえ/松井茂
皇后陛下のご養蚕と正倉院裂の復元 3.12—4.3 宮内庁三の丸尚蔵館
考古学から見た摂津 8.20—9.23 大阪青山歴史文学博物館
考古学へのいざない—最新発掘資料から中野を探る— 7.19—8.31 中野区立歴史民俗資料館
考古基準資料 6.14—6.11 九州歴史資料館
 デアルテ 22 加藤和哉
侯爵鍋島家のくらし展Ⅳ 邸内を彩るやきもの 9.12—12.9 徴古館(財団法人鍋島報効会)
構造社展 昭和初期彫刻の鬼才たち 9.11—10.23 宇都宮美術館(福井

市美術館、札幌芸術の森美術館、
松戸市立博物館)
美術手帖 873 北澤憲昭
朝日夕刊 9.22 山盛英司
高台寺時絵と南蛮漆器 新春特集陳
列 1.2—2.20 京都国立博物館
高知遺産 いきなり、東京展 7.13
—8.14 ブックギャラリー ポポ
タム
美術手帖 871 高嶋雄一郎
皇帝を魅了したうつわ—中国景德鎮
窯の名宝— 4.1—7.18 出光美
術館
デアルテ 22 宗像晋作
鴻池コレクション扇絵展 浮世絵編
7.1—7.26 太田記念美術館
目の眼 347
興福寺創建1300年記念 国宝 仏頭
9.21—10.16 東京国立博物館
朝日夕刊 10.11 田中三蔵
幸福のかたち展 3.25—9.25 愛知
万博長久手会場
日経 4.2 白木緑
弘法大師御誕生所・善通寺展—出開
帳と四国八十八ヶ所お砂踏み—
総本山善通寺創建1200年記念
3.3—3.16 近鉄百貨店(大阪)(松
坂屋(上野)、大丸(博多)、福屋
(広島)、松坂屋(名古屋))
公募展 書写の里・美術工芸館開館
・播磨工芸会設立10周年記念
3.12—3.27 姫路市書写の里・美
術工芸館
高龍寺宝物展 10.7—10.11 高龍
寺
市立函館博物館研究紀要 16 小
栗祐美/藤岳美穂/小黑春香
古義堂文庫展—伊藤仁斎没後三百年
を記念して— 5.15—6.12 天理
ギャラリー
古今和歌集1100年 新古今和歌集
800年記念 平安の仮名 鎌倉の
仮名—時代を映す書のかたち
11.5—12.18 出光美術館
読売 11.16、19 別府節子
古今和歌集の世界—やまとうたは人
の心をたねとして— 古今和歌集
成立1100年記念 徳川美術館開館
70周年 日本経済新聞名古屋印刷

25周年 1.4—1.30 徳川美術館
国画創作協会の画家たち—新樹社創
立会員を中心に— 5.3—
5.29 星野画廊
国際協働プロジェクト「グローバル
・スーク」展 5.27—7.31 東京
大学総合研究博物館小石川分館
国際公募アート未来展10回 7.8—
7.17 東京都美術館
新美術新聞 1066
国際陶磁器フェスティバル美濃'05
7.1—8.31 セラミックパーク
MINO
国勢を計る 公文書で見る統計の歩
み 10.1—10.20 国立公文書館
古九谷名品展 6.25—6.26 芭蕉の
館
目の眼 346
古九谷浪漫 華麗なる吉田屋展 加
賀の美—180年の時を超えて
12.30—1.16 松屋(銀座)(石川県
九谷焼美術館、高島屋(京都)、茨
城県陶芸美術館、松坂屋美術館)
新美術新聞 1075 徳田八十吉
朝日夕刊 12.26
国宝源氏物語絵巻 徳川美術館開館
70周年記念 NHK名古屋開局80
周年記念 11.12—12.4 徳川美
術館
国宝 その美とところ 高山市合併
記念 東京国立博物館巡回展
4.8—5.8 飛騨・世界生活文化セ
ンターミュージアム温故知新
国宝初音の調度—千代姫の嫁入り道
具—徳川美術館開館70周年記念特
別展 5.28—6.19 徳川美術館
極楽—北陸の浄土教美術— 3.26—
5.8 福井市立郷土歴史博物館
こけし五彩—みちのくの手わざ—
7.6—9.5 天理大学付属天理参考
館
ここまでわかった武蔵国府 遺跡の
世界2004 府中市制施行50周年記
念 2.5—3.13 府中市郷土の森
博物館
心の風景—寺田小太郎の眼から
10.8—12.4 川越市立美術館
御所人形の名作と近代の絵画 4.9
—5.22 静嘉堂文庫美術館

芸術新潮 667
不来方会展12回 8.18—8.25 ギャ
ラリーおでつて/風のギャラリー
古代エジプト展 ルーヴル美術館所
蔵 8.2—10.2 東京都美術館(名
古屋市博物館、福岡市博物館)
東京 1.4
東京 8.25 鈴木まどか
東京 8.26 村治笙子
東京 8.27 松本弥
東京 9.3 中村隆夫
東京 9.8 (青)
古代エジプト展 甦る5000年の神秘
ドイツ・ヒルデスハイム博物館所
蔵 7.28—8.28 大丸ミュージア
ム(東京)
古代エジプト文明3000年の世界
2.2—3.21 京都府京都文化博物
館(古代オリエント博物館、浦添
市美術館、鹿児島歴史資料セン
ター黎明館)
古代エジプトへの扉 収集家の見た
悠久と神秘 4.29—8.14 横浜ユ
ーラシア文化館
古代の旅—人とのものの通るみち—
4.19—5.29 東北歴史博物館
古地図に見る「中国」 安東聖空展
3.5—4.17 神戸市立博物館
寿ぎの美—新春、雛、端午など—
12.23—4.2 細見美術館
こどもとおとなの美術入門 カラフ
ル! 7.30—9.4 群馬県立近代
美術館
こどもパラダイス 10.1—12.25
弥生美術館/竹久夢二美術館
こどもも!おとなも!調べて納得博
物館 わたしたちがいま小学校で
習っている社会の教科書で亀山の
歴史をのぞいてみよう 7.2—
8.29 亀山市歴史博物館
この一品〜和時計〜 10.4—11.27
諏訪市博物館
古筆と極め 4.21—7.10 茶道資料
館
古墳時代の池島・福万寺遺跡—初め
てのすみごち— 1.14—1.30
日本民家集落博物館
古墳の終焉と葬送儀礼 近江の終末
期古墳 3.27—5.15 栗東歴史民

俗博物館
古墳を飾る 音乗谷古墳の埴輪 8.2—8.31 奈良文化財研究所飛鳥資料館
こまと木のおもちゃ 1.6—2.13 姫路市書写の里・美術工芸館
古密教 日本密教の胎動 7.26—9.4 奈良国立博物館
古民家で見えるひな人形展 2.19—3.3 立花大正民家園旧小山家住宅
朝日 2.28
コムデギャルソンのためのコムデギャルソン展 8.20—8.31 新宿パークタワー
読売夕刊 7.22 大森亜紀
米づくりの道具たち—犁と唐箕と横浜の農具— 2.5—3.13 横浜市歴史博物館
コレクション大公開! 9.10—1.9 神戸市立小磯記念美術館
コレクションでたどる美術館50年の歩み 愛知県美術館開館50周年記念 10.7—12.4 愛知県美術館
コレクションにみる文化会館の足跡40年のあゆみと美術 4.21—5.5 香川県文化会館
殺す・な博 2.27 青山ブックセンター本店
美術手帖 865 榎木野衣/小田マサノリ/工藤キキ/山本ゆうこ/ヲノサトル/宇治野宗輝/伊東篤宏/カスガアキラ/田中偉一郎/山川冬樹/点/木下勝弘
痕跡—戦後美術における身体と思考 1.12—2.27 東京国立近代美術館
毎日夕刊 2.22 三田晴夫
読売夕刊 2.10 前田恭二
Continue Art Project 2006 7.31—8.20 新潟県上越市(上野・桜木・谷中)
今日の作家展2005 私をひらく美術4人の作家によるワークショップと展示 2.25—3.20 横浜市民ギャラリー

(サ)

さあ!みんなで版画体験しようよ!! 9.15—10.16 天栄村ふ

るさと文化伝承館
サイエンス+フィクション ナノ世界とグローバルカルチャーのはざままで 12.10—2.27 日本科学未来館
AXIS 120 山本容子
美術手帖 874
美術手帖 877 茂木健一郎
再興院展 90回の歩み展 10.18—10.30 三越(日本橋)
新美術新聞 1070 高岡忠雄
最後の神奈川奉行 依田伊勢守盛克開館75周年記念 12.15—2.15 神奈川県立金沢文庫
彩色土器とその技術 7.5—8.7 北海道開拓記念館
最新出土考古資料 7.11—12.28 印旛郡市文化財センター
さいたまの旧石器 ミニ企画展 2.1—2.27 さいたま市立博物館
埼玉ゆかりの芸術家—近代・現代の埼玉の美術/特集:斎藤英一— 7.23—10.16 サトエ記念21世紀美術館
最澄と天台の国宝 天台宗開宗一二〇〇年記念 10.8—11.20 京都国立博物館(東京国立博物館)
芸術新潮 672
サイト・グラフィックス—風景写真の変貌—展 1.20—4.10 川崎市市民ミュージアム
美術手帖 863 土屋誠一
ザイログラフアー木口木版画7人 9.15—9.25 鹿島神社参集殿
THEうるし展・II—香りのうつわ— 3.5—3.13 ボーラミュージアム
アネックス
日経 2.23
榊原家のれきし絵巻—徳川四天王康政とその系譜— 10.8—11.13 上越市立総合博物館
THE COLORS 9.14—10.23 女子美アートミュージアム
桜サクラさくら2005—大屏風も見参!— 横山大観 菱田春草 奥村土牛 東山魁夷 千住博 3.12—5.8 山種美術館
朝日夕刊 4.12 西田健作
挿絵本のたのしみ—近代西洋の彩り

11.19—2.19 うらわ美術館
芸術新潮 672 坂本満
THE SHOP—現代美術の着心地— 8.1—8.12 旧「GINZA men's wear」
朝日夕刊 8.4 栗田玲子
毎日夕刊 8.8 三田晴夫
サスティナブル・アートプロジェクト2005 台東・言問通り現代美術展「言の伝え—町も人も見つめる—」 10.14—10.30 東京都台東区上野桜木空き地/旧坂本小学校/旧平櫛田中邸/その他野外
美術手帖 873 白坂ゆり
東京 10.19 丹治早智子
サッポロ未来展4回 3.14—3.19 時計台ギャラリー
美術の窓 260 切刀知子
薩摩拵—武の国の刀装— 8.16—11.6 鹿児島県歴史資料センター黎明館
薩摩藩英国留学生 渡航140年記念 5.17—8.7 鹿児島県歴史資料センター黎明館
佐藤国際文化育英財団奨学生美術展13回 1.18—2.25 佐藤美術館
東京 1.29 藤田一人
里内勝治郎と里内文庫 10.8—11.13 栗東歴史民俗博物館
佐藤雅彦研究室展 課題とその解答 8.4—8.29 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
デザインの現場 143 石井芳征
毎日夕刊 8.9 内藤麻里子
佐藤康郎コレクション 收藏精華作品 4.16—11.30 康耀堂美術館
里帰りした赤羽刀—GHQ接收刀剣の輝き— 5.21—6.26 長野県立歴史館
「里山と在る」展 アートプログラム 青梅2005 10.3—11.23 BOX「KI・O・KU」(都立繊維試験場)/SAKURA FACTORY 北ブース(旧青梅織物工業組合クリーニング工場)/Gallery MAYU-GURA(旧青梅織物工業組合発券倉庫)/吉川英治記念館
美術手帖 874 保坂健二朗
真田家の科学技術 9.7—12.5 真

田宝物館
讃岐のうるし工芸 文化会館所蔵作品展 1.22—2.20 香川県歴史博物館(香川県文化会館)
SUMMER SHOW 2005 8人の作家による新作 7.19—8.10 西村画廊
さまざまな技法・手法 文人画館蔵作品 12.10—1.29 田辺市立美術館
someday, for somebody いつかの、だれかに 阪神大震災・記憶の〈分有〉のためのミュージアム構想 | 展 2005 冬 神戸 1.14—1.23 CAP HOUSE
芸術新潮 663 木下直之
サロン・デ・ボザール 公募 11.26—12.1 東京都美術館
The World is Mine #2 1.7—2.5 Hiromi Yoshii Five
美術手帖 862 福住廉
三溪園をえがく プレ開園100周年記念 8.1—8.31 三溪記念館
山水—東洋の理想郷— 5.20—7.3 大和文華館
サントリー美術館名品展—日本美術の精華— 9.23—10.23 石川県立美術館
300%スパニッシュ・デザイン 7.16—10.10 埼玉県立近代美術館
朝日夕刊 9.9 西岡一正
山野を駆ける土偶 その移り変わり と祈りの道具 3.19—5.8 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
(シ)
CWAJ現代版画展 10.21—10.23 東京アメリカンクラブ
毎日 10.12 江森敬治
字界へ—隘路のかたち 7.29—8.10 長久手町文化の家/町内4か所
美術手帖 871 金井直
詩画軸—描かれた詩の世界— 10.1—12.4 正木美術館
『色紙で見るアトリエ村』花岡謙二とその仲間たち 12.26—12.27 アトリエ村資料室
読売 11.26

自給自邸—セルフビルド魂万歳—
9.1—11.19 INAXギャラリー1 (INAXギャラリー名古屋、INAXギャラリー大阪)
読売夕刊 10.1 高野清見
読売夕刊 11.2 芥川喜好
至芸の世界—石川ゆかりの芸術院会員・人間国宝— 10.27—12.23 石川県立美術館
石川県立美術館だより 266
獅子の会6回 8.1—8.6 シロタ画廊
静岡New Art「あなたの居場所」展 9.28—10.10 静岡県立美術館/旧浜松銀行協会
静岡文化芸術大学デザイン学部生産造形学科有志卒業制作展 3.19—3.21 AXISギャラリー
AXIS 115
紫星美術展36回 7.5—7.11 新宿区立区民ギャラリー
読売 7.8
自然から生まれた美 朝鮮陶磁 7.8—8.21 大和文華館
自然と生命 コレクション名作選1 近代日本洋画 3.2—4.24 メナード美術館
自然のかなた—現代美術家の視点— 5.15—7.3 姫路市立美術館
自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ 3.11—5.8 愛知県美術館
新美術新聞 1050 深山孝彰
朝日夕刊 3.31 田中三蔵
東京夕刊 3.31 河合隼雄
日経 2.26 白木緑
日経 3.30 宝玉正彦
毎日夕刊 3.30 三田晴夫
読売夕刊 4.7 前田恭二
時代を映す街角のアート 3.5—4.17 たばこと塩の博物館
時代を飾ったポスターたち—竹尾ポスター・コレクション室開設記念— 1.6—2.20 多摩美術大学美術館
産経 1.17
時代をこえた女性の手仕事 魅惑の1000年 ヴェネツィアン・ビーズ 11.15—11.20 三越(日本橋)
漆工の美 1.4—2.13 滋賀県立琵琶湖文化館

琵琶湖文化館
四天王寺 新春名宝 1.1—2.12 四天王寺
詩の上州展 草野心平と群馬の詩人たち 10.8—12.4 いわき市立草野心平記念文学館
思文閣大文化祭 日本の美と文化の祭典 5.1—5.3 東京美術倶楽部
写真展 地球を生きる子どもたち 2.5—3.21 Bunkamuraザ・ミュージアム
朝日夕刊 6.15 平木収
読売夕刊 2.9 芥川喜好
長崎の美術1 写真/長崎 4.23—6.26 長崎県美術館
写真はものの見方をどのように変えてきたか1 誕生 開館10周年記念特別企画 東京都写真美術館コレクション展 4.2—5.22 東京都写真美術館
朝日夕刊 5.17 西田健作
毎日夕刊 5.2 飯沢耕太郎
読売 4.7
写真はものの見方をどのように変えてきたか2 創造 開館10周年記念特別企画 東京都写真美術館コレクション展 5.28—7.18 東京都写真美術館
東京 6.11 藤村里美
毎日夕刊 6.10 米本浩二
写真はものの見方をどのように変えてきたか3 再生 開館10周年記念特別企画 東京都写真美術館コレクション展 7.23—9.11 東京都写真美術館
アートトップ 205 (根)
写真評論家・飯沢耕太郎の個展 4.12—6.18 紙百科ギャラリー
読売夕刊 5.23
Shadow Boxのぞいてみよう華麗なペーパーアート・3-Dの世界 1.22—2.27 たばこと塩の博物館
ジャパン・アヴァンギャルド—アングラ演劇傑作ポスター展— 4.28—5.18 THEATRE1010ギャラリー
朝日 2.23
写楽・歌麿と黄金期の浮世絵 9.3—10.16 千葉市美術館

収蔵品展 1.11—3.4 国際基督教
 大学博物館湯浅八郎記念館
十二天画像と山水屏風—平安の雅—
 1.2—2.13 京都国立博物館
珠玉の日本美術 細見コレクション
 ・リクエスト展05 7.29—9.11
 細見美術館
宿院仏師—戦国時代の奈良仏師—
 5.28—7.10 奈良国立博物館
名勝縮景園の原風景—縮景園山荘図
を中心に— 10.29—11.27 広島
 城
宿場のうつりかわり～亀山・関・坂
下～ 10.1—11.27 亀山市歴史
 博物館
朱苾会3回 8.17—8.23 高島屋(日
 本橋)
出土品 10.29—11.23 津南町農と
 縄文の体験実習館 なじもん
朱葉会秋季展2005 11.21—11.27
 銀座アートホール
修羅と菩薩のあいだで—もうひとり
の人間像— 10.25—1.15 京都
 市美術館
～春光うらら～さくら・桜展 箱根
・芦ノ湖 成川美術館コレクショ
ン 4.7—5.19 天童市美術館
上円下方墳の発掘調査～武蔵府中熊
野神社古墳 10.31—3.13 府中
 市郷土の森博物館
松花堂昭乗の眼差し～絵画にみる美
意識～ 10.21—11.27 八幡市立
 松花堂美術館
城下の正月行事 馬威し 1.5—
 2.27 福井市立郷土歴史博物館
将軍のアーカイブズ 4.5—4.24
 国立公文書館
小説に読む考古学 松本清張文学と
中近東 3.19—7.10 中近東文化
 センター
正倉院展57回 10.29—11.14 奈良
 国立博物館
朝日夕刊 10.24 荒谷一成
読売 7.31 木村未来
読売 9.26
読売 10.21
読売 10.28
読売夕刊 10.25 池口次郎
読売夕刊 10.31

読売夕刊 11.1
読売夕刊 11.2
読売夕刊 11.4
読売夕刊 11.5
読売夕刊 11.7 陳舜臣
熊本的美術展25回 小代焼 10.21
 —12.4 熊本県立美術館
デアルテ 22 高浜州賀子
松涛美術館公募展2005 2.12—2.27
 渋谷区立松涛美術館
聖徳太子と国宝法隆寺展 8.13—
 9.25 愛媛県美術館(兵庫県立歴
 史博物館)
 博物館研究 443 原田平作
情熱の人坪内逍遙 2.5—3.21 美
 濃加茂市民ミュージアム
少年藩主のお国入り—松平春嶽と家
臣たち— 3.1—5.8 福井市立郷
 土歴史博物館
松伯美術館花鳥画展 公募展11回
 2.15—3.24 松伯美術館
聖武天皇とその時代—天平文化と近
江— 7.16—9.11 滋賀県立安土
 城考古博物館/滋賀県立琵琶湖文
 化館
聖武東遊—騎馬軍団東へ— 12.23
 —3.5 四日市市立博物館
縄文VS弥生 7.16—8.31 国立科
 学博物館
新美術新聞 1061 藤尾慎一郎
新美術新聞 1068 山下裕二
産経 7.30 猪谷千香
縄文人の祈り 8.2—8.25 塩尻市
 立平出博物館
縄文の大地に祈る 一関市舞川・清
水遺跡が語るもの 7.23—9.11
 一関市博物館
縄文の美—亀ヶ岡文化の世界—
 4.26—5.29 徳島県立博物館
昭和の美術 1945年まで—〈目的芸
術〉の軌跡 11.3—12.11 新潟県
 立近代美術館
美術手帖 874 足立元
朝日夕刊 11.17 田中三蔵
昭和の名作展 1930年代から1950年
代まで 11.23—1.22 神奈川県
 立近代美術館(鎌倉)
朝日夕刊 12.16 西田健作
昭和40年会 presents「7人の小侍+

1」 10.21—11.20 ANPONTAN
 STUDIO VOICE 360 楠見清
昭和を生きた今良寛 清水公照・清
水比庵2人 8.27—10.2 姫路市
 書写の里・美術工芸館
食と現代美術 part 1 2.18—3.15
 BankART 1929 Yokohama/Bank-
 ART Studio NYK
朝日夕刊 3.1 西田健作
芸術新潮 664
 BankART Life 創刊号 村田真
テーマ展4回 食のうつわ—江戸時
代の碗・皿— 3.15—4.5 九州
 陶磁文化館
触発と異層 5.15—6.12 多摩美術
 大学附属美術館
植物画世界の至宝展 500年の大系
英国王立園芸協会創立200周年記
念 6.11—7.18 東京芸術大学大
 学美術館
朝日夕刊 7.8 西田健作
新美術新聞 1059 熊澤弘
植物画の世界 高知県立牧野植物園
所蔵作品を中心に 4.16—6.12
 群馬県立館林美術館
曙光の時代—ドイツで開催した日本
考古展— 3.23—5.8 奈良国立
 博物館
文化財* 498
文化財* 504 岩戸晶子
女子美術員作品 4.13—7.25 女子
 美アートミュージアム
書之美—古筆・手紙・墨蹟・画賛—
 1.5—2.13 大和文華館
女流文人の筆跡と秩父・高松両宮妃
のご遺愛鑑 新春特別展 2.26—
 4.10 大阪青山歴史文学博物館
ジョン・グールドの鳥類図譜 清子
内親王殿下出版記念 10.23—
 11.25 玉川大学教育博物館
白洲正子とその世界 7.7—7.18
 高島屋(日本橋)
 東京 7.2 河合隼雄
 東京 7.7 須藤孝光
シルクスクリーン8人 8.22—9.3
 養清堂画廊
シルクロード—土器と陶器の世界—
平山郁夫コレクション展3 4.23
 —12.18 湘南国際村センターK

—FACE展示室
シルクロードの仏たち 4.1—7.3
平山郁夫シルクロード美術館
新美術新聞 1052 前田たつひこ
シルクロード 装いの美 8.6—
9.30 大倉集古館
神宮の刀 1.1—3.6 神宮徴古館
神宮奉納美術—心とかたち— 9.14
—11.13 神宮美術館
しんげんち 1.17—2.20 SPICAart
美術手帖 863 福住廉
新作刀展覧会 平成十七年 6.7—
6.19 刀剣博物館/大阪城天守閣
新収資料の公開 1.12—2.13 国立
歴史民俗博物館
新収蔵品展 2.11—3.21 石川県立
歴史博物館
新春の万葉日本画展 1.6—3.13
奈良県立万葉文化館
信州モノづくり博覧会 10.1—
11.20 長野市立博物館
信州舞台物語—団十郎も須磨子もや
ってきた— 10.1—11.13 長野
県立歴史館
新宿ゴールデン街アート・ウェーブ
(GAW)展 PART 5 9.26—10.9
新宿ゴールデン街50店舗および路
地
ギャラリー* 245
新春展—収蔵品を中心に— 1.9—
1.30 とちぎ蔵の街美術館
新春の日本画 1.5—1.30 山種美
術館
新春を祝う 1.4—2.6 石川県立歴
史博物館
新シルクロード 幻の都楼蘭から永
遠の都西安へ 4.16—7.3 江戸
東京博物館(兵庫県立美術館、岡
山市デジタルミュージアム)
芸術新潮 666
産経 1.1
産経 1.15
産経 2.28
産経 3.15—17 井上隆史
産経 4.13
産経 4.23—27 松本伸之
東京 5.26 (青)
新星展 9.5—9.10 銀座スルガ台
画廊

新世紀・名古屋城博へよみがえる金
シャチ伝説〜 3.19—6.19 名古
屋城
芸術新潮 665 木下直之
昭和初期の風景—新東京百景創作版
画より 5.10—6.12 福岡市美術
館
エスプラナード 139 山本香瑞
子
神仏—信仰と造形— 8.26—10.2
大和文華館
新道展50周年 記念半世紀の軌跡—
過去・現在そして未来へ 11.9—
11.20 北海道立近代美術館
新・松阪の埋蔵文化財 2.13—3.13
文化財センターはにわ館
親鸞と青砥藤綱—東京下町の歴史伝
説を探る— 11.3—12.11 葛飾
区郷土と天文の博物館

(ス)

アミューズランド2006 スイート・
メモリーズ 12.14—1.29 北海
道立近代美術館
水彩人展7回 9.5—9.10 銀座東
和ギャラリー
美術の窓 265
スイス現代美術展 リアルワールド
—現実世界 12.17—2.26 千葉
市美術館
AXIS 120 木村有理子
採蓮* 9 水沼啓和
美術手帖 874
スイス・スピリッツ 山に魅せられ
た画家たち 10.29—12.23 松本
市美術館(島根県立美術館、Bun-
kamuraザ・ミュージアム)
スイスポスター100年展 12.2—
12.22 ギンザ・グラフィック・
ギャラリー
STUDIO VOICE 361
産経 12.8
隋唐の美術 中国国家博物館所蔵
正倉院宝物の故郷を辿る 4.9—
6.5 佐川美術館
水墨画・古筆と陶芸 館蔵春の優品
展 4.2—5.8 五島美術館
水墨画と花籃 7.11—10.1 敦井美
術館

水墨の美—再発見 富山県水墨美術
館名品展 4.29—6.5 徳島県立
近代美術館
スウェーデンスタイル東京2005
11.2—11.12 スウェーデン大使
館
STUDIO VOICE 359
スーパービュア2005 BLACK OUT
9.16—10.22 ヨコハマポータルサ
イドギャラリー
スーパービュア2005 ホイールアー
トの作家たち 10.17—10.23 障
害者スポーツ文化センター横浜ラ
ボール
スーパービュア2005 もうひとつの
美術館の足跡 10.7—11.6 ザ・
イム
菅橋彦大賞展6回 8.17—8.23 高
島屋(難波)(倉吉博物館)
数寄者達 琳派以後の方法 1.4—
2.6 群馬県立近代美術館
スコットランド国立美術館展 11.5
—12.25 Bunkamuraザ・ミュー
ジウム(新潟市美術館、奈良県立
美術館)
毎日 11.2 佐々木千春
毎日 11.4 三田晴夫
毎日 12.4 宮澤政男
スゴンザックの農耕詩 10.22—
11.27 石神の丘美術館
須坂吉向 吉向開窯200年記念 9.8
—12.5 田中本家博物館
須坂の町並みにみる 匠の技 7.26
—9.11 須坂市立博物館
鈴鹿や富士を翔けた名車たち 4.23
—5.29 四日市市立博物館
鈴木正三いま心の時代をひらく 鈴
木正三没後350年記念事業 5.28
—8.7 豊田市郷土資料館
硯と煙草盆—井伊家伝来の調度から
— 1.28—2.22 彦根城博物館
ストーリーテラーズ—アートが紡ぐ
物語— 3.29—6.19 森美術館
朝日夕刊 5.26 田中三蔵
美術手帖 866 平野千枝子
スヌーピー ライフデザイン展
11.19—1.15 東京国際フォーラ
ム
産経 11.14

スペイン現代写真家10人展 3.19—4.24 東京都写真美術館
SPACE WALKING 開館10周年記念展 4.15—7.3 下山芸術の森発電所美術館
毎日夕刊 3.31 三田晴夫
住み心地はどうですか? リビングデザインセンターOZONE10周年 2.24—4.5 リビングデザインセンターOZONE
すみだ3M運動 2.7—2.17 すみだリバーサイドホール・ギャラリー
朝日 2.11
住友コレクション 大判・小判と世界のコイン 9.1—10.23 泉屋博物館分館
スモール・ビューティフル: スイス・デザインの現在 9.27—10.23 D-秋葉原テンポラリー
日経 8.29
スレータ・ブラッドレー 11.11—12.10 タカ・イシイギャラリー
美術手帖 872
諏訪の建築展 パネル展 1.1—1.23 諏訪市博物館エントランスホール

(セ)

生活の中の考古学〜道具から見た昔のくらし〜 11.1—1.22 盛岡市遺跡の学び館
聖地への憧れ 中世東国の熊野信仰 10.8—11.20 神奈川県立歴史博物館
青銅の鏡 日本 10.15—11.13 黒川古文化研究所
聖なるものの造形 3.15—6.12 MIHO MUSEUM
清風会 5.30—6.4 銀座スルガ台画廊
西洋絵画 コレクション名作選2 2005年愛知万博開催記念展 4.27—7.3 メナード美術館
西洋美術への招待 収蔵品展—リアリズムへの歩み、そして20世紀へ— 12.21—2.12 静岡県立美術館
世界遺産写真展 III TBSテレビ「世

界遺産」オフィシャルイベント 2.23—3.7 高島屋(横浜)
世界障害者絵画展 12.9—12.11 東京タワー タワーホール
読売 12.10
世界で一番いのちの短い国 4.20—5.5 エセナおおた
東京 5.1
世界の呼吸法 アートの呼吸 呼吸のアート 川村記念美術館開館15周年記念 7.9—8.21 佐倉市立美術館
朝日夕刊 7.28 田中三蔵
世界の呼吸法 アートの呼吸 呼吸のアート 川村記念美術館開館15周年記念 7.9—9.4 川村記念美術館
美術手帖 866
朝日夕刊 7.28 田中三蔵
世界の古代布・衣裳 その浪漫 9.17—9.20 東京国際フォーラム
世界の絞り 6.29—10.6 文化学園服飾博物館
世界のバリアフリー絵本 7.21—7.24 国立国会図書館国際子ども図書館
世界の版画名品選 6.14—7.10 和歌山県立近代美術館
世界報道写真展 6.18—7.31 東京都写真美術館
関野貞アジア踏査 平等院・法隆寺から高句麗古墳壁画へ 東京大学コレクションXX 6.4—9.4 東京大学総合研究博物館
芸術新潮 670 木下直之
建築史学 44 角田真弓
毎日夕刊 6.17 栗原俊雄
世田谷フィルムフェスティバル6回映画資料展「生誕100年映画監督・成瀬巳喜男」 1.29—4.10 世田谷文学館
瀬戸陶芸の精華展 2005年日本国際博覧会開催記念 3.9—3.21 三越(日本橋)
瀬戸と美濃のやきもの—江戸時代を中心に— 9.3—10.3 佐野美術館
瀬戸内海をのぞむ弥生のムラ 紫雲出山遺跡発掘50周年 12.22—2.5

平成17年美術展覧会(企ス、セ)

香川県歴史博物館
芹沢銈介のたからもの一箱とガラスと装身具— 9.17—11.27 静岡市立芹沢銈介美術館
ゼログラフィーと70年代 9.26—12.16 Fuji Xerox Art Space
大阪成蹊大学芸術学部紀要 2 星野高志郎
前衛の女性 1950—1975 7.24—9.11 栃木県立美術館
あいだ 118 北原恵/深澤純子/山口泰三/北村純子/田村敦子
美術手帖 871 光田由里
朝日夕刊 8.4 田中三蔵
毎日夕刊 8.15 三田晴夫
読売夕刊 8.11 前田恭二
戦国時代の相馬 1.22—3.20 野馬追の里原町市立博物館
全国水墨画展12回 11.26—12.1 東京都美術館
新美術新聞 1076
戦国大名常陸佐竹氏 開館30周年記念特別展2 2.5—3.21 茨城県立歴史館
戦後美術と下関 2.9—3.21 下関市立美術館
戦後60年写真展「米国人の撮った日本 東京」 7.11—7.22 丸ビル1階マルキューブ、3階回廊
毎日 7.16 益子香里
戦後を駆けぬけた生き証人たちの魂の記録 敗戦60周年記念特別企画 7.25—8.31 アートギャラリー環
朝日夕刊 8.11 田中三蔵
戦時中の食—1937年—1945年—ライブラリー蔵書に見る 7.1—8.31 食の文化ライブラリー
染織・日本刀 2.8—3.27 神宮美術館
戦争と八戸市民—苦難とともに—戦後60年特別展 7.9—8.21 八戸市博物館
戦争の時代と港区〜館蔵資料を中心に〜 7.22—10.14 港郷土資料館
港郷土資料館だより 56 高山優
全揃い 富嶽三十六景展 9.1—9.25 太田記念美術館
仙台の縄文時代を見てみよう 4.22

—6.19 地底の森ミュージアム
先端芸術表現科修了作品展「Project
the Projectors 04—05台東」 1.14
—1.27 旧坂本小学校
朝日 1.21
煎茶道具展 館蔵〜煎茶のおもてな
し〜博物館セミナー〜ALITお茶
大学 4.29—6.5 入間市博物館
全陶展35回 6.30—7.6 東京都美
術館
新美術新聞 1065
全道展60周年記念 60年—全道展の
魅力 10.28—11.7 北海道立近
代美術館
前方後円墳の名付け親—蒲生君平と
宇都宮藩の山陵修補— 9.8—
11.27 栃木県立しもつけ風土記
の丘資料館
泉北アートプロジェクト ヒツジに
つながる郊外電車 アートとコミ
ュニティの出会い 3.8—3.13
和泉市久保惣記念美術館／内田町
ヒツジのいる公園／泉北高速鉄道
／泉北地域各スペース／堺市及び
和泉市の公園／堺市立福泉中央小
学校他
線路はつづくよ〜岐阜、鉄道のあゆ
み〜 7.16—9.4 岐阜県博物館

(ソ)

蒼穹の会展2回 12.19—12.24 シ
ロタ画廊
造形集団 海洋堂の軌跡 4.9—6.5
水戸芸術館現代美術ギャラリー
(札幌芸術の森美術館、鹿児島市
立美術館)
朝日夕刊 5.12 山盛英司
日経夕刊 4.25
創星記 6.14—6.25 小林画廊
漱石のいた日々 4.16—5.15 松山
市立子規記念博物館
現代美術の手法(7)「創造のさなか
に」展…ただ今、制作中!… 2.19
—3.31 練馬区立美術館
新美術新聞 1046—1048 横山勝
彦
朝日 2.20
朝日夕刊 3.23 大西若人
日経 3.6 白木緑

そこには深〜い意味がある 入門!
日本の画題 10.23—11.21 広島
城
素材への思い—力と可能性—展
9.17—10.23 美濃加茂市民ミュ
ージアム
目の眼 349
そして、未来へ——ヒロシマ賞受賞
作家のまなざし 4.16—6.16 広
島市現代美術館
日経 5.28 富田律之
卒業制作修了制作展 2004年度
3.13—3.15 女子美術大学

(タ)

大アンコールワット展 壮麗なるク
メール王朝の美 ブノンペン国立
博物館所蔵 10.29—12.18 そご
う美術館
日経 12.11 (資)
「大艦・巨砲ヲ造ル」—江戸時代の科
学技術—開館1周年記念 12.2—
12.25 佐賀県立佐賀城本丸歴史
館
大工を支えた工人達 左官とその道
具 8.8—9.9 GALLERY A⁴
茶道入門 VI 体験! 茶の湯 7.14—
9.25 茶道資料館
帯鉤—中国古代金工の美— 1.5—
3.7 天理大学附属天理参考館
大古美術 6.11—6.12 東京美術俱
楽部
大正・昭和女学生らいふ展 少女雑
誌にみる麗し乙女のエトセトラ
華宵、淳一の挿絵と吉屋信子の少
女小説 4.2—6.26 弥生美術館
大地に根づくころ 4.15—6.19 宮
崎県立西都原考古博物館
大唐王朝女性の美展 3.1—4.3 岡
山県立美術館
芸術新潮 663
大唐王朝女性の美展 4.9—5.22
大阪市立美術館
目の眼 344
台東区のたからもの—寺社所蔵の文
化財に見る歴史・文化— 9.27—
10.23 東京芸術大学大学美術館
大名の旅—徳島藩参勤交代の社会史
— 10.22—11.27 徳島市立徳島

城博物館
大名細川家一文と武の軌跡— 10.7
—11.6 八代市立博物館未来の森
ミュージアム(北九州市立いのち
のたび博物館)
デアルテ 22 福原透
台湾蘭嶼島の民具—先住民の伝統的
なくらし—天理ギャラリー124回
2.21—4.2 天理ギャラリー
高井悌三郎氏の調査の足跡 10.8—
12.4 辰馬考古資料館
高崎市タワー美術館所蔵名品展
4.2—6.12 松伯美術館
高崎藩の考古学 10.23—12.18 か
みつけの里博物館
高島秋帆の書画 西洋砲術家と唐様
の書 4.16—6.26 板橋区立郷土
資料館
高瀬五ヶ寺の仏さま 願行寺仏像修
復完成記念 10.30—12.20 玉名
市立歴史博物館こころピア
デアルテ 22 村上晶子
誰が袖図屏風と江戸時代のきもの
2.19—3.27 根津美術館
大名茶陶 高取焼 9.15—10.30
福岡市美術館
デアルテ 22 尾崎直人
目の眼 349
高取焼—遠州高取と古高取—
11.12—12.11 根津美術館
読売夕刊 11.26 前田恭二
開館記念vol.1 たからもの—写真
と言の葉 10.29—11.20 横浜市
民ギャラリーあざみ野
TAKINAMI PARTING PRESENTS
3.18—3.27 瀧波硝子旧本社工場
朝日 3.19
産経 3.19
多才の人・刀工—関土宗明と備前伝
の系譜 テーマ展1 4.29—6.12
—関市博物館
立山曼荼羅 物語の空間 7.23—
9.19 富山県[立山博物館]
読売夕刊 9.7 芥川喜好
田中寛コレクションと現代の陶芸
12.23—3.5 兵庫陶芸美術館
田中丸コレクション 土と火の造形
—九州陶磁器名品選 11.29—
1.29 福岡市美術館

田中吉政とその時代 山内一豊の傍
輩・田中吉政の生涯を探る 9.10
—10.16 市立長浜城歴史博物館
(岡崎美術博物館、柳川古文書館)
楽しい版画展 7.23—9.4 笠岡市
立竹喬美術館(稲沢市荻須記念美
術館)
『旅』出版記念展 11.28—12.9 ART
BOXギャラリー
ギャラリー* 248
旅するエキゾチシズム—日本の画家
たちが見た異国— 9.17—12.4
大阪市立近代美術館【仮称】
「旅する島」東京展 1.8—1.30
Rice+
STUDIO VOICE 350
旅する地球の水 ワクワクたいけん
2005 7.2—8.31 千葉県立中央
博物館
多摩美術大学情報デザイン学科デザ
インコース展 1.28—1.30 AXIS
ギャラリー
AXIS 115
多摩美術大学日本画 大学院修了制
作・学部卒業制作展2004 2.28—
3.6 東京銀座画廊
田宮模型の仕事 7.22—8.31 佐野
美術館
歎異抄 修復 端坊本 11.11—12.3
大谷大学博物館
丹波動乱—内藤宗勝とその時代—
10.22—12.11 日吉町郷土資料館
歎異抄—矢代幸雄が選んだ美の精粹
—没後30年記念 4.1—5.15 大
和文華館
日経 5.11 竹田博志

(チ)

地域を語るくらしの道具—水との関
わり— 10.13—12.28 調布市郷
土博物館
小さな骨の動物園 12.2—2.17
INAXギャラリー大阪(INAXギャ
ラリー名古屋、INAXギャラリー)
地下式横穴墓が残したもの! 7.15
—9.19 西都原考古博物館
地下に眠る神戸の歴史展 XII 4.9—
6.5 神戸市埋蔵文化財センター
地下4mの縄文伝説 7.16—9.4

長野県立歴史館
写真展 地球を生きる子どもたち
2.5—3.21 Bunkamuraザ・ミ
ュージアム(グランシップ(静岡コン
ベンションアーツセンター)展示
ギャラリー、松本市美術館、新潟
県立万代島美術館)
地球をささえる不思議な世界 キノ
コとカビのミラクルパワー
10.15—1.9 ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
知の宝庫—蓬左文庫の名品—新装開
館・文庫公開70周年記念特別展
4.6—5.29 名古屋市蓬左文庫
千葉市民美術展覧会36回 3.5—
3.25 千葉市美術館
ちひろが愛したアンデルセン アン
デルセン生誕200年記念 9.16—
11.29 安曇野ちひろ美術館
チベット砂曼茶羅の世界 7.2—
7.10 相田みつを美術館
毎日 7.9 佐々木順一
Ciao! 20th イタリア美術 ふくや
ま美術館コレクションより 9.30
—11.23 八王子市夢美術館
茶道具取合せ 館蔵 12.3—2.12
五島美術館
茶道具の美 住友コレクション
3.12—6.30 泉屋博古館
茶陶の源流—和のうつわ誕生—
4.23—6.26 出光美術館
芸術新潮 666
読売夕刊 5.28 前田恭二
茶と金沢貞顕 開館75周年記念特別
展 10.14—12.11 神奈川県立金
沢文庫
茶の湯の香合 10.5—12.4 茶道資
料館
茶の湯 名碗—新たなる江戸の美意
識 5.14—6.19 五島美術館(徳
川美術館)
中越震災義援展覧会 1.22—1.30
市川市木内ギャラリー
日経 1.26
中宮寺 国宝 菩薩半跏像 3.8—
4.17 東京国立博物館
芸術新潮 665
朝日夕刊 3.26 田中三蔵
やきものに親しむIV 中国・磁州窯

—なごみと味わい— 7.2—8.28
出光美術館
朝日夕刊 8.16 山盛英司
日経 6.18
中国青花展 華麗なるコバルトブル
ーの世界 4.23—9.4 松岡美術
館
陶説 629 後藤修
中国の近代絵画—一定静堂コレクシ
ョンの風景画— 6.5—7.24 和泉
市久保惣記念美術館
中国の陶芸 館蔵 6.25—7.24 五
島美術館
静嘉堂文庫の古典籍第五回 中国の
版本—宋代から清代まで— 2.19
—3.21 静嘉堂文庫美術館
中国☆美の十字路展 7.2—9.4 森
美術館(MIHO MUSEUM、九州国
立博物館、東北歴史博物館)
芸術新潮 669
美術手帖 866
朝日夕刊 8.30 宮代栄一
産経 7.26 岡本耕治
東京 8.18 (青)
日経 8.31 竹田博志
日経夕刊 8.24 張競
中世信濃の名僧 知られざる禅僧た
ちの営みと造形 10.15—11.23
飯田市美術博物館
長湫会 愛知県立芸術大学2005
1.12—1.18 高島屋(日本橋)
朝鮮陶磁の世界 9.30—12.23 高
麗美術館
朝鮮の「四君子」—梅・蘭・菊・竹—
1.8—3.27 高麗美術館
目の眼 342
朝鮮の美術—新羅の瓦を中心に—
7.1—9.25 高麗美術館
超ビジュアル—映像・知覚の未来学
開館10周年特別企画映像展 4.30
—7.10 東京都写真美術館
長林寺の寺宝展 10.29—12.4 草
雲美術館
勅撰和歌集の世界—古今集から新古
今集へ— 10.12—12.4 大阪青
山歴史文学博物館
ちりめん本—長谷川武次郎とちりめ
ん本の歴史— 放送大学付属図書
館所蔵コレクション展 2.3—

2.28 六本木アカデミーヒルズ49
沈黙の声 所蔵作品 7.26—10.2
東京国立近代美術館
沈黙の風景—戦争の記憶 8.6—9.4
辰野美術館

(ツ)

萬屋重三郎と江戸の芸術家たち
10.24—11.20 江戸東京博物館
読売 11.4 松本寛
土浦中学校とその時代 土浦市立博
物館企画展27回 3.26—5.8 土
浦市立博物館
土屋家の刀剣・茶道具 9.30—10.23
土浦市立博物館
津南旧石器時代展 津南段丘に暮ら
した氷河期の狩猟民 6.11—7.10
津南町農と縄文の体験実習館 な
じよもん
椿会展2005 4.5—5.29 資生堂ギ
ャラリー
芸術新潮 666
朝日夕刊 5.10 西田健作
毎日夕刊 5.9 三田晴夫
国宝鶴岡八幡宮古神宝 9.8—10.2
鎌倉国宝館
「DJ Brand」〜ドイツに学んだアー
ティストの発火点〜 9.1—9.25
東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊 9.13 田中三蔵
東京 8.27 渡辺好明

(テ)

庭園植物記 9.3—11.6 東京都庭
園美術館
芸術新潮 671
朝日夕刊 10.21 西田健作
DISLOCATION LOCUS 2005 TO-
KYO 5.31—6.18 人形町エキ
シビットスペース・ヴィジョンズ
ディオニュソスとペプロフォロス
東京大学ソマ・ヴェスヴィアー
ナ発掘調査の一成果 10.15—
11.13 東京大学総合研究博物館
できゆくタワーの足もとで〜昭和30
年代のくらし〜 11.23—9.3 江
戸東京たてもの園
日経 10.30 (内)
デッサン・ドローイングコンクール

展6回 京都造形芸術大学・東北
芸術工科大学 洋画学生交流
10.19—10.30 悠創の丘悠創館
(Gallery Raku、東京サテライト
キャンパス)

鉄心斎文庫の伊勢物語コレクション
5.13—5.30 国文学研究資料館
てつそん2005 全国合同卒業制作展
3.18—3.22 BankART1929 Yoko-
hama/BankART StudioNYK
建築雑誌 1535 伊藤貴大

天下の糸平ゆかりの雛人形 横浜を
目指した信州の生糸商人たち
1.29—3.6 長野県立歴史館

転換期の作法 ポーランド、チェ
コ、スロヴァキア、ハンガリーの
現代美術 8.2—10.10 国立国際
美術館(広島市現代美術館、東京
都現代美術館)
日経 8.24

天心記念茨城賞の画家たち 今、惶
めく院展の精鋭 10.8—11.27
茨城県天心記念五浦美術館

天展22回 天理ビエンナーレ2005
10.22—10.30 天理特設会場
テンポラリー・イミグレーション展
つかの間の日常に 7.2—10.23
ワタリウム美術館

AXIS 117 谷口真佐子
芸術新潮 669
STUDIO VOICE 357 前田愛実
天倫寺の名宝 白隠、大雅と江戸時
代の絵師たち 2.1—3.31 島根
県立博物館

(ト)

ドイツ写真の現在—かわりゆく「現
実」と向かいあうために 10.25—
12.18 東京国立近代美術館(京都
国立近代美術館、丸亀市猪熊弦一
郎現代美術館)
STUDIO VOICE 360 竹内万里
子
産経 11.2 岡本耕治
ドイツにおける岩倉使節団—欧米に
向けた日本の開国 10.8—11.27
久米美術館(佐賀県立博物館・美
術館、鹿児島県歴史資料センター
黎明館、京都ドイツ文化センタ

一)

現代茨城の陶芸 陶 彩・色 2.17
—6.29 茨城県陶芸美術館
東海の弥生フロンティア 4.26—
6.26 大阪府立弥生文化博物館
東金ゆかりの美術 5.26—7.16 城
西国際大学水田美術館
東京おみやげ 昭和四十年会
11.11—12.18 トーキョーワンダ
ーサイト渋谷
東京 12.5 中山洋子
東京ガラス工芸研究所学生作品展43
回 9.22—9.28 東急(渋谷)
東京空襲60年 3月10日の記憶 1.22
—4.10 すみだ郷土文化資料館
毎日 1.29 益子香里
東京空襲60年〜空襲の記憶と記録〜
7.27—9.4 豊島区立郷土資料館
東京芸術大学・韓国芸術総合学校交
流展 11.29—12.18 東京芸術大
学大学美術館/東京芸術大学大学
美術館陳列館/東京芸術大学総合
工房棟
日経 12.3
東京芸術大学卒業・修了制作作品展
平成16年度 2.22—2.26 東京都
美術館/東京芸術大学大学美術館
他
東京芸術大学油画教員 8.10—8.16
高島屋(日本橋)
東京国際キルトフェスティバル
1.27—2.2 東京ドーム
読売夕刊 1.19 岡安大地
東京国際ミニプリント・トリエンナ
ーレ2005 11.2—1.22 多摩美術
大学付属美術館
東京五美術大学連合卒業制作展(東
京造形、日本大学芸術、武蔵野
美、多摩美、女子美) 2.22—2.26
東京都美術館
東京造形大学テキスタイルコース卒
業制作展 2.17—2.22 AXISギ
ャラリー
AXIS 115
東京大空襲展—いまこそ真実を伝え
よう— 3.5—3.10 テレビ朝日
「umu」
毎日夕刊 2.28 益子香里
東京デザイナーズウィーク2005

11.2—11.6 明治神宮外苑絵画館
前、アーク・カラヤン広場など都
内各エリア
読売夕刊 10.29
都展41回 12.3—12.9 東京都美術
館
新美術新聞 1077
東京の古墳—品川にも古墳があった
— 10.16—12.4 品川区立品川
歴史館
読売夕刊 11.25
**東京のターミナル形成史 東京駅開
業90周年記念** 2.8—5.29 交通
博物館
芸術新潮 666 木下直之
**東京の歴史と文化を巡るスケッチ作
品展** 1.25—1.31 ブリッジギャ
ラリー
産経 1.19
東京府美術館の時代 1926—1970
開館10周年記念 9.23—12.4 東
京都現代美術館
芸術新潮 672 木下直之
新美術新聞 1074 真室佳武
朝日夕刊 11.15 西田健作
日経 11.5
東京—ベルリン／ベルリン—東京
1.28—5.7 森美術館
美術の窓 260 デヴィッド・エ
リオット 談
峠を越える人々 10.7—11.23 福
島県歴史資料館
東国の古墳文化 4.13—6.13 天理
大学附属天理参考館
東照宮祭礼 6.1—7.31 名古屋市
蓬左文庫
**唐招提寺展 国宝鑑真和上像と盧舎
那仏 TBSテレビ50周年記念 金
堂平成大修理記念** 1.12—3.6
東京国立博物館
新美術新聞 1044 岩佐光晴
新美術新聞 1051 永井信吉
東京国立博物館ニュース 669
岩佐光晴
目の眼 341
東京 1.27 (青)
日経夕刊 2.7
毎日 1.30 伊藤和史
毎日夕刊 1.18

読売夕刊 1.22 (清)
**東大寺公慶上人—江戸時代の大仏復
興と奈良—** 12.3—1.15 奈良国
立博物館
朝日夕刊 12.5 小滝ひろ
**道展80周年記念 響きあう北と南—
道展会員会友 南九州作家交流**
11.23—12.4 北海道立近代美術
館
**現代茨城の陶芸展 陶のなかに景色
をみる** 11.30—2.26 茨城県陶
芸美術館
童美展56回 12.3—12.11 芦屋市
立美術館
東美アートフェア5回 10.14—10.16
東京美術倶楽部
**動物ひょうきん属大図鑑 コレクシ
ョンIII** 11.19—3.5 兵庫県立美
術館
**東北芸術工科大学学生会主催卒業制
作展 ウロボロス** 3.25—3.30
AXISギャラリー
AXIS 115
**東北芸術工科大学卒業・修了研究制
作展2004** 2.16—2.20 東北芸術
工科大学／悠創館／山形美術館／
ミューズ
**常磐山文庫・根津美術館の名品 墨
蹟と中世漢画** 8.20—10.2 根津
美術館
時代をつなぐ写真 10.15—11.23
香川県歴史博物館
徳川將軍家と鷹狩り 1.5—2.6 江
戸東京博物館
朝日夕刊 1.15 山盛英司
読売夕刊 1.25 市川寛明
**徳川美術館の名品 徳川美術館開館
70周年記念** 7.30—9.25 徳川美
術館
時計—米原徹夫コレクション—
7.12—9.11 町田市立博物館
**DOCOMOMO100選展 文化遺産と
してのモダニズム建築** 3.12—
5.8 松下電工汐留ミュージアム
建築史学 45 藤岡洋保
朝日夕刊 3.9 西田健作
東京 4.9 藤田一人
日経 4.23 窪田直子
日経夕刊 3.28

都市の模型展—東京を見る— 2.5
—11.23 森都市未来研究所
朝日夕刊 2.5
都市へアクション！ベルリン—東京
11.11—12.18 トーキョーワンダ
ーサイト渋谷
**栃木の遺跡—最近発掘調査の成果か
ら—** 4.16—5.29 栃木県立しも
つけ風土記の丘資料(栃木県埋蔵
文化財センター、栃木県立博物
館)
とちぎの歴史街道—みちの世界へ—
7.23—9.11 栃木県立博物館
古文書研究 61 船木明夫
独起会展16回 7.4—7.9 銀座スル
ガ台画廊
殿様のコレクション—臼杵藩と絵図
— 12.16—3.12 大分県立歴史
博物館
**DOMANI・明日展2005 未来を担う
美術家たち 文化庁芸術家在外研
修の成果** 1.21—2.24 損保ジャ
パン東郷青児美術館
**トヨタコレクション展—モノづくり
の源流** 3.12—9.25 産業技術記
念館
朝日夕刊 3.5 佐藤久恵
THEドラえもん 7.16—8.28 郡山
市立美術館
酉 新春企画展 1.1—1.25 石川
県輪島漆芸美術館
酉・鳥・トリ 1.2—1.30 東京国
立博物館
朝日夕刊 1.8 田中三蔵
**Drucksache—new standard posters
— アーティスト42名の作品を再
表現** 3.8—3.20 SPACE FORCE
ドレスデン国立美術館展 世界の鏡
3.8—5.22 兵庫県立美術館
日経 2.19
日経 4.29 内田洋一
ドレスデン国立美術館展 世界の鏡
6.28—9.19 国立西洋美術館
美術手帖 866
朝日夕刊 8.26 田中三蔵
産経 7.12 岡本耕治
東京 7.14 (青)
日経 1.15
日経 4.27、28 内田洋一

日経 6.18
日経 7.16
日経 8.20
日経夕刊 6.27
日経夕刊 7.12 若杉弘
日経夕刊 7.13 古森重隆
日経夕刊 7.14 酒井田柿右衛門
日経夕刊 7.15 檀ふみ
日経夕刊 7.25、8.22 内田洋一
読売夕刊 7.28 前田恭二
ドレスのかたち 4.20—6.7 文化
学園服飾博物館
泥小屋探訪展 奈良・山の辺の道
6.1—8.20 INAXギャラリー1
(INAXギャラリー名古屋、INAX
ギャラリー大阪)
読売夕刊 6.8 芥川喜好
とんこつたばこ入れ〜固い素材の柔
らかい造形〜 9.10—11.6 たば
こ塩の博物館
第IV期コレクション展 どんなお話
?しているの!? 11.30—2.19
秋田県立近代美術館
ARK 46 沼田仁
(ナ)
長崎大万華鏡—近世日蘭交流の華
長崎—開館記念特別展 11.3—
1.9 長崎歴史文化博物館
長野県の遺跡発掘2004 3.19—5.8
長野県立歴史館(長野県伊那文化
会館)
奈義の作家展 4.29—5.5 奈義町
現代美術館
名古屋のまつり 6.1—7.31 名古
屋市蓬左文庫
梨本宮家と渋谷 ある皇族妃が見た
明治・大正・昭和 11.19—1.15
たばこ塩の博物館
なぞナゾ! こども考古学—ふしぎな
道具たち— 4.22—6.5 広島県
立歴史民俗資料館
謎の敏満寺を再現する 中世の寺・
町・城 滋賀県文化財保護協会調
査成果展 1.15—4.3 滋賀県立
安土城考古博物館
なつかしの風景—模型にみる昔のく
らし— 平成17年度収蔵品展
4.23—7.10 日吉町郷土資料館

夏の蜃気楼展—自然をうつしだす現
代の作家たち 6.25—8.31 群馬
県立館林美術館
日経 7.6 宝玉正彦
夏の風景—浴衣・浮世絵・怪談—
8.13—9.19 国立歴史民俗博物館
歴博 131 上野祥史
夏休み わかやま美術探偵団展
7.2—9.4 田辺市立美術館/和歌
山県立近代美術館/熊野古道なか
へち美術館
鍋島・古伊万里変形皿展 3.17—
6.5 今右衛門古陶磁美術館
目の眼 345
ナポレオンとヴェルサイユ展 皇帝
戴冠200年記念 ヴェルサイユ宮
殿美術館所蔵 12.3—3.19 神戸
市立博物館(江戸東京博物館)
日経 10.22 浜部貴司
日経 11.19
日経 12.17
日経夕刊 11.22 浜部貴司
日経夕刊 12.3
ナポレオン 文化の光彩と精神の遺
産 そごう美術館開館20周年記念
9.10—10.15 そごう美術館
生の芸術 アール・ブリュット展
9.27—11.27 HOUSE OF SHI-
SEIDO
朝日夕刊 11.4 山盛英司
産経 10.2 藤田綾子
毎日夕刊 11.21 三田晴夫
奈良県万葉日本画大賞展 2回 4.9
—5.23 奈良県立万葉文化館
南国土佐を後にして 高知の近代美
術交流史 10.30—12.25 高知県
立美術館
南部の科学・技術 10.29—11.23
釜石市立鉄の歴史館(盛岡市中央
公民館、八戸市博物館)
(ニ)
新潟市美術館所蔵名品展 20世紀絵
画の魅力 空間をみつめるまなざ
し ビカソ、ボナールから日本の
近現代美術まで 2.19—3.20 豊
橋市美術博物館
二科黄金の時代展 その時代を彩っ
た精鋭作家達 9.14—9.19 松坂

屋(上野)
産経 9.10 岡本耕治
錦絵・双六に見る幕末〜昭和の音楽
風景 3.2—4.24 民音音楽博物
館
西新宿定点撮影写真展 脈動する超
高層都市、激変記録35年 1.18—
1.24 新宿パークタワーギャラリ
ー
朝日 1.21
西松浦郡小中学校学童美術展23回
2.1—2.6 九州陶磁文化館
西求女塚古墳と青銅鏡 国史跡・国
重要文化財指定記念 10.22—
12.11 神戸市埋蔵文化財センタ
ー
21世紀動物図鑑 8.16—9.9 クリ
エーションギャラリーG8
産経 9.1 酒井潤
21世紀の目展10回 目—それぞれの
かたち 12.7—12.13 高島屋(日
本橋)
日英交流 大坂歌舞伎展—上方役者
絵と都市文化— 12.1—1.23 早
稲田大学坪内博士記念演劇博物館
芸術新潮 674
クーゲルブリッツ MGMB vs NNH
Vol.2 日独コミックアート展
7.2—7.17 ヒルサイドテラス
美術手帖 870 福住廉
日米実業史競 10.2—11.27 渋沢
史料館
日露関係のあゆみ1855—1916 9.5
—12.27 外務省外交史料館
日韓/韓国五世代の対話 9.17—
10.28 原爆の図丸木美術館
あいだ 120 古川美佳
日中書法名品 中村不折コレクショ
ン 12.23—2.26 台東区立書道
博物館
ニッポン・ヴァンダーカマー 荒俣宏
ノ驚異宝物館展 10.1—11.27
群馬県立自然史博物館
朝日夕刊 11.22 西田健作
〈日本絵本賞〉受賞絵本原画展 いち
ばん好きな絵本はどれ? 7.9
—8.28 世田谷文学館
毎日夕刊 7.7 生田美秋
日本の美術アートアカデミージャパ

ン受賞作家展10回 2.1—2.28
東邦画廊

日本画で歌を詠む—日本の詩情—
7.2—8.21 山種美術館

日本・韓国・朝鮮 初めての切手と
紙幣展 2.27—5.8 高麗博物館
朝日 2.28

日本近代洋画への道—山岡コレクション
を中心に— 4.16—6.5 足
利市立美術館(都城市立美術館)

日本芸術院所蔵美術作品特別公開
「20世紀半ば～戦後モダニズムの
継承～」 10.4—10.23 日本芸術
院会館

日本建築のひながた書—細部をつく
るパターンブック 4.2—5.18
港郷土資料館
港郷土資料館だより 55 中村琢
巳

日本工学院専門学校マルチメディア
系学科卒業制作展 2.26—2.27
AXISギャラリー
AXIS 115

日本三景展 松島・天橋立・厳島
8.2—9.4 広島県立美術館(京都府
京都文化博物館、東北歴史博物館)
日経 2.26 白木緑

日本水彩選抜展1回 7.26—7.31
東京セントラル美術館

国際扇面展26回 3.26—3.31 東京
都美術館
新美術新聞 1057 (Y・I)

日本伝統工芸展52回 10.28—11.6
石川県立美術館

日本伝統漆芸展22回 1.29—2.28
石川県輪島漆芸美術館

日本陶芸展18回 5.12—5.24 大丸
ミュージアム(東京)
毎日 5.12 浜田重幸

日本陶磁協会賞受賞作家展46回
1.19—1.29 和光ホール
陶説 624 森孝一

日本に向けられたヨーロッパ人の眼
EUROPEAN EYES ON JAPAN
JAPAN TODAY VOL. 7 8.13—
9.4 神奈川県民ホールギャラ
リー(岩手県立美術館、岐阜県美術
館、飛騨世界生活文化センター)

日本のアール・ヌーヴォー1900—

1923 工芸とデザインの新時代
9.7—11.27 東京国立近代美術館
工芸館
アートトップ 206 木田拓也
朝日夕刊 10.4 山盛英司
産経 9.22 岡本耕治
東京 11.5 藤田一人

日本の海洋画展20回 現代日本画壇
の海洋画を一堂に集めて 8.1—
8.7 東京芸術劇場

—日本の河川三大漁撈文化—重要有
形民俗文化財 最上川・荒川・江
の川の漁撈用具 10.1—11.20
広島県立歴史民俗資料館

日本の神々と祭り—神社とは何か?
— 3.21—5.7 国立歴史民俗博
物館
歴博 134 新谷尚紀/山田岳晴

日本の現代住宅1985—2005年 ギャ
ラリー・間20周年記念展 12.8—
2.25 ギャラリー・間
芸術新潮 674

日本の子ども60年 12.17—1.9 東
京都写真美術館
産経 12.30 上塚真由
読売 12.15

日本の四季—雪月花— 12.3—1.22
山種美術館
目の眼 353

日本のジュエリー100年—私たちの
装身具: 1850—1950 2.5—4.10
東京都庭園美術館
東京 4.2 中村隆夫
読売夕刊 2.26 前田恭二

日本の美術、世界の美術—この50年
の歩み 4.16—8.21 東京都現代
美術館
読売夕刊 6.24

日本の物語絵 住友コレクション
10.29—12.11 泉屋博古館

「日本のわざと美」展 重要無形文化
財とそれを支える人々 11.19—
12.21 茨城県陶芸美術館

日本美術—古筆、桃山陶から近代日
本画まで—コレクション名作選3
9.1—10.30 メナード美術館

日本美術院の巨匠たちと愛媛の画家
たち 2.11—3.21 愛媛県美術館

日本 服飾の美 10.26—12.10 文

化学園服飾博物館

日本盆栽作風展30回 1.13—1.18
大丸ミュージアム(東京)

日本遊印アート協会展9回 6.24—
6.29 東京都美術館
新美術新聞 1065

日本和紙絵画展19回 2.28—3.5
東京都美術館
新美術新聞 1052 (Y・I)

日本和紙絵画展20回 11.26—12.1
東京都美術館
新美術新聞 1076

日本のバリアフリー図書の歩み
7.21—9.4 国立国会図書館国際
子ども図書館

ニューヨーク・パーク・コレクショ
ン展 日本の美 三千年の輝き
7.5—8.19 岐阜県美術館(東京都
美術館、MIHO MUSEUM)
芸術新潮 670
日経 6.18
日経 7.16

ニューヨーク・パーク・コレクショ
ン展 日本の美 三千年の輝き
10.4—12.11 広島県立美術館
芸術新潮 670

人間像 愛と諧謔—1960sを中心に—
11.26—12.10 文京アート
コレクションシリーズ 人間・探検
大人と子どものための展覧会
7.13—8.31 姫路市立美術館

(ネ)

ねむの木のこどもたちとまり子
7.23—8.14 東京都現代美術館
朝日夕刊 8.2 西田健作
毎日 7.16 小島正美

年中行事絵巻 写し・伝える・伝統
へのあこがれ 3.19—5.8 埼玉
県立博物館

(ノ)

The能 新春アートウォーキング
2005 住友コレクションの面と装
束 1.2—3.13 大倉集古館/泉
屋博古館分館

「農」をめぐる人々 多摩ニュータウ
ンの開発とともに 11.18—2.20
パルテノン多摩

野間コレクションの名品展 講談社
野間記念館開館5周年記念 3.19—
—5.22 講談社野間記念館
野山は自然のくすりばこ 3.19—
6.19 ミュージアムパーク茨城県
自然博物館

(ハ)

パール展 その輝きのすべて 10.8—
—1.22 国立科学博物館
虚虚の中に立ち上がる平和記念資料
館とヒロシマの歩み 7.11—
12.18 広島平和記念資料館東館
読売夕刊 8.20 高野清見
俳聖芭蕉を仰いだ人々 近世播磨の
俳諧 百句繚乱 4.22—6.12 姫
路文学館
ハウルの動く城 大サーカス展
4.27—8.31 東京都現代美術館
読売夕刊 7.1 川口敏彦
葉加瀬太郎—地球上に平和の花々を
咲かせよう— 8.13—8.21 三越
(日本橋)
萩の陶芸・輪島の漆芸 現代作家に
よる饗演 6.3—7.18 石川県輪
島漆芸美術館
博物館の宝物 博物館名品展 2.11—
—3.27 下妻市ふるさと博物館
幕末動乱を生きた武士—武州金沢藩
士・萩原唯右衛門則嘉の生涯—
横浜市歴史博物館10周年 4.9—
5.15 横浜市歴史博物館
幕末福井の好奇心 江戸の科学
7.16—9.4 福井市立郷土歴史博
物館
幕末・明治 かながわの名所探訪
7.15—9.4 神奈川県立歴史博物
館
幕末明治の浮世絵 青木コレクショ
ンによる 9.3—10.16 千葉市美
術館
日経 9.30
羽子板の美とわざ 1.6—2.13 埼
玉県立博物館
橋本左内を知っていますか 5.11—
7.13 福井市立郷土歴史博物館
発掘された厚木—最近の調査成果か
ら— 3.5—3.21 厚木市郷土資
料館

発掘された徳島の至宝 あるでない
で 阿波! 10.11—10.17 そご
う(徳島)
発掘された日本列島2005 新発見考
古速報 7.12—8.21 江戸東京博
物館(富山県埋蔵文化財センター、
野馬追の里原町市立博物館、
佐賀県立博物館、飯塚市歴史資料
館、一宮市博物館、千葉県立中央
博物館)
文化財* 501 岡田康博
毎日夕刊 8.2 栗原俊雄
発掘された日本列島2005地域展 肥
前国風土記の世界 11.1—11.27
佐賀県立美術館
発掘された飛騨・美濃の歴史
11.15—12.18 岐阜県博物館
発掘・発見! 和歌山市—和歌山市埋
蔵文化財速報展6回— 4.23—
6.5 和歌山市立博物館
発掘へんろ—遺跡でめぐる伊予・土
佐・讃岐・阿波—四国・埋蔵文化
財センター巡回展2回 4.23—
7.3 松山市考古館(高知県立埋蔵
文化財センター、香川県歴史博物
館、徳島県立埋蔵文化財総合セン
ター)
八象会展7回 3.8—3.14 三越(日
本橋)
発・展 8.3—8.9 高島屋(日本橋)
花の表現—とちぎに咲いた花図鑑—
6.25—7.24 とちぎ蔵の街美術館
花咲く勘三郎 中村勘九郎改め十八
代目中村勘三郎襲名記念展 2.1—
—2.6 三越(日本橋)
花室川に生きた古代人 10.1—
11.27 上高津貝塚ふるさと歴史
の広場
花めぐり—日本画にみる花— 4.29—
—6.5 茨城県天心記念五浦美術
館
華やかなうつわたち 伊万里 柿右
衛門 鍋島 1.8—2.13 根津美
術館
華やかに… 日本画にみる女の生き
方 9.17—10.30 浜松市秋野不
矩美術館
はにわうま 4.23—6.5 馬の博物
館

埴輪の世界 1.15—3.13 西都原考
古博物館
馬場大門ケヤキ並木の謎 天然記念
物指定80周年 4.29—6.12 府中
市郷土の森博物館
パブリックリー・スピーキング
8.19—9.11 トーキョーワンダー
サイト渋谷
新美術新聞 1065
はまゆうの会 7.11—7.16 銀座ス
ルガ台画廊
林原美術館名品展 華麗なる能装束
9.10—10.16 郡山市立美術館
播磨工芸美術展 書写の里・美術工
芸館開館・播磨工芸会設立10周年
記念 2.19—3.31 姫路市書写の
里・美術工芸館
はりま・シネマの夢 銀幕を彩る映
画人たち 10.28—12.11 姫路文
学館
バルーンアートの世界展 12.3—
3.5 おかざき世界子ども美術博
物館
読売夕刊 12.21 芥川喜好
はるかなり 江戸・鹿児島の旅
9.15—10.23 鹿児島県歴史資料
センター黎明館
デアルテ 22 内倉昭文
遙かなり音の道—日本音楽の源流を
探る— 4.23—6.19 大阪府立近
つ飛鳥博物館
春から夏へ—季節の屏風絵— 4.15—
—5.8 堺市博物館
春の茶道具展 3.9—4.5 高島屋
(日本橋)
春ノ椿 3.1—4.10 HOUSE OF
SHISEIDO
朝日 2.24 菅野みゆき
春の万葉日本画展 3.18—5.23 奈
良県立万葉文化館
春の優品展1 2.19—4.13 茂原市
立美術館・郷土資料館
ハレのうつわ—酒器と重箱—
12.21—1.15 佐賀県立九州陶磁
文化館
バロック・ロココの巨匠—天才たち
の競演 3.27—5.22 宇都宮美術
館
東京 4.21 (峯)

BankART Life 10.28—12.18
BankART1929／BankART Studio
NYK
STUDIO VOICE 361
朝日夕刊 11.11 西田健作
HANGA in しらさわ 9.15—10.2
白沢村ふれあい文化ホール
版画にみる印象派展 陽のあたる午
後、天使の指がそっと 11.3—
1.22 宇都宮美術館
萬古焼 伊勢の茶陶～古萬古・有
節、そして四日市へ～ 11.3—
12.11 四日市市立博物館
四日市市立博物館研究紀要 13
岡村奉一郎
藩札を渡く 江戸時代の名塩紙と藩
札 7.30—9.11 西宮市立郷土資
料館
BANDIED BLUE 東北芸術工科大学
の28作家 9.16—10.2 鶴岡アー
トミュージアム
東北芸術工科大学紀要 13 岡村
桂三郎／松本哲男／末永敏明／長
沢明／番場三雄／谷善徳
版で発信する作家たち 9.14—12.27
郡山市立美術館

(ヒ)

B Gallery発 行くっきゃナイ 人
気のBRAMSで観る！美難逃避行
11.18—12.26 B Gallery
ビーズグランプリ2005入賞作品展
8.31—9.5 高島屋(日本橋)
読売 8.29
東アジア中世海道 海商・港・沈没
船 3.23—5.22 国立歴史民俗博
物館(大阪歴史博物館、山口県立
萩美術館・浦上記念館)
歴博 131 萩原三雄
毎日 3.22 山田研
毎日夕刊 4.20 栗原俊雄
読売夕刊 5.16
東アジアの古代苑地 10.22—12.11
飛鳥資料館
文化財* 506
干潟町50年のあゆみ～昭和の大合併
から平成の大合併へ～ 4.12—
9.4 大原幽学記念館
ピカドンプロジェクト作品展 7.16

—8.14 都立第五福竜丸展示館
日経 7.9
光輝く、荒神谷青銅器の世界 10.6
—1.9 荒神谷博物館
光と影の彼方に 2.5—4.13 北海
道立釧路芸術館
光りの絵画 1.21—1.28 名古屋画
廊
光の肖像画展 8.1—8.14 広島市
立大学付属芸術資料館
ギャラリー* 244
ピクチャー・イン・モーションDe-
Luxe 12.3—12.17 栃木県立美
術館
彦根の食文化 10.28—11.29 彦根
城博物館
美術館の春コレクション モディリ
アーニからマグリットまで 所蔵
名品 4.23—7.3 大阪市立近代
美術館【仮称】
美術館の眼 10年間の収集記録III
〈平成12年度～平成15年度〉開館
10年記念展第7弾 2.24—5.8
秋田県立近代美術館
美術たんけん隊 こども博物館
4.12—7.10 徳島市立徳島城博物
館
美術の20世紀 豊かなる表現 静岡
県立美術館・滋賀県立近代美術館
の名品80点でたどる 6.4—7.10
滋賀県立近代美術館(静岡県立美
術館)
美術手帖 866
秘すれば花：東アジアの現代美術
3.29—6.19 森美術館
アートトップ 203 金善姫、小
林俊哉 対談
新美術新聞 1053 長谷川祐子
朝日夕刊 4.7 山盛英司
日経 4.25
日経 5.1 (白)
毎日夕刊 4.12 三田晴夫
読売夕刊 5.12 前田恭二
肥前陶磁にみる京の影響 9.30—
11.20 佐賀県立九州陶磁文化館
デアルテ 22 森田孝志
秘蔵の名品アートコレクション11回
ヨーロッパと日本～きらめく女性
たちへ 8.6—8.25 ホテルオー

平成17年美術展覧会(企ハ、ヒ)

クラ
東京 8.11 (青)
飛騨国際工芸学園進級・卒業家具展
Show & Shop2005 3.4—3.7
AXISギャラリー
AXIS 115
肥田せんせいのなにわ学 9.2—
11.18 INAXギャラリー名古屋
芸術新潮 671 木下直之
秀吉と城 10.14—11.20 佐賀県立
名護屋城博物館
デアルテ 22 浦川和也
秀吉の貌—変遷するイメージ—
3.19—5.8 大阪城天守閣
秘伝ディメンション展 11.12—
12.3 テンポラリーコンテンポラ
リー
ギャラリー* 247
美と知のかけ橋 大学所蔵の日本美
術 9.17—11.6 高崎市タワー美
術館
一橋徳川家のひなまつり 2.5—
3.21 茨城県立歴史館
人と自然の表情 茅ヶ崎ゆかりの写
真家たち 1.25—2.27 茅ヶ崎市
美術館
人のかたち・人のいとなみ 10.1—
10.30 兵庫県立円山川公苑美術
館
雛と雛道具 2.25—4.5 彦根城博
物館
ひな人形の世界5 2.4—4.3 徳島
市立徳島城博物館
雛人形と武者人形 春季企画展
3.1—5.29 京都府立丹後郷土資
料館
美の国日本 開館記念特別展
10.16—11.27 九州国立博物館
ギャラリー* 246
芸術新潮 672 木下直之
デアルテ 22 井手誠之輔
デザインの世界 142
文化財* 505 小松大秀
美の匠たち—伝統と現代 東京国立
近代美術館工芸館所蔵作品名品
8.27—10.13 北海道立釧路芸術
館
ピノッキオ その誕生から現代まで
1.29—3.13 静岡アート・ギャラ

リー
読売夕刊 3.2 芥川喜好
美の浮標～多摩美術大学の洋画家たち～ 4.24—5.8 鹿追町民ホール
美の浮標～多摩美術大学の洋画家たち～ 新世紀の顔・貌・KAO 30人の自画像2005 4.26—5.9 神田日勝記念館
美への誘い 国宝・重文でたどる久保惣コレクション 4.8—5.29 和泉市久保惣記念美術館
百花の絵 館蔵の江戸時代絵画と関連の優品 3.12—4.17 府中市美術館
百花繚乱 花鳥画の世界 2.22—5.8 鹿児島県歴史資料センター黎明館
百花繚乱—咲き競う花々— 8.27—10.2 山種美術館
表現される現在2005 Precious 10.24—11.19 T&S GALLERY
表現される現在2005 Premium 11.14—11.19 ギャラリーIK
表現を通して Through the surface—現代テキスタイルの日英交流 4.19—5.22 京都国立近代美術館
大阪成蹊大学芸術学部紀要 2 吉田晃良
兵庫国際絵画コンペティション 震災復興10周年記念国際公募展 1.17—2.20 兵庫県立美術館
新美術新聞 1046 (美)
「屏風かざり 雅のあそび」展 新春と雛の道具 1.2—3.13 細見美術館
平井地区1号古墳とその時代 藤岡市埋蔵文化財収蔵庫開館記念特別展 2.26—3.30 藤岡歴史館
広がりのある風景画—大観・魁夷・土牛など— 5.14—6.26 山種美術館
ひろがる美術 1945—2000 横須賀市所蔵 7.23—8.28 横須賀市文化会館市民ギャラリー
ヒロシマ原爆展—ヒロシマ・ナガサキ被爆60周年—核の時代における宗教と平和 6.6—8.2 龍谷大学パドマ

城郭研究の最前線 9.24—10.23 広島城
ひろしま鉄道大集合 ふるさとの夢と郷愁を乗せて 7.15—9.11 広島県立歴史博物館
広瀬幸平と伊庭貞剛の軌跡 別子銅山から大津住友活機園まで 10.1—11.13 大津市歴史博物館(泉屋博古館分館)
執轡如組 ひ(手綱)をとることそのごとし 10.30—11.13 元興寺総合収蔵庫

(フ)

FIVE JAPANESE DESIGNERS IN ITALY イタリアでデザインの仕事をすること 3.4—3.25 ヨコハマポートサイドギャラリー
ファウスト 伝説と作品—フランクフルト・ゲーテ博物館の名品— 10.1—10.23 大谷大学博物館
Fuckin' brilliant!! マジヤバイ! 12.23—1.29 トーキョーワンダーサイト渋谷
ファッションとスペインの文化 7.16—10.10 埼玉県立近代美術館
朝日夕刊 9.9 西岡一正
フィッシュマンズ展—THE LONG SEASON REWIND— 11.23—12.23 NANZUKA UNDERGROUND
STUDIO VOICE 361 SK
フィリップス・コレクション展 アートの教科書—ルノワール、ゴッホ、セザンヌ… 6.17—9.4 森アーツセンターギャラリー
朝日夕刊 7.22 西田健作
産経 7.3 岡本耕治
東京 7.7 (青)
毎日 6.15、7.15 重長聡
毎日 6.16
毎日夕刊 6.17 堀文彦
毎日夕刊 6.20—22、25、27 三田晴夫
毎日夕刊 7.29 山梨俊夫
フィレンツェ 芸術都市の誕生展 1.29—4.10 京都市美術館
芸術新潮 661

風景遊歩 3.13—6.12 猪熊弦一郎現代美術館
日経 2.26 白木緑
風景を描く—大正から昭和の日本の風景— 9.16—10.23 掛川市二の丸美術館
ブーシキン美術館展 シチューキン・モロゾフ・コレクション 10.22—12.18 東京都美術館(国立国際美術館)
ガス燈 68 大川栄二
新美術新聞 1072 三浦篤
美術手帖 872 来嶋路子
朝日 6.21、9.24 山盛英司
朝日 10.18 高階秀爾
産経 11.14 岡本耕治
東京 11.12 中村隆夫
EXHIBITION C-DEPOT 2006—face— 6.8—6.12 スパイラルガーデン
アートトップ 205
フォトシティさがみはら5回 記録! 表現! 記憶! 写真展・アマチュアの部 10.14—10.31 相模原市民ギャラリー
フォロー・ミー! 新しい世紀の中国現代美術 7.2—9.4 森美術館
美術手帖 866
美術手帖 870 清水敏男
朝日夕刊 8.23 西田健作
日経 8.4
日経夕刊 8.24 張競
福岡アジア美術トリエンナーレ3回 2005 多重世界 9.17—11.27 福岡アジア美術館
ギャラリー* 245 黒田雷児
新美術新聞 1067
STUDIO VOICE 358
美術手帖 870
美術手帖 872 菅章
朝日 10.6 西田健作
毎日夕刊 9.28 米本浩二
福岡市美術展39回 3.8—3.21 福岡市美術館
ふくやま動物志 4.22—5.22 広島県立歴史博物館
膨らむカタチ 3.5—3.12 うちだ芸術新潮 664
武家の古文書—くずし字の中に見る

広島島の歴史群像— 2.12—3.13
 広島城
 布穀会展29回 10.7—10.12 有楽町朝日ギャラリー
 藤井竹外 高槻が生んだ幕末の漢詩人 春季特別展 3.26—5.29 高槻市立しろあと歴史館
 ふじおか考古速報展2 4.29—5.22 藤岡歴史館
 不思議な回転扉のように—写真と絵画の交流 7.4—7.23 文房堂ギャラリー
 毎日夕刊 7.21 三田晴夫
 藤沢周平の世界 世田谷文学館開館10周年記念 9.17—10.30 世田谷文学館
 富士山写真大賞展6回 1.1—3.27 河口湖美術館
 所蔵品 富士山の絵画・版画・写真 8.10—8.28 河口湖美術館
 富士と桜—日本の心を描く— 1.4—3.27 富士美術館
 仏教の歴史とアジアの文化Ⅲ 5.24—8.2 大谷大学博物館
 仏教美術の世界 8.30—10.2 茨城県立歴史館
 仏教美術の華 開館75周年記念 2.17—4.17 神奈川県立金沢文庫
 復興支援チャリティー展—今、私たちにできること 2.17—2.20 日動画廊
 新美術新聞 1050
 仏像と写真 新春特集陳列 1.2—3.27 京都国立博物館
 仏像のひみつ 親と子のギャラリー 1.12—3.6 東京国立博物館
 朝日夕刊 2.22 田中三蔵
 筆の向くまま—所蔵文学資料名品展—春の特別展 4.29—6.5 調布市武者小路実篤記念館
 プラート美術の至宝展—フィレンツェに挑戦した都市の物語— 9.10—10.23 損保ジャパン東郷青児美術館
 朝日夕刊 10.18 田中三蔵
 東京 9.29 (青)
 日経 10.19
 ブラウン展—形を超えたデザイン 9.22—10.16 AXISギャラリー

AXIS 118 深沢慶太
 フランス近代絵画展 印象派からエコール・ド・パリ 4.23—9.4 松岡美術館
 フランス現代美術週間 11.22—11.27 フランス大使館公邸
 美術手帖 873
 美術手帖 876 北澤ひろみ
 産経 11.25 猪谷千香
 フリーター会議 5.27—6.8 新宿眼科画廊
 美術手帖 866 福住廉
 ふりむけば昭和 7.20—8.28 徳島市立徳島城博物館
 ふるさと懐古録—広報写真で綴るひよしの軌跡— 7.16—10.10 日吉町郷土資料館
 ふるさと再発見—15人の人・もの・場所—文化の森開園15周年記念企画展 10.22—11.27 徳島県立博物館／徳島県立21世紀館／徳島県立近代美術館ギャラリー
 from scratch 7.23—8.14 トーキョーワンダーサイト渋谷
 コレクション+αで楽しむシリーズ 文学「美術を《よむ》」 11.12—12.18 徳島県立近代美術館
 文化庁メディア芸術祭8回 平成16年度 2.25—3.6 東京都写真美術館
 ART iT 6 原久子／久保田テツ 朝日 2.9
 文京むかしむかし 弥生町遺跡発見120周年記念 2.12—3.21 文京ふるさと歴史館
 朝日 2.13

(へ)

平安の仮名、鎌倉の仮名 11.5—12.18 出光美術館
 日経 12.8
 平家一門の都・福原京 7.23—9.4 神戸市埋蔵文化財センター
 平行芸術展20回 崩落の記譜法 10.24—11.5 エスパスOHARA
 新美術新聞 1074
 毎日夕刊 11.1 三田晴夫
 読売夕刊 11.2 峯村敏明／前田恭二 聞き手

平成17年美術展覧会(企フ、へ)

平和のいしずえ2005 7.24—8.21 栗東歴史民俗博物館
 ベトナム近代絵画展 11.5—12.11 東京ステーションギャラリー(高知県立美術館、和歌山県立近代美術館、福岡アジア美術館)
 芸術新潮 674 三浦篤
 産経 11.11 田中晴子
 産経 11.18 岡本耕治
 日経 12.6
 読売夕刊 12.1 前田恭二
 ベリー ベリー ヒューマン 10.15—12.25 豊田市美術館
 新美術新聞 1079 長谷川祐子
 STUDIO VOICE 361
 美術手帖 873 秋庭史典
 読売夕刊 12.22 前田恭二
 ベルギー近代の美 10.15—11.27 府中市美術館(佐倉市立美術館、秋田市立千秋美術館)
 ベルギー象徴派展 4.15—6.12 Bunkamuraザ・ミュージアム(尾道市立美術館、鹿児島市立美術館、福井県立美術館、長崎県美術館)
 産経 5.3、4 宮澤政男
 産経 5.12 岡本耕治
 東京 4.28 (峯)
 東京 4.30 中村隆夫
 ペルシャ文明の曙 文明の基層を探る 10.1—11.27 松戸市立博物館
 ベルリンの至宝展—よみがえる美の聖域 世界遺産・博物館島 4.5—6.12 東京国立博物館(神戸市立博物館)
 美術手帖 863 池上ちかこ
 美術手帖 865
 朝日 3.2
 朝日 3.21 西田健作／クラウド＝ディーター・レーマン 談／ディートリッヒ・ヴィルドゥンク 談／ペーター＝クラウド・シュスター 談／バルント・リンデマン 談
 朝日 5.11 鶴田真由、千足伸行 対談
 東京 4.14 (青)
 弁当箱の工夫 9.6—11.19 国際基

督教大学博物館湯浅八郎記念館
紅房—昭和を駆け抜けた沖縄の漆器
とそのデザイン 浦添市美術館開
館十五周年記念展 1.8—2.20
浦添市美術館
きよらさ 45

(ホ)

ホイールアートプロジェクト 1.21
—2.12 ヨコハマポートサイドギ
ャラリー
鳳英会木彫人形展18回 2.8—2.13
鳩居堂画廊
朝日 2.11
房総発掘ものがたり〜平成17年度出
土遺物巡回展〜 7.9—7.31 千
葉県立関宿城博物館(千葉県立房
総のむら、千葉県立安房博物館、
芝山町立芝山古墳・はにわ博物
館、千葉県立上総博物館、千葉県
立中央博物館、千葉県立大利根博
物館)
2005年報道写真展46回 12.22—
12.30 三越(日本橋)
HORSE—北海道の馬文化—特別展
61回 8.26—10.16 北海道開拓
記念館
POLA新鋭展2005 花のメタファー
9.12—9.29 ポーラミュージアム
アネックス
東京 9.24 藤田一人
ポーラ美術館の印象派展 モネ、ル
ノワール、セザンヌと仲間達 開
館3周年記念展 1.16—8.28 ポ
ーラ美術館
東京 4.16 中村隆夫
ポーランドの映画ポスター—東京国
立近代美術館フィルムセンター・
コレクションより— 10.28—
12.25 東京国立近代美術館フィ
ルムセンター
芸術新潮 673
産経 11.1 堀晃和
ポール・クローデルと京都画壇 ポ
ール・クローデル没後50年記念
10.25—12.4 京都国立近代美術
館
北欧のスタイリッシュ・デザイン—
フィンランドのアラビア窯 3.19

—6.12 滋賀県立陶芸の森陶芸館
芸術新潮 665
ぼくらの時間旅行 多摩の学校・む
かしむかし 7.15—11.15 パル
テノン多摩
北陸の玉と鉄 弥生王権の光と影
10.4—12.4 大阪府立弥生文化博
物館
星野真吾賞展—明日の日本画を求め
て— トリエナーレ豊橋3回
11.12—12.11 豊橋市美術館
ポスターで観る日本映画Part3 ポ
スターの図像学 7.28—8.24 武
蔵野美術大学美術資料図書館
post戦後?アンデバンダン展 7.23
—8.21 appel
美術手帖 870 福住廉
細川家伝来の50点 11.29—12.24
永青文庫
ほそ道追想〜杖措きの地・敦賀から
〜 10.8—11.6 敦賀市立博物館
HOSOMI TO CONTEMPORARY 003
—Tricol'art— 8.23—9.4 細見
美術館
北海道の詩歌と書の世界—書と写真
が奏でる北のイメージ— 10.22
—12.18 北海道立函館美術館
ホップ・ステップ・九博展 2.15—
4.10 東京国立博物館
朝日夕刊 2.17
ほとけさまのお花—蓮— 7.26—
9.4 奈良国立博物館
盆栽という名の宇宙Vol.2 11.3—
11.6 熊本市現代美術館
本多コレクションによる 器の装い
10.25—11.27 福岡市美術館

(マ)

マイセン小品展 1.19—1.25 高島
屋(日本橋)
真 MAO 魚のグループ展 8.10
—8.16 高島屋(日本橋)
まち・いち・やかた 中世の岩切あ
たり 10.21—12.11 地底の森ミ
ュージアム
街かど美術館 アート@つちざわ
(土澤)—土澤の30日間— 10.8—
11.6 土澤町
松岡映丘とふるさとの美術 日本画

と工芸 1.29—3.27 姫路市立美
術館
松平家名品展Ⅱ 2.25—4.10 香川
県歴史博物館
祭りの万華鏡—茨城の年中行事 そ
の変様— 10.15—11.27 茨城県
立歴史館
絵肌(マティエール)の魅力 収蔵品
11.12—12.18 静岡県立美術館
madoka展 8.17—8.23 高島屋(日
本橋)
85/05—幻のつくば写真美術館から
の20年 4.24—5.22 せんだい
メディアテーク
幻のロシア絵本 1920—30年代
11.10—12.25 下関市立美術館
マルチプル・ショー デュシャンか
らリキテンスティンへ 4.9—
6.12 町田市立国際版画美術館
朝日夕刊 5.24 田中三蔵
曼荼羅の世界 玉重コレクション
チベット仏教美術 インドの家庭
の神像と画像 山内コレクション
4.1—6.19 大倉集古館
朝日夕刊 4.15 山盛英司
読売夕刊 6.6
満濃地復興にかける〜和泉虎太郎の
奔走〜 2.15—3.27 香川県歴史
博物館
万葉集との出会い—万葉文化館所蔵
古典籍 10.22—11.27 奈良県立
万葉文化館

(ミ)

三重の子どもたち 1.4—1.30 三
重県立美術館
水きりえ・絵画展3回 1.23—2.4
絵のあるティールーム・サンマロ
ー
朝日 1.20
水田コレクション 浮世絵は楽し6
結髪 11.5—11.26 城西国際大
学水田美術館
水田コレクション—四季の風物詩—
4.12—5.7 城西国際大学水田美
術館
水の文様展 6.22—7.18 佐賀県立
九州陶磁文化館
水辺と森と縄文人 6.14—7.31 国

立歴史民俗博物館(東北歴史博物館、新潟県立歴史博物館)
 瑞穂の会 石元靖大・岡村太郎・白石由香・白須道子 10.3—10.8
 銀座スルガ台画廊
 水を統べる 江戸から明治へ 平成17年度池守田中家文書特別公開 3.19—5.8 狭山池博物館
 三井家 伝世の名宝 美の伝統 10.8—12.25 三井記念美術館
 朝日夕刊 12.9 山盛英司
 産経 10.27 岡本耕治
 東京 10.27 (青)
 三井家伝来の能装束 10.4—10.16
 三越(日本橋)
 Since 1994 Mizuma Art Gallery the 10th Anniversary Exhibition 3.16—4.9 ミヅマアートギャラリー
 源義経〜その時代と文化〜 10.12—12.4 大阪青山歴史文学博物館
 脈動する超高層都市、激変記録35年 1.18—1.24 新宿パークタワー1階ギャラリー1
 美術手帖 862 福住廉
 宮さまの作品とコレクション 高円宮憲仁親王殿下を偲んで 3.19—4.17 思文閣美術館
 宮島家三代一宮島詠士の書をを中心に — 6.18—7.18 米沢市上杉博物館
 みゆき画廊開廊40年記念展 1.13—1.22 みゆき画廊
 新美術新聞 1047 (常)
 ミラノ展 10.25—12.4 千葉市美術館(大阪市立美術館)
 読売夕刊 11.21 前田恭二
 ミレー、コロバルビゾンの巨星たち展 魅惑の中村コレクション 4.16—5.22 いわき市立美術館
 魅惑の17-19世紀フランス絵画展
 南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 4.23—7.15 損保ジャパン東郷青児美術館(茨城県近代美術館、山梨県立美術館、大阪市立美術館、長崎県美術館)
 芸術新潮 666
 朝日夕刊 6.17 山盛英司
 東京 6.9 (青)
 日経 5.2 竹田博志

読売 6.14—16 小林晶子
 読売夕刊 4.18 島田紀夫
 民間信仰のかたち—地域と講— 3.26—5.8 川越市立博物館
 地方史研究 318 西海賢二
 明清の絵画と書跡展—中国五百年の筆墨と彩 10.1—11.27 静嘉堂文庫美術館
 芸術新潮 672

(ム)

Moving Collection: Body—Con Last Dance 1.21—2.20 NADiff
 美術手帖 863 奥村雄樹
 むかしの道具 発掘民具 9.10—9.25 日本民家集落博物館
 無言館 遺された絵画展 2.5—3.21 東京ステーションギャラリー(福井県立美術館、豊川地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム、丹波市立植野記念美術館、京都府京都市文化博物館、尾道市立美術館)
 朝日夕刊 3.15 田中三蔵
 読売夕刊 3.9 芥川喜好
 武蔵国一之宮 多摩市ノ宮小野神社の変遷 2.25—5.8 パルテノン多摩歴史ミュージアム
 武蔵野市立吉祥寺美術館所蔵作品展 I—商工会議所会報に登場した20点— 5.28—6.26 武蔵野市立吉祥寺美術館
 武蔵野美術大学インダストリアルデザインコース卒業制作展 2.4—2.7 AXISギャラリー
 AXIS 115
 THE WORKS OF RESEARCH ASSOCIATES RA'05 武蔵野美術大学助手研究発表 1.11—1.21 武蔵野美術大学美術資料図書館
 武蔵野美術大学卒業・修了制作展 1.28—1.31 武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
 武蔵野美術大学テキスタイルコース卒業制作展 2.10—2.13 AXISギャラリー／AXISギャラリー・アネックス
 AXIS 115
 村のお医者さんの宝物〜後藤家資料より〜 資料紹介展 1.4—2.13

岐阜県博物館
 ムウの変貌—弥生後期の大和とその周辺— 4.23—6.12 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
 むらを測った人びと〜北信濃の伊能忠敬たち 10.15—12.4 むれ歴史ふれあい館
 室町から現代まで—時代のうつろいと融合性— 4.1—6.26 大西清右衛門美術館
 室町から現代まで2 9.6—12.18 大西清右衛門美術館
 室町水墨画と草雲水墨画 足利尊氏公生誕700年記念事業 9.22—10.26 草雲美術館

(メ)

名作とは何か?近代の日本美術 国立美術館巡回展 6.24—7.31 愛媛県美術館
 明治期のお金とくらし—樋口一葉の生きた時代— 2.1—6.5 貨幣博物館
 日経夕刊 5.11
 明治・大正の家庭小説展—尾崎紅葉門下の四天王・柳川春葉を中心に— 1.4—3.29 弥生美術館
 朝日 1.19
 産経 2.8 生田誠
 東京 2.11 北村麻紀
 毎日夕刊 1.14 栗原俊雄
 読売 1.30
 明治・大正の学び舎—学習院で過ごした日々 10.20—11.10 学習院大学史料館
 明治天皇ゆかりの名工展part.1〜金工・七宝の帝室技芸員の作品を中心に〜 11.30—2.26 清水三年坂美術館
 目の眼 353 編集部
 明治の外交と議会政治特別展—日露講和百年— 5.19—6.10 衆議院憲政記念館
 「名水・温泉・名勝」展〜水と大地のハーモニー〜 9.17—11.13 岐阜県博物館
 明星大学日本文化学部造形芸術学科卒業制作展 2.4—2.6 明星大学青梅校内

馬いどいんじやばん—日本美術の馬
— 10.1—11.27 馬の博物館
名品でたどる近代工芸のあゆみ 東京国立近代美術館所蔵品による
10.5—11.13 三重県立美術館
目黒区美術館コレクション展—新収
蔵品を中心に— 5.28—6.26 目
黒区美術館
METALLIC PARTY—5人の金属彫
刻— 7.4—7.16 ギャラリーア
ートもりもと
メディアとしての建築 ピラネージ
からEXPO'70まで 2.5—5.8 東
京大学総合研究博物館

(モ)

もうひとつの楽園〜Alternative Pa-
radise 11.5—3.5 金沢21世紀美
術館
日経 11.12 窪田直子
モーレッツ展3 7.31—8.6 ギャラ
リー緒方
ギャラリー* 245
木彫から立体造形へ—1960年の新人
たち— 2.5—3.21 三鷹市美術
ギャラリー／三鷹市芸術文化セン
ター・アートスタジオ
東京 2.12 藤田一人
読売夕刊 3.10 前田恭二
木彫フォークアートおおや公募展12
回 9.21—10.4 おおやホール
木版画のぬくもり 小林清親から棟
方志功まで 4.28—6.5 府中市
美術館
模型で世界旅行 いろんな国の私の
風景 10.13—2.28 国立民族学
博物館
模写・模造と日本美術—うつす・ま
なぶ・つたえる— 7.20—9.11
東京国立博物館
芸術新潮 669
新美術新聞 1068 山下裕二
ドーム 82 井上洋一 談
朝日 7.30 牧野隆夫
東京夕刊 9.6 (白金長者)
日経 5.31
毎日 9.4 伊藤和史
読売夕刊 7.30 前田恭二
百舌鳥古墳群と黒姫山古墳 10.9—

11.27 堺市博物館
模造にみる正倉院宝物 9.20—10.10
奈良国立博物館
モダニズム心斎橋—近代大阪／美術
とシティライフ 「大大阪」誕生80
年記念 1.15—3.21 大阪市立近
代美術館(仮称)心斎橋展示室
芸術新潮 663
モダンリビングアート展 1.18—
1.30 ヒルサイドフォーラム
産経 1.27 山口暢彦
モダンを生きた作家たち 4.23—
6.5 芦屋市立美術館
持ち歩くお箸の展覧会 12.16—
12.27 D&DEPARTMENT PRO-
JECT OSAKA
STUDIO VOICE 361
モッ—韓国女性の粋と美 10.4—
12.20 日本民芸館
芸術新潮 672
朝日夕刊 12.13 山盛英司
読売夕刊 11.18 高野清見
現代茨城の陶芸展 文様の賑わい
8.31—11.27 茨城県陶芸美術館
物語絵と縁起絵 11.18—12.25 大
和文華館
物語のある絵画 日本画と古典文学
の出会い 6.10—7.18 静岡県立
美術館
ものづくり再発見III いもの 铸造
11.12—3.21 高岡市美術館
モノと思い出 記憶の指標としての
アート 9.23—11.20 ボーダレ
ス・アート ギャラリーNO—MA
美術手帖 873 伊村靖子
もの派—再考 10.25—12.18 国立
国際美術館
新美術新聞 1080 島尾新
美術手帖 872
朝日夕刊 12.1 田中三蔵
もの・ひと・こと 寄贈資料展
12.6—1.29 徳島市立徳島城博物
館
ももちゃん芸術祭もっとワオワオ!
7.2—8.17 北海道立釧路芸術館
桃山陶の華麗な世界 愛知万博記念
特別企画展 3.21—9.25 愛知県
陶磁資料館
陶説 624 井上喜久男

盛岡を発掘する 平成16年度調査速
報 埋蔵文化財調査資料展22回
2.1—3.21 遺跡の学び館
森の薫り、そして巴里の風 フラン
ス—バリーバルビゾン 1.29—
3.13 北海道立帯広美術館

(ヤ)

やきもののふるさと 丹波—名品で
たどる800年のあゆみ— 10.1—
12.11 兵庫陶芸美術館
鴨東通信 59 松岡千寿
目の眼 351
やきものの見方シリーズ1 「やき
ものの種類」 2.9—2.20 九州陶
磁文化館
矢代幸雄資料展 1.15—3.27 神奈
川県立近代美術館(葉山)
柳宗悦の民芸と巨匠たち展 1.22—
3.21 茨城県陶芸美術館(埼玉県
立近代美術館、下関市立美術館、
北海道立帯広美術館、福島県立美
術館)
新美術新聞 1046 外館和子
朝日夕刊 2.10 田中三蔵
山形の刀剣 10.22—12.11 米沢市
上杉博物館
一人間国宝—山崎旭萃と筑前琵琶の
世界 10.1—11.27 高槻市立し
ろあと歴史館
山種美術館所蔵名品展 【華・清・
艶】珠玉の日本画コレクション
4.16—5.22 郡山市立美術館
やまとうた—千年 古今集から新古
今集の名筆をたどる 10.29—
11.27 五島美術館
やまとうた—美のこころ 10.8—
12.11 宮内庁三の丸尚蔵館
大和の古墳の鏡—宮内庁所蔵鏡を中
心に— 2.26—3.27 奈良県立橿
原考古学研究所附属博物館
大和を掘る23 2004年度発掘調査速
報展 7.16—8.28 奈良県立橿原
考古学研究所附属博物館
やまなしの道祖神祭り 10.15—
12.11 山梨県立博物館
山内一豊とその妻 大河ドラマ功名
が辻特別展 12.23—2.5 江戸東
京博物館(静岡県立美術館、高知

県立文学館)
山の文学展 日本人 美とこころの
ふるさと 9.23—11.27 山梨県
立文学館
山村暮鳥 磐城平と暮鳥 7.16—
9.19 いわき市立草野心平記念文
学館
弥生の器—甦る古代の匠の技—
10.1—10.31 鳥取県立公文書館
／青谷上寺地遺跡展示館

(ユ)

ユートピアを探しに—想像力の彼方
へ— 10.29—12.11 新潟県立万
代島美術館
誘惑の光景—19世紀のロマン主義版
画・ドラクロワ、ジョン・マーテ
インなど— 11.12—12.18 静岡
県立美術館
ゆめいろのパレット2 10.1—1.15
国立国会図書館国際子ども図書館
市民公募 夢美エンナーレ入選作品
展 2.25—4.10 八王子市夢美術
館
夢を掘った少年たち—小茂根・稲荷
台・志村・小豆沢・西台の遺跡—
10.8—12.4 板橋区立郷土資料館

(ヨ)

幼児が撮る！めくるめく写真の宇宙
5.17—5.28 ギャラリー「分の1」
洋画名品展 1.5—3.26 敦井美術
館
ようこそ昆虫の世界へ！ 4.23—
6.26 岐阜県博物館
ヨーゼフ・ボイスと愉快な仲間たち
—私はウィークエンドなんて知ら
ない— 10.23—12.18 栃木県立
美術館
ヨーロッパ絵画名作展 宮廷絵画か
らバルビゾン派へ 山寺後藤美術
館所蔵 1.2—1.17 三越(新潟)
(京阪ギャラリー、うらわ美術館)
ヨーロッパ・ガラス名品の旅—ヴェ
ネチア・ボヘミア・ドイツ・イギ
リスなど— 4.12—6.15 とちぎ
蔵の街美術館
ヨーロッパ絵画—バロックから近代
へ—開館10周年記念 10.29—12.4

富岡市立美術博物館・福沢一郎記
念美術館
横浜トリエンナーレ2005 アートサ
ーカス 日常からの跳躍 9.28—
12.18 横浜市山下ふ頭3号、4
号上屋他
アートトップ 207 長澤章生
あいだ 121 毛利嘉孝
新美術新聞 1067
新美術新聞 1070 長谷川祐子
STUDIO VOICE 358 天野太郎
STUDIO VOICE 359 坂口千秋
STUDIO VOICE 359 宮原裕美
STUDIO VOICE 360 編集部
美術手帖 865 編集部
美術手帖 871 白坂ゆり／臼木
直子／中原紗代子／坂口千秋／高
木哲
美術手帖 872 暮沢剛巳
美術手帖 872
美術の窓 257 岡部あゆみ
美術の窓 265
朝日 10.5 田中三蔵
朝日夕刊 2.9、6.17 田中三蔵
朝日夕刊 9.26 帯金章郎
産経 12.14 猪谷千香
東京 10.8 稲葉千寿
日経 10.29 富田律之
毎日夕刊 8.19、10.13 三田晴
夫
読売夕刊 7.7
読売夕刊 10.12 前田恭二
読売夕刊 10.13 高野清見
よこはまの浦島太郎—中世説話から
現代まで— 10.22—11.27 横浜
市歴史博物館
義経展—源氏・平氏・奥州藤原氏の
至宝— 4.5—5.15 千葉市美術
館(兵庫県立歴史博物館、岩手県
立博物館)
義経と尼崎 悲運の船出と大物浦伝
説 10.8—11.12 尼信博物館
吉原治良賞美術コンクール展13回
1.10—1.28 大阪府立現代美術セ
ンター
吉村弘の世界 音のかたち、かたち
の音 7.9—8.28 神奈川県立近
代美術館(葉山)
AXIS 116 降旗千賀子

平成17年美術展覧会(企ヤ〜リ)

よみがえる源氏物語絵巻—完成した
復元模写を中心に— 徳川美術館
開館70周年記念 NHK名古屋開
局80周年記念春季特別展 4.16
—5.22 徳川美術館
読売夕刊 4.16
蘇る縄文—自然と暮らした人々—
7.16—9.19 埼玉県立川の博物館
読売夕刊 8.25
よみがえる須磨コレクション—スペ
イン美術の500年 4.23—6.5 長
崎県美術館
芸術新潮 667
よみがえる万古不易—有節の桜色と
万古窯— 10.29—11.27 朝日町
歴史博物館
頼朝 範頼 義経—武州金沢に伝わ
る史実と伝説— 開館75周年記念
企画展 6.9—8.7 神奈川県立金
沢文庫
46億年のタイムカプセル—南極大陸
から未来がみえる— 7.16—9.25
ミュージアムパーク茨城県自然博
物館

(ラ)

life/art '05 12.8—3.26 資生堂ギャ
ラリー
ラオスの染織 織りに浮かぶ祈り展
9.14—10.16 福岡市美術館
楽吉左衛門 1999年秋—2005年春
創作 9.17—2.26 菊池寛実記念
智美術館
目の眼 351
乱世を駆け抜けた武将たち—城館か
らみた馬淵川・北上川流域の中世
史— 7.1—8.21 盛岡市遺跡の
学び館

(リ)

離宮—竹原井頼宮と智識寺南行宮—
7.9—8.28 柏原市立歴史資料館
陸の道・海の道—人・もの・文化の
大動脈— 10.12—11.20 大分県
先哲史料館
リサイクル工場の現代美術—Vari
ations on a Silence 5.13—5.29
リーテム東京工場
ギャラリー* 241

平成17年美術展覧会(企リ〜ワ)

美術手帖 866 針谷周作
朝日夕刊 5.20 大西若人
東京 5.16 秦淳哉
読売夕刊 5.19 前田恭二
李朝絵画の世界 4.1—6.26 高麗美術館
李朝白磁展 1.15—1.22 大塚美術
目の眼 341
2001〜2004年度栗東市発掘調査成果
むらのうつりかわり—栗太郡の中
世集落を中心に— 11.19—12.18
栗東歴史民俗博物館
Reflex—黄金背景テンペラ模写と現
代における展開・構築— 7.5—
7.22 東京芸術大学大学美術館
琉球の美 7.5—9.25 日本民芸館
日経 8.28 (白)
琉球の美 8.2—9.11 石橋美術館
デアルテ 22 平間理香
龍子を魅了した仏たち 4.26—5.22
大田区立龍子記念館
毎日 4.24 高島博之
読売 5.14
遼の陶磁 10.14—10.16 浦上蒼穹
堂
芸術新潮 672
龍馬の翔けた時代—その生涯と激動
の幕末—坂本龍馬誕生170年記念
7.16—8.28 京都国立博物館
両洋の眼 新美術主義の画家たち
2005 4.23—6.12 田辺市立美術
館(三越(日本橋)、三原リージョ
ンプラザ、八戸市美術館、河口湖
美術館)
毎日夕刊 6.3 石川健次
りんごの秘密 描かれた禁断の果実
4.23—6.5 ひろしま美術館
琳派展 VIII 俵屋宗達—琳派誕生—
9.16—12.18 細見美術館
琳派と江戸の美 京都・細見美術館
所蔵 1.2—1.18 伊勢丹(新潟)
燐葉大展覧会 マッチラベルのシン
セカイ 4.26—5.29 岡山県立美
術館
毎日夕刊 4.19 若狭幸治

(ル)

ルイ・ヴィトン 時空を超える意匠
の旅 1.21—3.21 森アーツセン

ターギャラリー
読売 2.23—25 池田香
読売夕刊 1.18 安藤忠雄
ルーヴル美術館展 19世紀フランス
絵画—新古典主義からロマン主義
へ 4.9—7.18 横浜美術館(京都
市美術館)
新美術新聞 1056 新畑泰秀
朝日夕刊 5.13 山盛英司
産経 4.27 岡本耕治
東京 5.5 (青)
東京 5.14 中村隆夫
読売 4.3 セバスティアン・ア
ラール
読売夕刊 4.12—15 前田恭二
読売夕刊 7.7 碓ゆか/峰ゆか
り
読売夕刊 7.11 稲賀繁美
ルッソーの会 10.17—10.22 ギャ
ラリーK
瑠璃展34回 6.2—6.7 福岡アジア
美術館

(レ)

レアル・スペイン美術の現在 10.1
—11.13 長崎県美術館
歴史の編纂と顕彰—近代鹿児島と歴
史意識— 11.15—2.5 鹿児島県
歴史資料センター黎明館
RESFEST2005 デジタル・フィル
ム・フェスティバル 11.17—11.20
ラフォーレミュージアム原宿他
美術手帖 872
レッドデータブックとちぎ 栃木県
の保護上注目すべき地形・地質・
野生動植物 平成17年度春季企画
展 4.29—6.26 栃木県立博物館
蓮花 双のまなざし 9.10—10.10
思文閣美術館

(ロ)

「Rosa!」〜あらわになる色 9.1—
9.25 東京芸術大学大学美術館
東京 8.27 渡辺好明
6月のイギリス ホガースからホッ
クニーまで イギリス美術の250
年 6.11—7.10 栃木県立美術館
六耀会1回 6.27—7.2 銀座スル
ガ台画廊

ロシア児童文学の世界 昔話から現
代の作品まで 4.23—9.18 国立
国会図書館国際子ども図書館
ロシア民族学博物館アイヌ資料展—
ロシアが見た島国の人びと—
4.22—6.19 北海道開拓記念館
(川崎市市民ミュージアム)
六角氏と永源寺 8.27—10.2 栗東
歴史民俗博物館

(ワ)

Y氏コレクション展 ある日本近代
洋画へのまなざし 1.3—3.27
大川美術館
ワイルドライフ写真大賞展2004
2.1—2.27 国立科学博物館(河口
湖美術館)
朝日 2.15
若狭湾と中世の海の道—若狭湾の
浦々と日本海流通— 10.8—11.6
福井県立若狭歴史民俗資料館
和歌と美術 特集陳列 古今集1100
年 新古今集800年記念 11.23—
12.25 京都国立博物館
目の眼 352
和歌浦—その景とうつりかわり—
10.21—11.23 和歌山市立博物館
わざと表現 日本画の技法案内
7.2—8.31 高崎市タワー美術館
輪島漆芸の苦難と復活—戦後60年に
ふりかえる— 7.22—9.5 石川
県輪島漆芸美術館
輪島の漆芸作家たち—第12回入選作
品— 10.20—12.25 石川県輪島
漆芸美術館
わたしの選んだ1点〜実篤書画の魅
力〜 10.1—11.6 調布市文化会
館たづくり
私のおすすめ 奈良の朝 写真・絵
手紙 9.23—10.10 奈良県立万
葉文化館
わたしの美術館展—市民が選んだ横
浜美術館ベスト・コレクション
7.29—8.31 横浜美術館
東京 8.20 中村隆夫
私の風景 1.13—4.10 池田20世紀
美術館
私を見つめる私の眼 70人の自画像
と作品 3.12—5.25 笠間日動美

術館
渡辺華山と周辺作家 田原市博物館
館蔵名品選 4.27—6.19 田原市
博物館
わびの造形 朝鮮と日本の茶道具
10.25—11.27 福岡市美術館
われは海の子—海に生業を求めた
人々— 4.1—6.26 和歌山県立
紀伊風土記の丘
われらの時代 12.17—2.5 水戸芸
術館現代美術ギャラリー
芸術新潮 674
ワンダーシード展 2.26—3.13 ト
ーキョーワンダーサイト
新美術新聞 1051 (石)

作家展

(ア)

アーキグラムの実験建築 1961—
1974 1.22—3.27 水戸芸術館現
代美術ギャラリー
芸術新潮 661 高橋瑞木 談
芸術新潮 663
新美術新聞 1053 逢坂恵里子
STUDIO VOICE 351 石田潤
美術手帖 861 今村創平
日経 2.24
相笠昌義 日常生活 10.15—12.25
東京オペラシティアートギャラリ
ー
朝日夕刊 12.15 田中三蔵
愛国「Recent works」 1.12—2.12
ツァイト・フォト・サロン
芸術新潮 663
相田ひろみ展 7.11—7.16 シロタ
画廊
会田誠 恋の前厄 12.7—1.21 ミ
ヅマアートギャラリー
美術手帖 874
藍田正雄の江戸小紋 4.23—5.22
群馬県庁昭和庁舎
道・相田みつを物語 第27回企画展
テレビドラマ化記念 1.18—3.27
相田みつを美術館
曾田雄亮展 変貌する陶土 練込・
陶壁・モニュメント 5.31—7.18
渋谷区立松涛美術館
會津八一 絵画の世界—中岳先生と

早稲田中学美育部の画家たち—開
館30周年記念特別展 9.30—11.6
新潟市會津八一記念館
相原慶樹展 4.18—4.23 ギャラリ
イK
美術手帖 865 福住廉
ハルドール・アウスゲイルソン展
高架下の火山活動 6.18—7.2
アトリエ2001
フラミンゴ 84 山本淳夫
青木克世展—白の秘儀・陶の呪文—
5.2—5.28 INAXギャラリー
青木繁—《海の幸》100年 9.17—10.10
ブリヂストン美術館(石橋美術館)
朝日夕刊 9.30 西田健作
青木洋子 池田章子 清水洋子—
SPACE—3人 7.25—7.30 シ
ロタ画廊
青木陵子「Super Flyer」 10.22—
12.3 児玉画廊
STUDIO VOICE 360
青山悟展「空気 コーヒー 東京の
朝」 6.1—7.2 ミヅマアートギ
ャラリー
美術手帖 868 河野晴子
青山亘幹 正覚寺天井画展 10.1—
10.17 ギャラリー長谷川
ギャラリー* 246
レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 赤井正人個展 1.24—1.29
銀座スルガ台画廊
赤塚一三展—色彩とデッサンとの絶
え間ない葛藤— 6.8—6.17 名
古屋画廊
赤羽末吉・鬼の絵本展 5.13—7.5
安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより 36 上島
史子
赤平健二展 8.3—8.9 高島屋(日
本橋)
TIME MACHINE 赤松正行展
3.6—3.21 夢創館
美術手帖 864 伊村靖子
秋廣誠—動作の比喩— 10.3—
10.27 INAXギャラリー2
秋山俊也個展2回 2.21—2.27
画廊宮坂
写真家 秋山庄太郎展 美の追憶
2.22—2.27 三越(日本橋)

秋山正仁 10.3—10.8 ギャラリー
K
秋山陽展 10.21—11.1 壺中居
陶説 634 廣崎裕哉
阿久津光子 Seeking a Land of Rest
20 11.10—11.18 ギャラリー
GAN
浅井忠 高野コレクション 東京国
立博物館所蔵 没後100年記念
3.24—4.11 高島屋(日本橋)(高
島屋(京都)、高島屋(名古屋))
浅井忠とバルビゾン 4.26—3.31
千葉県立美術館
朝日夕刊 9.16 西田健作
麻田鷹司と現代日本画 湘南のコレ
クター 4.23—5.29 平塚市美術
館
麻谷宏展—All Things Join Together
(物、皆ナー点二集マル) 5.3—
5.22 海岸通りギャラリーCASO
産経 5.14 酒井潤
キャンパスに刻まれた魂〜浅野弥衛
の世界〜 9.17—10.23 四日市
市立博物館
四日市市立博物館研究紀要 13
磯川浩
浅見千鶴 10.17—10.22 銀座スル
ガ台画廊
仙台の絵師 東東洋一ほのぼの絵画
の世界—生誕250年記念 11.11—
12.18 仙台市博物館
芸術新潮 674
東亭順 Touch Me if You Can 11.
11—12.4 アートコクーン
美術手帖 874 高嶋雄一郎
与勇輝人形展 3.18—4.17 松本市
美術館
安達博文展 現代の写楽か—安達の
眼— 7.16—8.31 駒ヶ根高原美
術館
新美術新聞 1062 中村隆夫
フランチ・アッカーマン展 3.19—
4.16 小山登美夫ギャラリー
芸術新潮 665
STUDIO VOICE 353 嘉藤笑子
阿部直昭 10.17—10.29 ギャラリ
ー58
阿部仁史展 Body 3.9—5.14 ギ
ャラリー・間

読売夕刊 4.2 高野清見
 人間国宝・天田昭次 鉄と日本刀
 3.5—3.27 新潟市歴史博物館
 刀剣美術 580 近藤昌敏
 天野邦弘展 '60年代—'90年代の版
 画作品 11.7—11.16 番町画廊
 天野純治 9.12—9.24 養清堂画廊
 雨宮敬子展 彫刻 作品集刊行記念
 3.9—3.15 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 1049 加藤貞雄
 雨宮庸介「THE WORLD」 10.29—
 11.27 BOICE—PLANNING
 STUDIO VOICE 360 青木淳
 ア・ヤ・ズ エキシビション パ
 ング ント展[飴屋法水]
 7.29—8.21 P-House
 美術手帖 871 飴屋法水/伊藤
 ガビン/榎木野衣/大友良英/松
 本弦人/秋田敬明/八谷和彦/小
 田マサノリ/東谷隆司/石川直樹
 /宇川直宏/楠見清/工藤キキ/
 後藤繁雄/住友文彦/樋口ヒロユ
 キ/彦坂尚嘉/山本ゆうこ/中山
 ダイスケ
 鮎川廉 10.3—10.15 なびす画廊
 新井淳一 進化する布 4.16—5.15
 群馬県立近代美術館
 荒川修作を解読する 3.19—5.8
 名古屋美術館
 芸術新潮 665
 STUDIO VOICE 353 宮村周子
 美術手帖 864 秋庭史典
 レスポワール展39回 2005年新人選
 抜展 荒木恵信個展 3.28—4.2
 銀座スルガ台画廊
 森山・新宿・荒木展[荒木経惟]
 1.15—3.21 東京オペラシティア
 ートギャラリー
 STUDIO VOICE 350 北澤ひろ
 み
 朝日夕刊 2.24 田中三蔵
 産経 1.25 生田誠
 産経 2.1 重松明子
 産経 2.17
 日経 1.24
 読売夕刊 1.27
 森山大道+荒木経惟『コンタクト・
 新宿・トリミング』 1.20—3.6
 NADiff

産経 2.17
 有賀和郎個展 11.7—11.13 artist
 in
 あるがせいじ個展 6.4—7.2 ヴァ
 イスフェルト
 美術手帖 868 福住廉
 ハンス・アルプ展 20世紀彫刻の開
 拓者 1.15—3.27 神奈川県立近
 代美術館(葉山)(岡崎市美術博物
 館、群馬県立館林美術館)
 朝日夕刊 2.19 西田健作
 東京 1.4
 東京 2.5 中原佑介
 東京 3.5 中村隆夫
 東京夕刊 2.21 白石かずこ
 東京夕刊 2.22 針生一郎
 東京夕刊 2.23 巖谷國士
 東京夕刊 2.24 建畠哲
 東京夕刊 2.25 荻野アンナ
 読売夕刊 2.24 前田恭二
 ハンス・アルプ展 4.5—6.26 川
 村記念美術館
 日経 5.15 (律)
 ジェームズ・アンソール展 4.23—
 6.12 東京都庭園美術館(三重県
 立美術館、福島県立美術館、北九
 州市立美術館、高松市美術館)
 ジャポニスム研究 25 高木陽子
 美術手帖 865
 朝日夕刊 5.27 西田健作
 東京 5.28 中村隆夫
 ローリー・アンダーソン『時間の記
 録』 7.22—10.2 NTTインター
 コミュニケーション・センター
 (ICC)
 STUDIO VOICE 357
 朝日夕刊 9.6 大西若人
 毎日夕刊 8.22 三田晴夫
 読売夕刊 8.25 前田恭二
 アンテスとカチーナ人形 現代ドイ
 ツの巨匠とホピ族の精霊たち[ホ
 ルスト・アンテス] 7.9—8.28
 神奈川県立近代美術館(葉山)
 朝日夕刊 8.9 西田健作
 読売夕刊 7.2 酒井忠康
 読売夕刊 7.28 高野清見
 カミュー・アンロ 11.22—11.26
 原美術館ザ・ホール
 美術手帖 873

美術手帖 876 北澤ひろみ
 産経 11.25 猪谷千香

(イ)

イ・ブル展—S2 9.29—10.29
 SCAI THE BATHHOUSE
 毎日夕刊 10.11 三田晴夫
 Lee Bae Exhibition[李英培] 4.4—
 4.23 ギャラリー川船
 チャールズ&レイ・イームズ 創造
 の遺産 10.8—12.11 目黒区美
 術館(大丸ミュージアム(東京))
 読売 10.4、7 降旗千賀子
 五百城文哉展 咲き競う百花百草
 甦る明治の洋画家 7.16—8.28
 東京ステーションギャラリー
 朝日夕刊 8.3 高階秀爾
 東京 7.28 (青)
 読売夕刊 7.21 前田恭二
 五十嵐彰雄 9.5—9.24 GALLERY
 Terashita
 五十嵐威暢展 12.5—12.22 ギャ
 ラリーなつか
 芸術新潮 674
 池内晶子展 5.9—5.28 ギャラリー
 ー21+葉
 芸術新潮 667
 毎日夕刊 5.17 三田晴夫
 池口史子展—静かなる叫び— 損保
 ジャパン東郷青児美術館大賞受賞
 記念27回 11.3—12.11 損保ジ
 ャパン東郷青児美術館
 新美術新聞 1071 武田厚
 産経 12.5 岡本耕治
 東京夕刊 11.8 (塩)
 日経 11.9 宝玉正彦
 池田あきこ原画展 2.9—2.21 高
 島屋(横浜)
 池田 朗子 『their site/your sight』
 6.20—7.9 multiple choice
 美術手帖 870 金井直
 青木洋子 池田章子 清水洋子—
 SPACE—3人 7.25—7.30 シ
 ロタ画廊
 池田 啓子展 1.10—1.29 Gallery
 Yamaguchi Kunst—Bau
 美術手帖 862 伊村靖子
 池田孔介展 1.14—1.27 旧坂本小
 学校第四展示室

美術手帖 862 奥村雄樹
池田龍雄展 時空遊泳 ASARAT計画から梵天の塔まで 1.11—1.29
ギャラリー58
美術手帖 862 奥村雄樹
朝日夕刊 1.17 田中三蔵
毎日夕刊 1.27 三田晴夫
読売夕刊 1.19 芥川喜好
池田遙邨展 生誕110年記念 9.9—11.6 倉敷市立美術館
新美術新聞 1066 佐々木千恵
池田遙邨展 生誕110年記念 11.20—1.9 三重県立美術館
読売夕刊 12.14 芥川喜好
伊砂利彦—型染の美 4.26—6.26
東京国立近代美術館工芸館
新美術新聞 1054 今井陽子
東京 5.21 藤田一人
伊佐雄治 シルクスクリーンとドローイング 10.31—11.5 シロタ画廊
井沢大也展 8.10—8.16 高島屋(日本橋)
南スペイン、白い村の陽だまりからイシイタカシ出版記念展 6.22—6.30 松屋(銀座)
毎日 6.22 益子香里
石井友人 from/to #3 7.22—8.11 WAKO WORKS OF ART
美術手帖 871 高嶋雄一郎
石井礼子展—わたしのまわり— 9.17—11.23 平塚市美術館
朝日夕刊 11.8 田中三蔵
東京 10.8 藤田一人
石内都展 1.15—2.19 The Third Gallery Aya
美術手帖 862 伊村靖子
永遠なる薔薇 石内都の写真と共に 12.7—1.4 HOUSE OF SHISEIDO
朝日夕刊 12.22 田中三蔵
産経 12.15 藤田綾子
越後の名匠 石川雲蝶の世界 新潟県中越地震復興支援 3.19—3.31 豊島区立郷土資料館
石川九楊の世界 書業55年還暦記念 9.13—9.19 三越(日本橋)
芸術新潮 669
墨 176 編集部 聞き手

朝日夕刊 9.15 田中三蔵
毎日 9.13 立上修
日本画家 石川響展 9.14—10.23 茂原市立美術館・郷土資料館
八谷和彦・篠田太郎・石川直樹 SKY-HIGH(スカイ・ハイ)展 9.10—10.23 KPOキリンプラザ大阪
美術手帖 870
美術手帖 872 楠見清
石川順恵展 7.4—7.29 第一生命南ギャラリー
朝日夕刊 7.21 田中三蔵
毎日夕刊 7.12 三田晴夫
石橋貴男 彫刻人形展 4.19—4.24 ギャラリーJ2
石丸澄子ポスター展 2.15—3.15 古本酒場コクテイル書房
芸術新潮 665
石本正 旅への誘い 4.1—6.19 石正美術館
石本正 私の舞妓 6.24—9.4 石正美術館
石本正 神話と伝説 9.10—12.4 石正美術館
石本正 女の一生 12.10—2.26 石正美術館
石元泰博 作品展「シカゴ 1966」 4.5—4.28 フォト・ギャラリー・インターナショナル
芸術新潮 665
石元泰博写真展 都市への視線 9.16—11.11 ギャラリーエークウッド
日経 10.30 (内)
居城純子+メモメント森「Hotel Pantaloon」展 7.1—7.31 Pantaloon
美術手帖 870 伊村靖子
没後10年 遺業・泉茂 4.23—6.5 和歌山県立近代美術館
泉田直美 足元から頭上のあいだ 7.19—7.24 ギャラリーGAN
伊勢正義展 没後20年 10.15—12.4 秋田県立近代美術館
磯崎新 闇・霧・影 9.16—10.1 とき忘れもの
クリテリウム62 磯邊一郎 1.22—3.27 水戸芸術館現代美術ギャラリー

道南の精鋭III 市根井孝悦展 カムイの山 北海道の名峰たち 1.5—3.24 北海道立函館美術館
市原悠輔展 正円の為の公式と解説 2.28—3.5 ギャラリー21+葉
美術手帖 864 福住康
市村しげの展 光と時間 9.7—10.12 ベイスギャラリー
芸術新潮 671
一色ちか子 New Paintings 10.4—10.29 APS・西村画廊
美術手帖 873 高嶋雄一郎
井筒啓之「8月の果て」さし絵原画展 8.3—8.9 高島屋(日本橋)
井手日出志 Recent Works(concious alpinist) 2003—2005 10.29—12.3 Gallery HAM
美術手帖 874 金井直
素材への思い—力と可能性—展 佐光庸行 伊藤慶二 大嶽有一 9.17—10.23 美濃加茂市民ミュージアム
伊藤琴恵 5.31—6.11 SPC GALLERY
若冲と京の画家たち 2.5—3.13 静岡県立美術館
新美術新聞 1052 山下裕二
伊藤若冲 特集陳列 2.16—3.27 京都国立博物館
伊とうはるこ展 10.8—10.15 青木画廊
舞台美術家伊藤熹朔の舞台装置原画展 ~20世紀の舞台空間演出デザインの軌跡~ 5.6—5.28 武蔵野美術大学美術資料図書館
稲垣三郎 9.11—9.17 本町画廊(横浜)
稲森栄敬 GT(グラン・ツーリズム) 6.3—7.2 GALLERY SIDE 2
STUDIO VOICE 355
写真家井上青龍回顧展 眼差しの軌跡 7.30—8.28 兵庫県尼崎市総合文化センター美術ホール
読売夕刊 8.19 松本由佳
井上雅之展 new works 2005 4.11—4.30 ギャラリー東京ユマニテ
朝日夕刊 4.26 田中三蔵
毎日夕刊 4.19 三田晴夫

花・鳥・風景—野々内良樹・井上稔
・野々内宏兄弟展 5.26—7.24
奈良県立万葉文化館
展覧会だより 6 福田道宏
清親と安治 近代錦絵の光芒[井上
安治] 2.19—3.21 川越市立美
術館
美術手帖 862 池上ちかこ
「書」のまち春日井 特別企画展『書』
[井上有一] 2.25—3.27 文化フ
ォーラム春日井・ギャラリー
日経 3.18
猪熊弦一郎 新装開館20周年記念
10.4—11.6 鹿児島市立美術館
建築家 今井兼次の世界 7.22—
9.4 多摩美術大学付属美術館
今井優 9.12—9.17 村松画廊
今沢正 11.7—11.26 GALLERY Tera-
shita
今竹七郎大百科 生誕100年 10.8
—11.27 西宮市大谷記念美術館
今村洋平 12.10—2.28 TIME &
STYLE EXISTENCE
美術手帖 876 高嶋雄一郎
入江明日香展 2.21—2.26 シロタ
画廊
芸術新潮 664
入江一子 5.22—5.27 ユニグラバ
ス銀座館
毎日夕刊 5.6 石川健次
大和路を愛した巨匠—土門拳と入江
泰吉展 入江泰吉誕生100年
10.1—12.25 奈良市写真美術館
日経 11.4
大凶かえって吉の兆 —おみくじブ
ロジェクト: 岩井成昭版 6.4—
7.3
すみだリバーサイドホール・ギャ
ラリー
毎日 6.4 渡辺暖
読売 6.4
岩井俊雄 エレクトロブランクトン
展 4.8—4.14 ラフォーレミュ
ージアム原宿
STUDIO VOICE 355 大城譲司
岩合光昭写真 10.29—12.25 郡山
市立美術館
所蔵 義経伝説 浄瑠璃物語—華麗
なる又兵衛絵巻の世界—[岩佐又

兵衛] 3.12—4.19 MOA美術館
朝日夕刊 4.1 山盛英司
読売夕刊 4.15 前田恭二
川越の美術家たち 生誕100年 岩
崎勝平 7.2—9.4 川越市立美術
館
ちひろ・いのちの詩 戦後60年・ベ
トナム戦争終結30年[いわさきち
ひろ] 3.1—5.10 安曇野ちひろ
美術館
いわさきちひろアンデルセンへの旅
H.C.アンデルセン生誕200年記念
3.1—5.15 いわさきちひろ絵本
美術館
ちひろと信州 5.13—7.5 安曇野
ちひろ美術館
ちひろの夏休み 7.8—9.13 安曇
野ちひろ美術館
わたしの中のいわさきちひろ 7.15
—8.15 岡山県立美術館
お・い・し・いちひろ 9.14—11.13
ちひろ美術館(東京)
ちひろ・線のリズム 11.16—1.31
ちひろ美術館(東京)
能シリーズ 岩谷徹 銅版画 9.15
—9.25 LABOTTO
do展 2nd [岩本かずえ] 6.20—
6.25 シロタ画廊
岩本和子展—祈りの空間— 4.29—
6.7 茅ヶ崎市美術館

(ウ)

呉為山展 3.31—4.28 西福ギャラ
リー
日経 5.20 竹田博志
オラーフ・ヴェストファーレン
9.12—9.24 ギャラリー菊
植田正治: 写真の作法 僕たちはい
つも植田正治が必要なんだ! 東
京都写真美術館開館10周年記念
12.17—2.5 東京都写真美術館
上野恵利展 7.4—7.9 ギャラリー
21+葉
ブルース・ウェバー展 9.16—
10.30 青山旧紀伊国屋跡地特設
ミュージアム
芸術新潮 671
上村松園・松篁・淳之—松伯美術館
名品展 受けつがれる美へのまな

ざし 4.16—6.12 高崎市タワー
美術館
上村松園・松篁・淳之Ⅰ 6.21—8.28
松伯美術館
上村松園・松篁・淳之Ⅱ 12.9—2.5
松伯美術館
松園の縮図帖 9.10—10.10 松伯
美術館
松園と美しき女性たち 生誕130年
10.8—11.27 山種美術館
目の眼 350
ジョニー・ウェルズ展 来日30周年
記念 9.3—9.10 ビガ画廊1・
2
読売 9.4
ヨハネス・ヴォーンザイファー
9.12—9.24 CAI Contemporary
Art Institute
アート・スコープ2004—Cityscape
into Art 荘司美智子 ヨハネス
・ヴォーンザイファー 1.29—3.13
原美術館
STUDIO VOICE 351 嘉藤笑子
鶴飼美紀+辻和美—光のかけら—
12.10—4.2 群馬県立館林美術館
国芳画「山海愛度図会」展[歌川国芳]
3.29—7.3 日本浮世絵博物館
広重・ふたつの富士三十六景[歌川
広重] 1.5—2.6 馬頭町広重美
術館
太田コレクション 歌川広重のすべ
て 開館25周年記念 4.1—6.26
太田記念美術館
北斎と広重展 幻の肉筆画発見 原
安三郎秘蔵浮世絵風景画コレク
ション初公開 6.7—6.19 三越(日
本橋)
朝日夕刊 6.7 田中三蔵
日経 6.9
北斎の波 広重の雨 8.6—9.19
和泉市久保惣記念美術館
歌川広重と水木しげる展「東海道」
と「妖怪道」をめぐる旅 8.14—
8.20 丸善(丸の内本店)
毎日 8.3 渡辺暖
広重画業展 開館5周年記念特別展
9.23—11.27 馬頭町広重美術館
浮世絵における常識と非常識—『名
所江戸百景』[歌川広重] 11.18—

11.30 神奈川大学横浜キャンパス3号館常民参考室
朝日夕刊 11.21 増谷文生
内倉ひとみのアトリエ 5.18—5.31
アートギャラリー閑々居
内田和夫 11.7—11.12 銀座スルガ台画廊
内間安理展 Forest Byobu 視覚ダンスの世界 8.19—9.3 ときの忘れもの
内山知子 LINE展 7.25—7.31 トキ・アーツスペース
美術手帖 870 福住廉
ウドムサック・クリサナミス展 2.10—3.11 GALLERY SIDE 2
芸術新潮 664
宇野かこ展 4.20—4.26 高島屋(日本橋)
毎日 4.13 益子香里
熊本の作家4 宇野千里 11.9—11.27 熊本市現代美術館
ART—EX派遣作家帰国報告展 馬野訓子 2.14—2.26 大阪府立現代美術センター
デザイン国際化時代のパイオニア 川上元美・喜多俊之・梅田正徳の椅子デザイン 6.9—7.16 武蔵野美術大学美術資料図書館
梅原龍三郎 晩年の造形と愛蔵品 4.5—5.15 渋谷区立松涛美術館
朝日夕刊 4.22 田中三蔵
東京 4.23 藤田一人
ヴラマンクと織田広喜 9.6—12.10 鎌倉大谷記念美術館

(エ)

瑛九 フォト・デッサン展 10.22—12.18 国立国際美術館
江口週 7.4—7.16 かねこあーとギャラリー
江田巨樹個展 4.12—4.24 ギャラリーMOCA
美術手帖 866 金井直
越前谷嘉高展 10.31—11.12 なびす画廊
毎日夕刊 11.7 三田晴夫
読売夕刊 11.10 前田恭二
エッシャー! エッシャー!! エッシャー!!! 9.3—10.10 秋田県

立近代美術館
ニコンサロン特別展 江成常夫展 昭和史の風景 偽満州国 8.8—8.20 銀座ニコンサロン
毎日夕刊 8.5 桐山正寿
ニコンサロン特別展 江成常夫展 昭和史の風景 鬼哭の島 8.9—8.20 新宿ニコンサロン
毎日夕刊 8.5 桐山正寿
榎倉康二展 1.15—3.21 東京都現代美術館
ギャラリー* 238
美術手帖 863 真武真喜子
朝日夕刊 1.27 田中三蔵
毎日夕刊 1.25 三田晴夫
読売夕刊 1.20 前田恭二
榎倉康二展 『染み』が描かれるようになったわけ 1.25—2.12 ギャラリー21+葉
朝日夕刊 1.27 田中三蔵
海老塚市太郎 水の伝言 12.5—12.10 シロタ画廊
海老塚耕一 10.11—10.22 養清堂画廊
江里佐代子・截金の世界 人間国宝金箔のあやなす彩りとロマン 1.5—2.7 佐野美術館
朝日夕刊 1.25 山盛英司
オラファー エリアソン 影の光 11.17—3.5 原美術館
芸術新潮 675
STUDIO VOICE 361 濱中マコト
美術手帖 873
美術手帖 876 市原研太郎
ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・サニ 9.12—9.24 なびす画廊
美術手帖 872 河野晴子
マックス・エルンスト展 6.27—9.2 Art Space by Fuji Xerox
入定310年 円空展 庶民の信仰・慈愛の微笑み 5.27—6.19 そごう美術館
朝日夕刊 6.10 田中三蔵
円空展 5.27—6.19 そごう美術館
日経 6.1 竹田博志
円空さん 6.7—7.18 北海道立近代美術館(名古屋市博物館、仙台

市博物館)
円空 7.16—8.25 香川県歴史博物館
遠藤虚籟と和田秋野 平和を祈る綴錦織の美 2.5—3.13 館山市立博物館
毎日夕刊 3.3 和田修二
遠藤健郎絵画展 戦後は終わった 1.29—2.27 千葉市美術館
遠藤利克展 「空洞説」 2.25—3.26 SCAI THE BATHHOUSE
芸術新潮 664
毎日夕刊 3.7 三田晴夫
遠藤利克展—空洞説 II— 4.1—4.27 秋山画廊
朝日夕刊 4.18 田中三蔵
毎日夕刊 4.19 三田晴夫
遠藤雪代個展 6.10—6.25 HIROMI YOSHII FIVE
美術手帖 868 福住廉
遠藤良太郎 PAINTING FREE 10.17—11.19 ベイスギャラリー
美術手帖 874 高嶋雄一郎

(オ)

王子江展—人生楽詩— 3.22—3.27 藤屋画廊
ギャラリー* 239
逢坂卓郎展—GROUND Fullness in the earth・地中に満つるもの 11.6—11.28 ポーラミュージアム アネックス
芸術新潮 673
日経 11.19 宝玉正彦
O JUN 全リトグラフ 3.25—4.15 ガレリア・アルテリブレ
美術手帖 865 伊村靖子
O JUN —未熟の人 4.8—5.14 void+
レスポワール展39回 2005年新人選抜展 大石朋生展 4.25—4.30 銀座スルガ台画廊
大浦峰郎個展 5.23—5.28 銀座スルガ台画廊
ローラ・オーエンズ個展 2.8—3.27 資生堂ギャラリー
STUDIO VOICE 352 宮村周子
レスポワール展39回 2005年新人選抜展 大河原典子個展 4.11—

4.16 銀座スルガ台画廊
光・水辺の球—大久保英治 7.9—
8.7 西宮市大谷記念美術館
大塩紗永新作展 3.14—3.26 シロ
タ画廊
大塩博美 至上の椅子2005 9.13—
9.24 SPC GALLERY
大下藤次郎展 水彩画のスター
12.28—3.21 島根県立石見美術
館
カズ・オオシロ Room Acoustics
10.1—10.21 トーキョー・ヒッ
プスターズ・クラブ
美術手帖 873 河野晴子
市川の文化人展7回 白寿記念 彫
刻家 大須賀力 7.1—8.21 市
川市芳澤ガーデンギャラリー
太田三郎展 8.1—8.13 コパヤシ
画廊
毎日夕刊 8.9 三田晴夫
太田元弘 Shelter(under a tree)
8.16—8.21 豊田市美術館ギャラ
リー
美術手帖 872 金井直
'On Paper' 大竹伸朗展 6.6—8.8
ベイスギャラリー
芸術新潮 669
朝日夕刊 7.21 田中三蔵
毎日夕刊 6.14 三田晴夫
話す部屋[大竹司] 9.5—9.17 ギ
ャラリー金輪
ギャラリー* 245
素材への思い—力と可能性—展 佐
光庸行 伊藤慶二 大嶽有一
9.17—10.23 美濃加茂市民ミュ
ージアム
大竹竜太展 2.26—3.19 TARO NASU
GALLERY
芸術新潮 664
大谷有花展 PAINTINGS 2000—2005
10.4—11.4 第一生命南ギャラリ
ー
美術手帖 873 河野晴子
大塚新太郎展 12.5—12.24 秋山
画廊
毎日夕刊 12.13 三田晴夫
大西久 9.13—9.18 ギャラリー
GAN
大西康明—呼吸星雲— 12.1—12.24

INAXギャラリー
芸術新潮 674
湘南の洋画家・大貫松三展 生誕
100年目の発見 10.1—12.23 平
塚市美術館
Kazuo Ohno Festival 2005 10.28
—12.18 BankART 1929 Yoko-
hama/BankART Studio NYK/東
京芸術大学横浜校地馬車道校舎/
テアトルフォンテ
BankART Life 創刊号
もうひとりの大野隆司と師匠谷中安
規展 6.5—7.13 柏わたくし美
術館
読売夕刊 6.22 永井一顕
River—大野広子小品展 1.19—1.25
高島屋(日本橋)
大場節子展 4.5—4.17 ヒルサイ
ドフォーラム
アートトップ 202
大橋仁展 9.23—10.2 プロテクト
IIIビル4階
美術手帖 866 山内宏泰
地域の木版画家シリーズ 高久茂・
大橋登美子 4.5—5.29 川上澄
生美術館
大巻伸嗣 Crystallization 8.22—9.9
東京画廊
毎日夕刊 8.30 三田晴夫
読売夕刊 9.1 前田恭二
大巻伸嗣個展 ECHOES—INFINITY
— 8.23—9.25 資生堂ギャラリ
ー
芸術新潮 670
美術手帖 872 高嶋雄一郎
朝日夕刊 9.14 西田健作
毎日夕刊 8.30 三田晴夫
読売夕刊 9.1 前田恭二
大森克己写真展「encounter」 4.15
—5.16 Gallery Trax
STUDIO VOICE 353 編集部
日光に生まれた作家たちIV 大森弘
展 悠久の営みを描く 2.5—
2.27 小杉放菴記念日光美術館
岡崎乾二郎「Painting」 9.20—10.8
南天子画廊
芸術新潮 671
毎日夕刊 9.26 三田晴夫
アザーセンシビリティIV 水面はゆ

れる、イメージはうつろう[小笠
原さくら] 9.22—10.8 文房堂
ギャラリー
毎日夕刊 9.26 三田晴夫
国宝 燕子花図—光琳 元禄の偉才
[尾形光琳] 10.8—11.6 根津美
術館
芸術新潮 670 中部義隆
読売夕刊 9.27 前田恭二
尾形純展 Reflective burn—焼き付
く形象 6.20—7.2 ギャラリー
21+葉
復古大和絵師 為恭—幕末王朝恋慕
—[岡田為恭] 10.8—11.13 大
和文華館
岡田裕子『主婦の趣味』 7.13—8.13
ミヅマアートギャラリー
STUDIO VOICE 356
岡部文明展 5.17—5.22 府中市美
術館
毎日夕刊 5.2 重里徹也
THE DARK FACE OF THE LIGHT
光のなかの影[岡部昌生] 8.1—
8.14 トキ・アーツスペース
朝日夕刊 8.11 田中三蔵
毎日夕刊 8.9 三田晴夫
岡村征夫・金子良二写真 キューバ
の芸術家達 11.21—12.6 東京
工芸大学
写真家 太郎と洋之助展[岡本太郎]
2.18—2.27 ハリウッドホール
読売 2.19
岡本太郎・誇らかなメッセージ[明
日の神話]完成への道 7.16—
9.25 川崎市岡本太郎美術館
爆発する芸術 岡本太郎展 11.1—
12.11 福島県立美術館
写真展 岡本太郎の視線 12.24—
2.18 東京都写真美術館
読売夕刊 12.19 山下裕二
岡本守弘展 大きくなった自然2005
6.6—6.11 銀座スルガ台画廊
岡安真成 3.15—3.20 ギャラリー
GAN
尾川宏彰刻—翼へのhommage—
4.11—4.23 ギャラリー新居(東
京)
小川陽展 10.13—10.22 ギャラリー
—21+葉

荻原守衛絵画・デッサン・スケッチ
碌山忌企画 4.19—5.8 碌山美術
館

奥田元宋回顧展—小由女とともに—
9.7—9.19 高島屋(日本橋)

アートトップ 205 永井明生

新美術新聞 1065 永井朋生

読売夕刊 9.6 芥川喜好

人間国宝 奥山峰石と北区の工芸作
家4回 9.10—10.10 北区飛鳥
山博物館

小倉遊亀展 生誕110年記念 5.17
—5.29 三越(日本橋)

日経 4.16

日経夕刊 5.16 橋秀文

尾崎愛明の世界 amorphous1995—
2005 5.9—5.14 村松画廊

小関利雄と子供たちの世界 1.29—
3.21 神奈川県立近代美術館(鎌
倉)

ヴラマンクと織田広喜 9.6—12.10
鎌倉大谷記念美術館

小野州一展—線描のコロリスト—
11.12—3.5 北海道立旭川美術館

小野崎秀子展 2.17—2.22 ギャラ
リー新宿高野

朝日 2.13

小野里浩二展 絵と音2005 8.1—
8.6 ギャラリー21+葉

オノサト・トシノブ展—織部・桐生
に生きた抽象画家 3.30—6.26
大川美術館

オノデラユキ写真展 2.5—4.17
国立国際美術館

美術手帖 865 佐藤守弘

朝日夕刊 2.18 西田健作

ジュリアン・オピー展—Films and
Paintings— 5.12—6.18 SCAI
THE BATHHOUSE

芸術新潮 667

美術手帖 865

日経 5.25 宝玉正彦

小山田二郎展 漂泊46年ぶりの再会
5.24—6.11 文京アート

小山田二郎展 異形の幻視力 5.28
—7.3 東京ステーションギャラ
リー

朝日夕刊 6.21 田中三蔵

東京 6.4 藤田一人

毎日 5.27、6.1 立上修

毎日夕刊 6.16 三田晴夫

読売夕刊 6.15 芥川喜好

小山田二郎展 異形の幻視力 9.17
—11.3 高崎市美術館

新美術新聞 1068 角田真也

小山田二郎 難波田龍起 李田たけ
を 8.16—8.27 東邦画廊

折井宏光展 歴史を描く 3.18—
5.23 奈良県立万葉文化館

毎日夕刊 5.19 折井宏光

温 間にある何か 8.23—8.28 立
体ギャラリー射手座

美術手帖 871 伊村靖子

ポエジーと抒情 恩地孝四郎をめぐ
る人々 9.28—12.25 大川美術
館

(カ)

海崎三郎 ROVER—鉄から鉄へ—
6.10—6.25 ギャラリーGAN

ネイチャー&アート ガウディ・ミ
ロ・ダリ 2005年愛知万博記念

7.16—9.19 豊田市美術館

柿沼直文—深邃なる光を求めて—
7.4—7.16 金井画廊

隠崎麗奈 かしら? 8.19—8.31
ギャラリーGAN

笠井誠—展—卓上の楽園— 4.20—
4.28 梅田画廊(ギャラリー和
田、名古屋画廊)

クリテリオム63 風間サチコ 8.6
—9.19 水戸芸術館現代美術ギャ
ラリー

アトラス 柏田良彰・小林英且・村
松浩之 8.22—8.27 銀座スルガ
台画廊

片岡脩 平和ポスター展 PEACE
FOREVER 7.28—8.20 MDSギ
ャラリー

産経 8.11 藤田綾子

片岡球子展 現代日本画の巨星—
100歳を記念して— 4.9—6.26

神奈川県立近代美術館(葉山)(名
古屋市美術館)

アートトップ 203 奥野美香

新美術新聞 1052 山梨俊夫

新美術新聞 1057 夏目四郎

朝日夕刊 6.2 田中三蔵

東京 1.8 山梨俊夫

東京 6.11 中村隆夫

片岡球子展 現代日本画の巨星—
100歳を記念して— 9.17—11.3

茨城県近代美術館

美術手帖 871

片岡鶴太郎展 '05 画業十周年記念
3.8—3.21 三越(池袋)

朝日 3.9

片岡鶴太郎ガラスの世界展 画業10
周年記念 4.29—5.29 成羽町美
術館

片桐飛鳥 作品展“Light Navigation”
2.15—3.18 フォト・ギャラリー

・インターナショナル

芸術新潮 664

サイト・グラフィックス—風景写真
の変貌—展[片山博文] 1.20—

4.10 川崎市市民ミュージアム

日経夕刊 3.3

読売夕刊 2.25 前田恭二

香月泰男展 5.11—5.21 フォルム
画廊

新春すえひろ肉筆展 墨田区所蔵葛
飾北斎作品展示 1.3—1.16 す

みだ郷土文化資料館

天才絵師葛飾北斎 4.2—5.8 姫路
市立美術館

北斎と広重展 幻の肉筆画発見 原
安三郎秘蔵浮世絵風景画コレクシ
ョン初公開 6.7—6.19 三越(日
本橋)

朝日夕刊 6.7 田中三蔵

日経 6.9

北斎の波 広重の雨 8.6—9.19
和泉市久保惣記念美術館

北斎展 10.25—12.4 東京国立博
物館

芸術新潮 672 内藤正人

STUDIO VOICE 359

朝日夕刊 11.18 山盛英司

産経 11.26 岡本耕治

日経 9.17

日経夕刊 11.8 村上隆

日経夕刊 11.9 高木美保

日経夕刊 11.10 足立直樹

日経夕刊 11.11 皆川博子

日経夕刊 11.21 宮川匡司

読売夕刊 11.4 前田恭二

北斎 江戸の奇才 葛飾北斎とその弟子たち 12.23—1.23 島根県立石見美術館
 勝間田弘幸展 9.1—10.30 ダイヤモンドあずみ野温泉ホテル ギャラリー* 246
 加藤泉展「裸の人」 4.9—5.7 SCAI THE BATHHOUSE
 芸術新潮 666
 STUDIO VOICE 353
 朝日夕刊 4.26 田中三蔵
 読売夕刊 4.15 (清)
 レスポワール展39回 2005年新人選抜展 加藤隆之個展 5.16—5.21 銀座スルガ台画廊
 カトウチカ Reading Water 8.19—8.29 INAXギャラリー2
 美術手帖 871 河野晴子
 追想 カトラン 8.6—8.16 鹿追町民ホール
 金重陶陽展 備前焼中興の祖 人間国宝 4.2—5.22 はつかいち美術ギャラリー
 瓜南直子展 11.21—11.30 柴田悦子画廊
 ギャラリー* 247
 金子稜威雄展 4.11—4.23 ギャラリー21+葉
 レスポワール展39回 2005年新人選抜展 金子朋樹個展 5.9—5.14 銀座スルガ台画廊
 岡村征夫・金子良二写真 キューバの芸術家達 11.21—12.6 東京工芸大学
 金村修の写真 小作品室常設展示 No.247 10.25—12.27 福岡市美術館
 アニッシュ・カプーア「JAPANESE MIRRORS」 11.18—12.22 SCAI THE BATHHOUSE
 芸術新潮 674
 美術手帖 873
 毎日夕刊 12.19 三田晴夫
 三上誠 亀井三千代—生きる絆— 6.6—6.25 羽黒洞
 亀倉雄策ポスター展 8.3—9.25 武蔵野市立吉祥寺美術館
 朝日夕刊 9.9 西田健作
 鴨居玲—私の話を聞いてくれ—没後

20年 11.10—12.11 石川県立美術館(神戸市立小磯記念美術館、ひろしま美術館、長崎県美術館)
 読売夕刊 11.16 芥川喜好
 鴨居玲 没後20年 コレクション展 III 11.19—3.5 兵庫県立美術館
 加守田章二展 20世紀陶芸界の鬼才 7.16—9.4 山口県立萩美術館・浦上記念館(京都国立近代美術館、岩手県立美術館、岐阜県現代陶芸美術館)
 新美術新聞 1061 石崎泰之
 加守田章二展 20世紀陶芸界の鬼才 9.10—10.23 東京ステーションギャラリー
 朝日夕刊 9.7 福島建治
 朝日夕刊 10.7 山盛英司
 日経 9.16 竹田博志
 読売夕刊 9.14 芥川喜好
 読売夕刊 9.24 前田恭二
 加山又造 アトリエの記憶 4.3—5.5 多摩美術大学美術館
 芸術新潮 666
 朝日夕刊 4.19 西田健作
 加山又造全版画展 6.15—6.27 高島屋(日本橋)
 日経 6.17 竹田博志
 日光に生まれた作家たち I 肖像—柄沢斎展 1.1—1.30 小杉放菴記念日光美術館
 柄沢斎 連作木版画 樹々の家族 9.15—9.25 ギャラリー観
 エミール・ガレ展 没後100年記念 1.22—4.3 江戸東京博物館(国立国際美術館)
 アートトップ 202
 朝日夕刊 2.26 山盛英司
 日経夕刊 2.15 辻清明
 日経夕刊 2.17 小川洋子
 日経夕刊 2.18 須田寛
 日経夕刊 2.19 前橋汀子
 読売 2.15 小澤弘
 読売夕刊 3.9 前田恭二
 エミール・ガレ 創造の軌跡展 6.18—8.31 岐阜県現代陶芸美術館(MOA美術館)
 日経 6.18
 ジャック・カロ版画展 神奈川県立近代美術館コレクション 1.4—

3.6 伊丹市立美術館
 河井寛次郎展 京都国立近代美術館所蔵 川勝コレクションの名品 2.22—4.3 京都国立近代美術館
 川合朋郎 5.31—6.7 ギャラリーGAN
 川合朋郎展 象る 10.9—10.9 ニッチ・ギャラリー
 ギャラリー* 246
 山口進と川上澄生 創作版画の流れのなかで 川上澄生 生誕110周年 4.5—9.25 鹿沼市立川上澄生美術館
 コレクター長谷川勝三郎と川上澄生 川上澄生 生誕110周年 10.1—3.26 鹿沼市立川上澄生美術館
 デザイン国際化時代のパイオニア 川上元美・喜多俊之・梅田正徳の椅子デザイン 6.9—7.16 武蔵野美術大学美術資料図書館
 セシル・アンドリュ展「川上アンドリュ・セシル」 5.9—5.21 ギャラリー現
 毎日夕刊 5.17 三田晴夫
 Printed matters 2005 河口龍夫 関係一本 5.16—6.10 横田茂ギャラリー
 芸術新潮 667
 毎日夕刊 5.24 三田晴夫
 川口奈々子+田岡和也 トゥルービヨン3 第2期 8.29—9.3 Oギャラリーeyes
 美術手帖 872 伊村靖子
 フロンティア 川越良昭・榊間弘勝・堤英郎 9.26—10.1 銀座スルガ台画廊
 川島清 新作素描・版画展—雨ふりだき 3.7—3.26 ギャラリー東京ユマニテ
 毎日夕刊 3.14 三田晴夫
 川島清 水量 10.31—11.26 ギャラリー東京ユマニテ
 毎日夕刊 11.7 三田晴夫
 ジェレミー・ディッキンソン/福井篤/川島秀明 新作版画 11.4—12.16 TKGY at lammfromm
 カワシミ・カズオ展 2.21—3.11 T&Sギャラリー
 毎日夕刊 3.14 三田晴夫

川端龍子展 生誕120年展 10.29—12.11 江戸東京博物館(茨城県天心記念五浦美術館、滋賀県立近代美術館)
芸術新潮 673
毎日 10.26
毎日 10.28 浜田重幸
毎日 12.10 中村一美
毎日夕刊 11.21、26 三田晴夫
読売 11.25 西村直子
読売夕刊 11.17 前田恭二

「川村清雄」を知っていますか? 初公開・加島コレクション展 2.16—4.10 目黒区美術館
芸術新潮 662 山田敦雄 談
朝日夕刊 3.17 田中三蔵

川村良紀—動刻— 2.18—3.4 ギャラリー新居(東京)

レスポワール展39回 2005年新人選抜展 川本淑子個展 2.28—3.5 銀座スルガ台画廊

河原温 意識、瞑想、丘の上の目撃者 1.8—2.27 豊田市美術館
美術手帖 862 松井茂

小林陸一郎と環境造形Q 6.4—7.18 伊丹市立美術館

神戸峰男—フランス古城での展覧会を終えて— 12.3—12.10 名古屋画廊

(キ)

岸田劉生 10.5—12.11 笠間日動美術館

黒田清輝、岸田劉生の時代 コレクションにみる明治・大正の画家たち 9.3—3.12 ポーラ美術館 東京 9.22 (峯)

日光に生まれた作家たちⅡ 対話—岸野香展 1.1—1.30 小杉放菴記念日光美術館

デザイン国際化時代のバイオニア 川上元美・喜多俊之・梅田正徳の椅子デザイン 6.9—7.16 武蔵野美術大学美術資料図書館

魯山人の宇宙 4.8—5.15 そごう美術館

継続する意志Vol.11 北川聡展 12.15—12.24 ギャラリー21+葉 北川雅光個展 5.31—6.5 アート

スペース虹
美術手帖 868 伊村靖子

北詰真弓 8.15—8.20 銀座スルガ台画廊

喜多村知—水彩・パステル—未発表作30点 10.20—10.29 いのは画廊

北村武資展 現代に生きる織 9.21—9.29 和光ホール

橋田尚之展 7.19—7.30 ギャラリー21+葉

絹谷幸二展 3.24—3.29 東急(渋谷) ギャラリー* 239

絹谷幸二展—天空の宴— 4.13—4.19 松坂屋(名古屋)
新美術新聞 1053 宝木範義
愛・生命・石 絹谷幸太郎刻展 9.12—9.30 吉井画廊
日経 9.16 竹田博志
金兌赫 6.27—7.9 シロタ画廊

木村克朗 10.10—10.15 銀座スルガ台画廊

木村希八—見えない風景— 10.11—10.20 文京アート

木村太陽 五島記念文化賞美術新人賞研修帰国記念 4.15—5.21 ヨコハマポートサイドギャラリー ギャラリー* 240
毎日夕刊 4.25 三田晴夫

木村光宏展 旬彩—国立公園 1.19—1.25 高島屋(日本橋)

木村友紀「untitled puzzle」展 4.16—5.28 児玉画廊
美術手帖 866 伊村靖子

木村リン太郎 9.26—10.1 ギャラリー21+葉

ロバート・キャパ写真展 キャパ・イン・カラー 2.15—2.20 三越(日本橋)
芸術新潮 664

エマニュエル・ギヨ— going nowhere 11.4—11.25 トーキョーワンダーウォール都庁2005(東京都庁第一本庁舎3階南側空中歩廊)
美術手帖 874 河野晴子

清塚紀子新作銅版画展 11.7—11.17 77ギャラリー

平成17年美術展覧会(作カ〜ク)

毎日夕刊 11.15 三田晴夫
林邦佳・清水六兵衛・田嶋悦子—2004年度日本陶磁協会賞受賞記念— 7.26—8.2 和光ホール

(ク)

クールベ美術館展—故郷オルナンのクールベ— 4.16—6.5 三鷹市美術ギャラリー(新潟市美術館、豊橋市美術館、大丸ミュージアムKYOTO、大丸(札幌)、北海道立帯広美術館、大分市美術館)

日下部一司 あちらこちら 11.15—12.17 サードギャラリーAya
美術手帖 874 伊村靖子

草間彌生 永遠の現在 1.6—2.13 京都国立近代美術館
美術手帖 861 池上ちかこ

草間彌生 無限の大海をいく時 4.29—7.3 熊本市現代美術館

草間彌生 PartⅠ 版画 1980—1993 アクリル 新作 7.14—8.12 フジテレビギャラリー

草間彌生 魂のおきどころ 7.30—10.10 松本市美術館
新美術新聞 1064 米倉守
STUDIO VOICE 358 内田真由美

草間彌生 PartⅡ 版画 1994—2005 アクリル 新作 オブジェ 9.1—9.30 フジテレビギャラリー

レスポワール展39回 2005年新人選抜展 工藤敬子個展 1.17—1.22 銀座スルガ台画廊

工藤賢司 6.24—6.29 O美術館

工藤順子作陶展 3.9—3.22 高島屋(日本橋)

久保田一竹 一竹辻が花回顧展 一竹美術館開館10周年 3.9—3.21 高島屋(日本橋)
読売夕刊 3.8 久保田悟嗣

クボタタケオ 2.5—3.31 ミサワホーム桜上水展示場
美術手帖 863 福住廉

久保田真代 空間と生活 7.12—7.17 ギャラリーGAN

KRUG×KUMA=∞(無限大)[隈研吾] 7.9—7.31 原美術館
産経 7.21 藤田綾子

日経 7.13
 熊谷宗一・鍋島正世・村田暁彦
 10.3—10.15 ギャラリー福山
 熊谷誠 境界に暮らす 11.5—11.26
 ギャラリーヤマグチクンストバウ
 美術手帖 874 伊村靖子
 熊谷守一 仙人と呼ばれた画家—愛
 知県美術館所蔵・木村定三コレク
 ションから— 4.23—6.5 福島
 県立美術館
 熊谷守一美術館開館20周年記念展
 5.24—6.12 熊谷守一美術館
 読売 5.26
 熊谷守一の世界—水墨画・書—日本
 のピカソといわれた男 7.26—
 9.4 大阪府立弥生文化博物館
 目の眼 348
 久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学
 校の教え子たち 4.1—5.8 久米
 美術館
 ペーター・クラウスコップ 9.12—
 9.24 ギャラリーなつか
 鞍掛純一展 11.17—11.26 ギャラ
 リー21+葉
 倉重迅「OLD HOLBORN」 8.24—
 9.10 ミヅマアートギャラリー
 CLAMP 四〜MANGAアートは時
 空を超える 1.22—4.10 川崎市
 市民ミュージアム
 東京夕刊 3.24 細萱敦
 毎日夕刊 3.11 渡辺圭
 毎日夕刊 4.18 ヤマダトモコ
 グランマ・モーゼス展 1.2—1.30
 Bunkamuraザ・ミュージアム(大
 丸ミュージアム(梅田)、群馬県立
 近代美術館、名古屋市美術館)
 朝日夕刊 1.22 西田健作
 栗木清美個展 6.6—6.18 ガレリ
 アフィナルテ
 美術手帖 868 金井直
 栗本百合子「the hothouse」展 5.19
 —6.12 井元家住宅(植木倶楽部)
 美術手帖 868 金井直
 栗山齊 8.1—8.10 INAXギャラリー
 ー2
 黒猫を探せ! クレムケの世界—ダス
 マガジン表紙展— 4.26—5.9
 恵文社一乗寺店
 芸術新潮 667

黒川弘毅展 12.12—12.28 なびす
 画廊
 東京 12.24 中村隆夫
 毎日夕刊 12.19 三田晴夫
 黒澤吉蔵日本画展 3.23—3.29 高
 島屋(日本橋)
 節子の暮らし展 和の心[節子・ク
 ロソウスキー・ド・ローラ] 11.3
 —11.13 そごう美術館
 朝日夕刊 11.1 蔵敏則
 黒田潔展「LATENT INSECT」 5.9
 —5.19 ガーディアン・ガーデン
 STUDIO VOICE 354
 黒田重太郎展 没後35年 8.20—9.25
 滋賀県立近代美術館(佐倉市立美
 術館)
 久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学
 校の教え子たち 4.1—5.8 久米
 美術館
 黒田清輝展 近代日本洋画の巨匠
 7.16—9.4 徳島県立近代美術館
 黒田清輝、岸田劉生の時代 コレク
 ションにみる明治・大正の画家た
 ち 9.3—3.12 ポーラ美術館
 東京 9.22 (峯)
 ×2 kuroda 風景画 黒田悠子+
 黒田寛 11.5—11.13 kuroda living
 桑久保徹展「The Flower of Hole in
 the Sand」 2.5—2.26 Project
 Room
 芸術新潮 664
 クワクポリョウタ R/V 1.8—2.21
 山口情報芸術センター
 ART iT 6 原久子/久保田テツ
 (ケ)
 ジャパニーズ・モダン 剣持勇とそ
 の世界 1.22—2.20 松戸市立博
 物館
 芸術新潮 662
 (コ)
 コイズミアア 充満と空虚 7.4—
 7.16 ギャラリー椿
 小泉斐と高田敬輔 江戸絵画にみる
 画人たちのネットワーク 2.20—
 3.27 栃木県立美術館(滋賀県立
 近代美術館)
 芸術新潮 664

美術研究 388 綿田稔
 天地悠悠 小泉淳作展 4.6—4.12
 高島屋(日本橋)
 新美術新聞 1052 石井好子
 日経 5.19 宝正彦
 小泉俊己展 1.15—2.5 島田画廊
 芸術新潮 663
 収蔵作品展VI 新聞連載小説挿絵原
 画展「人間の壁」(石川達三著)〈三〉
 [小磯良平] 2.19—4.10 神戸市
 立小磯記念美術館
 収蔵作品展I 新聞連載小説挿絵原
 画展「人間の壁」(石川達三著)〈四〉
 [小磯良平] 4.16—7.18 神戸市
 立小磯記念美術館
 収蔵作品展I 小磯良平作品選—油
 彩・素描・版画 4.16—7.18 神
 戸市立小磯記念美術館
 New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋
 克之・小林浩—物語をめぐる
 6.18—7.18 福島県立美術館
 朝日夕刊 6.27 田中三蔵
 幸田侑三遺作展 3.28—4.2 文芸
 春秋画廊
 河野圭一展 3.14—3.19 ギャラリ
 ー21+葉
 河野鷹思のグラフィック・デザイン
 —都会とユーモア 1.12—2.27
 東京国立近代美術館
 朝日 2.10 西田健作
 産経 2.1 生田誠
 Table Tennis Players[COUMA]
 2.1—2.18 art project room
 ARTZONE
 STUDIO VOICE 352 原久美子
 美術手帖 863 山内宏泰
 アントニー・ゴームリー「Certain-
 MadePlaces」 9.6—10.8 ギャ
 ラリー小柳
 毎日夕刊 9.13 三田晴夫
 ジャン・コクトー展 サヴァリン・
 ワンダーマン・コレクション
 7.20—7.31 三越(日本橋)(北海
 道立近代美術館、山梨県立美術
 館、岩手県立美術館)
 日経 7.16
 日経 7.25
 ジャン・コクトー展 サヴァリン・
 ワンダーマン・コレクション

9.14—9.26 大丸ミュージアム
KOBÉ
芸術新潮 670
仰念 小坂奇石展 第2次寄贈作品
による 6.1—11.30 驥山館
児島サコ empty days展 7.9—7.24
GALLERY SPEAK FOR
美術手帖 870 河野晴子
小島善太郎—画にみがかれた魂
6.10—7.18 八王子市夢美術館
小嶋悠司 人・ひと・顔・かお…
7.4—7.16 戸村美術
小杉小二郎展 巴里 穏やかに時は
流れ 9.21—10.2 三越(日本橋)
新美術新聞 1067 瀧悌三
小杉小二郎展 巴里 穏やかに時は
流れ 11.9—11.15 松坂屋(名古屋)
新美術新聞 1071 川崎春彦
日経 11.9 宝玉正彦
小杉放菴の人物 出光コレクション
による 4.9—5.22 小杉放菴記
念日光美術館
小滝雅道展“筆跡のはためき”
10.11—10.23 香染美術画廊
倉敷ガラス 小谷真三 7.29—10.2
成羽町美術館
宮沢賢治のイーハトーブ ガラス絵
作家児玉房子が描く 5.1—6.26
思文閣美術館
Paul Cox ポール・コックス展
4.4—4.28 クリエイションギャ
ラリーG8
芸術新潮 667
ゴッホ展 孤高の画家の原風景 フ
ァン・ゴッホ美術館／クレラー＝
ミュラー美術館所蔵 3.23—5.22
東京国立近代美術館(国立国際美
術館)
ガス燈 66 大川栄二
ジャポニスム研究 25 園府寺司
美術手帖 863 保坂健二郎
朝日 4.7 木下長宏
産経 4.3 岡本耕治
東京 1.4
東京 2.25
東京 3.22 保坂健二郎
東京 4.23 園府寺司
東京 4.30 横尾忠則

東京 5.1 佐藤光信
東京 5.2 村田さち子
東京 5.3 渡部葉子
東京 5.12 (青)
東京夕刊 3.16、18、19 森村陽
子
東京夕刊 4.12 黒川紀章
東京夕刊 4.13 馬淵明子
東京夕刊 4.14 太田治子
東京夕刊 4.18 高橋睦郎
東京夕刊 4.19 高橋克彦
日経夕刊 4.4 (律)
毎日夕刊 4.20 高島直之
読売夕刊 5.20 前田恭二
ゴッホ展 孤高の画家の原風景 フ
ァン・ゴッホ美術館／クレラー＝
ミュラー美術館所蔵 7.26—9.25
愛知県美術館
東京夕刊 9.3 (陽)
後藤愛彦作品展 生誕100年 3.7—
3.12 シロタ画廊
後藤純男展 12.27—1.15 三越(日
本橋)
アートトップ 207
新美術新聞 1075 草薙奈津子
読売夕刊 12.26 宝木範義
書家・豊道春海と彫刻家・後藤良
目黒不動尊の近代美術 伝統と近
代の相克 4.23—5.22 目黒区美
術館
朝日夕刊 5.12 山盛英司
此木三紅大の世界 感動と笑いの造
形 ガンダ彫刻 7.30—9.11 東
御市梅野記念絵画館
此木三紅大のガンダ彫刻—甦るいの
ち— 9.11—9.17 みゆき画廊、
アートスペース風
小林亜有美展 3.14—3.19 Oギャ
ラリーeyes
美術手帖 864 伊村靖子
小林且典展 10.19—10.27 ギャラ
リーブリキ星
芸術新潮 672
清親と安治 近代錦絵の光芒[小林
清親] 2.19—3.21 川崎市立美
術館
美術手帖 862 池上ちかこ
滋賀の現代作家展Vol.3—版画 小
林敬生—木口木版画1977—2004

1.5—2.13 滋賀県立近代美術館
新美術新聞 1045 占部敏子
From web てんびょう 2004.03.
05—2005.07.06 藤田一人
日経 2.6 小島充
毎日夕刊 2.2 石川健次
小林敬生 新作木口木版画 10.24
—11.5 シロタ画廊
小林古径展 6.7—7.18 東京国立
近代美術館
新美術新聞 1058 中村麗子
美術手帖 865
朝日夕刊 6.24 山盛英司
朝日夕刊 8.3 高階秀爾
産経 6.25 岡本耕治
東京 6.16 (青)
日経 5.21
日経 6.18
日経夕刊 6.15 梅原猛
日経夕刊 6.16 水原紫苑
日経夕刊 6.17 森下俊三
日経夕刊 6.18 福井爽人
小林古径展 近代日本画の名匠
7.26—9.4 京都国立近代美術館
日経 7.16
小林古径の芸術空間—デジタル解析
による古径芸術の空間 9.6—
10.2 小林古径記念美術館
アトラス 柏田良彰・小林英且・村
松浩之 8.22—8.27 銀座スルガ
台画廊
New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋
克之・小林浩—物語をめづって
6.18—7.18 福島県立美術館
朝日夕刊 6.27 田中三蔵
小林陸一郎と環境造形Q 6.4—
7.18 伊丹市立美術館
小松崎邦雄〜異才画家の妖艶なる世
界・舞妓を中心に〜 10.29—
3.19 サトエ記念21世紀美術館
新美術新聞 1072 江口健
ぼくらの小松崎茂展 子どもたちの
夢やあこがれを描き続けた画家
9.17—10.30 刈谷市美術館(北海
道立函館美術館、北海道立旭川美
術館、北九州市立美術館分館)
五味敏郎・絵の世界—山と雲—
11.4—12.11 茶房青蛾
毎日夕刊 11.10 江森敬治

小室翠雲と弟子たち—南画の系譜—
没後60周年記念 10.29—12.4
館林市立資料館(館林市第一資料館)

自然との交感 小本章展 5.24—
6.12 アートフロントギャラリー
毎日夕刊 6.6 三田晴夫

ケーテ・コルヴィッツ展 7.16—
8.21 茨城県つくば美術館(姫路
市立美術館、熊本県立美術館、町
田市立国際版画美術館)

朝日夕刊 8.12 西田健作

ケーテ・コルヴィッツ展 9.3—
10.23 新潟県立近代美術館
博物館研究 452 佐々木奈美子

アンドレ・コルビュース&マルクス
・レフラー 9.12—9.24 ギャ
ラリーQ

あさきゆめみし—源氏物語の世界—
[近藤洋子] 8.17—8.22 高島屋
(新宿)
読売夕刊 8.15 大和和紀 談

(サ)

斎藤英子展 4.25—4.30 ギャラリー
—21+葉

素朴と洗練の構図 齋藤清の世界 1
珍しい美術館のコレクションから
8.2—9.25 川上澄生美術館

府中市美術館公開制作31 斎藤ちさ
と 気泡研究所 10.15—11.27
府中市美術館

斎藤典彦 in her garden 7.4—7.16
森田画廊(銀座)

齋藤将展 6.13—6.18 銀座スルガ
台画廊

斎藤与里展 優彩の風物詩 7.16—
9.4 碓山美術館

レイモン・サヴィニャック展 パリ
の空のポスター描き 4.29—7.3
サントリーミュージアム[天保山]

佐伯洋江展 6.4—7.2 タカ・イシ
イギャラリー
芸術新潮 669

佐伯祐三展—芸術家への道— 9.10
—10.23 練馬区立美術館(和歌山
県立近代美術館)
芸術新潮 673 三浦篤
新美術新聞 1068 横山勝彦

美術手帖 870
朝日夕刊 10.14 山盛英司
東京 10.1 栗津則雄
日経 10.6

酒井忠臣 10.31—11.12 ギャラリー
—58

レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 栄本恭子個展 3.21—3.26
銀座スルガ台画廊

フロンティア 川越良昭・榎間弘勝
・堤英郎 9.26—10.1 銀座スル
ガ台画廊

坂口國男展 11.9—11.15 高島屋
(日本橋)(高島屋(大阪)、高島屋
(名古屋))

坂口登展 5.10—5.28 GALLERY
美術世界
アートトップ 203

坂倉新平展 未発表新作 3.14—
4.2 ガレリアグラフィカ

坂本淳「名前をよぶ」展 6.6—6.30
ギャラリーKai
美術手帖 868 伊村靖子

櫻井忠剛と関西洋画の先駆者たち—
洋画の先駆者にして初代尼崎市長
—尼崎市総合文化センター開館30
周年記念 5.14—6.5 尼崎市総
合文化センター

素材への思い—力と可能性—展 佐
光庸行 伊藤慶二 大嶽有一
9.17—10.23 美濃加茂市民ミュー
ジウム

継続する意志Vol.10 笹井祐子展
12.5—12.14 ギャラリー—21+葉

佐々木信平展 12.12—12.23 ART
BOXギャラリー
ギャラリー* 248

佐々木睦朗展 FLUX STRUCTURE
6.1—7.30 ギャラリー・間
読売夕刊 7.2 高野清見

佐々木豊個展—薔薇女 10.12—10.18
高島屋(日本橋)
アートトップ 206 安達博文/
遠藤彰子/小林裕児
新美術新聞 1069 宝木範義
毎日夕刊 10.7 石川健次

佐々木豊 1972—2005展 10.17—
10.22 明星大学(青梅)
アートトップ 206 安達博文/

遠藤彰子/小林裕児
笹本正明—花・鳥・山— 9.12—9.17
銀座スルガ台画廊

指原いく子 10.17—10.22 シロタ
画廊

mini—max 定兼恵子 佐藤勲 バ
ク・ホンチョン 6.10—7.31 資
生堂ギャラリー
毎日夕刊 7.19 三田晴夫

佐藤勲「luminary」 11.24—12.24
TARO NASU GALLERY
STUDIO VOICE 361 佐藤勲

佐藤泰生展「パリ、ヴェニス、フジ」
1.18—1.26 日動画廊
新美術新聞 1045 中村隆夫
日経 1.19 竹田博志

佐藤多持 水芭蕉曼陀羅屏風絵と創
作への展開 9.15—9.20 コート
ギャラリー国立

佐藤時啓 pin—holes 1.18—2.5
ギャラリーGAN
毎日夕刊 2.1 三田晴夫

佐藤久雄人形展 記憶の中の少女た
ち 4.2—4.15 ビリケンギャラ
リー
芸術新潮 664

天童が生んだ工芸家 佐藤豊樵 中
川哲哉 6.17—7.18 天童市美術
館

ブレファブコート展 眞田岳彦/人
を包むデザイン 10.25—11.6
AXISギャラリー
AXIS 119 山本玲子

佐野繁次郎展 4.2—5.15 東京ス
テーションギャラリー(常葉美術
館)
美術手帖 863 池上ちかこ

佐原路子「works. 1 after mature
consideration」展 5.9—5.14 藍
画廊
美術手帖 866 奥村雄樹

沢田教一展 プライベートストーリー
— 5.18—5.23 高島屋(横浜)

Schoolgirls—School Days+cover/
Face[澤田知子] 12.8—12.24
MEM
日経 12.13

アウグスト・ザンダー展 10.25—
12.18 東京国立近代美術館

美術手帖 873
 エルベ・サンテリエ写真展 8.9—
 8.27 GALLERY ES
 美術手帖 871 河野晴子
 (シ)
 塩澤徳子展 日常 6.13—6.18 ギ
 ャラリー21+葉
 美術手帖 868 河野晴子
 塩田千春 新作展 砕けた記憶
 4.14—5.14 ケンジタキギャラリー
 ー(東京)
 朝日夕刊 4.28 田中三蔵
 塩田千春展 —When Mind Become
 Form— 4.23—5.29 京都精華
 大学ギャラリーフロール
 美術手帖 866 伊村靖子
 朝日夕刊 4.28 田中三蔵
 塩津淳司 11.7—11.12 ギャラリ
 イK
 塩谷修平展 7.11—7.23 ウェスト
 ベスギャラリーコゾカ
 美術手帖 870 金井直
 滋沢雅人写真展 縄文の夜神楽
 2.2—2.8 コダックフォトサロン
 下道基行—戦いのかたち— 7.1—
 7.27 INAXギャラリー2
 マキー・チャン 美人画展[篠崎真
 紀] 11.1—11.13 ギャラリー
 ARTWAD'S
 STUDIO VOICE 360 S
 八谷和彦・篠田太郎・石川直樹
 SKY-HIGH(スカイ・ハイ)展
 9.10—10.23 KPOキリンプラザ
 大阪
 美術手帖 870
 美術手帖 872 楠見清
 篠原有司男展 新作絵画と立体によ
 る 1.7—1.29 ギャラリー山口
 朝日夕刊 1.17 田中三蔵
 日経 1.16 宝玉正彦
 毎日夕刊 1.17 三田晴夫
 篠原有司男 4.29—5.15 ギャラリ
 ーシンド
 西荻まちメディア2005 トロールの
 森 篠原有司男と子どもたち
 4.29—5.2 都立善福寺公園
 篠原有司男 ボクシング・ペインテ
 イングとオートバイ彫刻 9.17—

11.6 神奈川県立近代美術館(鎌
 倉)
 朝日夕刊 10.13 田中三蔵
 東京 10.29 中村隆夫
 日経 10.17 宝玉正彦
 毎日夕刊 10.17 三田晴夫
 読売夕刊 10.24 高野清見
 未来美術館へ行こう! 柴川敏之展
 8.7—10.16 奈義町現代美術館
 金銀の美 柴田一佐衛門 7.20—
 7.26 高島屋(横浜)
 柴田是真—明治宮殿の天井画と写生
 帖 6.11—8.7 東京芸術大学大
 学美術館
 芸術新潮 669 木下直之
 朝日夕刊 7.26 西田健作
 朝日夕刊 8.3 高階秀爾
 芝田米三展 地球賛歌2005 6.28—
 7.4 三越(日本橋)
 新美術新聞 1060 松樹路人
 柴田外男展 ふるさとの心を描く
 1.8—2.13 岩手町立石神の丘美
 術館
 澁澤卿展 画業30周年記念 3.23—
 3.29 松坂屋(名古屋)
 新美術新聞 1051 高岡忠雄
 島田恭子作陶展 1.19—1.25 高島
 屋(日本橋)
 島田澄也 7.11—7.23 ギャラリー
 川船
 青木洋子 池田章子 清水洋子—
 SPACE—3人 7.25—7.30 シ
 ロタ画廊
 ベン・シャーン展 10.20—11.19
 丸ノ内ギャラリー
 読売 11.13
 マルク・シャガール展 シェークス
 ピア『テンペスト』挿絵版画を中心
 に 6.29—9.25 大川美術館
 シャガール ダフニスとクロエ
 10.29—12.25 河口湖美術館
 鄭賢淑展 7.11—7.16 ギャラリー
 21+葉
 ダニエル・ジュノー: 出会い、ア
 ルザスの一日 2.17—3.26
 MDSギャラリー
 芸術新潮 664
 造形と映像の魔術師 シュヴァンク
 マイエル展 GAUDIA[ヤン・シュ

ヴァンクマイエル] 9.10—11.6
 神奈川県立近代美術館(葉山)(新
 潟市新津美術館)
 芸術新潮 671
 朝日夕刊 10.25 西田健作
 ユリアン・ローゼフェルド&ピエロ
 ・シュタインレ 9.12—9.24 東
 京画廊
 ヨハネス・シュペアー 9.12—9.24
 藍画廊
 ハイディ・シュベッカー 9.12—
 9.24 ギャラリーK
 シャノン・シュミット[Shanon
 Schmidt] Green Spaces 9.3
 —9.10 ギャラリーGAN
 美術手帖 872 高嶋雄一郎
 Small Works on Paper 米国テンブ
 ル大学芸術学部タイラースクール
 オブアート教授によるドローイン
 グ三人展[チャールズ・シュミッ
 ト] 6.30—7.8 女子美術大学
 ヘンリック・シュラート 9.12—
 9.24 ギャラリー山口
 アート・スコープ2004—Cityscape
 into Art 荘司美智子 ヨハネス
 ・ヴォンザイファー 1.29—3.13
 原美術館
 STUDIO VOICE 351 嘉藤笑子
 しりあがり寿「オレの王国、ベンチ
 を置いたよ。」展 9.10—9.23
 ASK? art space kimura
 朝日 9.14 小原篤
 新宮健次展 造形美術学校研究科
 高沢賞受賞 10.31—11.5 ギャ
 ラリー21+葉
 びじゅつかんのどうぶつえん! ?
 田中毅・新谷一郎 1.5—3.27
 川越市立美術館

(ス)

リフレクション—スウ・ドーホー展
 1.22—4.3 メゾンエルメス8階
 フォーラム
 芸術新潮 664
 毎日夕刊 2.25 三田晴夫
 ジャンヌ・スースブルガス 11.22
 —12.26 ミヅマアートギャラリー
 美術手帖 873

美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香
末松正樹 6.19—7.14 多摩美術大学美術館
菅木志雄インスタレーション 揺らぐ体空 6.28—3.12 岩手県立美術館
菅沼五郎回顧展 9.2—9.11 熊谷守一美術館
読売 9.2
菅沼稔作品 9.6—9.11 ギャラリーJ2
杉浦隆夫 みんな手探り 7.16—11.3 兵庫県立美術館
杉浦康益 陶による大地の恵みを謳う 自然の息吹とかたち 10.8—11.5 神奈川県民ホールギャラリー
新美術新聞 1069 藤嶋俊會
朝日夕刊 10.20 田中三蔵
杉田和美展 1.24—2.5 コパヤシ画廊
美術手帖 862 福住廉
杉本剛展 Walk in the Night 3.4—3.27 アートコクーン
STUDIO VOICE 352 杉本剛
杉本貞光 陶展 3.16—3.22 高島屋(日本橋)
杉本博司 時間の終わり 9.17—1.9 森美術館
芸術新潮 670
STUDIO VOICE 358
美術手帖 871
朝日夕刊 11.24 山盛英司
産経 9.26 加藤典洋
東京 12.10 中村隆夫
日経 9.24 白木緑
毎日夕刊 10.20 三田晴夫
読売夕刊 10.3 杉本博司/前田恭二 聞き手
杉本行治展 9.5—9.10 ギャラリー—21+葉
杉山健司展 1.15—1.30 ギャラリーRay
美術手帖 862 秋庭史典
祐成政徳展 2.24—4.8 ギャラリーエークウッド
毎日夕刊 3.16 三田晴夫
鈴木昭男 点音in和歌山 2005

7.16—9.4 和歌山県立近代美術館/田辺市立美術館/熊野古道なかへち美術館
鈴木健二 WHAT IS THAT? WHAT CAN IT BECOME? 10.6—10.22 COLUMBIA(名古屋造形芸術大学)
美術手帖 873 金井直
Shapes of Blooming [鈴木親] 10.21—11.23 treesaresospecial STUDIO VOICE 359 北村道子
鈴木俊行 11.14—11.19 シロタ画廊
鈴木秀治・星博人 版画2人 9.15—9.25 ギャラリーむかわ
鈴木らかんとらんスタジオ 1920'sニューヨークの手触り 10.1—10.30 武蔵野市吉祥寺美術館
読売 9.27
鈴木理策「海と山のあいだ」 6.28—7.29 ギャラリー小柳
芸術新潮 669
須田国太郎展 11.1—12.18 京都国立近代美術館(東京国立近代美術館、福島県立美術館)
新美術新聞 1074 島田康寛
須田剋太が描いた 司馬遼太郎街道をゆく 7.26—8.28 大阪府立近つ飛鳥博物館(大阪府立中之島図書館)
須田剋太が描いた 司馬遼太郎街道をゆく in関西 中国のみち 関西のみち 8.6—8.21 関西国際空港エアロプラザ
Small Works on Paper 米国テンブル大学芸術学部タイラースクールオブアート教授によるドローイング三人展[サラ・スタインワックス] 6.30—7.8 女子美術大学
デニス・ストック写真展「JAMES-DEAN&50's」 9.21—10.11 コニカミノルタプラザ
毎日 8.31 益子香里
諏訪敦展 8.6—8.8 アートフェア東京彩鳳堂画廊ブース
毎日夕刊 8.5 石川健次
諏訪真理子—渋谷区千駄ヶ谷3—7—6 7.18—8.6 秋山画廊

毎日夕刊 8.1 三田晴夫
諏訪未知展 2.14—2.19 ギャラリー—21+葉

(セ)

建築家 清家清展「図面に見る清家清の世界」 7.23—8.24 日本建築学会建築博物館ギャラリー
日経 8.1
建築家 清家清展《私の家》から50年 7.23—9.25 松下電工汐留ミュージアム
芸術新潮 670
産経 8.11 岡本耕治
日経 8.1
読売夕刊 9.3 高野清見
清宮質文 7.19—8.6 南天子画廊
ウナ・ゼーマン「モンテウッド・ホリペリータ」展 4.2—5.14 児玉画廊(東京)
美術手帖 865 福住廉
関直美展 千単位 a thousand unit 4.22—5.27 ギャラリー千空間
毎日夕刊 5.9 三田晴夫
景観 もとの島[関口敦仁] 2.1—2.28 せんだいメディアテーク
ART iT 6 原久子/久保田テツ STUDIO VOICE 351
妹島和世+西沢立衛/SANAA展 4.29—5.22 金沢21世紀美術館
朝日夕刊 5.13 西田健作
明代絵画と雪舟 7.2—8.14 根津美術館
美術研究 388 戸田禎祐
美術の窓 262 板倉聖哲 談
朝日夕刊 8.5 西田健作
日経 7.18 竹田博志
瀬端尚による「繕い」—白い古陶磁を中心に 1.29—2.4 さる山
芸術新潮 663
芹沢銈介展 生誕110年 2.5—2.27 そごう美術館(高島屋(日本橋)、MIHO MUSEUM、米沢市上杉博物館、松坂屋美術館)
朝日夕刊 1.29 濱田淑子
朝日夕刊 2.10 田中三蔵
石村コレクションによる仙厓展 8.30—10.23 福岡市美術館
千住博展 新作発表 フォーリング

・カラー 11.16—11.29 ギャラリー白石
新美術新聞 1073 増崎隆広
千正博一 11.21—11.26 シロタ画廊

(ソ)

曾我蕭白—無頼という愉悦— 4.24—5.15 京都国立博物館
読売夕刊 4.30 前田恭二
十河雅典の世界 10.8—11.6 茨城県つくば美術館
傍嶋飛瀧新作—水色の空の下で— 5.11—5.21 番町画廊
染谷亜里可 10.8—11.27 三重県立美術館
日韓友情年2005 ソン・スークナムの絵画とケイト・トムソンの彫刻二人展 6.17—6.29 せんだいメディアテーク

(タ)

醍醐イサム個展 2.21—2.26 画廊アート・プラザ
TRESOM 醍醐イサム・平澤重信・ミズテツオ 6.23—6.29 ギャラリー絵夢
醍醐イサム 7.7—7.19 紀伊国屋画廊
川口奈々子+田岡和也 トゥルービーヨン3 第2期 8.29—9.3 O ギャラリーeyes
美術手帖 872 伊村靖子
高岡徹展 洋画 3.9—3.15 高島屋(日本橋)
高岡典男展 手の中の世界 10.1—10.14 ギャラリーオリム
ギャラリー* 246
project N22 高木紗恵子 7.15—9.25 東京オペラシティアートギャラリー
芸術新潮 669
高木敏行展 9.16—9.28 K's Gallery ギャラリー* 245
地域の木版画家シリーズ 高久茂・大橋登美子 4.5—5.29 川上澄生美術館
Musicians of Africa in 4 × 5 [高桑常寿] 9.19—9.25 青松寺観音

聖堂
産経 8.23 酒井潤
高島大理 それぞれの他者再訪 9.26—10.1 ギャラリーIK
高島北海—科学者の眼・画家の心 日本と韓国の現代美術 3.24—5.22 下関市立美術館
高島野十郎展 没後30年 12.2—1.15 福岡県立美術館(三鷹市美術ギャラリー)
高田敬輔と小泉斐 近江商人が美術史に果たしたある役割 4.23—5.29 滋賀県立近代美術館(栃木県立美術館)
芸術新潮 664
美術研究 388 綿田稔
高津美絵展—熱線譜・2005— 2.14—3.5 ギャラリーなつか
高野麻紀 パーバラ・ヒンダール 10.28—12.2 ヨコハマポートサイドギャラリー
高野元孝展 4.26—5.1 埼玉県立近代美術館
アートトップ 203
湖、はてるまで 高橋克哉 10.24—10.29 ギャラリーIK
New Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之・小林浩—物語をめぐって 6.18—7.18 福島県立美術館
朝日夕刊 6.27 田中三蔵
高橋松亭(弘明) 版画の世界 10.23—12.4 大田区立郷土博物館
読売 11.10
高橋美美子 12.12—12.17 銀座スルガ台画廊
オルファクトリー・ファクトリー(嗅覚工場)[高橋真実] 1.7—1.9 デザイン・フェスタ・ギャラリー朝日 1.5
高浜利也展「移動計画」1.11—2.10 第一生命南ギャラリー/ギャラリーなつか
毎日夕刊 1.24 石川健次
高見直宏 Universal Marking 7.27—8.9 ギャラリーGAN
高見沢文雄新作展 11.25—12.17 ヒノギャラリー
景観 もとの島[高嶺格] 2.1—2.28

平成17年美術展覧会(作セータ)

せんだいメディアテーク
ART iT 6 原久子/久保田テツ
STUDIO VOICE 351
高山辰雄 素描と作品自選展 特別展シリーズ I 10.30—11.27 日展会館
高山登 遊殺—首のない風景— 10.11—10.29 秋山画廊
瀧口修造 夢の漂流物 2.5—4.10 世田谷美術館
朝日夕刊 3.7 田中三蔵
東京 2.19 中村隆夫
日経 3.9 宝玉正彦
毎日夕刊 3.15 城戸朱理
読売夕刊 3.31 前田恭二
瀧口修造 夢の漂流物 5.28—7.3 富山県立近代美術館
美術手帖 865
瀧口修造とタケミヤ画廊 オマージュ瀧口修造展26回 7.1—7.14 お茶の水画廊
朝日夕刊 7.5 田中三蔵
読売夕刊 7.6 芥川喜好
瀧口修造1958—旅する眼差し 12.5—12.16 慶応大学日吉キャンパス来往舎ギャラリー
読売夕刊 12.13 高野清見
瀧本光國展: 虚空なるもの 3.3—3.29 かわさきIBM市民文化ギャラリー
読売夕刊 3.10 前田恭二
田口雅巳新作展—昭和・平成お化け大行進— 7.4—8.14 東邦画廊
読売夕刊 8.3 芥川喜好
竹内栖鳳とその門下生たち 9.17—11.27 海の見える杜美術館
竹内夏実展 3.7—3.12 ギャラリー—21+葉
竹崎勝代木版画 6.6—6.18 シロタ画廊
武田州左 11.17—11.30 アートギャラリー閑々居
近代建築の好奇心 武田五一の軌跡 10.22—12.4 文京ふるさと歴史館
武田武人 タイル展 11.2—11.19 space TRY
芸術新潮 673
竹久夢二展 生誕120年記念 4.2

平成17年美術展覧会(作タ、チ)

—6.12 河口湖美術館
「黒船屋」一般公開[竹久夢二] 9.30
—11.23 竹久夢二伊香保記念館
東京 11.5 太田治子
妖たちの饗宴～魑魅魍魎の世界～田
澤茂展 7.21—9.19 湯河原ゆかりの美術館
読売夕刊 8.3 芥川喜好
林邦佳・清水六兵衛・田嶋悦子—
2004年度日本陶磁協会賞受賞記念
— 7.26—8.2 和光ホール
田島征三・谷川晃一・宮迫千鶴三人
展 4.9—6.12 練馬区立美術館
朝日夕刊 4.21 田中三蔵
読売夕刊 4.13 芥川喜好
多田正美展 「過去は未来からやっ
て来る」 11.26—12.25 双ギャ
ラリー
毎日夕刊 12.13 三田晴夫
館勝生展 7.4—7.10 Oギャラリー
—
毎日夕刊 7.8 三田晴夫
立原道造・建築家への志向V 『立
原道造賞』創設を記念して 10.1
—12.25 立原道造記念館
読売夕刊 10.22 高野清見
辰野登恵子 新作展 1.15—2.12
SHUGOARTS
芸術新潮 663
美術手帖 862 奥村雄樹
日経 1.26 宝正彦
毎日夕刊 2.7 三田晴夫
読売夕刊 2.3 前田恭二
伊達伸明—建築物ウクレレ化保存計
画— 11.1—11.28 INAXギャラ
リー 2
建畠覚造展 7.11—7.30 ギャラリー
—山口
朝日夕刊 7.19 田中三蔵
毎日夕刊 7.19 三田晴夫
田所美恵子・針穴写真展—誰も見た
ことのない、もうひとつのパリ
5.8—5.29 ボーラミュージアム
アネックス
東京 5.19 (峯)
田中栄子「no where」展 3.20—4.17
+Gallery
美術手帖 865 伊村靖子
タナカカツキのタナカタナ夫展

12.14—12.28 ラフォーレ新宿
STUDIO VOICE 361 胡口桂子
田中圭介 天国の余り風 4.5—
4.10 ギャラリーGAN
田中功起展 2.22—2.26 東京芸術
大学絵画棟716スタジオ
美術手帖 864 奥村雄樹
田中功起 原因が結果 9.9—10.8
void+
びじゅつかんのどうぶつえん! ?
田中毅・新谷一郎 1.5—3.27
川越市立美術館
田中毅展 彫刻 3.16—3.22 高島
屋(日本橋)
田中博之展 6.27—7.9 ギャラリー
—広岡美術
アートトップ 204
浦和アトリエ村一画家と郊外 田中
保 遊べる本、作ってみたい本の
いろいろ 7.16—10.10 うらわ
美術館
谷岡ヤスジ～ニッポンの〈アサー!〉
と丸い地平線～展 9.10—10.23
三鷹市美術ギャラリー
朝日 10.19
読売 9.22
田島征三・谷川晃一・宮迫千鶴三人
展 4.9—6.12 練馬区立美術館
朝日夕刊 4.21 田中三蔵
読売夕刊 4.13 芥川喜好
谷口千恵子展 軌跡 フレスコ／ア
クリル 11.28—12.3 ギャラリー
—21+葉
fairy brain 谷口広樹 9.12—9.17
シロタ画廊
谷口吉生のミュージアム ニューヨ
ーク近代美術館「MoMA」巡回建築
展 4.8—6.26 東京オペラシテ
ィアートギャラリー(丸亀市猪熊
弦一郎現代美術館、豊田市美術
館)
東京 1.4
東京 3.31 鈴木博之
東京 5.28 港千尋
東京夕刊 5.23、24、26 野村し
のぶ
日経 6.18
読売夕刊 5.21 高野清見
谷澤紗和子展 6.28—7.3 ギャラ

リー16
美術手帖 870 伊村靖子
もうひとりの大野隆司と師匠谷中安
規展 6.5—7.13 柏わたくし美
術館
読売夕刊 6.22 永井一顕
田沼武能の『武蔵野』 5.31—7.2
キャノンギャラリーS
東京 6.2 (峯)
毎日 5.18 益子香里
文人の夢・田能村竹田の世界 9.30
—11.6 静岡県立美術館
朝日夕刊 10.28 山盛英司
日経 11.14
東茅 指弁(yubibira)展 5.24—6.24
ギャラリー小柳
芸術新潮 667
毎日夕刊 6.6 三田晴夫
読売夕刊 6.9 前田恭二
タビエス・スペインの巨人・熱き絵
画の挑戦[アントニ・タビエス]
3.30—5.29 原美術館
朝日夕刊 5.19 田中三蔵
読売夕刊 5.26 前田恭二
ナチュラリスト・田淵行男の世界
生誕100年記念 4.23—6.12 東
京都写真美術館
読売夕刊 5.26 水越武
読売夕刊 6.2 日下知／佐藤健
哉／浮津亜由美／井川優衣子
田丸健一郎個展 5.2—5.7 銀座ス
ルガ台画廊
索々として田村一男染みわたる
3.18—5.15 松本市美術館
新美術新聞 1051 米倉守
たむらしげるの世界 7.29—9.19
八王子市夢美術館
為金義勝 9.5—9.10 養清堂画廊
ネイチャー&アート ガウディ・ミ
ロ・ダリ 2005年愛知万博記念
7.16—9.19 豊田市美術館
丹阿弥丹波子 11.14—11.26 シロ
タ画廊

(チ)

崔誠元展 8.22—9.3 ギャラリー
—21+葉
Janaina Tschäpe Lacrimacarpus
10.14—11.12 nichido contem-

porary art

ギャラリー* 246

陳若冰 「光のなかへ」[チェン・ル
オピン] 3.19—4.30 タグチフ
アインアート

毎日夕刊 4.4 三田晴夫

鳥海青児の世界展 2.5—3.21 平
塚市美術館

日経 3.4 竹田博志

鄭瑾燦 招待展12回 10.10—10.15
ギャラリーIK

オズヴァルド・チルトナー新作展
「老境」 10.7—10.29 小出由紀
子事務所
芸術新潮 672

(ツ)

津上みゆき展 9.1—9.22 第一生
命南ギャラリー
日経 9.9 宝玉正彦

近代の能画家 月岡耕漁 9.22—
10.22 城西国際大学水田美術館

鶴飼美紀+辻和美一光のかけら—
12.10—4.2 群馬県立館林美術館

辻井ますみ 11.14—11.19 銀座ス
ルガ台画廊

辻村寿三郎人形展 華々しくメルヘ
ンの世界へ 4.6—4.18 高島屋
(横浜)

土嶋敏男展—油彩— 開廊記念
3.29—4.3 ギャラリーアスト1

土田ヒロミ 新・砂を数える(1995
—2004)砂を数える(1976—1989)

8.20—8.27 ギャラリーバストレ
イズM/A

読売夕刊 8.10 芥川喜好

土屋公雄展 3.8—3.26 ギャラリ
エ アンドウ
芸術新潮 665

都築響一 11.28—1.14 中京大学
アートギャラリーC・スクエア
美術手帖 873

フロンティア 川越良昭・榊間弘勝
・堤英郎 9.26—10.1 銀座スル
ガ台画廊

渡辺華山・椿椿山が描く人物画 19
世紀の迫真に出会う 9.3—10.16
田原市博物館

(テ)

ジェレミー・ディッキンソン/福井
篤/川島秀明 新作版画 11.4—
12.16 TKGY at lammfromm

マルティン・デールバウム 9.12—
9.24 ギャラリー東京ユマニテ

巨匠 デ・キリコ 異次元の森へ迷
い込む時 10.6—10.25 大丸ミ
ュージアム(東京)

手塚愛子「糸の浮橋 織のきざはし」
展 4.11—4.26 INAXギャラリ
ー2

美術手帖 865 奥村雄樹
シモナ・デフローリン展 5.10—
5.20 ギャラリー砂翁
芸術新潮 667

出店久夫 有象無象戯画 9.5—
9.17 ギャラリー川船

マルセル・デュシャンと20世紀美術
—芸術が裸になった、その後で—
1.5—3.21 横浜美術館

新美術新聞 1049 中村敬治

朝日夕刊 1.4 森本俊司

朝日夕刊 1.28 篠原資明

朝日夕刊 3.7 田中三蔵

産経 2.15 酒井潤

東京 1.15 藤田一人

寺沢伸彦 10.31—11.5 ギャラリ
イK

寺田真由美新作展 11.25—1.20

ベイスギャラリー

芸術新潮 674

美術手帖 877 高嶋雄一郎

朝日夕刊 12.22 田中三蔵

産経 12.25 岡本耕治

寺本守 銀彩 10.26—11.1 松屋
(銀座)

(ト)

ベトナム・ポートビーブルの画家
チャン・バン・ドアン個展 サイ
ゴン陥落30年 ベトナムと開高健
を想う 5.20—5.26 ハスキーズ
ギャラリー

日経 5.20

東松照明 Camp カラフルな!あ
まりにもカラフルな!! 10.11
—10.28 ギャラリー新居(東京)

冬目景原画展「冬絵・展」 2.19—
3.6 GoFa (Gallery of Fantastic
art)

みづゑ 71

堂本尚郎展 Hisao DOMOTO Retro-
spective 9.13—10.23 京都国
立近代美術館
芸術新潮 672

堂本尚郎展 絵画探求60年の足跡と
その未来 1945—2005 12.17—
2.12 世田谷美術館
美術手帖 874

堂本尚郎と戦後の美術—画廊コレク
ションあれこれ— 10.4—10.23
星野画廊

オルファクトリー・ファクトリー
(嗅覚工場)[ロウル・ドゥログー
ル] 1.7—1.9 デザイン・フェ
スタ・ギャラリー
朝日 1.5

遠山清展 生誕100年 5.16—5.24
名古屋画廊

ダリア・ドクサイチェ水墨画展 1
5.24—5.29 川村記念美術館ギャ
ラリー
産経 6.11 佐藤貴生

徳丸滋の世界 11.8—12.11 神田
日勝記念館

戸田正寿「HEIAN」展 1.21—2.19

東京都写真美術館

芸術新潮 663

朝日夕刊 2.1 田中三蔵

戸田裕介—chunk ing 2— 11.25—
12.13 ギャラリーGAN

鉄斎 吉祥画[富岡鉄斎] 1.15—
3.6 鉄斎美術館

鉄斎—仙境への道— 開館30周年記
念 3.9—5.8 鉄斎美術館

鉄斎の粉本—人物画を中心に—
5.11—7.10 鉄斎美術館

鉄斎の書 7.13—9.11 鉄斎美術館

鉄斎—印癖を楽しむ03—開館30周年
記念 9.14—12.14 鉄斎美術館

富岡直子 5.30—6.24 第一生命南
ギャラリー(ギャラリーなつか&
b.p)

富岡雅寛カオスモス展 '05[Like Cli-
namen] 4.4—4.16 ASK? art
space kimura

From web てんびょう 2004.03.
05~2005.07.06 宮田徹也
富沢聡展 2.21~2.26 ギャラリー
21+葉
人間国宝の日常のうつわ—もう一つ
の富本憲吉 12.11~2.27 東京
国立近代美術館工芸館
日経 2.2 竹田博志
十勝の新時代VIII 富谷智展 9.16
—12.25 北海道立帯広美術館
日韓友情年2005 ソン・スークナム
の絵画とケイト・トムソンの彫刻
二人展 6.17~6.29 せんだいメ
ディアテーク
戸村茂樹銅版画—存在の彼方へ—
9.3~10.10 石神の丘美術館
大和路を愛した巨匠—土門拳と入江
泰吉展 入江泰吉誕生100年
10.1~12.25 奈良市写真美術館
日経 11.4
森のくに物語 戸谷成雄 もうひと
つの森へ 第二部 9.16~11.6
長野県信濃美術館
豊嶋拓也 アーバンギャルとキッス
10.20~10.25 switch point
豊嶋康子 色調補正 府中市美術館
公開制作27 3.12~4.17 府中市
美術館
アザーセンシビリティIV 水面はゆ
れる、イメージはうつろう[豊田
美讃子] 9.22~10.8 文房堂ギ
ャラリー
毎日夕刊 9.26 三田晴夫
豊増晏正・一雄陶芸展 3.2~3.8
高島屋(玉川)
産経 3.5
鳥居美都琉—紙にオイルパステル—
11.28~12.3 シロタ画廊
(ナ)
内藤由味子写真展—つきあたるまで
3.19~4.30 GALLERY CAPTION
美術手帖 864 秋庭史典
仲真一 10.3~10.15 ギャラリー
58
永井雅人 存在・永遠なるもの
5.24~5.29 ギャラリーGAN
中井川由季の茶室 真昼の月 3.1
—2.29 山口県立萩美術館・浦上

記念館
陶説 610 石崎泰之
長尾和典 Rhizome/脈絡 2.17—
3.2 アートギャラリー閑々居
ギャラリー* 240
長尾英子展 4.25~4.30 シロタ画
廊
長岡卓 7.4~7.16 いつき美術画
廊
中上清 新作展 10.7~10.29 ヒノ
ギャラリー
毎日夕刊 10.25 三田晴夫
中川晃 HITO・ひと・ガラスIV
7.11~8.12 ギャラリーひろば
天童が生んだ工芸家 佐藤豊樵 中
川哲哉 6.17~7.18 天童市美術
館
ART—EX派遣作家帰国報告 中川
久子 浮遊する光景 2.14~2.26
大阪府立現代美術センター
中川久 藤田修 刻印された光と記
憶 2.26~3.27 横須賀市文化会
館市民ギャラリー
毎日夕刊 3.1 三田晴夫
花人中川幸夫の写真・ガラス・書—
いのちのかたち 6.18~9.4 宮
城県美術館(丸亀市猪熊弦一郎現
代美術館)
アートトップ 204
朝日 8.23 田中三蔵
中里繪魯洲 EXHIBITION 箱 9.22—
10.5 アートギャラリー閑々居
ギャラリー* 245
中澤英明展 3.22~4.30 村松画廊
芸術新潮 665
毎日夕刊 3.28 三田晴夫
読売夕刊 4.14 前田恭二
中ザワヒデキ展「芸術特許」 5.7—
5.28 ギャラリーセラー
美術手帖 866 金井直
中島潔が描く バリそして日本展
5.3~5.15 三越(日本橋)
朝日夕刊 4.30 今野勉
花の心を描く 中島千波 屏風の世
界展 4.19~4.25 三越(仙台)
アートトップ 204 (富)
花の心を描く 中島千波 屏風の世
界展 4.19~4.25 三越(日本橋)
新美術新聞 1054 中島美子

還暦記念 中島千波の世界展
10.26~11.8 高島屋(日本橋)
アートトップ 206 (富)
新美術新聞 1070 米倉守
東京夕刊 11.2 (塩)
中島宏展—現代(いま)を生きる青磁
— 10.4~11.20 渋谷区立松涛
美術館
日経 10.7 竹田博志
摺師中條甲子雄作品展—江戸浮世絵
から現代画までを摺る— 7.3—
7.12 ギャラリー沙画夢
毎日 7.12 渡辺暖
中瀬康志展—消えない地平— 6.1
—6.28 INAXギャラリー2
中田寛也 2.1~2.27 ART TRACE
Gallery
美術手帖 863 奥村雄樹
長塚秀人 1.20~3.12 ファーブル
芸術事務所
美術手帖 863 伊村靖子
中西夏之展 静物 1972 復習 10.11
—11.4 横田茂ギャラリー
毎日夕刊 10.25 三田晴夫
中西信洋展—彫刻の単位— 2.26—
3.26 ノマル・プロジェクトスペ
ース キューブ&ロフト
美術手帖 864 伊村靖子
中西信洋展—満ち溢れているもの—
3.1~3.29 INAXギャラリー
芸術新潮 665
中庭煥華・隆晴展 日本画二代美の
伝承 1.6~3.13 奈良県立万葉
文化館
中根寛展 風景への巡礼 10.15—
10.23 日動画廊(名古屋)
新美術新聞 1069 富山秀男
長野久人展 10.22~1.15 北海道
立函館美術館
パラモデル[中野裕介] 2.5~2.27
京都芸術センター
美術手帖 863 伊村靖子
中野嘉之 芸術選奨文部科学大臣賞
受賞記念展 7.23~9.19 平塚市
美術館
アートトップ 206
新美術新聞 1062 草薙奈津子
東京 8.6 中村隆夫
日経 8.26 宝玉正彦

中林忠良一腐食のまなざしへー展
1.27—2.13 東京芸術大学大学美術館陳列館
From web てんびょう 2004.03.05—2005.07.06 藤田一人
朝日夕刊 2.3 田中三蔵
毎日夕刊 2.4 石川健次

中林忠良 銅版画展 2.7—2.19
シロタ画廊
毎日夕刊 2.4 石川健次

景観 もとの島[中原浩大] 2.1—2.28 せんだいメディアテーク
ART iT 6 原久子/久保田テツ
STUDIO VOICE 351

なかはらみほこ展 9.17—10.9 宇
フォーラム・クストフエアライ
ン21美術館
ギャラリー* 245

アザーセンシビリティⅣ 水面はゆ
れる、イメージはうつろう[中村
功] 9.22—10.8 文房堂ギャラ
リー
毎日夕刊 9.26 三田晴夫

中村一溪絵画展一生と境涯— 5.9
—5.14 シロタ画廊

中村一美一存在の島— 6.13—7.9
南天子画廊
日経 6.22 宝玉正彦
毎日夕刊 6.21 三田晴夫
読売夕刊 6.30 前田恭二

画集出版記念 中村輝行 4.18—
4.24 フジキ画廊

中村直人展 最後のエコール・ド・
バリ 生誕100年記念 11.12—
12.23 小杉放菴記念日光美術館

中村宏展 7.11—7.27 ギャラリー
・アート・デューン
毎日夕刊 9.16 三田晴夫

森光子・中村真木の現在一形とかた
ち— 9.19—11.6 茅ヶ崎市美術
館

中村真紀 Memory Warehouse
11.28—12.3 ギャラリーIK

中村正義の『顔』展 3.4—5.29 中
村正義の美術館
読売夕刊 3.23 芥川喜好

中山千夏個展 和の歴史・私の歴史
1.10—1.15 ビンポイントギャラ
リー

朝日夕刊 1.13 中井征勝

流麻二果展 「糸口」 6.27—7.16
ギャラリー東京ユマニテ
美術手帖 870 河野晴子
毎日夕刊 7.12 三田晴夫

レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 名古屋剛志個展 2.21—
2.26 銀座スルガ台画廊

那須勝哉日本画展 武蔵野美術大学
教授退任記念 9.12—10.8 武蔵
野美術大学美術資料図書館
美術の窓 267 高山淳

写真家 太郎と洋之助展[名取洋之
助] 2.18—2.27 ハリウッドホ
ール
読売 2.19

報道写真の先駆者・名取洋之助の仕
事「ドイツ1936年」 11.29—12.25
JCIIフォトサロン/JCIIクラブ25
東京 12.17 藤田一人

熊谷宗一・鍋島正世・村田暁彦
10.3—10.15 ギャラリー福山

名村可奈子 2.10—2.15 エビス・
アート・ラボ
美術手帖 863 秋庭史典

ナメ川コイイチ新作—Cats and Dogs
— 9.12—9.30 ギャラリー新居
(東京)

From the Depth of My Drawer[奈良
美智] 2.10—3.21 米子市美術
館
遠近 7 原久子

From the Depth of My Drawer[奈良
美智] 4.16—5.22 吉井酒造煉
瓦倉庫
STUDIO VOICE 354、358 市橋
なお子

横浜トリエンナーレ2005 アートサ
ーカス 日常からの跳躍[奈良美
智] 9.28—12.18 横浜山下ふ
頭3号、4号上屋他
産経 10.9 上塚真由

Yoshitomo Nara + graf 『home』
12.18—2.5 graf media gm
STUDIO VOICE 362 原久子

奈良岡正夫遺作展 6.1—6.15 ギ
ャラリーシビック
毎日 5.31 益子香里

植橋朝子「half awake half asleep in

the water 04/05」 4.16—5.19
ツァイト・フォト・サロン
毎日夕刊 4.25 三田晴夫

成瀬巳喜男 監督特集 生誕100年
記念 10.8—10.17 せんだいメ
ディアテーク

成実久仁子個展 11.21—11.26 銀
座スルガ台画廊

那波多目功—日本画展—四季折々に
6.7—6.13 三越(日本橋)
アートトップ 204 (富)

難波田龍起展—その人と芸術—生誕
100年記念 7.15—9.25 東京オ
ペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 8.18 田中三蔵
読売夕刊 8.24 芥川喜好

小山田二郎 難波田龍起 李田たけ
を 8.16—8.27 東邦画廊

(ニ)

ルイズ・ニーヴェルソン展 3.22
—6.3 Art Space by Fuji Xerox

新村知子 8.1—8.6 銀座スルガ台
画廊

西炎子展 5.30—6.4 シロタ画廊

西雅秋展 空と大地と記憶の造形
11.19—12.18 神奈川県立近代美
術館(葉山)
芸術新潮 674
朝日夕刊 12.8 田中三蔵
毎日夕刊 12.5 三田晴夫

西川光三展 11.7—11.12 シロタ
画廊

仏師 錦戸新親の世界 開館10年
6.11—9.4 下妻市ふるさと博物
館

妹島和世+西沢立衛/SANAA展
4.29—5.22 金沢21世紀美術館
朝日夕刊 5.13 西田健作

西成田洋子展 3.28—4.9 コバヤ
シ画廊
毎日夕刊 4.4 三田晴夫

西原功織展 3.22—4.16 TARO NASU
GALLERY
美術手帖 864 奥村雄樹

西村駿一展 10.1—10.10 えだ画
廊
美術の窓 267 高山淳

色彩と気配 西村のんき 8.29—

9.3 ギャラリーK

西村正幸 3.8—3.18 ギャラリー
デコ

美術手帖 864 秋庭史典

今日の作家X 西村盛雄・松本陽子
展 6.11—9.4 神奈川県立近代
美術館(鎌倉)

目の眼 348

朝日夕刊 8.30 田中三蔵

東京 7.23 中村隆夫

毎日夕刊 7.25 三田晴夫

西山裕希子展 第一回現代美術コン
クールグランプリ受賞作家 1.31
—2.12 大阪府立現代美術センタ
ー

耳鳥斎!〜近世大坂の戯画〜笑いの
奇才 4.9—5.22 伊丹市立美術
館

芸術新潮 666 坪内稔典

(ヌ)

塗師祥一郎展 9.6—9.12 三越(日
本橋)

新美術新聞 1065 瀧梯三

(ネ)

シリン・ネシャット展 7.23—10.16
広島市現代美術館

朝日 8.25 逢坂恵理子

朝日夕刊 10.5 高階秀爾

読売夕刊 8.26 高野清見

継続する意志vol.1 根本智雅子展

10.3—10.12 ギャラリー21+葉

アザーセンシビリティIV 水面はゆ
れる、イメージはうつろう[根本
有華] 9.22—10.8 文房堂ギャ
ラリー

毎日夕刊 9.26 三田晴夫

(ノ)

イサム・ノグチ展—ゼロからほとば
しるエナジー—札幌芸術の森美術
館開館15周年記念 7.2—8.28

札幌芸術の森美術館

美術手帖 868

イサム・ノグチ展 彫刻から空間デ
ザインへ—その無限の創造力

9.16—11.27 東京都現代美術館

朝日夕刊 11.11 西田健作

産経 9.28 猪谷千香

東京 10.1 中村隆夫

読売夕刊 9.15 高野清見

野口小蘗と近代南画—明治の宮廷画
家— 4.23—6.5 山梨県立美術
館

朝日夕刊 5.31 田中三蔵

野田九浦 埋もれた歴史人物画の達
人 4.7—5.22 武蔵野市立吉祥
寺美術館

野地正記—迷宮という秩序— 6.18
—7.18 福島県立美術館

朝日夕刊 6.27 田中三蔵

印鈕 野中信義展 2.24—3.2 西
福ギャラリー

毎日夕刊 2.10 亀山久雄

花・鳥・風景—野々内良樹・井上稔
・野々内宏兄弟展 5.26—7.24
奈良県立万葉文化館

展覧会だより 6 福田道宏

PRIME 野原洋一 10.31—11.5

銀座スルガ画廊

堀文子・野見山暁治 二人展 2005
3.28—4.10 ナカジマアート

新美術新聞 1051 (常)

朝日夕刊 4.5 山盛英司

読売夕刊 4.5

野村和弘「銀河」 1.15—2.26 タグ
チファインアート

毎日夕刊 2.7 三田晴夫

野村和弘「johnna」 5.13—6.14 南
天子画廊

毎日夕刊 5.24 三田晴夫

読売夕刊 6.2 前田恭二

野村佐紀子写真展「月読」 7.9—8.7
佐野レジデンス他、金沢市内七ヶ
所

新美術新聞 1064 長谷川祐子

STUDIO VOICE 356 北澤ひろ
み

野村たかあきの世界 絵本原画展

4.23—6.26 いわき市立草野心平
記念文学館

(ハ)

マッシュ・バーニー:拘束のドロー
イング 7.2—8.25 金沢21世紀
美術館

芸術新潮 669

新美術新聞 1059、1063 長谷川
祐子

美術手帖 866

朝日 7.26 森本俊司

毎日夕刊 8.23 三田晴夫

読売夕刊 7.14 前田恭二

カトリン・パウル写真 7.22—9.9

デュフ ラインランド フォーラ
ム

袴田京太郎 3.10—3.27 ガレリア
・アビターレ

毎日夕刊 3.16 三田晴夫

家村珠代連続企画 ひとり展

Vol.1 袴田京太郎 9.6—9.21

GALLERY MAKI

毎日夕刊 9.16 三田晴夫

二人 予兆 萩谷かおる 山本陸

10.24—10.29 銀座スルガ画廊

世界文化遺産写真展『アンコールと
生きる』〜クメール文明の今 写
真家・BAKU斉藤 7.16—8.14

東京都写真美術館

mini—max 定兼恵子 佐藤勲 パ
ク・ホンチョン 6.10—7.31 資
生堂ギャラリー

毎日夕刊 7.19 三田晴夫

渡辺豪×橋爪彩展 シークレットガ
ールズ up and down 6.6—6.18

ASK? art space kimura

橋爪彩 behind the skirt 9.12—9.30

ギャラリー本城

美術手帖 872 河野晴子

橋本倫展 さまざまな眼147 11.24
—12.20 かわさきIBM市民文化

ギャラリー

橋本関雪 孤高の画家 没後60年
12.1—2.28 足立美術館

橋本由雄 作陶展 11.7—11.26

東邦画廊

長谷川彩子 3.14—3.20 フタバ画
廊

美術手帖 864 福住廉

長谷川繁 7.19—7.30 ギャラリー
東京ユマニテ

長谷川沼田居 生誕100年 オマー
ジュ 10.1—11.13 足利市立美
術館

朝日夕刊 11.1 田中三蔵

長谷川ちか子 1.29—2.26 レント

ゲンヴェルケ
美術手帖 863 奥村雄樹
新発見 長谷川等伯の美 3.12—
4.17 出光美術館
朝日夕刊 3.19 西田健作
日経 3.23 竹田博志
読売夕刊 4.4 前田恭二
長谷川等伯展〜国宝・松林図屏風〜
開館10周年・新七尾市誕生記念
4.25—5.8 石川県七尾美術館
芸術新潮 665
ゲオルグ・バゼリッツ展—絵画の凱
歌 10.23—12.18 栃木県立美術
館
朝日夕刊 12.2 田中三蔵
畑正憲展—ムツゴロウ世界をまわる
— 3.14—3.26 ギャラリーGK
産経 3.15
畠山高展 11.14—11.25 ART BOX
ギャラリー
ギャラリー* 248
波多野華涯 特別陳列 2.22—4.10
岡山県立美術館
八谷和彦・篠田太郎・石川直樹
SKY-HIGH(スカイ・ハイ)展
9.10—10.23 KPOキリンプラザ
大阪
美術手帖 870
美術手帖 872 楠見清
浜口陽三と深沢幸雄 佐倉・房総ゆ
かりの作家たち 8.27—10.2 佐
倉市立美術館
ミューゼ浜口陽三コレクション展「闇
に包まれた色彩—緑」 9.3—11.20
ミューゼ浜口陽三・ヤマサコレクシ
ョン
読売夕刊 10.12 芥川喜好
浜田知明新作彫刻展 2000—2004
4.11—4.23 ヒロ画廊
朝日夕刊 4.18 田中三蔵
日経 4.15
浜田泰介障壁画 障壁画「蓮の輪廻」
弘法大師帰朝1200年記念 9.16—
11.25 東寺大日堂
新美術新聞 1071 高岡忠雄
早川桃代 いいえ 12.19—12.24
ギャラリーIK
早川義孝展 四季吟遊詩想画人 柏
市・沼南町合併記念 6.2—6.13

柏市民ギャラリー
新美術新聞 1057 武田厚
林邦佳・清水六兵衛・田嶋悦子—
2004年度日本陶磁協会賞受賞記念
— 7.26—8.2 和光ホール
林敬二の世界展—宙と貌の軌跡—
7.27—9.4 諏訪市美術館
新美術新聞 1064 林紀一郎
パラモデル[林泰彦] 2.5—2.27
京都芸術センター
美術手帖 863 伊村靖子
原雅幸 10.17—10.26 飯田画廊
原游 neverlasting 12.2—12.8
ラ・ガルリ・デ・ナカムラ
美術手帖 876 河野晴子
原陽子 新作銅版画 12.5—12.17
シロタ画廊
原口典之 New Works 2.26—4.30
アキライケダギャラリー田浦
毎日夕刊 3.28 三田晴夫
サイト・グラフィックス—風景写真
の美貌—展[原田晋] 1.20—4.10
川崎市市民ミュージアム
日経夕刊 3.3
ミンモ・パラディーノ ピノッキオ
の世界 6.3—7.2 フジテレビギ
ャラリー
シュテファン・バルケンホール：木
の彫刻とレリーフ 4.29—7.18
国立国際美術館
芸術新潮 667
STUDIO VOICE 355 市原研太
郎
美術手帖 868 清水穰
シュテファン・バルケンホール：木
の彫刻とレリーフ 10.15—12.25
東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 12.15 田中三蔵
リサとガスパール絵本原画展 ゲオ
ルグ・ハレンスレーベンの世界
3.24—4.12 大丸ミュージアム
(東京)
坂茂：災害支援と学生参加の建築
11.11—12.24 MDSギャラリー
読売夕刊 11.19 高野清見
半田真規展—白浜青松原発瓢箪
7.9—8.20 児玉画廊(東京)
読売夕刊 8.4 前田恭二

板東正章新作彫刻展 1.11—1.29
なびす画廊

(ヒ)

東恩納裕一 2.15—3.5 ギルドギ
ャラリー
美術手帖 863 伊村靖子
東山魁夷の世界 創作の軌跡と同時
代の人々 東山魁夷館開館15周年
記念 4.23—5.29 長野県信濃美
術館東山魁夷館
新美術新聞 1055 岸田恵里
東山魁夷展 自然とともに 特別企
画 2005年 愛知万博開催記念展
7.7—8.28 メナード美術館
新美術新聞 1060 石川浩一
日経 6.18
東山魁夷 ドイツ・オーストリアの
旅 7.13—7.24 市川市文化会館
東山魁夷の軌跡 開館記念特別展
11.12—1.15 市川市東山魁夷記
念館
朝日夕刊 12.27 西田健作
ピカソ版画展 青の時代から晩年ま
で 荒井記念美術館所蔵 4.8—
6.26 北海道立帯広美術館
樋勝朋巳新作展 12.9—12.22 ギ
ャラリー新居(東京)
ギャラリー* 248
引地渉個展 「Phantom Escargot」
11.24—11.29 tray
芸術新潮 673
樋口佳絵 「24°C」 6.21—7.9 西
村画廊
芸術新潮 669
高知県立美術館所蔵作品によるコレ
クション 日本+南洋=土方久功
の表現 10.20—12.18 高知県立
美術館
作品と出会う4「菊慈童」[菱田春草]
9.9—10.10 飯田市美術博物館
飯田市美術博物館ニュース 70
美術を楽しむために2005 菱山裕子
7.30—8.31 富岡市立美術博物館
・福沢一郎記念美術館
びしょっぶ英郎油絵展 閉町記念特
別展 11.17—12.25 池田記念美
術館
博物館研究 444 広田かおり

日根野裕美個展 3.7—3.12 銀座
スルガ台画廊
日比野克彦の一人万博 HIBINO
EXPO 2005 8.6—9.19 水戸芸
術館現代美術ギャラリー
美術手帖 868
美術手帖 871 日比野克彦、深
澤直人 談/森司 司会
朝日 8.31 西田健作
檜山友希展 歓びをもって 8.18—
8.22 西武アートフォーラム
新美術新聞 1063 米倉守
ベルナルド・ピュフェ展 7.23—
8.28 損保ジャパン東郷青児美術
館
朝日夕刊 7.29 山盛英司
東京 7.30 藤田一人
兵頭浩章 7.18—7.23 シロタ画廊
平木照美展 5.30—6.11 ギャラリ
ー21+葉
平澤篤 油絵展 10.4—10.10 三
越(日本橋)
アートトップ 205 平澤篤 談
平澤重信展 洋画 3.16—3.22 高
島屋(日本橋)
平澤重信展—NEKOいろいろ— 3.18
—3.30 ギャラリー・しらみず美
術
東京 3.26 藤田一人
TRESOM 醍醐イサム・平澤重信
・ミズテツオ 6.23—6.29 ギャ
ラリー絵夢
平沢淑子 オマージュ瀧口修造展27
回 11.4—12.17 フジテレビギ
ャラリー
平田実作品展「とび出したアート」
3.1—3.27 JCIフォトサロン
美術手帖 864 福住廉
平野太呂写真展「POOL」 7.23—
8.21 BAGGAGEHANDLERS UN-
ION shibuya CHPT.168
STUDIO VOICE 356
平野太呂写真展「POOL」 8.27—
9.25 スフェラ・エキシビジョン
芸術新潮 669
平松賢太郎 4.22—5.1 ギャラリ
ーGAN
平山郁夫展 平成の洛中洛外 1.11
—1.30 三越(日本橋)

新美術新聞 1045 ドナルド・キ
ーン
美術の窓 256 切刀知子
朝日 1.19
平山郁夫展 日本の美を描く 5.25
—6.6 高島屋(横浜)
平山郁夫—素描画・歴史の道〜ヨー
ロッパ留学から現在へ東西文明の
伝播を求めて 8.16—8.23 リー
ガロイヤルホテル東京 サファイ
ア
毎日夕刊 8.18
寄贈記念特別陳列—広瀬忠一の織物
—飯田つむぎのこころ 6.23—
7.18 飯田市美術博物館
弘田一成展〜ヴァーチャル・アニミ
ズム・ペインティング〜他者再訪
12.12—12.17 ギャラリーK
広田稔展 洋画 3.23—3.29 高島
屋(日本橋)
日和佐廣 木版画展〈小さな空間—
生活の詩—〉 10.3—10.22 東邦
画廊
日和崎尊夫展 雅なるきみのちぶさ
に芽はふきぬ 11.11—11.26 と
きの忘れもの
高野麻紀 パーバラ・ヒンダール
10.28—12.2 ヨコハマポートサ
イドギャラリー

(フ)

にじいろのさかな 日本版刊行10周
年記念 マーカス・フィスター絵
本原画 9.22—10.4 大丸ミュー
ジウム(東京)
ニナ・フィッシャー&マロアン・エ
ル・サニ 9.12—9.24 なびす画
廊
美術手帖 872 河野晴子
レオノール・フィニ展 6.18—7.31
Bunkamuraザ・ミュージウム(大
丸ミュージウム(梅田)、群馬県立
近代美術館、名古屋市美術館)
芸術新潮 666 宮澤政男 談
朝日夕刊 7.15 山盛英司
東京 6.23 (青)
東京 7.9 中村隆夫
読売 5.30
読売 7.8 宮澤政男

読売夕刊 6.14 木島俊介
イメージ アントワーン・プーペ
ル写真 7.23—9.25 笠間日動美
術館
Giovanni Ferri個展 9.14—9.30
工房親
芸術新潮 671
グンダ・フェレスター 9.12—9.24
ギャラリー21+葉
ヴィヴィアンヌ・フォンテーヌ展
1.17—2.8 ギャラリーMMG
芸術新潮 663
深沢幸雄銅版画展 1.29—2.27 千
葉市美術館
浜口陽三と深沢幸雄 佐倉・房総ゆ
かりの作家たち 8.27—10.2 佐
倉市立美術館
深津真也展 10.17—10.29 あらか
わ画廊
ギャラリー* 246
深谷直之石彫展 8.17—8.23 高島
屋(日本橋)
ジェレミー・ディッキンソン/福井
篤/川島秀明 新作版画 11.4—
12.16 TKGY at lamnfromm
福井爽人展 遙かなる叙情世界
1.27—2.13 東京芸術大学大学美
術館
新美術新聞 1046 田口晶子
日経 2.9 宝玉正彦
福井爽人展 遙かなる叙情世界
3.4—4.3 そごう美術館
アートトップ 202 (富)
朝日夕刊 3.29 田中三蔵
福井良之助孔版画展 3.8—4.10
佐倉市立美術館(高崎市美術館、
岩手県立美術館)
芸術新潮 665
朝日夕刊 3.24 田中三蔵
福田繁雄展 イラストレーション
10.14—11.12 Gallery5610
STUDIO VOICE 359
福田美蘭の現在 開館30周年記念展
9.1—11.29 池田20世紀美術館
朝日夕刊 11.10 田中三蔵
東京 11.19 藤田一人
毎日夕刊 9.2 石川健次
読売夕刊 11.9 芥川喜好
福西数身 4.13—4.19 ギャラリー

GAN
光の詩人—福原信三・信辰・信義写
真展 6.14—7.17 HOUSE OF
SHISEIDO
毎日夕刊 6.27
読売 6.14
藤浩志展 違和感を飛び超える術！
21世紀の作家—福岡6回 1.5—
4.3 福岡市美術館
藤井孝次朗展 4.4—4.9 ゆう画廊
藤井達也 pleats 11.29—12.11
海岸通りギャラリーCASO
美術手帖 876 酒井千穂
藤城清治の世界展 光と影のシンフ
ォニー 5.21—6.26 西宮市大谷
記念美術館
藤城凡子 ラブレター 12.16—
2.26 愛知県美術館
中川久 藤田修 刻印された光と記
憶 2.26—3.27 横須賀市文化会
館市民ギャラリー
毎日夕刊 3.1 三田晴夫
レスポワール展39回 2005年新人選
拔展 藤田和美個展 4.18—4.23
銀座スルガ台画廊
藤田真理 9.26—10.1 シロタ画廊
藤山貴司展 10.7—10.16 エスパ
スOHARA
藤原勇輝 DUST DRITTE TOKYO
WHITE CUBE 11.1—11.6 ギ
ャラリーGAN
藤原洋次郎と若人たち 現代郷土作
家展 2.26—3.19 姫路市民ギヤ
ラリー
舟越桂デッサン 深い線を 7.2—
7.16 東京造形大学ZOEIギャ
ラリー
冬澤未都彦木口木版画 6.20—7.2
シロタ画廊
ブラッサイーポンビドゥーセンター
・コレクション 8.6—9.25 東
京都写真美術館
芸術新潮 670
朝日夕刊 9.2 田中三蔵
産経 8.13 藤田綾子
東京 7.30 中村浩美
東京 9.1 (峯)
読売夕刊 8.18 前田恭二
スレイター・ブラッドレー『地図に

ない入植地』 11.11—12.10 タ
カイシイギャラリー
STUDIO VOICE 360
ジャン＝フランソワ・ブラン 11.22
—12.22 ナガイファインアーツ
美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香
ジャン・ブルーヴェ展 機械仕掛け
のモダン・デザイン 9.6—10.23
D-秋葉原テンポラリー
日経 8.29
美術館に行こう！ ディック・ブル
ーナに学ぶモダン・アートの楽し
み方 4.2—5.15 札幌芸術の森
美術館(釧路市立美術館、石川県
七尾美術館)
みづゑ 70
ミッフィー展 50 Years with miffy
[ディック・ブルーナ] 4.27—5.9
松屋(銀座)
みづゑ 70
朝日夕刊 4.26 森本俊司
山本直彰+古川知泉 9.1—9.16
香染美術画廊
古川流雄個展 声 11.1—11.19
人形町エキシビットスペース・ヴ
イジョンズ
古郡弘展—森の魂塊— 1.6—1.27
INAXギャラリー2
毎日夕刊 1.17 三田晴夫
読売 1.11
イグナシオ・ブルゴス 7.4—7.16
柴田悦子画廊
日光に生まれた作家たち03 古橋義
朗展 四季の詩情—旅とともに
2.5—2.27 小杉放菴記念日光美
術館
ノーベルト・ブルンナー 自然の観
智 7.19—7.30 Galerie 141
美術手帖 871 金井直
ジャン＝シャルル・ブレ Empty
Words 11.19—12.24 ケンジタ
キギャラリー(東京)
美術手帖 873
美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香
ロラン・フレクスナー 11.22—
12.22 ギャラリー五辻
美術手帖 873

美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香
書家・豊道春海と彫刻家・後藤良
目黒不動尊の近代美術 伝統と近
代の相克 4.23—5.22 目黒区美
術館

(ヘ)

私が言うのはいつもあなたと同じこ
と／私が言うのはいつもあなたと
反対のこと[カールステン・ヘラ
ー] 4.9—5.7 SHUGOARTS
STUDIO VOICE 353 横山いく
こ
イタリア・ボローニャ国際絵本原画
展2005 開館25周年記念スペシャ
ル 特別展示 マックス・ベルジ
ュイス 7.9—8.14 板橋区立美
術館(西宮市大谷記念美術館)
フィリップ・ペロ 11.22—12.17
小山登美夫ギャラリー
美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香
Small Works on Paper 米国テンブ
ル大学芸術学部タイラースクール
オブアート教授によるドローイン
グ三人展[マクデービット・ヘン
ダーソン] 6.30—7.8 女子美術
大学

(ホ)

ヨーゼフ・ボイス展 小松原敬之・
賛美小舎・カスヤコレクションに
よる 6.17—9.11 カスヤの森現
代美術館
読売夕刊 9.2 菅原教夫
法貴信也展 10.22—11.19 TARO
NASU GALLERY
読売夕刊 11.10 前田恭二
ローランド・ボーデン 9.12—9.24
ギャラリー現
チブ・ホーフヒムストラ ドローイ
ング展 9.12—10.1 ギャラリー
福果
芸術新潮 671
鈴木秀治・星博人 版画2人 9.15
—9.25 ギャラリーむかわ
星野高志郎個展 海から空ヘシリ
ズ=風を感じて= 10.17—10.22

平成17年美術展覧会(作ホ、マ)

ギャラリー風雅

大阪成蹊大学芸術学部紀要 2

星野高志郎

細井繁誠 伊豆の洋画家 生誕100
年記念 5.20—6.12 佐野美術館

細川護熙作陶5周年記念展 3.26—
4.17 茶道資料館

平櫛田中賞受賞記念展22回 保田井
智之 8.31—9.6 高島屋(日本
橋)(井原市立田中美術館)

堀浩哉展 11.21—12.10 ギャラリ
ー山口

毎日夕刊 11.29 三田晴夫

読売夕刊 12.8 前田恭二

堀文子・野見山曉治 二人展 2005
3.28—4.10 ナカジマアート

新美術新聞 1051 (常)

朝日夕刊 4.5 山盛英司

読売夕刊 4.5

堀柳女展 人形に心あり 没後20年
5.28—7.3 佐倉市立美術館(佐野
美術館)

東京 6.18 藤田一人

退任記念 堀越保二 10.6—10.23
東京芸術大学大学美術館

ジグマー・ボルケ展 不思議の国の
アリス 10.1—10.30 上野の森
美術館(国立国際美術館)

芸術新潮 672

産経 10.6 岡本耕治

東京 10.22 藤田一人

毎日夕刊 10.17 三田晴夫

読売夕刊 10.20 菅原教夫

ホン・ヨンイン ザ・パフォーミン
グシティ 9.17—10.16 布袋大
仏/伊藤家/+Gallery

美術手帖 872 金井直

本郷新展 生誕100年 5.21—6.19
札幌芸術の森美術館/札幌彫刻美
術館

本田希枝 7.4—7.16 昭和画廊

そら うみ ちきゅう 本田奈津子
9.5—9.10 ギャラリーK

本田正史個展 12.19—12.24 銀座
スルガ台画廊

本間純展—horizon 2.7—2.19 ギ
ャラリー現

毎日夕刊 2.14 三田晴夫

(マ)

人間国宝 前史雄の世界 沈金が奏
でる旋律 9.9—10.16 石川県輪
島漆芸美術館

前川國男 建築展 生誕100年

12.23—3.5 東京ステーションギ
ャラリー(弘前市立博物館、新潟
市美術館)

建築史学 46 松隈洋

朝日夕刊 12.2 大西若人

日経 12.25 (窪)

前田朋子展「マインド・ボディー」

12.1—12.22 ツァイト・フォト
・サロン

芸術新潮 674

美術手帖 876 河野晴子

前山忠展(視界) 3.28—4.9 シロ
タ画廊

レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 牧ゆかり個展 1.10—1.15

銀座スルガ台画廊

牧ゆかり 虹への旅—Ten Fingers
Dream 6.27—7.3 ギャラリー
GAN

正木隆 Requiem レクイエム 10.4
—10.29 ギャラリー人

芸術新潮 672

真島明子展 12.5—12.24 ギャル
リー東京ユマニテ

毎日夕刊 12.19 三田晴夫

眞島竜男「The Incredible Shrinking
Pizza」展 5.21—6.4 Hiromi

Yoshii

美術手帖 866 奥村雄樹

真島直子 地ごく楽2005 11.1—
11.19 ミヅマアートギャラリー

間島秀徳: Sui-boku 4.1—4.14
アートギャラリー閑々居

芸術新潮 666

間島秀徳—Kinesis— 10.4—10.22
ギャラリーエアンドウ

町田久美(à Sade—サドに) 3.15
—4.2 APS西村画廊

芸術新潮 665

人間国宝 松井康成の全貌展 開館
5周年記念展覧会 9.10—11.6

茨城県陶芸美術館(長野県信濃美
術館、兵庫陶芸美術館、三越(日

本橋))

朝日夕刊 10.20 田中三蔵

松井洋 彫刻 10.10—10.15 シロ
タ画廊

松井冬子展 3.31—4.28 成山画廊
芸術新潮 666

松江泰治「CC gazetteer」 3.11—
4.17 NADiff

芸術新潮 665

日経夕刊 3.3

読売夕刊 3.24 前田恭二

松尾高弘 真昼の幻想 Noontime
Illsion 7.15—9.3 ヨコハマポ
ートサイドギャラリー

松岡真 9.19—9.24 銀座スルガ台
画廊

松樹路人展 11.1—11.7 三越(日
本橋)

アートトップ 206 (根)

新美術新聞 1070 宝木範義

レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 松田一聡個展 4.4—4.9

銀座スルガ台画廊

松田正平 素描 6.4—6.18 フォ
ルム画廊(銀座)

松永勲 退任記念 染色作品 古代
譜の世界 11.3—11.20 東京芸
術大学大学美術館

松村公嗣展—出会い— 9.21—10.4
松坂屋(銀座)

新美術新聞 1067 米倉守

松本哲男展 世界三大瀑布完成を記
念して 1.7—3.13 宇都宮美術
館

アートトップ 201

新美術新聞 1047 青木理

美術の窓 258 一井建二

松本春崇 Hudson River—a grind of
Mirror— 5.6—5.21 ギャラリー
GAN

松本陽子[新作展] 1.17—2.5 ヒ
ノギャラリー

芸術新潮 663

毎日夕刊 2.1 三田晴夫

今日の作家X 西村盛雄・松本陽子
展 6.11—9.4 神奈川県立近代
美術館(鎌倉)

目の眼 348

朝日夕刊 8.30 田中三蔵

東京 7.23 中村隆夫
毎日夕刊 7.25 三田晴夫
アンリ・マティス JAZZ 7.15—10.30
ル ヴァン美術館
マミヤコウスケ 2.12—2.27 gal-
leryアートフェチ
美術手帖 863 秋庭史典
沖縄 円井義典 9.12—9.17 ex-
hibit Live&Moris
丸木スマの絵画展 9.14—9.19 松
坂屋(銀座)
毎日 9.15 窪田千代
読売 9.17
丸山勉 ミニアチュール展 11.29
—12.10 岡崎画廊
丸山直文展「朝と夜の間」 11.11
—12.17 SHUGOARTS
芸術新潮 673
美術手帖 872
毎日夕刊 11.21 三田晴夫
読売夕刊 12.8 前田恭二

(ミ)

三上誠 亀井三千代—生きる絆—
6.6—6.25 羽黒洞
三岸好太郎 ロマンティズムの世
界 9.18—10.23 一宮市三岸節
子記念美術館
三岸節子展—永遠の花を求めて—
生誕100年 記念 4.19—5.1 三
越(日本橋)
新美術新聞 1053 東真理子
朝日夕刊 4.16 三岸黄太郎 談
三岸節子展 生誕100年記念 5.4—
5.16 高島屋(なんば)
朝日 5.5 山盛英司
三岸節子素描—ありのままの美—
7.9—8.28 一宮市三岸節子記念
美術館
三岸節子 生誕100年記念 7.23—
9.11 平塚市美術館(北海道立三
岸好太郎美術館、一宮市三岸節子
記念美術館)
東京 8.6 中村隆夫
三嶋哲也展 洋画 3.2—3.8 高島
屋(日本橋)
TRESOM 醍醐イサム・平澤重信
・ミズテツオ 6.23—6.29 ギャ
ラリー絵夢

歌川広重と水木しげる展「東海道」
と「妖怪道」をめぐる旅 8.14—
8.20 丸善(丸の内本店)
毎日 8.3 渡辺暖
水木壘 Liquid space 8.20—8.30
法然院南書院
美術手帖 871 伊村靖子
水越松南展 没後20年 9.10—10.23
姫路市立美術館
水谷イヅル「in the shadow」展
4.11—4.23 ガレリアフィナルテ
美術手帖 865 伊村靖子
水野朝一—描き続けるということ—
10.3—10.27 羽黒洞
水野富美夫没10周年回顧展 エチオ
ピアの光と影—明日へ— 日本・
エチオピア国交回復50周年記念
3.18—3.21 時事通信ホール
水村喜一郎展 10.2—12.18 梅野
記念絵画館・ふれあい館
朝日夕刊 12.6 田中三蔵
溝部聡 10.19—10.29 泰明画廊
三田一雄展 11.7—11.16 ギャラ
リー21+葉
三谷龍二+Persona Studio 小さな
時間 9.10—10.2 Galleryやまほ
ん
芸術新潮 671
ホタルと鎮魂 三橋国民 絵画・彫
刻展 8.10—8.21 ギャラリー東
松山
三戸了— 7.6—7.16 フォルム画
廊(銀座5丁目)
緑川洋一とゆかりの写真家たち1938
—59 1.14—2.20 岡山県立美
術館
南桂子追悼展「鳥と樹と少女—銅
版詩の世界」 4.23—8.7 ミュゼ
浜口陽三・ヤマサコレクション
朝日夕刊 7.1 田中三蔵
峯田敏郎展 3.7—3.19 ギャラ
リーせいほう
美術の窓 260 一井建二
峯村敏明 Resonance/Correspon-
dence 響きと照応 12.19—1.21
ギャラリーGAN
三原研 陶による造形展—静寂、ま
たの名を妬器— 5.12—5.26 西
福ギャラリー

日経 5.20 竹田博志
三原ミツカズ Fools 2.7—2.19
ヴァニラ画廊
みづゑ 71
敦盛[三宅信太郎] 7.2—7.23 小
山登美夫ギャラリー
産経 7.17 猪谷千香
宮崎進展 6.2—6.18 ギャラリー
東京ユマニテ
日経 6.15
宮崎進展 開館10周年記念 8.12—
9.25 周南市美術博物館
朝日夕刊 9.1 田中三蔵
宮崎進展—シベリアからサンパウロ
まで 11.21—12.18 酒田市美術
館
日経 12.28 竹田博志
田島征三・谷川晃一・宮迫千鶴三人
展 4.9—6.12 練馬区立美術館
朝日夕刊 4.21 田中三蔵
読売夕刊 4.13 芥川喜好
宮廻正明展—五線の息吹き— 10.1
—10.30 今井美術館
新美術新聞 1069 川口直宜
宮廻正明 日本画展 —江戸まえ—
12.7—12.13 松坂屋(上野)
新美術新聞 1074 増崎 隆広
Beyond The Death 宮島達男「死の
三部作」 7.23—10.23 熊本市現
代美術館
美術手帖 868
朝日夕刊 8.5 山盛英司
宮永愛子「そらみみそら」展 4.12—
4.24 アートスペース虹
美術手帖 865 伊村靖子
近代陶芸の精華 宮之原謙 11.26
—1.22 千葉県立美術館
宮本佳明展「巨大建築模型ミュージ
アム—環境ノイズエレメントを解
読し、都市を設計せよ—」 5.14
—7.18 KPOキリンプラザ大阪
美術手帖 866 樋口ヒロユキ
宮本三郎展 幻想の巨匠 生誕100
年 6.1—7.18 笠間日動美術館
宮本三郎展—従軍の記録—そして生
の讃歌へ 7.30—11.27 宮本三
郎記念美術館
東京 8.13 藤田一人
宮本純夫 漂白する絵画 9.20—

9.25 ギャラリーGAN
宮本武典展—私とわたしの万華鏡—
2.1—2.24 INAXギャラリー2
産経 2.15 岡本耕治
ミュシャ展 ブラハからパリへ 華
麗なるアール・ヌーヴォーの誕生
ミュシャ財団秘蔵 1.27—3.27
東京都美術館
芸術新潮 661
朝日夕刊 3.12 山盛英司
東京 2.5 中村隆夫
日経夕刊 2.14 (小)
読売夕刊 1.22 千足伸行
読売夕刊 3.9 前田恭二
ジョアン・ミロ展〜翔び立つ鳥のよ
うに〜 7.13—11.11 メルシヤ
ン軽井沢美術館
産経 8.2 岡本耕治
読売夕刊 8.19 高野清見
ネイチャー&アート ガウディ・ミ
ロ・ダリ 2005年愛知万博記念
7.16—9.19 豊田市美術館

(ム)

わたしの選んだ1点〜実篤書画の魅
力〜[武者小路実篤] 10.1—11.6
調布市文化会館たづくり
読売 10.22
ブルーノ・ムナリー〜もっと豊かに
もっと自由に 11.15—12.18 こ
どもの城
芸術新潮 673
STUDIO VOICE 360 SK
行った!見た!彫った! ムナカタ
の旅 棟方志功記念館開館30周年
記念 7.26—9.11 棟方志功記念
館
ナルキッソス:ヴィック・ムニツ
セルフポートレイト 10.14—
11.18 ギャラリー小柳
芸術新潮 673
村井進吾展 MURAI Shingo New
Works2005 10.3—10.22 ギャ
ラリー東京ユマニテ
毎日夕刊 10.11 三田晴夫
村上華岳展 4.12—5.22 京都国立
近代美術館(富山県水墨美術館)
新美術新聞 1055 小倉実子
新美術新聞 1060 夏目四郎

日経 3.19
日経 4.20 宝玉正彦
読売夕刊 4.20 芥川喜好
とんがり君と四天王[村上隆] 7.22
—9.25 毛利庭園
美術手帖 870 児島やよい
産経 8.10 猪谷千香
毎日夕刊 8.2 石川健次
村上友晴 十字架 12.12—1.20
横田茂ギャラリー
村上肥出夫展 2.8—3.13 兜屋画
廊
朝日 2.17
北に澄む—村上善男展 4.23—7.3
川崎市岡本太郎美術館(萬鉄五郎
記念美術館、天童市美術館、尼崎
市総合文化センター)
美術手帖 870 榎木野衣
朝日夕刊 6.9 田中三蔵
毎日夕刊 5.19 三田晴夫
読売夕刊 6.1 芥川喜好
読売夕刊 6.23 前田恭二
熊谷宗一・鍋島正世・村田暁彦
10.3—10.15 ギャラリー福山
ムラタ有子展 4.28—5.28 GAL-
LERY SIDE 2
STUDIO VOICE 354
アトラス 柏田良彰・小林英且・村
松浩之 8.22—8.27 銀座スルガ
台画廊
村元崇洋展 2.21—3.21 AGOSTO
SHOP
美術手帖 864 奥村雄樹
彼の世へ続く風景[村山留里子]
5.21—6.25 山本現代
STUDIO VOICE 355
武留井義男個展 11.21—11.26 櫟
画廊

(メ)

ジョナス・メカス 10.14—10.29
ときの忘れもの
アネット・メッサージェ 11.22—
12.24 ギャラリー小柳
美術手帖 876 北澤ひろみ
産経 11.25 猪谷千香

(モ)

毛利武士郎展 6.13—7.9 村松画

廊
芸術新潮 669
毎日夕刊 6.28 三田晴夫
読売夕刊 6.30 前田恭二
パウラ・モーターゾーン=ベッカー
とヴォルプスヴェーデの画家たち
—素描と版画1895—1906— 9.3
—10.16 伊丹市立美術館
パウラ・モーターゾーン=ベッカー
時代に先駆けた女性画家 11.12
—12.25 宮城県美術館(神奈川県
立近代美術館(葉山)、栃木県立美
術館)
日経 12.7 宝玉正彦
サイモン・モーレイ 「ウイルス」
9.10—10.22 タグチファインア
ート
芸術新潮 671
万物の肖像—ガイド・モカフィコ写
真展 4.22—5.29 HOUSE OF
SHISEIDO
芸術新潮 666
最上壽之展 武蔵野美術大学教授退
任記念 コドモ ドコマデモ コ
ドモ 11.8—12.14 武蔵野美術
大学美術資料図書館
奎田たけを小品展 油彩・水彩・コ
ラージュ 1.12—1.29 東邦画廊
奎田たけを展 4.4—4.23 東邦画
廊
奎田たけを展—油彩・パステル・水
彩・コラージュ— 6.6—6.25
東邦画廊
小山田二郎 難波田龍起 奎田たけ
を 8.16—8.27 東邦画廊
母袋俊也展「Qf—SHOH 150」《掌》
4.11—4.30 ギャラリーなつか
望月士郎 ひかりのうすかわ 3.8
—3.13 ギャラリーGAN
望月寿充展 10.24—10.29 ギャラ
リー21+葉
レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 望月康生個展 2.7—2.12
銀座スルガ台画廊
Emerging Artist Support 元木孝美
「scape」 11.26—12.18 トーキ
ョーワンダーサイト本郷
美術手帖 876 高嶋雄一郎
元田久治 2.14—2.20 Oギャラリ

—
美術手帖 863 福住廉
元永定正 いろながれ かたちうご
いて おどりだす 7.16—8.28
長野県信濃美術館
もとみやかをる「MOTOMIYA KAORU
2005」 9.20—10.15 ミヅマア
ートギャラリー
美術手帖 873 高嶋雄一郎
読売夕刊 10.13 前田恭二
本宮健史展 3.28—4.9 ギャラリ
ー21+葉
森秀雄展 偽りの青空 10.20—10.26
東京芸術劇場
毎日夕刊 10.19 三田晴夫
森光子・中村真木の現在一形とカタ
ち 9.19—11.6 茅ヶ崎市美術
館
森光子 12.5—12.10 銀座スルガ
台画廊
森岡純展 さまざまな眼145 9.1—
9.27 かわさきIBM市民文化ギャ
ラリー
森北伸 6by9 10.15—11.12 白
土舎
美術手帖 873 金井直
ウィリアム・モリス—モリスのイン
テリアデザイン— 10.8—12.4
松下電工汐留ミュージアム
読売 10.21
森野真弓展 11.14—11.25 ギャル
リーヴィヴァン
毎日夕刊 11.15 石川健次
森部英司 EIJI MACARONI 11.22
—11.27 ギャラリーMOCA
美術手帖 876 金井直
森村泰昌展「諷刺家伝—ゴヤに捧ぐ」
5.21—7.2 SHUGOARTS
芸術新潮 667
朝日夕刊 6.14 山盛英司
日経 6.8 宝玉正彦
毎日夕刊 5.31 三田晴夫
守屋行彬展—マティス追想— 2.9
—2.23 ギャラリーGAN
毎日夕刊 2.14 三田晴夫
森山・新宿・荒木展「森山大道」
1.15—3.21 東京オペラシティア
ートギャラリー
STUDIO VOICE 350 北澤ひろ

み
朝日夕刊 2.24 田中三蔵
産経 1.25 生田誠
産経 2.1 重松明子
産経 2.17
日経 1.24
読売夕刊 1.27
森山大道+荒木経惟『コンタクト・
新宿・トリミング』 1.20—3.6
NADiff
産経 2.17
プエノスアイレス 生と死のダンス
「森山大道」 7.8—8.6 エプサイ
ト
STUDIO VOICE 355 北澤ひろ
み
ギュスターヴ・モロー展 フランス
国立ギュスターヴ・モロー美術館
所蔵 開館6周年記念展 6.7—
7.31 兵庫県立美術館(島根県立
美術館)
新美術新聞 1059 江上ゆか
ギュスターヴ・モロー展 フランス
国立ギュスターヴ・モロー美術館
所蔵 開館6周年記念展 8.9—
10.23 Bunkamuraザ・ミュージ
アム
東京 1.4
東京 8.7 木島俊介
東京 9.10 喜多崎親
東京 9.15 (青)
東京 9.17 中村隆夫
東京夕刊 8.22 小松原康子
東京夕刊 8.23 矢崎彦太郎
東京夕刊 8.25 志村節子
東京夕刊 8.26 隠岐由紀子
東京夕刊 8.27 巖谷國士
読売夕刊 9.15 前田恭二
諸熊仁志展 Life Ring FIELD 7.11
—7.23 ガレリア・グラフィカ
bis
東京 7.16 藤田一人
(ヤ)
八木一夫展 没後25年 7.2—8.21
東京都庭園美術館
朝日夕刊 7.14 山盛英司
日経 6.18
読売夕刊 7.13 芥川喜好

安井曾太郎展 没後50年 6.11—
7.24 茨城県近代美術館(宮城県
美術館、三重県立美術館)
新美術新聞 1060 井野功一
朝日夕刊 7.4 田中三蔵
東京 1.4
東京 6.22 井野功一
東京 6.30 (峯)
日経 6.29 宝玉正彦
カミロポエキスポ2005「安居智博」
4.1—4.2 パルコミュージアム
美術手帖 863 大城譲司
安井仲治展 生誕百年 1.8—3.6
名古屋市美術館
安井仲治—僕はこんな美しいものを
見た— 3.26—7.3 兵庫県立美
術館
レスポワール展39回 2005年新人選
抜展 安富洋貴個展 3.14—3.19
銀座スルガ台画廊
安村崇 写真展 9.30—10.17 パ
ルコミュージアム
毎日夕刊 10.11 飯沢耕太郎
よみがえる明治絵画 修復された矢
田一嘯『蒙古襲来絵図』 2.5—
3.13 福岡県立美術館
芸術新潮 664 木下直之
やなぎみわ 無垢な老女と無慈悲な
少女の信じられない物語 8.13—
11.16 原美術館
STUDIO VOICE 357
美術手帖 868
美術手帖 871 北澤ひろみ
朝日夕刊 9.8 田中三蔵
朝日夕刊 10.5 高階秀爾
東京 9.10 藤田一人
日経 9.26 宝玉正彦
毎日夕刊 9.14 飯沢耕太郎
やなぎみわ「マダム・コメット」大原
美術館・有隣荘 10.2—10.30
大原美術館
朝日夕刊 10.5 高階秀爾
柳幸典展 イカロス・プロジェクト
飛翔の夢—国境を越えて 21世紀
の作家—福岡7回 10.5—12.27
福岡市美術館
美術手帖 873
美術手帖 876 大久保京
柳澤紀子展 4.6—4.16 ギャラリ

ーゴトウ
毎日夕刊 4.1 石川健次
柳澤紀子展 9.12—10.15 中京大
学センタービル内・Cスクエア
朝日夕刊 10.6 田中三蔵
柳沢正人展 特別展 刻—時空を超
えて 8.6—10.2 佐久市立近代
美術館
新美術新聞 1063 工藤美幸
柳原義達と5人の作家 6.4—7.24
ギャラリーTOM
朝日夕刊 7.12 田中三蔵
やさしさあふれる絵画と詩—やなせ
たかしの世界 8.19—9.19 天童
市美術館(萬鉄五郎記念美術館)
子供都市計画 最終披露展「子供都
市—虹の要塞」[ヤノベケンジ]
3.19—3.21 金沢21世紀美術館
芸術新潮 665
ヤノベケンジ—キンダガルテン—
6.24—10.2 豊田市美術館
美術手帖 866
美術手帖 872 編集部
朝日夕刊 6.24 山盛英司
山内史生 主観美 11.21—11.26
ギャラリーIK
山岸俊之 COCOONS 3.24—4.3
ギャラリーGAN
山口晃展 11.22—11.27 三越(日
本橋)
産経 11.20 猪谷千香
山口伊太郎・安次郎の世界 千年の
伝統をつむぐ西陣の織物 10.7—
12.19 佐野美術館
山口啓介展—緑化砂—新作版画によ
る 4.4—4.23 ギャラリー池田
美術
読売夕刊 4.14 前田恭二
いのちを考える 山口啓介と中学生
たち 粒子と稜線 8.3—8.28
伊丹市立美術館/旧岡田家住宅
山口進と川上澄生 創作版画の流れ
のなかで 川上澄生 生誕110周
年 4.5—9.25 鹿沼市立川上澄
生美術館
山口ハル子の画境II 7.11—7.31
早稲田大学會津八一記念博物館
草木染の命名者 山崎斌展 4.29—
7.10 池田町立美術館

読売夕刊 6.22 芥川喜好
山崎啓太 12.5—12.10 ギャラリ
イK
山崎隆夫展 刻の譜 11.2—11.8
高島屋(日本橋)
新美術新聞 1071 大須賀潔
山下律子個展 2.7—2.26 Gallery
覚/ギャラリー本城
STUDIO VOICE 351 堀切正人
山田順子—空を聴く— 10.3—10.8
シロタ画廊
山田正亮の絵画—(静物)から
(Work)…そして(Color)へ 6.18
—8.14 府中市美術館
芸術新潮 667 松浦寿夫
朝日夕刊 7.11 田中三蔵
日経 6.18 宝玉正彦
毎日夕刊 7.26 三田晴夫
読売夕刊 7.29 前田恭二
The faintest 弱度 山田昌宏 7.14
—7.27 アートギャラリー閑々居
あさきゆめみし—源氏物語の世界—
[大和和紀] 8.17—8.22 高島屋
(新宿)
読売夕刊 8.15 大和和紀 談
Ajapon Bazaar 4 小さな展覧会—
山根康壮— 12.10—12.24 羽黒
洞
オマーージュ 山本丘人—丘人と現代
日本画の10人— 11.1—12.11
練馬区立美術館
新美術新聞 1073 野地耕一郎
東京 11.26 中村隆夫
山本浩二 新作 9.19—10.1 exhibit
Live&Moris
山本昇雲展 浮世美人と懐かしき日
本の情景 2.6—3.27 高知県立
美術館
山本貞展—画業の歩み・自然を描く
近作を中心に— 日本芸術院会員
就任記念 4.16—7.10 サトエ記
念21世紀美術館
アートトップ 204
新美術新聞 1056 江口健
東京 7.2 藤田一人
山本直彰+古川知泉 9.1—9.16
香染美術画廊
山本直木 FLESH! 12.1—12.11
ヴォイスギャラリー—pfs

美術手帖 876 酒井千穂
山本幸則 The Journey 2003—2005
10.15—10.30 CAP HOUSE ギ
ャラリー山側/海側
美術手帖 873 伊村靖子
二人 予兆 萩谷かおる 山本陸
10.24—10.29 銀座スルガ台画廊
現代中国画家楊力舟・王迎春の世界
展 4.15—5.12 日中友好会館美
術館
東京 5.7 藤田一人
ホルスト・ヤンセン 北斎へのまな
ざし 12.2—1.22 八王子市夢美
術館

(ユ)

湯浅八郎の民芸 4.5—7.1 国際基
督教大学博物館湯浅八郎記念館
お江戸ナンセンス[祐天寺三郎]
9.12—9.17 地球堂ギャラリー
読売 9.15
陸根丙 新作展“SurvivalisHistory”
7.27—9.17 ケンジタキギャラリ
ー(東京)
毎日夕刊 8.1 三田晴夫
モーリス・ユトリロ 没後50年
10.13—10.31 高島屋(横浜)
柚木沙弥郎2005 11.5—12.25 ギ
ャラリーTOM
朝日夕刊 12.20 田中三蔵
湯村光 11.21—12.3 ギャラリー
せいほう
マルク・ユルト展 7.12—8.5 ギ
ャラリーMMG
芸術新潮 669

(ヨ)

横井礼以展—無辺際感性— 生誕
120年 4.18—4.28 名古屋画廊
横内賢太郎—滲む筆致 揺れるドロ
ー— 9.1—9.28 INAXギ
ャラリー2
芸術新潮 671
横尾忠則—熊本・ブエノスアイレス
化計画 1.29—4.17 熊本市現代
美術館
新美術新聞 1050 (石)
横尾忠則 Y字路から湯の町へ 開
館30周年記念展 4.28—8.31 池

田20世紀美術館
新美術新聞 1057 瀬木慎一
読売夕刊 7.20 芥川喜好
横尾忠則が招待するイッセイミヤケ
パリコレクション1977—1999
7.16—9.11 富山県立近代美術館
芸術新潮 669
新美術新聞 1064 長谷川祐子
美術手帖 870 原田環+中山真理
朝日 8.10 霜田紗苗
産経 8.1 藤田綾子
読売夕刊 7.22 大森亜紀
横尾忠則 then and Now 10.17—
11.12 南天子画廊
日経 11.2 宝玉正彦
読売夕刊 10.27 前田恭二
「光と鬼」横須賀功光の写真魔術
11.19—12.18 東京都写真美術館
美術手帖 876 勝又邦彦
朝日 12.6 西岡一正
横山敬幸 木版画 9.15—9.25 ギ
ャラリーマスカ
横溝美由紀 invisibility 9.5—9.27
Galerie Aube(京都造形芸術大学
国際芸術研究センター)
美術手帖 872 伊村靖子
横山大観と近代日本画の巨匠たち
足立美術館名品選 1.2—2.17
茨城県天心記念五浦美術館
横山大観展 近代日本画を創造した
芸術家の真髓 足立美術館開館35
周年記念 3.23—4.10 三越(日
本橋)
朝日夕刊 3.26 古田亮 談
横山大観名品 8.31—11.30 足立
美術館
横山大観 重要文化財「生々流転」
10.8—12.18 東京国立近代美術
館
産経 10.22
横山貴裕 3.1—3.6 ギャラリー
GAN/ars gallery
横山操「越路十景」と日本画の風情
2.5—3.6 山種美術館
読売夕刊 2.16 芥川喜好
横湯久美「雪ダルマ」 10.29—11.17
photographers'gallery+IKAZUCHI
芸術新潮 673

美術手帖 874 河野晴子
日本の女流書展第30回記念 与謝野
晶子 6.24—7.31 大倉集古館
吉岡俊直展 10.22—11.6 ギャラ
リーレイ
美術手帖 874 金井直
吉澤美香 10.15—11.13 双ギャラ
リー
作家の現在—吉澤美香 絵画とドロ
ーイングのあいだに 11.3—
12.11 いわき市立美術館
小さな永遠—吉田勝彦の版画 1.29
—3.13 愛媛県美術館分館郷土美
術館
カンフォロ 25 箱田千穂
吉仲正直 3.7—3.26 ヒノギャラ
リー
吉野辰海 新作展 5.9—5.28 東
邦画廊
毎日夕刊 5.20 三田晴夫
吉野光展 3.21—3.26 ギャラリー
21+葉
吉場正和写真展『あき』 12.2—
12.18 リトルモア地下
産経 12.14 岡本耕治
吉原英里 画家のノート 9.5—
9.15 番町画廊
吉原治良展 生誕100年記念 10.29
—11.27 ATCミュージアム(東京
国立近代美術館、宮城県美術館)
日経 9.25
吉原治良展 生誕100年記念 12.16
—2.26 愛知県美術館
美術手帖 874
美術手帖 877 中村英樹
吉原英雄 ポップなアート 1.14—
3.13 ふくやま美術館
新美術新聞 1047 谷藤史彦
do展 2nd [吉見照子] 6.20—6.25
シロタ画廊
Isao YOSHIMURA La Mémoire [吉
村勲] 10.21—11.27 京都府京
都文化博物館
吉村順三建築展 11.10—12.25 東
京芸術大学大学美術館
建築史学 46 益子義弘
朝日夕刊 12.2 大西若人
日経 11.28 竹田博志
読売夕刊 12.3 高野清見

吉村弘の世界 音のかたち、かたち
の音 7.9—8.28 神奈川県立近
代美術館(葉山)/ジーベックホー
ル
吉村芳生展 10.3—10.22 ギャラ
リー川船
吉本作次展 1.15—2.20 三重県立
美術館
吉原英雄展: ポップなアート 1.14
—3.13 ふくやま美術館
版画芸術 126 谷藤史彦
Art Sprit/くしろの造形4 米坂ヒ
デノリ展 釧路市立美術館開館5
周年記念 10.1—11.13 釧路市
立美術館
米田和 彩描の陶芸展 1.19—1.25
高島屋(日本橋)
米田知子展「雪解けのあとに」 9.10
—10.1 SHUGOARTS
芸術新潮 671
STUDIO VOICE 358 西原佐季
子
米谷雄平展 2.27—3.27 北海道立
近代美術館
艾沢祥子新作版画展 1.11—1.22
シロタ画廊

(ラ)

樂吉左衛門 一九九九年秋—二〇〇
五年春 創作 9.17—2.26 菊池
寛実記念智美術館
朝日夕刊 9.29 山盛英司
日経 10.26 竹田博志
毎日夕刊 12.27 田原由紀雄
ジョルジュ・ド・ラ・トゥール展
3.8—5.29 国立西洋美術館
新美術新聞 1050 高橋明也
新美術新聞 1052 河村錠一郎
美術の窓 258 高橋明也
朝日夕刊 4.6 高階秀爾
産経 4.15 岡本耕治
東京 3.24 (青)
日経夕刊 3.14 (白)
毎日夕刊 4.25 三田晴夫
読売 1.1 高橋明也
読売 1.18
読売 3.2 前田恭二
読売 3.28
読売 4.23 河村錠一郎

読売夕刊 3.7、9〜11、15 前田
恭二

読売夕刊 3.8

読売夕刊 4.30 山田洋次

読売夕刊 4.30 高畑勲

フィリップ・ラメット担当のウィン
ドーディスプレイ 11.17〜1.17

エルメスジャパン

美術手帖 876 北澤ひろみ

産経 11.25 猪谷千香

ベル・エポックの華 ルネ・ラリッ
クガラス 2.11〜3.27 郡山市
立美術館

ラリックが愛した日本(ジャポン)
3.19〜9.20 箱根ラリック美術館
東京 4.7 (青)

(リ)

李禹煥 余白の芸術 9.17〜12.23
横浜美術館

新美術新聞 1080 島尾新

美術手帖 871

朝日夕刊 10.27 田中三蔵

産経 12.18 猪谷千香

東京 10.15 中村隆夫

日経 12.15 竹田博志

毎日夕刊 9.22 三田晴夫

読売夕刊 9.29 前田恭二

JIMIN LEE 12.12〜12.17 シロタ
画廊

李允碩展 2.12〜3.13 メタル・ア
ート・ミュージアム光の谷

MARITA LIULIA PHOTOGRAPHS
5.19〜5.30 遊工房

ゲルハルト・リヒター展 9.3〜10.26
金沢21世紀美術館

美術手帖 870

朝日 12.8 鈴木理策

日経 11.27 (白)

読売夕刊 12.15 前田恭二

良寛遺墨展―御三家を中心に― 重
要文化財指定25年県指定文化財51
年記念 7.16〜8.21 新潟県立近
代美術館

(ル)

ルオー版画展 流れる星のサーカス
受難 悪の華 1.29〜2.27 松下
電工沙留ミュージアム

ルオー展 出光コレクションによる
4.16〜6.26 東京都現代美術館
(大丸ミュージアムKYOTO、大丸
ミュージアムKOBE)

美術手帖 864 池上ちか子

朝日夕刊 5.6 西田健作

産経 6.8 岡本耕治

ルオーと白樺派 近代日本のルオー
受容 5.21〜7.10 松下電工沙留
ミュージアム

芸術新潮 666 山田俊幸

ルオー展 出光コレクションによる
10.8〜11.27 岩手県立美術館
美術手帖 871

ルオーと音楽 悪の華 回想録
12.17〜1.29 松下電工沙留ミ
ュージアム

ハープ・ルバーリン展 10.7〜10.30
青山ブックセンター本店
芸術新潮 670

「When pigs fly」展[クリスティース
・ルベ] 1.15〜2.5 タカ・イシ
イギャラリー
STUDIO VOICE 350 編集部

(レ)

ジャン=ピエール・レイノー展
「国旗プロジェクト」 9.1〜9.18
ヒルサイドフォーラム
毎日夕刊 9.13 三田晴夫

レオナルド・ダ・ヴィンチ展 9.15
〜11.13 森アーツセンターギャ
ラリー

産経 9.27 岡本耕治

毎日 9.7 重長聡

毎日 9.14 下桐実雅子

毎日 9.15 仲村隆

毎日 10.26 中原佑介

毎日 10.26 池上英洋

毎日夕刊 9.15

毎日夕刊 9.16、20、24 養老孟
司

アンドレ・コルビュース&マルクス
・レフラー 9.12〜9.24 ギャ
ラリーQ

ユーグ・レブ 11.24〜2.12 アニ
エスパー

美術手帖 873

美術手帖 876 北澤ひろみ

産経 11.25 猪谷千香

ROR(レボリューションズ・オン・
リクエスト) MAMプロジェクト
003 5.14〜7.18 森アーツセン
ターギャラリー

(ロ)

ユリアン・ローゼフェルド&ピエロ
・シュタインレ 9.12〜9.24 東
京画廊

ダニエル・ロート 9.12〜9.24 コ
バヤシ画廊

レイチェル・ロザレン展 10.1〜
10.30 横浜美術館アートギャラ
リー
STUDIO VOICE 359

(ワ)

若林奮版画展 デッサンと彫刻のあ
いだ 9.6〜11.13 世田谷美術館
版画芸術 129 松山龍雄
朝日夕刊 10.6 田中三蔵

若林奮 くるみの樹 9.11〜10.23
多摩美術大学美術館

ワダエミの衣装世界 11.26〜12.25
梅窓院・祖師堂ホール
産経 12.4 藤田綾子

和田誠の絵本の仕事 7.16〜9.25
ふくやま美術館
芸術新潮 670

和田義彦展 ドラマとボエジエの画
家 4.9〜6.12 三重県立美術館
(茨城県つくば美術館)

芸術新潮 668 毛利伊知郎

新美術新聞 1052 石川健次

日経 8.15 竹田博志

読売 8.10 森村誠一

読売 8.12 小栗康平

渡辺華山・椿椿山が描く人物画 19
世紀の迫真に出会う 9.3〜10.16
田原市博物館

渡辺豪×橋爪彩展 シークレットガ
ールズ up and down 6.6〜6.18
ASK? art space kimura

神経質なBe nervous[渡辺郷]
9.20〜10.10 HIGURE 17-15
cas

STUDIO VOICE 359 宮原裕美
渡辺剛 「TRANSPLANT」 10.4〜

11.27 資生堂ギャラリー
 渡辺剛 Mt 10.4—10.29 ギャラリーGAN
 芸術新潮 672
 渡辺郷 feat. ソウル兄弟: バックス
 テー ジパス 10.22—10.31 art
 project room ARTZONE
 STUDIO VOICE 359 宮原裕美
 渡辺晃一個展「EVE's Pore」 8.29
 —9.10 コパヤシ画廊
 渡辺晃一個展 Veronica2005〜Life
 Hands〜 9.27—10.8 スパンア
 ートギャラリー
 渡辺幸子個展 4.11—4.16 シロタ
 画廊
 レスポワール展39回 2005年新人選
 拔展 渡辺容子個展 2.14—2.19
 銀座スルガ台画廊
 綿引明浩さんの「空想なんだ! 図鑑
 展」 10.15—11.27 ふなばしア
 ンデルセン公園こども美術館
 毎日夕刊 11.4 石川健次
 綿引展子—孤独と笑い— 7.4—
 7.16 文京アート
 綿引展子展 さまざまな眼146
 10.13—11.8 かわさきIBM市民
 文化ギャラリー
 現代中国画家楊力舟・王迎春の世界
 展 4.15—5.12 日中友好会館美
 術館
 東京 5.7 藤田一人
 王舒野展 12.21—12.27 高島屋(日本
 橋)

団 体 展

(ア行)

アート未来展10回 7.8—7.17 東
 京都美術館
 美術の窓 264 高山淳/切刀知
 子
 亜細亜現代美術展41回 6.12—6.22
 東京都美術館
 新美術新聞 1065
 美術の窓 263 高山淳/切刀知
 子
 一期会展40回 8.20—8.30 東京都
 美術館
 新美術新聞 1067

美術の窓 265 高山淳/佐久間
 智香子
 一陽展51回 9.18—10.3 東京都美
 術館(大阪市立美術館、富山県民
 会館美術館)
 新美術新聞 1070
 美術の窓 266 高山淳/切刀知
 子
 一水会選抜展44回 3.1—3.7 三越
 (日本橋)
 一水会新鋭展 2回 明日の一水会を
 担う作家たち 3.7—3.13 東京
 銀座画廊
 一水会展67回 9.18—10.3 東京都
 美術館(井上デパート(松本)、め
 いてつエムザ催事場(金沢)、大阪
 市立美術館、愛知県美術館)
 新美術新聞 1070
 美術の窓 266 高山淳/切刀知
 子/磯部靖
 一線展56回 10.5—10.14 東京都
 美術館
 新美術新聞 1072
 美術の窓 267 高山淳/切刀知
 子/佐久間智香子
 一創会展27回 1.31—2.5 東京都
 美術館
 新美術新聞 1050 (Y・I)
 AJAC展31回 10.4—10.14 東京都
 美術館
 美術の窓 267 切刀知子
 NPO南画院展59回 7.8—7.17 東
 京都美術館
 新美術新聞 1066
 旺玄展71回 5.21—5.30 東京都美
 術館
 新美術新聞 1062 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳/磯部靖

(カ行)

近代水墨展22回 6.23—6.29 東京
 都美術館
 新美術新聞 1065
 近美展32回 11.25—12.1 東京都
 美術館
 新美術新聞 1076
 美術の窓 269 切刀知子
 近代美術協会展42回 8.20—8.30
 東京都美術館

新美術新聞 1067
 美術の窓 265 高山淳/切刀知
 子
 グループ玄展2005 5.31—6.5 京
 都府立文化芸術会館
 新美術新聞 1062 太田垣實
 ニュークリエイティブ展22回 1.23
 —1.29 東京都美術館
 新美術新聞 1050 (Y・I)
 現水展44回 10.5—10.14 東京都
 美術館
 新美術新聞 1072
 美術の窓 267 高山淳/切刀知
 子
 現創展31回 12.10—12.16 東京都
 美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 切刀知子
 現代童画展31回 12.2—12.9 東京
 都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 高山淳/切刀知
 子
 現展61回 6.12—6.22 東京都美
 術館(大阪市立美術館、愛知県美
 術館)
 新美術新聞 1064
 美術の窓 263 高山淳/切刀知
 子/佐久間智香子
 元陽展36回 11.25—12.1 東京都
 美術館(広島県立美術館、大阪市
 立美術館)
 新美術新聞 1076
 美術の窓 269 切刀知子
 行動展60回 9.1—9.16 東京都美
 術館(大阪市立美術館、京都市美
 術館、愛知県立美術館、福岡市美
 術館、北海道立函館美術館、米子
 市美術館、岡山県天神山文化プラ
 ザ)
 新美術新聞 1068
 美術の窓 266 高山淳/切刀知
 子/佐藤竜平
 光風会展91回 4.6—4.21 東京都
 美術館(愛知県美術館、京都市美
 術館、広島県立美術館、石川県立
 美術館)
 新美術新聞 1058 (Y・I)
 美術の窓 261 高山淳/切刀知

子／磯部靖
光陽展53回 5.9—5.19 東京都美術館
 新美術新聞 1061 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳／刃刀知子／磯部靖
国画展36回 12.2—12.9 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 高山淳／刃刀知子
国展79回 4.23—5.7 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
 新美術新聞 1059 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳／小森佳代子／刃刀知子／庄司美樹／磯部靖／土屋文孝
ima展31回 8.20—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1068
駒展36回 5.31—6.10 東京都美術館
 美術の窓 263 佐藤竜平

(サ行)

朔日会展74回 5.9—5.19 東京都美術館
 美術の窓 262 高山淳
三軌展57回 3.26—4.4 東京都美術館
 美術の窓 261 刃刀知子／磯部靖
 新美術新聞 1057 (Y・I)
示現会展58回 4.6—4.21 東京都美術館
 新美術新聞 1058 (Y・I)
 美術の窓 261 高山淳／刃刀知子／佐藤竜平
写真画壇展33回 4.1—4.7 上野の森美術館
 新美術新聞 1058 (Y・I)
 美術の窓 261 磯部靖
秋耕展30回 12.10—12.16 東京都美術館
 新美術新聞 1077
自由美術展69回 10.16—10.31 東京都美術館
 アートトップ 207 (初)

新美術新聞 1073
 美術の窓 267 高山淳／刃刀知子／庄司美樹
主体展41回 9.1—9.16 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)
 新美術新聞 1068
 美術の窓 266 高山淳／刃刀知子／磯部靖
朱葉会展85回 6.1—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1063 (Y・I)
 美術の窓 263 高山淳／磯部靖
純展35回 12.10—12.16 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 刃刀知子
春陽展82回 4.23—5.7 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
 新美術新聞 1059 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子
職美展59回 6.12—6.22 東京都美術館
女流画家協会展59回 5.21—5.30 東京都美術館
 新美術新聞 1062 (Y・I)
 美術の窓 263 高山淳／刃刀知子／佐久間智香子
新槐樹社展49回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1055 (Y・I)
新協展48回 10.5—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1072
 美術の窓 267 高山淳／刃刀知子／磯部靖
極美展11回 10.5—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1072
新芸術展30回 11.25—12.1 東京都美術館
 新美術新聞 1076
 美術の窓 269 高山淳／刃刀知子
新構造展77回 6.12—6.22 東京都美術館
 新美術新聞 1064

美術の窓 263 高山淳／刃刀知子
新興展55回 5.21—5.30 東京都美術館
 新美術新聞 1062 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳／刃刀知子
新作家展 2005 4.12—4.17 東京セントラル美術館
 美術の窓 261 高山淳
新作家展12回 12.3—12.9 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 高山淳
新匠工芸会公募展60回 12.4—12.9 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 小森佳代子
新象展48回 6.1—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1063 (Y・I)
 美術の窓 263 高山淳／佐久間智香子
新世紀展50回 5.9—5.19 東京都美術館(兵庫県立美術館「原田の森ギャラリー」、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー、北九州市立美術館、ながの東急・もんぜんぷら座)
 新美術新聞 1061 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳／刃刀知子
新制作展69回 9.18—10.3 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館県民ギャラリー)
 新美術新聞 1070
 美術の窓 266 高山淳／刃刀知子／庄司美樹／佐久間智香子
新美展38回 12.2—12.9 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 刃刀知子
晨鳥社展58回 6.7—6.12 京都府立文化芸術会館
 新美術新聞 1062 太田垣實
 美術の窓 264 小森佳代子
新院展37回 11.25—12.1 東京都美術館

新美術新聞 1076
 美術の窓 269 切刀知子
新日美展29回 12.10—12.16 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 切刀知子
新美術協会展52回 6.1—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1063 (Y・I)
 美術の窓 263 高山淳/切刀知子/佐久間智香子
新洋画会展27回 8.20—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1068
水彩連盟展64回 3.26—4.4 東京都美術館
 新美術新聞 1057 (Y・I)
 美術の窓 261 高山淳/切刀知子/磯部靖
青枢展32回 6.12—6.22 東京都美術館
 新美術新聞 1065
 美術の窓 263 高山淳/磯部靖
青塔社展50回 5.24—5.29 京都市美術館別館
 新美術新聞 1062 太田垣實
全展43回 8.20—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1067
 美術の窓 265 切刀知子/佐藤竜平
春季企画会展31回 3.2—3.7 高島屋(日本橋)
創画展32回 10.16—10.31 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館)
 アートトップ 207 (b)
 新美術新聞 1073
 美術の窓 267 高山淳/切刀知子
蒼騎展45回 10.5—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1072
 美術の窓 267 高山淳/切刀知子
創型展54回 5.9—5.19 東京都美術館
 新美術新聞 1061 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳/庄司美

樹
創元展64回 4.6—4.21 東京都美術館(京都市美術館、福岡市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松、高松市美術館、岡山県天神山文化プラザ)
 新美術新聞 1058 (Y・I)
 美術の窓 261 高山淳/切刀知子
創彩展25回 10.5—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1072
創展39回 10.4—10.14 東京都美術館
 新美術新聞 1072
 美術の窓 267 高山淳/切刀知子/佐久間智香子
蒼樹展30回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1055 (Y・I)
双樹展35回 8.21—8.30 東京都美術館
 新美術新聞 1068
 美術の窓 265 高山淳/磯部靖
創造展58回 6.1—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1063 (Y・I)
 美術の窓 263 佐藤竜平

(タ行)

第一美術展76回 5.21—5.30 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)
 新美術新聞 1062 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳/磯部靖
大潮展69回 12.11—12.24 東京都美術館
 美術の窓 269 切刀知子
大調和展44回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1055 (Y・I)
太平洋展101回 5.20—5.30 東京都美術館(福岡市美術館、愛知県美術館、千葉県立美術館、大阪市立美術館、横浜市民ギャラリー、山梨県立美術館、長野県信濃美術館、東京芸術劇場、名古屋市博物館、埼玉県立近代美術館)
 新美術新聞 1062 (Y・I)

美術の窓 262 高山淳/佐藤竜平
大洋展27回 11.25—12.1 東京都美術館
 新美術新聞 1076
 美術の窓 269 切刀知子
太陽美術展31回 11.25—12.1 東京都美術館
 新美術新聞 1076
 美術の窓 269 高山淳/切刀知子
たぶろう展40回 5.31—6.10 東京都美術館
 新美術新聞 1063 (Y・I)
 美術の窓 263 佐藤竜平
中美展57回 6.12—6.22 東京都美術館
 新美術新聞 1064
 美術の窓 263 高山淳/磯部靖
等迦展38回 12.2—12.9 東京都美術館
 新美術新聞 1077
 美術の窓 269 切刀知子
東京展31回 9.18—10.3 東京都美術館
 新美術新聞 1070
 美術の窓 266 高山淳/切刀知子
東光展71回 4.23—5.7 東京都美術館(大阪市立美術館、鹿児島市立美術館、広島県立美術館、熊本県立美術館、長崎県立美術館、岡山県民文化交流センター)
 新美術新聞 1059 (Y・I)
 美術の窓 262 高山淳/切刀知子/佐藤竜平
東方美術展39回 3.14—3.24 東京都美術館
 新美術新聞 1055 (Y・I)
独立展73回 10.16—10.31 東京都美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、愛知県美術館、福岡市美術館、広島県立美術館、鹿児島県立歴史資料センター黎明館)
 アートトップ 207 (根)
 新美術新聞 1073
 美術の窓 267 高山淳/切刀知子/磯部靖
土日会展30回 5.16—5.22 東京セ

ントラル美術館
美術の窓 263 切刀知子

(ナ行)

二科展90回 9.1—9.16 東京都美術館／上野の森美術館
新美術新聞 1068
美術の窓 266 高山淳／切刀知子／庄司美樹／佐久間智香子

二紀展59回 10.16—10.31 東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、クリエート浜松)
アートトップ 207 (富)
新美術新聞 1073

美術の窓 267 高山淳／切刀知子／庄司美樹／佐久間智香子

二元展44回 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1064
美術の窓 263 高山淳／切刀知子／佐久間智香子

日洋展19回 4.23—5.7 東京都美術館
新美術新聞 1059 (Y・I)
美術の窓 262 高山淳／切刀知子／磯部靖
美術の窓 264 磯部靖

日輝展30回 12.10—12.16 東京都美術館
新美術新聞 1077

日影展35回 4.6—4.21 東京都美術館
美術の窓 261 瀧梯三／高山淳／切刀知子／庄司美樹

日春展40回 3.30—4.4 松屋(銀座)

日展37回 11.2—11.24 東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館、大阪市立美術館、島根県立美術館、石川県立美術館、福岡市美術館、青森県武道館)
アートトップ 207 (山)

アートトップ 207 (b)
新美術新聞 1074

美術の窓 268 高山淳／切刀知子／庄司美樹／川室美幸

産経 11.3
東京 11.12 稲葉千寿／塩野栄

日本画院展65回 5.9—5.19 東京都美術館
新美術新聞 1061 (Y・I)
美術の窓 262 高山淳／切刀知子

日府展52回 5.8—5.19 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞 1061 (Y・I)

JAG展28回 11.25—12.1 東京都美術館
新美術新聞 1076
美術の窓 269 切刀知子

日本現代工芸美術展44回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館別館、金沢香林坊大和、富山県民会館美術館、新潟市歴史博物館、神奈川県民ホール、福岡市美術館、香川県文化会館、身延町なかとみ現代工芸美術館)
美術の窓 261 高山淳／川室美幸

彩美展10回 4.23—5.7 東京都美術館
新美術新聞 1059 (Y・I)

日本自由画壇展31回 8.21—8.30 東京都美術館
新美術新聞 1067
美術の窓 265 高山淳／佐藤竜平

日本手工芸美術展30回 12.10—12.16 東京都美術館
新美術新聞 1077

日本新水墨派展30回 11.25—12.1 東京都美術館
新美術新聞 1076
美術の窓 269 切刀知子

日本水彩展93回 6.1—6.10 東京都美術館(愛知県美術館、福屋(広島))
新美術新聞 1063 (Y・I)
美術の窓 263 高山淳／切刀知子

日本水墨院展20回 6.1—6.10 東京都美術館
新美術新聞 1063 (Y・I)

日本水墨画展38回 3.14—3.24 東京都美術館
新美術新聞 1055 (Y・I)

清興展27回 12.10—12.16 東京都美術館
新美術新聞 1077
美術の窓 269 切刀知子

日選展31回 7.7—7.17 東京都美術館
新美術新聞 1066
美術の窓 264 高山淳／切刀知子

日中水墨画合同展22回 4.23—5.7 東京都美術館
新美術新聞 1059 (Y・I)

日影展35回 4.6—4.21 東京都美術館
新美術新聞 1058 (Y・I)

日本伝統工芸展52回 9.27—10.9 三越(日本橋)

朝日夕刊 9.24 内山武夫／原田一敏／河田貞／林屋晴三／山崎剛

日本南画院展45回 3.14—3.24 東京都美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)
新美術新聞 1055 (Y・I)

板院展55回 6.11—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1065
美術の窓 263 高山淳／切刀知子

日本版画会展46回 11.25—12.1 東京都美術館
新美術新聞 1076
美術の窓 269 切刀知子

版画展73回 4.6—4.21 東京都美術館
新美術新聞 1058 (Y・I)
美術の窓 261 高山淳／佐藤竜平

院展89回 2.24—3.13 茨城県天心記念五浦美術館
毎日夕刊 3.4 石川健次

春の院展60回 3.29—4.10 三越(日本橋)

院展90回 9.1—9.16 東京都美術館(京都市美術館、大丸(心斎橋)、山形美術館、福井県立美術館、愛知県美術館、そごう美術館、天満屋(岡山)、福屋(広島)、北九州市立美術館、東武宇都宮百貨店、三越(新潟)、鳥取県立博物館、三越

(松山))

新美術新聞 1068

美術の窓 266 高山淳/切刀知子

日本アンデパンダン展58回 2.28—

3.12 東京都美術館

新美術新聞 1052 (Y・I)

美術運動 133 武田昭一

日本表現派展49回 10.5—10.14

東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)

新美術新聞 1072

美術の窓 267 高山淳/切刀知子/佐久間智香子

日象展32回 11.25—12.1 東京都美術館

新美術新聞 1076

美術の窓 269 高山淳

日本文人画府展34回 10.5—10.14

東京都美術館

新美術新聞 1072

美術の窓 267 高山淳

NEXT8回 6.1—6.6 高島屋(京都)

新美術新聞 1062 太田垣實

(ハ行)

白亜展28回 12.10—12.16 東京都美術館

新美術新聞 1077

美術の窓 269 切刀知子

白土会展41回 8.21—8.30 東京都美術館

新美術新聞 1067

美術の窓 265 高山淳/小森佳代子

白日展81回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、鹿児島県歴史資料センター黎明館、近鉄アート館)

新美術新聞 1057 (Y・I)

美術の窓 261 高山淳/切刀知子/磯部靖/佐藤竜平

美術文化展65回 3.26—4.4 東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、クリエート浜松)

美術の窓 261 高山淳/切刀知子/佐久間智香子

新美術新聞 1057 (Y・I)

从展31回 3.14—3.24 東京都美術館

風子会展28回 12.2—12.9 東京都美術館

新美術新聞 1046 常盤茂

新美術新聞 1077

風土展27回 9.13—9.18 東京セントラル美術館

美術の窓 266 高山淳

FAA富士美術展23回 4.23—5.7

東京都美術館

新美術新聞 1059 (Y・I)

美術の窓 262 切刀知子

(マ行)

モダンアート展55回 4.6—4.21

東京都美術館(井上デパート(松本)、めいてつエムザ催事場(金沢)、大阪市立美術館、愛知県美術館)

新美術新聞 1058 (Y・I)

美術の窓 261 高山淳/佐久間智香子

(ヤ行)

遙玄展32回 12.2—12.9 東京都美術館

新美術新聞 1077

美術の窓 269 高山淳/切刀知子

(ラ行)

立軌展57回 2.7—2.13 東京セントラル美術館

新美術新聞 1050 (Y・I)

美術の窓 259 高山淳

流形展55回 12.2—12.9 東京都美術館

新美術新聞 1077

連展31回 1.31—2.5 東京都美術館

新美術新聞 1050 (Y・I)

ローマン展37回 12.10—12.16 東京都美術館

新美術新聞 1077

美術の窓 269 切刀知子

美術文献目録

凡 例

1. ここに採録した文献は平成17(2005)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また、両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」と「作家展」の2つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に現れるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9. 1、3、6は平成17年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
8. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は[]で示した。

収録定期刊行物誌名

(50音順)

ARK(秋田県立近代美術館 ニュース)	飯田市美術博物館ニュース	絵解き研究	岡山市立オリエント美術館 研究紀要
ART iT	池田文庫	etc.(言水制作室)	沖縄県立芸術大学紀要
アート・ドキュメンテーシ ョン通信	石川県立美術館紀要	NPO JCP NEWS(文化財保 存支援機構)	小樽市博物館紀要
アートトップ	石川県立美術館だより	江戸東京博物館 NEWS	お茶の水女子大学人文科学 研究
ARTの森(上野の森美術館)	石川県立歴史博物館紀要	愛媛県美術館年報・研究紀 要	尾道大学芸術文化学部紀要
アートペーパー(名古屋市 美術館)	板橋区立郷土資料館紀要・ 年報	愛媛県歴史文化博物館研究 紀要	オリエンテ(古代オリエン ト博物館)
ART LIBRARY(日本彫刻会)	一関市博物館研究報告	鴨東通信(思文閣)	オリエン(日本オリエン ト学会)
ARTRAMBLE(兵庫県立美 術館)	一寸	大分県立芸術会館研究紀要	香川県歴史博物館調査研究 報告
ARTLET(慶応義塾大学ア ート・センター)	五浦論叢(茨城大学五浦美 術文化研究所)	大分県立歴史博物館研究紀 要	学習院大学史料館紀要
aica JAPAN(美術評論家連 盟)	出光美術館館報	大阪教育大学紀要	学術研究(早稲田大学教育 学部)
あいだ	茨城県近代美術館だより	大阪城天守閣紀要	学叢(京都国立博物館)
愛知教育大学研究報告	茨城県立歴史館報	大阪成蹊大学芸術学部紀要	学鑑
愛知県史研究	茨城大学人文学部紀要コミ ュニケーション学科論集	大阪大学大学院文学研究科 紀要	鹿島美術財団年報別冊
愛知県美術館研究紀要	入船山(呉市入船山記念館)	大阪の歴史と文化財	柏原市立歴史資料館館報
愛知県立芸術大学紀要	岩手県立博物館研究報告	大阪府立近つ飛鳥博物館館 報	ガス燈(大川美術館)
愛知県立大学文学部論集	岩手県立博物館だより	大阪文化財研究	華頂博物館学研究
秋田公立美術工芸短期大学 紀要	石見美術	大阪歴史博物館研究紀要	神奈川県立近代美術館年報
秋田美術(秋田県立近代美 術館)	「インターフェイスの人文 学」ニューズレター Inter- face Humanities(大阪大学 21世紀 COE プログラム「イ ンターフェイス人文学」研 究開発委員会)	大田区立郷土博物館紀要	神奈川県立博物館研究報告
AXIS	印度学仏教学研究	大谷大学真宗総合研究所研 究紀要	かながわの考古学
アジア遊学	浮世絵芸術	大津市歴史博物館だより	金沢学院大学紀要 文学・ 美術編
あじびニュース(福岡アジ ア美術館)	View(熊本県立美術館)	大妻女子大学紀要	金沢大学文学部論集
跡見学園女子大学人文学フ ォーラム	うらわ美術館ニュース	大手前大学史学研究所紀要	金沢美術工芸大学紀要
aprire(岩手県立美術館)	瓜生通信(京都造形芸術大 学)	大手前大学社会文化学部論 集	金沢文庫研究
アマリリス(静岡県立美術 館)	Ouroboros(東京大学総合研 究博物館)	大手前大学人文学部論集	鎌倉
アルカディア(岡崎市美術 博物館)	A-ism(青森県美術館整備 室ニュース)	大原美術館紀要	鎌倉遺文研究
飯田市美術博物館研究紀要	エスプラナード(福岡市美 術館)	大和(大神神社)	カリスタ(東京芸術大学美 術学部美学研究室)
		岡崎市美術博物館研究紀要	Cultivate(文化環境研究所)
		岡山県立美術館ニュース	川崎市市民ミュージアム紀 要

関西大学哲学	ぐんしょ(季刊)(統群書類 従完成会)	国学院大学紀要	埼玉県立博物館紀要
関西大学東西学術研究所紀 要	群馬県埋蔵文化財調査事業 団研究紀要	国語国文(京都大学文学部 国語国文学研究室)	埼玉史談(埼玉県郷土文化 会)
関西大学年史紀要	群馬県立女子大学紀要	国語と国文学(東京大学国 語国文学会)	さいたま市博物館研究紀要
関山(中尊寺)	群馬の森美術館ニュース	国際日本学(法政大学国際 日本学研究所)	採蓮 千葉市美術館研究紀 要
カンフォロ(愛媛県美術館)	慶応義塾大学アート・セン ター年報	国際日本学研究(法政大学 国際日本学研究所)	佐賀県立九州陶磁文化館研 究紀要
紀伊風土記の丘年報	慶応義塾大学日吉紀要	国文学解釈と鑑賞	佐賀県立博物館・美術館調 査研究書
北九州市立自然史・歴史博 物館研究報告	芸術学学報(金沢美術工芸 大学芸術学研究室)	国文学研究資料館紀要	佐賀県立博物館・美術館報
北区飛鳥山博物館研究報告	芸術学研究(筑波大学大学 院芸術学研究科)	国文学研究資料館紀要 ア ーカイブズ研究篇	札幌大谷短期大学紀要
木野評論	芸術学研究(明治学院大学 文学部芸術学科)	国文学論考(都留文科大学 国語国文学会)	The Newsletter HOSEI I. J. S
岐阜県博物館調査研究報告	芸術新潮	国立国際美術館月報	産業技術記念館館報
岐阜市歴史博物館博物館だ より	芸術論究(帝塚山学院大学 美学美術史研究室)	国立新美術館準備室ニュー ス	寺院史研究
ギャラリー(月刊)	芸叢(筑波大学芸術学系芸 術学研究室)	国立西洋美術館研究紀要	jaic 会報(日本美術情報セ ンター)
九州産業大学芸術学部研究 報告	芸大通信(東京芸術大学)	国立西洋美術館年報	史淵(九州大学文学部)
九州歴史資料館研究論集	計量史研究	国立民族学博物館研究報告	史苑(立教大学史学会)
京都工芸繊維大学工芸学部 研究報告人文	化粧文化(ポーラ文化研究 所)	国立民族学博物館調査報告	塩尻市立平出博物館紀要
京都嵯峨芸術大学紀要	研究紀要金沢城研究	国立歴史民俗博物館研究報 告	史学(三田史学会)
京都市美術館ニュース	現代陶芸研究	国立歴史民俗博物館年報	史学雑誌
京都女子大学人文論叢	現代の眼(東京国立近代美 術館)	古代アメリカ(古代アメリ カ学会)	滋賀県安土城郭調査研究所 研究紀要
京都市立芸術大学芸術資料 館年報	建築雑誌(日本建築学会)	古代オリエント博物館紀要	滋賀県文化財保護協会紀要
京都市立芸術大学美術学部 研究紀要	建築史学	古代文化(古代学協会)	滋賀県立安土城考古博物館 紀要
京都精華大学紀要	皇学館大学神道研究所紀要	古代文化研究(島根県古代 文化センター)	滋賀県立琵琶湖文化館研究 紀要
京都美学美術史学	皇学館大学文学部紀要	国華	滋賀文化財教室シリーズ
京都府立総合資料館紀要	皇学館論叢	国華清話会会報	静岡県博物館協会研究紀要
京都府立総合資料館だより	考古学雑誌	古文化研究	静岡県埋蔵文化財調査研究 所研究紀要
紀要 Hokkaido Art Muse- um Studies	高知県立美術館研究紀要	古文書研究(日本古文書学 会)	静岡県立美術館紀要
きよらさ(浦添市美術館)	高知県立美術館ニュース	斎宮歴史博物館研究紀要	静岡文化芸術大学研究紀要
金鯉叢書 史学美術史論文 集(徳川黎明会)	神戸市立博物館研究紀要	斎田茶文化振興財団紀要	史迹と美術
近代画説(明治美術学会)	神戸市立博物館だより	埼玉県埋蔵文化財調査事業 団研究紀要	自然と文化(季刊)
久米島自然文化センター紀 要	高野山大学密教文化研究所 紀要	埼玉県立さきたま資料館調 査研究報告	思想
グリーンルーフ(鹿児島市 立美術館)	国学院雑誌		実践国文学

美術文献目録

実践女子学園香雪記念資料館館報	絲綢之路(シルクロード)(文化財保護振興財団)	大日光	手帖 姫路文学館
実践女子大学文学部紀要	シルクロード学研究(シルクロード学研究センター)	太陽(別冊)	哲学会誌(学習院大学哲学会)
実践女子大学文芸資料研究所年報	塵界(兵庫県立歴史博物館)	高岡市美術館年報	帝塚山芸術文化
斯道文庫論集	真朱(徳島県埋蔵文化財センター)	辰野美術館だより	帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
島根県古代文化センターNews	新修茨木市史年報	田原市博物館年報	帝塚山大学現代生活学部紀要
下関市立考古博物館研究紀要	新美術新聞	田原の文化(田原市教育委員会)	天開図画(山口県立美術館)
下関市立美術館研究紀要	人文(京都大学人文科学研究所)	玉川大学教育博物館館報	天台学报
ジャポニスム研究	人文学(同志社大学人文学系)	たまび(多摩美術大学)	10+1 (Ten Plus One)
SHÛ(玉川大学教育博物館)	人文研究(神奈川大学人文学会)	多摩美術大学研究紀要	展覧会だより(奈良県立万葉文化館)
宗教文化研究	人文論究(関西学院大学人文学会)	多摩美術大学大学院修了論文作品集	天理参考館報
自由美術(自由美術協会)	人類学博物館紀要	玉藻(フェリス学院大学国文学会)	東海大学紀要教養学部
修復研究所報告	水声通信	淡交	東京学芸大学紀要
主体美術(主体美術協会)	相山女学園大学研究論集	地域史研究	東京家政学院生活文化博物館年報
種智院大学密教資料研究所紀要	朱雀	千葉県の文書館	東京家政大学研究紀要
巡礼記研究	STUDIO VOICE	千葉県文化財センター研究紀要	東京芸術大学西洋美術史研究室紀要
正倉院紀要	墨	千葉県文化財センター研究連絡誌	東京芸術大学美術学部論叢
上智アジア学	駿台史学	千葉県立中央博物館研究報告	東京国立近代美術館研究紀要
聖徳	生活と文化(豊島区立郷土資料館)	地方史研究	東京国立博物館ニュース
縄文の森から	生活文化研究所年報	中国近現代文化研究	東京国立博物館紀要
続日本紀研究	成城美学美術史	朝鮮学报	東京造形大学研究報
女子美(女子美術大学)	成城文芸	調布の文化財(調布市郷土博物館)	東京大学史料編纂所研究紀要
女子美術大学研究紀要	清泉女子大学紀要	潮流(下関市立美術館)	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信
女性歴史文化研究所紀要	ゼフュロス(国立西洋美術館)	筑波大学芸術研究報告	東京都写真美術館ニュース
書道文化(四国大学書道文化学会)	泉屋博古館紀要	筑波大学先史学・考古学研究	東京都埋蔵文化財センター研究論集
書陵部紀要	仙台市博物館調査研究報告	土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報	刀剣美術
書論	ソカロ(埼玉県立近代美術館)	土浦市立博物館紀要	陶説
市立長浜城歴史博物館年報	醍醐寺文化財研究所研究紀要	壺屋焼物博物館紀要	東風西声 九州国立博物館紀要
市立函館博物館研究紀要	大正大学総合仏教研究所年報	津山弥生の里	東方学
資料館だより(世田谷区立郷土資料館)	たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)	デアルテ(九州芸術学会)	東方学報京都(京都大学人文科学研究所)
資料と研究(山梨県立文学館)		デザインの現場	
史林(京都大学文学部内史学研究会)		デジタルアーカイブ	

同朋大学仏教文化研究所紀要	奈良文化財研究所紀要	美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)	百万塔
東北アジア研究(東北大学東北アジア研究センター)	南山考人	東アジアと日本 交流と変容(九州大学大学院比較社会文化研究院)	百科(月刊)
東北芸術工科大学紀要	南都仏教	東アジアの古代文化(古代学研究所)	氷華(北海道旭川美術館)
東北大学東北アジア研究センターニューズレター	新潟県立歴史博物館研究紀要	ひかたの歴史と民俗(大原幽学記念館)	兵庫県埋蔵文化財研究紀要
東北歴史博物館研究紀要	西アジア考古学	彦根城博物館研究紀要	平出博物館ノート
東洋学報	西宮市大谷記念美術館NEWS	美史研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)	HILL WIND(三重県立美術館)
東洋史研究	日仏美術学会会報	美術院紀要	美連協ニュース(JAAM 会報)
東洋陶磁	日光山輪王寺	美術運動(日本美術会)	広島県立美術館研究紀要
東洋文化	日展ニュース	美術運動史研究会ニュース	広島県立歴史博物館研究紀要
東洋文化研究所紀要	NICHIBUNKEN NEWS-LETTER	美術館だより(福井県立美術館)	広島県立歴史民俗資料館研究紀要
東洋文庫書報	日本研究(国際日本文化研究センター)	美術館・友の会だより(ちひろ美術館・東京)	広島市立大学芸術学部紀要
ドーム	日本建築学会計画系論文集	美連協ニュース(JAAM 会報)	フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)
遠山記念館だより	日本考古学年報	美術京都(中信美術奨励基金)	フェリス女学院大学文学部紀要
徳島県立近代美術館研究紀要	日本史研究	美術研究(東京文化財研究所)	Fontaine(東北芸術工科大学)
徳島県立近代美術館ニュース	日本大学芸術学部紀要	美術史	福井県文書館研究紀要
徳島県立博物館ニュース	日本ナショナルトラスト報	美術史学(東北大学)	福井県立若狭歴史民俗資料館館報
徳島文理大学文学論叢	日本歴史	美術史論集(神戸大学美術史学会)	福井市立郷土歴史博物館研究紀要
栃木県立博物館研究紀要	人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)	美術史論叢(東京大学大学院美術史研究室)	福岡市博物館研究紀要
とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要	仁和寺研究	美術手帖	福島県歴史資料館研究紀要
富山考古学研究	野村美術館研究紀要	美術の窓	ふくやま美術館研究紀要
富山市篁牛人記念美術館館報	博物館研究(日本博物館協会)	美術フォーラム21	藤女子大学文学部紀要
富山大学人文学部紀要	馬事文化財団年報	美のたより(大和文華館)	府中市郷土の森博物館紀要
豊橋市美術博物館研究紀要	PATIO(高岡市美術館)	ビブリア(天理図書館)	府中市美術館研究紀要
長野県立歴史館研究紀要	BankART Life	姫路市立美術館だより	府中市美術館だより
名古屋市博物館研究紀要	版画芸術	姫路美術工芸館紀要	仏教芸術
名古屋市美術館研究紀要	bandaly(明治学院大学大学院文学研究科芸術学専攻)	非文字資料研究(神奈川大学21世紀 COE プログラム)	仏教史学研究
名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要	美愛真(調布市武者小路実篤記念館)		仏教大学教育学部論集
名古屋大学文学部研究論集	美学(季刊)		仏教大学文学部論集
奈良県立美術館紀要	美学芸術学(同志社大学文学部美学及芸術学研究室)		物質文化研究(城西国際大学物質文化研究センター)
奈良県立民俗博物館だより	比較社会文化		
奈良大学紀要	比較文化論叢		

美術文献目録

Plug(大阪府立現代美術センター／大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)	見世物	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	龍谷史壇(龍谷大学史学会)
フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)	三田国文	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	龍谷大学仏教文化研究所紀要
ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	みづゑ	山形大学歴史・地理・人類学論集	Lure(札幌芸術の森)
From web てんびょう	密教文化(密教研究会)	山口県史研究	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)
文化(東北大学文学会)	港郷土資料館だより	山口県文書館研究紀要	黎明館調査研究報告(鹿児島県歴史資料センター黎明館)
文化学年報(同志社大学文化学会)	港区立港郷土資料館研究紀要	山口県立美術館研究紀要	歴史遺産研究
文学(隔月刊)	美濃加茂市民ミュージアム紀要	山口県立山口博物館研究報告	歴史学研究
文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)	MIHO MUSEUM 研究紀要	山口蓬春記念館研究紀要	歴史研究(大阪教育大学)
文化財研究紀要(東京都北区教育委員会)	宮崎県総合博物館研究紀要	大和文華(大和文華館)	歴史地理教育
文化財レポート(京都文化財団)	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	歴史と地理(山川出版社)
文化史学	宮崎大学教育文化学部紀要	山梨県立美術館研究紀要	歴史と民俗(神奈川大学常民文化研究所)
法政考古学	MUSEUM(東京国立博物館)	游美(茨城県立近代美術館友の会)	歴史評論(歴史科学協議会)
法政史学	MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)	ユネスコアジア文化センター文化遺産ニュース	歴博(国立歴史民俗博物館)
法政大学国際日本学研究センター国際日本学研究所年報	ミュージアム・データ(丹青研究所)	ユネスコ世界遺産年報	連盟ニュース(日本美術家連盟)
北斎研究	MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)	ユリイカ	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要
保存科学(東京文化財研究所)	MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)	横須賀市博物館研究報告	碌山美術館報
北海道開拓記念館研究紀要	民具マンスリー	横須賀美術館準備ニュース	和歌山県文化財センター年報
北海道開拓記念館だより	みんぱく(国立民族学博物館)	横浜市歴史博物館紀要	和歌山県立近代美術館ニュース
北海道開拓記念館調査報告	民博通信	横浜市歴史博物館調査研究報告	和歌山県立博物館研究紀要
北海道東海大学紀要	武蔵野(武蔵野文化協会)	横浜美術館・横浜市民ギャラリー研究紀要	和歌山市立博物館研究紀要
梵鐘(古鐘研究会)	武蔵野美術大学研究紀要	横浜美術短期大学教育・研究紀要	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要
マキエ(ポーラ文化研究所)	ムゼイオン(立教大学博物館研究)	横山大観記念館館報	早稲田大学大学院文学研究科紀要
待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)	明治大学博物館研究報告	四日市市立博物館研究紀要	早稲田大学図書館紀要
町田市立国際版画美術館紀要	明星大学研究紀要	立教大学日本学研究所年報	和洋国文研究
三重県埋蔵文化財センター研究紀要	medium(女子美術大学図書館・女子美術短期大学図書館)	立正史学	和洋女子大学紀要
三重県立美術館研究論集	目の眼	栗東歴史民俗博物館紀要	遠近(国際交流基金)
三重大史学	文書館紀要(埼玉県立文書館)	立命館大学考古学論集	朝日
瑞垣(神社司庁)	靖国	立命館大学文学部学芸員課程研究報告	朝日夕刊
		立命館大学21世紀COEプログラム News Letter	産経
			東京

東京夕刊

日経夕刊

毎日夕刊

読売夕刊

日経

毎日

読売

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に*を付した。

茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集

「インターフェイスの人文学」ニューズレター

Interface Humanities

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

ギャラリー(月刊)

京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文

紀要 Hokkaido Art Museum Studies

金鯢叢書 史学美術史論文集

群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

埼玉県立さきたま資料館調査研究報告

採蓮 千葉市美術館研究紀要

静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要

絲綢之路(シルクロード)

土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

10+1 (Ten Plus One)

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東風西声 九州国立博物館紀要

東北大学東北アジア研究センターニューズレター

とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要

名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要

NICHIBUNKEN NEWSLETTER

東アジアと日本 交流と変容

百科(月刊)

美連協ニュース(JAAM 会報)

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文化財(月刊)

法政大学国際日本学研究センター国際日本学研究所年報

山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要

ユネスコアジア文化センター文化遺産ニュース

横浜美術館・横浜市民ギャラリー研究紀要

立命館大学21世紀 COE プログラム News Letter

鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

茨城大人文学部紀要(コ)*

インターフェイスの人文学*

北九州自然史歴史博報告*

ギャラリー*

京都工繊大工芸学部報告*

Hokkaido Art Mus. Studies*

金鯢叢書*

群馬県埋文調査団紀要*

国文学研究資料館紀要(ア)*

埼玉県埋文調査団紀要*

埼玉県さきたま資料館報告*

採蓮*

静岡県埋文調査研究所紀要*

絲綢之路*

土浦市上高津貝塚年報*

帝塚山大学院紀要*

10+1*

東大画像史料解析センター通信*

東風西声*

東北アジア研究センターニュース*

とちぎ埋文センター紀要*

名古屋造形芸大紀要*

日文研 NEWS*

東アジアと日本*

百科*

美連協ニュース*

ブリヂストン・石橋美術館報*

文化財*

法大国際日本学研究センター年報*

山梨県考古博埋文センター紀要*

ユネスコアジア文化遺産ニュース*

横浜美・横浜市民ギャラリー紀要*

立命館大 COE ニュース*

鹿園雑集*

早大會津八一記念博紀要*

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

総 説	84
美 学	84
概 論	85
日本美術史	97
海外美術史(アジア)	102
海外美術史(その他)	103
保 存 修 復	106
情 報 処 理	109
文化財行政	111
美 術 教 育	116
古 美 術	119
絵 画	119
図像・文様	130
地図・絵図	131
彫 塑	131
土 偶	135
埴 輪	135
面	135
書 蹟	135
古文書・古記録	139
金石文など	140
宗 教 工 芸	142
武具・馬具類	142
茶 道 具	143
装身具・化粧具	145
文 房 具	145
装潢・料紙装飾	145
陶 磁	145
土 器	149
瓦	152
金 工	153
鏡	154
青 銅 器	154
刀剣・刀装・槍	154
染織・服飾	156
漆 工	157
石 工	158

石 器	158
木 竹 工	159
ガラス工	160
その他の工芸・民具	160
建 築 一 般	161
都市・集落	161
建 物	164
宮殿・官衙	164
宗教建造物	165
城 郭	167
住 宅・館	168
茶 室	170
その他の建造物	170
庭 園	170
墳 墓	170
建築部材など	172
建築に付随するその他	172
近現代美術	173
絵 画	173
漫画・アニメーション	176
版 画	179
写真・映像	180
彫刻・空間表現	181
工 芸	182
デザイン	184
建 築 史	187
その他のジャンル	190
作 家	192
日 本	192
海 外	274
そ の 他	302
美術関係者	302
書 評	308
時 評	317
美術館・博物館・画廊	319
海 外 展	342

定期刊行物所載文献

総 説

美 学

あいだのすみっこ不
定期漫遊連載 第32
回 幽玄、ワビ、サ
ビ 「日本的」なるも
のの創生とその背景
1

稲賀 繁美 あ い だ 111

デカルトの「意思決定
の自由(arbitrii liber-
tas)」論

吉田健太郎 愛知教育
大学研究
報告 54

平成十五年度博士論
文(課程)要旨 初期
パークにおける美学
思想の全貌—18世紀
ロンドンに渡ったア
イリッシュの詩魂—

桑島 秀樹 大阪大学
大学院文
学研究科
紀要 45

G. デイディ=ユベ
ルマンの芸術論(2)
—芸術における症候
—

五十嵐嘉晴 金沢美術
工芸大学
紀要 49

古典的芸術作品の自
己同一性とその受容
史的諸変形

ヴォルフハ
ルト・ヘン
クマン カリスタ 12
平山 敬二
訳

手の参与：フィード
ラー『芸術活動の根
源』における「表現」
について

實瀬 洋次 関西大学
哲学 25

風景概念の哲学的反
省

大岡 伸夫 " "

美的リテラシーとそ
の周辺—教育・感性
・自律—

三木 博 京都市立
芸術大学
美術学部
研究紀要 49

芸術的精神の現象学
10

岩城 見一 京都美学
美術史学 4

《最終講義》イメージ
と症候—デイディ=
ユベルマンの芸術論
より—

五十嵐嘉晴 芸術学学
報 12

芸術と記憶—リーグ
ルの場合

金田 千秋 芸 叢 21

ニーチェの遠近法主
義の射程

岸 貴介 国学院大
学紀要 43

境界のフィクション
(上)(下)

港道 隆 思 想 969、970

色彩の多次元性—生
態学的現象学への試
み—

村田 純一 " 970

ベンヤミンのロシア
《1》《2》

桑野 隆 水声通信 1、2

»factum est« heit
»geschehen ist« ハ
イデガー『芸術作品
の根源』への一注釈

津上 英輔 成城美学
美術史 11

ロジェ・ド・ピールの
絵画論における因
果性の観念について

渋谷 拓 " "

芸術とアイデアの関係
に関する考察

東 香織 哲学会誌 29

特集 神経系都市論
身体・都市・クライ
シス

10 + 1* 40

抽象からテリトリ
ーへ—ジル・ドゥ
ルーズと建築のフ
レーム

石岡 良治

柔らかい大地 テ
リトリを備えつ
ける

ベルナール
・カッシュ
石岡 良治
訳

ベルクソンにおける
記憶の想起としての
創造

金子智太郎 東京芸術
大学美術
学部論叢 1

アイロニーとパロデ
イ—仮面の修辞学

加藤 茂 東京造形
大学研究
報 6

ルネサンス期におけ
る建築と音楽の単位
に関する考察—モ
ドゥルスとタクトゥス
の類似性について

菅野 裕子 日本建築
学会計画
系論文集 589

メルロ=ポンティの
思想における絵画の
様式と歴史性

川瀬 智之 美 学 220

ニーチェにおける
(幻視)の概念—芸術
経験における視覚と
身体—

河合 大介 " 223

美学会第56回全国大
会発表要旨

" "

ヴェルフリンとス
テレオスコープ—
『建築心理学序説』
から『美術史の基
礎概念』へ—

一條 和彦

コリングウッドにお
ける芸術の社会的
役割

小林 千夏

世界への感性的繫
留

佐々木健一

中川重麗の美学— 1900年代の「日本 の美学」について の一考察	篠木 涼				
絵画に対する十七 世紀フランスの合 理主義的態度と宮 廷的感性—ロジェ ・ド・ビルとド ミニク・ブウル を比較する—	渋谷 拓				
「感覚の総体(senso- rium commune)」 としての人間にと つての美とは何か —ヘルダーの共通 感覚論—	杉山 卓史				
パノフスキーにお けるイコノロジー の生成	関 竜司				
絵画における物語 りの視点	西村 清和				
風景と感情—ヘル マン・シュミツ の風景論	古川 裕朗				
「重映」のありか— ゲーテ色彩論と近 代絵画—	前田富士男				
「現存在」としての現 代アート—ハイデッ ガー『存在と時間』へ の美学的問いかけ—	岡林 洋	美学芸術 学	20		
【論文紹介(二〇〇三 年度同志社大学大学 院修士論文梗概)】 パウル・ティリッヒ の芸術論—芸術と宗 教の関係を中心に—	森 亮子	〃	〃		
芸術をめぐる言葉 145 くねくねと蠕 動する條 蟲の幻想 ……ユング	谷川 渥	美術手帖	861		
特集 動く絵画(ア ニメーション) 人 形=機械はわかって くれない: Compul- sive Beaty Remix	上野 俊哉	〃	862		
芸術をめぐる言葉 146 われわれの時 代は最もユダヤ的で あるばかりでなく、 最も女性的である。 ……ヴァイニング	谷川 渥	〃	〃		
修士論文概要 芸術 家としての自己—ニ ーチェにおける価値 創造の主体—	山本 恵子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	50		
概 論					
大使館シリーズ Vol.17 大使に聞く 世界の文化だより 駐日メキシコ合衆国 特命全權大使ミゲ ル・ルイスカバーニ ャス・イスキエルド 氏				ア ー ト ト ッ プ	201
巻頭特集 NIPPON を見る目 欧米人に 教えてもらおう“楽し い”日本のアート				〃	202
エリオット森美術 館館長が選んだ いま面白い日本・ 現代アーティスト たち	デヴィッド ・エリオッ ト				
浮世絵から引き続 く日本の魅惑	小山ブリジ ット 談				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? アート と関わる、アート に触れる新しいか たち	ロジャー・ マクドナル ド 談				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 多様な ニーズへ誠実に応 える雑誌文化	イーデン・ コーキル				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 多元的 共存の意識を持と う	モンティ・ ディ・ピエ トロ				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 自然の 花より強く心に	シルヴィオ ・ヴィータ				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 日常の 中の美への心遣い が魅力	パトリシア ・フィスタ ー				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 粗暴に して繊細、無礼に して紳士…すべて あるから魅力的な のです	リシャール ・コラス 談				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? ビルの 谷間にお寺があ る!	シリル・コ ピーニ 談				
あなたが推す日本 のアートとは? 文 化とは? 高度な 技術と遊び心によ る創造	アラン・ク リスティ				

あなたが推す日本のアートとは？文化とは？日本語は世界遺産！	ハート・ラ ラビー			
大使館シリーズ Vol.18 大使に聞く 世界の文化だより 駐日イタリア大使マ リオ・ボーヴァ氏		ア ー ト ト ッ プ	203	
大使館シリーズ Vol.19 大使に聞く 世界の文化だより 駐日ベルギー王国大 使ジャン＝フランソ ワ・ブランデルス氏		"	204	
巻頭特集 陰翳礼賛 一暗がりの文化史 インタビュー 実相 寺昭雄		"	205	
美術館とファッショ ン展	深井 晃子	ART RAMBLE	5	
震災と芸術	島田 誠	"	6	
芸術療法とその周辺 3 「遊び」 アート ・教育・療法を結び つけるもの	真壁 宏幹	ARTLET	23	
多文化主義と美術批 評の地平	市原研太郎	aica JAPAN	6	
〈帝国〉としての国際 展―批評とミューゼオ ロジー・リテラシー ―	岡部あおみ	"	"	
当世流行アーティスト ・イン・レジデンス	真武真喜子	"	"	
批評の現場、関西か ら	森口まどか	"	"	
座談会：美術館と市 場のこれから	清水 敏男、 松本 透 暮澤 剛巳 司会	"	"	
「第1回東北亜批評 FORUM国際学術 SYMPOSIUM」―批 評の危機 美術批評 と展示企画	谷 新	"	"	
メディア自立先決論	日夏 露彦	"	"	
AICA台湾総会報告	針生 一郎	"	"	
日常に錨を降ろして ―「愛と孤独、そし て笑」を絶やさな いために	松永 康 あいだ		114	
《忙中閑話》アーティ ストという「職業」	編 集 部	"	120	
建築や都市計画をつ くるのは誰なのか ロンドンにみる人々 と都市計画の関係性	中島 恭子	A X I S	114	

特集 アジア(日本 ・日系)ラテンアメ リカー日系社会の経 験から学ぶ パリ万 博機関誌にたどる、 メキシコと日本の 「西洋化」	南 映子	アジア遊 学	76	
特集 アジアの都市 住宅		"	80	
序言 いま、なぜ アジアの都市住宅 か	高村 雅彦			
変容する近代アジ アの都市住宅 中 華世界の里弄住宅 上海から北京を 経て、マカオ、ホ ーチミンへ	"			
変容する近代アジ アの都市住宅 都 市韓屋の成立と展 開	伊藤 裕久			
変容する近代アジ アの都市住宅 ベ トナム ハノイ・ サイゴンの都市住 宅	大田 省一			
変容する近代アジ アの都市住宅 バ ンコク・プラナコ ン 路地裏の宅地 開発と住宅	岩城 考信			
変容する近代アジ アの都市住宅 香 港の都市住宅 ア ウトソーシングさ れる住空間と街の かたち	木下 光			
近代アジアの騎楼 とショップハウス アジアのアーケ ードと路上商売	泉田 英雄			
近代アジアの騎楼 とショップハウス シンガポールのシ ョップハウス ジ ュー・チャット・ ロードの、その先 へ	中沢信一郎			
近代アジアの騎楼 とショップハウス マレーシアのシ ョップハウス 「中 国人のすまい」か ら世界遺産へ	宇高 雄志			
近代アジアの騎楼 とショップハウス 厦門の都市改造と 騎楼	恩田 重直			
近代アジアの騎楼 とショップハウス 都市の皮膚 台湾 都市史とショッ プハウス	青井 哲人			

コラム 高密都市 環境マカオの歴史 的外部空間	是永 美樹			トリエンナーレの 未来を考える				
コラム ベトナム ・メコンデルタの 洋風住宅『愛人 ラマン』が映し出 す世界	高村 雅彦			INTERVIEW 山 野真悟 大きなテ ーブルを用意し て、議論の場を作 りたい	山野 真悟 談			
ランパーンの洋風 住宅	吉田 千春			トリエンナーレの 実践者に聞く！ 大地の芸術祭 越 後妻有アートトリ エンナーレ 北川 フラム	北川フラム 談			
パリのホテル	中尾 憲明							
逆転視における奥行 知覚に関する一研究 (IV)—逆転視野眼鏡 を着用した課題遂行—	太田 雅夫	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3	社会とアートの交差 点 1～3 高齢化 ×アート			246～248	
アートとしての都市 の公共交通機関の研 究—「街がアート に、アートを街に」 研究事業—	浅野 隆	金沢美術 工芸大学 紀要	49	特集 新潟県中越地 震にみる 地域社会 と美術と人々			247	
特集 博覧会の意味		Cultivate	25	北京における歴史的 市街地保全の現状と 課題	山村 高淑 藤木 庸介 張 天新	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30	
「時代の鏡」愛知万博 が映し出す現代社会				北京における既存ブ ロパティール利用の実 態に関する報告 オ リンピック開催へ向 けた都市整備の途 上、2004年10月時点 において				
地域を見つめるミ クロな視点が豊かな 文化をつくる	和崎 春日 談 高橋 信裕 聞き手			[報告]国際シンポジ ウム「アジアのキュ ビズム」	松本 透	現代の眼	554	
博覧会を通してより 高度なボランティア 文化を構築する	天野由利子 談 高橋 信裕 聞き手			特集 都市建築の原 型		建築雑誌	1534	
森の自然学校とイ ンタープリター	吉田 雅之			座談会 都市建築 の発展と制御に関 する設計競技／緑 地や公共空間を創 出する都市建築の 原理 設計競技の 審査を終えて—社 会的共通資本とし ての公共空間の再 構築	秋山 宏、 陣内 秀信、 北山 恒、 重村 力、 林 泰義、 鉢井 修、 談 倉田 直道 司 倉野 洋介 会 真野 記録			
総力レビュー2004 建築 近代が忘れよ うとしている建築の 文化性—文化が創造 した建築物をどう再 認識するのか	ウスビ・サ コ	木野評論	36		秋山 宏、 石田 頼房、 重村 敬、 佐藤 滋、 石川 幹子、 窪田 亜矢、 小畑 晴治、 重村 力、 陣内 秀信、 談 巽 和夫 南 一誠 司 会 正三 風見 副司会			
巻頭特集 2005画廊 が推薦する39人 今 年はどんなアーティ スト？ Part I 洋画 ・版画・現代美術編		ギャラリー	237					
巻頭特集 2005画廊 が推薦する27人 今 年はどんなアーティ スト？ Part II 日本 画・百貨店編			238	都市建築の発展と 制御に関するシン ポジウム抄録 歴 史的転換点に立つ て都市建築の過去 ・現在・未来を展 望する				
特集 The Restart 横浜トリエンナーレ 2005／アートフェア 東京			239					
連載 1～3、6 「西会津国際芸術村」	安藤壽美子		239～ 241、244					
連載 4、5「西会津 国際芸術村」対談特 別編 (Part 1) (Part 2)	山口 博續、 安藤壽美子 対談		242、243	特集 先端技術と建 築			1535	
特集 日本のトリエ ンナーレ			245	いま、もしも君が フラーなら 21世 紀の建築技術が目 指すもの	斎藤 公男			

現在の先端技術に 関して1 木造と 先端技術	坂本 功			研究報告 バラ土壁 の研究 バラの花び らを壁材として利用 するための基礎研究	赤沼 國勝	女子美術 大学研究 紀要	35
ここが知りたい建築 の?と! 都市基盤 整備公団から都市再 生機構へ	大山雄二郎	建築雑誌	1535	2004メセナ活動実態 調査 地域社会への 貢献活動として定着 か	(美)	新美術新 聞	1044
特集 ランドスケ ープ・デザインは建築 を変えるか? ラン ドスケープ・デザイ ンの視点からの歴史 再評価2 60'sアヴ ァンギャルド再考— 建築とランドスケ ープの関	三谷 徹	"	1536	小泉首相が官邸の美 術展示を強化	"	"	1047
首都・東京の祖型— 近代日本における 「首都」の表出(その 一)—	松山 恵	建築史学	45	PARIS発 文明の衝 突と文化交流	安部 雅延	"	"
	山岸 常人 問題の所在 と提起 足立 裕司、 黒田 龍二 コーディネ ーター	"	"	第2回横浜トリエン ナーレ テーマは 「アートサーカス」 9月28日から12月18 日	(美)	"	1048
記念シンポジウム 復元(再建)を考える 六 討論	丸山 茂、 清水 重敦、 酒井 一光、 中川 武、 藤井 恵介、 田原 幸夫、 益田 兼房、 岡田 保良	"	"	「幸福のかたち」をテ ーマに新鋭7人が挑 む 愛知万博のアー トプログラムから		"	1050
				PARIS発(モンマル トルの今)	安部 雅延	"	"
				通信J to A アジア へ 東アジアの国際 展と美術館	南條 史生	"	1051
				私の美術放浪15、 20、21、23	永井 信一	"	1054、 1068、 1070、 1075
				通信J to A アジア へ 金門島の要塞美 術館プロジェクト	南條 史生	"	1054
建築史学会二〇〇五 年度大会 研究発表 会報告 ポスト・オ スマン期の都市空間 形成—バリエーション の道路開設事業をめ ぐって	松本 裕、 足立 裕司	"	"	新美術時評 クロス ・レファレンス	長谷川祐子	"	1056
特集 中国学の現在 漢語としての芸術	楠山 春樹	国学院雑 誌	1183	通信J to A アジア へ マカオ・香港	南條 史生	"	"
転換期は終わらない —中東欧現代美術の 一断片	加須屋明子	国立国際 美術館月 報	149	現在通信from NEW- YORK 日本現代美 術の研究	富井 玲子	"	1057
アジア：リレーショ ナル・アイデンティ ティの空間	古市 保子	"	151	新美術時評 『美術 手帖』の「日本画」特 集 美大・芸大の構 造を問う	山下 裕二	"	1058
美術記者こぼれ話 「叱られた話—画の 六法」	田中 三蔵	国華清話 会会報	6	PARIS発 バリの広 重	安部 雅延	"	"
美術鑑賞論ノート (1)	鈴木 正實	札幌大谷 短期大学 紀要	36	通信J to A アジア へ 上海青年ビエン ナーレヴィジョン・ エクスプレスと上海 美術事情	南條 史生	"	1059
用語考(1) 参考文 献	中島 理壽	jaic会報	1	アートの求人情報は 「キャリアバンク」で		"	1060
用語考(2) 著述と 自筆文献	"	"	2	新美術時評 文芸誌 の「アート」特集 『群像』で「物語」の あるアート	山下 裕二	"	1061
ささやかな夢の跡— 浜松野外美術展の記 録—	尾野 正晴	静岡文化 芸術大学 研究紀要	5	新美術時評 最後の “日本美術全集” 週 刊『日本の美をめぐ る』の寿命	"	"	1062

通信J to A アジア へ シンガポール・ ビエンナーレとシン ガポール事情	南條 史生	"	"	風景の教え—環境の 思考の原風景—	村瀬 鋼	成城文芸	193
通信J to A アジア へ アジアの美術状 況を俯瞰する	"	"	1064	実学としての美術史 学	青柳 正規	ゼフュロ ス	25
小倉遊亀のパブリッ クアートなどが評判 に 開業したつくば エクスプレスの4駅 に設置	"	"	1066	日本の博覧会 寺下 勅コレクション 万 国博覧会うらばなし	寺下 勅	太 陽	133
通信J to A アジア へ 美術のリテラシ ーとアイデンティテ ィー	南條 史生	"	1067	住環境における緑化 手法の研究 国分寺 崖線における集合住 宅を事例として	今村 有里	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2005
美術市場レーダー 164、166 戦後60年 美術界はどう変わっ たか	瀬木 慎一	"	1068、 1075	メディア時代の視覚 芸術—絵画表現の可 能性／制度的視覚か ら記憶のかたへ—	仏山 輝美	筑波大学 芸術研究 報告	45
芸術文化支援 「メ セナアワード2005」 決まる メセナ大賞 に(株)三越	"	"	1070	「悪い場所」にて8、 9	榎木 野衣	10 + 1 *	38、39
新美術時評 金箔 か？トリックか？謎 が深まる光琳の屏風	山下 裕二	"	1071	モノとマチの向こう に見えるもの3 設 計条件がない？！	北川 卓 松本 淳	"	38
通信J to A アジア へ CIMAM アジ ア部会の成立 上海会 議に参加して	南條 史生	"	1073	一九九〇年代以降の 建築・都市14～16	五十嵐太郎	"	38～40
新美術時評 閉塞感 と危機感のある中で	島尾 新	"	1074	ポストモダニズムと 建築7、8	日埜 直彦	"	38、39
メセナの活動実績は 堅調、手法は多様化 2005年度「メセナ活 動実態調査」結果か ら	"	"	"	現代建築思潮 新しい 物質、新しい素材 複雑化／集積化する 素材	今井公太郎 今村 創平 日埜 直彦 吉村 靖孝	"	38
通信J to A アジア へ アジアの位置	南條 史生	"	1075	特集 建築と書物 建築を拓くメディア	"	"	"
a-chroniques	松浦 寿夫	水声通信		コンペティション 学序説	中村 研一		
《1》美しく似てい る	"	"	1	読み解かれる住宅 ／読み解く快楽	山中新太郎		
《2》テーブルとタ ブロー	"	"	2	西洋建築史：現代 へのまなざし	横手 義洋		
特集 最終ブックリ スト320 今手にす るべき書籍、完全カ タログ！ アート／ 文学・思想／コミッ ク／写真／ファッシ ョン／映画／デザイ ン／音楽	"	STUDIO VOICE	349	職業としての建築 評論	永江 朗		
特集 アーキテクチ ャー&アート進化系	"	"	351	オープンハウスと いう経験	保前 信英		
オーストリア、アル プス地方の建築の 現在	野村 陽子			建築系映像ランダ ム・ガイド	五十嵐太郎		
クアデルンス誌と バルセロナ出版事 情	坂本 和子			建築ガイドブック ガイド	岡部 友彦 佐々木一晋 田中 陽輔 山雄 和真		
				アートと建築の越 境的動向	暮沢 剛巳		
				建築と展覧会カタ ログ	田中 陽輔 山雄 和真 岡部 友彦 佐々木一晋		
				「アーキラボ」／ある いは建築のキュレー ションについて	マリ＝アン ジュ・ブレ イエ 創平 今村 聞き手	"	"

セヴェラルネス：事物連鎖と人間7 クリティカル・パス桂の案内人	中谷 礼仁	10 + 1 *	39	20世紀前半の朝鮮総督府による朝鮮の歴史的建造物の調査保存事業について	田中 禎彦	"	594
現代建築思潮 建築／統計／アーバン・デザイン ビョルン・ロンボルグ『環境危機をあおってはいけない』MVRDV「REGIONMAKER」を端緒に	田村 順子 吉村 靖孝 今井公太郎 今村 創平 日埜 直彦	"	"	建築におけるスケールの概念について	竹内 宏俊 岩岡 竜夫 羽生 修二	"	"
技術と歴史2 空間構造に見る構造合理主義の系譜 近代から現代への変容	佐々木睦朗	"	"	間—日本文化の基本思想—	藤原 成一	日本大学 芸術学部 紀要	41
現代建築思潮 中間的／総括的 現代建築思潮研究会二〇〇三—二〇〇五	今井公太郎 今村 創平 日埜 直彦 吉村 靖孝	"	41	随筆 文化の多様性への対応	木村 重信	博物館研究	441
特集 実験住宅	"	"	"	インタビュー アートは都市のエンジン	北沢 猛	Bank-ART Life	創刊号
二一世紀型農村計画	石山修研究室 十二世紀農村研究会	"	"	インタビュー 実験事業ならではの自由さ	"	"	"
アンビルトの実験住宅の系譜 その必然性について	今村 創平	"	"	インタビュー なにもない「場」であることの重要さ	加藤 種男	"	"
技術と歴史3 技術と装飾	鈴木 博之	"	"	ウヤムヤに終わった捏造事件—真相解明への展望—『神々の汚れた手』『第五十八回毎日出版文化賞』受賞—	奥野 正男	東アジアの古代文化	122
都市表象論	長谷川 章	東京造形大学研究報	別冊2	海外アート事情 「ピカソ・マティス」「アングル・ピカソ」……流行の「2人展」「3人展」—視覚的で分かり易い—	今津 京子	美連協ニュース*	85
美術品の盗難	佐藤 節夫	陶 説	631	特集 アートブックガイド2005 プロが読んでも美術の本27テーマ300冊	"	美術手帖	859
色彩知覚と芸術体験との関係について	出村 洋二	名古屋造形芸大紀要*	11	アートを読み書きしたいあなたのために……	横木 野衣	"	"
文化のデザインアセスメントと創造手法のモデル化についての研究	杉山 明博	"	"	アートを深く理解するためのブックガイド 美学・美術史がわかる	谷川 渥	"	"
ワークショップ アートとセラピーの関係性について—フランス精神医学が教えるもの—	三脇 康生	日仏美術学会会報	24	アートを深く理解するためのブックガイド モダニズムを見直すために	高島 直之	"	"
アニムス(心)教育の普遍的劇場あるいはコモンプレイスの展覧 ザムエル・クヴィヒュベルク『広壮なる劇場の銘あるいは標 題…』(1565)における理想のミュージアムと書記情報処理システムの空間化	桑木野幸司	日本建築学会計画系論文集	590	アートを深く理解するためのブックガイド 2000年代のアートが見える	松井みどり	"	"
内部空間とのかかわりからみた水と建築の構成手法 建築空間における水と建築のかかわりに関する研究 その1	畔柳 昭雄 田村 真吾	"	593	アートを深く理解するためのブックガイド 日本美術史がわかる	山下 裕二	"	"
				アートを深く理解するためのブックガイド 日本近代美術がわかる	北澤 憲昭 森 仁史	"	"

アートを深く理解するためのブックガイド 美術批評を書くために	榎木 野衣	アートを多角的にとらえるためのブックガイド 文学とアートがわかる	佐々木 敦		
アートを深く理解するためのブックガイド 絵画材料と技法がわかる	降旗千賀子	アートを多角的にとらえるためのブックガイド オタク・ハッカーとアートがわかる	ドミニク・チェン		
アートの深く関わるためのブックガイド 美術・教育・鑑賞がわかる	端山 聡子	アートを多角的にとらえるためのブックガイド エコロジーとアートがわかる	梶川 泰司		
アートの深く関わるためのブックガイド キュレーター、コーディネーターになるために	原 久子	アートを多角的にとらえるためのブックガイド ブランド・広告とアートがわかる	岡崎孝太郎		
アートの深く関わるためのブックガイド オルタナティブなアート活動のために	A I T 編 集 部	アートを多角的にとらえるためのブックガイド 社会学・文化研究とアートがわかる	毛利 嘉孝		
アートの深く関わるためのブックガイド ミュージアムがわかる	暮沢 剛巳	アートの銀行は高利回りか 横浜Bank-ART1929の試み	村田 真	〃	〃
アートの深く関わるためのブックガイド ビジネスとアートを考える	榎山 寛	40×40 Project for BT 昭和40年会の七人も侍		〃	
アートの深く関わるためのブックガイド 著作権と表現がわかる	ドミニク・チェン	40×40取材班、工藤 キキ、有馬 純寿文 昭和40年会責任編集			〃
アートの深く関わるためのブックガイド アートを調べるために	橘川 英規				
アートを多角的にとらえるためのブックガイド 建築とアートがわかる	五十嵐太郎	第参号	白坂 ゆり、40×40取材班、三橋 純文 昭和40年会責任編集		862
アートを多角的にとらえるためのブックガイド 写真(論)とアートがわかる	飯沢耕太郎	第四号	土佐 正道文 昭和40年会責任編集		863
アートを多角的にとらえるためのブックガイド 音楽とメディアアートがわかる	佐々木 敦	第五号	岡本 芳枝文 昭和40年会責任編集		864
アートを多角的にとらえるためのブックガイド 映像・映画とアートがわかる	北小路隆志	第五号 特別寄稿「40展」を終えて	ユン・ジェカブ、浅尾 麗訳 昭和40年会責任編集		〃
アートを多角的にとらえるためのブックガイド ダンス・パフォーマンスとアートがわかる	木村 覚	第六号	松蔭 浩之文 昭和40年会責任編集		865

第七号	松蔭 浩之 文 昭和40年会 責任編集	866	目指せ！職業＝ 「アーティスト」 作品が収入になる 時	白坂 ゆり 名古屋 覚
第八号	有馬 純寿 文 昭和40年会 責任編集	868	目指せ！職業＝ 「アーティスト」 新人アーティスト の君に贈る法律・ ビジネスの基礎知 識	中森 康文
第九号	松蔭 浩之 文 昭和40年会 責任編集	870	プロジェクト系ア ーティストのサバ イバル	伊藤 忍
第拾号	40×40取材 班 構成 昭和40年会 責任編集	871	「アーティスト」へ の道それぞれ ア ーティスト・イン ・レジデンス	小沢 有子
第拾壹号	深澤 友晴 昭和40年会 責任編集	872	「アーティスト」へ の道それぞれ 独 学という道	東谷 隆司
第拾貳号	有馬 純男、 松蔭 浩之 文 昭和40年会 責任編集	873	発信する場、評価 する場の多様化と 表現	福原 義久
特集 「アーティスト」になる基礎知識	美術手帖	861	「アーティスト」予 備軍のためのブッ クガイド	杉田 敦 名古屋 覚 白坂 ゆり 東谷 隆司
プロローグ 「ア ーティスト」にな るには サバイバ ル戦への突入	東谷 隆司		エピローグ アー ティストになるに は一つすること	東谷 隆司
「アーティスト」デ ビュー前夜 ファ イルをつくる！	〃		「横浜トリエンナ レ2005」ディレク ター交代劇、その後 横浜市内に聞く、課題 と勝算	編 集 部 〃 〃
「アーティスト」デ ビュー前夜 ファ イルのさまざまな フォーマット	小澤 慶介		ベルリンからベター ニエン館長が来日	原 久子 〃 863
「アーティスト」デ ビュー前夜 プレ ゼンする！	東谷 隆司		渦巻くモスクワアー ート・裁判・ピエン ナーレ 第1回国際 モスクワ現代美術ビ エンナーレ	鴻野わか菜 〃 864
座談会 こんなフ ァイルを見てみた い！ ファイルを 見ている人たちの 本音トーク	天野 太郎、 榎本 了孝、 山本ゆうこ 談 東谷 隆司 司会		芸術をめぐる言葉 148 絵画は人間の 影の輪郭線をなぞる ことから始まった… …プリニウス	谷川 渥 〃 〃
「アーティスト」な ら一度は通る道 作品を運び展示す る！	東谷 隆司		ミュージアムX Vol. 12 「愛・地 球 博」が将来に伝える もの	暮沢 剛巳 〃 865
「アーティスト」な ら一度は通る道 貸画廊	村田 真		芸術をめぐる言葉 149 パレルゴンの 執拗な無場所性…… デリダ	谷川 渥 〃 〃
「アーティスト」な ら一度は通る道 オルタナティブ・ スペース アーテ ィスト・ラン・ス ペース	杉田 敦		横浜ドキュメント 2005 「アートサー カス」舞台裏 日々 は跳躍 トリエンナ ーレを支える人たち の思い	〃
「アーティスト」な ら一度は通る道 企画書／協賛・助 成金申請書	小澤 慶介			

1	B 杉野 談	T、 淳	”	鼓動する上海アート	笹木 橋本 速水 金澤	繁男 弘安 史朗 毅	”	”	
2	B 高橋 高橋 談	T、 晶子、 寛	866	視点	編 集 部	”	”	257	
3	B 細川	T、 浩伸	868	東京芸術大学初の試 み!! 世界へ羽ばた け キッズゲルニカ	笹木 速水 金澤 高木	繁男 史朗 毅 友絵	”	”	
4			870	視点			”	”	
芸術をめぐる言葉 150 畸形愛……寺 山修司	谷川	渥	”	866					
武蔵野市立大野田小 学校の「パブリック アートプロジェクト」	白坂	ゆり	”	868			”	258	
美術出版社創業100 周年記念 第13回芸 術評論募集入選作発 表			”	”					
審査員座談会 美 術批評のアクチュ アリティをめぐつ て	中村 谷川 榎木	英樹 渥 野衣			岡田 談	勉	”	”	
佳作 受験生の描 く絵は芸術か	荒木	慎也			笹木 高木 石川 西房	繁男 友絵 翠 浩二	”	”	
特集2 海外で見る ・見せる・つくる! 海外アーティスト・ イン・レジデンス+ 公募展+助成ガイド			”	870			”	259	
多地域横断リサー チ&国内サポート 編	小沢	有子					”	”	
アメリカ編	藤森	愛実							
ヨーロッパ&周辺 編	増山	士郎			笹木 石川 速水 西房	繁男 史朗 浩二	”	”	
英国&アイルラン ド編	伊東	豊子							
番外編 国内&ア ジアで見せる・つ くる!	小沢	有子					”	260	
若手キュレーターの 挑戦 第3回ロレン ツォ・ボナルディ・ アート・プライズと キュレーター・シン ポジウム	岩本	史緒	”	”	水沢	勉			
越後妻有アートトリ エンナーレ ワーク ショップ	新川	貴詩	”	871	視点	笹木 高橋 石川 松浦	繁男 明也 翠 暢	”	”
特集 ドイツの現代 美術 インタビュー +作家解説	増田 蔵屋 保坂 竹内 大森	玲 美香 健二 万里 俊克	”	872	視点	笹木 石川	繁男 翠	”	261
芸苑雑事記146 碓 井町 国文祭美術展 日本画	瀧	梯三	美術の窓	256			”	”	

— 94 —

前頭葉と造形活動	大塚 和明	横浜美術短期大学教育・研究紀要	2	見仏 若者を癒やす 仏像「見物」ぶらり寺 院めぐり 静かな人 気ストレス解消「安 らげる場所」	津川 綾子	"	10.6
美術著作権質疑応答	伊藤 真	連盟ニュー ース	413~415	昭和の芸術家が愛し た街 モンパルナス 池袋に再び NPO法 人や立教大など「回 遊美術館」計画		"	10.18
理数好きの子 育て よう 博物館や大学 が小中で出前授業		朝 日	1.3				
愛知万博で現代美術 ポスト大阪世代の 「幸せ」 70年を問い なおす機会	山盛 英司	"	3.2	「サル界のセザンヌ」 遺作 3点288万円で 落札	東 京		6.22
時流自論 激変の東京 で考える「時」	リービ英雄	"	3.6	大波小波 文化財の 保存	(地霊) 東京夕刊		7.4
袖のボタン 琳派、 RIMPA	丸谷 オ一	"	12.6	放射線 芸術と社会	小倉 和夫	"	10.12
ツウのひと声 美術 地震は美術界をも揺 さぶった	村田 真	朝日夕刊	1.14	龍の図象十選 1~ 10	夢枕 獏 日 経		1.10、 11、13、 14、17、 18、20、 21、24、 25
新官邸、美術品3倍 増へ 小泉首相「心 和む雰囲気」に	渡辺 哲哉	"	1.22	育つ摩天楼定点観測 新宿副都心、35年間 の変ぼうを写真に残 す	中西 元男	"	1.21
GO&SEE 万博の「遺 産」いま 人間洗濯 機・携帯祖先…かつ ての未来に出会う	戸田 拓	"	3.14				
銀座ギャラリー日記	栗田 玲子	"		異界を覗くレンズ十 選 1~10	平田オリザ	"	2.15、 16、18、 21、24、 25、28~ 3.3
青年は、画廊の扉 を開けた			4.7				
コレクションを預 かる喜び			4.28	色のレシピー原料か ら視つめる美術十選 1~10	降旗千賀子	"	3.7、8、 10、11、 15~17、 18、21、 22
コレクションに 「はまる」喜び			9.22				
縦横コラム 風化 戦争の記憶と赤ペン キの跡	田中 三蔵	"	6.24	文化往来 アユタヤ の東インド会社商館 跡を発掘		"	3.24
Shot05 おぼろに浮 かぶ乱れ髪 絵金祭 り特異な画風町の誇 りに	米原 範彦	"	7.29	無垢の力十選 1~ 10	丹尾 安典	"	4.12~ 15、18、 19、21、 22、25、 26
窓 論説委員室から アーティスト・イン ・レジデンス	越村佳代子	"	8.2	迷宮美術館 衛星第 二 アートの魅力、 解き明かす クイズ 形式で随所に工夫		"	4.16
絵画ネット競売著作 権の壁? 画像掲載 めぐり訴訟「引用 か」分かれる判断	赤田 康和 山盛 英司	"	10.26	産業遺産シンポジウ ム特集 産業遺産に 人間の歩み 将来へ の手掛かり探る		"	4.25
芸術家集う人情の街 向島で長屋暮らし 「困ったとき、手を 差し伸べてくれた」		産 経	1.1		川野辺 渉、 村橋 勝子、 村山 友宏、 伊東 孝 談 資明 松岡 司会		
官邸 癒やし空間一 ロビーに美術品お目 見え		"	1.10	パネル討論			
記念切手弱まる威光 コレクター減少、価 格の下落続く	森 浩	"	3.17	基調講演 使われ た状態で残したい	小山 徹		

鮮烈なるジャポニスム十選 1～10	平松 礼二	日 経	5.3～5、9、10、12、13、16～18	国際文化フォーラム —文化の多様性 「和」の精神世界が望 む 認め合い吸収、 パワーに	〃	12.24
文化往来 メセナ協 15周年で新方針。地 域・市民を支援		〃	5.13	基調講演 創造と 継承、我々の義務 ジャック・ラング 氏		
怪物アート十選 1 ～10	村上 隆	〃	6.9、10、15、16、20、21、23、24、27、28	基調講演 画一的 な世界作らずに 片倉もとこ氏		
インタビュー領空侵 犯 芸術家よ大衆に おもねろう 商業主 義が逸材育てる 産 業再生機構専務 富 山和彦氏	塩田 宏之 聞き手	〃	6.20	座談会 平和と文 化	サリ・アン ワル・ヌセ イベ、 ベン・アミ ・シロニー、 レノア・G ・マーチン 談	
かたち百景 常盤台 のクルドサック 30 年代都市デザインの 夢	(緒)	〃	7.3		平山 郁夫 座長 山内 昌之 司会	
異形のまなざし十選 1～10	貴志 祐介	〃	7.25～ 29、8.1 ～5		バーバラ・ グロチュス キ、 パノス・マ ンツィアラ ス、 港 千尋 談 隼雄 河合 新一 座長 中沢 司会	
椅子とアート十選 1～10	中村 誠	〃	9.1、2、 5～8、12 ～15	座談会 トボスと 神話		
目で聴く絵十選 1 ～10	杉本秀太郎	〃	10.18～ 21、24、 25、27、 28、31、 11.1			
内外の芸術家ら京都 でサミット		〃	10.29		ジャン・カル ロ・カル ツァ、 金 英順、 ニコール・ C・ルーマ ニエル、 パトリック ・D・フロ ーレス、 建 哲 談 秀爾 高階 座長	
古いへのまなざし十 選 1～10	川延 安直	〃	11.3、4、 7.8、10、 11、14、 15、17、18	座談会 日本・ア ジアの芸術		
絶筆十選 1～10	菊畑茂久馬	〃	11.29～ 12.2、5、 6、8、9、 13、14			
芸術の力世界を変え る 新たな価値連帯 し創造 京都で世界 アーティストサミッ ト		〃	12.17	アートの魔術商品変 える 作家と結ぶ “仲人”活躍	日経夕刊	9.8
公開シンポジウム ソニー最高顧問出 井伸之氏 アサヒ ビール会長福地茂 雄氏 外務省国際 貿易・経済担当大 使近藤誠一氏 演 出家宮本亜門氏				芸術家の町 池袋モ ンパルナス復活へ 「文化の香り」で元気 に JR駅西口地域 地元NPOが構想	渡辺 暖 毎 日	9.20
ジュニア・アーテ ィストサミット 平和や環境問題 アート通じて高校 生が議論				秋の国際展から イ スタンブール・ピエ ンナーレ 〈人間〉の 再考促す出色の内容	市原研太郎	〃 11.1
				建築 伊勢湾岸自動 車道の豊田ジャンク ション やわらかい コンクリートの森	五十嵐太郎 毎日夕刊	1.19

第1回モスクワ・ピ エンナーレを見て 「世界」と「地域」の関 係採る出品作	市原研太郎	"	4.5	ROUND TABLE 2005	宮内 嘉久 桂川 寛 中村 光行 森口 宏 池田 龍雄 中村 宏	"	"
愛・地球博の楽しみ かた フツの台所 を万博で見る	荒俣 宏	"	4.12	《インタビュー》 『美術批評』の時代— 中原佑介氏に聞く	光田 由里 聞き手	"	113
20世紀の建築と美術 を検証 注目される 連続講座「アート・ スタディーズ」	三田 晴夫	"	6.10	ROUND TABLE 2005	織田 達朗 松本 俊夫 山口 勝弘 中村 敏男 村上 善男	"	"
美術品の展示強化 首相指示 心和む官 邸に		読 売	1.16	ROUND TABLE 2005	権田 萬治 毛利 ユリ 菊畑 久馬 田中 信太郎 近藤 竜男	"	114
街全体を美術館に 池袋西口活性化へ新 構想 立教大や商店 街募集作品を展示		"	10.14	ROUND TABLE 2005	村岡 三郎 松本 陽子 飯島 耕一	"	115
美術 フルクサス展 固定観念からの解放 再評価	前田 恭二	読売夕刊	1.13	《インタビュー》 『美術批評』のこと— 西巻興三郎氏に聞く	光田 由里 聞き手	"	117
手帳 北京 アート 発信基地の活況	高野 清見	"	4.11	スマイルを探しに 国 立国際美術館新築1 周年記念連続シンポ ジウム「野生の近代 再考—日本美術史」 見聞記	北村 淳子	"	120
万博に行く 上、下	鹿島 茂	"	4.19、21	ROUND TABLE 2005	有馬 敵	"	"
建築望見 住宅は建 築家の「作品」か	高野 清見	"	7.16	特集 楽園—東と西 —近代日本における 「楽園」〈願望〉の 時空間	永渕 朋枝	アジア遊 学	82
景観と歴史の間 上、下		"	11.29、 12.1	資料紹介 地方紙 「南信」における美術 関連記事について (大正六～十年)	小島 淳	飯田市美術 博物館 研究紀要	15
日本美術史				保守反動か漸而不行 か—佐倉から浅草へ	森 仁史	一寸	22
傷ついた美術史 連 載36 美術の日本代 表	小泉 晋弥	アートの トップ	205	「大東亜美術」につい て	千葉 慶	鹿島美術 財団年報 別冊	22
瀧口修造1958 旅す る眼差し		ARTLET	24	1920、30年代の日本 における女性美術家 グループの活動と展 開	吉良 智子	"	"
旅する精神が歩い た現実の旅 瀧口 修造の初渡欧	杉山 悦子			特集 月刊ギャラリー —創刊から迎える美 術20年		ギャラリ ー	246
瀧口修造と写真	田中 淳一			月刊ギャラリーの 20年			
美術批評家連盟結成 経緯・補遺—戦前の 「美術批評家協会」に ついて	倉林 靖	aica JAPAN	6	月刊ギャラリー創 刊からの特集で迎 える美術20年			
「日本の美術批評の あり方」とは?—美 術評論家連盟50周年 記念シンポジウム傍 聴記[続]	黒川 典是	あいだ	109	行政文書に見る京都 美術学校放浪記	大西 基子	京都府立 総合資料 館だより	142
《短期連載》批評の 英雄時代『美術批 評』(1952—1957)誌 における現代美術批 評の成立1～6、最 終回	光田 由里	"	110～ 115、117				
『美術批評』とその周 辺	瀬木 慎一	"	110				
『美術批評』の時代— 針生一郎氏に聞く	光田 由里 聞き手	"	112				

相川正義日記抄2 1924—1925—『さとぼ ろ』と20年代・札幌 の青春	井内佳津恵	Hokkaido Art Mus. Studies*	2005	『美術』総目録 美術 (日本美術出版)刊行 までの経緯	橘川 編	英規	jaic会報	1
特集[明治回顧]		近代画説	14	文献ノートから：京 都・如雲社(じょう んしゃ)	村田	真知	"	2
緒言 明治美術学 会のはじまりをめ ぐって	木下 直之			回顧と展望 二〇〇 四年の歴史学界 日 本			史学雑誌	114-5
明治百年と明治六 十年	"			考古四 古墳	車崎	正彦		
美術史における回 顧	宮下規久朗			考古五 歴史	大成	可乃		
明治美術の回顧— 一九六八年以前の 展覧会・論文・単 行本データ	恵美千鶴子			古代八 美術	岩佐	光晴		
〈明治美術学会回 顧〉二十二、三 年前のゆるやかな 連帯組織「明治 美術研究会」のこ ろから	青木 茂			中世六 美術	畑	靖紀		
〈明治美術学会回 顧〉明治美術研 究学会事始	歌田 眞介			近世一六 美術	内藤	正人		
〈明治美術学会回 顧〉明治美術研 究会の頃	金子 一夫			近現代一〇 美術	木下	直之		
〈明治美術学会回 顧〉異才・奇才 の研究集団	佐藤 道信			調査ノート 掛図に みる教育の歴史	柿崎	博孝	S H U	25
〈明治美術学会回 顧〉明治美術学 会創世記の資料抄 出	森 仁史			洛中洛外図の今昔 想像から実写へ	辻	惟雄	新美術新 聞	1045
研究発表(要約) 近 代における「百済観 音」の形成について	宮田 徹也	"	"	アメリカに渡った日 本人修復家たち(そ の1)(その3)(その 5)	西尾	喜行	"	1063、 1065、 1067
アウトサイダー・ア ートについての一考 察	木暮 瑠美	芸 叢	21	第一特集 GRAF- FITY AS CULTURE ENGINE !!! 拡張す るグラフィティ 日 本のグラフィティの 夜明け	s n i p e l		STUDIO VOICE	360
《位相—大地》が神話 となる前に	中井 康之	国立国際 美術館月 報	150	日本の博覧会 寺下 勅コレクション			太 陽	133
東京府における明治 天皇聖蹟指定と解除 の歴史	北原 糸子	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	121	[巻頭言]日本に博 覧会がやってきた	橋爪	紳也		
国華余話(五) 図版 (玻璃版・下)	水尾比呂志	国華清話 会会報	5	明治時代	寺下 解説 橋爪 補筆	勅 紳也		
国華余話(六) 図版 (原色版・写真版)	"	"	6	[読み物]幕末・明 治、博覧会先駆者 列伝	寺下	勅		
資料紹介 作家たち の息づかい—佐賀美 術協会の「会宝」につ いて1	野中 耕介	佐賀県立 博物館・ 美術館報	134	大正時代	寺下 解説 橋爪 補筆	勅 紳也		
エッセイ 蒼海への まなざし 没後100 年蒼海副島種臣—全 心の書—展・覚書	福井 尚寿	"	135	[読み物]博覧会と 観覧車	福井	優子		
				昭和時代・戦前	寺下 解説 橋爪 補筆	勅 紳也		
				[読み物]百貨店と 博覧会—一九三〇 年代を中心に	斉藤	寛信		
				[読み物]パノラマ 館から博覧会へ— 見るものと世界を つなぐ「視線」の変 化	細馬	宏通		

昭和時代・戦後	寺下 勅 解説 橋爪 紳也 補筆				第五回内国勲業博覧会と万博開催への模索—台湾館と人類館—	伊藤真実子	日本歴史	686
'70大阪万博—寺下コレクションの底力を見よ!	〃				美学会第56回全国大会発表要旨		美 学	223
[読み物]博覧会はどこへ?—一九七〇年代以降、二十一世紀への動向を見る	橋爪 紳也 寺下 勅				芸術か非芸術か—一九二〇年日本建築界における「芸術」概念—	天内 大樹		
[読み物]ディスプレイってご存じですか?—博覧会ディスプレイ業の一世紀	長谷川里江				七—八世紀日本の彩色材料—材料性質の分析・分類から見た、相性・制約の諸問題—	國本 学史		
[読み物]博覧会と近代日本の自画像・世界像	大橋 庸子				白樺派の〈人生への欲望〉について考察する—芸術家評伝の「作品批評」を手がかりに—	亀井 祐美	美学芸術学	20
開国一五〇年 明治かがやく 第四章 帝国主義の時代と花開く文化 近代美術の始動 美の開拓者たち	〃			明治村記念号	農美運動と民芸運動—風土文化の深化と産業地域の革新—	宮川 泰夫	比較社会文化	11
戦後美術と下関(洋画篇)	濱本 聰 潮 流	81			日本美術院第二部設立前史—文化財保護の視点から—	田邊三郎助	美術院紀要	7
戦後下関美術の光彩 管見—戦争をくぐってきた画家たち—	武部 忠夫	〃	〃		京暦美学事始(下)	神林 恒道	美術京都	34
下関洋画連盟結成の頃まで	赤崎 君美	〃	〃		論考 伝統の地政学—世紀転換期における京都性の構築	佐藤 守弘	〃	35
関門美術史探索ノート	濱本 聰	〃			エマニュエル・トロニコワと明治中期の洋画壇	クリストフ・マルケ	美術研究	386
(事始め7)「輦音会」その他・補遺拾遺				83	中華民国教育部第一次全国美術展覽会出品日本洋画について—近百年來中国絵画史研究 八—	鶴田 武良	〃	387
(事始め8)「鎮西雅会・素人書画展覽会」				84	展覽会評 昭和前期の絵画をめぐる	田中 淳	〃	〃
「悪い場所」にて10再読・石子順造 もの派／幻触からマンガを通じ、トマソン、アール・ポップ、日グラ、そしてスーパーフラットまで	榎木 野衣	10 + 1 *	40		第五八回全国大会研究発表要旨 国際的美術商・山中商会の経営と文化振興の理念	小熊佐智子	美術史	159
瀬戸と万国博覧会	服部 文孝 陶 説	624			特集 日本近現代美術史1905▶2005		美術手帖	866
近代日本における中国鑑賞陶器の流れ	富田 昇	〃	629		日本美術のミーム 北澤 憲昭 空から空虚へ 榎木 野衣			
愛知万博余聞 (上)(中)	鶴 勲	〃	632、633		Chapter 1 1905—1925 「表象=代表」の危機から「表象=再現」の回帰へ	北澤 憲昭		
「美術と戦後」	鈴木 敏春	名古屋造形芸大紀要*	11		Chapter 2 1925—1945 リアリズムの「無意識」とシュルレアリスムの「物質」	〃		
日光山歴史—〇〇〇年案内	柴田 立史 談	日光山輪王寺	71・72					

Chapter 3 1945 —1960 「空白」から「転換」へ	高島 直之			深川今昔39 鹿島邸(上) 元大名屋敷庭に潮入の池	朝 日	2.4
Chapter 4 1960 —1970 反体制と反芸術 価値の反転	清水 哲朗			トレンド 「奇想」が江戸美術の顔に 若冲、又兵衛…権威より自分の感性	山盛 英司	3.3
Chapter 5 1970 —1985 モダンの臨界点・ポストモダンの旋回	中ザワヒデキ			特別展 書の至宝 日本と中国 日中の名筆三千年の軌跡	大岡 信	12.16
Chapter 6 1985 —1995 冷戦・バブルの崩壊とネオポップの爆発	榎木 野衣			「御長壽美術展」と「国芳 暁斎 なんでもこいッ展だイ！」展 新春元氣を出しましょう	田中 三蔵 朝日夕刊	1.5
Chapter 7 1995 —2005 日常/世界を超えていくマイナーな感性/言語	松井みどり			「井真成」研究ことはじめ 遣唐使の墓誌で日中共同シンポ	矢野 建一	1.11
芸苑雑事記150 「写真」今昔	瀧 梯三	美術の窓	260	遣唐使「井真成」とは発見墓誌巡り研究会	渡辺 延志 今井 邦彦	2.5
巻頭特集 プロが教える水彩ステップアップ講座 みづゑの歴史—日本水彩画の歩み			265	戦後60年の透視図 第2部・イメージ空間3 美術と戦争 太郎から「遣伝子」を継承 冷戦後サブカル通し復活	西田 健作	6.15
仲介の感性論 ヴィジュアル・エデュケーション4 歴史教科書と美術工芸品の図版をめぐる	根立 研介	美術フォーラム21	12	単眼複眼 絵巻「蒙古襲来絵詞」 「18世紀に加筆」説浮上	宮代 栄一	7.26
プレシンポジウム開催レポート 「版画と写真—19世紀後半出来事とイメージの創出—」	北原 糸子	非文字資料研究	10	戦後60年の透視図 第3部・物語空間2 国民芸術 日展の理念、曲がり角に「市民鑑賞者と協調模索	山盛 英司	8.9
生きている花と「画法」	金子 信久	府中市美術館だより	14	単眼複眼 国宝「関屋藩標図屏風」の年代確定 宗達の実像手がかり		9.12
〔口絵解説〕(作品)南蛮図屏風(唐船図) 花卉鳥獸刺繍飾布 重要文化財 銅造弥勒菩薩立像	基信 祐爾	文化財*	505	「奈良の大仏」江戸期再興の公慶上人 文化的にも貢献 再評価の好機	小滝ちひろ	12.6
明治期の美術工芸論における「嗜好」と「流行」—京都論壇での展開から—	平光 睦子	待兼山論叢	39	「紅白梅図」金箔論争再び 尾形光琳「燕子花」調査で深まる謎 科学的データ不足	西田 健作	12.13
絵はがきの時代8、9	細馬 宏通	ユリイカ	502、503	謎解けずされど学深まり 法隆寺論争100年シンポ 年輪年代法で成果も	渡辺 延志	12.14
講座 仏教美術 日本古代の仏教思想と造形	野尻 忠	歴史と地理	587	奇想の画家が描いた庶民芸術 「国芳 暁斎 なんでもこいッ展だイ！」	生田 誠 産 経	1.18
講座 仏教美術 日本古代の仏教と造形(天平～平安時代)	田中 義恭		590	飛鳥浄御原宮 巨大だった天武天皇「正殿」 特異な構造、両側には付属建物 神と対話する祭祀場? 宮殿建築の常識を覆す		3.9
博士論文概要 世紀転換期のアメリカにおける日本美術受容(要約)	志邨 匠子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50			

探し出せ!! 信長の屏風絵 焼失前の安土城を描く ローマ法王に献上、所在分からず						かたち百景 仙厓義梵「○△□」 煙に巻く記号、解釈あまた	(竹)	"	7.17
幻の屏風絵探しに“光” ローマ法王に直訴実現 安土城地元町長らが協力要請 420年前に献上 一時はバチカン宮殿に	本谷 一成	東京	11.24			胎土分析が変える考古学 微量元素で土器の産地説明 葬送用の甕棺、他土器と同成分 持ち込み説覆す	松岡 資明	"	7.23
いのちの炎 心の残像12景1 誕生仏	瀬木 慎一	東京夕刊	12.27			美の美 秘仏一聖と俗のはざまで 上、中、下	竹田 博志	"	8.7、14、21
出現! 桃山期のせと物や町 洛中三条界限に専門店街「美濃」の茶陶大量に	竹田 博志	日 経	2.12			芸術が熱かったころ 戦後60年 1~4		"	8.9~12
唐招提寺との歳月	永井 路子	"	2.20			東北に仏都夢みた僧 最澄・空海の論敵、徳一が開いた会津の寺跡調べる	白岩賢一郎	"	8.23
美の美 動く絵画上、中、下一襖絵再発見	松岡 資明	"	2.27、3.6、13			浮世絵に見る武勇十選 1~10	岩切友里子	"	9.22、23、27~30、10.3~6
古代鏡に映る人間ドラマ 20世紀初頭、米へ渡った三角縁神獣鏡の数奇な運命	村上 隆	"	3.2			半歩遅れの読書術 日本の昔話 絵本はマンガ文化のルーツ	池内 紀	"	9.25
花見の情景十選 1~10	川崎 鈴彦	"	3.24、25、28、29、31、4.1、4.5、7、8			美の美 葛飾北斎一モダンの先駆者 上、中、下	宮川 匡司	"	10.9、16、23
広重はニュース絵師? 「名所江戸百景」、安政地震の復興伝える報道の役割	原信田 実	"	4.13			かたち百景 伊賀耳付花入 銘業平 乱世映したゆがみの美	(白)	"	10.16
文化往来 池上本門寺、狩野派絵師の副葬品を公開		"	"			「かくれ念仏」ナゾに迫る 薩摩の一向宗 弾圧の歴史を調査・研究	海江田義広	"	10.25
日光の奇橋次代に渡す 二荒山神社の神橋、半世紀に一度の大修理終える	石川 恒雄	"	4.14			7世紀の邸宅跡 奈良・明日香村 蘇我氏興亡しのぼせる「一等地」に大規模工事 飛鳥時代研究に追い風 日本書紀裏付ける資料に		"	11.14
高台寺蒔絵、早業光る 有名な厨子の扉装飾を検証、当時の技法再現	下出祐太郎	"	5.9			解釈広がるジャポニスム 和洋文化交流の好例 研究領域に幅 双方向に作用	宝玉 正彦	"	11.19
異形石仏秘めた十字架 兵庫・加西市、隠れキリシタンのメッセージを読む	太田 好彦	"	5.17			吉備大臣入唐絵巻の謎 順序の入れ替え 解明に挑む	井上 章一	日経夕刊	10.20
源氏絵400図薫る平安雅 江戸期制作の画帖から源氏物語の受容形態を探る	中野 幸一	"	6.10			井上章一の歴史夢伝説	"	毎日々刊	
かたち百景 秋篠寺「地藏菩薩立像」 厳しい眼差し、鬼も退散	(竹)	"	6.19			出雲大社・よみがえる本殿 懐疑的に見られた48メートル説 最新研究で裏づけ進む			1.31
キトラ「午」像全容解明 「奇跡の朱」目覚めた 魔よけ? 論争はや白熱 泥に守られ1300年 保存作業は難航必須		"	7.15			青森・三内丸山遺跡 衰退期に建てられた巨大施設 縄文人たちの「パベルの塔」か			7.20

奈良・法隆寺の 「エンタンス」 「古代ギリシャか らの伝来」説 学 問の根拠なしに流 布した理由は			9.26	美術批評 草創期に 学ぶ	光田 由里	〃	8.5
福井・一乗谷遺跡 谷あいの城下町か ら出現 中世京都 風の最先端風俗			12.5	手帳 「井真成」遣唐 留学生の謎	片岡 正人	〃	8.8
二光寺廃寺の傳仏を 推理する 美術史的 価値高い異国風の神 法隆寺壁画の年代論 にも一石	大脇 潔	毎日夕刊	3.8	富嶽三十六景 名所 江戸百景 江戸東京 博物館が公開		〃	12.28
蒙古襲来絵詞は改ざ ん? 3人の蒙古兵 は「江戸時代の加筆」 歴史学者が研究の集 大成出版	福岡 賢正	〃	8.19	【特集】釜師・大西家 —精緻な技と朽ちの 美—大西家と画人た ち—芸術とのコラボ レーション—	大西清右衛 門美術館 協力	淡 交	722
遣唐使井真成の墓誌 作者は中国人なのか	王 瑞来	〃	9.1	海外美術史(アジア)			
インドネシアで伊万 里焼の破片 江戸時 代中期の作 外交、 貿易史の史料に	栗原 俊雄	〃	12.28	パーミヤン石窟の仏 教美術	前田 耕作	オリエン テ	30
江戸博蔵めぐり 震 災と復興 職人の粋 鯨の要石を跳ね返す 図	新田 太郎	読 売	3.22	シルクロードを駆け めぐる空想の動物と 神々のイメージ—イ ンドから中国への伝 播を中心に—	勝木言一郎	〃	〃
正倉院フォーラム 天平の異国情緒伝え る宝物たち	東儀 秀樹 特別講演 稲葉 信子 コーディネーター 末崎 真澄、 菅谷 文則、 田村 能里 子、 鷺塚 泰光 パネリスト	〃	9.28	クローズアップ展示 古代オリエントのコ イン	津村真輝子	〃	〃
江戸博蔵めぐり 太 鼓の音槽から響く 名所江戸百景 両ご く回向院元柳橋 歌 川広重画	田中 裕二	〃	12.2	私の美術放浪17~19	永井 信一	新美術新 聞	1059、 1062、 1064
富嶽“四十六景”一堂 に 和のこころ—北 斎と広重—浮世絵展		〃	12.26	近現代史部会共同研 究報告 一九三〇年 代の台湾原住民をめ ぐる統治実践と表象 戦略—「原始芸術」と いう言説の展開—	松田 京子	日本史研 究	510
手帳 “卑弥呼の鏡” ずさんな成分調査	片岡 正人	読売夕刊	3.25	私の空想美術館15 アンコール遺跡	栗津 則雄	美術の窓	259
語る力 史家の挑戦 「講座日本美術史」を 刊行して 蕪村の画 力なぜ人々に伝われ ぬのか	佐藤 康宏	〃	5.17	〔仏教史学会—第五 十五回学術大会〕「文 物に現れた北朝隋唐 の仏教」	礪波 護	仏教史学 研究	48-1
明画と比較 浮かぶ 個性 雪舟 平明さ の先駆け 中国滞在 画風に大きな影響	板倉 聖哲	〃	7.25	〈研究ノート〉ポリネ シアの石斧—環境認 知と資源開発の視点 から—	丸山 清志	物質文化 研究	2
				語りでみる宗教絵画 インド・ベンガル地 方のボト絵	金 基淑	みんぱく	328
				ラビタ文化とオセア ニア研究	印東 道子	民博通信	110
				単眼複眼 日中韓 「青磁の色と形」セミ ナー 「修内司官窯」 杭州に	福島 建治	朝日夕刊	7.25
				中国伝説の文明 よ みがえる夏王朝 新 砦遺跡 二里头遺跡	竹田 博志	日 経	1.1
				シルクロードの古代 商人 ソグド人、考 古学揺るがす 中国 で古墓を発掘 文化 に大きな影響	〃	〃	9.24

かたち百景 シルカ ップ遺跡「仏塔基壇」 浮き彫り ガンダー ラに鳥居の起源?	(竹)	"	10.2	
美の美 一角獣がや ってきた1、2	竹田 博志	"	10.30、 11.6	
装飾経の美 源流ひ もとく 華麗な経典 を古代インドにさか のぼり研究	飯島太千雄	"	11.9	
旅に出ようよ ミヤ ンマー 平原に林立 する遺跡群に「盛者 必衰の理」を思う…	萩尾 信也	毎日夕刊	6.23	
6世紀壁画の宝庫 中国・太原市で発見 北齊武安王壁画墓 保存のため埋め戻す	黄 曉芬	"	8.3	
手帳 釈尊生誕地示 す「印石」 公開巡り 現地と対立	片岡 正人	読売夕刊	6.7	
手帳 「5ミリ」に隠 された歴史の謎	岡本 公樹	"	11.17	

海外美術史(その他)

西洋美術史見直誌 第6回、第7回 王 侯の美術パトロネー ジ ハプスブルク家 の行跡1、2	瀬木 慎一	ア ー ト ト ッ プ	203、204	
西洋美術史見直誌 第9回 美術商の出 現	"	"	206	
「瞥見ポスト・イメ ージ論の美術史学」	辻 成史	大手前大 学人文科 学部論集	5	
シナイ山聖エカテリ ニ修道院のアイコン 「モーセ」と「エリヤ」 について	瀧口 美香	岡山市立 オリエン ト美術館 研究紀要	20	
古代エジプトの初期 ファインスタイル —第1〜3王朝時代 のタイル変遷とジェ セル王のタイル研究	山花 京子	"	"	
サン・ミリアン・デ ・ラ・コゴリヤ修道 院スクリプトリウム 研究—11世紀スペ イン写本の転換—	久米 順子	鹿島美術 財団年報 別冊	22	
ザクセン選帝侯フリ ードリヒ賢明公の美術 パトロネージにつ いての一考察—ヴィ ッテンベルクの聖遺 物カタログを中心と して—	秋山 聡	"	"	
「解釈科学としての 美術史」の形成—ゼ ンパー、リーグル、 パノフスキー—	江藤 匠	カリスタ	12	

中世建築と建築思想	愛宕 出	京都女子 大学人文 論叢	53	
寓話と博物誌—人間 と動物のかかわり 1、2	神尾 玲子	群馬の森 美術館ニ ュース	119、120	
ギリシアの小石モザ イク 前5世紀から 前2世紀の段階的な 変遷と分布	四十九院仁 子	芸術学研 究(筑波)	9	
ロカイユの装飾意匠 画とファンデジー	伊藤 巳令	芸術学研 究(明学)	15	
創刊55周年記念 大 特集 フィレンツェ の秘密 至宝55選! フィレンツェ・ルネ サンスに見惚れる	森田 義之 解説	芸術新潮	661	
はじめに				
I 街角の色から				
II まなざしのリア リズム				
III プライドの共和 国				
IV シニョーリア広 場の政治学				
V エレガンスのほ うへ				
VI 線の官能				
VII 不安と逸脱				
VIII 男色都市の巨匠 たち				
IX なぜ、フィレン ツェだったのか?				
小特集 ボローニャ 余話 ジョヴァンニ ・ダ・モデナとヴィ ターレ・ダ・ボロー ニャ		"	666	
ドイツの欲び 美術 でめぐる、とってお きの旅ガイド	編 集 部	"	668	
バイエルン州 バ ロック・ロココ 黄金と鏡の世界を さまよう				
ライン川&モーゼ ル川 水辺のロマ ネスクをゆく				
企画者にも選ばせ ろ! 「版画でいかに 立体感、質感、色 彩を表すのか、様々 な工夫をこらしてい ます」ドメニコ・ ベッカフーミ《使徒》	渡辺 晋輔 談	"	670	
ペルセポネーに蛇男 コロッセオに集まっ た神々	高橋 恵理	"	"	

特集art brut 我ら孤独な幻視者なり！ アール・ブリュットの驚くべき世界 グラフィック アール・ブリュット人名録A to Z			芸術新潮	671				特集 神経系都市論 身体・都市・クライシス			10 + 1 *	40
建築史学会二〇〇五年度大会 研究発表会報告 ボンベイ、切石積み再考	堀足記	賀貴裕	建築史学	45				装飾という群衆 神経系都市論の系譜	田中 純			
フランス近世建築史 宮殿建築を中心に	中島 智章		"	"				都市の解剖学 剥離・切断・露出	小澤 京子			
アンデス植民地美術論における「メステイゾ(混血)」概念—自己と他者の表象の屈折—	岡田 裕成		国立民族学博物館調査報告	55				都市表象のミクロ分析 印象派展時代の油彩画をめぐる	宮坂 奈由			
論文 メキシコ・テオティワカン遺跡における居住空間の変遷—宮殿3の三次元測定の分析を通じて—	古賀 優子		古代アメリカ	8				シエナ大聖堂下堂の受難伝壁画について	小野 迪孝		東海大学紀要教養学部	35
アピュドスのセティI世葬祭殿で王がオシリスになる儀式	村治 笙子		古代オリエント博物館紀要	25				古代ギリシャの死生観に関する一考察—〈戦士の墓碑〉再考—	中村 るい		東京芸術大学西洋美術史研究室紀要	6-1
4世紀のフラスコ瓶に刻まれたプテオリの神像—腐敗の太陽神の可能性をめぐる—	藤井 慈子		古代文化	553				ヴェズレーのキリスト像のモデリングと顔、4つの渦巻装飾—時代、形式を越えた様式的影響関係—	中西 麻澄		"	"
アウグストゥス時代の女性ポートレート—なげユリアのポートレートが残されていないのか？—	広瀬三矢子		"	561				《ロアンの大時祷書》研究—「エジプトへの逃避」の構図原理に関する考察—	高木真喜子		"	"
回顧と展望 二〇〇四年の歴史学界ヨーロッパ			史学雑誌	114-5				パルテノン・南メトープ、S21の祭神像について—〈アテナ・ポリアス像〉への一提言—	福部 信敏		"	6-2
古代 ギリシア	岡田 泰介							パルテノン神殿フリーズと本尊台座浮彫との関係	"		"	"
近代 イギリス	富田 理恵							ドイツ田園都市の研究 その10 ヴィルヘルム時代の民族至上主義からみたドイツ田園都市の本質	長谷川 章		東京造形大学研究報	6
バルカン縦断 マケドニア・アルバニア他への旅(上)(下)	中西 亨		史迹と美術	752、753				フェッラーラのパラッツォ・スキファノイアの「月暦の間」—解釈の試み—	森山 陽介		富山市箕牛人記念美術館報	14
PARIS発 ビッグバン—20世紀美術	安部 雅延		新美術新聞	1061				世紀末ウィーンの正方形 その1	江本菜穂子		名古屋造形芸術大紀要*	11
PARIS発 憂愁の美学	"		"	1075				ウィトルウィウスのフィリミタスの用法と中世初期までのその変遷について	飛ヶ谷潤一郎		日本建築学会計画系論文集	588
イタリアの美術館における「イタリアのセバスティアヌス像」の所蔵状況の報告	石坂 尚武		人文学	177				ヴェルサイユ宮殿の図像プログラムとラジューヌの悲劇「イフィジェニー」序文にみる新旧論争	中島 智章		"	"
ヴァレリーの芸術論をめぐる一断章風に	清水 徹		水声通信	1				初期アルメニア建築におけるリュプシメ形式教会の架構形式の系譜	篠野藤田羽深	志郎 康仁 久夫 元嗣	"	590
ブシュコスタシア—アテナイ陶器画における「神々の介入」と社会背景—	長田 年弘		筑波大学芸術研究報告	45								

『儀式について』にみるビザンツ皇帝と宗教儀式	太記 祐一	"	"	サンクタ・サンクトルム礼拝堂(ローマ市)旧蔵聖遺物とその木箱容器装飾について	辻 成史		
15世紀フィレンツェにおけるシニョーリア広場の儀式空間としての機能—リンギエラとロッジア・デッラ・シニョーリアの役割について—	赤松加寿江	"	"	第五八回全国大会研究発表要旨		"	159
エジプト、アブ・シール南丘陵頂部石造建造物の「ボルティコ」の屋根について	柏木 裕之	"	591	ビザンティンの象牙トリブティックと聖遺物容器—プログラムの源泉推定の試み—	浅野 和生		
円柱の使用に着目した家型墓の地域性と時代性に関する考察—ヘレニズム期の墓の地域性と時代性に関する研究(1)	武田 明純	"	597	イメージとテキストの葛藤—『ドキユム』をめぐる—	橋本 梓		
世俗建築におけるカヴェルノーズのファサードの意匠性について 中世後期シエナの都市景観に関する研究 その1	片山 伸也	"	"	フィレンツェのルネサンス芸術—神話と歴史のあいだで	小佐野重利	美術史論叢	21
『バルマ福音書』の「マイエスダス・ドミニ」における福音書記者	桜井タ里子	美 学	221	日伊シンポジウム「フィレンツェ—芸術都市の誕生」Simposio 《Firenze : la nascita della capitale delle arti》の報告	"	"	"
ロジェ・ド・ピールの作品記述における語り手(私)の位置について	今村 信隆	"	222	特集 ドイツの現代美術 1990年以降のドイツ美術 「芸術荒野」から「東部フロンティア」へ	山本 和弘	美術手帖	872
美学会第56回全国大会発表要旨 見ることと作ること・ショーヴェ洞窟壁画における表現の多様性をめぐって	小川 勝	"	223	私の空想美術館12 ラヴェンナのモザイク	栗津 則雄	美術の窓	256
【論文紹介(二〇〇三年度同志社大学大学院修士論文梗概)】 空気の造形—「エア・アート」展覧会を手がかりに—	江崎 耕平	美学芸術学	20	巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術		"	260
平成16年度修士論文要旨 『ベアトウス黙示録註解ウルヘル写本』枠と余白に見る独創性	古川 明佳	美史研ジャーナル	2	Part.1 森美術館館長 デヴィッド・エリオット・タビユー「東京—ベルリン／ベルリン—東京」展	デヴィッド・エリオット 談		
一五世紀後半フィレンツェの〈トピアと天使〉の流行とサンタ・フェリチタ修道院における大天使ラファエル顕現の奇蹟	芳賀 里恵	美術史	158	Part.1 ドイツの国際展 「ドクメンタ」と「ベルリン・ビエンナーレ」	山本 和弘		
平成十六年度支部例会研究発表要旨		"	"	Part.1 壁崩壊後十六年のベルリン・アートシーン	和田 真帆		
ストラスブール大聖堂西正面彫刻の図像プログラムに関する一考察—ソロモンの玉座を中心に—	小林久見子			Part.2 ドイツ美術の流れ 総合美術としてのドイツ美術の楽しみ方	薩摩 雅登		
				日本におけるベルギー美術の紹介—「ウィツマン夫妻」について	高瀬 晴之	姫路市立美術館だより	85
				機能している教会堂の「野外文化遺産」としての位置付けと維持・保存のあり方に関する一考察—エチオピア北部、ティグレ地方の教会堂を例に—	米倉 立子	ムゼイオン	51

生成するマラルメ22 世界は一冊の美しい 書物へと到るために つくられている…	柏倉 康夫	ユリイカ	507	建築技術最前線 歴 史的建造物の保存再 生をめぐる技術	松波 秀子	"	1536
鏡像としての円一皇 妃テオファヌ婚姻証 書の世界一	千葉 敏之	立正史学	97	《稲荷山古墳鉄剣発 見35周年記念講演 会》講演1 金象嵌 の分析と新発見事実 講演概要	早川 泰弘	埼玉県さ きたま資 料館報告*	18
〈合同部会〉ギリシア 文化の伝播と受容 10世紀の西方とビザ ンツ文化	竹部 隆昌	歴史学研 究	807	〔短報〕X線分析によ る神護景雲二年御願 経の軸端に用いられ た顔料の調査	成瀬 正和 飯田 剛彦	正倉院紀 要	27
日常のなかの芸術を 体験 フルクサス展	宝玉 正彦	日 経	1.7	《資料集成》鹿児島県 内の考古学的調査に おける年代測定資料 集成	南の縄文調 査室	縄文の森 から	3
かたち百景 ルイス 島のチェス駒 すん ぐりむつくり魔法効 く?	(浩)	"	5.29	ジャパニングと漆	北川 美穂	絲綢之路*	48
ケルト文明の愛と知 十選 1～10	鶴岡 真弓	"	8.16～ 19、22～ 25、29、 30	高松塚古墳の壁画保 存策 石塚解体策が 最有力	(美)	新美術新 聞	1058
美の美 一角獣がや ってきた3、5	竹田 博志	"	11.13、 27	高松塚古墳 石室解 体で壁画修復へ		"	1062
美術 フルクサス展 日常に溶け込んだ芸 術	三田 晴夫	毎日夕刊	1.11	大会実行委員会関連 研究会参加記 敦賀 短期大学地域交流セ ンター・公開シンポ ジウム「博物館・文 書館・大学の資料修 復」に参加して	小堀 幸恵	地方史研 究	317
江戸博蔵めぐり 大 君を取り巻く諸大名 E・テロン画 1860 年代後半 欧州が見 たSHOGUN	畑 尚子	読 売	10.28	覚書・風水害時の文 化財救出——九九 年九月・台風十八号 の回顧を含む——	岡本 正康	潮 流	84
金曜コラム 古代文 明 草の根交流に光 を	周藤 芳幸	読売夕刊	4.15	原状(オリジナルな 状態)と現状の間の 緊張の場における絵 画保存修復	ハンス・ブ ランマー 眞鍋 千絵 訳	東北芸術 工科大学 紀要	12
保 存 修 復				獅子頭制作報告—保 存のための模刻制作 と保存理念の一考察 —	田川新一朗 牧野 隆夫	"	"
作品の光学調査	田中 千秋	ART RAMBLE	9	ベイスギ揮発成分と その文化財材質への 影響II—レーザーラ マン分光分析法によ る金属の変質原因物 質の推定—	及川 規	東北歴史 博物館研 究紀要	6
西洋における美術品 修復の歴史(下)	ジュゼッ ピーナ・ベル ジーニ 森田 義之、 大竹 秀実、 西村 明子、 池田 奈緒 翻訳	愛知県立 芸術大学 紀要	34	携帯型マルチレーザ ーラマン分光分析装 置の開発と応用	高妻 洋成 降幡 順子 肥塚 隆保	奈良文化 財研究所 紀要	2005
江戸時代の藍摺り銅 版画について 附 六作品の試料片調査 結果	森 登 宮田 順一	浮世絵芸 術	149	マイクロフォーカス X線CTによる非破壊 年輪年代測定	大河内隆之 光谷 拓実	"	"
保存修復の現場から コミュニケーション で守る作品の「心」	石井 美恵 嶋根 隆一、 八木 三香 聞き手	NPO JCP NEWS	11	シンクロトロン顕微 赤外分析による古代 絹の材質分析	佐藤 昌憲	"	"
特集 美術品との上 手な暮らし 美術 品と上手に暮らし ていくためにどうし たらいいのか	吉村絵美留	ギャラリ ー*	243	古墳時代出土「土玉」 の材質分析	降幡 順子 肥塚 隆保	"	"
特集 先端技術と建 築 現在の先端技術 に関して5 高断熱 高気密化による古民 家修復	安井 妙子	建築雑誌	1535	重要文化財 平原遺 跡出土品の保存修復	肥塚 隆保	"	"

講演 ロマネスク壁画の発見と修復：ムーティエとグールドンの場合	辻 佐保子	日仏美術学会会報	24	紫外・可視反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究—(1)	吉田 直人 三浦 定俊	〃	〃
修理報告 大猷院本殿「天井画」木造「不動明王像」(大護摩堂 奉安)大猷院本尊「釈迦三尊像」本堂境内「石瑞垣修理」完成		日光山輪王寺	71・72	FCRによるトヨタコレクションの調査	三浦 定俊 松島 朝秀	〃	〃
印刷用製版オルソフィルムRO-100とHSのエミシオグラフィ撮影用フィルムとしての特性				印刷用製版オルソフィルムRO-100とHSのエミシオグラフィ撮影用フィルムとしての特性	松島 朝秀 三浦 定俊	〃	〃
木造重要文化財建造物の耐震補強における意思決定プロセスに関する研究—構造設計者の役割を中心として—	角陸 順香 清家 剛 藤田 香織 宇野 緒晴	日本建築学会計画系論文集	590	カミキリムシに被害された竹製品の低湿処理による殺虫事例	木川 りか 大下 芳博	〃	〃
京都府寂光院重要文化財木造地藏菩薩立像の解体修理について	飯田 雅彦	美術院紀要	7	高濃度二酸化炭素ガス中におけるヒノキ材のひずみの測定	犬塚 将英 木川 りか 佐野 千絵 石崎 武志	〃	〃
神奈川県龍華寺横浜市指定文化財 脱活乾漆造菩薩坐像の修理について	木下 成通	〃	〃	日本画用画材に対する酸性溶液・アルカリ性溶液およびホルマリンの影響	佐野 千絵 福岡 葉子 大野 彩	〃	〃
新技術の需要と現状及び文化財修理技術としての活用(平成十四年度文化庁新進芸術家国内研修報告書(伝統文化分野)より)	川井 久光	〃	〃	印刷インキに用いられる有機赤色顔料への室内汚染ガスの影響	森 克之 佐野 千絵	〃	〃
東京文化財研究所客員研究員・渡邊明義氏に聞く 高松塚古墳の顔料調査の新しい展開	渡邊 明義 談	美術の窓	256	川越市山車収蔵庫施設内の温湿度変化の実測と解析	石崎 武志 高見 雅三 古谷 太慈 ジョン・グルネワルド	〃	〃
修復記録 紙本作品の修復について	石井 亨	ブリヂストン・石橋美術館報*	53	20GHz-TDR装置を使った比誘電率測定の特徴	登尾 浩助 君島 章太郎 石崎 武志 武田 一夫	〃	〃
〈概報〉旧松澤家住宅移築復原工事の経過について	永島 恵 山口 隆太郎	文化財研究紀要	18	土壁の水分吸収・放出に関する基礎的研究	朽津 信明 森井 順之	〃	〃
重要文化財玉林院本堂及び附玄閣保存修理工事について	能島 裕美	文化財レポート	15	鎌倉市百八やぐらの保存を目的とした亀裂計測	朽津 信明 李 心堅 閔 博充 森井 順之 遠藤 努	〃	〃
あの「寂光院火災」から五年、再建と文化財防火		〃	17	文化財の強度測定法と風化度合いの定量化について	朽津 信明 李 心堅 閔 博充	〃	〃
「偽年代」から「偽試料」へ、そして「測定誤差」の大きな壁—「板付I式」の推定年代は測定値の微調整や「測定誤差」の変動によりピークがBC6世紀に移行する！—	鈴木 正博	法政考古学	31	敦煌莫高窟53窟仏龕周辺における土壁中の可溶性塩類について	谷口 陽子 森井 順之 陳 港泉 蘇 伯民	〃	〃
事例報告：彩色漆喰上の汚れ除去に関する試み				事例報告：彩色漆喰上の汚れ除去に関する試み	早川 典子 山本 記子	〃	〃
尾形光琳筆 紅白梅図屏風の蛍光X線分析	早川 泰弘 佐野 千絵 三浦 定俊 内田 篤呉	保存科学	44	高松塚古墳における30年間の気温変動	三浦 定俊 石崎 武志 赤松 俊祐	〃	〃
				遺跡等で使用する樹脂のカビへの抵抗性について	木川 りか 早川 典子 山本 記子 川野 渉 佐野 千絵 青木 繁夫	〃	〃

キトラ古墳開封前の石室内空気環境調査報告	佐野 千絵 間潤 三浦 三浦 定俊	保存科学	44	古筆切の年代判定	小田 寛貴				
キトラ古墳の前室および石室における菌類調査報告	木川 りか 佐野 千絵 間潤 三浦 三浦 定俊	"	"	キトラ古墳の保存と管理	佐野 千絵				
三重県における保存処理後の遺物の経年変化と課題～特に高級アルコール処理を行った木製品の変化について～	角正 淳子	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14	非破壊でわかること・わからないこと	三浦 定俊				
埋蔵文化財調査におけるDNA分析の意義	東 敬義	"	"	試料の採取は資料破壊なのか	永嶋 正春				
古代金器のウラン／ヘリウム放射性原子時計による真贋判定(2)	アレクサンダー・J. コソラボフ クセニア・S. チャグノヴァ	MIHO MUSEUM 研究紀要	5	史跡高野山町石の現状変更	丹野 拓	和歌山県文化財センター年報	2004		
国宝「日向国西都原古墳出土金銅馬具類」鞍橋金具の復元について	東 憲章	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	1	重要文化財 福勝寺本堂ほか2棟保存修理の設計監理	多井 忠嗣	"	"		
《附論》国宝「日向国西都原古墳出土金銅馬具類」鞍橋金具残欠の蛍光X線分析	早川 泰弘	"	"	重要文化財 三船神社本殿ほか2棟保存修理の設計監理	鈴木 徳子	"	"		
宮崎県立西都原考古博物館における金属製品の保存処理と保管	日高 敬子 有馬あゆみ	"	"	重要文化財 熊野那智大社第一殿他7棟保存修理の設計監理	多井 忠嗣	"	"		
特集 文化遺産とミュージアム 有形文化遺産の保存と活用	園田 直子	民博通信	108	県指定文化財 荒田神社本殿保存修理の設計監理	鈴木 徳子	"	"		
発掘調査における土層転写の方法と保存・活用—梅野木前1遺跡の水田足跡痕跡を対象として—	小林 啓	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	3	県指定文化財 十禅律院本堂ほか保存修理の設計監理	鳴海 祥博	"	"		
山形県内出土試料の ¹⁴ C年代測定(1)	小林 謙一 小林 圭一 坂本 稔 松崎 浩之	"	"	県指定文化財 総持寺本堂保存修理の技術指導	"	"	"		
松浦屏風修理報告特輯 国宝・婦女遊楽図屏風(松浦屏風)修理報告書	関地 久治	大和文華	112	重要文化財 金剛峯寺山王院本殿保存修理の設計監理	御船 達雄	"	"		
文化財環境の保全と防災	山崎 正史	立命館大学COEニュース*	4	県指定文化財 阿弥陀寺本堂保存修理の設計監理	"	"	"		
市街地火災延焼モデルの開発	田中 喺義 樋本 圭佑	"	"	戊辰戦争ゆかり小千谷・慈眼寺 修復へ市民が募金活動「薩長」にも声かけ			朝 日	1.24	
防火と耐震規準を両立する歴史的都市建築意匠材料の開発	平尾 和洋 井上 真澄	"	"	新しい「目」で文化財調査 赤外線X線CT… 謎の絵から意外な下絵 万国絵図屏風 3様式折衷くつきりと 潤塗花鳥箔絵密陀絵丸形食籠	佐藤 久恵	朝日夕刊	1.29		
特集 破壊・非破壊—文化財を知る		歴 博	130	140年ぶり極楽色		"		2.12	
遺すためにできること	坂本 稔			「老化」木材で文化財を修復 東芸大・京大	杉本 潔	"		4.22	
				美の現在 壁画と彫刻の保存・修復 現場か別置か悩みの種 復元不完全でも作品力	高階 秀爾	"		6.6	
				バーミヤン遺跡 調査保存は復興の資源 山内和也東京文化財研究所・室長に聞く	山盛 英司	"		8.4	

Shot05 壁画守るハイテクの光 フゴッベ洞窟バクテリア防ぎ公開と両立	宮代 栄一	〃	10.7	高松塚古墳の壁画保存 石室を解体、修復が有力	〃	5.21
甦る 赤レンガ再現 3階・タマネギ形屋根・幾何学模様のレリーフ…駅前広場も一体で	産 経	1.1	高松塚古墳 解体避ける道 はぎ取りなぜ出来ない 経緯の詳細も公表なし	菅谷 文則	〃	6.1
屋根重量減で耐震強化 京都・東本願寺御影堂の修復工事	稲垣 真澄	〃	3.5	高松塚古墳解体決定「文化財保存」の理念 欠落	片岡 正人	〃 6.29
ドレスデンの“聖母”復活	栗橋 隆悦	〃	10.28	アンコール遺跡救済 日本チーム活動10年 伝統工法に徹し修復 予算先細り 継続支援を	〃	〃 7.4
文化往来 「鉄の遺物」発掘に研究グループが指針案	日 経	2.8	アンコール遺跡 バイヨン中央塔倒壊の危機 日本チーム保存修復へ	〃	〃	7.5
守れアフガン文化財 戦乱で散逸・研究者不足 日本の研究機関が協力 仏教遺跡など調査	小橋 弘之	〃	4.2	手帳 パーミヤン壁画 顔料分析に期待	片岡 正人	〃 8.23
歴史建築輝きを塗り込む 壁づくりで支える文化財再生、先人の技に触れる	奥井五十吉	〃	6.8	蛍光エックス線分析装置 光琳の“金箔”見破った！ 美術品調査…小型化で持ち運び可能に	滝田 恭子	〃 10.1
景気東西南北 木曾漆器、新事業を開拓 文化財修復で苦境打開へ	森 晋也	〃	7.18	情 報 処 理		
これで安心自宅の絵画 変色、カビ、ひび割れ… 照明は控えめに 換気で湿度調節	野村 義博	〃	10.29	失われた、あるいは消えつつある形や色を蘇らせる 日立のデジタル・イメージ・システム	伊藤 格	A X I S 117
インドネシア・アチエの現状から 大津波 文化財の被災深刻 貴重なイスラム古文書廃棄も 時間が勝負の救援活動	中島みゆき	毎日夕刊	3.25	近現代作家資料目録について	鯨井 秀伸	アート・ドキュメンテーション通信 64
アフガニスタンの文化財はいま考古当局担当者に聞く 深刻な盗掘、専門家不足 急がれる若手研究者の育成	山成 孝治	〃	4.19	小特集 非文字資料の保存と研究にむけて 学習院大学史料館ホームページ「バーチャル展示室」開設にあたって	学習院大学史料館 紀要	13
パーミヤン遺跡保存事業の現在 保護と開発のはざまに 文化的景観守る必要訴え	山内 和也	〃	8.26	「ミュージアムの文脈と情報技術を統合する総合的な戦略を構築する」	エリザベス・オルナ 高橋 信裕 インタビュー	Cultivate 24
高松塚壁画 最善の保存策へ議論を尽くせ	読 売	5.4	ミュージアム・マネージメント・フォーラム2004 『21世紀のミュージアムと情報戦略』	エリザベス・オルナ 講演 水嶋 英治 文責 編集部 抜粋	〃	〃
高松塚壁画 外部に出し修理 墳丘が“犠牲”に	片岡 正人	〃	5.26	デジタル文化財の化膿性 博物館情報の限界と新たな挑戦	水嶋 英治	〃 〃
社説 高松塚石室解体 遅すぎた？壁画の保存修復案	〃	〃	6.29	デジタルによる文化の集積が新たな「引力」を創造する	清水 宏一 談 吉岡 伸 インタビュー	〃 〃
仏教壁画復元で旅の夢一気に	片岡 正人	読売夕刊	4.1			

新しい知のデザインとアーカイヴ	前田富士男	Cultivate	24	資料の保存と修復—阪神淡路大震災から10年～アーカイヴズと災害～	坂本 勇	千葉県の文書館	10
イギリスにおける文化遺産のデジタル化と利用法—専門知から共有知へ—	竹内 有理	" "	" "	小特集 民間所在史料のゆくえ		地方史研究	314
ADR研究会 公開シンポジウム「アート・ドキュメンテーションの新境地を拓く」波多野宏之松下鈞 高橋晴子高山正也	高記 山	慶応義塾大学アート・センター年報	12	民間史料から文書館・公文書館をとらえ直す—問題提起として—	白井 哲哉		
土方巽アーカイヴ	森下 隆			公文書館の歴史資料と専門職員—秋田県公文書館の改組問題から考える—	渡辺 英夫		
瀧口修造アーカイヴ	村井 丈美	" "	" "	普遍的アーカイブズ像の模索—自治体に所属しない者の視点から—	森本 祥子		
ノグチ・ルーム・アーカイヴ	朝木 由香			地域デジタルアーカイブ推進フォーラム Hakodadigital 2004「ハコダテ・丸ごと・デジタル化計画」		デジタルアーカイブ	26
アーカイヴ	柳井 洋一			『一遍聖絵』画像データベースプロジェクトの活動と成果について	高橋慎一郎	東大画像史料解析センター通信	29
中間評価論文梗概「筑波大学彫刻作品データベース」の構築とその利用に関する研究	古屋 旭代	芸術学研究(筑波)	9	福井県文書館ホームページの評価	神田 竜也	福井県文書館研究紀要	2
日本語のローマ字表記について	富井 玲子	jaic会報	2	〈ノート〉デジタルアーカイブについて—文化資産のデジタル化—	久保田正道	物質文化研究	2
古シルクロードの軍事・行政システム—河西回廊を中心にして—デジタル写真による馬園湾遺址3D解析—辺境遺址調査における画像情報活用の試み—	藤田 高夫 杉村 伸二	シルクロード学研究	22	『おもちゃ箱原簿』と『民具標本収蔵原簿』についての覚書	吉田 晶子	民具マンスリー	443
四川省における南方シルクロード(南伝仏教の道)の研究 第Ⅱ部 論考編 第12章 四川省の衛星画像の分析	恵多谷雅弘	" "	24	村収蔵民具調査の取り組みについて—滝沢村教育委員会民具関係事業の報告—	杉村 英久	" "	" "
PARIS発 サイバー美術館	安部 雅延	新美術新聞	1066	廃校舎を利用した歴史民俗資料館—ブッシュココンによるデジタルアーカイブ—	松田 憲州	" "	449
大日本印刷株式会社が「大英博物館イメージアーカイブ」を作成		" "	1067	スポット2 21世紀のあぶり出し?		目の眼	345
日本の博覧会 寺下勅コレクション[読み物]博覧会資料との出会いと奮闘の記	石川 敦子	太陽	133	文書館図書資料データベース化事業について—専門図書群の収集と整理—	原 由美子 関 信子	文書館紀要	18
近世史料集の編さんとその課題—『赤羽根の古文書 近世資料編』を例として—	石井 一希	田原の文化	31	資料紹介 明治・大正・昭和初期山口県近海の家図について	河村 克典	山口県文書館研究紀要	32
もうひとつの「吉胡貝塚ものがたり」—杉田保男氏寄贈資料—	増山 禎之	" "	" "	日本史のひろば 国立公文書館のデジタルアーカイブ—「アジア歴史資料センター」と「国立公文書館デジタルアーカイブ」—	牟田 昌平	歴史と地理	585
情報コンテンツの理解と再構成のための知識空間のデザインに関する研究 デジタル水族館を事例として	高橋 里奈	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005				

豊富な歌舞伎資料 DVD化 日大が所 蔵品を情報発信	米原 範彦 朝 日	1.11		【資料紹介】臨時全国 宝物取調局による滋 賀県社寺宝物調査の 記録—明治二十一年—	古川 史隆	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	21
Shot05 仮想現実、 美術展にあらわる 本物と複製の垣根低 く 立体CG さながら 古都の「伽藍」巡る 気分	西田 健作 朝日夕刊	2.4		2005年度文化庁予算 国立新美術館に87億 3600万円	(美)	新美術新 聞	1049
単眼複眼 古鏡のデ ジタルアーカイブ化 「陰影図」で制作法の 解明へ	宮代 栄一	3.16	〃	2005年度国際交流基 金事業概要決まる		〃	1063
信長も見た?能舞台 西本願寺CGで創建 時の姿	杉本 潔	9.2	〃	美術市場レーダー 163、165	瀬木 慎一	〃	1066、 1072
キトラ古墳 DVD 極彩色の獣頭人身		産 経	3.30	史跡荒屋敷貝塚の位 置付け	斎木 勝	千葉県文 化財セン ター研究 紀要	24
文化往来 日本のア ーカイブズ、整備な お遅れる		日 経	5.4	小特集 民間所在史 料のゆくえ 阪神・ 淡路大震災の教訓は 生かされたのか—	平井 義人	地方史研 究	314
文化往来 文化遺産 のデジタル化、目録 整備が重要		〃	7.12	【動向 陵墓問題】二 〇〇四年度の陵墓問 題をめぐる動向につ いて	外池 昇	〃	315
お助け得急便 ネット で美術館を深く楽し む お出かけ前に チェック		〃	11.12	ホット・レポート 追加指定された史跡 下布田遺跡	赤城 高志	調布の文 化財	37
ネットナビ ぶらり 美術・博物館 7800 施設を網羅 催し手 軽に検索		日経夕刊	12.12	日本の世界文化遺産 に関わる保護の状況 —世界遺産推薦書 を通して—	下北 恭史	筑波大学 芸術研究 報告	45
ドキュメント挑戦 技を伝える14 九州 大 CG映像に 芸術 家の感性	吉川 和輝	〃	12.22	平城宮跡を中心とし た国有遺跡の管理・ 運営・活用の現状	栗野 隆	奈良文化 財研究所 紀要	2005
大英博物館が画像貸 し出し ミイラマ スクなど収蔵品5000点	古田 信二	毎 日	7.22	橿川村・平沢地区の 特質—伝統的建造物 群保存対策調査から —	西山 和宏 窪寺 茂	〃	〃
法隆寺の焼失 壁画 CGで再現	松本 博子	〃	10.28	五條市新町町並み調 査	清永 洋平	〃	〃
イラク国立博物館 名品350点DVDで「公 開」		読売夕刊	1.25	「武力紛争の際の文 化財保護のための条 約(1954年ハーグ条 約)」成立の経緯と 日本の関与 国際社 会における文化財保 護と日本 その1	平賀あまな 斎藤 英俊	日本建築 学会計画 系論文集	588
文化財行政							
地方のデザインをゆ く 最終回 インキ ュベーション	上條 昌宏	A X I S	117	中央アジア歴史都市 サマルカンドにおけ るティムール朝建築 の修復と活用の変遷	鳳 英里子	〃	590
平成16(2004)年度 大阪市指定の文化財	大阪市教育 委員会	大阪の歴史と文化 財	15	ルアンプラバンの歴 史的遺産保存地区に おけるPSMVの現状 と課題	シッティワ ン・ソムチ ット 順子 河本 阿部 浩和	〃	591
歴史的建造物と地域 学	山本たか子	大田区立 郷土博物 館紀要	15	ジョン・ラボックに よる古記念物保護法 の制定とその後の建 築保存行政への影響 について—英国にお ける歴史的建造物の 保存に関する研究—	大橋 竜太	〃	594
特集 都市と文化環 境 文化政策を組み 込んだ地域経済モデ ルづくりが、新しい 都市像を創る	藤 泉 談	Cultivate	26				
ここが知りたい建築 の?と! 世界遺産	日高健一郎	建築雑誌	1533				

フランスにおける歴史的建造物の周囲の景観保全に関する研究 フランス建造物監視官(ABF)の役割を中心に	和田 幸信	日本建築学会計画系論文集	596	特集 世界遺産—第28回世界遺産委員会と「紀伊山地の霊場と参詣道」—	文化財*	496
ルアンプラバンの歴史的町並み保存に関する行政の取り組みと住民意識	シッティワ ン・ソムチ 河本 順子 阿部 浩和	"	598	第28回世界遺産委員会の概要	石田 裕美	
時評 オオヤマト古墳群にみる古墳の保存と活用	後藤 真 植野 良子	日本史研究	512	世界遺産をめぐる議論のゆくえ—第28回世界遺産委員会に参加して—	本中 眞	
時評 京都府向日市の宝菩提院廃寺「湯屋遺構」保存活動の経過	西山 良平	"	514	登録審議にみる世界遺産の課題	下間久美子	
歴史通信 開田城土塁跡保存問題について(II)—復元模型の製作と土塁跡の整備—	小倉 英樹 吉田 賢司	"	520	紀伊山地の霊場と参詣道	奈良・三重・和歌山県教育委員会	
文化財レポート 平成十六年後期の史跡等の指定(上)(下)		日本歴史	687、688	バーミヤーン渓谷の文化的景観と古代遺跡群	稲葉 信子	
文化財レポート 紀ノ川流域の治水灌漑遺跡の調査と保存—和歌山井堰研究会の活動から—	梅津 一郎	"	691	特集 世界文化遺産保護の新たな展望—「大和宣言」のもたらすもの—	"	497
文化財保護法の一部を改正する法律等について	橋田 裕	博物館研究	448	はじめに	辰野 裕一	
古代史情報	片岡 正人	東アジアの古代文化		世界の文化遺産保護の新たな取り組みの始まり—国際会議「有形文化遺産と無形文化遺産の保護—統合的アプローチをめざして」の開催—		
(陵墓参考地一覧について)			124	公開シンポジウム「有形・無形の世界遺産の国際的な保護と発展」の開催	文化庁伝統文化課	
(高松塚古墳について)			125	「奈良文書」と「大和宣言」の間—有形文化遺産と無形文化遺産の統合的アプローチに向かうために—	渡邊 明義	
特集1 横浜トリエンナーレ2005へ行こう! 全71プロジェクトの見どころをすべて網羅 横浜市の文化行政とトリエンナーレ サーカスと村祭りの狭間で	久木 元拓	美術手帖	871	世界の無形文化遺産の保護制度のこれから	植木 行宣	
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術		美術の窓		有形・無形文化遺産の統合的保護に関する国際会議に至るまでの経緯	湯山 賢一	
横浜トリエンナーレ2005 作戦会議 招集される 国際展における市民参加のあり方			259	有形・無形文化遺産の保護—統合的アプローチへの発想(Key Concepts)—	ファクリ・ハッサン	
「愛・地球博」スタート 万博におけるアートとは			260	「有形文化遺産と無形文化遺産の保護—統合的アプローチをめざして」に参加して	ウーゴ・ミズゴ	
「横浜トリエンナーレ2005」いよいよキック・オフ			262			

「有形文化遺産及び無形文化遺産の保護のための統合的アプローチに関する大和宣言」について	松浦晃一郎			〈概論〉歴史的都市・村落の周辺環境保全について	中村賢二郎		
「行政目的で行う埋蔵文化財の調査についての標準」(報告)について	文化庁記念物課	〃	〃	〈国内の事例〉日本における歴史的都市・村落の周辺環境保全	上野 邦一		
新指定の文化財(民俗文化財・記念物)	文化庁文化財部	〃	498	〈国内の事例〉京都市の周辺環境保全—京都市の取り組み—	寺本 健三		
登録有形文化財一覧第45回登録有形文化財	文化庁建造物課	〃	〃	〈国内の事例〉伝統環境保全への取り組み—金沢市の周辺環境保全—	不破 正人		
特集 新たな文化財保護行政の展開		〃	500	〈海外の事例〉フランスの周辺環境保全—	和田 幸信		
新たな文化財保護行政の展開	岩橋 理彦			〈海外の事例〉イタリアの景観保全の50年	宮脇 勝		
文化財保護法の一部を改正する法律等	文化庁伝統文化課			〈海外の事例〉ドイツの周辺環境保全	中村賢二郎		
文化的景観の保護	河村 裕美			特集 歴史的都市・村落の周辺環境保全		〃	〃
民俗技術の保護	菊池 健策			文化財周辺環境の保全における類型と保全方法	江面 嗣人		
登録制度の拡充はじめに	文化庁伝統文化課			景観法による環境保全の可能性	岸井 隆幸		
登録制度の拡充登録有形文化財(美術工芸品関係)	佐々木利和			文化遺産の周辺環境保全の新しい課題	益田 兼房		
登録制度の拡充登録有形民俗文化財	菊池 健策			登録有形文化財一覧第47回登録有形文化財建造物	文化庁文化財部参事官(建造物担当)	〃	〃
登録制度の拡充登録記念物	河村 裕美			新指定の文化財(無形文化財・記念物)	文化庁文化財部	〃	504
文化財保護法の一部改正Q&A	文化庁文化財部			選定保存技術の選定・認定	〃	〃	〃
埋蔵文化財関係統計資料(平成16年度版)の解説と分析	清野 孝之	〃	〃	平成16年度海外展報告「日本の考古—曙光の時代—」展			
「地域文化で日本を元気にしよう!」文化審議会文化政策部会報告書概要	文化庁長官官房政策課	〃	〃	ドイツ連邦共和国開催海外展「日本の考古—曙光の時代—」開催報告	原田 昌幸	〃	〃
新指定の文化財(美術工芸品)	文化庁文化財部	〃	501	高松塚古墳壁画の現状について 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策検討会資料の理解のために	文化庁美術学芸課	〃	506
新指定の文化財(建造物)	〃	〃	502	登録有形文化財一覧第48回登録有形文化財	文化庁文化財部参事官(建造物担当)	〃	〃
伊根浦—保存の歩みと意義、課題—	日向 進	〃	〃	新指定の文化財(建造物)	文化庁文化財部	〃	507
新選定の文化財(伝統的建造物群)	文化庁文化財部	〃	〃				
登録有形文化財(建造物)一覧	文化財部参事官(建造物担当)	〃	〃				
特集 歴史的都市・村落の周辺環境保全歴史的都市・村落の周辺環境保全について		〃	503				

加賀橋立一船主集落の保存の意義―	澤出 幸雄	文化財*	507	世界遺産ニュース					
新選定の文化財(伝統的建造物群)	文化庁文化財部			[国際編]					
(現状変更)旧松澤家住宅 附 倉屋指定説明書		文化財研究紀要	18	[国内編]					
特集 文化遺産とミュージアム		民博通信	108	世界遺産Q&A					
有形・無形文化遺産とミュージアム―ユネスコにおける無形文化遺産保護条約採択を機に	吉田 憲司			鹿児島県指定有形文化財 川邊コレクション目録	菊野 智美	黎明館調査研究報告		18	
未来の相続者は誰なのか?―文化財と文化遺産	木下 直之			雲部車塚古墳(陵墓参考地)限定公開について	石山 久男	歴史地理教育		683	
「世界遺産」という語りのしかけ―脱臭される世界	川口 幸也			日本史のひろば 世界文化遺産		歴史と地理			
エコミュージアムからオープンラボへ―世界遺産都市の生態学的継承に向けた試論	山村 高淑			法隆寺	森 郁夫			585	
故宮博物院における「フォルモサ展」―台湾における歴史認識の変化と文化遺産	野林 厚志			古都京都の文化財	益田 兼房			587	
文化遺産の創造と継承―デベレの壁画と博物館	亀井 哲也			古都奈良の文化財	土橋 理子			590	
リーディング・ガイド	吉田 憲司			文化財指定の問題点、そして庶民文化財の試み	西 和夫	歴史と民俗		21	
世界遺産を行く モンゴル・オルホン渓谷		ユネスコアジア文化遺産ニュース*	13	「郷土愛」と「愛国心」をつなぐもの―近代における「旧藩」の顕彰―	高木 博志	歴史評論		659	
《文化遺産レポート》スリランカにおける文化遺産被害状況調査	末森 薫			第38回大会報告を聞いて 高木博志報告を聞いて	畔上 直樹				
特集 熊野、高野山、吉野・大峯 紀伊山地の霊場と参詣道 神々の宿る地	小山 靖憲	ユネスコ世界遺産年報	10	【歴史のひろば】遺跡保存運動の最前線―川岡勉・島津豊幸編『湯築城と伊予の中世』に学ぶ―	藤田 達生			663	
2004年登録の世界遺産	城戸 一夫 吉田 正人			文化による都市創造 5 シンガポール 楽しさに満ちた芸術都市への飛躍	ロー・キー ホン	遠 近		7	
特別対談 アジアの世界遺産の保護を目指して	渡邊 明義、 平山 郁夫 談 昇 野口 聞き手			よみがえれ、イスタリフ アフガニスタン復興へ向けた陶芸技術交流	ファルク・ アーセフィ				
緊急レポート 国境をまたいで登録された高句麗遺跡群	西谷 正			プロデューサー元年 育成の現場から 下コンテンツを「外交官」に 海外進出めざし法整備急ぐ	野波 健祐 鈴木 敏夫 久保 雅	朝 日		1.6	
日本ユネスコ協会連盟現地レポート パーミヤンの文化財を守るための保護活動	岩本由美子			文化創造・時持ち・小さな官 2030年までの日本 活力維持へ未来像				3.20	
				社説 高松塚古墳 壁画の保存を最優先に				4.22	
				社説 高松塚壁画 石室の解体も仕方ない				5.13	
				高松塚解体 文化庁は何をしていた				6.29	

海外の提携紙から南大門は「国宝1号」の座を譲るのか 東亜日報(韓国) 一般記事(8日付)				11. 17	産業遺産シンポジウム特集 産業遺産に人間の歩み 将来への手掛かり探る 保存・活用国挙げて動け 観光資源、地域活性化促す	松岡 資明	〃	4. 25
埋蔵文化財調査に「標準」 地域独自の手法調整も重要	中村 俊介	朝日夕刊		1. 26	経済教室 景観が変わる 上「美」創造へ規制強化 国民の自覚必要 日本の文化的価値高める	伊藤 滋	〃	5. 3
震災10年で文化庁調査官 「被災住民に役立つ発掘を」	今井 邦彦	〃		2. 4	高松塚古墳 壁画保存妙案なく 大勢は「石室解体」 文化庁検討会慎重論も根強く		〃	5. 16
日本最古の人骨も出土 洞穴遺跡ピンチ 那覇の住宅地 私有地、管理届かず	中村 俊介	〃		3. 5	文化往来 芸術家の滞在施設事業、成果と課題		〃	11. 18
こころの風景 COEプログラム	大橋 一章	〃		3. 9	京都ブランド 輝き新たに世界へ 伝統産業、商品開発に熱		〃	11. 24
アフガン国立考古学研究所長らに聞く「若手学者の育成に支援を」	宮代 栄一	〃		3. 14	われら国連人24 国益を超える	原田 勝広	日経夕刊	8. 5
戦争遺跡、文化財に国・自治体指定や登録 軍施設・壕…100件超す	四倉 幹木	〃		6. 4	文化財守るNPO育て 文化庁 活動に補助金 モデル紹介も		〃	10. 15
民間に道開く指定管理者制度 文化施設、意義見失うな 専門性に配慮した評価機関不可欠	小林 真理	〃		9. 29	記者の目 高松塚古墳の国宝壁画保存精巧な石室模型造り 急げ 美術陶板で環境展示を	田原由紀雄	毎日	5. 25
東京都7年ぶり美術品購入へ バブルの愚繰り返さず 高騰前の若手作品中心		産 経		11. 22	記者の目 高松塚古墳の壁画保存問題 石室解体尚早議論尽くせ 絵残す技術論のみ先行	中本 泰代	〃	6. 9
高松塚壁画 密室の議論はお断り		東 京		5. 28	発信箱 飛鳥美人の落ち着く先は	西木 正	〃	6. 19
高松塚壁画 本当に保存できるのか		〃		6. 29	高松塚古墳 石室解体し壁画修復 文化庁対策検討会決定 07年にも着手	中本 泰代	〃	6. 28
高松塚壁画の保存に思う 「壁画」あつての特別史跡	金関 恕	東京夕刊		7. 11	文化という劇場 解体決まった高松塚古墳 将来のために責任追及を	栗原 俊雄	〃	7. 3
高松塚の壁画 劣化見過ごした文化庁 石槨の解体は保護行政の敗北	辰巳 和弘	〃		7. 21	高松塚古墳 飛鳥美人を救え ゴール見えぬ旅路	中本 泰代	〃	7. 18
文化往来 パーミヤン遺跡、保存の取り組み着々		日 経		1. 10	文化財をどう危機管理するか 新潟県中越地震で問われる官民連携	内田 俊秀	毎日夕刊	1. 19
首都圏リポート 映像クリエイター“横浜発”に夢 会社員・学生ら集結市も応援 異業種交流大学院開講 拠点構想に追い風		〃		1. 22	討論 高松塚古墳の国宝壁画 「石室解体による保存」のは非は 上原和氏 現状では最善の判断 網干善教氏 他の手段があるはず	栗原 俊雄 山成 孝治	〃	5. 9
経済教室 「創造都市」の世紀に 芸術文化が基盤 創造性高め、先端産業振興	佐々木雅幸	〃		4. 12				

“高松塚問題”と文化財 壁画の危機が問いかけるもの	小川 伸彦	毎日夕刊	6.22
加茂川幸夫・文化庁次長に聞く 高松塚古墳解体・保存問題「なすべき管理はした」劣化の結果責任は認める	山成 孝治 中本 泰代	〃	8.24
高松塚古墳の石室解体は正しい選択か	松田 真一	〃	8.25
文化遺産と社会の共存考える 大阪で来月、世界考古学会議	山成 孝治	〃	12.2
三宅島通信 文化財の補修 地道に 沖山友美さん		読 売	2.27
社説 近代化遺産保存に欠かせぬ地域住民の熱意		〃	5.23
スキャナー 墳丘より国宝壁画優先 高松塚石室解体決定 専門家ら戸惑い 劣化発覚わずか1年 新たな壁画発見なら石室内保存は困難?	藤岡 博之	〃	6.28
イラン・イスファハン 世界遺産近くに高層ビル 政府「景観守れ」市は建設強行 ユネスコ、打開働きかけ	緒方 賢一	〃	7.6
バーミヤン遺跡保存 国際会議 周囲の景観維持提言 住民の生活と両立できるか	片岡 正人	読売夕刊	1.12
重文レンガ窯ピンチ 栃木所有社破産、補修3年中断		〃	2.16
盗掘品や盗品に甘い日本 文化財不正取引阻止へ 国内法の整備必要	片岡 正人	〃	3.16
宗教はいま 伊勢神宮式年遷宮を機に考えよう 神々の森温暖化鎮める	植田 滋	〃	7.9
九州の産業遺産を世界遺産に 島国日本の近代化支え	スチュアート・B・スミス 加藤 康子 訳	〃	8.2
高松塚古墳 壁画の劣化なぜ許した? 渡辺明義氏「保存科学わからなかった」林温氏「最善尽くしたとは言えず」	片岡 正人 聞き手	〃	10.6
アフガン零年&遺跡修復	前田 耕作	〃	10.21
景観と歴史の間 中利便性か記憶尊重か		〃	11.30

美術教育

総合大学における美術の授業の可能性	近藤 幸夫	aica JAPAN	6
RCAの学生たちが描いた「夢のデザイン誌」	中島 恭子	A X I S	114
地方のデザインをゆく 第6回 大学	上條 昌宏	〃	116
学長室から「混沌から躍り出る星たち」のために	芳賀 徹	瓜生通信	33
プロジェクトセンターが立ち上がりました。	芳賀 徹、 大野木啓人 談	〃	〃
「戦時下における児童文化」について(その一〇)ー「東日小学生新聞」の「紙上作品展覧会」における位相と展開一〇)ー	熊木 哲	大妻女子大学紀要	37
陶芸教育における素材開発の研究	山崎 羽場 達文彦	金沢学院大学紀要 文学・美術編	3
シリーズ・美術教育の実践者たち1 アトリエ・バオバブの樹 絵画造形教室 池田直樹		ギャラリー一	244
グラフィックデザインのベーシックー基礎造形とグラフィックデザインの導入教育ー	高濱 豊	京都嵯峨芸術大学 紀要	30
20世紀後半のアメリカ合衆国における美術批評教育の史的展開	和田 学	芸術学研究(筑波)	9
特集 岐路に立つ建築教育ー国際化のうねりのなかで		建築雑誌	1537
欧米の建築教育現場の実際1 欧米の建築デザイン教育の実際	国広ジョージ		
欧米の建築教育現場の実際2 米国大学における構造教育ー建築全般にわたる素養か、幅広い力学的素養か?	西谷 章		
欧米の建築教育現場の実際3 カーネギーメロン大学建築学科における環境系教育	藤井 晴行		
欧米の建築教育現場の実際4 海外の計画系教育	岡本 和彦		

アジア地域の対応 1 台湾における 構造エンジニア教 育	楊 永斌 吹田啓一郎 翻訳			東京芸大が動物園で 入試	"	"	1058
アジア地域の対応 2 韓国建築教育 制度の変化と課題	任 昌福 鄭 昶源 翻訳			富山発 新生富山大 学に「芸術文化学部」 が誕生		"	1062
実務界からの建築 専門教育への期待 と要望 1 いま建築教育に必 要なこと 設計実 務の立場から	六鹿 正治			東京芸大日本画科で 完成「源氏物語絵 巻」模写の披露式 徳川美術館に「現状 模写」贈呈 支援し た東京美術倶楽部 には感謝状授与		"	1075
実務界からの建築 専門教育への期待 と要望 2 根本に帰る	岡本 宏			「芸大アートプラザ」 オープン		"	"
近い将来の具体策 1 建築デザイン 教育の未来は	古谷 誠章			多摩美術大学共同研 究「小学生の創造 性支援の研究」	田口 敦子 楠 房 遠 毅 田 俊彦 廣 山 瀬 幸 村 生 井 幸 山中	多摩美術 大学研究 紀要	19
近い将来の具体策 2 建築技術教育 の行く道とグロー バリゼーションへ の備え	中島 正愛			出土品等の活用を考 える一次世代とつな がる考古学のために (覚書)一	上守 秀明	千葉県文 化財セン ター研究 紀要	24
近い将来の具体策 3 APECアーキ テクトとの教育要 件について	山中 保教			「土器ッと古代“宅配 便”」を使った授業 について	花島 理典	"	"
近い将来の具体策 4 JABEE認定制 度と建築教育	藤井 俊二			普及啓発活動の1つ の試みー考古資料の ペーパークラフト化 ー	山田 貴久	"	"
まとめ 時代が求 める建築教育のあ り方	吹田啓一郎			Body, City and Archi- tecture Workshop on discernment and conscious acts 身 体の文化、建築、そ して都市	ナンシー・ フィンレイ +東北大学 都市・建築 学講座フィ ンレイ研究 室 篠儀 直子 訳	10 + 1 *	39
特集 情報化時代の 建築設計のあり方 建築設計のIT化に 関する問題点や利点 の具体例 4 教育分野 へのIT利用	川角 典弘	"	1538	教育分野における木 材を活かしたデザイ ンの基礎的研究ー 2004. 6(研究始動)〜 2005. 6の活動報告ー	八重樫幾世 子 鉄矢 悦朗	東京学芸 大学紀要	57
シリーズ歴史資料紹 介 9、10 女子美の ルーツを訪ねて 1、 2	青木 純子	女子美	150、151	美術分野と生物分野 の連携展覧会の報告 とその考察 異分野 との連携実践「ケイ ソウ展ー珪藻、知と 美の小宇宙」1	鉄矢 悦朗 真山 茂樹 大隅 理恵 福井 奈美子 山田 修平 押方 和広 渡辺 剛 渡邊 篤史	"	"
OGインタビュー アトリエ・エレマン ・プレザン主宰ー佐 藤敬子さん・肇さん 夫妻ー	立石 雅夫 インタビュー ー	"	152	ようこそ！博物館の 舞台裏へ 第5回 「ボランティアとい う仕事」ご案内 教育普及室長・ボラ ンティア室長加島勝	鬼頭 智美	東京国立 博物館ニ ュース	671
女子美術学校におけ る戦前の朝鮮留学生 刺繍科卒業生を中心 に	朴 修賢	女子美術 大学研究 紀要	35	子どもたちの心に響 くー「やきもの」体験 授業ー	津屋結唱子	陶 説	627
日本初 社会人のた めの芸術運営実務エ キスパート講座 慶 大大学院で新たに講 座開設、入試概要を 公表		新美術新 聞	1044				
東京芸大教授に北野 武氏 4月新設の大 学院映像研究科で	(美)	"	"				

DoMEインタビュー 子どもたちとアーティストの出会いの場 をプロデュース NPO法人芸術家と子どもたち 代表／堤 康彦さん	堤 康彦 談	ドーム	79	ワガママ編集者・江 藤千恵子が本音で指 導！ プロのマンガ 編集術 出張版 福 岡コミュニケーショ ンアート専門学校編 第10回	江 藤 千 恵 子、中村美奈子 構成	みづゑ	71
連載 ボクのきまぐ れピクニック02 子 どもたちって、こん なふうになつて、こ んなふうになつて、 ものをつくる生 き物だったんだ	山本 育夫	〃	81	情報デザインとして の「ポスター制作実 習」	石井 輝義	ムゼイオ ン	51
ニュー・プリント・ スタジオ訪問2 武 蔵野美術大学 来年 度より独立する版画 専攻	辺 見	版画芸術	130	柳亮監修『芸用人体 解剖図譜』について	伊藤 恵夫	横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	2
【論文紹介(二〇〇三 年度同志社大学大学 院修士論文梗概)】 アート・ゲームによ る感性とことばの育 成	三浦 初美	美学芸術 学	20	韓国における教育課 程改革の動向と美術 教育の現状—第7次 教育課程の紹介を中 心にして—	金 善愛	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	50
子どもと美術1 座 談会「図画工作教育 の現場から」	鈴木 弘之、 時任 勝、 辻 政博、 横内 克之 談	美術手帖	865	知財立国へ 新課程 次々に		朝 日	1.4
子どもと美術2～7	柘植 響	〃	866、868、 870～873	早大「一文」「二文」に 幕 新学部に再編 07年度「文化発信」全 面に	柏木 友紀	〃	3.9
中特集 美術教育を 考える 京都造形芸 術大学	芳賀 徹、 高階 秀爾、 千住 博 対談 建二 司会	美術の窓	263	ツウのひと声 美術 アニメよ過保護に負 けるな	村田 真	朝日夕刊	3.4
仲介の感性論		美術フォー ラム21		首都大学東京 「文 化学科」創設へ 教 養人を育成		産 経	1.5
事例研究8 子ど もの「見る」力を活 かす教師の役割と は	人見 和宏		11	漫画やアニメ 大学 で学科増 里中さん ら講師に		〃	1.9
論文2 学校教育 における鑑賞学習 指導の実態と課題 —2003年度鑑賞学 習指導についての 全国調査の考察を 通して	大橋 功	〃	〃	クリエイター大学で 養成 学部学科今春 相次ぎ開設 映画、 漫画…教授に著名人		〃	1.23
ヴィジュアル・エ デュケーション	岩城 見一		12	足立に東京芸大「千 住キャンパス」		〃	1.29
特集 世界遺産—第 28回世界遺産委員会 と「紀伊山地の霊場 と参詣道」— 世界 遺産の保護と教育戦 略—筑波大学世界遺 産専攻の試み—	日高健一郎	文化財*	496	鳥瞰憂歎 東京芸大 大学院に映像研究科 一流監督ら教授に英 才教育 映画人育成 へ国立初 技術継承 に危機感高まり	勝田 友巳	毎日夕刊	2.1
				多摩美大に芸術人類 学研究 来年度設 置		読 売	7.9
				建築望見 設計意図 や方法伝えるために	高野 清見	読売夕刊	6.4
				野生呼び覚ます芸術 人類学 多摩美大 「研究所」創設に寄せ て	中沢 新一	〃	7.19

古 美 術

絵 画

東 ア ジ ア

特集 共生する神・人・仏—日本とフランスの学術交流—その後の「月のねずみ」考—二鼠譬喩譚・東アジアへの視界

中 国

西域壁画における型の使用法

美術館・博物館をめぐる 明代絵画と雪舟—於根津美術館—

平成十五年度博士論文(課程)要旨 中国古代における山岳狩獵図の系譜とその風景の表現—青銅器から画像碑へ—

遼代墳墓壁画の研究—各地域の時期別の特徴—

唐代山水画の主題に関する研究—神仙山水と樹石画を中心に—

王蒙筆「太白山図巻」初探

蘇東坡にとつての絵画と詩文

徐渭の自用印をめぐる一考察 徐渭書画研究の基礎として

my favorite things 企画者にも選ばせろ! 「雪舟は中国でこんな絵にはまっていたんです」

宋代における仕女図の受容に関する考察

特集 中国学の現在『儒林外史』『楔子』の一考察—「借名流隠括全文」とは—

中唐の劉商について—詩人・樹石画家・道士としての生涯—

〔館蔵品研究〕(伝)董源「寒林重汀図」の観察と基礎的考察(下)

小峯 和明 アジア遊学 79

井上 豪 秋田公立美術工芸短期大学紀要 10

板倉 聖哲 アジア遊学 77

龔 詩文 大阪大学大学院文学研究科紀要 45

李 天銘 鹿島美術財団年報別冊 22

竹浪 遠 " " "

福岡さち子 " " "

河村晃太郎 関西大学東西学術研究所紀要 38

荒井 雄三 芸術学研究(筑波) 9

板倉 聖哲 芸術新潮 667

古田 真一 芸術論究 32

緒方 昭 国学院雑誌 1183

竹浪 遠 古文化研究 4

" " " "

八大山人の花鳥主題と景德鎮青花磁器の文様

宮崎 法子 泉屋博物館紀要 21

敦煌莫高窟壁画の奏楽場面に見る楽器—唐時代の楽器編成と形式—

山田 実紀 帝塚山大学大学院紀要* 6

大会抄録 北宋時代知識人の絵画表象—「睢陽五老図」を例に—

板倉 聖哲 東洋史研究 64-3

中国における獣頭人身十二支像の展開

加藤 真二 奈良文化財研究所紀要 2005

展覧会評「南宋絵画—才情雅致の世界—」展

小林 宏光 美術研究 386

敦煌莫高窟第二五四窟北壁の仏説法図をめぐる—北魏時代中心柱窟の礼拝空間における壁画構想への視座—

濱田 瑞美 美術史 158

平成十六年度支部例会発表要旨 敦煌莫高窟第三二一窟《宝雨経変》についての再検討—その主題と唐代美術における位置づけをめぐる—

西林 孝浩 " "

(伝)胡直夫筆布袋図・無住子筆朝陽対月図に関する一考察—その絵画表現における共通性—

鈴木 忍 美術史論叢 21

展覧会 PREVIEW 明代絵画と雪舟

板倉 聖哲 美術の窓 262

読む書物、見る書物—伝統中国の絵本(一)(二)

井上 進 百 科* 512、513

特集 九州国立博物館開館によせて 頂相における像主の表象—見心来復像の場合—

井手誠之輔 仏教芸術 282

董源と其の時代の絵画をめぐる

王 凱 武蔵野美術大学研究紀要 35

敦煌莫高窟第420窟法華経変相図に関する試論

下野 玲子 早大會津八一記念博紀要* 6

日 本

巻頭特集 至福のミュージアム 美の巡礼たちの終の棲処 金刀比羅宮

田窪 恭治 アー ト ッ プ 201

新発見 長谷川等伯の実像に迫る

黒田 泰三 " 202

蕭白のその画—その振る舞いの先に見えるもの

狩野 博幸 " 203

夜の絵画史 妖しき闇の住人たち	安村 敏信	ア ー ト ト ッ プ	205	仙厓の動物画の特徴と時代性—広義の動物画の歴史における仙厓の位置	〃	〃	〃
江戸時代における光琳像の変遷について(下—)—享和・文化—	安田 篤生	愛知教育 大学研究 報告	54	仙厓画雑感二、一答なき人生相談と悟りの表象—	黒田 泰三	〃	〃
平成十五年度愛知県史を語る会 第二回 信長とその時代「長篠合戦図屏風」を読み解く	高橋 修	愛知県史 研究	9	月波楼と濯足洞—青盛氏の文芸資料—	菅原 範夫 西本 寮子	入 船 山	15
四季絵「不忍池図」について考えられること	山本 丈志	秋田美術	41	「のぞきからくり」の地獄絵	根井 浄	印度学仏 教学研究	107
特集 日本文化に見る道教的要素 中国の鍾馗と日本の鍾馗画像イメージの比較を中心に	王 勇	アジア遊 学	73	〈図版解説〉展覧会より：「国芳・晁斎」展 国芳「鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘」	田中 晴子	浮世絵芸 術	149
特集 共生する神・人・仏—日本とフランスの学術交流		〃	79	〈図版解説〉展覧会より：「国芳・晁斎」展 晁斎「娘 小供を遊ばせる図」	加美山史子	〃	〃
反魂香と李夫人の幻影	フランソワ・ラシヨー			「大坂歌舞伎展」について	竹本 幹夫	〃	150
物語られた六道図 善光寺如来絵伝への六道絵の影響	鷹巣 純			上方役者と俳諧・狂歌連—初代嵐璃寛とその扇画たち	アンドリュ ー・ガース トル	〃	〃
特集 楽園—東と西— 鬼の国の風景 御伽草子の四方四季	橋本 正俊	〃	82	上方における双六と役者似顔—大英博物館蔵・寛政期の役者双六二種を中心に—	北川 博子	〃	〃
資料紹介 長崎県生月島益富家の佐竹蓬平筆《山水図》について	横村 洋介	飯田市美 術博物館 研究紀要	15	元禄から享保期上方一枚摺絵尽しについて—上方役者絵成立前史の一端—	團 夕紀子	〃	〃
所謂「徳川原洋式調練図」の新資料について	小西 雅徳	板橋区立 郷土資料 館紀要・ 年報	紀要15/ 年報16・ 17	上方浮世絵と北斎—その影響を読本挿絵と役者絵から検証する—	中野 志保	〃	〃
銅・石版画遺聞	森 登	一 寸		〈資料紹介〉関西大学所蔵長谷川貞信コレクションについて	濱生 快彦	〃	〃
19 続・江戸の銅版画帖から 井上九草のこと			21	〈図版解説〉『橘香帖』より初代嵐璃寛(二代目嵐吉三郎)大首絵	アンドリュ ー・ガース トル	〃	〃
20 亜欧堂田善の金龍山浅草寺をめぐる			22	〈図版解説〉流光斎如圭筆「二代目中村野塩のお軽、初代嵐雛助の由良之助、初代浅尾為十郎の九太夫」	矢野 明子	〃	〃
瀬戸内を行く田能村竹田(上)(下)	高橋 博巳	出光美術 館館報	130、131	〈図版解説〉二代目中村文七と初代芳沢いろは	ティモシー・クラーク	〃	〃
仙厓の残した足跡をたずねて(1)宝満山登山記	八波 浩一	〃	131	〈図版解説〉流光斎「芳沢巴紅の梅かえ」「嵐来芝の梶原源太」	北川 博子	〃	〃
〈表紙図版解説〉書画貼交図屏風(部分)	宗像 晋作	〃	132	〈図版解説〉芳沢いろはの在原のなり平	アンドリュ ー・ガース トル	〃	〃
田能村竹田の足跡—尾道	〃	〃	〃	〈図版解説〉役者の首引絵	〃	〃	〃
仙厓さんの動物画—生きものに注がれる愛情	八波 浩一	〃	133				

龍椿「三代目坂東三 津五郎の浅妻舟」	神楽岡幼子	"	"	如意輪観音画像考— 新出の平安仏画—	泉 武夫 学 叢	27
(図版解説)市川新升 (初代鰻十郎)の十郎 祐成、嵐璃寛(二代 目吉三郎、初代橋三 郎)の工藤祐経、中 村芝翫(三代目歌右 衛門)の五郎時致	ティモシー ・クラーク	"	"	作品紹介 南山土雲 賛 布袋唐子図	山本 英男	" "
〈二〇〇四年国際浮 世絵大会シンポジウ ム報告〉		"	"	江戸の《花鳥画》の時 代を求めて	今橋 理子 学 鑑	102-3
叙情的な深さ—歌 川広重の現実感を 強調した絵画技法	ゲーリー・ ヒッキー			初期文人画における 勝景図巻の研究—百 拙元養を中心に—	出光佐千子 鹿島美術 財団年報 別冊	22
新釈『名所江戸百 景』	原信田 実			江戸時代後期におけ る北信濃の文人趣味	伊藤 羊子	" "
粉河寺参詣曼茶羅考	大高 康正	絵解き研 究	19	江戸時代中期画壇に おける沈南蘋画風の 伝播と受容について —版本と大名を中心 に—	伊藤 紫織	" "
“桜の下の僧”とその 背景—「熊野観心十 界曼茶羅」にみる説 話的イメージ—	埴岡 真弓	"	"	松浦静山の絵画考証 について—『新增書 目』における住吉・ 板谷派の鑑定を中心 に—	下原 美保	" "
表紙解説 伊勢路で の熊野比丘尼「勸進 図—表紙によせて—	林 雅彦	"	"	家綱政権をめぐる画 事—武家文化と狩野 派—	門脇むつみ	" "
《作品解説》伝久隅守 景筆「四季耕作図屏 風」	長井 健	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	4	寛文期における《歴 史画》の誕生—楠公 図を中心に—	松島 仁	" "
作品紹介 等妙寺藏 絹本着色如意輪観音 像	西田 多江	"	"	初期浄土宗絵画の研 究—知恩院所蔵「二 祖曼茶羅図」をめぐ って—	キョウ シ ネード	" "
戦国末期における伊 予河野氏の肖像画に ついて	土居 聡朋	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	10	引用と転用—近世初 期風俗画にみる図様 継承の諸相—	畠山 浩一	" "
十二幅対の法然上人 絵伝について	櫻井 成昭	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	6	高松松平家伝来の博 物図譜の研究	松岡 明子	" "
「物尽くし判じ物」新 出資料考	小野 恭靖	大阪教育 大学紀要	53-2	中近世伊勢物語絵 研究—能とのかかわ りを中心に—	大口 裕子	" "
鈍字資料小考(下)	"	"	54-1	宮廷和様屏風図様の 継承過程について	相澤 正彦	" "
観ることから読むこ と—伴大納言絵詞と 隨身庭騎絵巻の場 合—	中村 興二	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1	【研究ノート】『役者 見立東海道』研究	桑山 童奈	神奈川県 立博物館 研究報告 31
【研究ノート】大坂に おける書画会と展覧 会について(一)	岩佐 伸一	大阪歴史 博物館研 究紀要	4	龍華寺薬師三尊十二 神将像について	向坂 卓也	金沢文庫 研究 314
歌枕としての須磨・ 明石—緒言にかえて —	武田 恒夫	大手前大 学文学研 究所紀要	5	特集 鎌倉と観音信 仰 鎌倉・長谷寺所 蔵『長谷寺縁起絵巻』 弘治三年奥書につい て	平塚 泰三 鎌 倉	100
「須磨」「明石」の形 象についての一考察— 和歌のイメージをめ ぐって—	木村 朱晶	"	"	資料紹介『絵本怪談 揃』—『絵本百物語』 との関連で—	湯本 豪一	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要 17
				真言五祖像の修復と 嵯峨天皇—左大将公 宛て空海書状の検討 を中心に—	西本 昌弘	関西大学 東西学術 研究所紀 要 38

福岡県の農耕絵馬について	副島 邦弘	九州歴史資料館研究論集	30	my favorite things 企画者にも選ばせろ!「浪花上人・耳鳥斎の毒と笑いの旦那芸をお楽しみに」	藤巻 和恵	〃	665
源氏物語図屏風(個人蔵)について	並木 誠士 山本 純子 古谷 典子	京都工織大工芸学部報告*	53	art news 耳鳥斎の広がり	坪内 稔典	〃	666
田村宗立旧蔵仏画粉本における仏教版画について	松尾 芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	14	大特集 光琳の七不思議		〃	670
柴田是真と京都	柏木加代子	京都市立芸術大学芸術学部研究紀要	49	随想 ニューヨークで光琳を	河野 元昭		
「蛇帯」考・補遺	堤 邦彦	京都精華大学紀要	28	七不思議その一 緑と青の秘密 燕子花図屏風	安村 敏信、 河野 元昭 対談		
蔬菜図の変容—呉春筆《蔬菜図巻》の主題とその背景—	実方 葉子	京都美学美術史学	4	七不思議その二 女と孔雀と風俗図 小西家文書	狩野 博幸、 河野 元昭 対談		
真景のイリュージョン	呉 永三	〃	〃	七不思議その三 男色のシグナル 中村内蔵助像	丹尾 安典、 河野 元昭 対談		
「藤袋草子絵巻」について	龍澤 彩	金鯢叢書*	32	七不思議その四 異端のスローカーヴ 布袋図と梅図	板倉 聖哲、 河野 元昭 対談		
徳川美術館蔵「歌舞伎図巻」にみる流行のさががけ—男性の髪型と服装の関連に着目して—	森 理恵	〃	〃	年譜 好色男がゆく			
名古屋東照宮所蔵「東照宮縁起絵巻」の製作背景について	鎌田 純子	〃	〃	七不思議その五 光琳ブランドの虚実 冬木小袖と光琳文様	長崎 巖、 河野 元昭 対談		
清盛血曼茶羅奉納伝承と平家鎮魂	山崎 一昭	ぐんしょ	67	七不思議その六 江戸で見た夢 四季草花図巻	河合 正朝、 河野 元昭 対談		
天神信仰と先哲一万里集九	真壁 俊信	〃	70	七不思議その七 最晩年の凄絶と新たな謎 紅白梅図屏風	内田 篤典、 山下 裕二、 河野 元昭 対談		
土岐洞文についての一考察—文献的側面から—	大石 利雄	群馬県立女子大学紀要	26	my favorite things 企画者にも選ばせろ!「この不思議な風景は北斎の洋風表現の達成です」 葛飾北斎《金沢八景》	田沢 裕賀	〃	671
「樹下美人」の用語に関する一考察	伊藤たまき	芸術学研究(筑波)	9	「一つ家」考—歌川国芳を中心に	伊藤加奈子	芸 叢	21
役者半身像の成立について	渡邊 晃	〃	〃	江戸のマキエな女たち 江戸時代の美女たちに見る化粧模様	村田 孝子	化粧文化	45
my favorite things 企画者にも選ばせろ!「長谷川等伯を水墨画家だと思いませんか?」長谷川等伯《四季花鳥図屏風》	黒田 泰三	芸術新潮	663	寛政度復古清涼殿の内部空間と名所絵障子	岩間 香 植松 清志 谷 直樹	建築史学	44
my favorite things 企画者にも選ばせろ!「広重といえば名所絵ですが、実は魚も得意なんです」	奥田 敦子	〃	664	[講演]マンダラに見る神仏の共存	頼富 本宏	皇学館大学神道研究所紀要	21
特集 水墨サイケデリック 蕭白がゆく	狩野 博幸 解説	〃	〃	五雲亭貞秀の地理調査レポート—『東海道五十三駅勝景』をもとに—	三好 唯義	神戸市立博物館研究紀要	21
				若杉五十八研究	勝盛 典子	〃	〃

近世における『山路の露』享受の一樣相—斎藤彦磨書き入れ「絵入源氏物語」について—	小川 陽子	国語国文	845	『異国物語』諸本とその変遷—錯綜する異国情報の一端を見る—	大木 京子	国文学論考	41
式亭三馬の「黄表紙風の合巻」	吉丸 雄哉	"	848	『日本名山図会』と浮世絵の風景表現	大久保純一	国立歴史民俗博物館研究報告	121
偽経・説話・物語草子—岩瀬文庫蔵『釈迦并観音縁起』絵巻をめぐって—	恋田 知子	"	849	天倫寺所蔵書画典籍類調査報告	岡 宏三 椋木 賢治	古代文化研究	13
大東急記念文庫蔵『大江山絵詞』をめぐって	島津 忠夫	"	856	月岡雪鼎筆 羽根つき美人図	山本ゆかり	国 華	1311
『毘沙門の本地』の天界遍歴譚—星の伝説と信仰—	沢井 耐三	国語と国文学	985	一休宗純紅衣像	島尾 新	"	"
コレージュ・ド・フランス 寄託『献英楼画叢』稿	西野 春雄	国際日本学	3	狩野内膳筆 青楓群鹿・梅花雉子図屏風	石田 佳也	"	"
特集 聖地と巡礼		国文学解釈と鑑賞	888	山根有三「岩佐又兵衛研究の問題点—豊国祭礼図屏風と舟木本洛中洛外図屏風を中心に」掲載に当って	辻 惟雄	"	"
日本の巡礼 善光寺参り—『とはずがたり』・道行き・参籠	吉原 浩人			岩佐又兵衛研究の問題点—豊国祭礼図屏風と舟木本洛中洛外図屏風を中心に—	山根 有三	"	"
女人と子供の巡礼—西国巡礼・伊勢参宮の場合	林 雅彦			狩野永岳筆 西園雅集図襖	脇坂 淳	"	1312
特集 近世文学に描かれた性		"	891	曾我蕭白筆 蘭亭曲水図(クリーヴランド美術館所蔵本及びN家所蔵本)	佐藤 康宏	"	"
仇気屋艶二郎にとつてのエロティシズム—『江戸生艶気権焼』における「芝居仕立て」の虚構性	黒石 陽子			円山応挙筆 青鸚哥図	鶴見 香織	"	"
馬琴と性	播本 眞一			富士筑波という型の成立と展開	井田 太郎	"	1315
音曲に描かれた性	鹿倉 秀典			鈴木其一筆 富士・筑波山図屏風	小林 忠	"	"
小窓 扇屋の女—職業婦人と性	安原 眞琴			月次風俗諸職図屏風	井溪 明	"	"
小窓 教養のもてあそびかた—春本『どうけ百人一首』の例	中島 穂高			狩野山雪筆 四季花鳥図屏風	河野 元昭	"	"
特集 中世・近世の芸能と歌謡 鎌倉時代の芸能・歌謡 中世における絵解きの展開	林 雅彦	"	895	椿椿山筆 蔬果図	増山 禎之	"	"
『栄花物語』絵入版本について—抄出本文から考察する—	中村 康夫	国文学研究資料館紀要(7)*	31	太元明王図像断簡	有賀 祥隆	"	1316
国文学研究資料館蔵黒本『[四天王]』について—『頼光金臣本末記』—	高橋 則子	"	"	研究資料 尾形光琳筆「紅白梅図屏風」についての試論	内田 貴之	"	"
				特輯 修学院離宮		"	1317
				修学院図屏風	小林 忠		
				狩野外記(敦信)筆 祇園祭礼山鉾巡行図杉戸	ティモシー・クラーク 川本 桂子 訳		
				臨終行儀に於ける設像—来迎図・来迎像の成立及び展開を考察する為の一視点として—	仙海 義之	"	1318
				曾我物語図屏風	水尾比呂志	"	"

平成17年定期刊行物所載文献(古／絵)

鳥合せ図屏風	安達 啓子	国 華	1318	埼玉県立博物館所蔵 年中行事絵巻について	池田 伸子	埼玉県立 博物館紀 要	30
狩野元信筆 神馬図	山本 英男	" "	" "	元木綱と天明狂歌の 展開(三)～(五)	谷口 學	埼玉史談	280～282
歌川国芳筆 一ツ家 図	岩切友里子	" "	" "	与賀神社と本庄神社 の縁起絵	福井 尚寿	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	29
浦上玉堂筆 山月抱 琴図	小林 忠	" "	1319	【資料紹介】飯道寺両 界曼荼羅図	上野 良信	滋賀県立 琵琶湖文 化館研究 紀要	21
鈴木其一筆 山竝図 小襖	河野 元昭	" "	" "	石田幽汀筆《群鶴図 屏風》にみられるツ ルの種類と制作年	山下 善也	静岡県立 美術館紀 要	20
惺々庵斎席画 新富 坐妖怪引幕	新藤 茂	" "	" "	模写された狩野探幽 の絵画—当館蔵探幽 画に関連する東京芸 大蔵模本の紹介と展 開—	" "	" "	" "
研究資料 三宝院覚 定と宗達	五十嵐公一	" "	" "	冷泉為恭の採桑老像 と版画によせて	村上 泰昭	史迹と美 術	758
特輯 泉屋博古館の 江戸絵画	" "	" "	1320	物語文学製版本の挿 絵における転用・流 用の問題—山本春正 『絵入源氏』を通して —	横井 孝	実践国文 学	68
図版一 彭城百川 筆 梅図屏風	実方 葉子	" "	" "	【研究余滴】柳亭種彦 の勘違い—『還魂紙 料』の八百屋お七一	佐藤 悟	" "	" "
図版二 田能村竹 田筆 梅溪閑居図	黒田 泰三	" "	" "	カラー図版解説 漁 楽図 池玉瀾	濱住 真有	実践女子 学園香雪 記念資料 館館報	2
図版三 岡田半江 筆 溪邨春酣図	前田麻衣子	" "	" "	物語版本の挿絵の転 用・流用—『源氏物 語』『伊勢物語』など を通して—	横井 孝	実践女子 大学文学 部紀要	47
図版四 浦上春琴 筆 蔬果蟲魚帖	近藤 壮	" "	" "	常盤松文庫蔵『絵本 倭比事』解題・影印	佐藤 悟	実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	別冊9
図版五 椿椿山筆 玉堂富貴・遊蝶・ 藻魚図	川口 直宜	" "	" "	調査報告『清談青砥 刃味』解題・翻刻・ 影印	" "	" "	24
図版六 伊藤若冲 筆 海棠目白図	狩野 博幸	" "	" "	曼荼羅制作ノート (一)—曼荼羅と五色 —	中村 幸真	種智院大 学密教資 料研究所 紀要	6・7合併 号
図版七 呉春筆 蔬菜図巻	河野 元昭	" "	" "	相模原の聖徳太子像	小松 光江	聖 徳	183
鉤雲泉筆 高隠自適 図	守安 收	" "	1321	失われた法隆寺壁画 の再現研究(一)(二)	松田 真平	" "	184、186
第十六回国華賞贈呈 式特別講演 渡辺畢 山の肖像画について	ドナルド・ キーン	" "	" "	グラビア解説 春日 宮曼荼羅	中島 博	" "	186
伏見御香宮祭礼図屏 風について	信多 純一	" "	1322	春日信仰における童 形神の成立と展開	福地佳代子	女子美術 大学研究 紀要	35
伊藤若冲筆 壳茶翁 像	佐藤 康宏	" "	" "				
円山応挙筆 神馬図 絵馬	木村 重圭	" "	" "				
研究資料 佐渡・国 分寺伝来の水墨羅漢 図	赤澤 英二	" "	" "				
光琳派 草花図团扇	櫻庭 美咲	国華清話 会会報	5				
浮田一恵筆 競馬図 屏風	前田麻衣子	" "	" "				
河田小龍という絵師	朽津 信明	" "	" "				
尾形乾山筆 菊図扇 面	柏木 麻里	" "	6				
松図襖	松島 仁	" "	" "				
浦上玉堂の山水画と 作画精神	杉本 欣久	古文化研 究	4				

主な新収蔵品		市立長浜 城歴史博 物館年報	9	雪舟と山口	島尾 新	" "	
狩野永納と随心院	五十嵐公一	塵 界	16	誰が何のために雪舟 を?—展評「没後五 〇〇年 特別展 雪 舟」—	綿田 稔	" "	
上田耕夫について	木村 重圭	" "	"	蕪村の絵画における 絹本の意味	星野 鈴	東京造形 大学研究 報	6
〈資料紹介〉「往生要 集絵」の諸本(二)— 聖衆来迎寺本「六道 絵」の模本—	小栗栖健治	" "	"	館蔵「化物絵巻」の絵 師、狩野宗信につい て	宮島 新一	東風西声*	1
狩野内膳系南蛮屏風 についての一考察	塚本 美加	人文論究	54-4	中世の真宗における 和朝の連坐像	山田 雅教	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	24
熊野親心十界曼荼羅 とそのルーツ(Ⅰ)— 「おいのさか」と生涯 発達観—	宮川 充司	嵯山女学 園大学研 究論集	36	雪村筆叭々鳥図の制 作背景	山田 烈	東北芸術 工科大学 紀要	12
疱疹除けミミズクの 考察—疱疹絵を中心 として	藤岡摩里子	生活と文 化	15	東東洋筆「酒呑童子 図屏風」について	佐藤 琴	東北歴史 博物館研 究紀要	6
伊藤伊兵衛政武著 『本草花蒔絵』の基礎 的考察[下]	秋山 伸一	" "	"	彙報 平成一六年度 秋期東洋学講座講演 要旨(世界のアジア 学と東洋文庫)岩崎 文庫蔵絵巻物・嵯峨 本—源氏物語・伊勢 物語を中心に—	上野 英二	東洋学報	86-4
翻刻史料『画本弄』 (刊記不明)	横山 學 解題 進、 広嶋 理恵 河内 翻刻	生活文化 研究所年 報	18	江戸と明の小説と図 像をめぐる	大木 康	東洋文化	85
絵仏師徳応・貞綱の 肖像画制作について —瑞巖寺僧関係作品 を中心に—	樋口 智之	仙台市博 物館調査 研究報告	25	栃木県立博物館蔵 狩野探幽筆「瀟湘八 景図巻」	本田 諭	栃木県立 博物館研 究紀要	22
田原町博物館開館10 周年記念特別展講演 会「文人画の魅力— 自娛の世界」	黒田 泰三	田原市博 物館年報	11	口絵解説 木曾義仲 合戦図屏風	村石 正行	長野県立 歴史館研 究紀要	11
講座「渡辺崋山と弟 子たち—常葉美術館 コレクション—」	日比野秀男	" "	12	源氏物語絵巻の絵画 画面構成の特質	池田 洋子	名古屋造 形芸大紀 要*	11
徳川・五島本源氏物 語絵巻の「帳」と「人 物」—柏木(一)の秘 密を覗く女房たち—	鈴木 夏衣 玉 藻	41		『実隆公記』の扇・扇 絵関係記事	稲畑ルミ子	奈良県立 美術館紀 要	19
異人の誕生—鬼の伝 承・説話から—	土橋由佳子	" "	"	「多武峯縁起絵巻」考 —解説編—	塩出貴美子	奈良大学 紀要	33
宇治茶余話【1】製茶 図が描かれた理由	坂本 博司	淡 交	721	酒造図絵馬の研究 (1)—新潟県下の事 例について—	野堀 正雄	新潟県立 歴史博物 館研究紀 要	6
「佐野渡図」屏風の画 題について	大倉 隆二	デアルテ	21	西洋舶来の書籍情報 と徳川日本の視覚文 化の変貌——七三〇 年代から一八三〇年 代にかけて	稲賀 繁美	日本研究	31
狩野光信の評言につ いての一考察—倭画 風情と下手右京	三宅 秀和	哲学会誌	29	口絵解説 雨眉車俯 瞰図	藤本 孝一	日本歴史	682
池大雅の山水図にお ける中国山水画理念 の受容	金 靖之	" "	"	口絵解説 春日文殊 曼荼羅	中島 博	"	691
伊藤若冲の初期絵画 考察—「牡丹・百合 図」を中心に—	山口真理子	" "	"	主な新収蔵(購入)資 料の紹介 巴御前・ 木曾義仲図屏風		馬事文化 財団年報	26
雪舟系花鳥図屏風の 研究—仮説として—	綿田 稔	天開図画	5				

平成17年定期刊行物所載文献(古／絵)

狩野元信筆白鶴美術
館蔵「四季花鳥図屏
風」における理想郷
—浄土および現実の
庭の要素をてがかり
に— 島田 有紀 美 学 223

第五十六回美学会全
国大会報告 発表要
旨 " "

「模倣」の諸相—原
在中障壁画論— 鈴木 幸人

狩野永納筆〈十二
ヶ月歌意図屏風〉
について 多田羅多起
子

書評 MOA美術館・
東京文化財研究所編
尾形光琳筆 国宝紅
白梅図屏風 村瀬 博春 " "

伝沖探容筆「因幡八
景図」に関する一考
察 山下真由美 美学・芸
術学 20

歌川広重をめぐって
—加藤一雄の眼— 永田雄次郎 美学論究 20

上方の浮世絵の発生
と展開—役者絵を中
心に— 山口真有香 " "

日本高松塚・キトラ
古墳の壁画 網干 善教 東アジア
の古代文化 124

国宝「彦根屏風」の伝
来と柴田是真 高尾 曜 彦根城博
物館研究紀要 16

園城寺国宝金色不動
明王画像(黄不動)に
関する新知見—不動
明王画像修理報告— 柳澤 孝 美術研究 385

柳澤孝著「園城寺国
宝金色不動明王画像
(黄不動)に関する新
知見」を読んで 高田 修 " "

崇福寺蔵「二十八祖
像」をめぐって—雲
谷等益、明兆から雪
舟、文清まで— 綿田 稔 " 386

当麻寺本「当麻曼荼
羅縁起絵」二幅の画
面構成—当麻をめぐ
る信仰と本尊「当麻
曼荼羅」— 杉野 愛 美術史 158

隣華院改修と狩野永
岳—山楽回帰の意味
— 松本 直子 " "

洛中洛外図屏風の農
耕風景 奥田 敦子 " "

名古屋城本丸御殿対
面所障壁画「風俗図」
に関する一考察—そ
の政治表象性を中心
に— 高松 良幸 " "

平成十六年度シンポ
ジウム・支部例会研
究発表要旨 MOA
美術館「尾形光琳筆
《紅白梅図屏風》の新
知見—調査速報とシ
ンポジウム—」 井手誠之輔 " "

平成十六年度支部例
会発表要旨 " "

元禄年間における
定家詠十二月花
鳥和歌に基づく作
品制作について—
山本素軒と近衛家
熙による作例を中
心に— 遠藤 楽子

女御里御殿の機
能と内部空間の変
容—泉涌寺本坊御
座所の建築と障壁
画— 小沢 朝江

酒井抱一の画業に
おける国学の影響
—《五節句図》に注
目して— 宮崎 もも

「天狗草紙」の復元的
考察 土屋 貴裕 " 159

酒井抱一の画業にお
ける国学の影響—
「五節句図」に注目し
て— 宮崎 もも " "

月岡雪鼎考—画業と
受容をめぐ— 西垣 香 " "

観音寺蔵「琴弾宮絵
縁起」の基礎的考察
—縁起文と景観表現
の問題を中心に— 田光美佳子 " "

室町時代における
「梅花寿老人図」のイ
メージ世界—太平の
春と寿老人— 阿部 朋絵 " "

梅沢記念館蔵「達磨
図」にみる禅僧の余
技画の意義—特に明
兆筆「達磨図」との関
わりから— 市川 廣太 " "

第五八回全国大会研
究発表要旨 " "

又兵衛風諸作品の
再検討 佐藤 康宏

江戸琳派と浮世絵 宮崎 もも

石山寺蔵涅槃図試
論—「大乘涅槃経」
による場面解釈の
可能性— 古谷 優子

笑顔の鷹見泉石像
稿をめぐって—渡
辺華山の肖像画再
考— 日比野秀男

渡辺始興と木村探元—二人の近衛家御用絵師の作画活動をめぐって—	齊藤 全人	山雪と馬図	河野 元昭	美術史論叢	21
「月次風俗図屏風」の制作と享受について—吉川家との関わりから—	井戸 美里	狩野永納と二条家	五十嵐公一	〃	〃
酒吞童子説話と土地の記憶—逸翁美術館蔵「大江山絵詞」をめぐって—	岡本 麻美	展覧会 PREVIEW 自然をめぐる千年の旅—山水から風景へ—	山梨 俊夫	美術の窓	258
来迎図と講式—長谷寺蔵「阿弥陀聖衆来迎図」をめぐって—	鈴木 雅子	日本の「戌」—江戸期の名品を中心に	小林 インタヴュ	〃	266
江戸時代写生図研究における比較の視点と方法—狩野探幽原図 野田洞珉筆「鳥類写生図」(大英博物館)及び尾形光琳筆「鳥獣写生図」(京都国立博物館)の研究から—	加藤 弘子	[作品・作家解説]喜多川歌麿(江戸名物錦画耕作)絵草紙屋店頭図—展示が命	岸 文和	美術フォーラム21	11
近世初期における「大原御幸図屏風」の研究—その成立と系統分類を中心に—	金井 裕子	[資料紹介]大口金谷編『爾雅釈草図』(関西大学図書館蔵)—東アジアの本草学・博物学の潮流—	中谷 伸生	〃	12
高松松平家伝来博物図譜の研究	松岡 明子	[特集]ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ—作品からイメージへ		〃	〃
岳翁と了庵桂梧—周文派詩画軸制作の様相—	城市真理子	鏡のなかの鏡—熊野観心十界図をめぐって	加須屋 誠		
教王護国寺蔵「伝真言院曼荼羅」の再検討	定金 計次	泥絵の視覚—トボグラフィと視覚文化	佐藤 守弘		
智積院蔵旧祥雲寺客殿障壁面の復原とその内部空間の特質	田口沙央里	[仲介の感性論]ヴィジュアル・エデュケーション		〃	〃
東北大学附属図書館所蔵『古画備考』写本について	畑 靖紀	画譜による絵画の学び—橋守国と大岡春卜の画譜を中心として	太田 孝彦		
根津美術館所蔵春日補陀落山曼荼羅小考	清水 健	模写と粉本	安田 篤生		
雪舟周継筆「七隠士騎馬野遊図」の七隠士について	陳 達明	嵯峨本『伊勢物語』の書誌的考察(下)	高木 浩明	ビブリア	123
土佐光信の小絵	谷川 ゆき	雪舟史料を読む	大西 廣	百 科*	
伊藤若冲筆「果蔬涅槃図」考—見立てと鑑賞の場—	新江 京子	24、25—徐璉希賢・送雪舟帰国詩並序(五)(六)			507、511
「舞楽図屏風」と「風神雷神図屏風」の画面構成について	中部 義隆	26～28—季弘大蔵『蔗軒日録』記事(一)～(三)			513、515、517
論文要旨《修土》春日宮曼荼羅についての考察	杉 志努布	[厳島図障屏画一覽]補遺	知念 理	広島県立美術館研究紀要	8
		河村若芝の研究—文献と初期作品を中心に—	赤木 美智	フィロカリア	22
		福島県庁文書所収の『法用寺縁起絵巻』について	渡辺 智裕	福島県歴史資料館研究紀要	27
		亜欧堂田善の事跡上の諸問題—『永田由緒』を中心に—	金子 信久	府中市美術館研究紀要	9

綴織当麻曼茶羅考— 図様解釈および制作 地と制作年代につい て—	大西磨希子	仏教芸術	280	摺物研究の展望	金子 俊之		
阿弥陀五尊の諸形式 と中世仏教的世界観	富島 義幸	"	"	【文学のひろば】上方 摺物の世界	中野 三敏	"	"
特集 九州国立博物 館開館によせて 雪 舟筆四季山水図(石 橋美術館別館)再考 —図様の典拠と制作 年代について—	畑 靖紀	"	282	《特集》和歌のふるま い 歌会に人麿影を 掛けること	佐々木孝浩	"	6-4
「密教図像と鳥獣戯 画」再論(上)	中野 玄三	"	283	口絵解説 キトラ古 墳「午」像の発見	清野 孝之	文化財*	506
親鸞御影の仏教教育 的意味	谷川 守正	仏教大学 教育学部 論集	16	武蔵石寿の貝類図譜 と分類への志向—近 世初期における博物 学の受容と伝播—	石井寿美子	法政史学	63
瀟湘八景図と西湖図 —「情」と「知」の世界 —	太田 孝彦	文化学年 報(同大)	54	月例報告会 第19回 絵画にみる日本の伝 統楽器—絵師は何を 描こうとしたか—	ステイヴ ン・G・ネ ルソン	法大国際 日本学研 究センタ ー年報*	2004
広告・宣伝の行為論 —浮世絵で仙女香を 販売する—	岸 文和	"	"	錦絵青色着色料の非 破壊同定法に基づく ベルリン・ブルー導 入過程と「富嶽三十六 景」を嚆矢とする 浮世絵風景版画確立 経緯の研究	松井 英男 下山 進 裕子	北斎研究	37
《特集》画と文の交響 —俳諧一枚摺の世界		文 学	6-2	府川を潮る	府川 俊	"	"
座談会	岡崎 久司、 岩 切 友 里 子、 伊藤 善隆 雲英 末雄 司会			北斎と五返舎半九に ついて	府川 恭三	"	"
俳諧一枚摺の魅力 —多様なデザイン—	櫻井武次郎			北嶺筆『追福狂歌集』 について	永田 生慈	"	"
佐藤保大の摺物— 幕末・明治の大坂 に生きた人々の姿	スコット・ ジョンソン 小林ふみ子 訳			『庄内藩蝦夷地風俗 絵巻』にみる民俗芸 能	手塚 薫 舟山 直治 三浦 泰之	北海道開 拓記念館 調査報告	44
何丸の俳諧一枚摺 私見—名利と自戒—	玉城 司			オーストリア国立工 芸美術館蔵『さゝれ いし』	辻 英子	三田国文	41
金沢における俳諧 一枚摺—銭屋五兵 衛周辺	大西 紀夫			慶応義塾大学国文学 研究室蔵[道成寺縁 起絵巻]解題・影印	石川 透	"	"
安芸地方の俳諧一 枚摺	下垣内和人			[道成寺物語]解題・ 影印	"	"	42
丹後地方の俳諧一 枚摺	小林 孔			表紙解説 重要文化 財 竹梅図屏風 尾 形光琳筆	小野真由美	MUSEUM	594
八戸の俳諧一枚摺 とその周辺	二又 淳			山本素軒筆十二ヶ月 花鳥図屏風の制作事 情—サンフランシス コ・アジア美術館本 における近衛家熙の 役割—	遠藤 楽子	"	597
大名の俳諧一枚摺 —大村蘭台とその 周辺—	岡本 勝			『栗氏図森』—栗本丹 洲の自筆草木図譜	磯野 直秀	"	"
再考 小川破笠画 『風のすゑ』の挿図 と詩箋	河野 実			新収品紹介 風雨渡 舟図 田能村竹田筆	松嶋 雅人	"	598
				新収品紹介 探幽縮 図 狩野探幽筆(上)	小野真由美	"	"

池大雅筆「西湖春景・銭塘観潮図屏風」の主題考察—図様と文学的典拠を探る—	出光佐千子	"	599	特集 春画と大江戸カルチャーライフ	"	341
資料 明治大学博物館 刑事部門所蔵錦絵等 絵画資料目録	高野 弘之	明治大学博物館研究報告	10	春画、エルサレムへ	タリア・アマル 菅生 素子 訳	
後ろ姿の自画像について—歌川国芳の作品を中心に—	山本 陽子	明星大学研究紀要	13	特別インタビュー 春画を物語る	坂東眞砂子 談	
はてな?おもしろ浮世絵	中右 瑛	目の眼		春画にこめられた愛すべき日本の姿	オフエル・シャガン	
224 忠臣蔵綺譚「浅野家の因縁譚」			340	現世に生きることを謳歌した大江戸カルチャー	渥美 國泰	
225 忠臣蔵綺譚 北斎は「小林平八郎」の子孫?			341	物に執して(六八)	鈴木 皓詞	" "
228 忠臣蔵綺譚 犬公方の艶色パロディ「浅妻船」由来			344	Pick up! 無心の美・大津絵	杉山 享司	" 343
229 忠臣蔵綺譚 大野九郎兵衛は不忠臣か?			345	小特集 新の等伯	黒田 泰三	" 344
230 忠臣蔵綺譚 悪玉九郎兵衛一党の忠臣奇説			346	逸脱の分析—雪舟筆冬景山水図における濃墨線の由来—	荏開津通彦	山口県立美術館研究紀要 5
231 忠臣蔵綺譚 不運に泣く十七歳吉良善周			347	孟蘭盆会の風流踊についての一考察(その1)—初期洛中洛外図各本の比較において—	笠 理砂	山口蓬春記念館研究紀要 4
232 忠臣蔵綺譚 堀部安兵衛 二度のあだ討ちものがたり			349	幸若舞曲「八島」とその絵画	泉 万里	大和文華 113
234 忠臣蔵綺譚 怨敵・吉良上野介への一番槍、一番太刀			350	大和文華館の仏教版画	鈴木 喜博	" "
235 忠臣蔵綺譚 島流しされた哀れな遺児たち 間瀬定八の死			351	各地に伝来する垂迹 曼荼羅 熊野曼荼羅(香川・六万寺)と山王曼荼羅(千葉・観明寺/滋賀・油日神社)	梅沢 恵	横浜美術短期大学教育・研究紀要 2
江戸化政期の粹人、文人たち	渥美 國泰	"		図像史料にみる江戸時代中期の「洋楽」情報—《長崎蘭館図》解釈試論—	笹川 隆司	" "
(48) 狩野亮信、谷文晁・蜀山人) 日の出、歩行大黒天図			340	市内寺院調査報告(絵画)	田中 伸一	四日市市立博物館研究紀要 12
(49) 鴨立庵遠藤 雉啄) 大磯鴨立庵			342	〈研究論文:遊女特集〉高尾像~遊女評判記を中心に~	東出 葉月	立教大学日本学研究所年報 4
(50) 夏目成美) 江戸人の俳諧師(一)			344	特集【旅と歴史学習】 浮世絵にみる江戸の旅—伊勢を描いた浮世絵を中心に—	玉田真奈美	歴史地理教育 686
(51) 松露庵鳥明・建部巢光) 江戸人の俳諧師(二)			346	歴史の証人 写真による収蔵品紹介『聆涛閣集古帖』	仁藤 敦史	歴 博 130
(52) 谷文晁) 文晁の大和絵			348	特集【流行】	"	132
				流行する雪舟	綿田 稔	
				助六の「かたち」—「大通」流行との関係	安井 雅恵	

[コラム]書画会 大久保純一		図版四 不動院蔵 観音菩薩万五千仏 図		稲本 泰生	
修理報告 奈良十輪 寺所蔵 絹本着色青 面金剛像の保存修理	石田 淳	鹿園雜集*	7		
高野山麓天野大念仏 講旧蔵「六道絵」の制 作背景—南都所縁の 十一面観音菩薩図像 を中心として—	山本 聡美	和歌山県 立博物館 研究紀要	11	図版五 ポストン 美術館蔵 熾盛光 如来往臨図	姜 素妍
矢倉安安のここと— 「芳野図」(和歌山県 立博物館所蔵)を中 心に—	安永 拓世	"	"	図版六 菩薩形坐 像	増記 隆介
邦安社の祭礼—「邦 安社御祭礼車楽之 図」を読む—	三尾 功	和歌山市 立博物館 研究紀要	19	図版七 聖沢院蔵 帝釈天像	井手誠之輔
祇園南海筆「墨竹図」 について	近藤 壮	"	"	そ の 他	
白隠画研究へのアプ ローチ	浅井 京子	早大會津 八一記念 博紀要*	6	アジャンター後期石 窟における天井画の 研究	福山 泰子 鹿島美術 財団年報 別冊 22
畠山記念館所蔵 渡 辺始興筆 四季花木 図屏風—近衛家文化 の縮図—	齊藤 全人	早稲田大 大学院文 学研究科 紀要	50	西域石窟壁画の図像 学的研究—キジル石 窟の国王礼仏図を中 心に—	井上 豪 " "
修士論文概要 伊藤 若冲の作画技法にお ける両極性について —梅花図を中心に—	黒田奈緒子	"	"	『ヴァジュラーヴァ リー』「彩色の儀軌」 和訳	森 雅秀 金沢大学 文学部論 集 25
表紙解説 屈合戦絵 巻 一名勝絵		早稲田大 学図書館 紀要	52	『ヴァジュラーヴァ リー』「墨打の儀 軌」和訳(下)	" 高野山大学 密教文化 研究所紀 要 18
『鬼海嶋夢物語』七 小町図影印・翻刻	雲英 末雄 伊藤 善隆 二又 淳	"	"	アジャンター第十七 窟「シンハラ物語」図 について—場面解釈 の再検討と物語表現 の特質—	福山 泰子 国 華 1316
朝鮮				研究ノート 寺院へ の奉仕のもつ意味と 「伝統」を継承する ということ—門前町 ナートドワラーの 絵師集団の事例より —	八幡 綾 史 苑 174
明石市光明寺蔵『孟 蘭盆経曼荼羅図』を 読む—朝鮮李朝仏画 《初期甘露帳》の世界 —	服部 良男	絵解き研 究	19	特集：アフガニスタ ン パーミヤーンの いわゆる太陽神像に 関する一考察	田辺 勝美 西アジア 考古学 6
日韓仏教信仰比較研 究—浄土思想を中心 として—壁画古墳か らみた高句麗の宗教	鄭 早苗	大谷大学 真宗総合 研究所研 究紀要	22	図像・文様	
特輯 高麗仏画		国 華	1313	中 国	
「高麗仏画」特集に 当って	関口 正之			特集 中国学の現在 『論衡』と『山海経』— 「鬼門・神荼・鬱壘」 の記述を中心として —	松田 稔 国学院雑 誌 1183
高麗仏画の世界— 東アジア美術にお ける領分とその諸 相—	井手誠之輔			日 本	
図版一 ポストン 美術館蔵 円覚經 変相図	ユキオ・リ ビット			新出の『別尊雜記』系 図像集	頼富 本宏 種智院大 学密教資 料研究所 紀要 6・7
図版二 大高寺蔵 観經十六観變相図	大原 嘉豊			『諸説不同記』に説か れた「現図」	入江 多美 美術史論 集 5
図版三 談山神社 蔵 水月観音像	谷口 耕生			論文要旨『博士』『五 部心観』の研究	王 雲 " "

車前草紋の形状と使用の法則についての一考察	大衡 彩織	一関市博物館研究報告	8
大阪府安福寺石棺の文様について―「原単位文」の提唱―	櫻井 久之	大阪歴史博物館研究紀要	4
直弧文の成立過程	井上 一樹	立命館大学考古学論集	4

地図・絵図

中 国

利瑪竇『坤輿万国全図』の諸版	海野 一隆	東洋学報	87-1
----------------	-------	------	------

日 本

近世中期における身延山信仰と信仰圏	望月 真澄	印度学仏教学研究	107
【研究ノート】大坂における大名屋敷研究資料としての古地図―貞享・元禄期を中心に―	豆谷 浩之	大阪歴史博物館研究紀要	4

特集 創られる伝説―歴史意識と説話		国文学解釈と鑑賞	893
-------------------	--	----------	-----

名所の誕生と歴史認識 近世の地域は名所図会にどう記録されたか―近江の名所図会と伝説おぼえがき

青柳 周一

名所の誕生と歴史認識 近世大坂における名所の創出と伝説

井上 智勝

名所の誕生と歴史認識 近世江戸における流行神と伝説―江戸を駆けめぐる噂話とマスメディアの影響

吉田 正高

伝説の舞台と主人公たち 江戸の小町伝説

小堀 光夫

沖縄県立博物館所蔵『琉球国図』―その史料価値と『海東諸国紀』との関連性について―

上里 隆史
深瀬公一郎
渡辺 美季

古文書研究

60

『江戸名所図会』に記されたさいたま市内の名所について

切刀 郷子

さいたま市博物館研究紀要

4

『江戸名所図会』の成立前後について―江戸に住む人々を中心に―

齊藤 智美

駿台史学

125

史料紹介「東大寺山堺四至図」の模写とその系統

新井 重行

東京大学史料編纂所研究紀要

15

彙報 平成一六年度秋期東洋学講座講演要旨(世界のアジア学と東洋文庫)モリソン文庫―その至宝地図―	海野 一隆	東洋学報	86-4
--	-------	------	------

史料散歩 絵図のなかの「狄屋敷」	浪川 健治	日本歴史	683
------------------	-------	------	-----

口絵解説 浄光明寺敷地絵図	梅澤亜希子	〃	684
---------------	-------	---	-----

福井藩家中絵図(山内秋郎家文書)について	吉田 健	福井県文書館研究紀要	2
----------------------	------	------------	---

布引山争論の論所裁許と元禄国絵図～会津藩の国絵図作成(上)	阿部 俊夫	福島県歴史資料館研究紀要	27
-------------------------------	-------	--------------	----

『江戸名所図会』のなかのヤマトタケル伝説	小野 一之	府中市郷土の森博物館紀要	18
----------------------	-------	--------------	----

「一村限明細絵図」に関する三種の台帳について	山田 稔	山口県文書館研究紀要	32
------------------------	------	------------	----

黎明館所蔵「奄美史談」(写本)をめぐる一考察―特に「南島雑話」との関わりを中心に―	内倉 昭文	黎明館調査研究報告	18
---	-------	-----------	----

小牧御陣御進発之図の記載内容について	額田 雅裕	和歌山市立博物館研究紀要	19
--------------------	-------	--------------	----

彫 塑

中 国

天龍山石窟の研究―研究史と問題点―	神谷麻理子	愛知県立芸術大学紀要	34
-------------------	-------	------------	----

金元時代の全真教美術―山西・山東の二石窟をめぐる一試論―	田中知佐子	鹿島美術財団年報別冊	22
------------------------------	-------	------------	----

“中国美術から見た中国歴史”国際学術検討会	石松日奈子 報告	〃	〃
-----------------------	----------	---	---

南詔・大理国時代の密教系遺品について	今井 淨圓	種智院大学密教資料研究所紀要	6・7
--------------------	-------	----------------	-----

四川省における南方シルクロード(南伝仏教の道)の研究		シルクロード学	24
----------------------------	--	---------	----

調査概要 仏教関係遺跡	土橋 理子		
-------------	-------	--	--

論考編 成都市万仏寺址出土の南朝造像碑とその経変図	謝 振發		
---------------------------	------	--	--

太和二二年銘弥勒仏立像と北魏後期仏像の諸相	外山 潔	泉屋博古館紀要	21	奈良時代塑像彩色面下層に見られる黒色について	矢野健一郎	"	"
北齊時代の首都鄴における仏教寺院造像に関する一考察	八木 春生	筑波大学芸術研究報告	45	願成就院の造仏と運慶	塩澤 寛樹	金沢文庫研究	314
第五八回全国大会研究発表要旨		美術史	159	《調査報告》太寧寺所蔵・薬師如来像及び両脇侍像	瀬谷 貴之	"	315
中国仏教造像の供養者像—仏教美術史研究の新たな視点—	石松日奈子			特集 鎌倉と観音信仰		鎌 倉	100
北響堂山石窟における北齊様式に関する一考察	謝 振發			鎌倉の観音信仰	三浦 勝男		
後漢時代中原地域に於ける仏教信仰成立の様相—中国初期仏像の成立背景として—	金子 典正	美術史研究	43	長谷寺観音信仰と中世律宗—金沢・海岸尼寺、厚木・飯山寺、鎌倉・長谷寺、尾道・浄土寺、奈良・西大寺をめぐって—	瀬谷 貴之		
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓		行橋市安楽寺の五劫思惟阿弥陀坐像	井形 進	九州歴史資料館研究論集	30
④菩薩頭部			257	十世紀前半頃の仏師動向	根立 研介	京都美学美術史学	4
⑦仏陀像頭部			260	小特集 紀州の神仏、地の果ての掬栗ヒーローとユーレイ修験の美術はおもしろい	山下 裕二	芸術新潮	661
⑧菩薩像頭部			261	art news 如来から閻鬼まで 唐招提寺の多士済々		"	663
Preview大陸の微笑みを慈しむ		目の眼	341	my favorite things 今月のほれぼれ 滋賀のヴィーナス		"	670
日 本				特集 聖地と巡礼 日本の巡礼 四国遍路の美術と弘法大師信仰	真鍋 俊照	国文学解釈と鑑賞	888
彫刻家・小田谷史弥とめぐる仏像の世界 唐招提寺の名宝からよみとく み仏たちの造形と歴史 唐招提寺展	小田谷史弥	ア ー ト ヲ ッ プ	201	〈研究展望〉『蔵王権現』の出現	紺野 敏文	古代文化	558
潮干の磯の香—禅定寺地藏菩薩坐像、あるいはもうひとつの鎌倉彫刻—	山岸 公基	ART LIBRARY	6	出雲の狛犬について(2)	廣江 正幸	古代文化研究	13
《研究ノート》伊勢・菩提山神宮寺旧在の仏像	伊東 史朗	愛知県史研究	9	大磯高来(高麗)神社木造神像群考	薄井 和男	国 華	1312
《調査報告》寛元在銘の静岡・秋葉寺(愛知・奥山区伝来)金剛力士立像	山岸 公基 塩澤 寛樹 堀 恭子	"	"	獅子狛犬 東寺旧蔵	伊東 史朗	"	"
近世伊那谷の仏像制作事情—仏師井出氏の在銘像にみる—	織田 顕行	飯田市美術館研究紀要	15	「頂相彫刻」再考—肖似性と理想化の問題を中心にして—	根立 研介	"	1321
〈研究報告〉淡路・鳥飼八幡宮の懸仏について	宮本 佳典	大手前大学史学研究紀要	5	蔵山順空(円鑑禅師)坐像	"	"	"
鎌倉時代金銅仏の鑄造技法に関する調査研究	奥 健夫	鹿島美術財団年報別冊	22	〔口絵写真解説〕東明寺庚申供養地藏石仏(志木市)	青木 忠雄	埼玉史談	280
				中川沿岸に咲いた仏教文化	岩井 茂	"	283
				談話室 坂東家に伝わる鬼子母神・十羅刹女像をめぐって	山口 康行 宮内 正勝	さいたま市博物館研究紀要	4

肥前唐津鏡阿弥陀堂 阿弥如来像修理報 告	竹下 正博 作品解説 浦 弘 刻 所 修理報告	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	29	〈平成16年度 公開 講座 名作名品の誕 生Ⅱ〉仏師定朝の清 水寺別当補任につい て	関根 俊一	帝塚山芸 術文化	12
「戦国・安土桃山の 造像—仏教彫刻・懸 仏編—」展覧会図録 補訂	山下 立	滋賀県立 安土城考 古博物館 紀要	13	初期神像彫刻の研究	丸山 士郎	東京国立 博物館紀 要	40
近江の懸仏(下)	〃	滋賀文化 財教室シ リ ー ズ	213	福井・大飯町 清雲 寺 木造毘沙門天三 尊像—作風に関する 序論的考察	洞口 寛	東北芸術 工科大学 紀要	12
黄檗信仰史 六十～ 六十四	江口 正尊	史迹と美 術	751、753、 754、756、 758	興福寺北円堂再興造 像論—興福寺寺衆と 運慶—	熊田由美子	南都仏教	85
薬師寺再考(中)—金 堂薬師三尊について—	田寺 英治	〃	752	口絵解説 伝金剛童子 立像	稲本 泰生	日本歴史	686
薬師寺再考(下)—講 堂薬師三尊について—	〃	〃	755	図版解説「仁和寺本 堂における現・旧両 阿弥陀三尊像」ほか	古藤 真平	仁和寺研 究	5
馬頭観世菩薩考— 儀軌・図像・轉掲出図 像から見た越後柏崎 石彫諸仏—	大田 将勝	〃	757	特集 路傍の神さま 仏さま 附その他石 造物	古橋 謙壽	ひかたの 歴史と民 俗	6
続「薬師寺再考」—聖 観音像をめぐる—	田寺 英治	〃	〃	平成十六年度支部例 会発表要旨 行橋市 安楽寺の五劫思惟阿 弥陀像	井形 進	美術史	158
沼津市・禅長寺の懸 仏と左拳印の大日如 来像について	大塚 幹也	〃	760	第五八回全国大会研 究発表要旨	〃	〃	159
播磨太山寺、太山寺 川(伊川)不動磨崖仏	清水 俊明	〃	〃	大養徳国金光明寺 と東大寺法華堂不 空罽索観音像	児島 大輔	〃	〃
中世の南円堂不空罽 索観音に関わる信仰 と言説	船田 淳一	巡礼記研 究	2	鎌倉時代初期慶派 仏師の裾・腰布の 着衣形式—慶派形 式の展開と非慶派 仏師への影響—	佐々木あす か	〃	〃
グラビア解説 薬師 如来坐像	稲本 泰生	聖 徳	183	運慶と後期ゴシック 彫刻 運慶が求めた 人物リアリズム	〃	美術の窓	256
グラビア解説 天鼓 雷音如来坐像	岩田 茂樹	〃	184	〔特集〕ヴィ ジュア ル・カルチャー・ス タディーズ—作品か らイメージへ—円 空・白隠・木喰は何 故遅れて発見された か?—近世の宗教美 術から見えてくるこ と	矢島 新	美術フォ ーラム21	12
涙を流した太子像	小松 光江	〃	〃	【資料紹介】仏師菰田 宗二郎写真資料	末吉 武史	福岡市博 物館研究 紀要	15
グラビア解説 行信 僧都坐像	鈴木 喜博	〃	185	蜷江神社・天部形立 像について	土井 通弘	仏教芸術	278
西徳寺の聖徳太子像 —法隆寺・江戸出開 帳の宿所—	小松 光江	〃	186	北向山不動院不動明 王坐像の修理につい て	奥 飯田 健夫 雅彦	〃	280
法輪寺の南無仏太子 像と順心日課心経	小山 正文	〃	〃	〃	〃	〃	〃
多摩川流域の御嶽信 仰と蔵王権現像につ いて	吉田 麻里	女子美術 大学研究 紀要	35	〃	〃	〃	〃
大仏師康正の法眼・ 法印叙任	神戸 佳文	塵 界	16	〃	〃	〃	〃
鎌倉時代初期の幕府 関係の造像と仏師	山本 勉	清泉女子 大学紀要	53	〃	〃	〃	〃
聖林寺十一面観音立 像光背残欠復原の再 考察について	池田久美子	デアルテ	21	〃	〃	〃	〃

小田原市蓮台寺の時宗二祖他阿真教寿像について	薄井 和男	仏教芸術	280	五百羅漢寺所蔵 徳川重倫像	寺西 貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	19
特集 唐招提寺の考古学・金堂の平成大修理によせて 唐招提寺と矢田寺縁起—小野篁の説話に関連して—	高橋 希和 東野 治之	〃	281	朝鮮 高麗時代の裸形男子倚像	菊竹 淳一	デアアルテ	21
特集 九州国立博物館開館によせて 宇美八幡宮 脱活乾漆造聖母宮神像	楠井 隆志	〃	282	開泰寺石造三尊仏立像の研究—新たな統一王朝高麗の出現と仏教彫刻—	崔 聖銀 芹生 春榮 訳	美術研究	385
十二世紀第四四半期の神将像甲制と仏師康慶—東大寺持国天・多聞天像と興福寺中金堂四天王像を中心に—	野口 景子	〃	283	古代韓国の女神信仰と現存女神像について	朴 亨國	仏教芸術	278
宗像大社の宋風獅子とその周辺	井形 進	〃	〃	韓国梁山弥陀庵阿弥陀如来立像について—甘山寺像との比較考察を通じて—	池 江伊	〃	〃
京田辺市観音寺十一面観音像の周辺	井上 一稔	文化学年報(同大)	54	そ の 他 手足網縵相の意味—ブッタゴサ註釈と北伝資料の相違—	勝本 華蓮	印度学仏教学研究	107
[表紙解説]木造夫須美大神坐像	伊東 史朗	文化財*	501	ガンダーラ仏教彫刻における化粧する貴婦人の象徴的意味	田辺 勝美	古代オリエント博物館紀要	25
法隆寺東院夢殿救世観音像の細部モチーフに見える中国北齊時代の要素	清水 真澄	文化史学	61	ターキ・プスターン大洞窟彫刻研究—帝王の比定と製作年代—	〃	国 華	1311
宝城坊本堂十二神将像考	山本 勉	MUSEUM	594	[共同研究]総合仏教研究所研究助成中間報告 アジアの死生観研究—仏教儀礼と基層信仰—カニヤクブジャ(曲女城)の行像	田中 純男	大正大学総合仏教研究所年報	27
雲巖寺の頂相彫刻	浅見 龍介	〃	595	モンゴル仏教における禪浄の研究—瑞応寺の活仏と梵宗寺の活仏とを中心にして—	嘉木揚凱朝	同朋大学仏教文化研究所紀要	24
《資料紹介》仏性寺三十日仏像	田中 義恭	〃	〃	第五八回全国大会研究発表要旨 ジュンナル石窟レーニアードリー第六窟について	豊山 亜希	美術史	159
SPOT 1 飛鳥の遺品・二光寺魔寺		目の眼	345	特集 九州国立博物館開館によせて ドヴァーラヴァティー時代の法輪とその礼拝形態について	原田あゆみ	仏教芸術	282
山梨県の中世石仏—地蔵塚地蔵石仏—	坂本 美夫	山梨県考古博埋文センター紀要*	21	《講演》アフガニスタン、パキスタンにおける最近の考古学的発見	オズモン ド・ボペ ラッチ	MIHO MUSEUM 研究紀要	5
東大寺復興造営における仏師の動向 大規模木彫群造像補任をめぐる社会状況	赤川 一博	四日市市立博物館研究紀要	12	古代インドの従三十三天降下図—パキスタン・ザールデリー遺跡出土品を中心に—	小泉 恵英	MUSEUM	598
仏像調査報告	〃	〃	〃				
高野地区の文化財	松岡久美子	栗東歴史民俗博物館紀要	11				
『日本霊異記』の扉を開く 寺・堂を場として移動する僧・経師・仏師	三原 康之	歴史評論	668				
修理報告 奈良西大寺所蔵 阿弥陀如来坐像の保存修理	岩田 茂樹	鹿園雑集*	7				
本光寺阿弥陀三尊像について—一仏足文を有する来迎形三尊像の初期作例として—	大河内智之	和歌山県立博物館研究紀要	11				

土 偶

日 本

〈史料紹介〉岩手県宮古市近内地区出土の鳴る土偶について	高橋憲太郎	古代文化	558
伊那谷の縄文中期土偶	小林 康男	塩尻市立平出博物館紀要	22
三重県の土偶	森川 幸雄	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
広島県福山市柳津「下迫貝塚」出土土偶について	水ノ江和同	MUSEUM	597
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	
③女性土偶			256
⑤鳥形土偶			258

埴 輪

日 本

〈資料紹介〉館蔵埴輪資料について(5)一轍形埴輪(1)一	鈴木 直人	北区飛鳥山博物館研究報告	7
埴輪生産の多様性—1 古墳出土埴輪の多様性に関する基礎的研究—	城倉 正祥	古代文化	561
〈資料報告〉武蔵埼玉稲荷山古墳出土の埴輪Ⅲ	若松 良一	埼玉県さきたま資料館報*	18
壺形埴輪と東関東の前期古墳—土師器とは異なる壺形埴輪の周知とその系譜—	田中 裕	千葉県文化財センター研究紀要	24
滋賀県の考古学6 最新の成果と課題(第6回)近江における埴輪研究の現状と課題	辻川 哲朗	人間文化	17
高塚1号墳採集埴輪の再検討	豊田 祥三	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
朝顔型埴輪の誕生—その成立と展開の背景—	〃	立命館大学考古学論集	4
円筒埴輪の野焼き方法復元に関する予備実験	北野 博司	歴史遺産研究	3
同工品分析と埴輪製作組織論	城倉 正祥	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50

修士論文概要 埴輪製作組織の編成原理—古墳時代後期の関東を中心として—

面

日 本

〈高松松平家伝来能面調査報告①〉高松松平家伝来能面調査について	三好 賢子	香川県歴史博物館調査研究報告	1
〈高松松平家伝来能面調査報告②〉高松松平家伝来能面目録	三好 賢子 作成	〃	〃
〈高松松平家伝来能面調査報告②〉高松松平家の能面	田邊三郎助	〃	〃
〈高松松平家伝来能面調査報告③〉高松松平家伝来能面の資料的性格について	三好 賢子	〃	〃
年次報告	西川 明彦 山片唯華子 成瀬正和 飯田剛彦 杉田一樹 中尾陽子 尾形充彦	正倉院紀要	27
能面：正面写真による顔の部位の角度情報による類別について	一色 忍	椋山女学園大学研究論集	36
二次元仮面の研究—布作面と蔵面に関する一考察—	須賀 崇江	横浜美術短期大学教育・研究紀要	2

書 蹟

中 国

特集 共生する神・人・仏—日本とフランスの学術交流 景教経典『一神論』とその思想	浜田 直也	アジア遊学	79
『無量寿観経續述』の新出写本について—北京新1202とP3014を中心として—	西本 照真	印度学仏教学研究	106
『菩薩瓔珞本業経』の諸本について—敦煌写本S.3460を中心に—	藤谷 昌紀	〃	107
王羲之と嵇康	杉村 邦彦	書道文化	1
特集 顔真卿撰書「郭虚己墓誌銘」黄侃合璧冊		書 論	34
顔真卿撰書「郭虚己墓誌銘」見学記並びに小考	辻井 京雲		

顔真卿撰書『郭虚己墓誌銘』に用いられた字体について	宮崎 洋一			書論の広場 金農筆明中宛尺牘随想	中谷 幸司	"	"
黄倪合璧冊解題	河内 利治			特集 わかる！篆刻の技法—プロの技を楽しくマスター—		"	177
「死は吾が分なり」—黄道周と倪元璐	松村 昂			チャートでわかる中国の篆刻の流れ	蓑毛 政雄		
福建に黄道周の遺迹を訪ねて	杉村 邦彦			鑑賞①篆刻八家選—中国編—	"		
項穆と『書法雅言』	川瀬 英幹	書 論	34	書論の広場 国宝金印の実像「漢委奴国王」の名称と所在地の関係を正す(Ⅰ)	佐藤 容齋	"	"
明末清初の書法における異体字使用の風潮について(3)	白 謙慎 祁 小春 訳	"	"	お詫びと訂正「迷盤銘文拓本再考」	伊藤 滋	"	"
『救母経』と『生天宝卷』の成書年代商榷	吉川 良和	人文研究	155	明末書壇における隠元の位置	劉 作勝	デアアルテ	21
保存版 早わかり中国書法史 最終回 清	赤井 清美 監修	墨	172	『書譜』の「五合・五乖」論についての一考察	加藤 泰弘	東京学芸大学紀要	57
ギャラリー「王其碑—初拓本—」三国魏景元二年(二六一年)	木 雅 室	"	"	内外東方学界消息(百八)第三回中国出土資料国際会議参加報告	池田 知久 谷中 信一	東 方 学	109
ギャラリー 鄭道昭・集字対聯	"	"	173	帰義軍初期敦煌の僧俗間の序列	赤木 崇敏	"	110
書体シリーズ④楽しくマスターする「篆書」		"	174	漢語仏典における偈の研究—中国撰述経典における偈とその韻律—	齊藤 隆信	仏教史学研究	48-1
STEP 1 篆書に親しもう 篆書から中国古代が見えてくる	福田 哲之			物に執して(七一)	鈴木 皓詞	目 の 眼	344
STEP 2 篆書を味わおう 鑑賞①篆書名品選 古代金文・石刻編 図象銘／何尊／揚方鼎／迷盤／散氏盤／頤鼎／大克鼎／石鼓文／泰山刻石／権銘・量銘	伊藤 滋 解説			西夏文献拾遺(3)—『後漢書』列女伝受容の一資料—	松澤 博	龍谷史壇	122
ガイドダンス 代表的な作例で見る篆書史—甲骨文から小篆まで—	中村 伸夫			共同研究 大谷文書の整理と研究	都築 晶子 小田 義久 北村 高久 渡邊 良文 市川 済滄	龍谷大学 仏教文化 研究所紀 要	44
STEP 2 篆書を味わおう 鑑賞②清代名家 篆書作品選	中村 伸夫 解説			日 本			
書論の広場 『金壺記』を読む	伊藤 文生	"	"	特集 共生する神・人・仏—日本とフランスの学術交流 読経道の相応和尚説話	柴 佳世乃	アジア遊学	79
書論の広場 陶濬宣『稷山論書絶句』誕生の背景—清流派との関係を中心に—	菅野 智明	"	175	歴博本八幡寺旧蔵大般若経について	小西 洋子	石川県立歴史博物館紀要	17
特集 紙型別／書き方レッスン①扇面・色紙 優雅で小粋な書の世界 鑑賞①扇面の世界—中国編—	中村 伸夫 解説	"	176	国学院大学図書館蔵「伏見天皇宸筆御和歌集断簡」について	別府 節子	出光美術館報	130
				『金沢文庫本仏教説話集』の材源資料と欠落部分	松村 恒	印度学仏教学研究	106
				金沢文庫保管『律宗要義抄』について	道津 綾乃	"	"
				日蓮聖人の書簡執筆についての統計	関戸 堯海	"	107

『融通門草』の書誌学的研究	戸田 孝重	"	"	四天王寺国際仏教大学図書館蔵『宝悉地成陀羅尼經』奥書識語と随心院蔵『大日如来金口所說一行法身即身成仏經』一卷の解題と紹介—宝珠・舎利と後醍醐天皇の周辺—	牧野 和夫 高橋 悠介	実践女子大学文学部紀要	47
笠置上人貞慶と聖徳太子信仰—『太鏡百鍊鈔』所収の三種の資料をめぐって—	兼子 恵順	"	"				
日蓮の真蹟—その解説をめぐって—	小林 正博	"	"				
大谷大学図書館所蔵『法華開示抄』の諸写本について	藤谷 昌紀	大谷大学真宗総合研究所研究紀要	22	調査報告 文芸資料研究所蔵手鑑「筆林」	野村 精一 武井 和人 上野 英子	実践女子大学文学部資料研究所年報	24
安藤喜和三氏蔵『後撰和歌集』巻第五の紹介	柳澤 良一	金沢学院大学紀要文学・美術編	3	調査報告 常磐松文庫蔵『伝三条西実澄筆源氏物語系図』翻刻・解説	上野 英子	"	"
古筆手鑑「披香殿」所収古筆切再考	古谷 稔	川崎市市民ミュージアム紀要	17	貞応元年十一月廿日定家奥書本古今集考—寂恵の古今集研究について(続)—	川上新一郎	斯道文庫論集	39
大宰府史跡蔵司西地区出土木簡の再検討	酒井 芳司	九州歴史資料館研究論集	30	中世歌合諸本の研究(七)—『正安元年五種歌合』について・附校本—	佐々木孝浩	"	"
資料 堀内家蔵「長野義言尺牘」一	五葉蔭文庫の会	皇学館論叢	222	国家珍宝帳の書	川上 貴子	正倉院紀要	27
『印信 法務御房集』の研究—(一)解題・本文校訂・影印—	武内 孝善	高野山大学密教文化研究所紀要	18	聖武天皇宸翰『雑集』所収「鏡中釈靈実集」注解	東京女子大学古代史研究会	続日本紀研究	356
伝藤原為家筆『道真集』断簡	久保木秀夫	国文学研究資料館紀要(7)	31	(その二十五)No. 九九 為人父母忌斎文			358
霊元院仙洞における歌書の書写活動について	酒井 茂幸	国立歴史民俗博物館研究報告	121	(その二十六)No. 九〇 毘沙門天王讃一首 No. 九二 会稽県令孤独公画讃 No. 九三 予且画讃			359
伝写と伝承—延暦寺銀字本・仁和寺本系紺紙法華經について—	須藤 弘敏	国 華	1319	(その二十七)No. 八三 画弥勒像讃一首并序			
研究余滴 軸装された日蓮真筆の裏書	生駒 哲郎	古文書研究	60	〔記念講演〕「秋萩帖」に見る和漢の世界	古谷 稔	書道文化	1
口絵解説 二条為世書状(『古文書手鑑』一帖の内)、服部光一郎氏所蔵	藤本 孝一	"	"	日本・中国・朝鮮半島における六朝書風の流れ—多胡碑の書風の成立まで—	豊島 嘉穂	"	"
平仮名史に於ける斎宮跡出土仮名墨書土器の座標	山本 真吾	斎宮歴史博物館研究紀要	14	特集 顔真卿撰書「郭虚己墓誌銘」黄侃合璧冊 梧竹と顔法	日野 俊頼	書 論	34
斎宮跡出土仮名墨書土器の現状と課題	小瀨 学	"	"	短期集中連載 空海の真跡は冒頭四行のみ 国宝灌頂曆名を科学的に検証する③	表 立雲	墨	172
順心日課心経について(上)(下)	小山 正文	史迹と美術	755、756	日本の書文化	松岡 正剛	"	
				③なぜ中国禅は日本化したか			173
				③五山文化にひそむ清冽な岩根			174

特集 紙型別／書き方レッスン①扇面・色紙 優雅で小粋な書の世界—鑑賞①扇面の世界—日本編—	村上 翠亭 解説	墨	176	研究余録 飛鳥池木簡と『大智度論』	志水 正司	〃	689
一茶の謎の短冊を推理する—真筆検証のための私秘情報について—	月山 照基	〃	〃	展覧会評 「古写経」特別展に思うこと	名児耶 明	美術研究	387
特集 わかる！篆刻の技法—プロの技を楽しくマスター—		〃	177	平成十六年度支部例会発表要旨 奈良時代後期の大字写経考察—善光朱印一切経を中心として—	川上 貴子	美術史	158
チャートでわかる日本の篆刻の流れ	中野 遵			天理図書館蔵『シヤカニヨライネンシユノシタイ』(釈迦如来念誦次第)—片仮名本の成立—	大槻 信	ビブリア	124
鑑賞②水木コレクション 高芙蓉遺印—十四方—	伊藤 滋 解説			菅茶山宛姫井桃源書状—黄葉夕陽文庫の菅茶山宛文人書状(3)—	花本 哲志 古文書資料整理ボランティア 協力	広島県立歴史博物館研究紀要	8
よみもの 大和古印の世界	水野 恵			特集 九州国立博物館開館によせて 天平二年書写の般若波羅蜜多經について	藤田 励夫	仏教芸術	282
書の味わい	笠嶋 忠幸	淡 交		《特集》古今集1100年 平安宮跡出土墨書土器和歌を読む—古今集時代の贈答歌・平仮名—	藤原 忠美	文学	6-3
1 観普賢經冊子			721	月例報告会 第17回 古代アジア世界の東と西—ベルリン・トルファン(吐魯番)・コレクションと奈良・正倉院文書の語るもの—	小口 雅史	法大国際日本学研究センター年報	2004
2 雪月花			722	中林・中道遺跡出土の蘇民将来札について	瀬野弥知世	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
3 糸桜図扇面			723	観智院蔵『蓮華部心念誦儀軌』二巻本の翻刻(下)	乾 仁志	密教文化	215
4 布袋和尚			724	東京国立博物館蔵・藤田乗因筆「六六武将賛」について—松花堂流の志向した「書き分け」をめぐる考察—	川畑 薫	MUSEUM	599
5 薫風自南来			725	江戸化政期の粹人、文人たち(53)(蜀山人)人間万事西行猫	渥美 國泰	目の眼	350
6 新撰朗詠抄断簡			726	《史料紹介》柳井市における中世大般若波羅密多經について	福本 幸夫	山口県史研究	13
7 住吉社法楽和歌短冊			727	歴史の証人 写真による収蔵品紹介 人間文化研究機構連携展示 うたのちから—和歌の時代史—	吉岡 眞之	歴 博	132
8 白氏詩卷			728	かつらぎ町三谷・龍谷寺所蔵の大般若經について	竹内 康彦	和歌山県立博物館研究紀要	11
9 菊図色紙			729				
10 葛下絵新古今集和歌色紙			731				
11 熊野懷紙			732				
12 心外無法満目青山			733				
特集 歌切の美—やまと心と古筆の風雅—		〃	729				
歌切の美	名児耶 明						
和歌の世界	安井 重雄						
茶席の歌切	名児耶 明						
書写山円教寺「性空上人和讃」について	桑谷 祐顕	天台学報	47				
仕丁木簡一題	市 大樹	奈良文化財研究所紀要	2005				
正倉院聖語藏経巻調査報告(一)—奈良時代書写の華嚴経について—	東大寺図書館	南都仏教	86				
研究余録 寂室和尚を祭るの文	西尾 賢隆	日本歴史	683				
口絵解説 土功徳経	横内 裕人	〃	687				

口絵・早稲田大学新 収貴重書(24)明月記 断簡 嘉禄元年(12 25)		早稲田大 学図書館 紀要	52	「京都覚書」について —京都府立総合資料 館所蔵『都之記』を中 心として—	松田万智子	京都府立 総合資料 館紀要	33
朝鮮・その他							
扶余・陵山里出土木 簡と泗沘都城関連施 設—統治組織関係木 簡の検討を中心に—	近藤 浩一	東アジア の古代文 化	125	〔所蔵史料目録〕徳川 林政史研究所所蔵 尾張徳川家文書目録 (一)		金鯢叢書*	32
ラトナムニ・ヴァジ ユラーチャールヤが ラサで書写したネ ワール仏教写本	吉崎 一美	印度学仏 教学研究	107	〔所蔵史料目録〕徳川 林政史研究所所蔵 石河家文書目録(一)		"	"
『カーランダ・ヴェ ーハ』の研究—メッ テ校訂本とサマスラ ミ校訂本の相違点—	佐久間留理 子	"	"	『久米具志川間切旧 記』について	上江洲 均	久米島自 然文化セ ンター紀 要	5
大谷大学所蔵貝葉写 本: Aḍitajātakaにつ いて—ビルマ(Zim- mé)版および北タイ (Lanna)版との比較 —	村西 弘行	"	"	単なる札状にすぎな いが—内容と料紙か らみた金沢貞顕書状 —	永井 晋	ぐんしょ	68
古文書・古記録							
中 国							
江陵張家山漢墓出土 「二年律令」訳注稿 その(二)	「三国時代 出土文字資 料の研究」 班	東方学報 京都	77	【資料翻刻】「神宮編 年記」(内宮長官日 記)—〔寛文二年十月 ～十二月〕—	神宮史料輪 読会	皇学館大 学神道研 究所紀要	21
日 本							
「市岡家の考古資料」 補遺—資料集成のあ り方を見返しながら —	宮澤 恒之	飯田市美 術博物館 研究紀要	15	中世の誓約文書—起 請文の、二つの系列	千々和 到	国学院雑 誌	1174
特集 鎌倉と観音信 仰		鎌 倉	100	『松雲公採集遺編類 纂』所収「持明院家文 書」について	菊池 紳一	"	1176
『吾妻鏡』における 「夢」	伊藤 一美			平安時代の表白と願 文に於ける文体的連 関	山本 真吾	国語国文	847
鎌倉の主な観音縁 起	鎌倉古文書 研究会			古代アジア世界の東 と西: 在ベルリン吐 魯番文書と正倉院文 書の語るもの—その 研究の歴史と一断面 —	小口 雅史	国際日本 学	2
「寿延年譜」	池田 令道			草案集とその研究	山崎 誠	国文学研 究資料館 紀要(7)*	31
蝦夷国泰寺史料の諸 相(八)	三瀬美恵子	"	"	資料調査 出雲国風 土記写本の調査(二)	野々村安浩	古代文化 研究	13
研究ノート「東大寺 文書」嘉暦三年正月 日服部道一申状并具 書案所収源頼朝下文 案をめぐって	清水 亮	鎌倉遺文 研究	15	随筆 高山寺文書と 藤原隆信消息	藤本 孝一	古文書研 究	60
研究余瀝 嶋津荘内 薩摩方伊作荘・同日 置北郷の「下地中分」 について	海老澤 衷	"	"	古文書めぐり 国立 歴史民俗博物館所蔵 の中世文書—個別収 蔵文書を中心に—	高橋 一樹	"	"
『鎌倉遺文』未収録 「東寺百合文書」(15) (16)	早稲田大学 大学院中世 史ゼミ	"	15、16	『東叡山本坊文庫惣 目録』について—補 訂など—報告	牧野 和夫	実践国文 学	67
				比叡山の巡礼記と記 家—根本中堂の竹台 をめぐって—	高橋 悠介	巡礼記研 究	2
				〔資料紹介〕日本大 学総合学術情報セン ター蔵『後鳥羽院御 順礼記』翻刻と考察 —流布系本『建久御 巡礼記』の一伝本—	大橋 直義	"	"

[資料紹介]阪本龍門 文庫蔵『南都山階寺 諸寺諸院私記』翻刻 と考察—神宮文庫本 『建久御巡礼記』と 『源平盛衰記』所収縁 起との関連—	大橋 直義	巡礼記研 究	2	第五八回全国大会研 究発表要旨『七大 寺巡礼私記』の成立 について	田 竈 美保	美術史	159
				興福寺の草創を語る 史料について	小林 裕子	美術史研 究	43
法隆寺資財帳は完本 か	東野 治之	聖 徳	183	『兼見卿記』	岸本 眞美	ビブリア	
資料紹介『定能卿記 治承二年』	宮崎 康充	書陵部紀 要	56	(六)文禄四年自七 月至十二月			123
特集:平安時代の口 伝・言談・筆録		駿台史学	126	(七)文禄五年自正 月至六月			124
『中外抄』の史料的 特質に関する一考 察	上杉 和彦			中世末期の掟書と地 域社会	山本 順也	栗東歴史 民俗博物 館紀要	11
『七大寺巡礼私記』 と言談	河内 春人			興福寺本『春日興福 寺流記』の外題と翻 刻	藪中五百樹	立命館大 学考古学 論集	4
『枝葉抄』翻刻並解題 (一)	馬淵 和夫	醍醐寺文 化財研究 所研究紀 要	20	【歴史のひろば】古文 書調査における角筆 文献の発掘	西村 浩子	歴史評論	664
徳川家康文書の研究 後拾遺集 其二十七	徳川 義宣	大 日 光	75	翻刻『故事部類抄』 (八)—曲亭叢書—	曲亭叢書研 究会	早稲田大 学図書館 紀要	52
神社関係文書の特色 とその整理—市原市 高滝小幡家文書を事 例として—	平野 明夫	千葉県の 文書館	10	金石文など			
大会特集 敦賀—日本 海—琵琶湖、風の 通り道—問題提起9 地域研究と本願寺所 蔵の近世真宗史料	左右田昌幸	地方史研 究	316	中 国			
書き替えられる前の 外交文書—日本国執 政宛朝鮮礼曹参判吳 百齡書契の紹介—	橋本 雄	東風西声*	1	特集 中国学の現在		国学院雜 誌	1183
史料紹介 宗家文書 「第五十二之箱」所収 の外交文書について	米谷 均	" "	"	羊舌肸春秋に習ふ —賢者叔向の淵源	一色 英樹		
[史料紹介]本願寺蹟 如筆、報恩講等和讃 の「讃頭」について	青木 忠夫	同朋大学 仏教文化 研究所紀 要	24	白居易のメディア 戦略—『白氏文集』 歌詩に於ける「陰 陽」の偏在を手掛 かりとして—	谷本 玲大		
達磨寺蔵『聖徳太子 御絵指示』解題と翻 刻	筒井 早苗	" "	"	『老子虞齋口義』伝本 攷略	山城 喜憲	斯道文庫 論集	39
鎌倉時代周防国庁関 係文書	吉川 聡	奈良文化 財研究所 紀要	2005	『韻府群玉』 版本考 (五)	住吉 朋彦	" "	"
国分寺発願勅につい て	水野柳太郎	南都仏教	86	宋版一切経表紙芯紙 に見える反故紙につ いて	中村 一紀	書陵部紀 要	56
玉井家蔵「大仏殿再 建記」解説および史 料翻刻 第一回	島津 良子 坂東 俊彦	" "	"	鄧石如の篆刻—一人と の出会いを中心にし て	高畑 常信	書 論	34
仁和寺本『系図』の研 究・翻刻(二)	関口 力	仁和寺研 究	5	ギャラリー「荇陽宮 銅鑪」前漢・甘露二 年(前五二)	木 雞 室 墨		174
仁和寺編年史料(二)	古代学研究 所 編	" "	"	仁寿舍利塔銘に関す る一考察—羅振玉旧 蔵(大隋皇帝梓州舎 利塔銘)をめぐる—	中村 伸夫	筑波大学 芸術研究 報告	45
				宋元時代の建陽と廬 陵における分集本出 版	土肥 克己	東方学	109

大会抄録 房山雲居寺石経と唐代社会	氣賀澤保規	東洋史研究	64-3	「雑字」系類書と『小兒論』テキスト—「雑字」系類書の一伝本：内閣文庫蔵明刊『新錦増補／類纂摘要』贅頭「雑字」所収『小兒論』紹介—	牧野 和夫	〃	68
研究余録 井真成墓誌についての基礎的考察	葛 継勇	日本歴史	690	根本通明先生蔵書紀略—根本文庫研究之二—	高橋 智	斯道文庫論集	39
古代史情報(井真成墓誌について)	片岡 正人	東アジアの古代文化	122	伊達氏における印判状の成立	菅野 正道	仙台市博物館調査研究報告	25
中国西安の日本遣唐使墓誌と墓主井真成	鈴木 靖民	〃	123	東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(二)—僧侶・寺院の蔵書印 附 神官、神社の蔵書印(上)—	中善寺 慎	東洋文庫書報	36
遣唐使留学生「井真成墓誌」への疑問	氣賀澤保規	〃	〃	口絵解説「為政以德」印	松本 純子	日本歴史	689
「井真成墓誌」に関する諸問題	王 維坤	〃	〃	史料散歩「七支刀銘」の文脈散歩	濱田 耕策	〃	〃
遣唐使墓誌をめぐる議論の行方	渡辺 延志	〃	〃	司馬江漢『和蘭天説』の諸刷について—天理図書館所蔵日欧交渉資料(七)—	神崎 順一	ビブリア	123
特集 遣唐使墓誌をめぐる日中交流史 井真成墓誌をめぐる日中国際学術シンポジウムと市民セミナーについて	荒木 敏夫	〃	〃	六国史の書写と印刷—伝本調査の意図するもの—	遠藤 慶太	文学	6-4
唐の日本留学生の井真成墓誌に関する私見	王 維坤	〃	124	横浜市城出土古代鉄製品集成(稿)	平野 卓治	横浜市歴史博物館調査研究報告	1
読む書物、見る書物—伝統中国の絵本(三)(四)	井上 進	百科*	514、515	(財)大東急記念文庫・高野山大学図書館蔵「柚保隠道鈔」の紹介と翻刻	遠藤 廣昭	〃	〃
陳建『皇明資治通紀』の禁書とその続編出版(一)	新宮 学	山形大学歴史・地理・人類学論集	6	日下大取海野岡本兼築北山西田松田和田大谷加藤神作中川長谷盛田	幸男 馬介 聡 信行 正宏 貴 恭 幸 太 枝 研 一 豊 尋 帝子	龍谷大学文化研究所紀要	44
元末明初における大蔵経印造と経鋪	野沢 佳美	立正史学	98	共同研究 近世板本板元の総合的研究	虎尾 俊哉	歴 博	130
国宝金印「漢委奴国王」の読み方と志賀島発見の謎	久米 雅雄	立命館大学考古学論集	4	〔コラム〕文化財としての「印」	資料管理課 特別資料室	早稲田大学図書館紀要	52
日 本				朝鮮	呉 吉煥	古代文化	563
『仏祖宗派総図』と五灯録	須山 長治	印度学仏教学研究	106	『広開土王碑文』紀年記事にみえる広開土王の軍事行動			
松浦武四郎の石碑をたずねて—聖跡二十五社天満宮巡拝—	辻本 武	大阪文化財研究	27				
久米島にある「宝物」—周煌から神々へ捧げた詩歌を中心に—	孫 薇	久米島自然文化センター紀要	5				
〔資料紹介〕寄託品・所蔵品から	上江洲 均	〃	〃				
納経帳と略縁起—親鸞上人廿四輩巡礼と刷物—	中澤 伸弘	ぐんしょ	70				
門前の標石柱から学ぶもの—上尾市今泉・十連寺—	青木 健	埼玉史談	281				
仮名草子覚え書	渡辺 守邦	実践国文学	67				

『中原高句麗碑』の
「高麗太王」と麗・羅
関係

糸永 佳正 歴史研究 42

そ の 他

大会抄録 大越陳朝
碑文研究序説

桃木 至朗 東洋史研究 64-3

アッカド期における
円筒印章外形の規格
化

木内 智康 西アジア考古学 6

インダス文明の交易
活動における印章

小磯 学 " "

宗 教 工 芸

中 国

妙応寺白塔の奉納品
に見る乾隆帝のチベ
ット仏教信仰—乾隆
18年の白塔修復につ
いて—

石濱裕美子 学術研究 53

口絵解説 孔雀鎗金
経箱

齋藤 孝正 文化財* 501

北京・大鐘寺古鐘博
物館を訪ねて

石田 肇 梵 鐘 18

日 本

観世音寺出土銅およ
び銅合金製遺物の材
質に関する基礎的調
査

加藤 和歳 九州歴史資料館研究論集 30

真言密教の修法と如
意宝珠

中村 本然 高野山大学密教文化研究所紀要 18

金銀鍍宝相華文透彫
華篋

久保 智康 国 華 1321

〔表紙写真解説〕山家
神社の鰐口(長野県
真田町山家神社所蔵)

四方田 悟 埼玉史談 281

伊豆の鰐口

高野穂多果 静岡県埋文調査研究所紀要* 11

茂原市橘樹神社境内
地出土の経塚遺物

西野 元 千葉県文化財センター研究紀要 24

音具「スズ(鈴)」をめ
ぐって小柴はるみ 東海大学紀要教養学部 35
藤田 直子栃木県立宇都宮女子
高等学校所蔵「百万
塔」について

森嶋 秀一 栃木県立博物館研究紀要 22

口絵解説 鉦鼓

伊東 哲夫 日本歴史 685

口絵解説 首懸駄都
種子曼荼羅厨子

内藤 榮 " 688

第五八回全国大会研
究発表要旨 厳島神
社蔵国宝密教法具試
考

小林 泰司 美術史 159

歴史時代の鑄造遺跡
とその論点

神崎 勝 梵 鐘 18

東京狛江泉龍寺の梵
鐘福井 卓造 " "
鈴木 勉

広島県の梵鐘=続編

米田 仁 " "

埼玉県(武蔵国)の江
戸時代鐘銘集(一)

花房健次郎 " "

新潟県の江戸時代梵
鐘年表稿

愛甲 昇寛 " "

法隆寺献納宝物 広
東綾幡—平成十五・
十六年度の修理で判
明した新知見—

沢田むつ代 MUSEUM 597

修理報告 奈良惣社
水分神社所蔵 黒漆
瓶子の保存修理

北村 繁 鹿園雑集* 7

朝鮮・その他

正統十四年銘朝鮮鐘
—李朝時代最古の遺
品—

坪井 良平 梵 鐘 18

日光東照宮鐘と根津
美術館鐘—渡来の李
朝鐘二口—

姜 健栄 " "

タイの古鐘について

上野 恵司 " "

武 具 ・ 馬 具 類

日 本

【研究ノート】石上神
宮鉄盾観察記—適切
な展示によって判っ
たこと—

伊藤 純 大阪歴史博物館研究紀要 4

中近世移行期の『鉄
炮之大事』・『南蛮流
秘伝一流』にみる技
術と呪術

井原今朝男 国立歴史民俗博物館研究報告 121

偏在分布馬具に関す
る—考察

栗林 誠治 真 朱 5

帯金革綴式甲冑の製
作工程復元の視角—
所謂直交綴の整理を
通じて—

太田 雅晃 駿台史学 125

成田市西ノ下遺跡発
見の管打式銃部品に
ついて

折原 繁 千葉県文化財センター研究紀要 24

板屋谷内B・C古墳
群の金属製品の一考
察

杉山 大晋 富山考古学研究 8

西都原あるいはえび
の市真幸出土の三角
板鋸留短甲

吉村 和昭 宮崎県立西都原考古博物館研究紀要 1

特集・古代の武蔵野
奈良時代の壺鍔が出
土した大里町下田町
遺跡について

瀧瀬 芳之 武 蔵 野 341

《講演会記録》南蛮銅具足	池田 宏	和歌山県立博物館研究紀要	11	茶の湯一月 歌枕紀行 五十鈴川・御裳灌川 道具の記・解説	杉山 左近	〃	721
朝鮮・その他							
加耶と倭の歴史環境	東 潮	朝鮮学報	196	茶の湯考古学 遺跡と茶道具		〃	
韓国内出土馬具類集成	北郷 泰道	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	1	百万石の文化都市・金沢の遺跡	佐々木花江 赤沼多佳 協力		〃
研究ノート ヨルダン南部、ワディ・ブルマ周辺遺跡採集の蹄鉄	武内 律志	西アジア考古学	6	加賀藩の陶磁器生産と茶の湯	〃		722
茶 道 具							
中 国							
根津美術館 特別展「唐物茶入」より	西田 宏子	陶 説	626	江戸城・大名小路の茶碗	長佐古真也 赤沼多佳 協力		725
物に執して(七六)	鈴木 皓詞	目の眼	349	尾張藩上屋敷跡出土の御庭焼と国元のやきもの	〃		726
日 本							
鎌倉時代の密教書にみる茶	高橋 秀榮	金沢文庫研究	315	近世における毛利氏の城下町・萩の茶道具	柏本 朝子 赤沼多佳 協力		727
art news 楽茶碗は「使い捨て」だったか		芸術新潮	666	萩藩毛利家江戸屋敷出土の茶碗	長佐古真也 赤沼多佳 協力		728
嗜好の文化的構造—日本における酒・茶・煙草の受容を中心に—	谷田 有史	斎田茶文化振興財団紀要	5	国際貿易港・長崎出土の茶道具(前編)(後編)	扇浦 正義 赤沼多佳 協力		729、731
仮想茶会潜入記	谷 晃	淡 交		仙台城跡出土の陶磁器	佐藤 洋 赤沼多佳 協力		732
1 松永久秀の多聞山城茶会			721	汐留遺跡・大名の江戸屋敷に見る茶道具の断片	石崎 俊哉 赤沼多佳 協力		733
2 臨戦態勢下の油屋常祐茶会			722	【特集】釜師・大西家—精緻な技と朽ちの美—	大西清右衛門美術館 協力	〃	722
3 織田信長の妙覚寺茶会			723	大西家の歴代と作風			
4 明智光秀の坂本城茶会			724	大西家と画人たち—芸術とのコラボレーション—			
5 丹後宮津での連歌会			725	茶の湯二月 歌枕紀行 北野 道具の記・解説	杉山 左近	〃	〃
6 豊臣秀吉の大坂城大茶湯			726	【特集】釉薬の妙 釉薬の妙	北村美術館 協力	〃	723
7 博多箱崎の神屋宗湛茶会			727	瀬戸の陶芸～茶の湯というフィルターを通して～		〃	〃
8 北野の大茶の湯			728				
9 大和大納言秀長の茶会			729				
10 千宗易最期の茶会			731				
11 吉野で行われた「利休亡魂」茶会			732				
12 稲田宗雁の利休相望茶会(其の一)			733				

茶の湯四月 歌枕紀行 和歌の浦 道具の記・解説	杉山 左近 淡 交	724	特集 瓢と茶道具	"	732
特集 風炉のはなし 風炉の起こりと成り立ち	筒井 紘一	"	口切の茶事と瓢炭斗	土本 宗丘	
特集 茶陶の源流をさぐる	荒川 正明	"	瓢と茶道具—瓢を愛した茶人たち—	横田八重美	
茶の湯六月 歌枕紀行 富士 道具の記・解説	杉山 左近	"	特集 茶道具の「次第」	"	733
宇治茶余話【6】極上と御詰	坂本 博司	"	茶の由緒を語るもの		
特集 茶席の水指		"	「次第」から探る茶道具の魅力 茶道具が生まれる三つの過程	竹内 順一	
水指の変遷			「次第」が映し出す先人のまなざし	宇野千代子	
茶席における水指のすがた	黒田 宗光		茶の湯十二月 歌枕紀行 塩の山 道具の記・解説	杉山 左近	"
茶の湯七月 歌枕紀行 住吉 道具の記・解説	杉山 左近	"	「古染付」舶載の背景—茶会記からの考察—	中路のぶ代	帝塚山大学院紀要* 6
特集 琉球文化と茶		"	重要文化財 伊賀耳付水指 銘 伊賀耳破袋	井上喜久男	陶 説 624
琉球の歴史と茶の湯	高津 孝		洛中桃山茶陶発掘三〇年	永田 信一	"
首里城出土の茶道具にみる琉球の喫茶	新垣 力		乾山にみえる和のうつわの伝統性—「茶陶の源流」展に寄せて—	荒川 正明	"
茶人と茶道具一名器をめぐる茶人群像		"	肩衝茶入 銘 松屋	西田 宏子	"
巻頭エッセイ 伝世と茶湯の背景	澤田ふじ子		澄心庵茶話	杉浦 澄子	"
茶道具にたずねる茶匠の数寄と風流 茶人と茶道具①	谷 晃		その二		"
茶道具前史から利休の「わび」へ			その三 蕎麦茶碗		627
コラム 茶の湯で尊重される中国の文物—茶の湯独特の美意識	"		その四		629
茶道具にたずねる茶匠の数寄と風流 茶人と茶道具②	筒井 紘一		その五 亡き人を偲びて		632
千宗旦の侘び数寄とその周辺			その六 茶陶の味		633
茶道具にたずねる茶匠の数寄と風流 茶人と茶道具③	谷端 昭夫		丹波の茶陶	中西 薫	"
近世大名の茶 貴族の茶			重要文化財 色絵月梅図茶壺 仁清	伊藤 嘉章	"
コラム 箱と箱書	目片 宗弘		朝鮮唐津茶碗 銘 深山路	尾崎 直人	"
茶道具にたずねる茶匠の数寄と風流 茶人と茶道具④	鈴木 皓詞		大名茶の形成と島津氏	上原 兼善	日本史研究 518
近代数寄者と茶道具			《研究ノート》金森宗和の花押と結所	武田 清明	野村美術館研究紀要 14
コラム 海外で生まれた茶道具—茶人による注文生産	谷 晃		《史料紹介》金森宗和の書状(二)	谷 武田 晃 武田 清明	"
			《調査報告》塗師佐野長寛の作品	江頭 幸恵	"
			《翻刻》野村得庵茶会記(六)	野村美術館学芸部	"

中国宜興紫砂茶壺 (急須)の日本的受容	城塚 朋和	明星大学 研究紀要	13
シリーズ連載⑤初期 伊万里の世界 初期 伊万里の茶陶	丹羽理恵子	目の眼	340
物に執して (六九) (七十)(七八)	鈴木 皓詞	"	342, 343, 351
特集 茶道具をみる 楽しみへ初公開 石 橋コレクションの茶 道具集〜 対談 伝え られてゆく ものと 人との絆	鈴木 皓詞 平間 理香	"	343

装身具・化粧具

中国

中国遼寧省の遺跡と 博物館および天理参 考館蔵の北方系帯飾 板	小田木治太 郎	天理参考 館報	18
--	------------	------------	----

日本

my favorite things 企画者にも選ばせ ろ!「博物館で、こ ってり味の『とんこ つ』をどうぞ」	岩崎 均史	芸術新潮	669
---	-------	------	-----

古墳時代の垂飾付耳 飾の復元技術につ いて(2)―長畑1号墳 出土土品・金製垂飾付 耳飾の場合―	依田香桃美	古代文化 研究	13
--	-------	------------	----

東京都多摩市塚原古 墳群第4号墳出土の 装身具	菅野 和郎	玉川大学 教育博物 館館報	2
-------------------------------	-------	---------------------	---

根付の意匠	吉田ゆかり	目の眼	
(二一)梶原源太景 季(腋梅)			341
(二二)洗耳(許由 と巢父)			343
(二三)般若面 道 成寺と葵上			345
(二四)麝香猫(靈 猫)			347
(二五)花和尚魯智 深			349
(二六)亀石			351

朝鮮

新羅の装身具	鄭 聖喜 井上美奈子 訳	鹿園雑集*	7
--------	--------------------	-------	---

研究ノート 一須賀 D4号墳の釵子	小浜 成	大阪府立 近つ飛鳥 博物館館 報	9
----------------------	------	---------------------------	---

文房具

中国

特集 文房四宝シリ ーズ①筆・墨・硯・ 紙―上手に付合うた めの手引 鑑賞①中 国硯の流れ―漢代か ら現代まで	楠 文夫 解説	墨	175
--	------------	---	-----

ギャラリー「秋邨硯 譜」	木 雞 室	"	"
-----------------	-------	---	---

連載 文房四宝の話	北畠 雙耳 北畠 五鼎	目の眼	
-----------	----------------	-----	--

36 煎茶図竹管筆			340
37 瑠璃釉水滴			341
38 印章二顆			342
39 瓜硯硯			343
40 羅漢贊墨			344
41 花卉図詩箋			345
42 蕉葉刻墨床			346
43 印章二顆			347
44 夔竜廻紋硯			348
45 硯鷺図筆筒			349
46 五老図墨			350
47 涵星硯			351

朝鮮

興福寺一乗院跡出土 の葡萄文硯	次山 淳	奈良文化 財研究所 紀要	2005
--------------------	------	--------------------	------

装演・料紙装飾

日本

文化財、茶等にに使 われる表具裂地の基礎 知識	小嶋 義雄	田原の文 化	31
-------------------------------	-------	-----------	----

日本古典の装訂につ いて	藤井 隆	豊橋市美 術博物館 研究紀要	14
-----------------	------	----------------------	----

はしきらず 扇子と 団扇	御 衣 黄	百万塔	122
-----------------	-------	-----	-----

陶磁

東アジア

歴史の証人 写真に よる収蔵品紹介 企 画展示「東アジア中 世海道―海商・港・ 沈没船―」に寄せて 東アジアの煌き	上野 祥史	歴 博	129
--	-------	-----	-----

中国

〈表紙図版解説〉白地 黒搔落鵲文枕	金沢 陽	出光美術 館館報	131
----------------------	------	-------------	-----

平成17年定期刊行物所載文献(古／陶)

江西景德鎮明清御器(窯)廠落選御用磁器処理についての考察	権金沢 山陽 出光美術館 132	短期集中連載 目からウロコ!の古染付絵解き考	山本富太郎 目の眼
北宋美術における植物文様の研究—陶磁器文様に見る宮廷趣味—	遠藤 啓介 鹿島美術財団年報別冊 22	第一回 青雲の蟹童子	344
遼代低火度焼成陶器の研究—遼三彩の成立過程—	浅沼 桂子 " " "	第二回 生命の桃	345
中国青瓷ものがたり(21)～(25)—三国・西晋時代の青瓷2～6—	森 達也 陶 説 623、624、626、630、633	第三回 カルチャーギャップから生まれた傑作? 桜川水指	346
「北宋官窯探訪」余談	伊藤郁太郎 " 625	最終回 祝福の松	347
愛知万博で見る中国陶磁	森 達也 " 627	特集 建築明器—古代中国が夢見た沙中の楼閣—	" 349
白地黒搔落鵲文枕	金沢 陽 " 628	インタビュー 甦る古人の情景	茂木計一郎
出光美術館・やきものに親しむⅣ「中国・磁州窯—なごみと味わい—」展より	" " " "	日 本	
重要美術品 法花蓮池水禽文瓶	川島 公之 " 629	art news 八人でも六兵衛 京焼の冒険	芸術新潮 662
ヨーロッパの東洋陶磁コレクション	弓場 紀知 " "	織部南蛮人燭台	瀬山 里志 国 華 1316
汝窯原料見聞記(上)(下)	長江 惣吉 " 629、630	江戸後期における嬉野町内野山窯の磁器生産—予察—	家田 淳一 29
中国青花展—華麗なるコバルトブルーの世界	後藤 修 " 629	信楽焼甕の変遷について	松澤 修 滋賀県文化財保護協会紀要 18
嶺南瑣記	長谷部楽爾 " 631	古代出土瓦鉢研究の現状と課題	勝又 直人 静岡県埋文調査研究所紀要* 11
越州窯青磁四耳壺、再誕への考察	島田 幸一 善彦 東風西声* 1	焼継ぎに関する記述—出土資料を補足する文献について—	木村 忠義 " "
西安旧飛行場跡地発見の唐三彩窯に関する覚書	巽 淳一郎 奈良文化財研究所紀要 2005	《資料紹介》脇本窯跡・大曲窯跡出土資料	関 明恵 縄文の森から 3
第五八回全国大会研究発表要旨 宋代越州窯の再考—唐宋金銀器との相関性からの一試論—	三笠 景子 美術史 159	海外紹介2 第4回 フランス東洋陶磁学会参加記	弓場 紀知 女性歴史文化研究所紀要 13
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部 美術の窓	紀年銘を記した近世陶磁器—生産者・生産地に関する銘文の検討を中心に—	森本伊知郎 椋山女学園大学研究論集 36
9 駱駝俑		中世房総における陶磁器類の流通・消費動向	井上 哲朗 千葉県文化財センター研究紀要 24
13 人物形灯		五斗落遺跡出土の灰釉陶器	黒澤 春彦 土浦市上高津貝塚年報* 11
中国陶磁に見る「戌」の名品	浦上 満 談 美術の窓 "	出土陶器碗からみた尾張藩市谷邸の画期—柳茶碗・御小納戸茶碗・灰釉平碗の分析から—	内野 正 東京都埋蔵文化財センター研究論集 21
新収品紹介 青花蓮池文大皿 景德鎮窯	今井 敦 MUSEUM 597	瀬戸陶芸の発祥	藤澤 良祐 陶 説 622
明代後期の官窯磁器の様式に関する一考察—漆器の意匠との関連をめぐって—	" " 598		

近世の瀬戸—磁器創製への道—	仲野 泰裕	"	623	二つの「末広山」—焼いたのは今治の「湊焼」か兵庫の「新宮焼」か—	吉田 忠明	"	627
日本陶磁の流れ(25)(26)	井上喜久男	"	623、625	「美濃古陶展(桃山時代から江戸時代前期)」によせて	河合 竹彦	"	628
柑子口花生	荒川 正明	"	625	鑑賞陶器ベスト5アンケート	森 孝一	"	629
座談会 洛中出土の桃山陶器(前編)(後編)	永田 信一 中ノ堂 一信 井上喜久男 弓場 紀知 樂吉左衛門 森 孝一 司会	"	625、626	丹波 桐文壺	松岡 千寿	"	630
九谷色絵の再発見	佐々木達夫	"	625	明快調丹波	青木 重雄	"	"
古九谷の謎	後藤 正行	"	"	丹波焼の研究史と課題	大村 敬通	"	"
仁清窯採集陶片からみた御室永楽窯	鈴木 裕子	"	626	兵庫陶芸美術館開館記念特別展「やきもののふるさと 丹波—名品でたどる八〇〇年のあゆみ—」展	松岡 千寿	"	"
兵庫で焼かれた陶磁器	"	"	"	佐野乾山の発見者故篠崎源三の貴重な資料との出会い	近藤 京嗣	"	"
(1)(2)	大村 敬通	"	626、628	色絵芦雁文皿	大橋 康二	"	631
(3)東山焼	山本 和人	"	629	東京国立博物館 特別展「華麗なる伊万里、雅の京焼」へのご招待	伊藤 嘉章	"	"
(4)三田焼	"	"	630	肥前陶磁にみる京の影響	森田 孝志	"	"
(5)珉平焼について—淡路文化史料館収蔵の資料を中心に—	深田 英夫	"	631	松岡美術館所蔵の伊万里コレクション「古伊万里展—古九谷・柿右衛門・金襴手」によせて	後藤 修	"	"
(6)明石焼について	稲原 昭嘉	"	632	特別展 高取焼によせて	西田 宏子	"	632
(7)舞子焼について	"	"	633	根津美術館 特別展「筑前 高取焼—古高取と遠州高取—」より	編集 部	"	"
野々村仁清作 白鷺香炉	山田 正樹	"	627	根津美術館 特別展「筑前 高取焼—古高取と遠州高取—」より 口絵・表紙図版解説	尾崎 直人	"	"
乾山と司馬温公の『独樂園記』	西川 秀敏	"	"	二つの高取焼展開催を鑑みる	毛利 茂樹	"	"
静嘉堂所蔵の京焼「京のやきもの—仁清・乾山・楽代々—」展によせて	山田 正樹	"	"	九州近世陶磁史における蹴ロクロ回転方向性に基づく編年化試論—一七世紀高取焼と上野焼のロクロ回転方向性の変化を中心に—	中西 博之	"	"
鍋島・後期の作風を観る	小木 一良	"	"	黄瀬戸の文様(上)(下)	國分 義司	"	632、633
(1)安政三年鍋島献上品類、その後の変化	"	"	"	吉田屋 枇杷梅花図額鉢	荒川 正明	"	633
(2)享保十一年以降、鍋島色絵の変化	"	"	628	吉田屋について	北出不二雄	"	"
(3)安永三年に始まる献上品、初期作品の検索	"	"	629				
(4)葉の濃淡染め分け描法	"	"	630				
(5)平戸作品との判別	"	"	631				
(最終回)中国磁器写しの鍋島と商人層所持の恩恵	"	"	632				

「古九谷浪漫 華麗なる吉田屋」展に寄せて	嶋崎 丞 陶 説	633	26 愛知のやきもの(3) 笹島焼、石春焼		346
全国巡回展「古九谷浪漫 華麗なる吉田屋」展によせて 再興九谷 吉田屋の魅力	中矢 進一	〃 〃	27 愛知のやきもの(4) 尾張・高須・水戸三親藩の御庭焼		347
文人の育んだ陶画—吉田屋の色絵磁器—	荒川 正明	〃 〃	28 愛知のやきもの(5) 蟹江町のやきもの再考		348
座談会 現代九谷の窯の現場で吉田屋文書を読む	堀江 青光 稲手 忠弘 山本 長左	〃 〃	29 愛知のやきもの(6) 江戸末期の尾張藩御庭焼		349
つくり手の視点でみる若杉焼	徳田八十吉	〃 〃	30 ユニークな名古屋のやきもの豊楽焼 一、豊楽焼の始まり		350
酒井田柿右衛門と古九谷	平井 義一	〃 〃	31 ユニークな名古屋のやきもの豊楽焼 二、豊楽焼二代		351
加賀・越中の楽焼(二) 竹亭焼	木村 弘道	富山市箕牛人記念美術館報	14	「伊万里」調査最前線	大橋 康二 〃
鳥羽八代神社の神宝2	金子 浩之	奈良文化財研究所紀要	2005	(47) インドネシア・スラウェシ・ブトン島発見の伊万里	〃 341
研究ノート 新潟県の銭貨埋納容器の諸例—埋納貨幣と埋納容器の変遷—	戸根与八郎	新潟県立歴史博物館研究紀要	6	(48) ケンタウロス文様	〃 343
緑釉陶器から見た篠山市西木之部遺跡の様相(上)	池田 正男	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	4	(49) 清朝磁器を写した輸出伊万里	〃 345
近世丹波系大路窯について—東窯址付近出土資料の紹介と検討—	村上 泰樹	〃 〃	最終回 肥前磁器に見るカササギ文様		347
	西川 秀敏 モデレータ		Preview やきもの王国瀬戸の全貌	編集部 〃	341
乾山—幽達と風雅の世界 記念シンポジウム「今、乾山を考える」	岡 佳子、 リチャード・L・ウィルソン、 竹内 順一、 河野 元昭、 永田 信一、 木立 雅朗、 千葉 豊 パネリスト	MIHO MUSEUM 研究紀要	5	楽の一歳	〃
古陶随伴録	三好 一	目の眼	第一回	杉山 和子	〃
20 京伏見の焼物		340	第二回	木村 真子	343
21、22 江戸末期～明治期 奈良の焼物(1)(2)		341、342	第三回	杉山 和子	345
23 奈良の焼物(3) 赤膚焼木白		343	第四回	木村 真子	347
24 愛知のやきもの(1) 蟹江町の蟹江道年焼		344	第五回	杉山 和子	349
25 愛知のやきもの(2) 海東郡津島のやきもの		345	最終回	樂吉左衛門	351
			特集 聖なる日本の聖なるやきもの～和陶の「歪み」を考える～		〃 345
			対談 うつわに込められた祝祭の原風景	荒川 正明 日高 薫	
			特集 京焼の粋 伝統と革新があやなすデザイン	静嘉堂文庫美術館 監修	〃 346
			特集 桃山陶誕生の謎～京都の発掘資料から見たやきもの黄金時代～		〃 350

解説 洛中の最新 ブランド戦争	永田 信一 原山 充志			ミャンマー施釉陶 磁—生産技術と編 年のための史料—	津田 武徳		
第2特集 京橋骨董 めぐり 桃山陶編 名店で味わう桃山の 手ざわり	瀬津 吉平、 上野 毅、 工藤 吉郎	〃	〃	ヴェトナム施釉陶 器の技術・形態的 視点からの分類と 編年—10世紀から 20世紀の碗皿資料 を中心に—	西村 昌也 西野 範子		
Preview 京の香り をまとった焼物	大橋 康二	〃	〃	ガレオン貿易と肥 前磁器—マニラ周 辺海域に展開した 唐船の活動ととも に—	野上 建紀		
特集 愛でたい酒の 器 対談 酒器をめ ぐる出会いの旅	伊藤 豊一 富江 和夫	〃	351	インド洋の陶磁貿 易—トルコと東ア ジアの交流をめぐ って—	坂井 隆		
第2特集 東京骨董 散歩 この冬を味わ う酒器を探しに…	上畝 敏子 小野 公子	〃	〃	イスラーム美術から みた陶器	杉村 棟	東洋陶磁	34
近世鉛釉系陶磁器の 窯について—鳴滝乾 山窯跡発掘資料を基 点にして—	木立 雅朗	立命館大学 考古学 論集	4	ペルシア湾岸遺跡出 土の陶磁器	佐々木達夫	〃	〃
鳴滝乾山窯跡 第1 ～5次発掘調査概報	木立 雅朗 山中 信人 垣内 拓郎	立命館大学文学部 学芸員課 課程研究報 告	11	イラン遺跡採集のペ ルシア陶片資料	岡野 智彦	〃	〃
平佐焼未焼成べっ甲 釉急須について	山下 廣幸	黎明館調 査研究報 告	18	タフテ・ソレイマ ン出土のラスター彩 星形タイル	榊屋 友子	〃	〃
貿易陶磁からみた琉 球沖縄における東南 アジア文化の受容— 南西諸島出土の沈船 資料を事例に—	大坪 聖子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	50	松岡美術館のイスラ ーム陶器	後藤 修	〃	〃
朝鮮				調査報告 ルリーヤ 砦出土13世紀末のイ スラーム陶器	佐々木達夫	西アジア 考古学	6
大和文華館所蔵品展 「自然から生まれた 美 朝鮮陶磁」より	瀧 朝子	陶 説	628	土 器			
予兆の色、原質のか たち—朝鮮中期の白 磁大壺—	伊藤郁太郎	〃	629	中 国			
粉引の窯址の発見者 は趙三勲・孫之煥両 氏であること	加藤 静允	〃	〃	中国沿海地帯と日本 の文物交流の研究— 港・船と物・心の交 流—中国沿海地帯の 煮炊き具	中谷 正和 宇野 隆夫	シルク ロード学 研究	23
「東アジア中世海道 —海・商・港・沈没 船」展における韓国 国内航路の沈没船	上田 秀夫	〃	630	立教大学所蔵中国大 連市郭家村遺跡出土 資料	古澤 義久	ムゼイオ ン	51
韓半島初期青磁の分 類と編年	李 鍾政 片山 まび 訳	東洋陶磁	34	日 本			
物に執して(七四)	鈴木 皓詞	目の眼	347	猿投窯における須恵 器生産の変革期につ いて—岩崎41号窯出 土須恵器の検討から —	城ヶ谷和広	愛知県史 研究	9
その他				「精製小型土器三種」 について	市村慎太郎	大阪文化 財研究	27
特集：東南アジアの 土器と施釉陶磁器		上智アジ ア学	23	久宝寺遺跡の弧帯文 壺・手焙形土器につ いて—弧帯文の系統 的理解に向けて—	櫻井 久之	〃	28
カンボジア、アン コール地域における 灰釉陶器の生産— タニ、アンロン ・トム、ソサイ窯 跡資料の比較研究—	田畑 幸嗣			庄内式における布留 系甕・布留傾向甕に ついての素描	市村慎太郎	〃	〃
タイ陶磁器の輸出 初期段階の様相	向井 互						

平成17年定期刊行物所載文献(古ノ土)

船橋遺跡飛鳥時代前半期の土器群の検討—2002年度・2003年度の調査から—	三宮 昌弘	大阪文化財研究	28	岩鼻遺跡(第2次)出土の「岩鼻式」土器について	柿沼宅間の野	幹夫清公善行	埼玉県立博物館紀要	30
瓦質透孔付蓋形容器考—集成と用途をめぐって—	川瀬 貴子	" "	"	肥前の大甕について—その製法と流通(鹿児島・沖縄)—	吉永 陽三		佐賀県立九州陶磁文化館研究紀要	4
三谷三郎池遺跡出土の弥生時代資料	乗松 真也	香川県歴史博物館調査研究報告	1	文様施文順序試論	下島 健弘		静岡県埋文調査研究所紀要*	11
神奈川県における縄文時代文化の変遷Ⅶ—中期後葉期 加曽利E式土器文化期の様相 その5 文化的様相(3)—	天野 賢一 井澤 純 井辺 一徳 岡 稔 小川 岳人 恩田 勇 長岡 文紀 松田 光太郎	かながわの考古学	10	古代における朱の一考察	丸杉俊一郎		" "	"
	阿部 友寿 飯塚 美保 池田 治 伊丹 徹 櫻井 真貴 新開 基史 谷口 肇 村上 正 渡辺 外	" "	"	縄文時代後期・北久根山式土器の再評価(上)	澤下 孝信		下関市立考古博物館研究紀要	9
宮ノ台式土器の研究(4)		" "	"	《研究ノート》土器胎土の鉱物を求めて—土器製作地推定のための基礎的研究—	調査課第三調査係	縄文の森から		3
		" "	"	《研究ノート》指宿式土器の色調から見た交流の断片	黒川 忠広		" "	"
伝岩橋千塚出土の半島系土器について	富加見泰彦	紀伊風土記の丘年報	31	《資料集成》鹿児島県出土土師器の法量データベース	調査課第一調査係		" "	"
《資料紹介》福岡県立朝倉高等学校蔵 栗田経田遺跡出土祭祀関連資料の再検討(一)	馬田 弘稔	九州歴史資料館研究論集	30	阿波の弥生後期前半の土器	近藤 玲 真 朱			5
畿内と東国の古墳中期における韓半島系食器—丸底と平底食器の系譜—	坂野 和信	考古学雑誌	89-3	南関東における弥生時代後期土器群の動向—二ツ池式土器の検討を中心に—	黒沢 浩	駿台史学		124
《史料紹介》青森県榎林遺跡出土の榎林式復元土器—角田コレクション紹介1—	吉田 泰幸	古代文化	554	成田空港周辺の加曽利B式土器	大内 千年	千葉県文化財センター研究紀要		24
浜田市鰐石遺跡出土遺物—弥生前期土器を中心に—	榊原 博英	古代文化研究	13	千葉県における縄文後期の釣手土器について	蜂屋 孝之	" "		"
斎宮跡出土須恵器の研究動向と展開	小瀨 学	斎宮歴史博物館研究紀要	14	墨書土器からみた古代房総の郷と村と集落・家族	天野 努	" "		"
斎宮跡出土の美濃須衛窯産須恵器	渡辺 博人	" "	"	古代土器の打ち欠き・穿孔—千葉県印西市鳴神山遺跡群出土土器の検討—	糸川 道行	" "		"
土器類の産地推定についての基礎的検討—理論的背景の整備と研究史的課題の明確化—	大屋 道則	埼玉県埋文調査団紀要*	20	木葉下窯跡群における須恵器生産の変化と画期	渥美 賢吾	筑波大学先史学・考古学研究		16
東国の古墳時代中期土器と韓半島系土器—地域社会の形成と韓半島系土器群の系譜—	坂野 和信	" "	"	研究ノート 宮城県岩沼市北原遺跡の古墳時代前期土器の編年的再検討—未報告資料の紹介をかねて—	種石 悠	" "		"
		" "	"	沖縄出土の焼物について—銘苅古墳群・ナーチャー毛古墳群出土の蔵骨器を中心として—	栗山 初美	壺屋焼物博物館紀要		6

東北地方の人面墨書土器—その分布と出現の背景—	村木 志伸	東北芸術工科大学紀要	12	資料紹介 岩手県金ヶ崎町長坂下遺跡出土土器の再検討	品川 欣也	"	"
堂ヶ原遺跡の複式炉の再検討—栃木県における複式炉の終焉—	後藤 信祐	とちぎ埋文センター紀要*	13	斎宮池遺跡の縄文時代遺物	小山 憲一	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
上久津呂中屋遺跡出土の縄文時代遺物	内田亜紀子	富山考古学研究	8	東海系土器に占める伊勢系土器の位相～受口甕胎土分析からの提起～	穂積 裕昌	"	"
富山県の中世土器(資料編2)—道場I遺跡出土資料の検討と中名遺跡群出土資料の総括—	森 隆	"	"	伊勢における古墳時代前期後半の土師器に関する覚書	伊藤 裕偉	"	"
建物グループと墨書土器の出土傾向	武田健次郎	"	"	伊勢における製塩土器について	萩原 義彦	"	"
資料紹介 下茂内遺跡第II文化層出土の「土器」—材質判定報告—	岡村 秀雄	長野県立歴史館研究紀要	11	高ノ御前遺跡出土遺物	奥野 実	"	"
資料紹介 屋代遺跡群出土「圧痕隆帯文土器」の胎土	水沢 教子	"	"	北野遺跡出土有孔広口筒形土器について	上村 安生	"	"
資料紹介 「三岳村小島遺跡」の「芳蘭」墨書土器について	川崎 保	"	"	【資料紹介】三田台公園出土の弥生土器—2002年度状態確認調査時出土の土器について—	安藤 広道	港区立港郷土資料館研究紀要	8
縄文時代の両形土器と有孔石斧—事物を通してみた渡来文化の検証—	安熊 倉 志敏 浩靖 訳	東アジアの古代文化	124	寄贈された“林 魁—コレクション”資料の来歴が判明する資料を中心として	藤村 俊 杉浦 綾子	美濃加茂市民ミュージアム紀要	4
兵庫県出土の装飾付須恵器集成(3)—西播磨地域・補遺—	井守 徳男	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	4	宮崎市阿波岐原出土の瀬戸内系土器	東柄本 憲章 久子	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	1
《資料報告》三次市内の考古資料報告 1	三枝 健二	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	5	《資料紹介》5つの紐通し孔を持つ縄文土器—江原台遺跡(曲輪ノ内貝塚)・千代田遺跡出土の異形土器—	小林 由佳	明治大学博物館研究報告	10
福井県名田庄村岩の鼻遺跡出土縄文早期土器の胎土調査	清水 芳裕 矢野 健一	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H16年度	岩手県安代町曲田I遺跡出土の晩期縄文土器(後編)—EIII—011住居跡出土土器の再検討—	小林 圭一	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	3
特集 宇治の考古学・藤原氏別業の世界 宇治と京都—かわらの「距離」、文化の「距離」—	中井 淳史	仏教芸術	279	小田島城出土の弥生土器—出土地点の検討をふまえて—	菅原 哲文	"	"
口絵解説 秋田城跡出土祭祀遺物	伊藤 武士	文化財*	499	《資料紹介》県史編さんに伴う収集資料から	河村 吉行	山口県史研究	13
特集 埋蔵文化財最前線 古墳時代の新情報 宇治市街遺跡の調査(京都府宇治市)—渡来人の足跡—	浜中 邦広	"	506	九州の成立期縁帯文土器	幸泉 満夫 幸泉 文子	山口県立山口博物館研究報告	31
《指定文化財説明書》七社神社前遺跡土坑群出土資料指定説明書		文化財研究紀要	18	県立山口博物館収蔵の美濃ヶ浜遺跡資料 I	幸泉 満夫	"	"
北島型文様帯の成立—埼玉県北島遺跡出土弥生土器の研究(1)—	荻野谷正宏	法政考古学	31				

〈資料紹介〉帝塚山大学大学院所蔵の瓦	中川真喜子	天理参考館報	18	研究ノート 清代東錢考	山本 進	史学雑誌	114-3
法隆寺の瓦	太田 三喜	天理参考館報	18	中国沿海地帯と日本の文物交流の研究—港・船と物・心の交流—銭貨と陶磁器からみた日中間交流—日本古代銭貨の発行を主な検討材料として—	高橋 照彦	シルクロード学研究	23
瓦塔初重区間の利用法—8～9世紀における造塔意識の変化に関する考察—	池田 敏宏	とちぎ埋文センター紀要*	13	日本出土漢代鍍金車輿具の意義—山口県稗田地蔵堂遺跡出土資料の再吟味—	門田 誠一	文化史学	61
鳴海廃寺の創建年代をめぐって	梶山 勝	名古屋博物館研究紀要	28	新刊の情報と紹介 三宅俊彦著『中国の埋められた銭貨』	高木 久史	歴史と地理	590
国分寺系瓦の広域展開—日本海沿岸地域を中心に—	梶原 義実	名古屋大学文学部研究論集	152	日 本			
法隆寺若草伽藍出土の鬼瓦と百済	千田 剛道	奈良文化財研究所紀要	2005	なぜ三輪山で、鉄作りは行われなかったのか	清水 眞一	大 美 和	108
東京国立博物館所蔵紀寺跡(小山廃寺)出土軒瓦	森 郁夫	MUSEUM	594	近江地域出土の古代銭貨	辻川 哲朗	滋賀県文化財保護協会紀要	18
東京国立博物館所蔵瓦の紹介—東大寺中世瓦を中心に—	芦田 淳一	天理参考館報	18	古墳時代北陸の袋状鉄斧について	西川 麻野	富山考古学研究	8
新収品紹介 島根県松江市山代町四王寺跡出土の蓮華文鳥衾	時枝 務	MUSEUM	596	大阪狭山池東樋に使われた鉄釘の断面観察	村上 隆	奈良文化財研究所紀要	2005
朝鮮・その他				平成十六年度支部例会発表要旨 金工・大月光興と絵師・岸駒—岸駒下絵作例の紹介とその背景の一考察—	内藤 直子	美術史	158
慶州出土の銘文瓦二種	竹谷 俊夫	天理参考館報	18	擦文文化における物流交易の展開とその特性	鈴木 琢也	北海道開拓記念館研究紀要	33
特集 朝鮮の古瓦		MUSEUM	596	副葬された鉄製農具—宮崎県における5～7世紀の資料—	二宮 満夫	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	1
平壤遷都前後の高句麗瓦に関する覚書—東京国立博物館収蔵資料の紹介—	谷 豊信			特集／2005年歴史学の焦点 日本中世銭貨史研究の現在—六世紀を中心に—	高木 久史	歴史評論	667
軍守里廃寺出土軒丸瓦の検討	清水 昭博			そ の 他			
新羅頸部施文瓦の製作技法—統一新羅瓦の編年にむけて—	高 正龍	立命館大学考古学論集	4	〈講演〉オクサス遺宝と古代バクトリア	ジョン・カーチス	MIHO MUSEUM 研究紀要	5
技術的観点からみる統一新羅の鬼面文鬼瓦—その抉に注目して—	岩戸 晶子			アッシリアおよびイラン王銘の刻まれた銀製杯をめぐる諸問題	稲垣 肇	山形大学歴史・地理・人類学論集	6
特集にあたって	白井 克也			鑄造貨幣からみたグレコ・バクトリア王国の成立	戸田 敬		
朝鮮半島北部の滴水瓦—平壤普通門・大同門、義州統軍停所用瓦の検討—	高 正龍						
アンコールの瓦—バンテアイ・クデイ遺跡出土丸瓦・平瓦の様相—	丸井 雅子	上智アジア学	23				

金 工

中 国

鏡

中 国

〈研究ノート〉唐末五代の鏡 植松 勇介 古代文化 552

四川省における南方シルクロード(南伝仏教の道)の研究 論考編 シルクロード学 研究 24

見られなかった四川省の古鏡 樋口 隆康

鏡の生産と流通からみた四川をめぐる地域間関係 上野 祥史

連作鏡考 下垣 仁志 泉屋博古館紀要 21

戦国時代羽状獣文地鏡群の規格と文様構造—四山字文鏡を中心に— 廣川 守 " "

本館所蔵の八幡東車塚古墳出土鏡 下垣 仁志 " "

鈕文様を持つ鏡について 原田 三壽 立命館大学考古学論集 4

四川製作後漢式鏡の製作年代に関する一考察 楢山 満照 早稲田大学大学院文学研究科紀要 50

日 本

特集 鎌倉と観音信仰—大覚禪師と観音信仰— 三浦 浩樹 鎌 倉 100

三角縁神獣鏡の製作技術について—同範鏡番号74鏡群の場合— 藤丸詔八郎 北九州自然史歴史博報告* 2

中谷神社所有「菊花凹面柄鏡」と南朝伝承の形成について 立石 盛詞 国学院雑誌 1181

破鏡の伝世と副葬—穿孔事例の観察から— 辻田淳一郎 史 淵 142

近畿における弥生時代小型仿製鏡の生産 田尻 義了 東アジアと日本* 2

古代史情報(三角縁神獣鏡について) 片岡 正人 東アジアの古代文化 123

研究ノート 対馬歴史民俗資料館蔵海獣葡萄鏡について 服部 敦子 文化史学 61

青 銅 器

中 国

館蔵中国青銅器実測図・拓本選 徐 天進 出光美術 実測・拓本 館館報

(1)饗簠文兕觥 132

(2)饗簠文方罍 133

中国南北朝時代における青銅器の研究 橋詰 文之 鹿島美術財団年報別冊 22

朱鳥について 三統 林 巳奈夫 泉屋博古館紀要 21

記憶される西周史—速盤銘の解説— 松井 嘉徳 東洋史研究 64-3

日 本

銅鐸をめぐる「聞く銅鐸から見る銅鐸へ」という通説への疑問、その他— 大和 岩雄 東アジアの古代文化 122

青銅器埋納の場所 中川 寧 立命館大学考古学論集 4

朝 鮮

韓国青銅器文化再認識—新収朴某コレクシジョンの意義— 全 榮來 東アジアの古代文化 124

刀剣・刀装・槍

日 本

いわゆる模倣漢式銅鐸について(予察)—久宝寺遺跡出土の木製鐸の紹介をかねて— 菊井 佳弥 大阪文化財研究 27

明器銅戈考 橋口 達也 九州歴史資料館研究論集 30

《稲荷山古墳鉄剣発見35周年記念講演会》講演2 稲荷山鉄剣が提起する問題講演概要 杉山 晋作 埼玉県さきたま資料館報* 18

群馬県佐波郡玉村町下茂木オトカ塚古墳の出土遺物および関係文書について 穴沢 味光 史 学 74-1・2

無茎式銅鐸の特質—静岡県三島市鶴喰広田遺跡出土銅鐸の評価をめぐる— 大谷 宏治 静岡県埋文調査研究所紀要* 11

名刀鑑賞 国宝 太刀 銘 久国(花押) 田野辺道宏 刀剣美術 576

男山図小柄 銘 夏雄(角印)素璞 小林 暉昌 " "

[郷土刀紹介]八戸藩小笠原刀鍛冶・奥観寿藤原吉廣—作刀と系譜— 富岡 昭 " "

刀装・刀装具初学教室 富士 繁雄 " "

(122)~(127)大月派金工について 576~581

(128)～(133)水戸 金工について			582～587	資料紹介～審査の現 場から～応永の年紀 を有する清光の短刀	飯田 俊久	"	"
刀装具の画題	"	"					
(122)老松・梅花 寒月			576	名刀鑑賞 重要文化 財 短刀 銘 国吉	田野辺道宏	"	579
(123)菅原 (梅・ 松・桜)・蘭(寒蘭 と春蘭)			577	重要刀装具 鮫図小 柄 銘 如竹(花押)	小林 暉昌	"	"
(124)出山 釈迦・ 面壁達磨			578	源清麿 晩景(一)～ (三)	花岡 忠男	"	579～581
(125)東方朔・西 王母			579	三月本部定例鑑賞会	大井 岳	"	579
(126)田毎の月(姨 捨山)・東天紅			580	資料紹介～審査の現 場から～父の継承を 表明する、二代一琴 の鐔	久保 恭子	"	"
(127)七 蕙花・夏 草秋草に虫			581	名刀鑑賞 重要文化 財 脇指 銘 長谷 部国重	田野辺道宏	"	580
(128)花瓢・菊に 蛇籠			582	重要刀装具 七宝文 透宝相華唐草象嵌鐔 銘 出羽秋田住 正 阿弥兵衛	小林 暉昌	"	"
(129)唐松・富士 越の龍			583	四月本部定例鑑賞会	中村 良和	"	"
(130)鷺・袋菊			584	資料紹介～審査の現 場から～東京砲兵工 廠打ちの十一代会津 兼芝	飯田 俊久	"	"
(131)土筆・鈴虫			585				
(132)遠山松 (柳 生)			586				
(133)数珠・水月			587	名刀鑑賞 重要文化 財 短刀 無銘 伝 貞宗(名物太鼓鐘)	田野辺道宏	"	581
資料紹介～審査の現 場から～近江大掾忠 広の皆焼の脇指	飯田 俊久	"	576	重要刀装具 田作り 田植図大小鐔 大小 銘 山崎一賀(花押)	小林 暉昌	"	"
名刀鑑賞 特別重要 刀剣 太刀 銘 吉 貞	田野辺道宏	"	577	五月本部定例鑑賞会	檜山 正則	"	"
重要刀装具 蝦蟇・ 鉄拐図小柄 銘 弘 化二乙巳孟冬 春明 法眼刻(金角印)三窓	小林 暉昌	"	"	資料紹介～審査の現 場から～佐野道好の 藁蛇図小柄	久保 恭子	"	"
『本朝鍛冶考』の初刷 りについて	奈良原和夫	"	"	名刀鑑賞 太刀 銘 景秀	田野辺道宏	"	582
正月本部定例鑑賞会	日野辺道宏	"	"	夕立稲妻図小柄 銘 以英一蝶図 月光興 (花押)	小林 暉昌	"	"
資料紹介～審査の現 場から～今井永武門 人、松尾重孝の鐔	久保 恭子	"	"	[調査報告]白川の刀 工・石堂重次	丸山 栄一	"	"
改訂増補 日本古刀 史(27)～(33)	本間 順治	"	577～587	六月本部定例鑑賞会	石井 彰	"	"
名刀鑑賞 重要美術 品 太刀 銘 助吉	田野辺道宏	"	578	名刀鑑賞 重要美術 品 太刀 銘 備州 国分寺住人助国作 元徳元年十一月日	田野辺道宏	"	583
重要刀装具 猛禽捕 猿図鐔 銘 仙台住 清定	小林 暉昌	"	"	重要刀装具 龍図鐔 銘 遊洛斎(金印)赤 文	小林 暉昌	"	"
仙台藩刀匠考(八)雙 龍子父子の研究(続) 一里帰りの雙龍子 父子の作刀について	佐藤 一典	"	"	『新刃銘尽』諸版につ いて	奈良原和夫	"	"
二月本部定例鑑賞会	小林 暉昌	"	"	七月本部定例鑑賞会	飯田 俊久	"	"
				資料紹介～審査の現 場から～津尋甫の三 所物	久保 恭子	"	"

名刀鑑賞 特別重要 刀剣 太刀 銘 定利	田野辺道宏	刀剣美術	584	47 彫り描かれた 東海道 東海道五 十三次図揃金具 松下亭元広 江戸 時代後期				342
重要刀装具 籠に撫 子図象嵌鐔 無銘 加賀象嵌	小林 暉昌	"	"	48 冬の木陰の印 象 雪持笹図縁頭 土屋安親 江戸時 代中期				343
紀州石堂に関する一 考察—安広・康広・ 為康を中心として (一)～(三)	林 尚男	"	584～586	49 兜と刀と鐔 菊花図鐔 早乙女 家忠 江戸時代後 期、文透図鐔・菊 花透図鐔 古甲冑 師 室町時代・桃 山時代				345
名刀鑑賞 特別重要 刀剣 脇指 銘 相 模国住人広光 貞治 三年三月日	田野辺道宏	"	585	50 二つの近江八 景図 細野政守・ 京献上 江戸時代 中期				346
重要刀装具 山水人 物図鐔 銘 染谷知 信	小林 暉昌	"	"	51 雨の街道への 眼差し 雨宿図鐔 鉄元堂正榮 江戸 時代中期				347
九月本部定例鑑賞会	岩田 隆	"	"	52 古金工の魅力 八重桔梗紋図鐔 古金工 室町時 代、草花図鐔 古 金工 桃山時代				348
名刀鑑賞 重要美術 品 刀 無銘 伝吉 次	田野辺道宏	"	586	53 手捻りの茶器 の香り 肥後菊透 図鐔 志水甚吾 江戸時代前期				349
重要刀装具 猛虎図 鐔 銘 安親	小林 暉昌	"	"	54 鄙なる風景の 発見 曳牛図鐔 土屋安親 江戸時 代中期				350
十月本部定例鑑賞会	日野原 大	"	"	55 俱利伽羅と刀 身彫刻 俱利伽羅 図笄 後藤乗真 室町時代後期、俱 利伽羅図刀身彫刻 喜内 江戸時代初 期				351
資料紹介～審査の現 場から～面打師・森 如件の周辺	久保 恭子	"	"	特集 宗家の刀装具 武家金工後藤家の芸 術	"	"		344
名刀鑑賞 重要美術 品 刀(金象嵌銘)正 宗スリ上 本阿(花 押・光室)	田野辺道宏	"	587	そ の 他				
将棋駒図鐔 銘 城 州西陣住正阿弥 市 郎兵衛政徳作	小林 暉昌	"	"	研究ノート レヴァ ント南部における青 銅製袋穂鎌	柳生 俊樹	オリエン ト	48-1	
日本刀誕生の歴史的 背景についての一考 察—直刀そして弯刀	宮崎 政久	"	"	イラン・ルリスタン 出土の鉄剣	巽 善信	天理参考 館報	18	
〈随想〉二題の歌心	新井 重熙	"	"	染織・服飾				
十一月本部定例鑑賞 会	久保 恭子	"	"	中 国				
資料紹介～審査の現 場から～幕末の西洋 式兵学者・江川太郎 左衛門作の脇指	飯田 俊久	"	"	納西族の七星羊皮 (背当て)	中尾 徳仁	天理参考 館報	18	
装剣小道具の世界	善財 一 目 の 眼			日 本				
45 豊穣の秋色 栗図目貫 府川一 則 江戸時代後期 団栗図三所物 野 村 江戸時代後期			340					
46 梅の花香 梅 樹図小柄 後藤一 乗 江戸時代後期 梅樹図鐔 橋本一 至 江戸時代後期			341					

日本

特集 時を味わう漆 碗		目 の 眼	340	口絵写真解説 埼玉 の図像板碑	村田 和義	史迹と美術	
ニッポンのかたち	三田村有純			(一)①葉師寺 キ リーク・像容混合 板碑②菅原神社 自然石板碑			751
座談会 時代碗を 楽しむ	小西 基仁 小西 将仁 須賀 邦昭 矢橋 龍宜			(二)③常光院 弥 陀三尊図像板碑④ 実相院 弥陀三尊 図像板碑			754
歴史の証人 写真に よる収蔵品紹介 牡丹唐草文時絵難道具	日高 薫	歴 博	128	(三)⑤宝塔形弥陀 三尊図像板碑⑥弥 陀三尊図像板碑			757
歴史の証人 写真に よる収蔵品紹介 輸出された漆のうつわ	"	"	133	石製の相輪と鴟尾など(上)(下)	江浪 滋	"	753、754
石 工				京都府相楽郡木津町 東山墓地長福寺の石 塔について	篠原 良吉	"	759
中 国				河南東山墓地の調査	田代 克己	宗教文化 研究	2
四川省における南方 シルクロード(南伝 仏教の道)の研究 調査概要 石闕・画像石棺	入倉 徳裕	シル ク ロード学 研究	24	河南東山墓地十三重 石塔の創建年代	東野 良平	"	"
北京・八大処の諸仏 塔(下)一大悲寺・龍 泉寺・姚家寺・賢良 寺塔院一	松木 民雄	北海道東 海大学紀 要	17	廻国供養塔への納経 帳収納の事例とその 周辺	小嶋 博巳	生活文化 研究所年 報	18
日 本				資料紹介一鹿の線刻 がある紡錘車一	黒澤 春彦 窪田 恵一	土浦市上 高津貝塚 年報*	10
茨城県石下町の建長 銘板碑について(上)	飛田 英世 編	茨城県立 歴史館報	32	「古碑考」に掲載され た板碑の行方をたず ねて	荒川 善夫	栃木県立 博物館研 究紀要	22
大分県山香町辻小野 西明寺石造三重塔の 解体調査について	村上 久和	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	6	中世武蔵府中におけ る板碑造立の場	深澤 靖幸	府中市郷 土の森博 物館紀要	18
〈資料紹介〉清野コレ クション「武蔵国比 企郡玉川村大字玉 川」採集の石皿	野中 仁	埼玉県立 博物館紀 要	30	石造文化財調査での ひとこま一勿忘草 「道標」をあなたに一	新田 洋	三重県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	14
〔口絵解説〕毛呂山町 常楽寺跡の両界大日 種子石塔	青木 忠雄 内野 勝裕	埼玉史談	281	野洲の道標一旧野洲 町域の道標とその背 景一	行俊 勉	野洲市歴 史民俗博 物館研究 紀要	11
熊谷市村岡観音堂の 文永十年板碑につい て	四方田 悟	"	283	資料紹介 多武峯の 町石一現状報告一奈良 県指定史跡(昭和 三十五年指定)「多武 峯町石(三十一基)」	野尻 忠	鹿園雑集*	7
石塔 聖徳太子碑と 九六嶽講について	大山 雄三	"	"	その他			
〔表紙写真解説〕少林 寺無縫塔(寄居町末 野少林寺)	四方田 悟	"	"	刻線画のある石製容 器片 シリア国テ ル・ルメイラ出土	石田 恵子	古代オリ エント博 物館紀要	25
庚申塔の造立日につ いて 付 文明年以 降庚申年月日一覧	下村 克彦	さいたま 市博物館 研究紀要	4	石 器			
沙沙貴神社にまつわ るエトセトラ	田井中洋介	滋賀県文 化財保護 協会紀要	18	日 本			
遠江西・中部地域の 中世石塔の出現と展 開一静岡県下におけ る中世石塔の研究 1 一	松井 一明 太田 好治 木村 弘之	静岡県博 物館協会 研究紀要	28	飯田盆地における弥 生時代の石器一組成 の変化と消長につい て一	山下 誠一	飯田市美 術博物館 研究紀要	15

角田司郎氏採集資料リスト(1)	宮内 克己	大分県立歴史博物館研究紀要	6	《資料報告》宮島町下室浜遺跡のナイフ形石器	荒木 亮司 三枝 健二	〃	〃	
資料紹介 福岡県宗像市鐘崎(上八)貝塚出土石器の紹介—竹中岩夫氏収集資料の紹介(5)—	敦賀啓一郎	北九州自然歴史博報告*	2	福井県における縄文時代の石器群—事例集成から—	田中 祐二	福井県立若狭歴史民俗資料館館報	H16年度	
石製土掘り具の製作者—和知村牧野(現:美濃加茂市牧野)における江口英夫氏採集資料から—	長屋 幸二	岐阜県博物館調査研究報告	26	粥見井尻遺跡出土の石器	中川 明	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14	
波志江西宿遺跡旧石器時代遺物の再検討	桜井 美枝	群馬県埋蔵文化財調査団紀要*	23	山形県西川町月山沢遺跡出土石器群の検討	石井 浩幸	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	3	
〈史料紹介〉アメリカ式石鏃5点及び関連資料2点—角田コレクション紹介2—	吉田 泰幸	古代文化	562	長野市宮崎遺跡石器集中部の概要	長井 謙治	立命館大学考古学論集	4	
石器構成からみた関西縄文社会における通年定住戦略の拡散過程	瀬口 眞司	滋賀県文化財保護協会紀要	18	広郷型ナイフ石器群の様相と課題	熊林 佑允	早稲田大学文学研究科紀要	50	
ガラス質黒色安山岩の入手先を明らかにする	前嶋 秀張 森嶋 富士夫	静岡県埋蔵文化財調査研究所紀要*	11	朝鮮・その他				
綾羅木郷遺跡出土の石器資料2	小南 裕一 村田 裕一	下関市立考古博物館研究紀要	9	〈学界動向〉韓国旧石器研究の発展のための模索	李 鮮馥	古代文化	554	
吉野川流域の国府型ナイフ形石器(3)—国府型ナイフ形石器の刃角に関する覚書—	氏家 敏之	真 朱	5	シベリアの旧石器文化とホモ・サピエンス起源論争	木村 英明	比較文化論叢	16	
新潟県荒屋遺跡採集の細石器	大塚 和義 鈴木 忠司	朱 雀	17	木 竹 工				
千葉県市川市出土黒曜石遺物の原産地研究	堀越 正行 鈴木 尚史 杉原 重夫	駿台史学	124	中 国				
房総半島における石刃石器群と槍先形石器群	島立 桂	千葉県文化財センター研究紀要	24	「五絃」琵琶の流行について	外村 中	鹿園雑集*	7	
中尾新保谷内遺跡出土の石皿について	泉 英樹	富山考古学研究	8	日 本				
中谷内遺跡出土の弥生時代石製農具	細江 真理	〃	〃	我谷盆について	本谷 文雄	石川県立歴史博物館紀要	17	
北陸地方出土の中世滑石製品	林 昭男	〃	〃	研究ノート アイヌの木製容器について—清野謙次コレクションより—	黒須亜希子	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	9	
資料紹介 長野県内に運ばれた黒曜石	谷 和隆	長野県立歴史館研究紀要	11	資料紹介「正倉院宝物楽器等見取図」簡報—新納コレクションから—	藤永 正明	〃	〃	
三次盆地の地形と歴史—旧石器時代—	三枝 健二	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	5	茄子作遺跡出土の木製品について	黒須亜希子	大阪文化財研究	27	
				大坂城跡出土の枡	江浦 洋	〃	28	
				石見型木製品について	鈴木 裕明	古代文化	558	
				千代田区外神田四丁目遺跡出土木器ノート—下駄 その1—	及川 良彦	東京都埋蔵文化財センター研究論集	21	

弥生時代中期～古墳時代前期にかけての木製容器—小型容器・剣物桶を中心に—	石川ゆずは	富山考古学研究	8
コラム歴史と構造 弥生の地下の博物館—青谷上寺地遺跡より—	茶谷 満	南山考人	33
口絵解説 彩絵鼓胴	伊藤 信二	日本歴史	681
播磨木工芸の系譜	山本 和人	姫路美術工芸館紀要	6
律令期における地方祭祀の諸形態—木製祭祀具を素材として—	竹内絵理奈	三重大史学	5

ガラス工

日 本

新出資料『長崎伝硝子製』を読み解く	岡 泰正	神戸市立博物館研究紀要	21
トンボ玉	宮瀧 交二	埼玉県立博物館紀要	30
徳島県出土古代ガラス製品の材質調査(2)	植地 岳彦 真 朱		5
若紫巻の光源氏と唐物—瑠璃壺・金剛子の数珠・黄金—	河添 房江	東京学芸大学紀要	56
江戸時代における舶来のガラス製造知識(6)—『硝子製法集説』と『厚生新編』を中心に—	岡本 文一	明星大学研究紀要	13
特集 光を孕む江戸硝子		目の眼	347
和魂洋才の結晶を愛でる	木暮 亨、大藤 範里 対談		
インタビュー 謎も魅力の和硝子	須賀 邦昭 談		

そ の 他

天理参考館所蔵コア・ガラス	飯降 美子	天理参考館報	18
平山郁夫シルクロード美術館コレクション14 浮出切子碗	編集 部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	267

その他の工芸・民具

日 本

三輪山周辺出土の子持勾玉の新例—赤尾崩谷古墳群の調査から—	橋本 輝彦	大 美 和	108
小熊家の守札について	藤田 智子	さいたま市博物館研究紀要	4
特集 茶陶の源流をさぐる 日本人の蓬莱山・洲浜への信仰	畠山 豊	淡 交	726
千葉県内出土の発火具の集成と様相	白鳥 章	千葉県文化財センター研究紀要	24
東洋文庫所蔵『見世物年代記』と見世物今昔	光田 憲雄	東洋文庫書報	36
信濃紙文化史(一)～(三)	河野 徳吉	百 万 塔	120～122
パークス和紙コレクションの擬草紙 資料の裏面に貼付されていたラベル	稲葉 政満	"	120
兵庫県出土の木製発火具について	中村 弘	兵庫県埋蔵文化財研究紀要	4
桑名市志知南浦遺跡出土の加工骨	服部 芳人	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
「大足(おおあし)」について(資料とその周辺)	地村 光広	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	1
玉文化を考える	鳥原 孝仙	"	"
Pick up! 翡翠文化と翡翠の価値観—「翡翠展—東洋の至宝」より—	横山 一己	目の眼	340
小特集 おめかしおひな		"	343
古墳時代における大和の玉作り	大岡由記子	立命館大学考古学論集	4
歴史の証人 写真による収蔵品紹介 和宮ゆかりの雛と人形	澤田 和人	歴 博	128

そ の 他

研究ノート「ファイアンス」とは?—定義と分類に関する現状と展望:エジプトとインダスを例として—	山花 京子	西アジア考古学	6
資料紹介 ワディ・ブルマ、カイト・サイト1採集のクレイパイプについて	廣田 典之	"	"

建築一般

日本

CONCEPTUAL 日本建築	黒沢 隆	10 + 1 *	
第三章 成立編			38
第四章 工作編			39
第五章 関西普請編			40
第六章 外廻り編			41

都市・集落

中国

特集 中国都市の時空世界		アジア遊学	78
序言 中国の城郭都市の特性	井上 徹		
漢長安空間構造の移り変わり	陳 力		
建康、その伝統と革新	中村 圭爾		
北魏の平城	佐川 英治		
長安の憂愁 九世紀の転換	妹尾 達彦		
政治史料から読み解く宋代の都市空間	平田 茂樹		
南宋における移民と臨安文化の変遷	呉山崎 松弟 翻訳 寛士 穴澤 彰子 編集		
明代の政治変遷下における南京経済	范稻田 金民 翻訳 清一 辻 高広 編集		
中国・王朝国家の都市防衛のかたち 明朝最末期の北直隸、京師	吉尾 寛		
古シルクロードの軍事・行政システム—河西回廊を中心に—		シルクロード学 研究	22
調査遺跡の報告 エチナ河流域の諸遺跡(エチナ河下流域)	宮宅 潔		
調査遺跡の報告 エチナ河流域の諸遺跡(毛目地域)	角谷 常子		
調査遺跡の報告 安西～敦煌間の諸遺跡	富谷 至		

調査遺跡の報告
疎勒河南岸の漢代遺跡 藤田 高夫

研究論文 エチナ河流域の関について—一層水金関を中心に— 角谷 常子

研究論文 懸泉置とその周辺—敦煌～安西間の歴史地理— 宮宅 潔

四川省における南方シルクロード(南伝仏教の道)の研究 " 24

調査概要 2002年度遺跡調査班調査遺跡 上野 祥史
入倉 徳裕

調査概要 交通路関係遺跡 入倉 徳裕

論考編 四川から長安への交通路—文献史料に「記された道」と「記されなかった道」 大川 裕子

附編 遺跡一覧表

開京の都市商業施設の建築形式と役割 禹 成勳 日本建築学会計画系論文集 598

特集 遣唐使墓誌をめぐる日中交流史 唐長安の都市生活と墓域 妹尾 達彦 東アジアの古代文化 123

渤海上京龍泉府形制の再検討—古代都城造営と国際関係— 井上 和人 " 125

日本

中世津島の景観とその変遷 山村 亜希 愛知県立大学文学部論集 53

日本最初のチャイナタウン 博多津唐房のボス・謝国明 本田 精一 アジア遊学 81

一関市舞川原沢遺跡の再検討 伊藤 玄三 一関市博物館研究報告 8

陸奥国一関城下の屋敷割について—身分との関連で— 大島 晃一 " "

衣川流域における古代末期遺跡の分布調査(3) 佐藤 嘉広
佐々木 務晃 岩手県立博物館研究報告 22

弥生大形集落断想(上)(下) 秋山 浩三 大阪文化財研究 27、28

神奈川県における旧石器時代の遺構(その4)—B2層—	井関大塚加藤栗原鈴木砂田晶中三瓶御堂島吉田	文明健一勝仁伸好次郎佳弘明裕司正政行	かながわの考古学	10	〈史料紹介〉水没村伝承の琵琶湖湖底遺跡の調査—三ツ矢千軒遺跡・尚江千軒遺跡—	林 博通	〃	563
					出雲地域における飛鳥・奈良時代集落について—嶋根郡朝酌郷の村落景観復元模型制作のための一考察—	岩橋 孝典	古代文化研究	13
奈良・平安時代の宮ヶ瀬遺跡群の研究Ⅲ	大上河野小富永中宮井依田渡辺	周三久喜映一樹之英薫亮清史	〃	〃	斎宮の弥生時代	柴山 圭子	斎宮歴史博物館研究紀要	14
					松本平の縄文前期集落—田川端遺跡の再検討(後)—	小松 学	塩尻市立平出博物館紀要	22
東北地方の弥生時代前期集落の立地について	能登小島	健敦子	群馬県埋文調査団紀要*	23	古琉球・那覇の「倭人」居留地と環シナ海世界	上里 隆史	史学雑誌	114-7
一七世紀後半における公家の集住形態について—近世以降創立・再興した公家を中心として—	登谷 伸宏	建築史学		45	長門国府研究史(抄)	石松 好雄	下関市立考古博物館研究紀要	9
伯母野山遺跡の研究—斉藤英二氏寄贈資料の整理報告を中心として—	口野富山池田松林前田渡辺	博史直人毅典佳久日子	神戸市立博物館研究紀要	21	下関市の遺跡分布について	太田 雅史	〃	〃
風土が作る文化—文化景観としての石垣—	漆原 和子	国際日本学		2	縄文時代後・晩期集落における中央窪地の形成について—千葉県内の事例を中心に—	沖松 信隆	千葉県文化財センター研究紀要	24
屋敷囲いとしての石垣を作る文化—喜界島小野津集落と阿伝集落の屋敷囲いとしての石垣の比較—	〃	〃		3	古鬼怒湾南岸地域における縄文時後晩期集落の立地と貝層分布	吉野 健一	〃	〃
氷河時代終末期の生活空間論—先土器—縄文移行期における遺跡立地分析の試み—	藤山 龍造	古代文化		552	市原条里に関する基礎的研究	大谷 弘幸	〃	〃
特輯 平家と福原『福原京』の都市構造	山田 邦和	〃		555	房総半島における古代製錬遺跡	神野 信	〃	〃
特輯 東北弥生文化研究の地平—遺構からみた様相—	〃	〃		556	袖ヶ浦市上宮田台遺跡の縄文時代後・晩期集落について	沖松 信隆	千葉県文化財センター研究連絡誌	67
青森県域の弥生時代遺跡立地	永嶋 豊	〃			草刈遺跡を考える—集落跡関係(1)—	加藤 修司	〃	〃
仙台平野とその周辺における占拠特性—縄文時代晩期と弥生時代の包蔵地群解析から—	高瀬 克範	〃			日韓古代遺跡における高麗尺検出事例に対する批判的検討	新井 宏	朝鮮学報	195
〈史料紹介〉上黒岩岩陰遺跡とその出土遺物についての覚書—国立歴史民俗博物館所蔵資料の紹介を中心に—	光岡田部	鳴已憲一剛士	〃	562	調査報告 岩坪新屋敷・岩坪平貝塚の測量調査	工藤 幸尚	筑波大学先史学・考古学研究	16
					神通川左岸における中世集落の—様相—富山市婦中町熊野地域における中世集落遺跡の動態—	青山 晃	富山考古学研究	8
					研究報告 国府の対岸—信濃国安曇郡南部における古代集落の変遷—	百瀬 新治	長野県立歴史館研究紀要	11

藤原京の調査 左京 六条二坊の調査—第 133-7次	山崎 信二	奈良文化 財研究所 紀要	2005	平安京と風水思想	井上 満郎	東アジア の古代文 化	124
飛鳥地域等の調査 石神遺跡(第17次)の 調査—第134次	金田 明大 市 大樹 渡部圭一郎	" "	" "	平安後期の北奥世界 —林ノ前遺跡・新田 (1)遺跡の意義—	三浦 圭介	" "	125
平城宮の調査 東院 地区西北部の調査— 第381次	神野 恵	" "	" "	胡桃館遺跡と蝦夷社 会	熊田 亮介	" "	" "
平城京と寺院の調査		" "	" "	兵庫県下の重要遺跡 とその出土品	大平 茂	兵庫県埋 蔵文化財 研究紀要	4
左京三条一坊の調 査—第379次	森川 実			井戸と龍—弥生人と 水のかかわり—	設楽 博己	平出博物 館ノート	19
左京七条一坊の調 査—第372次	次山 淳 川越 俊一			広島県立歴史博物館 所蔵資料紹介 岡山 県瀬戸内市黒島貝塚	遠部 慎 山内 基 加藤 樹 角縁 久 米田 雄 進 穰	広島県立 歴史博物 館研究紀 要	8
左京二条二坊の調 査—第375・377次	馬場 基 中川 あや 越 俊一 淳			越前波着寺の遺跡に ついて	松村 知也	福井市立 郷土歴史 博物館研 究紀要	13
18~19世紀の京都の 町並景観と瓦葺規制 —江戸時代の京都の 町並景観の研究(その 2)—	丸山 俊明	日本建築 学会計画 系論文集	587	特集 宇治の考古学 ・藤原氏別業の世界 権門都市宇治の成立	杉本 宏	仏教芸術	279
掘立柱建物跡からみ た中世十三湊遺跡に おける社会構造の可 能性	中村 隼人 高島 成侑	" "	592	縄文時代中期集落の 構造	菅野 智則	文 化	370・371
近世の筑波山門前に おける参詣道沿いの 町並の変遷について —二階建て家屋を中 心に—	湯本 桂 後藤 治 安藤 邦 藤川 昌 堀江 樹 黒坂 亭 中野 貴 裕 夫	" "	598	[表紙解説]伊根町伊 根浦伝統的建造物群 保存地区	平井 俊行	文化財*	502
中・近世移行期城下 町の構造と城下集住 —毛利期広島城下町 を中心に—	光成 準治	日本史研 究	518	特集 埋蔵文化財最 前線 古墳時代の新 情報 極楽寺ヒビキ 遺跡の調査(奈良県 御所市)	北中 恭 十文字 裕 健	" "	506
文化財レポート 江 戸周縁の町「巢鴨」の 調査と地域研究	橋口 定志 成田 涼子	日本歴史	684	口絵解説 東祖谷山 村落合伝統的建造物 群保存地区	徳島県教育 委員会文化 財課	" "	507
文化財レポート 近 世大坂の発掘調査と 地域史研究	松尾 信裕	" "	690	中里峠上遺跡発掘調 査報告	森田 信博 今野 和浩	文化財研 究紀要	18
滋賀県の考古学 7 最新の成果と課題 (第7回)近江におけ る縄文時代研究の現 状と課題	中村 健二	人間文化	18	南橋遺跡第23地点発 掘調査報告	相原 正人	" "	" "
仁和寺本『系図』に描 かれた閑院内裏の陣 中	野口 孝子	仁和寺研 究	5	川島遺跡周辺の地形 を考える	柴山 圭子	三重県埋 蔵文化財 センター 研究紀要	14
仁和寺本『系図』収録 「平安京図」に見える 簀屋の設置地点につ いて	野口 実	" "	" "	特集・古代の武蔵野 (記念講演)武蔵野 の古代を掘る	坂詰 秀一	武 蔵 野	341
海岱南部地区新石器 時代の集落関係— GISによる分析—	濱名 弘二	東アジア と日本*	2	南武蔵の古代の役 所	荒井 健治		
				埼玉県における古 代郡家跡について —調査・研究の現 状と課題—	宮瀧 交二		
				武蔵国分寺の集落 について	上敷領 久		
				幡羅遺跡の発掘調 査	知久 裕昭		

東山道武蔵路一調査の現状と課題一	根本 靖				ギアニャール(バリ島・インドネシア)の都市空間構成に関する研究—東南アジアにおけるヒンドゥー都市の比較研究—	山本 直彦 布野 修司 平尾 和洋 川畑 良彦	"	592
遊佐荘大橋遺跡の展開	山口 博之	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	3					
縄文・弥生集落の地域的展開—鮎喰川流域のフィールドから—	中村 豊	立命館大学考古学論集	4		オランダ植民都市の類型に関する考察	布野 修司 山田 協太 山本 直彦	"	"
長岡京の祭祀〜精神の自知としての考古学〜	山口 均	"	"		バタヴィアの都市形態とS. ステヴィンの「理想都市」計画に関する比較考察	"	"	"
古代景観形態学の試み—長岡京「宝幡」パースペクティブ実験を例に—	中塚 良 豊田 裕章	"	"		〈講演〉中央アジアのギリシャ植民都市アイ・ハヌム	ポール・ベルナル	MIHO MUSEUM 研究紀要	5
発掘遺構による建築復元の方法論	宮本長二郎	歴史遺産研究	3		読書案内 イスラームと都市	三浦 徹	歴史と地理	584
建 物								
日 本								
柏原遺跡の第3次発掘調査	井石 好裕	和歌山県文化財センター年報	2004		「内裏跡」の系譜—里内裏の建築様式に関する研究(その2)—	溝口 正人	日本建築学会計画系論文集	588
根来寺坊院跡の確認調査	"	"	"		宮殿・官衙			
野上中南遺跡の第2次発掘調査	丹野 拓	"	"		中 国			
徳蔵地区遺跡の発掘調査	村田 弘	"	"		特集 遣唐使墓誌をめぐる日中交流史 唐代長安城の遺跡	飯島 武次	東アジアの古代文化	123
朝鮮・その他								
〈史料紹介〉韓国順天月坪旧石器遺跡—2001年度調査を中心として—	李 起吉	古代文化	552		日本			
発掘資料解釈と景観復元によるジュルファルの都市的性格検証	佐々木達夫 佐々木花江	オリエン ト	48-1		記念シンポジウム 復元(再建)を考える—平城宮第一次大極殿 建てることのでわかることがあるか	清水 重敦	建築史学	45
アラブ首長国連邦オマーン湾岸のイスラーム時代町跡	佐々木達夫	金沢大学文学部論集	25		〈図版解説〉亀山殿(史跡名勝嵐山)の発掘調査	内田 良昭	古代文化	561
学史 江上波夫『オロン・スム遺跡調査日記』の刊行に寄せて	森川 哲雄	古代文化	563		官衙の門、居宅の門	田中 広明	埼玉県埋文調査団紀要*	20
コラム 歴史の風景 竜城遺跡の発掘	桜井由躬雄	史学雑誌	114-9		紫香楽宮陞発掘—昭和5年の発掘調査の経緯—	畑中 英二	滋賀県文化財保護協会紀要	18
Syria Palmyra 石造遺跡群の風化状況	池田 碩	奈良大学紀要	33		久米官衙遺跡群の成立と展開	松原 弘宣	続日本紀研究	356
マラッカ(マレーシア)旧市街の空間特性と住居形式に関する考察	布野 修司 山崎 大智 宇高 雄志 ナウイット・オンサワン チャイ 山田 協太	日本建築学会計画系論文集	590		平安時代中後期の里内裏空間	中町美香子	史 林	452
					古代建築の棟—平城京大極殿の復原研究—	島田 敏男	奈良文化財研究所紀要	2005
					藤原宮の調査		"	"
					朝堂院東第三堂・東面回廊の調査—第132次	市 大樹 飛田 恵美子 寛 和也 渡部 圭一郎		

朝堂院東第六堂の調査—第136次	市	大樹			馬屋久保遺跡の調査(栃木県南那須町)—今も残る東山道駅路—	木下	実		
内裏東官衙地区の調査—第127・8次	寛	和也			久留倍遺跡の調査(三重県四日市市)—東を向く官衙—	服部	芳人		
朝堂院東地区・内裏東官衙地区の調査—第133-11次	小池	伸彦			播磨における古代山陽道と駅家(兵庫県龍野市・上郡町)	小田	賢		
平城宮の調査			〃	〃	筑後国府(福岡県久留米市)—三遷する国府—	神保	公久		
	清永	洋平			古代国家を支えた近江の生産遺跡(滋賀県大津市・草津市)	大沼	芳幸		
中央区朝堂院の調査—第367・376次	森川	芳樹							
	深澤	直博							
	豊島	明大							
	金田	晃宏							
	渡辺								
朝集殿院の調査—第370次	林	正憲							
復古様式の造営過程と中井役所棟梁の岡嶋上野掾 寛政度内裏に関する研究(2)	岩間	香	日本建築学会計画系論文集	588	[表紙解説]落地遺跡(飯坂地区)の礎石瓦葺建物	小田	賢	〃	〃
	植松	清志							
	中嶋	節子							
	谷	直樹							
一連の源氏物語絵を通してみた16・17世紀における寝殿造の理解とその変容要因—物語絵を通してみた近世における上流階級の住宅観に関する研究(1)—	赤澤	真理	〃	589	その他				
	波多野	純			特集 遣唐使墓誌をめぐる日中交流史ハノイの歴代宮殿跡の考察	上野	邦一	東アジアの古代文化	123
寛政度内裏造営以降の内侍所仮殿の造営・下賜と神嘉殿	岸	泰子	〃	591	宗教建造物				
文化財レポート 古代官衙久留倍遺跡の発見と意義—これまでの発掘調査の成果—	服部	芳人	日本歴史	685	中国				
中世里内裏の空間構造と「陣」—「陣」の多義性と「陣中」の範囲—	桃崎	有一郎	〃	686	明代万暦年間における普陀山の復興—中国巡礼史研究序説—	石野	一晴	東洋史研究	64-1
飛鳥の「宮」の構造と「京」の成立	林部	均	東アジアの古代文化	125	至元十三年阿育王寺舍利宝塔奉迎をめぐる	清水	智樹	仏教史学研究	48-1
鴻臚館の最新出土品と交易・流通	大庭	康時	〃	〃	宋代村里の寺院存留と仏塔の建立—支持基盤の分析—	金井	徳幸	立正史学	98
特集 古代の地方と官衙遺跡			文化財*	499	日本				
概論 古代地方官衙遺跡研究の新展開	玉田	芳英			巻頭特集 至福のミュージアム 日本美術の奥座敷 絢爛たる彫刻の宇宙 日光東照宮	絹谷	幸二	アーツ	201
方格地割をもつ城柵官衙遺跡(宮城県加美町)—東山官衙遺跡と壇の越遺跡—	斎藤	篤			〈文化財総合調査〉高津宮の神奥蔵について	酒井	一光	大阪の歴史と文化財	15
長者ヶ平遺跡の調査(栃木県南那須町)	大橋	泰夫			〈文化財総合調査〉おおさかの名所 阿弥陀池の構造とその歴史	佐藤	隆	〃	〃
					法隆寺の物差しは中国南朝尺の「材と分」	川端	俊一郎	計量史研究	30
					〈研究ノート〉平安時代の延暦寺—乗止観院とその安置仏	清水	擴	建築史学	44
					秩父観音霊場の空間とその変容	岩本	馨	〃	45

建築史学会二〇〇五年度大会 研究発表会報告		建築史学	45	近世神社本殿に付加された花堂	佐藤 正彦	日本建築学会計画系論文集	587
九体阿弥陀堂と常行堂	富島 義幸			寛延3年(1750)から寛政3年(1791)までの浄土真宗の庵室の変遷と平面構成 肥後藩における浄土真宗の庵室に関する研究 その3	尾道 建二	"	588
近世の神社建築における意匠化—関東圏と薩摩藩を中心として—	吉満 史絵			伊勢神宮社殿を修飾する古代の慣用表現—慣用表現「底つ石根に宮柱ふとしり、高天原に水椽たかしり」の建築像と伊勢神宮社殿—	東 久仁政	"	594
〈修復トビックス〉善光寺三門における縁廻りの技法的特徴	辻田 芳典	"	"	祥雲寺客殿の平面と障壁面の復原検討—智積院障壁面と発掘遺構を中心とした検討—	田口沙央里 小沢 朝江	"	597
〈学界動向〉安祥寺研究の新たな展開	上原 真人	古代文化	559	沖繩島における神アサギ・トゥンの分布と類型及び同一性に関する研究—神アサギ・トゥンに関する研究 その1—	森下 一成 福島 駿介	"	598
〈図版解説〉浄妙寺跡の発掘成果について	荒川 史	"	"	近世史部会共同研究報告 徳川家光の国家構想と日光東照宮	野村 玄	日本史研究	510
平安中後期斎宮研究の現状と課題	増渕 徹	斎宮歴史博物館研究紀要	14	口絵解説 法華寺のクラブロ 附 明和三年銘棟札、井戸	大島 暁雄	日本歴史	683
斎宮関係研究文献一覧		"	"	唐長安城円丘の日本交野円丘への影響について	王 熊倉 沢 仲殊 浩靖	東アジアの古代文化	122
続・最近調査のさいたま市周辺神社本殿について	青木 野尻	さいたま市博物館研究紀要	4	最初の官寺・百済大寺と東アジア	木下 正史	"	"
[所内研究発表会発表要旨]霊場高野山の形成過程—納骨・院家造立を通して—	宮野 純光	大正大学総合仏教研究所年報	27	第五八回全国大会研究発表要旨 法華寺阿彌陀浄土院の造営の意義について	三宮 千佳	美術史	159
東照宮建築に投影された日光の文化的景観	大河 直躬	大 日 光	75	平出の水神祭祀推論	桐原 健	平出博物館ノート	19
〈平成16年度 公開講座 名作名品の誕生Ⅱ〉中尊寺金色堂と舍利信仰—金色堂はなぜ金色なのか—	内藤 榮	帝塚山芸術文化	12	府中のお稲荷さん〜その把握に向けて〜	佐藤 智敬	府中市郷土の森博物館紀要	18
白星山太陽寺について—採集資料からみた東三河の山林寺院—	岩原 剛	豊橋市美術館研究紀要	14	中世杵築大社本殿造営の実態と背景	山岸 常人	仏教芸術	278
藤原京の調査 本薬師寺の調査—第133-3次	富永 里菜	奈良文化財研究所紀要	2005	特集 宇治の考古学・藤原氏別業の世界		"	279
飛鳥地域等の調査 豊浦寺の調査—第133-9次	小澤 毅	"	"	平安時代の宇治を発掘する	杉本 宏		
平城京と寺院の調査		"	"	浄妙寺と宇治陵墓群	荒川 史		
興福寺中金堂院の調査—第369次	清永 洋平			平等院発掘	杉本 宏 吹田 直子		
興福寺旧境内の調査—第371次	山本 高橋 林 克壽 正憲						
興福寺一乗院跡の調査—第383次	森川 実						
薬師寺の調査—第368次	豊島 直博						
西隆寺の調査—第378次	"						

特集 唐招提寺の考古学・金堂の平成大修理によせて			281
初期の唐招提寺をめぐる諸問題	東野 治之		
唐招提寺金堂の発掘調査	清水 昭博 米川 裕治		
考古学から見た唐招提寺の創建と金堂の建立	前園実知雄		
唐招提寺金堂の平成大修理	植田 哲司 山下 秀樹		
東大寺唐禅院跡の発掘調査	林部 均 鶴見 泰寿		
特集 九州国立博物館開館によせて 大宰府における国境祭祀と宝満山・有智山寺	山村 信榮	282	
九体阿弥陀堂と常行堂—尊勝寺阿弥陀堂の復元と位置づけをめぐる—	富島 義幸	283	
口絵解説 建長寺山門	武内 正和	文化財*	502
建長寺山門・法堂の指定の意義	清水 擴	"	"
東大寺二月堂の国宝指定の意義	山岸 常人	"	507
[表紙解説]東大寺二月堂	金子 隆之	"	"
軒平瓦の残存率から見た夏見庵寺の堂塔	山田 猛	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
木本御厨をめぐる景観について	新名 強	"	"
特集・古代の武蔵野		武蔵野	341
武蔵国分寺七重塔と史跡整備計画について	福田 信夫		
熊谷市西別府廃寺・西別府祭祀遺跡について	吉野 健		
高野山の大門に関する二、三の考察	丹野 拓	立命館大学考古学論集	4
考古学から見た『日本霊異記』—東国の仏教関連遺跡の動向から—	笹生 衛	歴史評論	668
朝鮮・その他			
高句麗における仏塔の受容と展開について—文化的背景を中心に—	金 春鎬	印度学仏教学研究	107

高麗時代の内道場—内帝釈院を中心として—	安田 純也	朝鮮学報	194
古代インド建築家たちのマンダラー—mandalipākāraは「円い城壁」か?—	橋本 哲夫	印度学仏教学研究	107
ジュンナル石窟マーンモーディー第四十窟の造営意義に関する一考察—銘文とフアサード彫刻を手掛かりとして—	豊山 亜希	関西大学哲学	25
アスラーダブラの僧房遺構の寸法計画について(1 全体規模の計画)—スリランカ仏教寺院建築の設計法則 その3—	黒河内宏昌	建築史学	45
研究報告 チベット仏教寺院の境内構成研究2 シッキム地方現地調査報告	中嶋 猛夫	女子美術大学研究紀要	35
特集: アフガニスタン パーミヤーン遺跡における考古学的新知見と文化的景観の成立	山内 和也	西アジア考古学	6

城 郭

中 国

中国沿海地帯と日本の文物交流の研究—港・船と物・心の交流—南朝建康城をめぐる海の道	千田 稔	シルクロード学研究	23
---	------	-----------	----

日 本

金沢城二の丸御殿の用途による部屋の構成	田中 徳英	研究紀要 金沢城研究	3
金沢城の地割図と二の丸御殿絵図—金沢城絵図調査報告II—	木越 隆三	"	"
鶴丸倉庫の構造と意匠—平成14~16年度建造物調査からの報告—	正見 泰	"	"
戸室石切丁場確認調査の概要	富田和気夫 加藤 克郎	"	"
【資料紹介】寛文元年二年 日帳	石野 友康	"	"
〈修復トピックス〉熊本城本丸御殿(大広間)の復元について	北野 隆	建築史学	45
古代城柵の研究(一) 城柵官衙説の批判と展望	阿部 義平	国立歴史民俗博物館研究報告	121
聚楽第跡の復元—考古学的考察—	馬瀬 智光	古代文化	553

房総中世城館の発展過程	小高	春雄	千葉県文化財センター研究紀要	24
土浦城跡外丸で発見された遺構について	比毛	君男	土浦市上高津貝塚年報*	10
土浦城の構造—縄張り復元の基礎的検討を中心に—	高田	徹	土浦市立博物館紀要	15
津山城本丸御殿と表鉄御門の再建について	乾	貴子	津山弥生の里	12
文化財レポート 大分県の中世城館跡の調査成果	小柳	和宏	日本歴史	683
北方諸地域における古代・中世の要害遺跡	右代	啓視	北海道開拓記念館研究紀要	33
稚内市増幌川口2号チャンの地形測量調査報告	右代 鈴木山田平川村上添田為岡	啓視 琢也 悟郎 善祥 孝一 雄二 進	北海道開拓記念館調査報告	44
天正初年における伊賀・伊勢両国関係の転換—国境の中世城館から—	竹田	憲治	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14
小堤城山城の石垣について(概要の報告)	福永	清治	野洲市歴史民俗博物館研究紀要	11
鳥取における山名氏の展開について	八峠	興	立命館大学考古学論集	4
特集 城の社会史			歴史評論	657
古代北日本の「防御性集落」	小口	雅史		
戦国期城館の公と縄張り研究	多田	暢久		
中近世移行期城館論—丹波園部陣屋の成立を中心に—	福島	克彦		
チャン跡遺跡研究の動向	宇田川	洋		
三つのグスク論—中世城館・防御された村・王のグスク—	安里	進		
朝鮮				
朝鮮王朝の防衛体制の変化に関する研究—城郭の立地と整備過程を中心に—	金	憲奎	日本建築学会計画系論文集	588
特集 城の社会史 朝鮮半島古代山城と出土文字史料	深津	行徳	歴史評論	657

住宅・館

中国

特集 アジアの都市住宅 アジア遊学 80

中国華北の四合院 北京・平遥の明清住宅 田村 広子

中国江南の都市住宅 明清時代蘇州知識人層の住宅を中心として 箕浦 詠子

中国湖南省江華県瑶族民家におけるイロリとカマドの変遷について 中国湖南省瑶族民家に関する研究(その2) 王 土田 北野 伊東 暉 義隆 龍一 日本建築学会計画系論文集 590

日本

中山道板橋宿の旅籠屋について—豊田家文書の屋敷間取り図の分析を中心として— 中野 達哉 板橋区立郷土資料館紀要・年報 紀要15／年報16・17

《調査報告》赤松守護屋形の総合的研究Ⅲ—揖保郡新宮町馬立東部地区の発掘調査概要— 櫃本 篠宮 岩本 友和 赤松 奥田 知原 日守 江口 田中 鮑 誠一 正 崇 朋子 和智 子 克 章 真 維 美 裕 祐 典 耀 昌 市川 木村 永井 樹 潤 柳川 正史 吉行 淳 規 彰 清彦 大手前大学史学研究所紀要 5

近世民家の集成(2) かながわの考古学 10

小規模な中世屋敷内部の建物変遷と傾向—掘立柱建物跡の桁行平均柱間を視点に— 飯森 康広 群馬県埋文調査団紀要* 23

大特集 光琳の七不思議[光琳屋敷] 芸術新潮 670

2004年度日本建築学会大会(北海道)建築計画部門 建築雑誌 1528

パネルディスカッション(3)伝統木造構法の再考 指付技法と指物 堀江 亨

建築歴史・意匠部門研究懇談会 北海道におけるアイヌ期の住居形式の変容 堅穴住居から平地住居への変容過程 高屋麻理子 鈴木 晶子

〈研究ノート〉中世住宅における書院と書院飾り	鈴木 亘	建築史学	44	「東三条殿図」について—裏松固禪院宮及私第図—に関する研究 1—	藤田 勝也 宮崎 隆志	〃	〃
〈研究ノート〉伊勢亭御風呂の復原考察—室町期武家の沐浴空間—	北脇 翔平	〃	〃	17世紀後期～18世紀前期、萩藩の武家屋敷に対する申請作事規定を通してみた建築行政について(山口県文書館所蔵毛利家文庫「屋敷方作事方御書附」を中心に)—萩藩の建築規制に関する研究 その4—	妻木 宣嗣	〃	592
〈修復トピック〉重要文化財時国家住宅の修理を通して	小林 裕幸	〃	〃	通過儀礼・年中行事から見た岡山地方の町家の空間の使い分けについて	中村 精二	〃	593
建築史学会二〇〇五年度大会 研究発表会報告 三、平安・鎌倉時代貴族住宅における正門の位置決定要因一路との関係—	平山 幸也 藤田 勝也	〃	45	鎌倉における赤橋邸と西殿の沿革	藤田 盟児	〃	594
特輯 平家と福原		古代文化	555	「寝殿図」の由来と影響—裏松固禪院宮及私第図—に関する研究 2—	藤田 勝也	〃	597
伊勢平氏と屋敷	伊藤 裕偉			奄美大島における民家の空間構成に関する復元的考察 集落の空間構成原理に関する研究 その3	永田 隆昌 宮本 雅明 高見 敏志 松永 達	〃	〃
〈図版解説〉兵庫県神戸市 楠・荒田町遺跡	岡田 章一			府中市内穀蔵の調査記録—住吉町内藤正家—	博物館ボランティア資料整理班 佐藤 智敬	府中市郷土の森博物館紀要	18
房総における竈導入頃の様相—竈と貯蔵穴 その2—	小林 清隆	千葉県文化財センター研究紀要	24	〈概報〉旧松澤家住宅の復原について	川端 修司	文化財研究紀要	18
前橋藩房総分領と富津陣屋の終焉	筑紫 敏夫	千葉県立中央博物館研究報告	18	重要文化財 旧中筋家住宅主屋ほか5棟保存修理の設計監理	寺本 就一	和歌山県文化財センター年報	2004
大会特集 敦賀—日本海～琵琶湖、風の通り道—問題提起4 弘前藩の敦賀屋敷—津軽と敦賀を結ぶもの—	福井 敏隆	地方史研究	316	そ の 他			
セヴェラルネス：事物連鎖と人間7 クリティカル・パス 桂の案内人	中谷 礼仁	10 + 1 *	39	特集 アジアの都市住宅		アジア遊学	80
縄紋中期後半における住居諸形態の観察—栃木県内の加曽利EIII式期を中心として—	江原 英	とちぎ埋文センター紀要*	13	ベトナム中部地方・フエの伝統家屋	中沢信一郎		
毛利藩の江戸新橋中屋敷について	岡田 悟	日本建築学会計画系論文集	588	タイの高床式住居水と共存するための知恵	畑山 明子		
倉敷の屋敷型町屋に関する形態論的研究	早川 紀朱 大野 秀敏	〃	〃	バリ・クルンクンの住宅とコミュニティ 神々が宿る住まい	楠亀 典之		
臨終行儀にみる「臨終の住まい」の形式的特質	西村 謙司	〃	590	ベトナム ハノイ・サイゴンの都市住宅	大田 省一		
近世初期京都の会所と番屋	早見 洋平	〃	〃	ベトナム・ハタイ省ドンラム村の民家調査	箱崎 和久	奈良文化財研究所紀要	2005
毛利藩の江戸葛飾抱屋敷について	岡田 悟	〃	591				

茶 室

日 本

- 特集 露路を知ろう
露路の成立と展開 尼崎 博正 淡 交 731
- 《研究ノート》尾張徳
川家大曾根邸「山の
茶屋」成立の謎と位
置づけ～十九世紀に
おける大名数寄屋
茶屋についての一考
察～ 谷口 剛久 野村美術
館研究紀 14 要

その他の建造物

東 ア ジ ア

- 民俗の伝播と地域的
特性の形成 琉球列
島・東南アジアの穀
倉と風葬墓に関する
民俗誌 東 喜望 国際日本
学 3

中 国

- 中国沿海地帯と日本
の文物交流の研究—
港・船と物・心の交
流—船と港 宇野 隆夫 シル
クロード学 23 研究

日 本

- 熊山石積遺構の築造 田中 嗣人 華頂博物
館学研究 12
- 御柱祭の柱立と祇園
祭の鉾立 松本 岩雄
目次 謙一 古代文化
研究 13
- 丸子船の横断面に見
られる和船の原型要
素について 牧野 久実 史 学 73-4
- 集石遺構の研究法に
ついて 青嶋 邦夫 静岡県埋
文調査研
究所紀要* 11
- 研究報告 農村舞台
から芝居小屋へ—信
州における劇場転換
期の一様相— 伊藤 友久 長野県立
歴史館研
究紀要 11
- 設立経緯及び建築類
型に見る薩摩藩宮鹿
児島紡績所 イギリ
ス資本から見た集成
館事業の研究(2) 水田 丞 日本建築
学会計画
系論文集 593
- 兵庫県の神社に現存
する能舞台の平面と
社殿構成に関する研
究 大岸 文夫
佐藤 勝行 " 598
- 皇御孫尊乃御膳都水
—酒船石遺跡小考— 鈴鹿千代乃 東アジア
の古代文
化 124
- 日本原始・古代の権
の研究 吉田 知史 待兼山論
叢 39
- 茶堂のコミュニケー
ションの場としての
機能に関する考察 河野 昌広 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 50

庭 園

中 国

- 唐長安城大明宮太液
池の共同発掘調査 今井 晃樹 奈良文化
財研究所
紀要 2005

日 本

- 特輯 修学院離宮 国 華 1317
- 修学院離宮の特集
に当たって 小林 忠
- 後水尾院と修学院
離宮 熊倉 功夫
- 神泉苑の誕生 吉野 秋二 史 林 454
- 平城京と寺院の調査
旧大乘院庭園の調査
—第374次— 大林 潤
中川 あや一
川越 俊淳 奈良文化
財研究所
紀要 2005
- 特集 宇治の考古学
・藤原氏別業の世界
平等院庭園における
州浜整備 仲 隆裕 仏教芸術 279

- 古代庭園の音風景 田中 哲雄 歴史遺産
研究 3

墳 墓

中 国

- 研究ノート 中国盗
掘事情 横田 恭三 跡見学園
女子大学
人文学フ
ォーラム 3
- 平成十五年度博士論
文(課程)要旨 トウ
ルファン出土高昌墓
塚の源流とその成立 張 銘心 大阪大学
大学院文
学研究科
紀要 45
- 前漢諸侯王墓と諸侯
王の自殺 村元 健一 大阪歴史
博物館研
究紀要 4
- 彙報 平成一七年度
春期東洋学講座講演
要旨(アジアの歴史
と文化を語る)「海東
の盛国」渤海の文化 田村 晃一 東洋学報 87-2
- チンギス=ハーン廟
の源流 白石 典之 東洋史研
究 63-4
- 渤海・塔基墓の背景 西谷 正 東アジア
の古代文
化 124
- 発掘された遼代貴族
の芸術・文化—十一
—十二世紀、中国北方
の帝国 楊 曉能
阿部 修英 美術史論
叢 21

日 本

- 磯長谷古墳群の提起
する問題—敏達・石
姫合葬墓の問題を中
心に— 白石 太一郎 大阪府立
近つ飛鳥
博物館館
報 9

研究ノート 一須賀古墳群三題	上林 史郎	"	"		古代の上総北東部—古墳時代後期からの集落と古墳の動向—	栗田 則久 木島 桂子	千葉県文化財センター研究紀要	24
〈調査報告〉滋賀県坂田郡近江町定納古墳群の発掘調査	森下 章司 藤本 史子 宮崎 幹也	大手前大学史学研究所紀要	5		【動向 陵墓問題】雲部車塚古墳(雲部陵墓参考地)見学会参加記	平野 明夫	地方史研究	313
描かれた古墳出土品—明治十四年の発掘調査—	宮川 禎一	学 叢	27		口絵 風返稲荷山古墳と銅鏡	千葉 隆司	筑波大学先史学・考古学研究	16
神奈川県内の「やぐら」集成(3)—「やぐら」出土の石造塔類について—	宍戸 信悟 鈴木庸一郎 服部実喜 宮坂 淳一	かながわの考古学	10		「末期古墳」の展開とその社会的背景(下)	五十嵐聡江	"	"
資料紹介 小倉高校寄贈資料 今村清川町古墳出土資料の紹介	松井 和幸	北九州自然史歴史博報告*	2		愛宕山古墳・愛宕山古墳群1号墳—市道Ⅱ級1号線道路整備に伴う発掘調査報告—	石川 功	土浦市上高津貝塚年報*	10
石棚雑感—九州における系譜と評価をめぐって—	吉村 靖徳	九州歴史資料館研究論集	30		天満神社8号墳・天神原遺跡発掘調査報告	小郷 利幸	津山弥生の里	12
久米島の近世墓調査—盛吉家墓・喜久里家墓・吉浜家墓の調査—	西銘 章	久米島自然文化センター紀要	5		修士論文要旨 指導石野博信教授 瀬戸内沿岸地域における横穴式石室墳築造過程の階層性	堤 徹也	徳島文理大学文学論叢	22
前方後円墳の墳丘規格に関する研究(中)	沼澤 豊	考古学雑誌	89-3		キトラ古墳石室内の発掘調査—飛鳥藤原第135次調査—	花谷 浩	奈良文化財研究所紀要	2005
〈図版解説〉東京都府中市・武蔵府中熊野神社古墳	江口 桂	古代文化	553		飛鳥地域等の調査 高松塚古墳の調査—第137次	松村 恵司 渡部圭一郎	"	"
方形周溝墓と土器Ⅲ—概観 その2—	福田 聖	埼玉県埋文調査団紀要*	20		新潟県における群集墳について—頸城地方を中心に—	伊与部倫夫	新潟県立歴史博物館研究紀要	6
丸墓山古墳西方隣接地区試掘調査報告	教育普及・調査研究担当	埼玉県さきたま資料館報*	18		神道式墳墓とは何か(一)	此経 啓助	日本大学芸術学部紀要	42
〔表紙写真解説〕大淵古墳(皆野町大淵)	四方田 悟	埼玉史談	282		文化財レポート 関東の大型上田下方墳—武蔵府中熊野神社古墳の発掘調査—	塚原 二郎	日本歴史	682
横穴式石室の裏込めにみる地域性—駿河の事例—	菊池 吉修	静岡県埋文調査研究所紀要*	11		文化財レポート 近つ飛鳥の終末期古墳—平石谷の古墳群の調査—	榎本 哲	"	689
組合式箱形石棺をもつ横穴式石室—駿河・伊豆地域の事例から—	井鍋 誉之	"	"		佐紀盾列古墳群と垂仁天皇陵—記紀の陵墓治定と一系系的皇統の形成—	本位田菊士	"	691
河内長野市域の一惣墓について—河内南東山墓地の調査から—	里上 龍平	宗教文化研究	2		史跡浄楽寺・七ッ塚古墳群測量調査報告Ⅱ	植田千佳穂	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	5
《研究ノート》成川群集墓の全体像	繁昌 正幸	縄文の森から	3		〈研究ノート〉アイヌの他界観—他界観、その多様な構造と意味づけ—	内山 達也	物質文化研究	2
《研究ノート》鹿児島県における中世墓研究の現状と課題—発掘調査で発見された墓を中心として—	上床 真	"	"					
平成15年度陵墓関係調査報告	陵墓調査室	書陵部紀要	56					
古墳時代・箱式石棺使用石材による吉野川下流域の地域性	園木 裕美	真 朱	5					

特集 埋蔵文化財最
前線 古墳時代の新
情報 文化財* 506

総論 古墳時代研
究の新展開 清野 孝之
史跡銚子塚古墳の
調査(奈良県東八
代郡中道町) 村石 真澄
特別史跡巢山古墳
の調査(奈良県広
陵町)一出島状遺
構 井上 義光
史跡武蔵府中熊野
神社古墳の調査—
最大、最古の上円
下方墳— 塚原 二郎
〔表紙解説〕巢山古墳
の出島状遺構 井上 義光 " "

伊勢地方における馬
形埴輪の出土位置に
ついて 酒井巳紀子 三重県埋
蔵文化財
センター
研究紀要 14
えびの市小木原遺跡
出土の横口式土壙墓
について 永友 良典 宮崎県総
合博物館
研究紀要 26
神奈川県古墳(Ⅳ)
—神奈川県古墳地名
表(2)— 稲村 繁 横須賀市
博物館研
究報告 50
《研究ノート》拜所考
—埼玉県下の遺跡例
を中心として— 野澤 均 立正史学 97
美濃赤坂「古墳群」の
研究—視角への雑想— 丸山 竜平 立命館大
学考古学
論集 4
低い石棚の考察 中村 修 " "

歴史 なるほど・ザ
・フィールドワーク
〔第四話〕奈良・オオ
ヤマト古墳群を訪ね
る—ヒミコの里・山
の辺の古道を歩く— 浜田 博生 歴史地理
教育 681
平成16年度岩橋千塚
古墳群の発掘調査 黒石 哲夫 和歌山県
文化財セ
ンター年
報 2004

朝鮮・その他

韓国の周溝墓と墳丘
墓 崔白井 完奎 考古学雑
誌 89-4
百済地域で発見され
た横穴墓とその背景 柳沢 一男 東アジア
の古代文
化 125
特集「日韓の相互認
識」栄山江流域の
「前方後円墳」を視る
目 吉井 秀夫 歴 博 129

ニヤ遺跡と後漢時代
の合葬墓

李
浅岡
訳

遇春
俊夫

立命館大
学考古学
論集 4

建築部材など

日 本

多摩川下流域の古墳
—最近の発掘調査・
研究から考える— 野本 孝明 大田区立
郷土博物
館紀要 15
建築史学会二〇〇五
年度大会 研究発表
会報告 一、飛鳥池
遺跡出土の建築部材
箱崎 和久 建築史学 45
東大寺南大門におけ
る部材寸法の規格化
について—大仏様
における部材寸法の規
格化に関する研究
その1— 佐藤 隆久 日本建築
学会計画
系論文集 593
取葺と呼ばれた板葺
屋根の系譜 土屋 直人
西山 哲雄
早見 洋平
土本 俊和 " 594
東大寺開山堂及び鐘
楼における部材寸法
の規格化について—
大仏様における部材
寸法の規格化に関す
る研究 その2— 佐藤 隆久 " 598
仮設構築物の脚部に
据えられたクツイシ
と石組柱穴—長野県
飯山市小菅の祭祀空
間を彩る仮設建築物
の実態— 梅干野成央
岡本 茂
土本 俊和 " "
旧中筋家住宅の襖調
査 中間報告—唐紙
に見る室内装飾と空
間概念— 鈴木 徳子 和歌山県
文化財セ
ンター年
報 2004

建築に付随するその他

日 本

木割書による多宝塔
設計体系の研究 清水 隆宏
河内 克博
内藤 昌 日本建築
学会計画
系論文集 591
神宮工の大工職併有
と「請屋」「請工」につ
いて—中世伊勢神宮
の造営組織に関する
研究 その3— 浜島 一成 " "

そ の 他

建築書『マンジュシ
ュリー・ヴァースト
ウヴィディヤー・シ
ヤートラ(Mañjuśrī
Vastuvidyāśāstra)』
の設計法則 スリラ
ンカ仏教寺院建築の
設計法則 その2 黒河内宏昌
宮本 久義 建築史学 44

近 現 代 美 術

絵 画

一 般

- 色彩のグラデーションによる表現効果についての考察 金 尾勁 芸術学研究(筑波) 9
- 油彩画における描写法と素材の関連性について 株田 昌彦 " "
- 中間評価論文梗概 絵画における遠近法批判の研究 山本 斉 " "
- 小特集 触覚的楽天的 キュビズムからアジアを見る 榎木 野衣 芸術新潮 670
- [特集1]アジアのキュビズム 一九七八年アジアへの旅／アジアのキュビズム展に想う 後小路雅弘 現代の眼 553
- jaic創立記念—フランス美術紀行写真展 グレー、ブレア島そしてオーヴェールへ 岩瀬 行雄 jaic会報 2
- 文字絵によるイラストレーション表現 高橋 庸平 多摩美術大学大学院修了論文作品集 2005
- 史料紹介と研究 戊辰戦争期の風刺画にみる駐日プロイセン代理公使フォン・ブランド(4)～(7) 箱石 大 東大画像史料解析センター通信 28～31
- 特集 物語る絵画 読み解きたい欲望をそそるメディア 美術手帖 865
- 絵と小説の奇妙な関係 福永 信
- 対話する絵画 刻印された物語 白木 直子
清水 穰
白坂 ゆり
福永 信
藤森 愛美
- この絵の中では、なにか非日常的な物語が進行している。それがなんなのかわからない。けれども、たしかに今ここで、それは起こっている。それは……。
- 仲介の感性論 ヴィジュアル・エデュケーション6 ヴィジュアル・エデュケーションのために—幾何学的遠近法：知覚に埋め込まれた文化 岩城 見一 美術フォーラム21 12
- 絵本の分類化序論(1)「絵」と「ことば」の機能 藤本 朝巳 フェリス女学院大学文学部紀要 40
- ツウのひと声 美術と場所の結びつき 村田 真 朝日夕刊 9.2
- 夜景の誘惑十選 1 横尾 忠則 日 経 1.27、28、31、2.1、3、4、7、8、10、11
- 美の美 漱石の美学中 中野 稔 " 5.8
- 旅への思い十選 1 篠 雅廣 " 6.30、7.1、4、5、7、8、12～15
- 私の履歴書21 抽象表現に心はずむ 西洋と日本文化、混交模索 篠田 正浩 " 8.22
- 日 本
- 《特別連載・資料集成》1～4 戦争に征った画家たち 飯野 正仁 あいだ 116～119
- 石川県洋画史IV 戦中—昭和十一年から二十年まで 二木伸一郎 石川県立美術館紀要 15
- 美的蓄財に関する私ノート 丹尾 安典 一寸 23
- 銭湯の背景画について—特別展「小樽の銭湯いまむかし」より— 松尾 友美 小樽市博物館紀要 18
- 近代初期、北海道開拓使に雇われた画工の基礎的研究 三浦 泰之 鹿島美術財団年報別冊 22
- 帝展入選作に見る植民地朝鮮—文化政治期の女性表象をめぐって— 朴 美貞 " "
- 巻頭エッセイ 右前自画像の消滅—写真を見て描くことはいつから悪になったのか 森田 恒之 近代画説 14
- 被爆の展示学—「被爆者が描いた(原爆の絵)」を中心として—(後編) 藁戸さゆみ 芸術学学報 12
- ホームイメージのある絵本—視覚表現における「行きて帰る」構造をめぐって— 山本 暁子 " "
- 小特集 山水の記憶 北澤 憲昭 芸術新潮 663
- 創画会の新たな動き 公募作品東西による分離審査の波紋 創画会分裂の危惧はなし 新美術新聞 1052

「星星会」について 一下田義寛・竹内浩一・田淵俊夫・牧進一 高山、平山に続く大きな星になる4人	浅木 正勝	新美術新聞	1059	最新の画材研究から3 にかわ 見えないものを考える	上田 邦介		
「青塔社」50年に思う 継承する「自由の心」	池田 道夫	" "	" "	今日の日本画と美術団体 日本人の社会的心情に根差した体制	藤田 一人		
第一特集 GRAFFITY AS CULTURE ENGINE!!! 拡張するグラフィティ MORE LEGAL WALL @ TOKYO		STUDIO VOICE	360	今日の日本画と美術市場 日本全国に浸透する販路	"		
PROSPER TOKYO	大和田 良			外傷の絵画—ポストコロニアリズムの視点から	北澤 憲昭		
KOMPOSITION	寺井 元一			特集 物語る絵画 読み解きたい欲望をそそるメディア 絵に「物語」は宿らない	佐々木 敦	"	865
開国一五〇年 明治かがやく 第二章 鹿鳴館の時代と自由民権運動 流行を発信する ファッション誌は錦絵か		太 陽	明治村記念号	芸苑雑事記156 日展洋画考	瀧 梯三	美術の窓	266
シッタールタ	當麻ゆき子	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2005	[特集] ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ—作品からイメージへ3 戦争「絵画」の隘路について—挿絵・パノラマ・戦争画	河田 明久	美術フォーラム21	12
余録 日本絵画二〇世紀の草創展 油絵の二〇世紀問題?	岡本 正康	潮流	82	仲介の感性論 ヴィジュアル・エデュケーション3 模写の変貌—模写・近代を視点に	高梨 純次	"	"
研究ノート 近代水墨画のなかの人物(上)	森 芳功	徳島県立近代美術館ニュース	55	『詩とメルヘン』の30年—その抒情性の行方	柴村 紀代	藤女子大学文学部紀要	43-2
長野県のカルタ	松岡 敬二	豊橋市美術館研究紀要	14	絵画の行方、あるいは起源の絵画	山村 仁志	府中市美術館だより	16
研究ノート 写生地案内 1950年代~1960年代の風景画	枝松 亜子	西宮市大谷記念美術館NEWS	18	油絵は見世物だった	青木 茂	見世物	3
特集 「日本画」ってなんだろう?		美術手帖	864	「西洋絵画」見世物引札解説のためのメモワール	塩谷 善夫	"	"
【歴史編】「日本画」バカテック列伝	山下 裕二			みつゑ100年記念 絵本の未来を知りたくて 松居直	来嶋 路子	みつゑ	74
【技法編】日本画材の基本型	荒井 経、安指導・実演 原田 環、中山 真理 [カワイイファクトリー] 取材・構成			特集: 特別展「野口小嶺と近代南画」シンポジウム「近代南画を再考する」報告書		山梨県立美術館研究紀要	20
最新の画材研究から1 岩絵具 近代色料のローカルスタンダード	荒井 経			基調講演「近世南画からみた近代南画」	河野 元昭	談	
最新の画材研究から2 絵具に見る「日本画」と「洋画」	植本誠一郎			発表1「“理想化”の装置としての南画—“現実化”装置としての洋画に対する」	佐藤 道信	談	

発表2「近代南画の傾向—写生の眼、自然科学への関心」	大熊 敏之 談				アンビエンテ覚書	鯨井 秀伸	愛知県美術館研究紀要	11
討議「近代南画を再考する」	河野 元昭、 佐藤 道信、 大熊 敏之、 平林 彰 談				パオロ・ピーノ『絵画問答』翻訳と註解(4)	森田 義之 細野 喜代	五浦論叢	12
絵はがきの時代12 絵はがきと旅	細馬 宏通	ユリイカ	506		翻訳 ドルチェの『絵画問答』と十六世紀ヴェネツィアの絵画観	ローリアース・ファレイ・デスト著 森田 義之、 小林もり子 訳	" "	" "
街角 中学卒業記念公園の滑り台に絵		朝 日	3.12		言情・文芸・羅曼史—台湾貸本文化考(2)—	村上 公一	学術研究	53
本のカバーに書店の個性 豊かな地域色 200店分を収録	宮崎 健二	朝日夕刊	1.22		須磨ノート 中国近代絵画編(三)	須磨弥吉郎 記述 西上 実 編	学 叢	27
婦人画報創刊100周年 大和撫子しなやかに変化 欧米傾倒から「和」重視へ「美しいもの」「ほんもの」求め	藤田 綾子	産 経	1.9		『愛に囚われし心の書』の挿絵について—著者像としての夢の場面を中心に—	田中久美子	鹿島美術財団年報別冊	22
第24回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介 審査講評	真室 佳武	"	3.9		一八世紀に刊行されたプシュケ神話の挿絵本研究	安室可奈子	" "	" "
東京空襲絵に刻む記憶 体験者それぞれの風景、多様な真実を後世に	田中 慎昭	日 経	3.4		18世紀フランス風景画へのヨーロッパ諸国の影響	吉田 朋子	" "	" "
美の美 漱石の美学上、下	中野 稔	"	5.1、15		ゴッホもクレーモピカンもマレーヴィチもする点描	永島 章雄	芸術新潮	667
句の人 大人が楽しむ塗り絵 ヒット 南雅一さん 鑑賞に堪える名画題材に	南 雅一	"	6.27		[特集1]アジアのキュビズム キュビズムの意味	本江 邦夫	現代の眼	553
美の美 戦争を描く 1～4 現役作家の軌跡	内田 洋一	"	7.10、 17、24、 31		ウィリアムズのコルプスとアローヨ・ペアトウス写本挿絵	安發 和彰	東北芸術工科大学紀要	12
ダンボール絵画は芸術だ アーティストの卵と生活者の「ユートピア」再発見	深瀬鋭一郎	"	10.7		ヴェネツィア絵画における技法と詩法	サンテ・L・サヴィオ 松浦 直子 訳	名古屋造形芸大紀要*	11
乙女の夢に忍び寄る戦争 収集した戦時下の少女雑誌、変遷たどる展示会	村崎 修三	"	"		17世紀オランダ絵画の中の建築空間	三輪 祐仁 夏目 欣昇 若山 滋	日本建築学会計画系論文集	593
100年の歳月を超え 日本海海戦の絵見つける	渡辺 創	毎日夕刊	7.4		エロティックなピンナップ?孝行の範例?「キモンとペロー(ローマの慈愛)」受容の一側面	深谷 訓子	美 学	221
表現法で賛否 高架下アート	市原 尚士	読売夕刊	7.1		平成十六年度支部例会研究発表要旨 ジャン・ル・マングル三世の『歴史物語聖書』—流転の中世末期彩飾写本—	駒田亜紀子	美 術 史	158
海 外 西洋美術史見直誌 第8回 ギャラリー画の発生	瀬木 慎一	ア ー ト ト ッ プ	205		第五八回全国大会研究発表要旨	"	"	159
ドイツ・ロマン派の風景画について	神林 恒道	ART RAMBLE	7		礼拝堂に描かれた天井壁画の研究における写真の功罪	若山 映子		
17世紀オランダ絵画を見る作法	岡 泰正	"	9					

ムガル宮廷画におけるヨーロッパ絵画の受容——七～一八世紀に関して——	山本 緑			朝日夕刊	2.8
《ベルンのフィシオログス》挿絵研究—そのプログラムに関する一考察—	長友 瑞絵				
初期中世の黙示録写本挿絵サイクルにおける挿絵とテキストの配列関係—ヴァランシエンヌ本とパリ本を巡って—	濱西 雅子				
聖ヴィンチェンツォ・フェレルの「幼児復活の奇跡」図像について—ステッペルト美術館第三四番作品を中心とした調査報告—	池上 英洋				
一八八九年パリ万国博覧会におけるパノラマ	森本デュルト沙羅セシル				
システイーナ礼拝堂天井画—シビュラと新時代思想—	増田 千穂	美術史研究	43		
特集 ドイツの現代美術 ライプツィヒのアートシーンから	河合 純枝	美術手帖	872		
[特集] ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ—作品からイメージへ4 挿絵のナラトロジー—	西村 清和	美術フォーラム21	12		
ベルギー近代の美—印象主義から表現主義、そして抽象へ—マグリット、デルヴオー、アレシンスキーほか	音 ゆみ子	府中市美術館だより	16		
イギリス、フランスに所蔵される『アクバル会典』の写本について	近藤 治	仏教大学文学部論集	89		
『カリカチュール』紙に描かれたタレーラン	和南城愛理	町田市立国際版画美術館紀要	9		
古代ローマ壁画の技法に関する実験と考察	大野 鈴木	武蔵野美術大学研究紀要	35		
中期ビザンティン・レクシオナリー写本の挿絵研究序説	益田 朋幸	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50		
子に深い被災の記憶「したいことは」と描いた絵… スリランカで東京のNGO津波にのまれた家・横倒しのバス					
16世紀の天正遣欧少年使節伊東マンショの肖像画? ローマ法王の子孫宅で発見	郷富 佐子		11.29		
TOKYO発 在日中国人画家34人が作品集 “本場”モダン水墨画 「日中交流に役立てたい」	林 涼子 東京		6.3		
近代の粹輝く名品 オルセー美術館展 秋から 画家たちの理想郷探る			4.13		
ベネチア派の光る絵画 秘密はガラスの粉	笹沢 教一 読売		8.27		
巨匠の濃密な世界 ブラド美術館展	岩鍋 孝春		12.26		

漫画・アニメーション

一般

総力レビュー2004 アジア 隣国からの視点“アニメ王国日本に赤信号”	申 昌浩 木野評論	36		
漫画アニメーションのキャラクター分析と理想的なキャラクターデザインに関する研究 韓国・日本のキャラクター比較から	カクユンジン	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2005	
特集 動く絵画(アニメーション)		美術手帖	862	
Animation Map 1900>>>2005 ZOOM UP	津堅 信之 野々村文宏 藤津 亮太			
融合、脱出、並立、そして拡大 アニメーション発達史とその構造	津堅 信之			
2004年から考える アニメの未来	藤津 亮太			
脳科学とアニメーション	佐藤 雅彦 談石井 芳征 取材・文			
ANIMATION×ARTIST 美術の中のアニメーション01 異次元の世界に導く、アニメ固有のモーメント	市原研太郎 選・文			

ANIMATION×ARTIST 美術の中のアニメーション03 アジアの視覚芸術に根づくアニメーションの要素と現代美術への浸透	北澤ひろみ 選・文					'05劇場アニメ状況になんを見るのか？	"	"	"			
アニメ制作日米ファン ド イ藤忠・ターナー 30億円投資募り、質の高い作品に		朝	日	2.3		マンガにみる日本のスポーツ文化—『巨人の星』を手掛かりにして—	佐原	龍誌	多摩美術大学研究紀要	19		
日本アニメ、米で人気減速 似たキャラクター多く CG化で遅れ 米企業との合作は健闘	猪瀬 聖	日経夕刊	6.18			妖怪イラストレーション	宿谷	卓司	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005		
米戦争マンガに描かれた日本 日本マンガ学会第5回大会	内藤麻里子	毎日夕刊	7.20			コマ撮り映像論	高橋	済	"	"		
絵本とアニメ 境界から生まれる創造	中川 素子	読売夕刊	5.30			日本語学習者の日本語会話解釈上の問題点—日本語学習者によるマンガ理解を通して—	因	京子	比較社会文化	11		
日本						特集 動く絵画(アニメーション) 絵画・映画・動画	谷川	渥	美術手帖	862		
[特集]ガンダム行きます! 『ガンダム展』ができるまで	内田 伸一 取材・文	ART iT	8			巻頭インタビュー 初のマンガ論集成『読むそばから忘れていっても』に寄せて いつでも、どんな恰好でもマンガ読みはやめられない	高橋源一郎 談 岸川 真 取材・文	百 科*	509			
巻頭特集 NIPPONを見る目 欧米人に教えてもらおう“楽しい”日本のアート あなたが推す日本のアートとは? 文化とは? 今のアニメもゲームも漫画が由来	スチュウアート・リー ビー	アーツトップ	202			アニメーション学会のこと	津堅	信之	"	517		
現代を測る マンガと差別の悩ましい関係	表 智之	インターフェイスの人文科学	5			特集 ストーリー構成			みづゑ	71		
特集 愛についての21の議論 第1部 純愛 少女マンガに、もう純愛はない	藤本由香里	木野評論	36			ストーリーケーススタディ1 『ブラック・ジャックALIVE』に見る物語づくりの手法	井関 裕督 談					
特集 最終コミック・リスト200		STUDIO VOICE	354			『岩窟王』のストーリー構成						
座談会 00年代、コミックには何が起きているのか?	伊藤 剛、 宮 昌太郎、 根 辰雄、 吉田 大助 司会					ストーリーづくりの成功の法則10箇条						
COLUMN 02 マンガ産業状況'05 00年代半ば、漫画シーンはなぜ盛り上がったのか?	吉田 大助					特集 ギャグまんが大行進			ユリイカ	503		
第一特集 映画を見る方法2006 最強映画コラム50本! 映画の見方ファイル “ジブリ・アニメ”はジブリの外で成立できるのか?	藤津 亮太	"	359			性差と4コマ	矢部	史郎				
						大阪は「ぼのぼの」やねん。『あずまんが大王』から見た萌え、四コマ、マンガの現在	伊藤	剛				
						ギャグマンガ・マッピング2005	斎藤	宣彦				
						特集 雑誌の黄金時代 週刊少年誌の浮き沈みから見るマンガ雑誌の変遷 —一九六九年以後—	芝田	隆広	"	509		
						総特集 オタク×サブカル!			"	510		
						1984 東京通勤圏でのサブカルとオタクの距離感	乙木	一史				

僕をオタクにして くれなかった岡田 斗司夫へ	前島 賢				ジャンプとマガジ ンの画面構成比較	宮本 大人	6.21
特集 攻殻機動隊 STAND ALONE CO- MPLEX		ユリイカ	512		評論3作の意味す るもの	"	10.20
異形の愛『S.A. C.』と萌え	海猫沢メロ ン				擬似的体験させる 正統的な恋愛マン ガ	瓜生 吉則	12.2
あしたのために一 その1 あるいは アニメーションの 「青春時代」	矢野 健二				少年ジャンプ異色連 載 生き返らないデ ス	石田 汗太 読売夕刊	3.11
第9回 手塚治文化 賞 面白さと衝撃 度で再び大賞	小原 篤 朝 日	5.10			OTAKUニッポン どんなモノにもかわ いさ発見 擬人化キ ャクター	福田 淳 "	6.24
少女マンガ北米進出 月刊「SHOJO BEAT」 集英社・小学館出資 6月創刊	"	朝日夕刊	2.9		鉄人28号完全版 原 画のタッチ復元11月 刊行開始	佐藤 憲一 "	9.1
ツウのひと声 出版 少女マンガ売れてま す!	藤本由香里	"	5.6		海 外		
戦後60年の透視図 第2部・イメージ空 間2 マンガ・アニメ 古典の存在「成 熟」を象徴 「成長」 描く矛盾格闘続く	四ノ原恒憲	"	6.14		特集 アジア(日本 ・日系)ラテンアメ リカー日系社会の経 験から学ぶ「アニメ メ」「マンガ」とラテ ンアメリカ ペルー の事例を中心に	赤木 妙子 アジア遊 学	76
紙面批評 急務 日 本アニメの国際化	蓑 豊 産 経	2.27			アヴァンギャルド爆 発 オリエンタリズム 横溢のドイツ影絵 アニメ	芸術新潮	670
10代の心射止め NANA旋風 少女漫 画繊細な感情描写で 大ヒット CDやゲ ーム、映画化も	安田 幸弘	"	3.13		特集 動く絵画(ア ニメーション)	美術手帖	862
マンガ評判記	細萱 敦	東京夕刊			政治とアニメーシ ョン 『チェブラ ーシカ』の夢と現 実	鴻野わか菜	
最初の企画展機に 貴重な資料を発掘 マンガ・アニメ研 究のために			5.27		アニメーション/ 近代性/階級闘争	野々村文宏	
「マンガ」ミュージ アムとしての17年 「漫画」から「MAN- GA」へ 情報発信 に努めた企画展			7.22		ANIMATION× ARTIST 美術 の中のアニメーシ ョン02 時空の秩序 から逸脱する動き	松井みどり 選	
貸本マンガいきいき 時代 50年ほど前子 どもがよく利用、実 態を仲間と研究	三宅 秀典	日 経	9.6		ANIMATION× ARTIST 美術 の中のアニメーシ ョン04 牧歌的で、 叙情的で、強烈に スカトロジカル	藤森 愛美 選・文	
少女漫画古典文化 コラボで新境地 作 中の指揮者CD「デビ ュー」「ガラスの仮 面」作中劇が能に	瀬崎久見子	日経夕刊	10.8		欧の個性派アニメ公 開「ベルヴィル・ ランデブー」「動き の面白さ追い求め」 「岸辺のふたり」 「深い感情をシンプ ルに」	小原 篤 朝日夕刊	1.13
京都で第8回絵本学 会大会 影響し合う 「絵本とアニメーシ ョン」 発展の可能 性探る シンポなど 多彩な企画で	山崎友記子	毎 日	6.22		仏アニメが熱い 多 彩な個性競演 人材 育成盛ん 高い採算 性魅力	橋本 美輝 日経夕刊	3.12
マンガの居場所		毎日夕刊					

黒人少年の切手で火 花 メキシコ発行に 支持多数 アメリカ 「差別助長する」	藤原 章生	毎 日	7. 3
ディズニーアニメ初 期のセル画250点 四十数年ぶり、千葉 大で発見	山縣 章子	〃	12. 20
米国マンガの新しい 顔 9. 11のトラウマ をユーモア交え	小野 耕世	毎日夕刊	10. 26
マンガの居場所 ア メリカでの少女マン ガ	ヤマダトモ コ	〃	12. 28

版 画

一 般

社寺の木版印刷にお ける刷り具の研究 (1)―近江、若狭地 方の社寺が所蔵する 刷り具の調査及び研 究	黒崎 彰	京都精華 大学紀要	28
韓国・中国・日本現 代木版画展 アジア に「木版画の花」が 咲くか? 日本の木版 画・その始まりから 現在まで	松山 龍雄	版画芸術	128
特集 渡辺達正 渡 辺達正教授の銅版画 講座		版画芸術	130
「版画家たちの表情」 展のための覚え書き 象徴主義、ドビュッ シー、そして版画と 挿絵本と	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	46
銀座ギャラリー日記	栗田 玲子	朝日夕刊	
作品の下見と「ハ ブニング」			6. 16
版画商に欠かせぬ 三種の神器			9. 8

日 本

新・旧刊案内23 日 本人による最初の石 版刷「観光問鼎」から 自然に昭和十八年が 引っかかる僕の日 常、など	青木 茂	一 寸	23
玄々堂、明治の残影 と草創期の木口木版 附・柄澤齊氏からの 書簡 銅・石版画遺 聞21	森 登	〃	〃
正月用引札の諸相― (新春)の図像学―	熊倉 一紗	浮世絵芸 術	149
「浮世絵のリバイバ ル」から「新しい芸術 運動」へ―新版画の 海外評価について―	服部 郁美	芸術学学 報	12

雑誌探案 「山比古」 の検討(下)―窪田空 保・水野葉舟・島崎 藤村・国木田独歩・ 柳田国男・太田水穂 ・中沢臨川・秋元酒 江・蒲原有明・平塚 紫袖・岡野知十・小 野内薫・川田順・河 井醉茗・小島島水・ 吉江孤雁・矢ヶ崎奇 峰・三津木春影・田 山花袋ら―	紅野 敏郎	資料と研 究	10
ispa JAPAN 2004 国際版画シンポジウ ム・レポート「いま、 なぜ版画なのか?」	松山 龍雄	版画芸術	127
飾る愉しみを追う file 6、file 7	秋 田	〃	127、128
巻頭特集 よみがえ る伝統木版画		〃	129
解説 伝統木版の 技			
我ら伝統を担う職 人たち 京都若手 職人の会 若木会	辺 見		
「版で発信する作家 たち 2005」シンポ ジウム	松 山	〃	130
第64回例会の報告 伝統版画とモダン イズム―浮世絵モダン 展出品作品を巡って ―	滝沢 恭司	美術運動 史研究会 ニュース	78
はん(版)たいの世界	志賀 秀孝	府中市美 術館だよ り	14
《特集》画と文の交響 ―俳諧一枚摺の世界 俳諧一枚摺に見る 「明治」	伊藤 善隆	文 学	6-2
海 外			
腐蝕銅版画の防蝕被 膜について―アブラ ム・ボスの『腐蝕 銅版画技法』の場合 を中心に―	神谷 佳男	金沢美術 工芸大学 紀要	49
日本とユーゲントシ ュティールを超えて ―グループ結成前後 の時期の〈ブリュッ ケ〉の木版画をめぐ って―	大森 淳史	芸術論究	32
聖なる見世物のため の版画―ライン・マ ース地方の聖遺物展 観と「聖遺物版画」―	秋山 聰	東京学芸 大学紀要	57
特集 キアロスクー ロ木版画の世界―色 彩による明暗表現	保井 亜弓	版画芸術	129

連載 黒崎彰の続・
版画史解剖20世紀編
2 ブリュックとブ
ラウエライターー
ドイツ表現主義の画家
たちと版画

黒崎 彰 版画芸術 129

資料公開 フランス
の民衆版画(追加篇)

佐川美智子 町田市立
国際版画
美術館紀
要 9

絵はがきの時代14
万博からの挨拶

細馬 宏通 ユリイカ 508

写真・映像

一般

写真批評の現場から 飯沢耕太郎 aica
JAPAN 6

映像断片群の編集に
関わる継時的群化の
要因 井上 貢一 九州産業
大学芸術
学部研究
報告 36

特集 写真よ、語
れ! 港 千尋 芸術新潮 669

現代写真の動向につ
いて 天野 太郎 国立国際
美術館月
報 146

デジタルイメージ論
3 イメージ、その
欲望する「場所」 土屋 誠一 10 + 1 * 38

史料紹介と研究 島
津家文書『感光紙製
法』について 東大画像
史料解析
センター
通信* 28

(一) 古写真研究
プロジェクト 吉田 成

(二) 薩摩藩と紙
焼写真—
古写真研究プロジ
ェクト 谷 昭佳

Topics Special Inter-
view 開館10周年企
画展 写真はものの
見方をどのように変
えてきたか 金子 隆一 東京都写
真美術館
ニュース 45

Topics Special Inter-
view 開館10周年企
画展 写真はものの
見方をどのように変
えてきたか //

美学会第56回全国大
会発表要旨 美 学 223

写真のプレ現象:
その受容における
3つの時間 内野 博子

映画と「光」として
の世界—反現象学
的なドゥルーズの
映画(イマージュ)
論について— 大石 和久

絵はがきの時代11、
15 絵はがきの中へ 細馬 宏通 ユリイカ 505、511

映像作品に時間表示
もつと 田中 三蔵 朝日夕刊 9.30

絵はがきに見る戦前
東アジア 歴史研究
に利用広がる「浮か
び上がる日本人の軌
跡」 神谷 浩司 日 経 5.14

肖像写真は語る十選
1～10 福原 義春 " 5.23、
24、26、
27、30、
31、6.2、
3、6、7

柳田国男人柄映す絵
葉書 家族にあてた
270通を解説、父・
夫の一面が明らかに 田中 正明 " 8.24

日本

連載: 日本実験映像
史22～30 西村 智弘 あいだ 109、110、
111、112、
114～
116、118、
119

小特集 非文字資料
の保存と研究にむけ
て 学習院大
学史料館
紀要 13

図書館蔵の明治天
皇巡幸等写真につ
いて 岡田 茂弘

幕臣窪田家の古写
真—付 窪 田(蒲
池)家史料目録ほ
か—

幕末明治肖像写真
目録

絵はがきにみる岐阜
の鉄道～尾澤家より
寄贈された資料より
～ 早川 克司 岐阜県博
物館調査
研究報告 26

透過型映像の研究 松本 泰章 京都嵯峨
藤木 庸介 芸術大学
山本 直樹 紀要 30
倉山 裕昭

エビポーラ幾何によ
る多視点画像を用い
た3次元シーン復元
の応用 遠藤 昭紀 静岡文化
芸術大学
研究紀要 5

特集 写真集中毒の
ススめ スペシャル
・コラム 日本の写
真家はいかに受容さ
れてきたのか? 飯沢耕太郎 STUDIO
VOICE 352

映像表現の新たな可
能性—マルチスクリ
ーンについて 荒井 拓 多摩美術
大学大学
院修了論
文作品集 2005

コミュニケーション
ツールとしてのビデ
オ映像表現 松本 雅憲 " "

特集 神経系都市論
身体・都市・クライ
シス 日本の(グラ
ウン・ゼロ) 原
爆の表象をめぐって

倉数 茂 10 + 1 * 40

一八七三年英国軍艦
アイアンデューク号
士官集合写真

保谷 徹 東大画像
史料解析
センター
通信* 28

絵はがきの時代 最
終回 画鋏の穴

細馬 宏通 ユリイカ 514

早稲田大学図書館所
蔵 明治期彩色写真
帖

藤原 秀之 早稲田大
学図書館
紀要 52

個性的な墓 写真を
募集 業界団体

朝 日 3. 13

広告 私の動きに反
応 新技術、遊び心
へ訴え 水たまりに
映る景色のように

赤田 康和 朝日夕刊 3. 2

こころの風景 フォ
ト・エッセー

平木 収 " 6. 13

日露戦争記念絵はが
き 東京市中に凱旋
門 喜び大きく表現
歴史語り継ぐ貴重な
資料

草下 健夫 産 経 1. 30

義経の絵巻 山中常
盤 生き生きと

生田 誠 " 4. 2

文化往来 針穴写真
協会が来月旗揚げ、
賛同者募る

日 経 3. 1

絵はがきに残る 古き
長崎 情緒ある街並
みに魅せられ、世界
各国から収集

ブライアン
・パークガ
フニ " 3. 16

活字の海で 名作写
真集、復刊続く 日
本の造本、海外でも
評価

白木 緑 " 6. 5

かたち百景 実験映
画「銀輪」 若い前衛
芸術家の夢映す

(宝) " 7. 24

海外

写真術と言語表現術
一ボードレール、ヴ
ァレリー、ロラン・
バルトの写真論を巡
って一

中村 俊直 お茶の水
女子大学
人文科学
研究 1

[特集1]ドイツ写真
の現在一かわりゆく
「現実」と向かいあう
ために

現代の眼 554

文法と、もうひと
つの物語 ベッヒ
ャー以後のドイツ
の写真表現のゆく
え

杉田 敦

死んだ物象の支配
と資本主義への到
着一なぜ夢は実現
されなかったか?

エンノ・ベ
ルント

特集 写真集中毒の
ススめ スペシャル
・コラム スーザン
・ソントグ追悼

日高 優 STUDIO
VOICE 352

特集 ドイツの現代
美術 ドイツ写真と
グローバリズム

大森 俊克 美術手帖 872

[特集] ヴィジュー
アル・カルチャー・ス
タディーズ一作品か
らイメージへ5 写
真の格子一写真集
『自然の鉛筆』を読む

前川 修 美術フォ
ーラム21 12

ナビゲーター 「他
の半分」に向けられ
た視線

西田 健作 朝日夕刊 1. 4

彫刻・空間表現

一般

特集 神経系都市論
身体・都市・クライ
シス 劇場としての
ショウ・ウィンドウ

蘆田 裕史 10 + 1 * 40

日本

人形芸術運動研究

杳沢 耕介 鹿島美術
財団年報
別冊 22

研究発表(要約) 上
野西郷隆盛銅像一そ
の建設過程と受容を
めぐって一

恵美千鶴子 近代画説 14

遠藤廣と雑誌『彫塑』
について

浅野 智子 芸 叢 21

時を超えて語り出
す、ミュージタチ
日本のマネキン人形
の変遷に見る、女性
像の移り変わり

藤井 秀雪 化粧文化 45

豪徳寺・木造岡本黄
石坐像に関する新知
見

鈴木 泉 資料館だ
より 42

彫刻家が行う鑄造Ⅲ

矢貫 伸 東京学芸
大学紀要 57

具象彫刻の新しい可
能性一第二回グルー
プ環展メンバー特別
座談会

佐藤 守男、
石谷 孝二、
池田 秀俊、
保田 井智
之、雄
対談一井
司会 新
建二
美術の窓 266

特集 人形愛
他者としての人形
性と日本人

ユリイカ 506

小川千恵子

活字の国のピュグマリオン 少年王・澁澤龍彦、少女たちに簪奪される	千野 帽子				近代陶芸史叙説要―「工芸」と「craft」をめぐって	金子 賢治	東京国立近代美術館研究紀要	10
昭和初期を駆け抜けた知られざる彫刻家たち 構造社		L u r e	78		漆芸発展に日中韓協力を作家、研究者ら北京で展覧会とシンポ	石川 健次	毎日夕刊	3.2
こだわり会館 狛犬研究家 神社を歩き心は江戸に	松浦 新 朝 日	1.22		日 本				
ネオ・エチカ 新しいレンズを求めて3美術への逆襲 近代揺るがす造形物たち	山盛 英司	朝日夕刊	1.6	匠のかたち		A X I S		
古運動具ぬくもりアート ユニーク作品へ再生、多彩な芸術家が協力	岡田 直子	日 経	12.26	土佐夙	谷口真佐子		113	
海 外				人体模型	"		114	
光・陰影・形―古代美術とその技法にみる光の影響とはたらしき	神田 每実	愛知県立芸術大学紀要	34	額	"		115	
ORIGAMIは遊ぶ美術から科学まで	小笠原正佳	芸術新潮	670	刺繍	鈴木 豊		116	
野辺の民間信仰・路傍の神々VI	村越 信子	東京家政大学研究紀要	45	包丁	谷口真佐子		117	
アジアの街角 23:00 ウブド・聖2(インドネシア・バリ) ふたつの暦と共に		朝 日	3.8	熊手	"		118	
愛知万博25日開幕 美術品 国外初公開 ずらり 競演の舞台	松井 健 透	"	3.20	戦文様の着物	乾 淑子	鹿島美術財団年報別冊	22	
日パの懸け橋「釈迦苦行像」パキスタン政府、レプリカを鎌倉・建長寺に寄贈	カムラン・ニアズ	日 経	10.24	金沢箔を町づくりになかすためのデザイン研究―金沢箔業界との産学協同研究報告―	黒川 威人	金沢美術工芸大学紀要	49	
愛知万博「元気な」グローバルハウス デュオニュース像と女性像 発掘チームリーダー青柳氏に聞く		読 売	7.15	館蔵資料紹介 「染付鶴飼図煎茶碗」五脚 明治後期		岐阜市歴史博物館だより	59	
工 芸				山中商会の「美術加工品」について	小熊佐智子	芸術学研究(筑波)	9	
一 般				[特集2]日本のアール・ヌーヴォー		現代の眼	553	
「美の国」NIPPONとその実現の夢―民芸運動が日本を表象し、「Kraft durch Freude」/「Schönheit der Arbeit」と共振する時―	長田 謙一	カリスタ	12	東西交流のなかのアール・ヌーヴォー	稲賀 繁美			
[所蔵作品展 近代工芸の百年]工芸とモダニズム―工芸の現代性に関するエスキス	北澤 憲昭	現代の眼	550	新美術はどこから―アール・ヌーヴォーと日本	森 仁史			
				[所蔵作品展 近代工芸の百年]明治時代前期の陶磁分野における西洋との出会い	佐藤 一信	"	555	
				近代食器の使用痕分析―食事における動作と作法の復元に向けて―	桜井 準也	史 学	73-4	
				開国一五〇年 明治かがやく 第二章 鹿鳴館の時代と自由民権運動 職人技が炸裂 外国人の度肝を抜いた絢爛豪華		太 陽	明治村記念号	
				集積的構成の効果	斎藤 麗	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005	

厨子甕の製作について	倉成 多郎	壺屋焼物博物館紀要	6	モース・コレクションのなかの萬古焼	岡村奉一郎	四日市市立博物館研究紀要	12
美濃手漉和紙・プロジェクト	リ・プロデュース・プロジェクト	橋本 麻里	デザインの現場	141	幕末の記憶 海を越えて刻む 咸臨丸子孫の会 共に「帰国」時計披露	朝 日	2.21
昭和初期の京友禅における模様の特徴	和田 淑子	帝塚山大学現代生活学部紀要	1	技のある風景 「国宝級」の和紙をかぶる プレスハット(杉原商店)	富岡 史穂	朝日夕刊	2.5
昭和の桃山復興(五)「織部的なもの」と近代の陶芸	木田 拓也	陶 説	622	日本のかたち〜京都迎賓館 上	山上 直子	産 経	5.3
瀬戸陶芸の展開—明治後半から今日まで—	唐澤 昌宏	〃	625	TOKYO発 「注染」手ぬぐい実習塾ブーム 東京本染め私の一本	小林 由比	東 京	6.1
吉野における木地製作—紀州黒江系轆轤師の伝統技術—	森本 仙介	奈良県立民俗博物館だより	31-2	創作探訪 伝統技術の粋一堂に 3月完工京都迎賓館の美蒔絵・指物…職人が競演 新素材にも挑戦	田村 雅弘	日 経	1.23
美学会第56回全国大会発表要旨 拡散する『民芸』—第二次大戦後の日本民芸運動をめぐって—	入江 繁樹	美 学	223	アイヌ女性誇りの紋様 古い着物から再現、伝統受け継ぐ活動続ける	小川 早苗	〃	1.26
対談 京薩摩はどうなる	奥谷 智彦、秦 恒平	美術京都	35	茶室に込める郷土の誇り 奈良・生駒で500年続く製作技法を受け継ぐ	久保 圭造	〃	2.8
播磨木工芸の系譜	山本 和人	姫路美術工芸館紀要	6	和に学ぼう 表装の技 書画を飾る	鈴木 寛美	〃	3.5
宮山遺跡出土の煮蕪鍋について	山口 聡嗣	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	14	金沢文化伝える手ぬぐい デザイナー集団、「加賀染」使う		〃	9.5
ある徳利の記憶—舞出北遺跡採集の戦争遺物から—	山中由紀子	〃	〃	大阪タオル歴史織り込む 泉南地方に残る布地・資料を収集、織機も復元	加茂 甚作	〃	12.2
幻の芝家具を探して	川越 仁恵	港区立港郷土資料館研究紀要	8	越前和紙の心意気健在 福井・今立に伝統工芸ロード 手漉きの技を披露 心地よい体験教室	野村 義博	日経夕刊	4.6
「後風土記」以後—明治後期・飛騨地方における榎木地製造に関する一考察—	木村 裕樹	民具マンスリー	442	NIPPONのカタチ 和のちから1 紙のみぞ知る暖かみ		〃	8.5
服飾・食物に関する職人の徒弟制度	西村 浩一	〃	434	海 外			
横浜石工の道具印について	高橋 勇一	〃	452	【特集】釉薬の妙 表現手段としての釉薬へ—近代の陶芸家による、あくなき釉薬の探求			
資料紹介 防長米の受賞メダル	伊原慎太郎	山口県立山口博物館研究報告	31	ミャンマー伝統工芸調査研究事業—SAUNDERS' MUSEUM設立の軌跡—	唐澤 昌宏	淡 交	723
芝山細工についての基礎研究—横浜との関係を中心に—	沼田 英子	横浜美・横浜市民ギャラリー—紀要	7	イタリア現代陶芸調査報告 「物語」の危機の時代と現代の陶芸	城崎 英明、鰐 隆弘、鈴木 康雄、大谷 正幸	金沢美術工芸大学紀要	49
工芸論の現在—美術と工芸の「間」を考えるために—	藤嶋 俊會	横浜美術短期大学教育・研究紀要	2		渡部 誠一	現代陶芸研究	2

[在外研修報告]イギリスにおける工芸の状況について	今井 陽子	現代の眼	552	特集 博覧会の意味 ユニバーサルデザインで拓く新たなイベントの可能性	内山 早苗 高橋 信裕 聞き手	Cultivate	25
「手工業」としての絞り染め布生産—インド染織品需要変化への生産者の対応—	金谷 美和	国立民族学博物館研究報告	29-3	芸術学部デザイン学科椅子資料解説2	安武 正剛	九州産業大学芸術学部研究報告	36
ソ連期ウズベキスタンにおける陶業の変遷と近代化の点描	菊田 悠	"	30-2	「環境グラフィック」の概念的考察	高 台泳	芸術学研究(筑波)	9
創り出す力—ペルーの民衆芸術をめぐる—	藤井 龍彦	国立民族学博物館調査報告	55	中間評論論文梗概 「スーパーグラフィック」に関する研究 その誕生から衰退までの過程と、意義について	"	"	"
タイ西北部山地に暮らす人々—上智大学から移管された西北タイ歴史・文化調査団資料より2—	後藤 真里	人類学博物館紀要	23	ユニバーサルデザイン研究センターの設立と運営に関する研究	古瀬 敏	静岡文化芸術大学研究紀要	5
〈出会い〉プラハの日本刀	近藤 利治	刀剣美術	578				
ロイヤル・コペンハーゲンの青花	出川 哲朗	陶 説	626		水越 真紀 山本ムグ 千原 航 工藤 キキ 磯部 涼 スケートシ ング		
「北欧のスタイリッシュ・デザイン—フィンランドのアラビア窯」展	大槻 倫子	"	627	特集 ポスト=ジャケット・デザイン CD消滅前の最終ジャケット・デザイン大全!	宇川 直宏 前田 毅 神崎 夢現 ムードマン 三田 蓉子 松屋 格 山田 恭子 加藤 和正 金田 直宏 阿部 謙太郎 編 集 部	STUDIO VOICE	357
枢機卿ジョルジュ一世ダンボワーズの《キャラヴァン》のタピスリー—その年代と主題に関する考察—	角 寧子	美術史研究	43				
私の空想美術館	栗津 則雄	美術の窓					
13 シャルトルのステンドグラス			257				
14 王妃マティルドのタピストリー			258				
美の美 マイセンの目指した日本 上、中、下	内田 洋一	日 経	2.6、13、20	Step Step Step 階 段のデザイン	熊切真知子	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2005
華やぐ日常ジャワ更紗 衣服に使われるインドネシアの伝統染め物を研究	城田 杏子	"	8.30	designscape 49 納 得させる	松田 行正	デザインの現場	140
美の美 朝鮮陶磁—心の交流史 上、中、下	河野 孝	"	9.18、25、10.2	環境デザインの総合プロデュースに関する覚書 コンセプトワークとスケマティック・デザインの実践	三上 訓顯	名古屋造形芸大紀要*	11
美の美 一角獣がやってきた4	竹田 博志	"	11.20	ファッションの世紀 デザイン季評	深井 晃子 生井 英考	百 科* 読売夕刊	515
デザイン				IBM、パソコン事業中国に売却 コンセプト転換の予感			2.24
一般				相次ぐ雑誌休刊 批評の弱体化心配			5.27
デザインのことば—デザインボキャブラリーの再定義[な]〜[は]	川崎 和男	A X I S	113~118	マウスに近づく道具たち			11.29

日 本				産官学共同研究におけるプロデューサーのあり方の研究			
地方のデザインをゆく	上條 昌宏	A X I S		センミスク	"	"	
第3回「デザイン啓発一福岡・デザインスクールキャラバン」			113	日本における移動空間の研究 日本人のためのカーインテリアの提案	長谷川芳美	"	"
第4回地場産業1—海外市場を切り開く			114	購買活動を支援するための情報表現の研究	井立 彩子	"	"
出来事のデザイン	久保田 徹 清水 良介 花村 周寛 本間 直樹	インターフェイスの人文学	6	新しいエディトリアルデザインの研究と開発 子供向け創作実用書(図工と科学)	本多 智彦	"	"
鈍字資料小考(下)	小野 恭靖	大阪教育大学紀要	53-2	これ、誰がデザインしたの? 30 牛乳パックのデザイン	渡部 千春	デザインの現場	138
EVENT REPORT 下町のポテンシャルをデザインする		Cultivate	26		石井 芳征 岩城 東風子 大崎 裕美 大城 譲司 川上 典子 高橋 美礼 長根 典子 橋本 麻里 藤崎 圭一郎 古田 陽子 水田 由紀 山本 雅也		
収蔵資料紹介 ポスターに見る宝塚歌劇の変遷	三上 雅子	池田文庫	26	ニッポン・プロダクト		"	139
映画産業黎明期における京都の映画広告事情について	西村 美香	京都嵯峨芸術大学紀要	30				
日本広告における文字の特性	アントワーン・アビ・アード	芸術学研究(筑波)	9	特集 カラーバリエーション		"	140
ひらがな日本美術史【連載】その百十二「アール・デコ」なものの キネマ文字	橋本 治	芸術新潮	663	auの携帯電話が発信する色彩のメッセージ	道添 進		
浜名湖花博ユニバーサルデザインベンチプロジェクト	迫黒田 秀樹 宏治	静岡文化芸術大学研究紀要	5	色で勝負する和製文具「エトランジェ・ディ・コストリカ」	杉瀬 由希		
木工品がもたらす情操の効果について—木の文化の継承と再生—	田邊 英隆	"	"	北欧の自然に触発された(モデラートンGA)の色合い	石田 純子		
美術・デザイン作品基礎デザインの課題として「包み方の研究」の展開と考察	近藤 洋子	女子美術大学研究紀要	35	色彩をデザインする 製品色のカラーバリエーションの変遷	川村 雅徳		
「リヒャルト・パウル・ローゼ」展会場構成	山下 泉	多摩美術大学研究紀要	19	空港とユニバーサルデザイン 中部国際空港に見る使いやすさの工夫	渡部 千春	"	"
避難誘導サインシステムの提案—1	太田 幸夫	"	"	これ、誰がデザインしたの? 31 新球団のデザイン	"	"	"
空白の領域・空間をつなぐ 過程的空間	瀧 あき子	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2005	生活感情をユーモラスに盛り込んだ息の長いシリーズ広告 JT「大人たばこ養成講座」 岡本欣也+寄藤文平	大城 穰司	"	"
郊外住宅地域におけるサインのあり方の提案 大泉学園駅周辺を中心に	飯沢 邦之	"	"	特集 トータルフードデザイン		"	141
幸せのデザイン	山田かをり	"	"				

100%Chocolate Cafe.×安東孝一、ワンダーウォール、グルーヴィジョンズほか	中島 優子			アチック・ミューゼアムの民具コレクション13 看板(両替商)	近藤 雅樹 民具マンスリー	447
富久錦×GRAPH	道添 進			@わたし 夢を支える7 ウィンドーに四季演出	神田 剛 朝 日	3.18
うおがし銘茶×小島良平	杉瀬 由希			NIPPONのカタチ 和のちから		日経夕刊
レ アール ド セゾン・セージ×左合ひとみ	大森 恒誠			4 文字通り千客万来		8.10
変わるJTたばこのデザイン革命	渡部 千春	デザインの現場	141	6 織り成す花鳥風月		8.13
これ、誰がデザインしたの?32 ポッキーチョコレート	"	"	"	ものデザイン事情	中原俊三郎 毎日夕刊	
特集 グッズデザイン2005	猪飼 尚司	"	142	ミューチップ 日立製作所 驚異のサイズ		4.15
サンプルでデザインティストを正確に伝える 日清フーズ「マ・マー」				ポータブルDVD プレーヤー amadana 和をまとう先端技術		7.15
ユーザーのアクションとつながるデザイン 日本テレビ放送網「&日テレ」				着ぐるみケータイ V501T ボータフオン 自分らしさを演出		8.19
妥協しない態度が創造性を高める リクルート「ホットベッパー」				海 外		
これ、誰がデザインしたの?33 アラビックヤマト	渡部 千春	"	"	ブリティッシュデザインは今 積極的な起業がもたらす光と影 「100%デザイン」を軸に家具メーカーを検証する	谷口真佐子 A X I S	113
おいしく食べるためのデザイン 福井が発信するデザインの標準化	編集部	"	143	デザインの文化的な意味を探ったサンデイチエンヌ国際デザインビエンナーレ	川上典李子 "	114
これ、誰がデザインしたの?34 公衆電話	渡部 千春	"	"	オーストラリアに見る、デザインの新たな胎動	上條 昌宏 "	116
これ、誰がデザインしたの?35 ジャポニカ学習帳	"	"	144	中国麗江納西族における東巴文字復興運動—1990年代を中心に—	高 茜 国立民族学博物館研究報告	30-2
【論文紹介(二〇〇三年度同志社大学大学院修士論文梗概)】 対外宣伝のグラフィック・デザイン—一九三〇年代、鉄道省国際観光局の誘致媒体にみるデザイン戦略—	山田 優子	美学芸術学	20	中国杭州市西湖観光案内サイン・コミュニケーション・デザイン	カクチュウ 多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005
[特集] ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ—作品からイメージへ2 ポスターの社会空間	難波 功士	美術フォーラム21	12	Design Office Report from USA 9	道添 進 デザインの現場	
三越とみづゑ 文化活動により生まれたブランドイメージ	来嶋 路子	みづゑ	70	ワナー・デザイン・ワークス ミネアポリス		138
				ニュートロンLLC サンフランシスコ		140
				UNO ミネアポリス		144
				特集 カラーバリエーション 海外版カップヌードルの色	渡部 千春 "	140

特集 トータルフ ードデザイン アンリ ・シャルパンティエ ×グエナエル・ニコ ラ	杉瀬 由希	"	141	報告 実科女学校校 舎として使用された 泉布観について—卒 業生への聞き取り調 査を通して—	"	"	"	
イームズチェアに座 る「お尻の気持ち」 を測る!?	野呂 影勇	"	"	位田家住宅主屋調査 報告書	大田区教育 委員会 建築文化研 究所	大田区立 郷土博物 館紀要	15	
モダンデザインを訪 ねて パウハウスの マイスターハウス	河合 純枝	"	143	小樽市歴史的建造物 の建築年代について	渡辺 真吾	小樽市博 物館紀要	18	
近代デザインに対す るもう一つのアプロ ーチ—バヴスナー著 『モダン・デザイン の源泉』をモデルケ ースとして—	吉田 武夫	東海大学 紀要教養 学部	35	ひらがな日本美術史 【連載】その百十一 美術とは関係ないか もしれないもの 「旧東京市本郷区駒 込千駄木町五十七番 地住宅」	橋本 治	芸術新潮	662	
未来派におけるモー ドの特権性	蘆田 裕史	美 学	222					
学術出版の祖アルド ・マヌーツィオ	雪嶋 宏一	早稲田大 学図書館 紀要	52	「作品選集2005」なら びに「2005年日本建 築学会作品選奨」選 考報告	平倉 章二	建築雑誌	1530	
ものデザイン事情	中原俊三郎	毎日夕刊		今伝えたいトピック ス 建築の保存再生 を目指した新たな活 動 国際文化会館保 存再生計画特別調査 委員会が残したもの	西澤 泰彦	"	1538	
クレアンガ・カー ボン バタフライ 話題のシルバー			1. 21	岩崎彌之助深川邸日 本館の研究 南側立 面意匠の復元的考察 を中心に	原 徳三	建築史学	44	
ウェブ・ミュー ジック・システム ポーズ 継続性と いう価値			2. 18	記念シンポジウム 復元(再建)を考える		"	45	
Wスロットトース ター バイスパー サ社 手動という 価値			3. 18	四 新橋停車場— 地下遺構からの復 元—	田原 幸夫			
スティック・サウ ンド・ラジオ レ クソン社 指一本 で操作			5. 20	五 三菱一号館— 保存運動からの隔 たりを計る—	鈴木 博之			
ワールド・タイム ・クロック シャ ルロット・ヴァン ・デル・ワース社 小さな地球			6. 17	特集 アーキテクチ ャー&アート進化系 日本建築の系譜	五十嵐 太 郎、 村瀬 良太 チャート& 文	STUDIO VOICE	351	
LISAアクアスポ ット スタッドラ ーフォーム 美し い水			9. 16	開国一五〇年 明治 かがやく		太 陽	明治村記 念号	
建 築 史				第二章 鹿鳴館の 時代と自由民権運 動 聖なる空間に 捧ぐ 許された祈 り	青木 馨			
日 本				第二章 鹿鳴館の 時代と自由民権運 動 建築開花 前 代未聞の造形美 和の心で西洋を造 る	石川新太郎			
研究の散歩道 鳥の 目で見える鹿鳴館	米山 勇	江戸東京 博 物 館 NEWS	49					
住宅2題 石原さん の家と原田君の家	四方 功一	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1					
研究ノート 旧大阪 中央電話局天王寺分 局の建築について	酒井 一光	大阪歴史 博物館研 究紀要	4					

第三章 目指せ— 等国への道 明治 のハイカラライフ 三階建まで飛び出 した 和洋折衷の 生活				口絵解説 白馬村青 鬼伝統的建造物群保 存地区(長野県)と環 境保全への努力				江面 嗣人	文化財*	503
特集 実験住宅				口絵解説 旧富岡製 糸場				富岡市教育 委員会文化 振興課	"	504
実験住宅訪問記 住宅における実験 的試みを目撃する				古谿荘と田中光顕の 建築観				建部 恭宣	"	507
構造から見た実験 住宅				〈指定文化財説明書〉 近藤勇と新選組隊士 供養塔					文化財研 究紀要	18
スマートハウス考 《トヨタ夢の住宅 PAPI》				横須賀製鉄所医師サ パチュエ官舎建築資料 について				安池 尋幸	横須賀市 博物館研 究報告	49
I 研究報告 「橋」と しての建築—高梁市 立吹屋小学校の調査 から—				幕末維新期横須賀製 鉄所内のフランス人 集会所について—建 築資料と付属家—				"	"	50
東北帝国大学理学部 附属臨海実験所水族 館の公開について				横須賀製鉄所フラン ス人一般職員官舎建 築について—二階建 職人住宅の事例—				"	"	"
近代における社寺の 「創立再興復旧」制限 について				日本史のひろば					歴史と地 理	
明治宮殿の設計内容 に見る御学問所の用 途と意匠的特徴				世界遺産 原爆ド ーム				江崎 一博		582
西ノ丸皇居・赤坂仮 皇居の改修経緯に見 る儀礼空間の形成過 程				近代土木文化財探 訪 道路橋 三				北河大次郎		"
住居学における建築 設計計画学的思考の 発生に関する考察				近代土木文化財探 訪 水力発電施設 一、二				"		585、587
明治末期における安 川家住宅の構成につ いて 安川家住宅の 研究 その2				近代土木文化財探 訪 農業土木施設 一				"		590
昭和初期の建築史文 献に於ける日光東照 宮評価—近代に於け る日光東照宮評価—				大正ロマン感じたい 東京・本郷の元学生 寮を再生へ コーポ ラティブ方式で				佐藤美千代 朝 日		1.21
市庁舎建築の設計論 における領域構成か らみた地域性 建築 設計論における社会 的枠組みに関する研 究(2)				深川今昔					"	
旧陸軍省における官 舎建築の供給制度と 平面構成について —近代日本の官舎建 築に関する歴史的研 究—				34 八幡橋 文明開化の象徴、 127歳						1.26
第五八回全国大会研 究発表要旨 明治宮 殿の内部装飾—常御 殿の襖・張付画を中 心に—				41 正米市場(上) (下) 官の意向で 明治期に開設				田中 啓介		2.9、11
実験住宅訪問記 住宅における実験 的試みを目撃する				昭和初期の面影 三 信ビル解体へ					"	2.11
スマートハウス考 《トヨタ夢の住宅 PAPI》				表参道物語 第2部 同潤会青山アパート 1～6、8～12				児林もとみ	"	3.11、12、 15、17、 19、24～ 26、29、 30
東北帝国大学理学部 附属臨海実験所水族 館の公開について				愛知万博25日開幕 バビリオン外装 集 客めざし独自性				松井 健 玉川 透	"	3.20
近代における社寺の 「創立再興復旧」制限 について				東京 山手線3 「生き証人」					朝日夕刊	3.16

探訪			産	経		建築望見 鉄板の折り紙の親密さ	高野 清見	＼	4.23
今も現役 明治の米蔵 山形県酒田市・山居倉庫	芹沢 伸生			2.6		大隈講堂保存の意味 永続する「理想の光」	中川 武	＼	5.6
冬場だけ姿現す “幻の橋” 北海道・上士幌町 タウシュベツ川橋梁	大西 正純			2.13		ノグチ・ルーム 場所も形も変わり… 「精神の継承」名ばかり	松本 良一	＼	5.10
4月開館の「迎賓館」 京都の“顔”は純和風 幻の「聚楽土」、西陣織の壁画…伝統の粋 結集			＼	2.19		万博建築 大阪—愛知の35年 「軸」から「ループ」への転換 2つのモチーフめぐる空間の模索	飯島 洋一	＼	6.6
太宰治の生家雪で崩壊れる			＼	3.13		建築望見 人工地盤に結界の役割	高野 清見	＼	6.18
日本のかたち〜京都迎賓館 中	篠原 和存		＼	5.4		海 外			
かたち百景		日	経			中世フィレンツェの都市建設（Ⅰ）	森田 義之	愛知県立芸術大学紀要	34
目黒雅叙園の「百段階段」「昭和の竜宮城」の面影残す	内田 洋一			7.31		中間評価論文梗概 初期ビザンティン建築におけるドーム付きバシリカの形成	高根沢 均	芸術学研究（筑波）	9
志免の立て坑槽 戦時の採鉱、より深く	（資）			8.21		ドイツの歎び 美術でめぐる、とっておきの旅ガイド ケルン 大聖堂とクジラの古都	編集部	芸術新潮	668
日本橋三井タワーのヒストリカル・ウォール 発展の記憶、ガラスに刻む	（窪）			9.11		フラ・ベルナルディーノ・カイミの「代用エルサレム」—ヴァラッロのサクロ・モンテの失われた初期の形態について（上）	関根 浩子	芸 叢	21
都市と同居調和を模索 歴史的建造物の保存・復元 “創造的”移築巡り議論も	窪田 直子		＼	10.29		建築書『マンジュシュリー・ヴァーストウヴィディヤー・シヤートラ（Mañjuśrī Vastuvidyāśāstra）』の設計法則 スリランカ仏教寺院建築の設計法則 その2	黒河内宏昌 宮本 久義	建築史学	44
東西南北 東京・品川、まちづくりNPO 法人が飲食店 昭和初期の建築を現代的空間に		日経夕刊		3.23		中国の伝統的住居 四合院の研究	チョウエン	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005
水田に映える明治村 宮城県登米市登米 堅牢な洋風建築健在 「小さな町、丸ごと博物館」	野村 義博		＼	6.15		技術と歴史 1 文化財になったアメリカの未来住宅	松村 秀一	10 + 1 *	38
昭和初期の建築 気象台保存活用			＼	11.26		1940年代仏領インドシナの公共事業政策—ドクールの政策と都市・建築—	太田 省一	東洋文化研究所紀要	147
建築 難波三丁目交通警察官詰所 社会批判系のアート作品？	五十嵐太郎	毎日夕刊		9.6		パラッツォ・ルチェッライの設計と付け柱によるオーダー表現について—パラッツォ・ルチェッライのファサード構成 その1—	稲川 直樹	日本建築学会計画系論文集	587
駅 現代美術に古都の人情 金沢駅（金沢市）	小梶 勝男	読 売		5.1					
現代空間論 映像系建築 視覚で都市を刺激する	（前）	読売夕刊		3.5					
建築季評 京都の先鋭的なビル再生、評価は？	中川 理	＼		3.22					

古典主義建築における視覚補正理論と室内空間スケール	土居 義岳	日本建築学会計画系論文集	587	聖ワシリー聖堂 ロシア	山盛 英司		7.3
コレクター館とリヨン・サン＝テチエンス館の建築造形—1925年パリ現代装飾美術・工芸美術国際博覧会の展示館に関する考察 その2—	三田村 哲哉 小林 克弘	"	588	旧ムニエ・チョコレート工場 フランス	松葉 一清		7.17
17および18世紀イタリアにおける集中形式教会堂 ロムルス神殿ファサードの系譜	小林 衛	"	590	セセッション館 オーストリア	鈴木 博之		7.31
左右対称性に基づく「建築様式」の論理形式化 西洋「古典主義建築」における「様式」の論理モデルによる形態分析 第1部	伊藤 明倫	"	592	サンスーシ宮殿蒸気ポンプ室 ドイツ	斎藤 鑑三		9.4
12世紀前半のイル＝ド＝フランスにおける、リブ・ヴォールトの支持細円柱の構法に関する研究	加藤 耕一	"	594	大英博物館グレートコート イギリス	鈴木 博之		9.11
建築と都市の革新—中世からルネサンスへ—	陣内 秀信	美術史論叢	21	サイオンハウスの大温室 イギリス	"		10.9
ウード・クレマン時代のサン・ドニ修道院付属聖堂—その新しき光の技術革新と初期ゴシック・リヴァイバルとの関連—	新井 思郎	文化学年報(同大)	54	カール・マルクス・ホフ オーストリア	松葉 一清		10.23
〔表紙解説〕ドイツ連邦 ローテンブルク	中村賢二郎	文化財*	503	ハースト城 アメリカ	鈴木 博之		11.6
「イギリスのパンテオン」の創出と偉人顕彰—十九世紀前半のセント・ポール大聖堂とその公開性—	中村 武司	待兼山論叢	39	イタリア文明館 イタリア	山盛 英司		11.20
中世ヨーロッパの装飾観—シュパイヤー大聖堂の柱頭と浮彫について—	小倉 康之	横浜美術短期大学教育・研究紀要	2	ゴルのスターブ教会 バイキングの造船技術で立つ	藤森 照信		12.4
古城の砦、津波防ぐ世界遺産・スリランカのガール旧市街		朝 日	1.4	オックスフォード大学博物館 イギリス	鈴木 博之		12.11
ベルサイユ宮殿修復佳境に「鏡の回廊」息吹き返す王朝の美	富永 格	"	1.30	旅 独・ドレスデン「百塔の都」のシンボル再び	沼野 健司	東京夕刊	12.28
奇想遺産		"		聖母教会市民が再建 独ドレスデン「惨禍の記念碑」空襲直前の姿に 旧連合国でも募金	千葉 淳一	日 経	1.29
戦勝記念塔 ドイツ	松葉 一清		5.15	バラオが愛す日本の建物 今なお利用される日本統治時代の建築を調査	辻原万規彦	"	10.6
オーストリア国立図書館 オーストリア	"		6.12	英セント・ポール寺院 内部復元が完了 建設から約300年 石柱白く絵画くつきり	横田 一成	日経夕刊	6.10
ドイツ連邦議会議事堂 ドイツ	鈴木 博之		6.26	ヴェルサイユ宮殿で改修計画 フランス革命前の姿に 2009年の完成めざす		"	12.7
その他のジャンル							
— 般							
[特集]グラフィティはアートか?				ART iT 9			
アート、グラフィティ、メッセー、落書き				毛利 嘉孝			

[illegible]

海外

[特集]メディアアートって何だ? アンケート 世界の専門家に聞くアジアの注目メディアアーティスト

編集部 翻訳 ART iT 6

作家

日本

(ア)

私のオアシス 茨城県・潮来市 美術家 鷺嘯さん のんびり気分になれる、僕の原点

今村 守之 東京夕刊 1.15

[特集]ガンダム行きます! 『ガンダム展』出展作家アンケート

会田 誠 ART iT 8

特集 アーキテクチャー&アート進化系アーティストが美術館をデザインしたら?

STUDIO VOICE 351

特集 「アーティスト」になる基礎知識 会田誠 少し有名になりだした頃が一番苦しかった

東谷 隆司 美術手帖 861

40×40 Project for BT 昭和40年会の七人も侍 第弐号 [会田誠]

昭和40年会 " "

特集 「日本画」ってなんだろう? 「日本画」鼎談 場外乱闘編 もっと「日本画」を知りたい!

会田 誠、内田 あぐり、山下 裕二 対談 石井 芳征、編集部 構成 " 864

横浜ドキュメント 2005 5 横浜トリエンナーレ2005緊急アンケート

会田 誠 " 873

巻頭特集 今、石膏デッサンは必要か。会田誠&松蔭浩之「僕たちの石膏デッサン」

会田 誠、松蔭 浩之 対談 編集部 聞き手 美術の窓 267

ガンダム展 作家に聞く 上「ザク」が語りかける戦争アーティスト会田誠さん

猪谷 千香 産 経 11.8

中特集 会田雄亮 会田雄亮の造形理念について

岡部 信幸 美術の窓 260

新・私のアルバム 1 会田雄亮

小森佳代子 " 266

ホイン「少佐」の肖像

青池 保子 芸術新潮 668

亜欧堂田善の金龍山 浅草寺をめぐる銅・石版画遺聞20

森 登 一 寸 22

亜欧堂田善の事跡上の諸問題『永田由緒』を中心に

金子 信久 府中市美術館研究 9

青木繁の未発表作品 発見

東京 6.11

2004年度芸術選奨 文部科学大臣賞に中野嘉之氏、宮本隆司氏 新人賞に青木淳氏、宮崎吾朗氏

(美) 新美術新聞 1053

特集 アーキテクチャー&アート進化系 青木淳 アートに陥り込み!?

保坂健二郎 STUDIO VOICE 351

特集 私はここに いる ちいさなつぶやき

アオキスミエ 自由美術 2005

巻頭特集 謎の画家の全貌!! ラ・トゥールの神秘 現代作家が語るラ・トゥールの魅力 夜の光が生んだ驚きの写実力

青木 敏郎 美術の窓 258

日々好日 旅の出会い

青木 龍山 新美術新聞 1060

文化勲章に青木龍山氏 陶芸文化功労者に高階秀爾氏 美術評論・文化振興 建畠覚造氏 彫刻

" 1073

特集 写真集中毒のススメ 写真集の「つくり方」/制作者たちの声 クリエーターたちのパーソナル・チョイス

青島 千穂 STUDIO VOICE 352

ひとひと人物語 「逃亡画家」の妻エーゲ海追憶 「横顔を撮ってください!」 [青山友紀]

村井 正美 読 売 10.9

ひと 在仏42年の日本人画家 赤木曠児郎さん

福島 良典 毎 日 8.9

特集 人形愛 人形作家列伝[紅樹時雨]

今野 裕一 ユリイカ 506

目の冒険 錯覚と想像力 1~14

赤瀬川原平 朝 日 3.27、4.3、10、17、24、5.1、8、15、22、29、6.5、12、19、26

ホンヨモ! 作家・赤瀬川原平さん 読書で想像、疑問の確認 人間は「知的向上心」持つ	手塚さや香	毎 日	10.27	特集 人形愛 人形作家列伝[秋山まほこ]	今野天野 裕一 昌直	ユリイカ	506
Weekly日誌	赤瀬川原平	毎 日 夕刊		見せ物的我が人生	秋山祐徳太子	見 世 物	3
6月28日~7月4日 呑み歩き、雨のお墓参り、都議選			7.8	特集 愛についての21の議論 巻頭座談会「純愛」という名のルール	AKIRA、雨宮 処凛、竹宮 恵子 談 鈴木 隆之 司会 編集部 文責	木野評論	36
7月5日~11日 祝杯、ライカ同盟、我が家の手入れ			7.15	それぞれの思い2 戦後60年 うわの空と青い空	浅井 慎平	産 経	8.10
7月12日~18日 キャッチコピー、香山、ボクシング			7.22	「サラダボールセット」「エコノムープ:PD-01c/PD-03」	浅井 治彦	明星大学研究紀要	13
7月19日~25日 車中読書、震度5、鉛筆画			7.29	特集 文化系女子カタログ 「おかんアート」のように	浅生ハルミン	ユリイカ	513
赤瀬川原平さんの『ふしぎなお金』 日常の謎をときほぐす	米本 浩二	"	11.2	浅蔵五十吉 2003~2004年 作品の解説	浅蔵五十吉	金沢学院大学紀要文学・美術編	3
赤瀬川原平写真集「新正体不明」	(前)	読 売	2.13	コミック教養講座 ひみつのクローバーちゃん 朝倉世界一[著]	南 信長	朝 日	11.13
愛書日記 眠気を春のせいにして	赤瀬川原平	"	"	私のオアシス 画廊「ギャラリー パリ」舞台美術家朝倉摂さん NYの香りが漂う歴史的建造物	今村 守之	東京夕刊	7.16
「赤塚不二夫のおコトバ」なのだ 人生論、ダジャレ…回復祈り語録集 いばるヤツにロクなヤツはいないノーメル平和賞もらうの		"	9.21	遅咲きのひと50 長距離ランナー 朝倉撰 舞台美術の革新続ける	足立 則夫	日 経	3.20
画家たちの美術史27 赤塚裕二	鷹見 明彦	美術手帖	863	特集 最終コミック・リスト200 重要作家ファイル 浅野いにお	後藤 勝	STUDIO VOICE	354
第9回中村彝賞に赤穴宏氏	(石)	新美術新聞	1053	Close-up28 浅野修 日本人の想像力を喚起させる空間アート		ギャラリー*	238
日々好日		"		みつゑ100年記念 描き続けるために大切なこと 浅野忠信	村上 圭一	みつゑ	74
百魚図について	赤穴 宏		1073	第72回毎日広告デザイン賞受賞者決まる 選評	浅葉 克己	毎 日	3.11
夜汽車の人[赤松麟作]	庄司 栄吉		1051	山下裕二の今月の隠し球1、2 浅羽保治 「やけくそ」の真実(上)(下)	山下 裕二	美術の窓	256、257
人間発見 働く女性にエール2 元文相赤松良子さん[赤松麟作]	鹿嶋 敬 聞き手	日経夕刊	3.23	わたしの好きなもの キモノ	浅見 貴子	新美術新聞	1046
特集 ストーリー構成 感動を呼ぶインナーワールド 亜樹直	亜樹 直	みづゑ	71				
コミック教養講座 晴れときどきミステリー 秋野すすき[著]	湯浅 学	朝 日	5.8				
「楽しく描き28年」 「こち亀」秋本さん 「ゴルゴ」と共に小学館賞[秋本治]	小原 篤	"	3.8				

「50歳プラス」を生きる 味岡伸太郎さんデザイナー 地域の魅力出版通じ伝承	井上 昇治	東京	4.6	座談 阿部佳昭×市川美幸×滝波重人	阿部佳昭、市川美幸、滝波重人	横須賀美術館準備ニュース	2
巻頭特集 日本の銅版画 メゾチントのマチエール 長谷川潔、浜口陽三からの出発 新しい作家たちの声 芦原渉	芦原 渉	版画芸術	130	特集 私はここにいる 私はここにいる 過去から現在	あべ 黎子	自由美術	2005
コミック教養講座 いつもの春のよう あすなひろし[著]	湯浅 学	朝 日	6.19	特集 人形愛 人形作家列伝[天野可淡]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506
『所蔵品による松本竣介・麻生三郎展』で気づいたこと	橋 秀文	神奈川県立近代美術館年報	2003	彫刻家の現場から5 天野裕夫	武田 厚	美術の窓	264
浮世絵の輝きを継ぐ 世界に誇る木版画技術を保存、新作にも挑む	安達以乍牟	日 経	1.19	百寿への熱きメッセージ 片岡先生と潮展	雨宮 敬子	新美術新聞	1052
ぐりとぐらに学ぶ、くらしの基本 クリエイターからのメッセージ	松永 絵菜 合田 経郎 あだちなみ	みづゑ	72	今月の読書 『雨宮敬子作品集』 さわやかな気品を一冊に凝縮	星野 清一	〃	1053
我が愛しき悪女たち 佐々木豊個展一薔薇女 自己主張と顕示欲	安達 博文	アートトップ	206	彫刻家の現場から6 雨宮敬子	武田 厚	美術の窓	265
巻頭特集 人物画にみる現代70選 Part.3 現代作家が描く多様な人間のかたち 東恵美 私の想い	東 恵美	美術の窓	256	クリエイターへの道 3 雨宮慶太	原田 環	デザインの現場	138
吾妻ひでお ギャグ漫画家の絶望と希望と	いしかわじゅん	芸術新潮	665	作家訪問338 硯作家 雨宮弥太郎さん	編集 部	目の眼	341
コミック教養講座 失踪日記 吾妻ひでお[著]	南 信長	朝 日	3.20	四季の匠 徹章[綾田貴子]	徳永 京子	新美術新聞	1052
特集1 BankART Life 作家+作品紹介[アトリエ・ワン]		Bank-ART Life	創刊号	@わたし 技術を拓く7 素材に挑む「布の魔術師」[荒井淳一]	大村 美香	朝 日	1.14
特集2 Landmark Project 東横線廃線跡高架上 アトリエ・ワン		〃	〃	特集 私はここにいる 大きな切り株とともに	新井富美子	自由美術	2005
特集 私はここにいる		自由美術	2005	特集 ギャグまんが 大行進 剥き出しの少女・ギャグ・マンガ 新井理恵『×ーペケ』をめぐる	七尾 藍佳	ユリイカ	503
やがて 人生の後半戦に入って	油井 溜二 阿部 早苗			『いつか、ずっと昔』 創作にまつわる10の質問[荒井良二]	山本 麻実	みづゑ	70
タビ	安倍 千隆	多摩美術大学研究紀要	19	第1回みづゑ賞作品募集 荒井良二×飯野和好×スズキコージ、座談会が応募要項	来嶋 路子	〃	72
建築 レストラン「青葉亭」 皮膜のようなもの[阿部仁史]	五十嵐太郎	毎日夕刊	6.8	永島正人×荒井良二、競作 第1回「ポストを描く」	〃	〃	73
阿部雅世のワークショップ Sound of Material	川上典李子	デザインの現場	142	第1回みづゑ賞	〃	〃	74
				大賞決定 絵本部門・大賞 荒井良二、飯野和好、濱口桜子さん	荒井 良二 飯野 和好 スズキコージ		
				絵本部門・審査員特別賞 荒井良二賞 増田和子さん	荒井 良二		
				永島正人×荒井良二、競作 第2回「雪を描く」	来嶋 路子	〃	〃

顔 リンドグリーン 記念文学賞を受ける 絵本作家 荒井良二 さん	松本 由佳	読 売	4.29							丸くて傾く不思議空 間 芸術家 三鷹で 分譲[荒川修作]	読売夕刊	10.13
受賞者インタビュー 133 トリエンナー レ豊橋 星野真吾賞 展 新恵美佐子		ギャラリ ー*	247							荒川豊蔵と加藤唐九 郎一桃山陶の美に魅 せられた二人の軌跡 一	唐澤 昌宏 陶 説	624
特集 私はここにい る 私はここにいる	荒川 明子	自由美術	2005							昭和版画家伝 2 荒木哲夫 不安の時 代を生きた幻想的世 界	藤田 一人 版画芸術	127
特集 荒川修作の 《死に抗う建築》		水声通信	1							「森山・新宿・荒木」 展を語る[前編] [対談]荒木経惟×末 井昭 新宿曼陀羅	荒木 経惟、 末井 昭 対談 三橋 純 構成・文	美術手帖 862
インタビュー 死 なないために	荒川 修作 談 丸山 洋志 聞き手									アラーキー、今度の 被写体は「飛雲閣」 聖なる俗に一目ぼれ 西本願寺の依頼で写 真集[荒木経惟]	森本 俊司 朝 日	8.16
極彩色の死なない 家 天才に不可能 はない	瀬戸内寂聴									映画「アラキメンタ リ」撮影現場も夜 遊びも クローゼ監 督荒木経惟に密着取 材	小原 篤 朝日夕刊	3.4
天命反転住宅徘徊 記	馬場 駿吉											1.9、16、 23、30、 2.6、13、 20、27、 3.6、13、 20、27、 4.2、9、 16、23、 30、5.7、 14、21、 28、6.4、 11、18、 25、7.2、 9、16、 23、30、 8.6、13、 20、27、 9.3、10、 17、24、 10.8、15、 22、29、 11.5、12、 19、26、 12.3、10、 17、24
荒川修作を探して 『意味のメカニズ ム』から「三鷹天命 反転住宅」へ	塚原 史											
天命反転は二度到 来する	河本 英夫											
外部化する空間・ 外部化する身体 三鷹天命反転住宅 をめぐる	高橋 順一											
気配の機能 まだ 見ぬ機能主義へ	小野 暁彦											
カタチによって、 カタチとともに	佐野 吉彦									アラーキーがゆく [荒木経惟]	産 経	
自由について	工藤 順一											
来るべき詩人たち のピオトープ	永野 宏志											
風を呼ぶ住居 荒 川修作と大野一雄	伊藤雄二郎											
特集 神経系都市論 身体・都市・クライ シス 身体の(再)誕 生、〈建築〉の場から	荒川 修作 小林 康夫	10 + 1 *	40							私のデビュー時代 写真コンテストで荒 塚ぎ イタリアン・ ネオ・リアリズムに 出会い「コレだ!」と 思った	荒木 経惟 東 京	1.9
美術家・荒川修作さ んと瀬戸内寂聴さん 天命反転語り合う 「芸術住宅」まもなく 完成	田中 三蔵 朝	日	8.9							森山大道・荒木経惟 写真集『森山・新 宿・荒木』	”	2.13
反バリアフリーの家 荒川修作さんデザイ ン 不便な方が体を使 う	浅田 晃弘 東	京	10.13							原爆問い直そう 黒 田征太郎さんら連続 イベント[荒木経惟]	保泉 淳子 毎 日	7.5
eye 荒川修作さん 設計「三鷹天命反転 住宅」反バリアフ リー!?	木村 光則 毎日夕刊		12.17							新・私のアルバム 2 有元容子	小森佳代子 美術の窓	267

特集1 横浜トリエンナーレ2005へ行こう! 全71プロジェクトの見どころをすべて網羅 公式カメラマン安藤重男が写す“アートの立ち上がる現場”ドキュメント	新川 貴詩	美術手帖	871	常に新たな旅のスタイル模索 会場をデザインした建築家安藤忠雄氏	安藤 忠雄	読売夕刊	1.18
こと場 安西水丸さんイラストレータ		朝日夕刊	3.22	国際建築家連合 安藤忠雄氏に金メダル		"	6.20
こころの風景	安西 水丸	"	8.9、10	建築 闇を演出地下に響く吹き抜け[安藤忠雄]	飯島 洋一	"	11.1
紙短情長	安藤 忠雄	A X I S	118	建築望見 再開徹底対話が生んだ納得[安藤忠雄]	高野 清見	"	12.17
新年日本の皆さま中 安藤忠雄さん思考停止脱しよう個人の責任逃れるな教育改革で子供を救え	中西 豊樹 朝 日 聞き手		1.7	特集 物語る絵画 読み解きたい欲望をそそるメディア 安藤正子 長編を紡ぐように描かれた少女たち	能勢 陽子 聞き手	美術手帖	865
絆の再生にはあと10年 安藤忠雄氏	安藤 忠雄	"	1.14	総特集 オタク×サブカル! オタク×サブカル15年戦争[庵野秀明]	加野 瀬未 友、ばるばら 談	ユリイカ	510
表参道物語 第2部 同潤会青山アパート7 心の風景「再生」へ残した外壁建て替えて議論を徹底[安藤忠雄]	児林もとみ	"	3.23	安野光雅、旅するように生きる人	山本 麻実	みづゑ	72
安藤忠雄さんからあなたへ 人間も建築も自己中心では限界がある	安藤 忠雄	"	10.22	巻頭特集 プロが教える水彩ステップアップ講座 安野光雅が語る「アンチ・水彩ステップアップ講座」	安野 光雅 談 一井 建二 聞き手	美術の窓	265
第9回 菜の花忌講演会—日本人を考える—この国をかたちづくるものは何か優れた感性育んだ「風景」の再生を	"	産 経	2.23	司馬作品 色あせぬ魅力 私が好きな「この3冊」 画家安野光雅さん 坂の下から見上げた雲は	安野 光雅 朝 日		2.12
わたしの失敗 建築家安藤忠雄さん1〜4	中曽根聖子	"	4.12〜15	風韻 景色との恋探し求める 絵本画家安野光雅	大上 朝美 インタビュー	朝日夕刊	1.22
調布・仙川に「安藤忠雄ストリート」追っかけファン熱意届く 光と風の開発を	浅田 晃弘 東京		8.24	シェークスピアの音楽師	安野 光雅 日 経		11.13
インタビュー 領空侵犯「想像力は頭の働き」か 体験してこそ痛み分かる 建築家 安藤忠雄氏	松岡 資明 日 経 聞き手		7.25	こどもの本の歩み 安野光雅さん「美とは何か」求め 怖さ併せ持つ絵本ブーム	津武 欣也 聞き手	毎日	6.1
TOKIO進化びと 建築家 安藤忠雄氏「ゆっくり」仙川の街づくり 地主の願いに根負け 住み続けたい街の見本を	(加)	"	11.16	近況 古いカバンが出てきた! 30年前の絵から学んだこと[安野光雅]	佐藤 由紀	毎日夕刊	4.15
「美術館連絡協議会」座談会「美術館と地域活動」文化拠点をめざす運営の工夫が必要	河合 隼雄、酒井 忠康、安藤 忠雄、菅原 教夫 司会	読 売	4.25	特集 最終コミック・リスト200 重要作家ファイル 安野モヨコ	吉田 大助	STUDIO VOICE	354
				コミック教養講座 監督不行届 安野モヨコ[著]	吉田 豪 朝 日		3.13
				シュガシュガルーンで講談社漫画賞 安野モヨコさん 夢や苦しみ、多彩に描く	小原 篤	"	7.14

巻頭特集 日本の銅版画 メゾチントのマチエール 長谷川潔、浜口陽三からの 出発 新しい作家た ちの声 飯岡千江子	(イ)	飯岡千江子	版画芸術	130	対談編 「デジ タル」とは何か? 「版 画」の新しい概念 を考察する	之、 於保 政昭 対談 岡部 取材・構成			
探訪 金工家飯田美 郎先生を訪ねて 月 光から旭日へ 金工 に魂をこめて			遊 美	51	巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 柳原義達	五十嵐芳三	美術の窓	257	
特集 私はここにい る 私は		飯塚 貞	自由美術	2005	作家の貌 ^{かお} 12 五十嵐 芳三	一井 建二	〃	260	
第1回みづゑ賞作品 募集 荒井良二×飯 野和好×スズキコー ジ、座談会が応募要 項		来嶋 路子	みづゑ	72	巻頭特集 プロが教 える水彩ステップア ップ講座 五十嵐吉 彦と行く水彩スケッ チ入門		〃	265	
第1回みづゑ賞			〃	74	井川惺亮一色の広が りー 公開制作の報 告	石崎三佳子	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	4	
大賞決定 絵本部門・大賞 濱口桜子さん		荒井 良二 飯野 和好 スズキコー ジ			巻頭特集 日本の銅 版画 メゾチントの マチエール 長谷川 潔、浜口陽三からの 出発 実践的メゾチ ント講座	生田 宏司 講師 波多野 取材・構成	版画芸術	130	
絵本部門・審査員 特別賞 飯野和好 賞 松井浩二さん		飯野 和好			絵本のつくりかたも っと知りたい3 リ ズミカルに描かれる ダヤンの絵本[池田 あきこ]	藤田 容子	みづゑ	70	
こころの風景		〃	朝日夕刊	2. 21、22	漆芸十二か月[今月 の表紙より]	池田 巖 淡 交			
AT204 Remarkable WORK 飯間智美 「馳せる」第23回上 野の森美術館絵画大 賞を受賞	(根)	ア ー ト ト ッ プ		204	水仙蒔絵椀			721	
受賞者インタビュー 128 明日をひらく 絵画 第23回上野の 森美術館大賞展 飯 間智美		ギャラリ ー		241	檜梅蒔絵大棗			722	
旬発力 飯間智美 日本画家「画歴」 「自立」思い馳せ		岡本 耕治	産 経	6. 11	根来四方盆			723	
五百城文哉―埋もれ た画家の復権		寺門 寿明	国華清話 会会報	6	柳桜蒔絵嵯峨大棗			724	
須田寿先生を悼む 創立の熱き心に		五百住乙人	連盟ニュー ース	413	牡丹文鎌倉彫香合			725	
わたしのお気に入り 長くて短いというこ と 母のリフォーム ・スカート		伊賀美和子 談	芸術新潮	662	誰が袖蒔絵硯箱			726	
哀悼 野間伝治さん		五十嵐二郎	連盟ニュー ース	415	扇面散蒔絵手箱			727	
特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 五十 嵐大介		山田 和正	STUDIO VOICE	354	撫子蒔絵硯箱			728	
巻頭特集 新・現代 版画スタイル			版画芸術	127	芒文様漆絵椀			729	
版画=情報 五十 嵐英之		五十嵐英之			刈入蒔絵葉簞笥			731	
					楓樹蒔絵手焙			732	
					天正カルタ蒔絵大 鼓			733	
					池田 真也 2003～ 2004年 作品の解説 ―金属箔を用いた日 本画表現の研究―	池田 真也	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3	
					ROUND TABLE 2005	宮内 桂川 中村 森口 池田 中村	嘉久寛 光行 宏 一 龍雄 宏	あいだ	112

具象彫刻の新しい可能性—第二回グループ展メンバー特別座談会	佐藤 守男、石谷 孝二、池田 秀俊、保田 井智之、長雄、対談一井司会	美術の窓	266	日々好日「石井鶴三日記」のこと	入江 親	〃	1057
特集 人形愛		ユリイカ	506	石井鼎湖—『鷺湖及鼎湖』の行間から銅・石版画遺聞22	森 登	一寸	24
人形作家列伝[井桁裕子]	今野 裕一、天野 昌直			特集 ギャグまんが大行進 世の中はほとんどいいかげんになっていく。それでも廻る いしいひさいち論	安田 謙一	ユリイカ	503
人形という症候 井桁人形に関する覚え書き	藤田 博史			標高1000メートル東京の山村写す 30年通い「失われた生活」を写真に記録	石井 實	日 経	11.10
元理事長 上野泰郎氏永眠 上野泰郎氏を悼む	池田 幹雄	連盟ニュース	415	先輩に聞け! デザイナーが若いうちにしておくべきこと9 石井洋二	石田 純子	デザインの現場	143
ナビゲーター 未来へ向かう他者への一歩[池田光宏]	山盛 英司	朝日夕刊	2.15	ターナーの絵具箱 vol.16 昼の国、夜の国 人形たちの棲む布絵本 イシイリョウコ	中島ゆうこ	みづゑ	73
座談会 具象彫刻の方向と現状—II	上野 弘道、司会 池田 宗弘、桑山 賀行、中垣 克久、中村 義孝、日原 公大、吉野 毅、渡辺 治美 談	ART LIBRARY	6	しりあがり寿の現代美術入門 第7回 石内都『Innocence』	しりあがり寿	ART iT	8
彫刻作品の無断撤去・廃棄について	池田 宗弘	連盟ニュース	414	第51回ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館アーティスト石内都氏が構想を発表!		ギャラリー	240
池田 遥 鏡板「老松」 切戸口板壁「若竹」 修復報告	村松 裕美	修復研究所報告	17	アーティスト訪問20 石内都		〃	241
話の肖像画 創造するミューズ1~5 劇画家、声楽家池田理代子さん	村島 有紀、聞き手	産 経	2.28~3.4	石内都 抱きしめてきた記憶を解き放つ旅		芸術新潮	667
SCENE0204(バイエルの小さな村だより)	池本 一三	多摩美術大学研究紀要	19	第51回ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館コミッションナーに笠原美智子氏、代表に石内都氏	(美)	新美術新聞	1051
[特集1]伊砂利彦—型染の美		現代の眼	551	特集1 ヴェネツィア・ビエンナーレで見る最新★世界の注目アーティスト122人 アジアの熱風! 日本館 石内都「痕跡」のリアリティ—	前田 恭二	美術手帖	870
私の制作 型絵染松—水—音楽—沖縄—無機的表现	伊砂 利彦			現代美術の歩き方 異論反論・現代美術第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ美術展 日本館の展示概要決定「女同士でヴェネツィアへ」[石内都]		美術の窓	260
イメージの根源を探る—追体験の愉しみ	藤本 恵子			ことばの旅人 神奈川・横須賀 山口百恵「横須賀ストーリー」[石内都]	坂本 哲史	朝 日	3.5
中特集 伊砂利彦 伊砂利彦の音の形	金子 賢治	美術の窓	260				
魔除け面に魂込めて 300年続く石見・大田の伝統工芸を唯一守る	石井 暎	日 経	12.23				
第12回本郷新賞は、石井厚生氏「時空・140—旅人—」に決定		新美術新聞	1065				

この人 ベネチア・ ビエンナーレに母の 遺品の写真を出品し た写真家 石内都さ ん		東 京	8.5	視線 THE VOID 石川直樹著	立松 和平 朝 日	11.13
SCARS 石内都著		日 経	3.13	コミック教養講座 もやしもん 石川雅 之[著]	南 信長	6.12
アート探究 石内都 「mother's」 亡き母 探し、記憶の旅 下 着、口紅…遺品を撮 る	白木 緑	〃	4.16	第1回みづゑ賞 イ ラストレーション部 門・審査員特別賞 来嶋路子賞 石川美 沙さん	来嶋 路子 みづゑ	74
第51回ベネチア・ビ エンナーレに参加 女性写真家石内都さ んらが抱負	石川 健次	毎日夕刊	3.29	日展会員賞制作意図 「王妃の花壺—ロー タス—」	石川 充宏 日展ニュ ース	119
石内都写真集 「scars」	(前)	読 売	3.13	わたしの宝もの3 「アトリエの寝袋」	石川 順恵 新美術新 聞	1063
女のベネチア ビエ ンナーレ出品も企画 も[石内都]		読売夕刊	3.2	新しき誘惑への使徒 たちVol.17 石倉郁 美	ア ー ト ト ッ プ	202
クライアントに直接 聞いた TGB de- sign. 石浦克の魅力	編 集 部	デザインの 現場	144	真宗大谷派名古屋別 院 参道整備	石黒 鏘二 名古屋造 品川 誠 形芸大紀 岡田 憲久 要*	11
新年特集 年男年女 に聞く	石踊 達哉	新美術新 聞	1044	特集2 あの人が推 す、今注目のクリエ イター2 石黒由紀	石黒 知子 A X I S	116
クリエイターズワー ク&ソウル 石上純 也		A X I S	117	「鳥にとつての『ガラ ス教育』」 『柿の 種』寺田寅彦著	石黒 由紀	117
還暦祝い 石川九楊 氏一つの区切りに感 慨	稲垣 真澄	産 経	9.16	未来の大モノを探 せ! UNDER30の 実力者たち 石田枝 麻	大輪 俊江 デザイン の現場	144
戦後60年—還暦に何 思う4 文化人 書 家・石川九楊氏 不 戦憲法の意味考え直 したい		日経夕刊	1.7	拝啓こんな日々です 第25話 技能伝えて 1 竹工芸 後進指 導にやりがい[石田 正一]		日経夕刊 6.20
特集 私はここに いる 私はここに いる	石川 恵助	自由美術	2005	具象彫刻の新しい可 能性—第二回グル ープ環展メンバー特別 座談会	佐藤 守男、 石谷 孝二、 池田 秀俊、 保田 井智 之、雄新 対談一井 司会 建二	美術の窓 266
吾妻ひでお ギャグ 漫画家の絶望と希望 と	いしかわじ ゆん	芸術新潮	665	視点 鳥取砂丘展望 広場に砂の彫刻「大 地—対話—」が完成	石谷 孝二	267
第9回 手塚治虫文 化賞 大賞 「PLUTO」浦 沢 直 樹、手塚治虫作 長 崎尚志プロデュース /手塚真監修 手塚 プロダクション協力	手塚 真 いしかわじ ゆん 香山 リカ マツト・ソ ーン	朝 日	5.10	みづゑ100年記念 絵本の未来を知りた くて 石津ちひろ	来嶋 路子 みづゑ	74
Go! Artists Go! 15 石川卓磨	柘植 響	美術手帖	868	アクリリックス・ワ ールド27 石塚隆則	石井 芳征 美術手帖	864
紹介—石川寅治の 「鈴の音」版木につ いて	梶 光伸	高知県立 美術館研 究紀要	6	特集 地方美術館の 連携 絵とふるさと を語る	石本 正、 宮廻 正明 石見美術	3
再始動した飴屋法水 と話題騒然の展覧会 を証言と批評で検証 する「バ ング ント」展とはなん だったのか Half & Half Reviews Special	石川 直樹	美術手帖	871	私のオアシス 東京 ・品川 原美術館 写真家石元泰博さん 押し付けがましくな い空間がいい	今村 守之 東京夕刊	6.11

特集 建築と書物 建築家的読書術 建築の現場・歴史・技術	石山 修武	10 + 1 *	38					ピーター・クック・デンブロン・デヴィッド・グリーン・マイケル・ウェブ 磯崎 新 五十嵐太郎			
視線 石山貴美子写真帖1984-2005 石山貴美子著	飯沢耕太郎	朝 日	10.9					シンポジウム カウンターカルチャーと建築アーキグラムの一九六〇—七〇年代	〃		39
特集 アーキテクチャー&アート進化系		STUDIO VOICE	351								
金沢21世紀美術館アンケート	エルンスト・ネット 小谷 元彦 高木 正勝 石渡 誠 笹口 誠							岸田日出刀/前川男/丹下健三 日本における建築のモダニズム受容をめぐる	磯崎 新 日埜 直彦 聞き手	〃	41
アーティストが美術館をデザインしたら?	石渡 誠							建築家丹下建三氏を悼む 描き続けた国家の肖像	磯崎 新	朝日夕刊	3.23
没後10年 遺業・泉茂	奥村 泰彦	和歌山県立近代美術館ニュース	44					交遊抄 名より実 [磯崎新]	原 俊夫	日 経	4.2
特集 博覧会の意味 自然の根源へのイマジネーションから新しい地球像が見える	泉 眞也 高橋 信裕 聞き手	Cultivate	25					特集1 BankART Life 作家+作品紹介 [磯崎道佳]	Bank-ART Life	創刊号	
「タイポグラフィ・タイプフェイスのいま。デジタル時代の印刷文字」 対談: 森啓教授×伊勢克也教授		女子美	150					ナビゲーター ものづくりの原点を伝える [磯矢阿伎良]	田中 三蔵	朝日夕刊	1.18
研究シンポジウム「私の仕事・今昔」大野五郎	大野 五郎 伊勢 正史 聞き手 結城	主体美術	77					コミック教養講座 バキ 板垣恵介 [著]	吉田 豪	朝 日	11.27
交遊抄 自由ののびのび	伊勢崎 淳	日 経	9.30					巻頭特集 よみがえる伝統木版画 伝統からの出発 一圓達夫 ほかしによる豊かな抽象	辺 見	版画芸術	129
巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真VS. 現代美術 磯江毅一写真家は“型”。“型”あつての型破り	磯江 毅	美術の窓	262					座談 阿部佳昭×市川美幸×滝波重人	阿部 佳昭、市川 美幸、滝波 重人	横須賀美術館準備ニュース	2
横浜トリエンナーレディレクター交代劇の真相 [磯崎新]	染谷ヒロコ 小崎 哲哉 取材・文	ART iT	7					特集 私はここににいる 互いに不信にみちた光、影、白、黒	一木 平蔵	自由美術	2005
思想の言葉 ポモ/デコン	磯崎 新	思想	969					市島 桜魚 2003~2004年 作品の解説	市島 桜魚	金沢学院大学紀要文学・美術編	3
どうなる横浜トリエンナーレ2005 開催まで9カ月ディレクター交代 磯崎新氏辞任で川俣正氏に	(美)	新美術新聞	1044					女性作家にインタビュー! MOTアニュアルの試み	イチハラヒロコ	ギャラリー*	238
特集 建築と書物 建築を拓くメディア 磯崎新における「日本的なもの」	日埜 直彦	10 + 1 *	38					ひと 国際的な陶磁器展で相次いで入賞した 井戸真伸さん	秋山 亮太	朝 日	7.17
								アトリエの扉をあけて61 さまざまなニューモアをシュールに描く 伊藤彰剛	杉瀬 由希	デザインの現場	141

殺す・な博ドキュメント	榎木 野衣 小田マサノリ 工藤 キキ 山本ゆうこ ヲノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘	美術手帖	865	次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Sug- gestion from Artist 16 最終回 杉本博 司—稲垣智子	稲垣 智子 インタビュー アー	ギャラリー 一	245
40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第九号 連載2—わたしも40 年かい? 今日の客 人=伊藤篤宏	有馬 純寿	〃	870	Artist Interview 76 イナキヨシコ 次のステップを見つ ける冒険	石田 純子	デザインの 現場	144
第1回みづゑ賞 イ ラストレーション部 門・審査員特別賞 セキユリヲ賞 伊藤 絵里子さん	セキユリヲ	みづゑ	74	第22回読売広告大賞 「読者が創る広告の 部」講評	稲越 功一	読 売	12.28
特集 私はここに いる 存在の輪郭	伊藤 和子	自由美術	2005	未来の大モノを探 せ! UNDER30の 実力者たち 稲葉大 明	大輪 俊江	デザインの 現場	144
舞台美術家・伊藤熹 朔の舞台装置原画を 読む	川口 直次 多田 忠弘 小石 新八	武蔵野美 術大学研 究紀要	35	特集 アーキテク チャー&アート進化系 対談:乾久美子×藤 本壮介/ゆたかなル ール違反!?		STUDIO VOICE	351
名画のなかの女性た ち18 伊藤清永《椅 子に臥る裸婦》	中山 忠彦	美術の窓	265	旬発力 乾久美子 建築家、ディオール 銀座を担当 そろそ ろ、ゼロから築く	岡本 耕治	産 経	4.2
昭和版画家伝 4 馬淵聖 絵画に対抗 した色彩モザイク	伊藤 卓美	版画芸術	129	愛知万博会場制作に よせて 井上意齋・ 吉野書画坊の展覧会 を名古屋で開催	井上 北斗	新美術新 聞	1046
「建築進化論」と設計 活動との関係につい て—伊東忠太「建築 進化論」の特質に関 する研究 その2—	倉方 俊輔	日本建築 学会計画 系論文集	589	特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 井上 雄彦	山田 和正	STUDIO VOICE	354
平成15年度指定研究 表象都市metamor- phosis広島—芸術実 験展示プロジェクト 2003—	武藤三千夫 伊東敏光 吉井章 前川 義春	広島市立 大学芸術 学部紀要	10	視点 藤田嗣治と井 上長三郎の「漂流図」 についての補記	笹木 繁男	美術の窓	266
伊東豊雄 ひとつで 描きの建築		芸術新潮	671	芸術療法とその周辺 2 芸術療法の意義 と実際 こころの処 方箋	井上 尚子	ARTLET	23
特集 アーキテク チャー&アート進化系 伊東豊雄 人を自由 にする建築	鷺田めろろ	STUDIO VOICE	351	特集 全国のおもし ろ「カタログ+セル フガイド+広報」大 集合 記録集編 よ こはま動物園ズーラ シア[井上尚子]	長倉かすみ	ド ー ム	83
探究 ケヤキという 表現—構造 東京・ トッズビル[伊東豊 雄]	大西 若人	朝 日	2.16	《旅する表現ノート》 1、2	井上 廣子	あいだ	109、113
文字をメインにした デザイン	伊藤 豊嗣	名古屋造 形芸大紀 要*	11	研究ノート 明治初 年の美術留学生井上 辨治郎をめぐる (上)(下)	江川 佳秀	徳島県立 近代美術 館ニュー ス	53、54
〈紹介〉伊藤平左エ門 先生を悼む	井上 説子	建築史学	44	愛知万博会場制作に よせて 井上意齋・ 吉野書画坊の展覧会 を名古屋で開催	井上 北斗	新美術新 聞	1046
				わたしの一番26 エ ッグアート 井上康 子さん 形に魅せら れ天職直感	滑川 照夫	朝 日	3.13

かたち百景 新潟県立歴史博物館「大地の女神」縄文パワ―で復興後押し[猪風来]	(資)	日	経	11.20
奇想遺産 サグラダ・ファミリア教会 スペイン[今井兼次]	藤森 照信	朝	日	7.24
アクリリックス・ワールド25 今井三十三郎	石井 芳征	美術手帖		859
青春プレイバック 今井慎吾 兵庫県姫路市白国 生家	西澤 美子	新美術新聞		1065
[特集]ガンダム行きます!『ガンダム展』出展作家アンケート	今井トウ・ンズ	ART IT		8
Europe Today 2004-2005 "In-between" [今井智己]	編 集 部	STUDIO VOICE		355
日々好日 アンデスでの随想	今井 政之	新美術新聞		1054
アトリエの作家 今井充俊		ギャラリー		240
古典が息づく現代の工芸 十三代今右衛門「色絵かるかや文鉢」と江戸期の色鍋島[今泉今右衛門]	木田 拓也	淡 交		733
特集 私はここにいる 原点から	今泉 忠善	自由美術		2005
特集 ギャグまんが大行進 いま詩ろたか詩[いましろたかし]	松本 圭二	ユリイカ		503
ひらがな日本美術史【連載】その百十三 だ「私は見た」と言っているもの 今村紫紅筆「熱国の巻」	橋本 治	芸術新潮		664
今村紫紅筆「護花鈴」の試論—成立過程と文化史的背景をめぐって—	三上 美和	美術史		159
ひと カラー版画で池田満寿夫芸術賞 入江明日香さん	蕎麦谷里志	産 経		10.22
日々好日 「石井鶴三日記」のこと	入江 観	新美術新聞		1057
第7回図書館講演会「人は何故“絵”を描くのか?～あなたが描いているのは本当に“絵”ですか?疑ってみたことがありますか?～」 名誉教授、付属中・高等学校校長 入江観先生	高橋 編	medium		13
IAA(国際美術連盟)総会報告	入江 観	連盟ニュース		415

入江泰吉 生誕100年相次ぐ出版 “国破れて”写した歴史	河村 直哉	産 経		11.23
美の美 入江泰吉の大和路上、中、下	吉田 俊宏	日 経		5.22、29、6.5
特集 水木しげるびびのねずみ男をめぐる冒険	イルコモンズ	ユリイカ		511
目のマジック錯視芸術 映像・洋服に応用 構造解明はまだ[岩井俊雄]	鴻 知佳子	日 経		7.24
山形張子は威風堂々郷土玩具の7代目、心を込めて作り続け70年	岩城久太郎	〃		12.28
私の修行時代 岩合光昭さん 自然から自然に教わった	酒井 潤	産 経		6.27
平成16年度新収蔵作品の紹介 岩崎鐸「結婚式」1951(昭和26)年	小笠原 光	A R K		44
万葉集といわさきちひろ	鈴木 武晴	国文学論考		41
「佐藤忠良といわさきちひろ—共鳴するまなざし—」展開連イベント アニメーション作家・高畑勲が語る佐藤忠良といわさきちひろ	原島 恵	美術館・友の会だより		145
いわさきちひろ、アトリエで見つけた記憶のかけら	来嶋 路子	みづゑ		72
匠の技を訪ねて 常滑焼 伝統工芸士 岩瀬弘二さん		産業技術記念館館報		37
[制作記録]個展「五つの部屋」	岩田 崇	金沢美術工芸大学紀要		49
なぜ今、日本画なのか	〃	〃		〃
映画、音楽、アートをデザインする cultural design studies 岩波真里	編 集 部	デザインの現場		144
特集 最終コミック・リスト200 重要作家ファイル 岩原裕二	宮 昌太郎	STUDIO VOICE		354
特集 私はここにいる 私はここにいる	岩渕 欣治	自由美術		2005
特集 クリエイターのための独立ガイドワークスタイル 3つのワークスタイルを持つ 岩本勝也さん	松本 希子	デザインの現場		138

(ウ)	色鉛筆は時を超えて—古家ホテル記念帳の色彩分析—	植井 真由	板橋区立郷土資料館紀要・年報	紀要15/年報16・17	現代工芸作家シリーズ18 魔術師たちの贈り物 上原美智子	富田 康子	アートトップ	203
					銀座ギャラリー日記子育と創造、輝くふたり[上原三千代]	栗田 玲子	朝日夕刊	5.26
Topics Special Interview[植田正治:写真の作法〜僕たちはいつも植田正治が必要なんだ!〜]	東京都写真美術館ニュース	48	東京都写真美術館	48	新年特集 年男男女女に聞く	上村 淳之	新美術新聞	1044
					ほっとすぺーす 案内は上村淳之さん 鳥のいる庭 奈良市孫の遊ぶ姿見て無心に	(未)	読 売	9.25
巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真VS. 現代美術 上田奈保一感動と謎に満ちた「半具象」	名古屋 寛	美術の窓	262		表紙解説	川口 直宜	刀剣美術	
みづゑ100年記念 描き続けるために大切なこと 上田三根子	村上 圭一	みづゑ	74		上村松園筆「序の舞」			576
フランク・ロイド・ライトの落水荘〜写真家・上田義彦が語る森と建築				STUDIO VOICE	350			
そこまでやるか 新・職人列伝1 石に刻む私の思い 上野梓				日経夕刊	7.28			
美の美 はじめの一枚—3 写真・彦馬、蓮杖の挑戦[上野彦馬]	白木 緑	日 経	6.26		特集 私はここにいます 間もなく	宇佐見國典	自由美術	2005
座談会 具象彫刻の方向と現状—II	上野 弘道 司会 池田 宗弘、桑山 賀行、中垣 克久、中村 義孝、日原 公大、吉野 毅、渡辺 治美	ART LIBRARY	6		杉原元人先生の画集刊行を祝して 作品の根底を貫く温かい人柄と人間への深い関心	宇佐美江中	新美術新聞	1056
日々好日 壺	上野 泰郎	新美術新聞	1062		日々好日 師と奥多摩	〃	〃	1067
追悼 上野泰郎さん「その人ならではの作品」…丘人	稗田 一穂	〃	1066		牛尾篤 平面で遊ぶドライポイント	辺 見	版画芸術	129
提言「美術教育に関する問題」	上野 泰郎	連盟ニュース	413		特集2 Landmark Project 旧日本郵船倉庫3F 牛島達治 Flo+out		Bank-ART Life	創刊号
元理事長 上野泰郎氏永眠			415		殺す・な博ドキュメント	榎木 野衣 小田マサノリ 工藤 キキ 山本ゆうこ ヲノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘	美術手帖	865
弔辞	吹田 文明				日本を紹介する画廊活動を「シュレーダー通り12番地における日本年」	笛吹 花	ギャラリー一	239
上野さん	稗田 一穂				特集 ギャグまんが 大行進 不可解な歌と、笛の音にのせて。うすた京介と第三世代の笑いについて。しかも、とりとめなく。	足立 守正	ユリイカ	503
上野泰郎氏を悼む	池田 幹雄				作家訪問344 陶芸家 白田けい子さん	編集部	目の眼	347
彫刻家の現場から7 上野良隆	武田 厚	美術の窓	266					
フェイス21世紀81 上原一馬 10年目を新たなスタートに	油井 一八	新美術新聞	1071					

特集 「日本画」って なんだろう? 「日 本画」鼎談場外乱闘 編 もっと「日本画」 を知りたい!	会田 誠、 内田 あぐ り、山裕二 対談 石井 芳征、部 編 構成	美術手帖	864
紙短情長	内田 繁	A X I S	116
コミック教養講座 リトル巨人くん 内 山まもる[著]	湯浅 学	朝 日	10.9
みづゑ100年記念 描き続けるために大 切なこと 宇野重喜 良	村上 圭一	みづゑ	74
読売国際漫画大賞 座談会 応募者へア ドバイス	ウノ・カマ キリ、きどい えのちろう、 福田 繁雄 談	読 売	8.5
特集 ランドスケ ープ・デザインは建築 を変えるか? 建築 ・都市空間とランド スケープ・デザイン 4 都市のテクノス ケープー建築×イン フラストラクチャー の多様な統合	宇野 求	建築雑誌	1536
特集 私はここにい る 自由なる精神と は	宇野 之雅	自由美術	2005
特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 羽海 野チカ	山崎まどか	STUDIO VOICE	354
模図ホラー、人気再 び 若者揺さぶる 「心の闇」[模図かず お]	宮崎 陽介	朝日夕刊	8.5
この人、この時 漫 画家模図かずおさん 恐怖の原点1~4	小松やしほ 聞き手	毎日夕刊	10.17 ~ 20
ひらがな日本美術史 【連載】その百十六 海の向こうから来た もの 梅原龍三郎筆 「雲中天壇」と佐伯祐 三筆「扉」	橋本 治	芸術新潮	667
芸苑雑事記154 梅 原と劉生のこと	瀧 悌三	美術の窓	264
高峰秀子さん肖像画 世田谷美術館に寄贈 梅原龍三郎作品など		朝 日	11.3
梅原龍三郎らの高峰 秀子肖像画 世田谷 美術館に11点寄贈		産 経	11.3
梅原画伯の「高峰秀 子」		日 経	11.3

特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 浦沢 直樹	山田 和正	STUDIO VOICE	354
ひと「第9回手塚 治虫文化賞」のマン ガ大賞を受賞した 浦沢直樹さん	小原 篤 朝 日		5.10
第9回 手塚治虫文 化 賞 大 賞「PLU- TO」浦沢直樹、手塚 治虫作 長崎尚志ブ ロデュース/手塚眞 監修 手塚プロダク ション協力	手塚 眞 いしかわじ ゆん 香山 リカ マット・ ソン	" "	" "
“偉大な父”への挑戦 状 漫画 評「PLU- TO」[浦沢直樹]	猪谷 千香 産 経		6.18
東西芸術の架橋一版 画師漆原木虫	太田美喜子 浮世絵芸 術		149

(エ)

[作品研究]変容する 眼 瑛丸のフォトコ ラージュについて	大谷 省吾	現代の眼	551
闇に光を焼き付けた 人—瑛丸さんとデモ クラート—	加藤 正	国立国際 美術館月 報	150
マイバランス お金 で買えぬ才能こそ 宝。いつも新たな夢 や目標き前進 漫 画家 江川達也さん		日 経	12.18
日本のID 50年	榮久庵憲司	デザインの 現場	139
表現の視座・8 描 きたいもの	江角 健治	主体美術	78
びーぶる「佐賀の 町おこしに」ガラ スの巨匠 人形作り 挑戦[江副行昭]	竹下隆一郎	朝日夕刊	1.19
日展をひかえて フ ィレンツェが教えて くれたこと	江藤 望	日展ニユ ース	118
レンズに映った昭和 著者江成常夫さん 戦争はいつも弱者に しわ寄せ	荒井 魏	毎 日	5.8
美術出版社創業100 周年記念 第13回芸 術評論募集入選作発 表 佳作 榎倉康二 における出来事性と 層の構成	栗田 大輔	美術手帖	868
江 端 博 行 2003~ 2004年 作品の解説	江端 博行	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3

巻頭特集 時代を変
えるアーティスト
評論家・キュレータ
ー・美術記者が選ぶ
海老洋 具象の新領
域を

松平 修文 美術の窓 259

二段掛けの解消を

海老塚市太 連盟ニュー 412

水^{きざし}の階・風^{かたち}の象 I
・II

海老塚耕一 多摩美術 19
大学研究
紀要

東野芳明さんをしの
ぶ 前衛の原野に視
界広がる情景

" 読売夕刊 11.22

生誕百年記念 海老
原喜之助を語る
No.4 海老原喜之
助と世相

古家 良一 View 112

熊本・近代100年を
彩る二つの作品[海
老原喜之助]

" " 114

クリエイターズワー
ク&ソウル エフス
スタイル

A X I S 116

博物学的美術史1
アートフェアに出た
妖怪[江本創]

美術の窓 265

青春プレイバック
江守若菜 東京都台
東区上野公園 東京
都恩賜上野動物園

林 茂樹 新美術新 1055
聞

秋の叙勲、褒章決ま
る【旭日中授賞】濱
田台兒氏 14代酒井
田柿右衛門氏ら
【紫綬褒章】山本正道
氏 江里佐代子氏ら

" " 1074

私が愛しき悪^{ファム・ファタール}
女^{たち} 佐々木豊個展
一薔薇女 巨大なメ
ガネ

遠藤 彰子 アート 206
トップ

視点 個展を終えて

遠藤 賢 美術の窓 264

日展をひかえて 名
句

遠藤 原三 日展ニュー 118
ース

特集 クリエイター
のための独立ガイド
ワークスタイル 海
外にも拠点を持って
仕事をする 遠藤治
郎さん

渡部 千春 デザイン 138
の現場

次世代からの問いか
け アーティストの
生き方とは Sug-
gestion from Artist
10 遠藤利克一大巻
伸嗣

大巻 伸嗣 ギャラリー 239
インタビュー
アー

受賞者インタビュー
130 第8回川の絵
画大賞展 遠藤春生

" " 244

(オ)

視線 子ども 戦世
のなかで 大石芳野
著

飯沢耕太郎 朝 日 12.4

40×40 Project for
BT 昭和40年会の
七人も侍 第貳号
[大岩オスカル幸
男]

昭和40年会 美術手帖 861

わたしの宝もの5
夢の料理人

大内田 敬 新美術新 1068
聞

制作ノート 大浦一
志

大浦 一志 武蔵野美 35
術大学研
究紀要

大浦信行の《遠近を
抱えて》はいかにし
て90年代的言説を準
備したか

加治屋健司 あいだ 112

ひと 体調回復作風
も変化[大岡重紀]

読売夕刊 6.7

古典が息づく現代の
工芸 大木秀春「桃
帯留」と江戸金工の
粹

大木 秀春 淡 交 727

研究発表(要約) 大
熊氏廣作《大村益次
郎像》から「銅像」と
は何かを考える

吉田 朝子 近代画説 14

Tokyo Freedom 大
倉舜二著

日 経 5.22

「Tokyo Freedom」大
倉舜二写真集

(前) 読 売 6.12

新指定の文化財[重
要無形文化財の指定
・保持者の認定(各
個認定)] [工芸技
術] 鑄金 大澤幸
勝(雅号 大澤光民)

文化庁文化 文化財* 504
財部

映画、音楽、アート
をデザインする
cultural design stud-
ies 大島依堤亜

大城 穰司 デザイン 144
の現場

交遊抄 旅先の写真
談義

大島 洋 日 経 7.16

コミック教養講座
汽車旅行 大城のぼ
る[著]

南 信長 朝 日 5.1

わたし流 粒アート
工房代表太田淑子
さん 台所で発案…米
が織り成す芸術

赤岡 東 産 経 3.10

ピンホールコラム

大田垣晴子 朝日夕刊 2.5、3.5

特集 最終コミック
・リスト200 重要
作家ファイル 太田
垣康男

吉田 大助 STUDIO 354
VOICE

次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Sug- gestion from Artist 14 土屋禮一—大竹 司	大竹 司 インタビュー アー	ギャラリー 一*	243	木の作家を訪ねて17 —大橋行雄氏	光岡 幸治 氷 華	46
人らんだむ 第28回 損保ジャパン東郷青 児美術館大賞を受賞 した 大津英敏氏 家族が基盤	(美)	新美術新 聞	1054	巻頭特集 新・リア リズム宣言II 写真 VS. 現代美術 米 倉守インタビュー 「ジャパニーズ・リ アリズムの行方」	米倉 守 談 穂浩 大畑 稔 聞き手	美術の窓 262
東郷青児美術館大賞 授与式で大津英敏氏 「先生や先輩に恵ま れた」		東京夕刊	6.18	大樋長左衛門 2003 〜2004年 作品の解 説	大樋長左衛 門	金沢学院 大学紀要 文学・ 美術編 3
Weekly日誌	大津 英敏	毎日夕刊		特集 ギャグまんが 大行進 すべては 「にがおえ」になる おおひなたごうのス タイル	石岡 良治	ユリイカ 503
1月25日〜31日 日韓友情年、冬の 博多、九州弁			2.4	次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 10 遠藤利克—大巻 伸嗣	大巻 伸嗣 インタビュー アー	ギャラリー 一* 239
2月8日〜14日 編入学、ケイタイ メール			2.18	PAPER IN MY WORK 100 大溝裕 モノ としての存在感が際 立つ	杉瀬 由希	デザインの 現場 143
2月15日〜21日 酒宴、ポートレー ト、Tシャツ			2.25	デジまん CG先駆 者から女子高生モー ドへ[大村皓一]	穴吹 史士 朝 日	2.19
2月22日〜28日 郷里の風景、長男 のヒゲ			3.4	大村連さんをしの んで 大村メモを中心 に	原田 文子	主体美術 78
3月1日〜7日 祝う会、金沢、日 韓現代美術特別展			3.11	日々好日 ロマネス ク巡礼	大森 運夫	新美術新 聞 1046
【特集】釜師・大西家 —精緻な技と朽ちの 美—[インタビュー] 十六代大西清右衛門 氏に聞く	岡本 浩一 聞き手	淡 交	722	手仕事紀行 麻紙 大森芳紀さん1〜4	朝 日	1.30、 2.6、 13、20
第72回毎日広告デザ イン賞受賞者決まる 選評	大貫 卓也	毎 日	3.11	次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 11 大藪雅孝—川嶋 陽介	川嶋 陽介 インタビュー アー	ギャラリー 一* 240
新聞旧聞 平塚市美 術館の大貫松三展と 阿修羅のアトリエ	岩瀬 行雄	jaic会報	1	西村龍介氏を悼む 思い出に残る「燦々 会」のゴルフ	大山 忠作	新美術新 聞 1051
新年特集 年男男女 に聞く	大沼 映夫	新美術新 聞	1044	意義深いお二人の業 績	大山 忠作	” 1065
青春プレイバック 大沼映夫 東京都中 野区松が丘 哲学堂 公園	林 茂樹	”	1052	こころの風景 岡鹿 之助と三色堇	清岡 卓行	朝日夕刊 3.22
特集 荒川修作の 《死に抗う建築》風 を呼ぶ住居 荒川修 作と大野一雄	伊藤雄二郎	水声通信	1	青春プレイバック 岡信孝 横浜市青葉 区荏子田2丁目 画 室の庭	高岡 忠雄	新美術新 聞 1071
研究シンポジウム 「私の仕事・今昔」 大野五郎	大野 五郎 伊勢 正史 聞き手 結 城	主体美術	77	特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[岡崎乾二郎]		Bank- ART Life 創刊号
猛虎・超然・独立の 大家—大橋翠石と画 業—	村田 隆志	美 学	223	特集 水木しげる 一人の中の妖怪たち	岡崎乾二郎	ユリイカ 511

領域を超えて資料を踏査 思想としての日本近代建築 八束はじめ著

" 東京 9.18

特集 建築と書物 建築家的読書術 建築家ピラネージの現代性

岡田 哲史 10 + 1* 38

調査ノート 岡田三郎助の生家について

松本 誠一 佐賀県立博物館・美術館報 134

岡田三郎助のサインがしめすもの

" 佐賀県立博物館・美術館調査研究書 29

女性作家にインタビュー! MOTアニマルの試み

岡田 裕子 ギャラリー一* 238

岡田史子「ホリデイ」を読む

鈴木 賢子 カリスタ 12

新刊紹介 陶一岡田裕作品集

陶 説 633

ひと 第6回上野彦馬賞を受賞した写真家 岡原功祐さん

井上 俊樹 毎日 11.19

惜別 漫画家 岡部冬彦さん 地図と時刻表、最期まで

小原 篤 朝日夕刊 6.13

「風のサブロウサマに会えるか」大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2000 フロッタージュ・コラボレーション・松之山プロジェクト

岡部 昌生 札幌大谷短期大学紀要 36

「問いのかたち」の喪失 広島とヒロシマの境界線、字品のプラットフォームの解体。

" " "

ひと 「場所の記憶」を写し取る美術家 岡部昌生さん

佐藤 亜季 朝日 7.30

山形からのムーブメント 山形の自然環境と本学の存在そのものが秘める大きな可能性

岡村桂三郎 Fontaine 39

アトリエの扉をあけて64 ミニマムな線で描くカタチの魅力 岡村慎一郎

杉瀬 由希 デザインの現場 144

ウナギアート故郷の美 なめした皮を染め張り絵、島原の素材で島原描く

岡村智佐子 日経 7.27

PAPER IN MY WORK 98 岡本一宣 デザインの条件は自分でつくる

中村 真理 デザインの現場 141

北大路魯山人と岡本家の人びと[岡本一平]

佐々木秀憲 陶 説 632

AT205 Remarkable PERSON 『明日の神話』再生プロジェクト始動 平野暁臣さんがプロデュース[岡本太郎]

アート 205

尾形光琳《紅白梅図屏風》と現代絵画—岡本太郎と中西夏之の見解をめぐって—

北澤 憲昭 跡見学園女子大学人文学フォーラム 3

岡本太郎の最高傑作 巨大壁画「明日の神話」再生プロジェクト始動

ギャラリー一* 243

岡本太郎の巨大壁画が35年ぶりに発見 記念の展覧会も開催へ

新美術新聞 1059

北大路魯山人と岡本家の人びと

佐々木秀憲 陶 説 632

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 岡本太郎巨大壁画「明日の神話」再生プロジェクト始動

美術の窓 263

奇想遺産 太陽の塔 日本[岡本太郎]

隈 研吾 朝日 8.7

岡本太郎の巨大壁画修復へ

西田 健作 朝日夕刊 6.7

Shot05 目覚め待つ太郎の祈り 幻の巨大壁画「明日の神話」進む修復作業

田中 三蔵 " 11.25

よみがえる岡本太郎の色彩 異国で放置「幻の巨大壁画」修復着々

広谷 雅臣 産経 10.28

TOKYO発 いま 岡本太郎さん「危険な道に賭けよ」若者の師残した言葉心揺さぶる

浅田 晃弘 東京 8.30

ベール脱いだ幻の巨大壁画 故岡本氏「明日の神話」修復作業進む

" 12.6

大波小波 高松塚古墳の現在[岡本太郎]

(愛国者) 東京夕刊 5.27

春秋[岡本太郎]

日経 3.15

かたち百景 ハート形土偶 岡本太郎も“電撃”走った

(竹) " 5.8

故岡本太郎さんがメキシコで制作 壁画再生の計画始動

" 6.7

文化往来 岡本太郎の巨大壁画、修復へと導いた情熱

" 6.11

岡本太郎さん幻の大 作 巨大壁画修復始 まる		日 経	7. 17	日々好日 師と奥多 摩[奥田元宋]	宇佐美江中	"	1067
岡本太郎の壁画「明 日の神話」よみがえ った	高瀬 浩平	毎 日	12. 6	フェイス21世紀73 奥谷太一 等身大の 世界	常盤 茂	"	1049
ラウンジ 巨匠の大 壁画返還支援[岡本 太郎]		読売夕刊	6. 24	百寿への熱きメッセ ージ 百歳の日本人 画家	奥谷 博	"	1052
博物学的美術史 File. 3 [古墳壁画 と巨大壁画のSOS] [岡本太郎]		美術の窓	267	巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 洋画家・奥谷博氏イ ンタビュー 石膏デ ッサンはそれを描く 姿勢が大事	奥谷 博 談 編 集 部 文責	美術の窓	267
しもべの時間	岡本 文一	明星大学 研究紀要	13	未来を担う美術家達 「DOMANI・明日」展 のこと	奥谷 博	連盟ニュー ース	413
巻頭特集 よみがえ る伝統木版画 伝統 からの出発 岡本流 生 初恋の眼差しを 彫る	辺 見	版画芸術	129	ギャラリー・レビュ ー 東京エリア	奥村 雄樹	美術手帖	
特集 アーキテクチ ャー&アート進化系 アーティストが美術 館をデザインした ら?	雄川 愛	STUDIO VOICE	351	八田政玄 art& river bank			859
美の美 新南画の挑 戦—芋 銭と放菴 上、中、下[小川芋 銭]	宝玉 正彦	日 経	8. 28、 9. 4、11	吉田重信 a pie ce of space APS			"
視点 模絵を描いて	小川 尊一	美術の窓	262	安藤正子 Pro ject Room/Tomio Koyama Gallery			"
百寿への熱きメッセ ージ 私たちの片岡 球子先生	荻原季美子	新美術新 聞	1052	山極満博 ギャラ リー覚			861
碌山の画帖から[荻 原守衛]	基 俊太郎	碌山美術 館報	25	斉藤夏美 OFF SITE			"
九十四回碌山忌記念 講演会記録 碌山と 私と西洋[荻原守衛]	飯田 善國	"	"	小粥丈晴 メゾン エルメス8階フォ ーラム TARO NASU GALLERY			"
九十四回碌山忌研究 発表 荻原守衛絵画 作品の考証—改題と 亡失作品について—	幅谷 啓子	"	"	池田孔介 旧坂本 小学校第四展示室			862
碌山の彫刻と人柄 [荻原守衛]	笹村草家人	"	"	池田龍雄 Gal lery—58			"
荻原守衛・青春日記 (三) 『つくまのな べ』—新注訳つき—	榊原 好恭	"	"	辰野登恵子 SHUGOARTS			"
近代美術の東京 荻 原守衛 女	大谷 省吾	読 売	10. 14	中田寛也 ART TRACE Gallery			863
奥田元宋回顧展によ せて	奥田小由女	新美術新 聞	1065	Moving Collection : Body-Con Last Dance NADiff			"
意義深いお二人の業 績[奥田元宋・奥田 小由女]	大山 忠作	"	"	長谷川ちか子 レ ントゲンヴェルケ			"
回顧展によせて[奥 田元宋・奥田小由 女]	鈴木 竹柏	"	"	田中功起 東京芸 術大学絵画棟716 スタジオ			864
画商としてより人間 的に親しく[奥田元 宋・奥田小由女]	夏目 四郎	"	"	村本崇洋 AGOSTO SHOP			"
				西原功織 TARO NASU GALLERY			"
				カプセルフィギュア 「カプセル文化講座 石膏デッサン入門」	"	"	863

巻頭特集 よみがえる伝統木版画 アンケート伝統木版画の魅力	奥山 義人	版画芸術	129	企画はケチらずに出せ! 押井塾秘話	押井 守、 神山 健二 談		
視線 山水戀圖 奥山民枝著	南 伸坊	朝 日	9.18	花、風景、スード 押江千衣子の三段跳び		芸術新潮	664
百年のひまわり 小栗昌子著		日 経	11.27	Go! Artists Go! 14 尾関立子	柘植 響	美術手帖	865
銀座ギャラリー日記 アーティストの思いを聴く[尾崎ユタカ]	栗田 玲子	朝日夕刊	8.11	特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 小田 扉	宮 昌太朗	STUDIO VOICE	354
特集 都市建築の発展と制御 委員会活動の総括7 都市建築の原型と今日的展開	小沢 明	建築雑誌	1540	特集 アートブック ガイド2005 プロが 読んでる美術の本27 テーマ300冊 アー トを多角的にとらえ るためのブックガイ ド 人類学とアート がわかる	小田昌教+ ラダマサノ リ(a. k. a. イルコ モンズ)	美術手帖	859
特集 「アーティスト」になる基礎知識 アーティストのための 撮影講座	オザワエイ イチ	美術手帖	861				
特集 日本のトリエン ナーレ INTER- VIEW 小沢剛 現 場に足を踏み込んで、 やりたいことをやる	小沢 剛 談	ギャラリ ー*	245		榎木 野衣 小田マサノ リ 工藤 キキ 山本ゆうこ ヲノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキ ラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘		
特集 アーキテクチャー &アート進化系 アーティストが美術 館をデザインしたら?	小沢 剛	STUDIO VOICE	351	殺す・な博ドキュメ ント		"	865
40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第貳号 [小沢剛]	昭和40年会	美術手帖	861				
横浜ドキュメント 2005 5 横浜トリ エンナーレ2005緊急 アンケート	小沢 剛	"	873	再始動した飴屋法水 と話題騒然の展覧会 を証言と批評で検証 する「バング メント」展とはな んだったのか「バ ングメント展」に ついて「バング ド領域」	小田マサノ リ	"	871
ホモ・テクニクス、 ホモ・ナトゥーラ 《2》マイブリッ ジ、押井、そしてカ ッツ[押井守]	高橋 透	水声通信	2				
視覚・聴覚を日常から 切り離す! [押井 守]	編 集 部	STUDIO VOICE	359	コミック教養講座 無 FOR SALE 小 田島等[著]	湯浅 学 朝 日	5.29	
特集 人形愛 景色 としての日本・人形 ・アニメ	押井 守	ユリイカ	506	[特集]ガンダム行き ます! 『ガンダム 展』出展作家アンケ ート	小谷 元彦	ART iT	8
特集 攻殻機動隊 STAND ALONE CO- MPLEX		"	512				
アニメはこの世界 へと繋がっている 公安9課が解散す る日[押井守]	東 浩紀、 神山 健二 談			特集 アーキテクチャー &アート進化系 金沢21世紀美術館ア ンケート	エルンスト ・ネット 小谷 元彦 高木 正勝 石渡 誠 笹口 数	STUDIO VOICE	351
並列化する世界の中 で アムス⇄東京 往復メール[押 井守]	"			境界線上の開拓者た ち9 小谷元彦	斎藤 環	美術手帖	862

平成17年定期刊行物所載文献(近/作オ)

特集 新しい伝説の 聲立 マシユー・パ ーニー「拘束のドロ ーイング」 滝本誠 ×小谷元彦×ヴィ ヴィアン佐藤 マシ ユー・パーニーに 関する「上」と「下」の謎	白坂 構成 ゆり	美術手帖	868	
ガンダム展 作家に 聞く 下 リアルな 死に疑似戦争体験 アーティスト小谷元 彦さん	岡本 耕治	産 経	11.10	
そこまでやるか 新 ・職人 列伝6 800 年の響き未来へ 小 田部庄右衛門		日経タ刊	8.4	
彫刻家・小田谷史弥 とめぐる仏像の世界 唐招提寺の名宝から よみとく み仏たち の造形と歴史 唐招 提寺展		ア ー ト ト ッ プ	201	
Close-up33 落 田 洋子 自由奔放な想 像の表現		ギャラリ ー*	241	
クリエーターズワー ク&ソウル 小津誠 一		A X I S	113	
Europe Today 2004- 2005 “In-between” [尾仲浩二]	編 集 部	STUDIO VOICE	355	
特集 荒川修作の 《死に抗う建築》 気 配の機能 まだ見ぬ 機能主義へ	小野 暁彦	水声通信	1	
“Resonance”(レゾナ ンス・共鳴) ニュ ージャーの5人 のアジア女性アー ティスト[小野知美]	由本みどり	美術運動 史研究会 ニュース	74	
コミック教養講座 not simple オノ・ ナツメ[著]	南 信長	朝 日	4.10	
Europe Today 2004- 2005 “In-between” [小野博]	編 集 部	STUDIO VOICE	355	
わたしのお気に入り もやもやのかけら カステル・ペラン ジェのガラスブロック	小野 祐次 談	芸術新潮	670	
連載:日本実験映像 史23 フルクサス・ フィルムとオノ・ヨ ーコ	西村 智弘	あ い だ	110	
オノ・ヨーコ 緊急 来日インタビュー SKY TV for HOK- KAIDO We're All Water	楠見 清	美術手帖	873	
昭和版画家伝 3 小野木学 青き空間 の哲学	菅原 猛	版画芸術	128	

小野木重勝先生を偲 んで	西澤 泰彦	建築史学	44	
絵はがきでたどる鉾 山史 近代産業支え た風景を収集、解説 付け今に伝える[小 野崎一徳]	井上 真治	日 経	8.4	
特集 私はここに いる “EARTH”と私	小野田 勝	自由美術	2005	
アーティスト訪問17 オノデラユキ		ギャラリ ー*	238	
女性作家にインタビ ュー! MOTアニュ アルの試み	オノデラユ キ	”	”	
オノデラユキ カメ ラのいけない使い方		芸術新潮	663	
移動するカメラ	オノデラユ キ	国立国際 美術館月 報	146	
「浮遊感と安定感と ーオノデラユキと Les KiKi」	林 洋子	”	”	
《古着のポートレー ト》No. 52 1997 オノデラユキ(1962 〜)	島 敦彦	”	”	
特集 本の魅力を引き 出すブックデザイ ン 尾原史和 「分 かりやすさ」でやり とりをする	渡部 千春	デザインの 現場	143	
建築家・小尾嘉郎の 経歴と建築活動に関 する研究	佐藤 嘉明	日本建築 学会計画 系論文集	587	
巻頭特集 新・現代 版画スタイル		版画芸術	127	
版画=情報 於保 政昭	於保 政昭			
対談編 「デジタル 」とは何か? 「版 画」の新しい概念 を考察する	五十嵐 英 之、於保 政昭 対談 岡 部 取材・構成			
版画=革新 小保 方祥子	小保方祥子			
巻頭特集 よみがえ る伝統木版画 伝統 からの出発 小山松 隆 モダンに回帰す る伝統	松 山	”	129	
歴史画を描く	折井 宏光	展覧会だ より	5	
折井宏光と「歴史画」	平岡 照啓	”	”	
マイバランス 写真 で初の報酬1万8000 円。社会人になった と実感 写真家 織 作峰子さん		日 経	12.11	

介護生活をアートに
して 上、下 美術
家折元立身さん 寺田 理恵
聞き手 産 経 11.18、
25

図版解説 カラー図
版解説 恩地孝四郎
<音楽作品による抒
情No3. ラベル「道
化師の朝の歌」>、
『飛行官能』 西山 純子 浮世絵芸
術 149

(カ)

日展をひかえて 吹
分けの面白さ 海内 保 日展ニュ
ース 118

特集 私はここにい
る 描く 海妻 直人 自由美術 2005

私がやっています ガ
ラス工芸作家改田奈
音子さん 古代の輝
きを放つガラス 小島 正美 毎日夕刊 7.7

特 集 1 BankART
Life 作家+作品紹
介[開発好明] Bank-
ART Life 創刊号

横山大観の香川勝廣
宛て書簡について 萬木 康博 ふくやま
美術館研 究紀要 3

表現自在 写真の古
典技法 鉛筆を使っ
て古びた味わいが出
せる印画法を復活 香川 久士 日 経 5.18

特集 私はここにい
る 胸さわぎ 鍵谷美智子 自由美術 2005

神宮名品解説 神宮
美術館所蔵奉納美術
品 日本画「富士」
[加倉井和夫] (中村) 瑞 垣 201

日々好日 無題 掛井 五郎 新美術新
聞 1048

特集 ギャグまんが
大行進 増殖式 駕
籠真太郎漫画の笑い
について 阿部 嘉昭 ユリイカ 503

日々好日 八王子に
住んで 笠井 誠一 新美術新
聞 1052

作家の貌17 笠井誠
一 一井 建二 美術の窓 265

日展をひかえて 母 司辻 光男 日展ニュ
ース 118

ただいま進行中! 国
際美術展の愉快なた
くらみ 川俣 正、
笠原美智子、大西
司会 遠 近 7

アクリリックス・ワ
ールド30 笠原梨絵
子 石井 芳征 美術手帖 872

受賞者インタビュー
132 BIX・メ デイ
ア・コンペティショ
ン 梶高慎輔 ギャラリ
ー 246

総力レビュー2004
ファインアート 写
るだけでいいのか 柏原えつと
む 木野評論 36

骨董十二時(第二回)
余韻[柏木晴光] 花斗 秀男 目 の 眼 342

ひらがな日本美術史
【連載】その百十四
堂々たるもの 竹久
夢二と梶原緋佐筆
「唱へる女」 橋本 治 芸術新潮 665

殺す・な博ドキュメ
ント 榎木 野衣
小田マサノ
リ 工藤 キキ
山本ゆうこ
ヲノサトル
宇治野宗輝
伊東 篤宏
カスガアキ
ヲ 田中偉一郎
山川 冬樹
点
木下 勝弘 美術手帖 865

日々好日 私の「聖
なる小空間」 片岡真太郎 新美術新
聞 1071

片岡球子の「日本画」
から「日本画」よ、
どこへ行くのか (hhk) アートペ
ーパー 67

片岡球子語録 新美術新
聞 1052

百寿への熱きメッセ
ージ " "

百歳の年輪[片岡
球子] 平山 郁夫

片岡先生百寿のお
祝い 郷倉 和子

片岡先生に係われ
た幸せ 田淵 俊夫

全力で走り続けた
百年[片岡球子] 松尾 敏男

片岡球子先生の満
百歳を寿ぎて 松村 公嗣

お祝いにかえて
[片岡球子] 角島 直樹

私たちの片岡球子
先生 荻原季美子

片岡先生との御縁 高橋 節郎

愛知県立芸大と片
岡球子先生 島田 章三

百歳の日本人画家
[片岡球子] 奥谷 博

片岡先生と潮展 雨宮 敬子

百歳を記念する画
展を祝って[片岡
球子] 犬丸 直

片岡球子先生 山本 直彰

平成17年定期刊行物所載文献(近/作カ)

片岡先生とのお付き合い	夏目 四郎			卓男さんを偲ぶ[加藤卓男]	黒田 和哉	〃	624
画家 百歳の気迫 片岡球子さん個展		読売夕刊	1.7	評伝 土と炎の造形 美追求 加藤卓男さん死去 にも見識	有海 千尋	東京	1.12
平成15年度指定研究 片桐聖子シンポジウム「日本画の可能性」	片桐 聖子 西田 俊英 倉島 重友 北田 克己 藁谷 実正 佐々木	広島市立 大学芸術 学部紀要	10	文化往来 ペルシャ にあこがれ続けた加 藤卓男氏		日 経	1.13
山古志の温かさ写し 出す 村人を撮り続け 30年、レンズ越しに 復興を見守る	片桐 恒平	日 経	1.20	追悼抄 陶芸家加藤 卓男さん 玉虫色の 輝き追い求め	市来 哲郎	読 売	1.30
天理 ビエンナーレ 2005 大賞は片口直 樹氏に決定		新美術新聞	1069	ピカソ・唐九郎とパ リッシー、ミロのこ と8~11[加藤唐九 郎]	鶴 勲	陶 説	622~625
熊本・近代100年を 彩る二つの作品[堅 山南風]	古家 良一	V i e w	114	荒川豊蔵と加藤唐九 郎一桃山陶の美に魅 せられた二人の軌跡	唐澤 昌宏	〃	624
視点 「マリといった 夏」という夏	片山 雅博	美術の窓	264	現代工芸作家シリー ズ16 魔術師たちの 贈り物 加藤智也	富田 康子	ア ー ト ッ プ	201
講演会記録 香月泰 男の世界(シベリア ・シリーズ)	立花 隆	石川県立 美術館だ より	256	聴く見る遊ぶ 月の 砂漠 加藤まさを 叙情画家でも多くの 業績 きょう親族ら 「会」発足	榎本 哲也	東京	4.1
ことばの泉 香月泰 男	栗津 則雄	東京夕刊	6.7	巻頭特集 天地道遙 ・いざ山水へ 我が 心の山水 自分自身 が溶け込んで行くの ではなく自然の中に 身一点を感じる	加藤 良造	ア ー ト ッ プ	203
メトロポリタン美術 館ご用命の御刀	月山 貞利	刀剣美術	577	百寿への熱きメッセ ージ お祝いにかえ て	角島 直樹	新美術新聞	1052
新指定の文化財[重 要無形文化財の指定 ・保持者の認定(各 個認定)] [工芸技 術] 竹工芸 勝城 一二(雅号 勝城蒼 鳳)	文化庁文化 財部	文化財*	504	表現の視座・8 時 の美	門屋 武史	主体美術	78
日展会員賞制作意図 「波紋」	勝野 眞言	日展ニュ ース	119	風に解かれた人々 金沢靖著		日 経	2.13
視線 赤い雪 勝又 進著	南 伸坊	朝 日	11.20	神宮名品解説 神宮 美術館所蔵奉納美術 品 工芸「象嵌銅 花瓶」[金森映井智]	(深田)	瑞 垣	201
特集 生活デザインの 素 日本民芸館へ いこう IVエッセイ 8人のプリズム 緑 の誘い	勝本みつる	芸術新潮	667	日々好日 旅の見あ る記	金守世士夫	新美術新聞	1059
ROUND TABLE 2005	宮内 嘉久 桂川 寛 中村 光行 森口 宏一 池田 龍雄 中村 宏	あ い だ	112	越の國の空の下 金 山正夫著		日 経	4.3
郷土の美術—資料紹 介— 東山大観音と 作者門井耕雲につい て	角田美奈子	名古屋市 美術館研 究紀要	13	特集 アート界最後 のカルスマ!? マシ ュー・バーニーの世 界 Who is MB? by the young artists	クリス・ル ビノ 佐藤 姿子 金氏 徹平 名和 晃平	STUDIO VOICE	356
わたしの宝もの7 「タゴール展図録 (1988)」	加藤 史応	新美術新聞	1074	TUAD人クローズア ップ 東北に、日本 に、世界に発信する 教授陣18 金子透 美術科工芸コース助 教授(金属工芸)		Fontaine	41
加藤舜陶先生の逝去 を悼む	仲野 泰裕	陶 説	629				

フェイス21世紀77 金子朋樹 気合いで 挑戦し続けたい	油井 一八	新美術新 聞	1060
古典が息づく現代の 工芸 金重陶陽「備 前耳付水差し」と桃山 時代の備前焼	唐澤 昌宏	淡 交	725
金重陶陽の近代性	外館 和子	陶 説	626
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [金森修]	編 集 部	STUDIO VOICE	355
加納豊廣一染めと織 りにかけた生涯一	中村 康人 神 英雄	石見美術	3
狩野芳崖筆《霊鷲山 図》考	梶岡 秀一	愛媛県美 術館年報 ・研究紀 要	4
研究発表(要約) 狩 野芳崖筆「仁王捉鬼 図」の位置	荒井 経	近代画説	14
「悲母観音図」ノート あるいは私論[狩野 芳崖]	井土 誠	下関市立 美術館研 究紀要	10
所蔵品余談 狩野芳 崖の謎(その二)	(I)	潮 流	81
狩野芳崖とミケラン ジェロ	井土 誠	"	83
雪舟・雪村と狩野芳 崖	影山 純夫	天開図画	5
日展をひかえて 制 作前に	叶 道夫	日展ニュ ース	118
語り継ぐ 東京大空 襲から60年 上 炎 の夜 火の海家族と 生き別れ[狩野光男]	柳沼 広幸 奥田 薫子	朝 日	3.8
今月の読書 『彼末 宏画集』脈打つそ の生涯の軌跡	常盤 茂	新美術新 聞	1044
古典が息づく現代の 工芸 鎌倉芳太郎の “紅型”―「印金龍型 着物・槍」	今井 陽子	淡 交	726
TUAD人クローズア ップ 東北に、日本 に、世界に発信する 教授陣16 上條喬久 情報デザイン学科教 授		Fontaine	39
丸山映先生を偲ぶ	上條 文穂	沖縄県立 芸術大学 紀要	13
国立新美術館を巡る 『六本木』か『上野』か 女流展は国立新美術 館へ	上條 陽子	連盟ニュ ース	412
コミック教養講座 悪魔のようなあいつ 阿久悠[原作]上村一 夫[著]	吉田 豪	朝 日	1.30

巻頭特集 時代を変 えるアーティスト 評論家・キュレータ ー・美術記者が選ぶ 神谷睦代 神谷睦代 に期待―昭和会の彫 刻から	瀧 悌三	美術の窓	259
特集 攻殻機動隊 STAND ALONE CO- MPLEX		ユリイカ	512
アニメはこの世界 へと繋がっている 公安9課が解散す る日	東 浩紀、 神山 健二 談		
This Is Not A Re- s. A. C. 孤人複合体 という代替現実群 [神山健二]	ドミニク・ チェン		
並列化する世界の中 で アムス→東京 往復メール	東 浩紀、 神山 健二 談		
企画はケチらずに出 せ! 押井塾秘話	押井 守、 神山 健二 談		
世界はそれもまた 愛と呼ぶんだぜ 『S. A. C.』へと 至る神山健二の道 程	宮 昌太郎		
『S.A.C.』のGHOST 神山健二監督の発 言を中心に	藤津 亮太		
山下裕二の今月の隠 し球11、12 亀井徹 「ナルシスト」の実像 (上)(下)	山下 裕二	美術の窓	266、277
ひらがな日本美術史 【連載】最終回 卒業 式のようなもの 亀 倉雄策作「東京オリ ンピック」ポスター	橋本 治	芸術新潮	671
芸苑雑事記155 鴨 井玲没後二十年	瀧 悌三	美術の窓	265
今月の読書 『加守 田章二全仕事』強 靱でスケールの大き な制作意欲	金子 賢治	新美術新 聞	1066
巻頭特集 加山又造 の版画魂		版画芸術	128
加山又造の「線」に ついて	本江 邦夫		
銅板・リトグラフ 自由な発想で失敗 に学ぶ二人三脚の 「版」表現	木村 希八、 加山 万葵 対談 田 取材・構成		
木版画 伝統技術 でコラボレートす る現代版画	安 達 以 乍 牟、加山 対談 田 取材・構成		

平成17年定期刊行物所載文献(近／作カ)

あらたな加山研究 の始まり 加山又 造研究会発足	辺 見			戦争と思想の問題5 戦争の魅力を冷酷に 見つめて	かわぐちか いじ、 鈴木 隆之 編 集 部 文責	木野評論	36
加山又造グラフィ ティー				川口軌外《少女と貝 殻》について—その 図像と構図に見る西 洋美術の理解—	奥村 泰彦	美学芸術 学	20
人柄便び250人集う 加山又造氏一周忌		日経夕刊	4. 11				
特集 クリエイター のための独立ガイド ワークスタイル ジ ャナルを変更して仕 事を続ける 嘉陽寛 さん	渡部 千春	デザインの 現場	138	巻頭特集 不思議の 国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が 選ぶドイツこの逸品 フリードリヒ「海辺 の僧侶」	川口起美雄	美術の窓	260
コミック教養講座 漫画家超残酷物語 唐沢なをき[著]	南 信長 朝 日	12. 25		座談会：グループ 〈位〉を語る	河口 龍夫、 豊原 康雄、 中田 誠、 向井 孟 談 平井 章一 司会・編	ART RAMBLE	6
華の国まで	柄澤 齊	たいせつ な風景	3				
明治期・関西法律学 校学会の建築位相と 建築家・河合幾次— 江戸堀校舎・福島学 舎についての研究—	川島 智生	関西大学 年史紀要	16	受賞者インタビュー 126 第1回倉敷現 代アートビエンナー レ・西日本 川口 奈々子		ギャラリ ー*	239
陶芸家・河井寛次郎 の釉薬ノートの調査 研究(第2報)	川原 康孝	沖縄県立 芸術大学 紀要	13	デザインのことば— デザインボキャブラ リーの再定義[な]〜 [は]	川崎 和男	A X I S	113~118
2005年度日本芸術院 新会員決定 第一部 (美術)は、寺坂公雄 洋画、蛭田二郎 彫 刻、河合誓徳 工芸 の3氏		新美術新 聞	1075	毎日デザイン賞 山 中俊治氏 「テクノ ロジーと人間をつな ぐデザイン」	〃	毎 日	2. 23
拝啓こんな日々です 第31話 大切な場所 2 「みんな元気に」 流木に願い刻む[河 合齊]		日経夕刊	12. 21	Go! Artists Go! 16 川崎広平	柘植 響	美術手帖	871
匠の技を訪ねて 豊 橋筆 伝統工芸士 川合福男さん		産業技術 記念館館 報	36	日々好日 お花見	川崎 鈴彦	新美術新 聞	1056
“Day to day”, “Sign” and “Seek- ing”	川井 由夏	多摩美術 大学研究 紀要	19	花見の情景十選 1 ~10	〃	日 経	3. 24、 25、28、 29、31、 4. 1、4、 5、7、8
特集 写真集中毒の ススめ 写真集の 「つくり方」/制作者 たちの声 写真家・ 川内倫子インタビュー	編 集 部	STUDIO VOICE	352	第61回日本芸術院賞 決まる 恩賜賞に川 崎春彦氏		新美術新 聞	1053
特集 YOSHITOMO NARA + graf、AtoZ Artist's House : 川 内倫子	田邊 寛実	〃	358	「巴里 穏やかに時 は流れ—小杉小二郎 展」を見て “緑の画 家”といえるほど緑 色が主役	川崎 春彦	〃	1071
視線 CuiCui 川内 倫子著	飯沢耕太郎 朝 日	4. 10		日々好日 木彫・彩 色	川崎 普照	〃	1063
近代美術の東京 川 上涼花 太陽の下近 代の躍動	大谷 省吾 読 売	5. 10		次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 11 大藪雅孝—川嶋 陽介	川嶋 陽介 インタビュ アー	ギャラリ ー*	240
				昭和80年によみがえ った熱く黒い『地図』 [川田喜久治]		芸術新潮	669

河田小龍について—明治21年から明治31年の日記をめぐって—	上田 文	高知県立美術館研究紀要	6	特集 日本のトリエンナーレ トリエンナーレの実践者に聞く! 横浜トリエンナーレ 川俣正	川俣 正	”	245
小龍日記について[河田小龍]	河村 章代	”	”	川俣正 トリエンナーレはラディカルに	藤田 一人 聞き手	芸術新潮	671
レポート 日本刀の魅力が時と言葉と地理の壁を超えていく河内國平(刀匠)		目の眼	349	どうなる横浜トリエンナーレ2005 開催まで9カ月ディレクター交代 磯崎新氏辞任で川俣正氏に	(美)	新美術新聞	1044
交遊抄 宮司と刀匠[河内國平]	坂本 高彦	日 経	12.19	横浜トリエンナーレ2005テーマ決定 “アートサーカス(日常からの跳躍)” 総合ディレクター川俣正に聞く	新川 貴詩	美術手帖	862
画鬼 暁斎[河鍋暁斎]	ティモシー・クラーク 菊池 亮 訳	bandaly	4	特集 日本近現代美術史1905▶2005 川俣正 海外とのコンタクトの取り方	村田 真 聞き手・構成	”	866
[特集] ヴィジュアル・カルチャー・スタディーズ—作品からイメージへ11 明治一九年のギャラリー画—松浦武四郎コレクションの欲望について[河鍋暁斎]	岸 文和	美術フォーラム21	12	横浜トリエンナーレ開催記念 奈良美智×豊嶋秀樹(gra)×川俣正 「AtoZ」への長い長い旅	編集部 構成	”	871
奇想の画家が描いた庶民芸術 「国芳 暁斎 なんでもこいッ展だィ!」	生田 誠	産 経	1.18	特集1 横浜トリエンナーレ2005へ行こう! 全71プロジェクトの見どころをすべて網羅 総合ディレクター川俣正インタビュー 横浜トリエンナーレは、直球勝負でいきます!	村田 真 聞き手・構成	”	”
蒐集家としての画家たち[川西英]	金井 紀子	神戸市立博物館だより	87	対談 川俣正×藤田博史 「精神医療と芸術表現」	川俣 正、 藤田 博史 対談	美術の窓	262
日々好日 旅先での出会い	川西祐三郎	新美術新聞	1065	ただいま進行中! 国際美術展の愉快なくらみ	川俣 正、 笠原美智子、 大西司会	遠 近	7
巻頭特集 今、石膏デッサンは必要か。すいどーばた美術学院・学院長インタビュー 「受験に石膏デッサンは必要か」	中谷 見、 川畑 毅 談	美術の窓	267	ひと 横浜トリエンナーレの総合ディレクター 川俣正さん	田中 三蔵 朝	日	9.16
陶芸家・河井寛次郎の釉薬ノートの調査研究(第2報)	川原 康孝	沖縄県立芸術大学紀要	13	家族のこと話そう 川俣正さん 深く次の人生始めたおやじ	鈴木久美子 聞き手	東 京	2.19
ものの質感の表現について—1910年代半ばから1920年代の日本油彩画における光沢の表現をめぐって—[河辺昌久]	小林未央子	鹿島美術財団年報別冊	22	土曜訪問 国際展を引っ張る 境界を飛び越える発想力 川俣正さん(アーティスト)	稲葉 千寿	東京夕刊	11.12
横浜トリエンナーレ2005 川俣正インタビュー	染谷ヒロコ 取材・文	ART iT	7	文化往来 横浜トリエンナーレ、「川俣色」に注目		日 経	2.3
オピニオン2005 川俣正	上條 昌宏	A X I S	116	語る 美術家 川俣正 作品づくり、観客も主体	”	”	9.3
横浜トリエンナーレ2005総合ディレクター・川俣正氏インタビュー アーティストが生み出す国際現代美術展の新しい形とは?		ギャラリー	239				

平成17年定期刊行物所載文献(近/作カ、キ)

意欲満々の川俣氏
再出発横浜トリエン
ナーレ説明会 主催
者側は釈明なし

三田 晴夫 毎日夕刊 2.15

Weekly日誌 川俣 正 "

9月27日～10月3
日 横浜トリエン
ナーレ、大桟橋、
夜風 10.7

10月4日～10日
解説ツアー、雨の
会場、産業遺産 10.14

10月11日～17日
会場案内、失笑、
リアクション観察 10.21

10月18日～24日
建築とアート、対
談、温泉ツアー 10.28

第2回横浜トリエン
ナーレ 舞台は山下
ふ頭 テーマは「サ
ーカス」[川俣正] 読売夕刊 2.14

画家たちの美術史32
川村克彦 鷹見 明彦 美術手帖 870

松島や ああ松島や
松島や[川村清雄] 丹尾 安典 一寸 22

連載第18回 日本油
絵ノ進化 現今未来
ノ予想[川村清雄] 木下 直之 芸術新潮 667

目黒区美術館蔵 川
村清雄「高砂」修復
報告 山中 和人 修復研究
所報告 17

川村清雄作品 試料
片調査結果 宮田 順一 " "

特集 ランドスケ
ープ・デザインは建築
を変えるか? 建築
・都市空間とランド
スケープ・デザイン
3 建築とランドス
ケープとアートの境
界 川村 純一 建築雑誌 1536

特集 グラフィック
デザイナー 次に組
むならこの人 雑誌
ADに求められるの
は「視野の広さ」 川
村哲司 岡野 民 デザイン
の現場 144

川村信雄論—横浜洋
画壇の「青春期」を象
徴した画家の作品性
について— 内山 淳子 横浜美・
横浜市民
ギャラリー
—紀要* 7

この人 チャリティ
ー彩墨画展を開いた
関乃平さん 永峯 正義 東京 11.29

巻頭特集 新・現代
版画スタイル 版画芸術 127

版画=身体 神田
和也 神田 和也

制作現場編 スク
リーンプリントー
皮膚感覚に変換す
る装置 神田和也

岡 部

アクリリックス・ワ
ールド26 カンノサ
カン 石井 芳征 美術手帖 862

神原泰 研究—その
同時代西欧美術受容
者としての側面を主
に— 柳沢 秀行 鹿島美術
財団年報
別冊 22

(キ)

Europe Today 2004-
2005 "In-between"
[鬼海弘雄] 編集部 STUDIO
VOICE 355

交遊抄 生き方の達
人 鬼海 弘雄 日 経 5.7

惜別 ジャズ漫画
木川かえるさん シ
ヤイで洒脱 舞台の
天才 曹 喜郁 朝日夕刊 4.11

追悼抄 ジャズ漫画
家木川かえるさん
即興の絵筆 モダン
な舞台 佐藤 浩 読売夕刊 4.5

正論 循環型未来都
市が目指すべきもの
多様な文化が競演し
自然と共生 菊竹 清訓 産 経 6.20

正論 文化構築の中
心担う博物館の役割
文物の保存からイベ
ントの場へ " " 9.25

青森県立美術館 美
術館のシンボルマ
ーク決定! 菊池 敦己 A - ism 10

コミック教養講座
鉄子の旅 菊池直恵
[著]横見浩彦[旅の
案内人] 南 信長 朝 日 1.16

ROUND TABLE
2005 権田 萬治
毛利 ユリ
菊畑茂久馬 あ い だ 114
田中信太郎
近藤 竜男

この夏・2題一書評
・榎本野衣『戦争と
万博』/山田新一の
遺した戦争画資料に
ついて 菊畑茂久馬 " 116

絶筆十選 1～10 " 日 経 11.29、
30、12.1、
2、5、6、
8、9、13、
14

Weekly日誌 菊畑茂久馬 毎日夕刊

4月26日～5月2
日 歌合戦、俳句
と絵と、余震 5.6

5月3日～9日 草刈り、菖蒲湯、ムカデ			5.13	北大路魯山人と岡本 家の人びと	佐々木秀憲	陶 説	632
5月10日～17日 イタチ、行きつ け、幼なじみ			5.20	日々好日 霧晴れる	北岡 文雄	新美術新 聞	1045
5月18日～23日 画家菊畑茂久馬さ ん 東京、展覧会 巡り、呆然			5.27	巻頭特集 不思議の 国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が 選ぶドイツの逸品 「メレンコリア I」	北川 健次	美術の窓	260
5月24日～30日 梅干し、火の海、 最後のコーヒー			6.3	“風向、風力、トモ ニ多少ノ消長変転ア リタルモ…” 画家 ・北川民次の「海王 丸」—南洋を巡る60 日の航海—	(J.T.)	アートペ ーパー	66
竹内栖鳳の写本成立 契機としての岸竹堂	廣田 孝 美 学		220	日本のかたち〜京都 迎賓館 下[喜多川 俵二]	山上 直子	読 売	5.5
岸田日出刀/前川國 男/丹下健三 日本 における建築のモダ ニズム受容をめぐっ て	磯崎 新 日埜 直彦 聞き手	10 + 1 *	41	平成15年度指定研究 片桐聖子シンポジウ ム「日本画の可能性」	片桐 聖子 西田 俊英 倉島 重己 北田 克己 藁谷 実正 佐々木	広島市立 大学芸術 学部紀要	10
新・旧刊案内22 昭 和十八年の劉生と文 楽の首と大小暦、そ の他 附「岸田劉生 十五周年油絵素描回 顧展」目録	青木 茂 一 寸		22	[特集2]アウグスト ・ザンダー our faceプロジェクト… 見知らぬ誰かに会う 肖像写真の旅	北野 謙	現代の眼	554
ものの質感の表現に ついて—1910年代半 ばから1920年代の日 本油彩画における光 沢の表現をめぐって —[岸田劉生]	小林未央子	鹿島美術 財団年報 別冊	22	視線 our face 北 野謙	都築 響一 朝 日		7.17
美学会第56回全国大 会発表要旨 一九二 〇年代日本における アヴァンギャルド美 術の消費空間—一九 二二年岸田劉生個人 展覧会をめぐって—	中間 志織 美 学		223	写真集 静かに消失 …そして再生 「our face」[北野謙]	稲垣 真澄 産 経		8.7
芸苑雄事記154 梅 原と劉生のこと	瀧 悌三	美術の窓	264	our face 北野謙著		日 経	6.26
岸田劉生の日記を読 む	東 俊郎	三重県立 美術館研 究論集	4	みづゑ100年 記念 絵本の未来を知りた くて きたむらさと し	來嶋 路子	み づ ゑ	74
日記から 50人、50 の「その時」23 岸田 劉生 大正12(1923) 年9月1日	坪内 祐三	毎 日	9.4	表現の視座・7 制 作の原点	北村 奈美	主体美術	77
近代美術の東京 岸 田劉生 道路と土手 と塀(共通之写生)	大谷 省吾	読 売	1.18	薔薇を描く	北村 正己	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30
フェイス21世紀75 岸野香 自然体で歩 む	油井 一八	新美術新 聞	1055	当館所蔵品より 共 同制作《浦島物語》昭 和12(1937)年[北 脇 昇]	清水佐保子	京都市美 術館ニュ ース	190
日展をひかえて 松 本平にて	岸野 圭作	日展ニュ ース	118	特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[城戸崎和佐]		Bank- ART Life	創刊号
新年特集 年男年女 に聞く	北 久美子	新美術新 聞	1044	巻頭特集 至福のミ ュージアム 日本美 術の奥座敷 絢爛た る彫刻の宇宙 日光 東照宮	網谷 幸二	ア ー ト ト ッ プ	201
フェイス21世紀82 喜多祥泰 新たな課 題にいざ挑む	油井 一八	〃	1074	ことばのデッサン 連載15～20	網谷 幸二	〃	201～206
				青春プレイバック 網谷幸二 東京・上 野 東京芸術大学	石川 晶子	新美術新 聞	1044

平成17年定期刊行物所載文献(近ノ作キ、ク)

フェイス21世紀74 絹谷幸太 真摯な情 熱が原点	油井 一八	新美術新 聞	1052
殺す・な博ドキュメ ント	榎木 野衣 小田マサノ リ 工藤 キキ 山本ゆうこ ヲノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキ ラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘	美術手帖	865
【論文紹介(二〇〇三 年度同志社大学大学 院修士論文梗概)】 英文写真集『FOUR JAPANESE PAINT- ERS』を読む—写真 史上の系譜と日本画 家への眼差し—[木 村伊兵衛]	藤野 香	美学芸術 学	20
コミック教養講座 実録勝新太郎伝説 昭和無頼編 勝新太 郎[原作]木村栄志 [画]大石賢一[脚本]	吉田 豪 朝 日		9.5
交遊抄 20歳の肖像 画[木村恵子]	小島 敏郎 日 経		7.14
木村茂 「石」を描く	辺 見	版画芸術	127
境界線上の開拓者た ち7 木本圭子	斎藤 環	美術手帖	859
特集 物語る絵画 読み解きたい欲望を そそるメディア KYOTARO 物語や 設定から絵は独り立 ちしていく	矢田明美子	"	865
慶應義塾所蔵作品調 査・保存活動 1.清 川 泰次『Painting No. 187』の修復	小林 嘉樹 柳 担当 井 井 記	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	12
日々好日 堂々巡り のアトリエ	清原 啓一	新美術新 聞	1075
コミック教養講座 千利休 清原なつの [著]	湯浅 学 朝 日		2.13
八代清水六兵衛一二 五年の陶業	諸山 正則 陶 説		628
清水家八代目を背に —清水六兵衛の陶造 形—	藤 慶之	"	"
コミック教養講座 赤灯えれじい きら たかし[著]	湯浅 学 朝 日		8.28
クリエイターズワー ク&ソウル 桐本泰 一		A X I S	117

桐谷夫妻の一期一絵 親愛なる水の都 ベ ネチア(イタリア) [桐谷逸夫]	桐谷 逸夫 読 売	7.12
心の師 金城次郎先 生を偲んで	大塚 清吾 陶 説	624
金城次郎さん 沖縄 最初の人間国宝に	福島 建治 朝日夕刊	1.24
追悼抄 金城次郎さ ん 沖縄の土こね続 け	迫田 修一 読売夕刊	2.8

(ク)

吉祥 「霧になれない」 クサナギシン ペイ	山本 麻実 みづゑ	73
どーんと草間カボチ ャ 全版画集には元 気がいっぱい[草間 彌生]		芸術新潮 665
草間彌生のLOVE FOREVER 第1回 〜第6回	草間 彌生 STUDIO VOICE	355〜360
『草間彌生全版画集』 刊行 草間彌生の版 画	建昌 哲 版画芸術	127
草間彌生とミニマリ ズム—鑑賞者と時間 —	三上真理子 美 学	220
特集 日本近現代美 術史1905▶2005 草 間彌生 スキャンダ ルの女王から世界の KUSAMAへ	建昌 哲 美術手帖	866
世界の「クサマ」、評 価うなぎ上り 現代 美術で日本人最高額	山盛 英司 朝 日	6.22
第1回みづゑ賞 絵 本部門・審査員特別 賞 スズキコージ賞 楠井里枝さん	スズキコー ジ みづゑ	74
楠部彌式の鶏香盒	(Sm) HILL WIND	7
コミック教養講座 暴れん坊本屋さん 久世番子[著]	南 信長 朝 日	10.2
「デザインの果たす べき役割」『ネク スト・ソサエティ』 P. F. ドラッカー 著/上田惇生訳	工藤 青石 A X I S	113
表現の視座・7 私 の不思議	工藤 悦子 主体美術	77
新年特集 年男年女 に聞く	工藤 和男 新美術新 聞	1044
作家訪問346 造形 作家 工藤茂喜さん	編 集 部 目の眼	349
DVDによる塑造関 連技法書 「塑造へ の誘い」	工藤 健 多摩美術 大学研究 紀要	19

国沢新九郎筆《ランプと洋書》について	土屋 裕子	MUSEUM	599	シドニーオペラハウス オーストラリア				5.8
	国吉 直行、齋藤 潮、進 士 五 十 八、團 紀彦、土田 旭、邦碩、倉田 直道、司会 真野 洋介	建築雑誌	1527	ロンシャン礼拝堂 フランス				6.5
特集 景観まちづくりの展望 座談会 景観緑三法とわが国の景観まちづくり				ビルバオ・グッゲンハイム美術館 奇抜さ 街と芸術の行く末は				7.10
				太陽の塔 日本				8.7
				ジョンソンワックス本社ビル アメリカ				9.18
須田寿先生を偲ぶ 江戸っ子気質を感じる気遣いと厚い信義	久野 和洋	新美術新聞	1048	ベルリン・ユダヤ博物館 ドイツ				10.16
気鋭新鋭 近森基さん 久納鏡子さん (メディア・アーティスト) 現実と仮想のはざまで創作	(良)	読売夕刊	3.25	シュレーダー邸 オランダ				11.13
				ル・ランシーのノートル・ダム教会 フランス				12.18
特集 私はここにいる 私はここにいる	くばけいこ	自由美術	2005	建築家・P・ジョンソン死去に思う「映像」のアメリカを象徴	〃	朝日夕刊	2.1	
わたしの一番22 洪紙 切り絵画家久保修さん 芸術生む鋭い「切れ味」	常松 鉄雄	朝 日	2.13	Shot05 アトリエを包む美術館 古さに新しさ重ね温かみ [隈研吾]	西田 健作	〃	4.8	
巻頭特集 日本の銅版画 メゾチントのマチエール 長谷川潔、浜口陽三からの出発 新しい作家たちの声 久保貴之	久保 貴之	版画芸術	130	『金沢』吉田健一著	隈 研吾	産 経	9.18	
第24回損保ジャパン美術財団選抜奨励展 大賞に後藤拓朗氏 [久保輝秋]	(美)	新美術新聞	1056	創作探訪 アートで魅せる半世紀の建築 隈研吾氏と巡る「アーキラボ」	窪田 直子	日 経	1.9	
第24回損保ジャパン美術財団選抜奨励展 受賞作品紹介 秀作賞 久保輝秋氏「坂道一'05」		産 経	3.9	半歩遅れの読書術	隈 研吾	〃		
久保木龍と子供たち 自遊な芸術家達	磯部 靖	美術の窓	265	吉田健一の世紀末論 成熟期の生き方を示唆			3.6	
《追悼》 岡本敏子さんとの思い出	窪田 修	あいだ	113	タウトの日本文化論 強い怒りに研究の成果			3.13	
				中国の「我的」建築 二項対立の図式超えて			3.27	
前衛華道家(小原流)とのコラボレーションによるテキスタイルの可能性	久保田繁雄	大阪成蹊大学芸術学部紀要	1	新 私のいる風景 隈研吾さん 竹格子の透き間から新しい風	高野 清見	読売夕刊	7.23	
特集 建築と書物 読むこと、書くこと、つくること	隈 研吾 五十嵐太郎 永江 朗	10 + 1 *	38	気ままに絵のみち 熊谷守一 別冊太陽 編集部編	湯原 公浩	産 経	7.2	
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術形の変わる有機建築、現る[隈研吾]		美術の窓	264	美の美 熊谷守一「いのち」の画家 上、中、下	宝木 正彦	日 経	3.20、27、4.3	
奇想遺産	隈 研吾	朝 日		一藤田嗣治1916年の足跡調査—イギリスへの旅、久米民十郎を訪ねて(その3)(その4)	笹木 繁男	美術運動史研究会 ニュース	71、72	
ゲートウエーアーチ アメリカ			4.10					

平成17年定期刊行物所載文献(近/作ク)

イチオシ！現代アーティスト 倉重迅さん	大波	綾	朝日夕刊	10.4	ユネスコ「平和のアーティスト」 僕の画家バルデュスの妻、節子さんに聞く [節子・クロソフスカ・ド・ローラ]	山口 昌子 産 経	4.12
平成15年度指定研究片桐聖子シンポジウム「日本画の可能性」	片桐西倉北麿谷佐々木	聖子英友克己実正	広島市立大学芸術学部紀要	10	世界文化賞受賞 バルデュス氏の夫人、節子さん 平和のための芸術家 ユネスコから任命	山口 昌子 産 経	1.9
紙短情長[graf]	服部	滋樹	A X I S	115	PARIS発 コスモガーデン3 [黒田アキ]	安部 雅延 新美術新聞	1069
特集 YOSHITOMO NARA + graf、AtoZ graf Stories What is graf...	原	久子	STUDIO VOICE	358	あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第37回～第39回 Anchi'io son' pittore!	稲賀 繁美 あいだ	118～120
サンフランシスコにおける展覧会とデモンストレーション	栗本	夏樹	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	49	余もまた画家なり、ばくかて画家です。一黒田重太郎覚書(上)(中)(下)		
日展をひかえて 半世紀の人形作りをふりかえて	栗本	雅子	日展ニュース	118	研究資料 公刊『黒田清輝日記』(上)	基信 祐爾 美術研究	387
日々好日 昭和初期の思い出	栗山	茂	新美術新聞	1072	研究発表(要約) 明治期東京美術学校油画作品にみるふたつの白一黒田清輝とフランス	作間美智子 近代画説	14
特集 ポストノイズ越境するサウンド・ディスクガイド 作曲か?	Great YEAr soundings		ユリイカ	504	みづゑ100年 記念 描き続けるために大切なこと 黒田征太郎	村上 圭一 みづゑ	74
わたしの失敗 建築家黒川紀章さん1～4	堀	晃和	産 経	12.6～9	PIKADONプロジェクト 生き残った者のメッセージ「戦争を忘れてはイケナイ」	黒田征太郎 東京夕刊	8.1
燃え上がる色彩 ゴッホ展 芸術家としての自画像 生命そのものに注ぐ	黒川	紀章	東京夕刊	4.12	原爆問い直そう 黒田征太郎さんら連続イベント	保泉 淳子 毎 日	7.5
丹下健三先生を悼む 近代建築に日本を表現 未来都市を模索	〃		日 経	3.24	第61回日本芸術院賞 決まる 恩賜賞に川崎春彦氏[黒野清宇]		新美術新聞 1053
長崎奉行所、現代にマッチ 長崎歴史文化博物館に江戸時代の建築を復元	〃		〃	11.4	イチオシ! 画家 桑久保徹さん	古知 朋子 朝日夕刊	8.30
詩人の感性と職人のこだわり デザイナー、黒川勉を悼む	川上典李子		デザインの現場	143	[特集]メディアアートって何だ? クワクボリョウタインタビュー	小崎 哲哉 ART iT	6
弄蘭荘根性ヤキ[黒川徳蔵]	丹尾 安典	一 寸		21	コミック教養講座 キングロボ 桑田次郎[著]	湯浅 学 朝 日	1.23
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画＝革新 黒木美希	黒木 美希		版画芸術	127		上野 弘道 池田 宗弘、桑山 賀行、中垣 克久、中村 義孝、日原 義孝、吉野 毅、渡辺 治美 談	ART LIBRARY 6
コミック教養講座 55歳の地図 黒咲一人[著]	吉田 豪	朝 日		7.17	座談会 具象彫刻の方向と現状Ⅱ		
コミック教養講座 モーニン! 川富士立夏[原作]黒沢明世[作画]	南 信長	〃		2.6			

(ケ)			私の小出楯重と近代 絵画 1~5	芳賀 徹	朝日夕刊	1. 7、 14、21、 28、2. 4
「幻触」とは何か	尾野 正晴	国立国際 美術館月 報 150	美の美 小出楯重一 複眼の魅力 上、 中、下	浦田 憲治	日 経	4. 10、 17、24
伝統と近代—もしくは は真実と事実あるい はタウトと剣持[剣 持勇]	森 仁史	一 寸 21	制作ノート 小井土 満	小井土 満	武蔵野美 術大学研 究紀要	35
[特集2]渡辺力: 地 文具・デザインの革 新 剣持勇と渡辺力	松本 哲夫	現代の眼 555	新しき誘惑への使徒 たちVol. 19 肥沼守		ア ー ト ト ッ プ	204
剣持勇 組み合わせ 家具 ラウンジテー ブル 修復報告	宮崎 安章	修復研究 所報告 17	百寿への熱きメッセ ージ 片岡先生百寿 のお祝い	郷倉 和子	新美術新 聞	1052
デザインの個性と出 自—剣持勇デザインの 特性	森 仁史	" "	ぐりとぐらに学ぶ、 くらしの基本 クリ エーターからのメッ セージ[合田経郎]	松永 絵菜 合田 経郎 あだちなみ	み づ ゑ	72
第61回例会の報告 伝統と近代—剣持勇 を通して	"	美術運動 史研究会 ニュース 72	コミック教養講座 モリのアサガオ 郷 田マモラ[著]	南 信長	朝 日	2. 27
(コ)			制作ノート 甲田洋 二	甲田 洋二	武蔵野美 術大学研 究紀要	35
次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 8 小杉小二郎—呉 亜沙	呉 亜沙 インタビュー アー	ギャラリー 一* 237	柳宗悦と有縁の人々 (23) 陶芸家 合田 好道	近藤 京嗣	陶 説	623
特集 ギャグまんが 大行進 『自虐の詩』 を奇跡と捨て置くの ではなく 小池田マ ヤ論	栗原裕一郎	ユリイカ 503	愛知県立芸術大学芸 術資料館蔵品紹介 (29)[河野鷹思]	白木 彰	愛知県立 芸術大学 紀要	34
Close-up35 コイ ズミアヤ 箱の中の 神聖な場所		ギャラリー 一* 243	特集 ストーリー構 成 ストーリーケー ススタディ3 こう の史代	このの史代 談	み づ ゑ	71
やきものことなど —細川護熙氏聞き書 き—[小泉淳作]	小泉 淳作	国華清話 会会報 5	第9回 手塚治虫文 化賞 新生賞「夕風 の街 桜の国」こう の史代さん	荒俣 宏 呉 智英 清水 勲	朝 日	5. 10
小泉誠 正直デザイ ンのすすめ		芸術新潮 670	旬の人 被爆一家の 漫画描き大賞 こう の史代さん 「ヒロ シマ」正面から見つ める	このの史代	日 経	2. 21
特 集 1 BankART Life 作家+作品紹 介[小泉雅生]		Bank- ART Life 創刊号	慶応義塾所蔵作品調 査・保存活動 2. 河 野通勢《箱根芦ノ湖 風景》の修復	小林 嘉樹 柳 井 担当・記	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	12
鏡像世界の密会 「恋月姫 ルナティ ック・パンテオン」 TALK SHOW 恋月 姫×やなぎみわ	樋口ヒロユ キ	美術手帖 861	女性作家にインタビ ュー! MOTアニ ュアルの試み	鴻池 朋子	ギャラリ 一*	238
特集 人形愛		ユリイカ 506	特集 物語る絵画 読み解きたい欲望を そそるメディア 境 界線上の開拓者たち 13 鴻池朋子	斎藤 環	美術手帖	865
〈瞬間の永遠〉を人 形と共に生きる	恋 月 姫 金原ひとみ		インタビュー 語 られた物語 描か れた予兆			
人形作家列伝[恋 月姫]	今野 裕一 天野 昌直		反復する「不時着」			
ものの質感の表現に ついて—1910年代半 ばから1920年代の日本 油彩画における光沢 の表現をめぐる— [小出楯重]	小林未央子	鹿島美術 財団年報 別冊 22				

巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶ 鴻池朋子 ため込んだ情念	山下 裕二	美術の窓	259	特集[明治回顧] (明治美術学会回顧) 五姓田義松展を学会 と共催した理由	横田 洋一	近代画説	14
巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 中島千波に尋ねる 「日本画家と石膏デ ッサン」	中島 千波 談 鴻池 朋子 聞き手	"	267	児玉希望と水墨画 (試論)	永井 明生	広島県立 美術館研 究紀要	8
旗手 鴻池朋子さん 美術家 物語に終わ りはない		日経夕刊	5.23	特集 写真集中毒の ススめ 伝説の写真 集をひもとく/見る 者の視点 牛腸茂雄	竹内万里子	STUDIO VOICE	352
にんげん賛歌20 神 山清子さん 陶芸家 自然釉流に「毎日 を大切に、なるよう に」	國安ひろみ	東京夕刊	1.18	日本人の物語観と映 像におけるその応用 民俗学者・宮本常一 のフィールドワーク に学ぶアニメーション 制作論[牛腸茂雄]	壺岐 紀仁	多摩美術 大学大学院 修了論文 作品集	2005
特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[小嶋一浩]		Bank- ART Life	創刊号	NIPPONのカタチ デザインでよみがえ る5 装丁刷新 人 気も一新[後藤貴志]		日経夕刊	5.24
喜寿 小島功さんの さらさらエロス 黄 桜カップも50年	鈴木 琢磨	毎日夕刊	5.18	特集 私はここにい る 非日常の中に息 づく自分	後藤 拓哉	自由美術	2005
CRAZY FANTASY 坂川守、中川敦夫、 東明、三宅砂織、見 島サコ	原 久子	STUDIO VOICE	357	第24回損保ジャパン 美術財団選抜奨励展 大賞に後藤拓朗氏	(美)	新美術新 聞	1056
青春ブレイバック 小島弘 神奈川県秦 野市鶴巻 秦野市立 おおね公園	林 茂樹	新美術新 聞	1068	第24回損保ジャパン 美術財団選抜奨励展 受賞作品紹介 損保 ジャパン美術賞 後 藤拓朗氏「部屋・紫 ・少女の砂」	産 経	3.9	
特集 ギャグまんが 大行進 描線のデュ ナミス 児嶋都「笹 江さん」における表 情の問題	高橋 明彦	ユリイカ	503	特集 私はここにい る「私はここにい る」という絵が描き たい	後藤 知由	自由美術	2005
特集 トータルフー ドデザイン うおが し銘茶×小島良平	杉瀬 由希	デザインの 現場	141	コミック教養講座 正義隊 後藤友香 [著]	湯浅 学 朝 日	7.10	
収蔵作品から—小清 水漸「表面から表面 へ」	光岡 幸治	氷 華	46	慶応義塾所蔵作品調 査・保存活動 3.後 藤よ志子《大聖堂の 見える風景》	小林 嘉樹 柳井 井 担当・記	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	12
次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 8 小杉小二郎—呉 亜沙	呉 亜沙 インタビュー アー	ギャラリ ー	237	後藤良と能彫に関す る一考察 石膏原型 および木彫作品「葵 上」を通して	中原 篤徳	芸術学研 究(筑波)	9
今月の読書『小杉 小二郎作品集』う き我をさびしがらせ よ閑古鳥	米倉 守	新美術新 聞	1063	表現の視座・8 絵 を描き続ける事とは	小西 則文	主体美術	78
小杉未醒「北馬南船 帖」と近代の画帖に ついて[小杉放菴]	佐藤 志乃	横山大観 記念館館 報	21	わたしの宝もの2	小西 雅也	新美術新 聞	1060
美の美 新南画の挑 戦—芋銭と放菴 上、中、下	宝玉 正彦	日 経	8.28、 9.4、11	青春ブレイバック 小西保文 神戸市兵 庫区湊川新開地	高岡 忠雄	"	"
				特集 人形愛 人形 作家列伝[小畑すみ れ]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506
				幻のデザイナー・小 林かいち(一)~(四)	山田 俊幸	一寸	21~24

巻頭特集 琳派力って何?果てしなく蘇生する造形 気がつけば琳派 小林和史	ア ー ト ト ッ プ	206
小林清親と原胤昭、今村次郎 附「渡邊省亭考」補遺	岩切信一郎	一 寸 23
アーティスト訪問16 小林敬生	ギャラリ 一*	237
現代工芸作家シリーズ20 魔術師たちの贈り物 小林京和	富田 康子	ア ー ト ト ッ プ 205
小特集 小林古径 細部のドラマ		芸術新潮 669
[特集]近代日本画の名匠—小林古径		現代の眼 552
「小林古径展」によせて—小林古径記念美術館からの発信	笹川 修一	
晩年の小林古径—表装師川崎忠彦氏に聞く	古田 亮	
小林古径の落款、印章について	古田 中村 亮 麗子	東京国立近代美術館研究紀要 10
表紙解説 小林古径筆「極楽の井」	川口 直宜	刀剣美術 579
表紙解説 小林古径筆「阿新丸」	〃	〃 582
巻頭特集 再発見!! 小林古径の美学		美術の窓 261
古径を訪ねて1 小林古径邸、画室、そして小林古径記念美術館		
古径を訪ねて2 古典への深い眼差し 二十代後半の古径が研鑽の日々を送った三溪園		
古径を語る1 近代日本画の最高峰 古径が今に伝えるもの	尾崎 正明 談	
古径を語る5 はるかに古径をおもう	一井 建二	
古径を語る6 探求のこころ	村越 伸 談 編 集 部 文責	
古径を語る7 画品	浅木 正勝 談 編 集 部 文責	
林邦佳さん	小林 東五 陶	説 628

巻頭特集 天地逍遙・いざ山水へ 東アジアの美の源泉へ「山水」へ向けられる現代アートの眼差し	金 善姫、 小林 俊哉 対談	ア ー ト ト ッ プ 203
特集 ゴッホ・ガイドブック タンポポの咲き乱れる野	小林 英樹	美術手帖 863
我が愛しき悪女たち 佐々木豊個展—薔薇女 エロスに真っ直ぐ	小林 裕児	ア ー ト ト ッ プ 206
家族の肖像—小林亮介個展作品記録	小林 亮介	名古屋造形芸大紀要* 11
巻頭特集 人気作家101人の年賀状「戌」犬をつくる作家たち 4 古伏脇司 赤いハチ公は境界に立つ		美術の窓 266
みづゑ100年記念 絵本の未来を知りたくて 駒形克己	来嶋 路子	みづゑ 74
フェイス21世紀71 コマヤイッセー 乗り合わせの一期一会	常盤 茂	新美術新聞 1044
五味太郎 絵本づくりってなんだ?	藤田 容子	みづゑ 73
日本画のような舞台に—小村雪岱の舞台装置—	(M.H.)	ソ カ ロ 16
愛とロマンを謳う [小谷津雅美]	切刀 知子	美術の窓 261
小山正太郎研究拾遺(四)~(六)	金子 一夫	一 寸 21、22、 24
小山正太郎資料(四) 一遊峽録艸稿 庚辰夏日 小山正太郎 記—解説・続	〃	五浦論叢 12
1964年開催の現代国際陶芸展について—小山富士夫がみた現代陶芸2 旅の記録より—	佐野 素子	現代陶芸研究 2
画家たちの美術史26 小山穂太郎	鷹見 明彦	美術手帖 862
特集 ブリコラージュ ブリコラージュ対論1 散歩からバザール・ミュージアムへ	小山田 徹、 佐藤 浩司 談	みんぱく 329
巻頭特集 日本の銅版画 メゾチントのマチエール 長谷川潔、浜口陽三からの出発 新しい作家たちの声 今田幸	今田 幸	版画芸術 130

特集 グラフィック デザイナー 次に組 むならこの人 アイ デアを実現させる率 先力と万全のフォー ー 権田雅彦	杉瀬 由希	デザインの 現場	144	私と仕事 漫画家 柴門ふみさん 何か を捨てる覚悟必要	古知 朋子 聞き手	朝日夕刊	8.2
日々好日 月のひかり	近藤 弘明	新美術新 聞	1070	ひらがな日本美術史 【連載】その百十六 海の向こうから来た もの 梅原龍三郎筆 「雲中天壇」と佐伯祐 三筆「扉」	橋本 治	芸術新潮	667
ROUND TABLE 2005	権田 萬治 毛利 ユリ 菊畑茂久馬 田中信太郎 近藤 竜男	あいだ	114	桐谷夫妻の一期一絵 心揺さぶる画家の旧 居 新宿区立佐伯公 園【佐伯祐三】	桐谷 逸夫	読 売	4.26
巻頭特集 新・リア リズム宣言Ⅱ 写真 VS. 現代美術 近 藤正勝氏に聞く：イ ギリス具象絵画復活 の舞台裏	近藤 正勝 談 伊東 豊子 インタビュー ー・文	美術の窓	262	吉祥 昨日でも明日 でもない。今日の僕 が描く「誕生」の絵 早乙女道春	山本 麻実	みづゑ	74
(サ)				マリー・ホール・エ ッツ 絵本作家 酒 井駒子さんがある く、エッツのものの なか	〃	〃	73
マンガの居場所 脱 線事故で亡くなった 雑賀陽平氏	夏目房之介	毎日夕刊	5.12	みづゑ100年 記念 絵本の未来を知りた くて 酒井駒子	来嶋 路子	〃	74
『現役女子大生キャ バ嬢が教えるちよい モテ男になる技術』 斉田直世さん モテ る秘けつとは？	大和田 海 聞き手	〃	7.2	秋の叙勲、褒章決ま る 【旭日中授賞】濱 田台児氏 14代酒井 田柿右衛門氏ら 【紫綬褒章】山本正道 氏 江里佐代子氏ら		新美術新 聞	1074
古典が息づく現代の 工芸 斎田梅亭の截 金一「截金菱華文飾 筥」	諸山 正則	淡 交	728	至高の一点 ドレス デン国立美術館展か ら 3 伊万里焼壺 素朴で力強い土の味	酒井田柿右 衛門	日経夕刊	7.14
制作ノート 斎藤國 靖	斎藤 國靖	武蔵野美 術大学研 究紀要	35	CRAZY FANTASY 坂川守、中川敦夫、 東明、三宅砂織、児 島サコ	原 久子	STUDIO VOICE	357
特集 私はここに いる 自然との対話	斎藤 正三	自由美術	2005	イサム・ノグチさん というガイド	坂口 登 談	ア ー ト ト ッ プ	205
Archetype—陶と鉄 による空間形成の研 究と制作	齋藤 敏寿	筑波大学 芸術研究 報告	44	悠遊閑欬 岡崎耕治 【坂口紀良】		〃	204
材料・技法にせまる ／7	齋藤 典久	主体美術	77	設計プロセスに基づ く平面構成における 黄金比とジオメトリ ーの分析 坂倉準三 設計の神奈川県立近 代美術館のプロポー ションに関する考察 (その1)	和田菜穂子	日本建築 学会計画 系論文集	597
フンザへ 斎藤亮一 著		日 経	6.5	銀座ギャラリー日記 最期の言葉「只エガ キタシ」【坂倉新平】	栗田 玲子	朝日夕刊	4.21
斎藤亮一写真集「フ ンザへ」	(前)	読 売	7.10	第24回「土門拳賞」に 坂田栄一郎「PIERC- ING THE SKY 一 天を射る」選評 生 命のドキュメント	内藤 正敏	毎 日	3.23
自作再訪 西原理恵 子 はれた日は学校 をやすんで 学校に 行かないと本当にい けないの？	西原理恵子 談	朝 日	3.20	第24回土門拳賞特集 受賞の言葉・坂田栄 一郎氏		〃	〃
第9回 手塚治虫文 化賞 短編賞「上京 ものがたり」／「毎日 かあさん」西原理恵 子さん	関川 夏央 萩尾 望都	〃	5.10				
「女の子ものがたり」 残酷で純粋 子供の 世界【西原理恵子】	岡本 耕治	産 経	5.8				

コミック教養講座 伊平次とわらわ 坂 田靖子[著]	湯浅 学 朝 日	4.17	特集 私はここにい る Je suis comme je suis. 私は私	佐々木厚子 自由美術	2005	
カメラで美術研究の 力に 文化財の写真 撮影、親子2代80年 間続ける	坂本 明美 日 経	1.7	巻頭特集 プロが教 える水彩ステップア ップ講座 佐々木悟 郎インタビュー 「イラストレーショ ンから絵画へ」	佐々木悟郎 美術の窓	265	
巻頭特集 よみがえ る伝統木版画 アン ケート伝統木版画の 魅力	坂本 恭子 版画芸術	129	新指定の文化財〔重 要無形文化財の指定 ・保持者の認定(各 個認定)〕〔工芸技 術〕 紬織 佐々木 苑子	文化庁文化 財部	文化財* 504	
坂本恭子 クロスフ ェードする風景	秋 田 "	130	〔表紙解説〕絵紺紬着 物 秋つ方 佐々木 苑子作	佐々木正直	" "	
アククリックス・ワ ールド28 坂本佳子	石井 芳征 美術手帖	866	平成15年度指定研究 片桐聖子シンポジウ ム「日本画の可能性」	片桐 聖子 西田 俊英 倉島 重友 北島 克己 蘆谷 実正 佐々木	広島市立 大学芸術 学部紀要	10
カメラで美術研究の 力に 文化財の写真 撮影、親子2代80年 間続ける〔坂本万七〕	坂本 明美 日 経	1.7	佐々木豊の本音でフ ァイト 免許皆伝 美術稼業の奥義		ア ー ト ト ッ プ	
心の骨をとりもどす ために	さかもと未 靖 国	596	第一回	篠原有司男 ゲスト 佐々木 豊		205
断 男を追い詰めな いで!	" 産 経	12.15	第二回	横尾 忠則 ゲスト 佐々木 豊		206
酒谷小三郎の画業	山口 精次 市立函館 博物館研 究紀要	15	「舟で歌う」と「翔ぶ 女たち」	佐々木 豊 明星大学 研究紀要		13
第6回高知国際版画 トリエンナーレ展 大賞に作田富幸が決 定	(美) 新美術新 聞	1050	技法の現場から1 「ひび割れのしない ホワイト」	佐々木 豊、 小杉 弘明 対談	連盟ニュ ース	414
作田富幸 混沌から の展開	辺 見 版画芸術	128	フェイス21世紀79 佐々木里加 コンピ ューターは理性のフ ィルター	油井 一八 新美術新 聞		1065
アートスクールガイ ド2005 なぜアート スクールに行ったの か?そのきっかけと 準備。アートスクー ルで得たものは?	サクマ 要 美術手帖	867	特集 アーキテクチ ャー&アート進化系	STUDIO VOICE		351
コミック教養講座 御緩漫玉日記 桜玉 吉[著]	吉田 豪 朝 日	2.20	エルンスト ・ネト 小谷 元彦 高木 正勝 石渡 誠 笹口 数	金沢21世紀美術館 アンケート		
日々好日 めだま焼 と私	桜井 寛 新美術新 聞	1064	アーティストが美 術館をデザインし たら?	インタビュー会いた い人 画家、笹倉鉄 平さん	加藤麻衣子 毎日夕刊	7.2
連載第18回 日本油 絵ノ進化 現今未来 ノ予想〔櫻井忠剛〕	木下 直之 芸術新潮	667	インタビュー会いた い人 画家、笹倉鉄 平さん	加藤麻衣子 毎日夕刊		
洋画家 櫻井忠剛に ついて	大槻 晃実 地域史研 究	99	碌山の彫刻と人柄	笹村草家人 碌山美術 館報		25
クリエイターズワー ク&ソウル 迫慶一 郎	A X I S	114				
特集 トータルフー ドデザイン レ ア ール×セゾン・ セージ×左合ひとみ	大森 恒誠 デザイン の現場	141				
OGインタビュー 写真家迫川尚子さん	林 亜紀子 インタビュー 一・文	女子美				

美術講座 ストーブを囲んで「笹村草家を語る」	山田 芳弘 幅谷 啓子 基 俊 太郎 松野 幸穂 一志 開平 成沢 嘉郎 白沢 多郎 等々力 美貞 奥原 貞子 古幡 良子 江崎 園行 池井 勝幸 降旗 正英 横田 功夫 小林 野口 野田 憲一 原田 繁雄 田中 久 清沢 仁武 千村 尚由 泉 腰利 原 善 前 次 沢 廣	山美術 館報	25	「佐藤忠良といわさ きちひろー共鳴する まなざしー」展関連 イベント アニメー ション作家・高畑勲 が語る佐藤忠良とい わさきちひろ	原島 恵	美術館・ 友の会だ より	145
				画家たちの美術史29 佐藤時啓	鷹見 明彦	美術手帖	865
				ピンホールコラム ピンホールバスに乗 ってみた 倒立像 [佐藤時啓]	田中 三蔵	朝日夕刊	3.26
				特集 私はここに いる 彷徨の中で	佐藤 紘行	自由美術	2005
				特集 ポストノイズ 越境するサウンド・ ディスクガイド ポ ストデジタル時代の モノと言葉の狭間か ら	佐藤 実	ユリイカ	504
				特集 人形愛 人形 作家列伝[佐藤美穂]	今野 裕一 天野 昌直	美術の窓	506
みづゑ100年記念 絵本の未来を知りた くて ささめやゆき	来嶋 路子	みづゑ	74		佐藤 守男、 石谷 孝二、 池田 秀俊、 保田 智 之、雄 長、雄 対談 一井 司会		
受賞者インタビュー 129 群馬青年ビエ ンナーレ'05 笹山 直規		ギャラリ 一*	243	具象彫刻の新しい可 能性ー第二回グルー プ環展メンバー特別 座談会			266
コミック教養講座 コドモのコドモ さ そうあきら[著]	南 信長	朝 日	9.11				
陶芸・佐藤敏 現代 陶芸の「昭和」を越境 しようとした才覚	柴辻 政彦	陶 説	632	テークオフ 美術家 さとうりささん「幸 せまでのもう一歩」 形に	西田 健作	朝日夕刊	6.29
特集 アート界最後 のカリスマ! ?マシ ュー・バーニーの世 界 Who is MB? by the young artists	クリス・ル ビノ 佐藤 姿子 金氏 徹平 名和 晃平	STUDIO VOICE	356	紙面批評	里中満智子	産 経	1.9.2.20
佐藤醇吉の菌無類 「いわて近代洋画100 年展」より		芸術新潮	667	アートスクールガイ ド2005 なぜアート スクールに行ったの か?そのきっかけと 準備。アートスク ールで得たものは?	佐野研二郎	美術手帖	867
「備前焼」 生活の中 の器	佐藤 苔助	陶 説	622	作家訪問348 陶芸 家 佐野はるかさん	編 集 部	目の眼	351
新年特集 年男男女 に聞く	佐藤 泰生	新美術新 聞	1044	around the bush	佐野 広章	多摩美術 大学研究 紀要	19
巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 佐藤太清 若い頃。	船水 徳雄	美術の窓	257	特集 荒川修作の 《死に抗う建築》カ タチによって、カタ チとともに	佐野 吉彦	水声通信	1
「人の生涯、家の生 涯」『家族をつくつ た家』芦原太郎著	佐藤 卓	A X I S	118	受賞者インタビュー 131 雪梁舎フィレ ンツェ賞展 漸井晋 平		ギャラリ 一*	245
巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 佐藤多持 「水芭蕉曼陀羅」断 想。	一井 建二	美術の窓	257	第7回雪梁舎フィレ ンツェ賞展開催 漸 井晋平氏が大賞受賞		新美術新 聞	1067

“Resonance”(レゾナンス・共鳴) ニュージャージーの5人のアジア女性アーティスト[皿井まゆみ]	由本みどり	美術運動史研究会 ニュース	74	美の巡礼ステンドグラス 厳肅な光に魅せられフランスの教会1400カ所を探访	志田 政人	日 経	5.10
Artist Interview 71 SAL イマドキのジャポニスム	石田 純子	デザインの現場	138	時代に埋もれた戦争遺跡 戦後60年、全国にひっそり残る「生き証人」を撮影	下道 基行	〃	7.1
特集2 Landmark Project 旧帝蚕倉庫(北 中WHITE) mirrorerror + sul-len 福井祐司		Bank-ART Life	創刊号	VOICE OF VOICE リブランディング・ジャパン1『LOVE&TRUTH』	篠崎 真紀	STUDIO VOICE	350
特集 ポストノイズ 手塚治虫が想像していたような、もっと二世紀らしい音	澤井 妙治	ユリイカ	504	[特集]ガンダム行きます! 『ガンダム展』出展作家アンケート	篠田 太郎	ART iT	8
特集 ギャグまんがが大行進 澤井啓夫『ボボボーボ・ボーボボ』の悲壮なたたかい	武村 知子	〃	503	佐々木豊の本音でフアイト 免許皆伝 美術稼業の奥義 第一回	篠原有司男 ゲスト 佐々木豊 聞き手	アート トップ	205
岩手県立美術館蔵 澤田哲郎「黒土」修復報告	山中 和人	修復研究所報告	17	「破天荒な直観力」	篠原有司男	国立国際美術館月報	151
女性作家にインタビュー! MOTアニユアルの試み	澤田 知子	ギャラリー一*	238	ロバート・ラウシェンバーグの《ゴールド・スタンダード》—現代美術のグローバル化に関する一試論—[篠原有司男]	池上 裕子	美術史	158
櫻の樹の下にはサワダが並んでゐる! 澤田知子《School Days/C》		芸術新潮	663	篠原有司男 21世紀、ウシオは今日も疾走する!	原田 環	美術手帖	872
わたしの好きなもの ネイルアート	澤田 知子	新美術新聞	1049	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術今、なぜ日本近現代美術展か 戦前・戦後を貫く日本美術正史を打ち立てよ! [篠原有司男]		美術の窓	266
視線 OMIAI♡ 澤田知子	飯沢耕太郎	朝 日	3.6				
(シ)							
「窓は第三の皮膚」塩田千春はからだでアートする		芸術新潮	666	みつゑ100年記念 描き続けるために大切なこと 篠原有司男	村上 圭一	みつゑ	74
巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.1 だから私はベルリンから離れられない	塩田 千春	美術の窓	260	巻頭特集 よみがえる伝統木版画 伝統からの出発 篠原奎次 アメリカで拓いた伝統木版画の可能性	篠原 奎次	版画芸術	129
宮崎大学所蔵美術品とその保存状態(二) —塩月桃甫の作品を中心に—	幸本 陽子 石川千佳子	宮崎大学教育文化学部紀要	12	自作再訪 篠山紀信『water fruit』大胆裸身がまぶしい「解禁の書」。で、今...	篠山 紀信	朝 日	2.13
芸苑雑事記148 塩出英雄賛—『如々庵随聞記』を読んで	瀧 悌三	美術の窓	258	近況 篠山紀信さん(写真家) 勘三郎写真集を刊行	佐藤 由紀	毎日夕刊	6.24
追悼 直原玉青先生 拙い詞に託し	町田 泰宣	新美術新聞	1073	美の美 はじめの一枚—2 銅版画・司馬江漢の企み	白木 緑	日 経	6.19
山下裕二の今月の隠し球7、8 重野克明「戦後」の匂いがする版画(上)(下)	山下 裕二	美術の窓	262、263				

《資料紹介》 美術活動と博物館普及活動と—柴川敏之式二刀流「2000年後の冒険ミュージアム」を記録集に読む	編集部	あいだ	117
柴田是真と京都	柏木加代子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	49
「デザインとは耳を澄ますこと」『はじめて考えるときのよう』野矢茂樹著	柴田 文江	A X I S	114
カバーインタビュー 柴田文江	谷口真佐子	"	118
Pick up! スリッパウェア・美の真相 [柴田雅章]		目の眼	344
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=身体 柴田有子	柴田 有子	版画芸術	127
新作の背景 芝田米三《宇宙に浮かぶ島》	石川 健次	毎日夕刊	7.1
「言語の誕生」	島 州一	武蔵野美術大学研究紀要	35
今様掛軸「我的箱庭」	嶋 高宏	大阪成蹊大学芸術学部紀要	1
作家訪問341 陶芸家 島るり子さん	編集部	目の眼	344
新年特集 年男男女女に聞く	島田 章三	新美術新聞	1044
名古屋市芸術賞特賞に島田章三氏		"	1050
百寿への熱きメッセージ 愛知県立芸大と片岡球子先生	島田 章三	"	1052
アーティスト・イン・レジデンス 移動と交流の場から生まれるもの [島袋道浩]	帆足 亜紀	遠 近	7
ピンホールコラム	島袋 道浩	朝日夕刊	1.15、2.12、3.12
特集2 海外で見る・見せる・つくる! 嶋本昭三&100人の日本人、イタリアにアートで突撃!	アンドレア・マルデガン	美術手帖	870
画家たちの美術史24 清水伸	鷹見 明彦	"	859
尾道美術紀行4 清水登之《尾道の景色》	下山 肇	尾道大学芸術文化学部紀要	4
清水刀根《黒衣の女》を巡って—第18回二科展のこと—	染谷 滋	群馬の森美術館ニュース	121

特集 人形愛 人形作家列伝 [清水真理]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506
第1回みづゑ賞 イラストレーション部門・審査員特別賞 MAYA MAXX賞 清水美紅さん	MAYA MA-XX	みづゑ	74
INOUI ID	清水 行雄	多摩美術大学研究紀要	19
講演会記録 私の歩んできた道	清水 良治	石川県立美術館だより	257
特集 ストーリー構成 感動を呼ぶインナーワールド 清水玲子	清水 玲子	みづゑ	71
幻想への誘い ギュスターヴ・モロー展 3 旅する詩人 あたたかさをもたらず視線	志村 節子	東京夕刊	8.25
特集 最終コミック・リスト200 重要作家ファイル 志村貴子	宮 昌太郎	STUDIO VOICE	354
「屋内の春」—志村ふくみさん—	関根 秀吾	陶 説	624
四季の匠 江戸風 [志村康夫]	徳永 京子	新美術新聞	1044
特集 私はここにいる 秘密基地	下総しげお	自由美術	2005
美の美 はじめの一枚—3 写真・彦馬、蓮杖の挑戦 [下岡蓮杖]	白木 緑	日 経	6.26
特集 私はここにいる 今私はここにいる	下倉 節子	自由美術	2005
アトリエの扉をあけて63 のどかに普通に描いてゆくことの強さ 霜田あゆ美	白坂 ゆり	デザインの現場	143
国指定重要文化財 旧香港上海銀行長崎支店 一建築家 下田菊太郎の建築—	澤田 享	秋田公立美術工芸短期大学紀要	10
下村観山 弱法師	中村 麗子	国 華	1316
次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Sug-gestion from Artist 9 深沢幸雄—集治千晶	集治 千晶 インタビュアー	ギャラリー	238
巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶ 庄司敦子さんへの言葉	石川 健次	美術の窓	259

日々好日 夜汽車の人	庄司 栄吉	新美術新聞	1051
セレベス、60年前の素描 戦時中に教員として赴任、教え子たちと再開へ	"	日 経	8.25
PAPER IN MY WORK 99 東海林小百合 みずみずしさを表現できる紙	編 集 部	デザインの現場	142
特集1 BankART Life 作家+作品紹介[昭和40年会]		Bank-ART Life	創刊号
コミック教養講座 WHO are YOU 中年ジョージ秋山物語 ジョージ秋山[著]	吉田 豪 朝	日	9.25
4 SITES アートという商品4 美術作家 白川昌生さん 日本に必要な小さな市場	高野 清見	読売夕刊	6.16
視線 富士四季讃歌 白旗史朗編、山岳写真の会「白い峰」著	立松 和平 朝	日	2.6
しりあがり寿の現代美術入門 第5回~第8回	しりあがり寿	ART iT	6~9
Artist Interview 73 しりあがり寿 絵に没頭できる幸せ	石田 純子	デザインの現場	141
特集 ゴッホ・ガイドブック ゴッホ光線ピッカピカ	しりあがり寿	美術手帖	863
特集 ギャグまんがの行進 ギャグというエクスタシー	しりあがり寿、春日 武彦 談	ユリイカ	503
特集 攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX This Is Not A Reality 孤人複合体という代替現実群 [土郎正宗]	ドミニク・チェン	"	512
特集 ストーリー構成 ストーリーケーススタディ2 新海誠	新海 誠	みづゑ	71
浮揚へのあこがれ	新宮 晋	日 経	7.17
Real Tokyo Real Culture TOWN	辛酸なめ子	ART iT	6~8
VOICE OF VOICE リブランディング・ジャパン2 ジャパニーズイングリッシュのすすめ	"	STUDIO VOICE	350

特集 水木しげる アンケート 選べないけど、選んでみました	南 伸坊 鳩山郁子 田中純 辛酸なめ子 坂本頼光 坂野徹 松田洋子 宮本大人 春日武彦	ユリイカ	511
本領は過激な「妄想」 『新』訳星の王子さま(コアマガジン)を11月に出版 辛酸なめ子	藤生 京子	朝日夕刊	12.9
交遊抄 白の衝撃 [秦泉寺由子]	松本 路子	日 経	8.13
子どもたちの視線 新聞陽子著		"	11.6
東京工芸大学の新しいプロジェクト Presentation # 2 新村則人	カワイイフ アクトリー	デザインの現場	142

(ス)

特集 私はここにいる ある展覧会から	末武美津子	自由美術	2005
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=身体 末松見枝	末松 見枝	版画芸術	127
新しい作家を発掘する 第9回新生展で立体作品が大賞受賞 [菅谷拓磨]		ギャラリー*	247
須賀野チイさんとの出会い	望月 良枝	あいだ	115
昭和版画家伝 5 菅野陽 銅版画技法とテーマの葛藤	藤田 一人	版画芸術	130
ヨーロッパ 石の文化の衝撃	菅原 洸人	連盟ニュース	415
特集 私はここにいる ベルリン留学を終えて	菅原 隆彦	自由美術	2005
AT201 Remarkable WORK 菅原 健彦 「雲水峽」 第2回東山魁夷記念日経日本画大賞大賞に		ア ー ト ト ッ プ	201
わたしの宝もの1	菅原 健彦	新美術新聞	1057
情報ボックス 須木一胤の資料が寄贈されました	大橋 俊雄	徳島県立博物館ニュース	61
アートスクールガイド2005 なぜアートスクールに行ったのか?そのきっかけと準備。アートスクールで得たものは?	杉浦さやか	美術手帖	867

特集1 BankART Life 作家+作品紹介[杉浦隆夫]	Bank-ART Life	創刊号	杉本博司 バリで新作展 解釈を誘う知的なひねり	前田 恭二	読売夕刊	2.17
葉山の別荘文化守りたい 戦後の混乱をくぐり抜け現存する50軒余りを調査	杉浦 敬彦	日 経 5.2	文化往来 異文化から刺激を受けた文化交流使[杉本洋]		日 経	4.12
杉浦非水の足跡〜新収蔵品から〜	中山 公子	愛媛県美術館年報・研究紀要 4	未来の大モノを探せ! UNDER30の実力者たち 杉山ユキ	大輪 俊江	デザインの現場	144
杉浦非水と三越一東京国立近代美術館所蔵の三越PR誌の表紙	木田 拓也	東京国立近代美術館研究紀要 10	特集1 BankART Life 作家+作品紹介[すけすけ生春巻き]		Bank-ART Life	創刊号
表紙解説〈表〉杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道/上野浅草間開通》	岸 文和	美術フォーラム21 12	《麻子のアートな日々》今週も深夜バスに乗って……	鈴木 麻子	あいだ	114
さようなら杉浦日向子さん 生を満喫した粋な「江戸の女」	松田 哲夫	東京夕刊 7.29	鈴木敦子 対話から生まれるぬくもり	秋 田	版画芸術	129
杉浦日向子さんを悼む「賢明に生きる人」江戸文化を体現	田中 優子	読売夕刊 7.26	日々好日 志野に学ぶ	鈴木 蔵	新美術新聞	1050
無心の造形 ゆとりある音色	杉浦 康益、河野 克典	アート トップ 206	【特集】釉葉の妙 素材との格闘—鈴木蔵の志野・若尾経の青瓷	唐澤 昌宏	淡 交	723
今月の読書『杉原元人画集』「不易」の美に限りなく迫ろうとする杉原元人の「精神絵画」	岡本雄一郎	新美術新聞 1055	視線 蓮花LOTUS 鈴木薫	南 伸坊	朝 日	8.7
杉原元人先生の画集刊行を祝して 作品の根底を貫く温かい人柄と人間への深い関心	宇佐美江中	" 1056	鈴木空如 人と芸術(1)—仏画家の道を歩むまで—	佐々木直子	秋田美術	41
クリエイターズワーク&ソウル 杉丸淳		A X I S 115	第1回みづゑ賞作品募集 荒井良二×飯野和好×スズキコージ、座談会が応募要項	来嶋 路子	み づ ゑ	72
杉本画伯遺志かなう 遺族が作品1300点寄贈 国立近代美術館などへ[杉本健吉]		東 京 2.18	第1回みづゑ賞		"	74
[特集]杉本博司の空間観		ART iT 9	大賞決定 絵本部門・大賞 濱口桜子さん	荒井 良二、飯野 和好、スズキコージ		
正調モダニズムを引き継いでゆきたい	杉本 博司、日埜 直彦	聞き手	第1回みづゑ賞 絵本部門・審査員特別賞 スズキコージ賞 楠井里枝さん	スズキコージ		
杉本博司、空虚の番人	清水 穰		リレーエッセイ「美について」—美は波動となって伝わる—	鈴木志郎康	た ま び	38
次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Sug-gestion from Artist 16 最終回 杉本博司—稲垣智子	稲垣 智子	ギャラリー* 245	日記にやつき64〜68	鈴木 貴彦	e t c.	70〜74
杉本博司が撮りおろした数式のかたち	永島 章雄	芸術新潮 662	特集 愛についての21の議論		木野評論	36
境界線上の開拓者たち16 杉本博司	斎藤 環	美術手帖 873	巻頭座談会「純愛」という名のルール	A K I R A、雨宮 処凛、竹宮 恵子、談 隆之、鈴木 司、会 隆之、編 集 部、文責		

放談 三君子「愛」を語る	森 毅、井上 章一、鈴木 隆之 編集 文責			特集 建築と書物 建築家的読書術 建築論として読むベンヤミン	鈴木 了二	10 + 1 *	38
戦争と思想の問題 5 戦争の魅力を冷酷に見つめて	かわぐちかいじ、鈴木 隆之 編集 文責	〃	〃	[特集1] 須田国太郎 遺族からみた「須田国太郎」 須田国太郎の位置	須田 寛 山野 英嗣	現代の眼	555
総力レビュー2004 文学 予言の不可能性	鈴木 隆之	〃	〃	須田寿先生を偲ぶ 江戸っ子気質を感じる 気遣いと厚い信義	久野 和洋	新美術新聞	1048
制作ノート 鈴木民保	鈴木 民保	武蔵野美術大学研究紀要	35	立軌会最後の創立会員 須田寿氏死去		〃	〃
回顧展によせて	鈴木 竹柏	新美術新聞	1065	芸苑雑事記149 自由と反骨の画人—須田寿さん	瀧 悌三	美術の窓	259
巻頭特集 琳派力って何? 果てしなく蘇生する造形 笑いの向こうに琳派あり? 鈴木強		ア ー ト ト ッ プ	206	須田寿先生を悼む 創立の熱き心に	五百住乙人	連盟ニュース	413
特集 ブログ作法 遮光された部屋 ブログの画面論	鈴木 一誌	ユリイカ	505	文化往来 「美術に階級なし」自由求めた須田寿氏悼む		日 経	1.28
特集 雑誌の黄金時代 アンケート大会 わたしを／がつくった雑誌	〃	〃	509	特集 「アーティスト」になる基礎知識 須田悦弘 「アーティスト」も社会を構成する一職業に過ぎない	長澤 章生 聞き手	美術手帖	861
[制作記録] ビデオ・インスタレーションの制作研究	鈴木 浩之	金沢美術工芸大学紀要	49	須藤功さんの写真集 『昭和の暮らし』完結 農漁村や町の姿を5巻に	手塚さや香	毎日夕刊	9.22
鈴木恂 回廊の夢、建築の消失	植田 実	芸術新潮	661	鷺見和紀郎 静かなフォルティッシモ 「椿会展2005」より		芸術新潮	666
受賞者インタビュー シュル美術賞2005 鈴木雅明		ギャラリー一*	248	AT206 Remarkable TOPIC 中国地方の文化発信の新拠点 島根県芸術文化センター「グラントワ」オープン[澄川喜一]		ア ー ト ト ッ プ	206
第4回夢広場はるひ 絵画ビエンナーレ受賞者決まる 大賞は鈴木雅明氏		新美術新聞	1054	彫刻家に聞く 澄川喜一 国立新美術館運営協議会副座長		国立新美術館準備室ニュース	3
シュル美術賞2005受賞者決まる グランプリは鈴木雅明氏「街灯」		〃	1073	グラントワ・島根県芸術文化センター長に就任した澄川喜一氏 一年間入場者100万人突破も射程に—		新美術新聞	1072
国立新美術館への移行決定に至る経緯	鈴木 益躬	連盟ニュース	412	彫刻家の現場から1 澄川喜一	武田 厚	美術の窓	260
特集2 あの人が推す、今注目のクリエイター2 鈴木康広	石黒 知子	A X I S	116	21世紀の美術館に求められるもの—島根県芸術文化センター「グラントワ」オープンに寄せて	澄川 喜一、福原 義春、森 英恵 対談 編集部 司会	〃	266
ピクトリアルリズムの現在2 鈴木理策 《サント・ヴィクトワール山》(承前)	清水 穰	10 + 1 *	41				
美術 純粋に「見る」行為問いかける「ゲルハルト・リヒター」展	鈴木 理策	朝 日	12.8				

巻頭特集 陰翳礼賛
一暗がりの文化史
インタビュー 諏訪
敦

ア ー ト
ト ッ プ 205

巻頭特集 不思議の
国 ドイツの美術
Part.3 現代作家が
選ぶドイツの逸品
「自画像(一四九八
年)」

諏訪 敦 美術の窓 260

(セ)

コミック教養講座
サナギさん 施川ユ
ウキ[著]

南 信長 朝 日 7.24

Close-up32 関 頑
亭 澄んだ心で見た
世界

ギャラリ
一* 241

みづゑ100年記念
デザイナーが選ぶ
100年後に残したい
職人の技 セキュリ
ヲ

藤田 容子 みづゑ 74

第1回みづゑ賞

” ”

大賞決定 イラスト
レーション部門
・大賞瀬藤優さん

来嶋 路子
セキュリヲ
MAYA MA-
XX

イラストレーショ
ン部門・審査員特
別賞 セキュリヲ
賞 伊藤絵里子さ
ん

セキュリヲ

新しき誘惑への使徒
たちVol.18 関口雅
文

ア ー ト
ト ッ プ 203

第1回千葉国際美術
展 千葉国際東方芸
術展2004 大賞 関
根守夫

関根 守夫 ギャラリ
一* 237

特集 アーキテク
チャー&アート進化系

STUDIO
VOICE 351

金沢21世紀美術館
とNew Museum
of Contemporary
Art[妹島和世]

神谷 幸江

梅林の家 日常生
活の器[妹島和世]

乾 久美子

梅林の家 根元的
な体験[妹島和世]

藤本 荘介

鼎談：妹島和世×
西沢立衛×長谷川
祐子/アートと建
築は睦まじいか!?

トピックス ルーヴ
ル分館をSANAA設
計[妹島和世]

日 経 10.8

毎日芸術賞 建築部
門 妹島和世さん、
西沢立衛さん

藤森 照信 毎 日 1.1

毎日芸術賞の人々2
建築部門「金沢21
世紀美術館」の設計
妹島和世さん 西沢
立衛さん 新しい美
術館像築く

三田 晴夫 毎日夕刊 1.18

第46回毎日芸術賞
建築家 妹島和世
さん 西沢立衛さん

” 2.1

第1回みづゑ賞 大
賞決定 イラストレ
ーション部門・大賞
瀬藤優さん

来嶋 路子
セキュリヲ
MAYA MA-
XX

みづゑ 74

華麗なるマイセン陶
磁器 シノワズリ
一、ロココからアール
・ヌーヴオーまで
中 精巧な擬人化で
躍動

芹川 英子 東京夕刊 12.26

人形で女心浮き彫り
江戸・明治期の女性
を題材に作り続け半
世紀

” 日 経 2.15

ニューヨークのゼロ
さん[ゼロ・ヒガシ
ダ]

芳賀 徹 アルカデ
イア 26

中特集 美術教育を
考える
術大学

芳賀 徹、
高階 秀爾、
千住 博
対談 建二
司会

美術の窓 263

私の苦笑い 日本画
家 千住博氏

佐藤 徳夫 日 経 10.31

芸術の力世界を変え
る新たな価値連帯し
創造 京都で世界ア
ーティストサミット
基調講演 日本画家
千住博氏 21世紀は
アートの時代

” 12.17

第13回吉原治良賞美
術コンクール展 大
賞に善住芳枝氏 グ
タイ記念賞が復活

(美) 新美術新
聞 1045

特集 都市建築の発
展と制御 委員会活
動の総括8 都市建
築の発展と制御

仙田 満 建築雑誌 1540

(ソ)

クリエイターズワー
ク&ソウル ソズ

A X I S 118

特集 アーキテク
チャー&アート進化系
アーティストが美術
館をデザインした
ら?

曾根 裕 STUDIO
VOICE 351

巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真VS. 現代美術 非ペインターが生み出す魅惑の平面—カレン・キリムニックと曾根裕一—	島田 淳子	美術の窓	262
ようこそ 建築家 曾野正之さん 機関銃より「美」の力を	山盛 英司	朝日夕刊	1.19
国立新美術館を巡る『六本木』か『上野』か 六本木移行始末記	園山 晴巳	連盟ニュース	412
特集 本の魅力を引き出すブックデザイン 祖父江慎 状況に応じて、進化する佇まい	大城 穰司	デザインの現場	143
巻頭特集 プロが教える水彩ステップアップ講座 曾谷朝絵 インタビュー 「私のドローイング論(素材篇)—水彩、パステルから油彩へ」	曾谷 朝絵	美術の窓	265
(タ)			
巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が選ぶドイツの逸品 「騎士と子と悪魔」	多賀 新	〃	260
特集 アーキテクチャー&アート進化系 金沢21世紀美術館アンケート	エルンスト・ネット 小谷 元彦 高木 正勝 石渡 誠数	STUDIO VOICE	351
Close-up38 高岸まなぶ 女性を通して現代見つめる		ギャラリー	246
国立新美術館を巡る『六本木』か『上野』か 国立新美術館に向けて	高岸まなぶ	連盟ニュース	412
フェイス21世紀76 高島圭史 失敗覚悟で大胆に	油井 一八	新美術新聞	1057
あとがきのあと「HOKKAI」高樹のぶ子氏 自身と高島北海を重ねて		日 経	12.18
スーザン・ソントグ 追悼 高谷史郎×坂本龍一ライブ	樋口ヒロユキ	美術手帖	868
作家の貌14 高塚省吾	一井 建二	美術の窓	262
私と高取焼	高取 八仙	陶 説	632
日展をひかえて 絵について	高梨 芳実	日展ニュース	118

研究発表(要約) 高橋勝蔵の舞台背景製作	坂本 麻衣	近代画説	14
第16回五島記念文化賞 美術新人賞に高橋匡太氏 現代美術 土田俊介氏 彫刻	(美)	新美術新聞	1055
特集2 Landmark Project 旧日本郵船倉庫3F 牛島達治 Flo+out[高橋匡太]		Bank-ART Life	創刊号
巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶ高橋匡太 場を巧みに切り返す光のアーティスト	太田垣 實	美術の窓	259
視点 MADRIDの黒い画家	高橋 重幸	〃	264
高橋秀氏インタビュー	林 亜紀子 インタビュー・文	女子美	152
高橋松亭(弘明)	清水 久男	浮世絵芸術	149
百寿への熱きメッセージ 片岡先生との御縁	高橋 節郎	新美術新聞	1052
神宮名品解説 神宮美術館所蔵奉納美術品 工芸「鎗金『献花』」[高橋節郎]	(本多)	瑞 垣	200
特集2 こうあるべきだのミュージアム像から、少し離れて静岡県立美術館の「ロダン体操」って知ってる?	堀切 正人、高橋 唐子、前田美佐枝 談	ド ー ム	79
かたち百景 静岡県立美術館の「ロダン体操」彫刻になり切りハイ、ポーズ[高橋唐子]	(宝)	日 経	10.9
〈色絵磁器〉	高橋 紘	明星大学研究紀要	13
キラキラ瞳恋し50年 少女画の高橋真琴さん 打ち込む人の光映し	河合真美江	朝日夕刊	3.14
アクリクックス・ワールド29 高橋将貴	石井 芳征	美術手帖	870
新・旧刊案内24 高橋由一の「油絵大図」など	青木 茂	一寸	24
ものの質感の表現について—1910年代半ばから1920年代の日本油彩画における光沢の表現をめぐる—[高橋由一]	小林未央子	鹿島美術財団年報別冊	22

- 博物館草創期の高橋由一—浅草文庫伝来品とウィーン万国博覧会関連品— 土屋 裕子 MUSEUM 595
- 美の美 はじめの一枚—1 油彩画・高橋由一の闘い 白木 緑 日 経 6.12
- 文学としてのマンガ7—引用の織物としての『犬夜叉』(高橋留美子作) 山田 利博 宮崎大学教育文化学部紀要 12
- 『ショートショート』=ジブリ史! [高畑勲] 藤津 亮太 STUDIO VOICE 359
- 「佐藤忠良といわさきちひろ—共鳴するまなざし—」展開連イベント アニメーション作家・高畑勲が語る佐藤忠良といわさきちひろ 原島 恵 美術館・友の会だより 145
- ラ・トゥール展 現代に生きる「光と闇」整った構図静けさ生む 高畑 勲 読売夕刊 4.30
- 作品紹介 筆牛人筆「金時と熊」 富山市筆牛人記念美術館報 14
- 花巻弁賢治の銀河乗せて「雨ニモマケズ」など故郷の言葉で朗読、世界観伝える [高村光太郎] 谷口 秀子 日 経 5.4
- 光太郎充実期の書簡55通発見「人は一寸でも停滞しては腐る」 読 売 8.28
- 現認報告—高村豊周論に向けて 森 仁史 一 寸 23
- 古典が息づく現代の工芸 高村豊周「鼎」と古代中国の青銅器 北村 仁美 淡 交 724
- 巻頭特集 天地逍遙・いざ山水へ 我が心の山水 自然は大なる安定を求めて葛藤し絶望し果てしなく流動する 高山 辰雄 アー ト ヲ ッ プ 203
- 戦後60年 我が心を語る 絵を描く、その意味を探し続けて 高山 辰雄 新美術新聞 1075
- アトリエの扉をあけて60 幸せになれる色を持つ、幸せを知る人 高山正宣 松本 希子 デザインの現場 140
- 特集 ポストノイズ 瀧 健太郎 ユリイカ 504
- 闘え! ノイズ・ミュージック 抵抗する音楽の可能性にむけて
- 越境するサウンド・ディスクガイド アヴァンギャルド〜メディアアート ランダム・セレクション
- 巻頭特集 よみがえる伝統木版画 アンケート伝統木版画の魅力 瀧 将仁 版画芸術 129
- カスティリオーニ兄弟の遺したもの 第4回〜第8回、最終回 多木 陽介 A X I S 113~118
- 現代作家紹介 ボッシュとの出会い 瀧・梅岡真理子の(日本的なもの) 中谷 伸生 美術フォーラム21 11
- 瀧口修造の岡崎和郎宛《リパティ・バースポート》—「扉」をめぐる一考察 朝木 由香 慶応義塾大学アート・センター年報 12
- 小特集 堀江敏幸が選ぶ瀧口修造の19の夢 堀江 敏幸 芸術新潮 664
- 資料 こぼれ話(2) [瀧口修造] 笹木 繁男 jaic会報 2
- 瀧口修造のスケッチブック: 批評的読解 松井 勝正 多摩美術大学研究紀要 19
- 青春ブレイバック 滝沢具幸 東京都東大和市 旧吉岡堅二邸 常盤 茂 新美術新聞 1049
- 座談 阿部佳昭×市川美幸×滝波重人 阿部市川滝波談 佳昭美幸重人 横須賀美術館準備ニュース 2
- パウハウスは細部に宿る あの名建築を大胆不敵にトリミング [瀧本幹也]
- Close-up27 田 鎖幹夫 音楽的即興の体感的創作 ギャラリー 237
- 美術館の眼 10年間の収集記録Ⅲ 田口省吾「街の音楽」1931 山本 丈志 A R K 43
- 巻頭特集 至福のミュージアム 日本美術の奥座敷 美の巡礼たちの終の棲処 金刀比羅宮 田窪 恭治 アー ト ヲ ッ プ 201
- 惜別 建築家 武基雄さん 鎌倉の景観保護に奔走 川村 二郎 朝日夕刊 10.24
- 建築望見 立原道造 詩人の夢みた設計とは? [武基雄] 高野 清見 読売夕刊 10.22

特集 ギャグまんが 大行進 少女マンガ のギャグ 武石りえ こと永野のりこ	小谷野 敦	ユリイカ	503	はてな?おもしろ浮 世絵232 熱海の名 邸・起雲閣に於ける 竹久夢二と新発見品 公開	中右 瑛 目の眼	348
雄大な銭絵 これぞ 職人芸 富山・小杉 町の左官・竹内源造 の作品を調査	田村 京子	日 経	10.27	夢二の日本画新発見 姉との思い出描く?	産 経	1.22
栖鳳研究の新分野 [竹内栖鳳]	榎原 吉郎	京都市美 術館ニュー ース	189	初期の夢二新たに発 見	東 京	1.22
師匠と弟子一栖鳳寸 描一	"	"	190	大波小波 夢二の 「思うままに」	(宵待草) 東京夕刊	7.8
竹内栖鳳の写本成立 契機としての岸竹堂	廣田 孝 美 学		220	大波小波 ぼんやり した不安[竹久夢二]	(モボ) "	12.15
ターナーの絵具箱 vol.17 すべての絵 にねがいこめて I wish you are al- ways smiling. 武内 祐人	山本 麻実	みづゑ	74	夢二20代?の作品発 見 子ども墨で描く	日経夕刊	1.22
竹崎勝代 生活の中 で呼吸する版画	秋 田	版画芸術	128	特集 愛についての 21の議論	木野評論	36
1915年巴奈馬太平洋 万国博の日本館と日 本庭園の意義につい て[武田五一]	三島 雅博	日本建築 学会計画 系論文集	593	AKIRA、 雨宮 処凛、 竹宮 恵子 談 鈴木 隆之 司会 集 部 編 文責		
ようこそ 書道家 武田双雲さん 楽し さ、幸せ…書を通じ 伝えたい	宮代 栄一	朝日夕刊	3.23	マニュアル式座談 会「日韓純愛ドラ マに物申すっ!!」	竹宮 恵子 マンガ学生 ・院生	
コミック教養講座 炭焼物語 武野繁康 [作画]宇江敏勝[原 作]	湯浅 学 朝 日		9.18	武谷大介が選ぶこ どもの絵1~4	武谷 大介	美術の窓 264~267
かたち百景 竹内久 一作「執金剛神立像」 いにしえ写す天心の 理想	(白) 日 経		8.7	太佐寿一郎 2001~ 2004年 作品の解説	太佐寿一郎	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編 3
忘れられた花鳥画家 竹原喟風の温かな死 骸絵		芸術新潮	661	作家の貌13 田澤茂 第15回タカシマヤ美 術賞に 三沢厚彦氏 田嶋悦子氏	一井 建二 (常)	美術の窓 261 新美術新 聞 1047
木版彫師・村瀬錦司 一夢二・恭吉・孤雁 の版画をめぐる一 [竹久夢二]	岩切信一郎	一 寸	21	田嶋悦子の軌跡一形 の発見	金子 賢治	陶 説 628
ひらがな日本美術史 [連載]	橋本 治	芸術新潮		田嶋悦子さんのこと	佐藤 京	" "
その百十四 堂々 たるもの 竹久夢 二と梶原緋佐子筆 「唱へる女」			665	イチオシ! 江戸切 り子職人 但野英芳 さん		朝日夕刊 1.31
その百十五 堂々 たるもの2 竹久 夢二筆「立田姫」			666	画家たちの美術史25 館勝生	鷹見 明彦	美術手帖 861
竹久夢二の「自由画 論」と美術教育	西 恭子	女子美術 大学研究 紀要	35	私の古典、私と古典 (27) 立原道造と建 築	鈴木 博之	学 鑑 102-2
大正時代のブランド 竹久夢二の港屋絵草 紙店	藤田 容子	みづゑ	70	歿後65年目に咲いた 立原道造(ヒヤシン ス)		芸術新潮 662
				詩人・立原道造が描 いた夢の家「ヒア シンズハウス」完成 自然に囲まれて思索 楽しむ小屋	鈴木 博之	読売夕刊 3.28

一本イットク?	TATTAKA e t c.	68~72、74	次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Sug-gestion from Artist 13 田名網敬——安岡亜蘭	安岡 亜蘭 インタビュアー	ギャラリー	242
帯形からみた丸ノ内本屋の意匠に関する考察—東京駅丸ノ内本屋の意匠に関する研究—[辰野金吾]	大内田史郎	日本建築学会計画系論文集 589	巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=情報 田中朝子	田中 朝子	版画芸術	127
丸ノ内本屋の天然スレートの意匠に関する考察—東京駅丸ノ内本屋の意匠に関する研究—その2—[辰野金吾]	"	" 593	特集 アーキテクチャー&アート進化系 アーティストが美術館をデザインしたら?	田中偉一郎	STUDIO VOICE	351
丸ノ内本屋のドーム内観の意匠に関する考察—東京駅丸ノ内本屋の意匠に関する研究—その3—[辰野金吾]	"	" 595	やつつけメーカー 13~24	"	美術手帖	859、861 ~866、 868、870 ~873
辰野金吾博士の作品がなぜ武雄に残るか	松尾 普一	文化財* 502	殺す・な博ドキュメント	榎木 野衣 小田マサノリ 工藤 キキ 山本ゆうこ ヲノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘	"	865
奇想遺産 武雄温泉 楼門・新館浴場 竜宮城、東京駅ときょうだい[辰野金吾]	藤森 照信	朝 日 4.24	表紙解説 〈裏〉田中一光《Kikutake Architects》	中谷 伸生	美術フォーラム21	12
色鮮やか「竜宮城温泉」佐賀・武雄 楼門など重要文化財に 辰野金吾、故郷に錦	浅川 澄一	日経夕刊 8.17	凜として 画家 田中一村 1~4	小金丸貴志	産 経	3.28~31
わたしのお気に入りかぎりなく不透明なコンポーズブルー	辰野登恵子 談	芸術新潮 667	木版彫師・村瀬錦司 一夢二・恭吉・孤雁の版画をめぐって—[田中恭吉]	岩切信一郎	一 寸	21
4と5(March—21—2004)	辰野登恵子	多摩美術大学研究紀要 19	コミック教養講座 ヤング田中K1 田中圭一[著]	吉田 豪	朝 日	8.7
《館蔵品紹介》辰巳文一作『雪のセゴビア』『セゴビア雪景』	南城 守	奈良県立美術館紀要 19	[特集]ガンダム行きます! 『ガンダム展』出版作家アンケート	田中 功起	ART iT	8
美術教育について思うこと	辰巳 文一	連盟ニュース 415	特集 「アーティスト」になる基礎知識 「アーティスト」への道それぞれ 海外留学	"	美術手帖	861
アトリエ訪問 正倉院裂を復元したり、抽象的世界を探ったりしつつ、自然をテーマに巧みな配色をもって自己の道を切り開いてきた龍村光峯	原田 平作	美術フォーラム21 12	境界線上の開拓者たち14 田中功起	斎藤 環	"	870
文化勲章に青木龍山氏 陶芸 文化功勞者に高階秀爾氏 美術評論・文化振興 建昌覚造氏 彫刻		新美術新聞 1073	ガンダム展 作家に聞く 中 社会で戦う等身大の少年像 アーティスト田中功起さん	伊藤 鉄平	産 経	11.9
所蔵作品紹介 貌2 建昌覚造	安達 一樹	徳島県立近代美術館ニュース 52				
巻頭特集 琳派力って何? 果てしなく蘇生する造形 RIMPAの謎 秘められた9の仕掛け	田名網敬一、長澤章生 対談	アートトップ 206				

ROUND TABLE 2005	権田 萬治 毛利 ユリ 菊畑茂久馬 田中 信太郎 近藤 竜男	あいだ	114	第17回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決定 彫刻部門に三宅一生氏、建築部門に谷口吉生氏が受賞	"	1072
田中孝《On The Table》《Breeze—2》について	村上 敬	アマリリス	79	特集 アーキテクチャー&アート進化系谷口吉生による新装MoMA	河内 タカ STUDIO VOICE	351
前田寛治氏の思い出を語る(2)(3)	田中 忠雄 語り手	連盟ニュース	412、413	1990年代以降の建築・都市17 Renewal of Modernism 谷口吉生論	五十嵐太郎 10 + 1 *	41
オーロラ、レンズに輝く 年間延べ2ヵ月は現地に、4万カット超す写真撮影	田中 達也	日 経	1.31	高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者の横顔 建築部門 谷口吉生	産 経	10.18
特集 クリエイターのための独立ガイドワークスタイル 仕事と育児を両立させるには? 田中千絵さん	山本 高樹	デザインの現場	138	話の肖像画 空を創る1~6 世界文化賞建築部門受賞建築家谷口吉生さん	岡本 耕治 聞き手	" 10.31 ~ 11.5
田中長徳の「よもすがらモノおもふころ」第14回~第19回	田中 長徳	A X I S	113~118	“舞台裏”語る 世界文化賞の谷口さん	"	11.26
特集 私はここに「いかに在るか」ということ	田中 秀樹	自由美術	2005	東山魁夷せとうち美術館 2人の巨匠の“交差点” 変わらぬ谷口吉生の哲学 完成度高い「小品」	猪谷 千香	" 12.1
わたしの好きなもの「最初の水の季節」	田中みぎわ	新美術新聞	1055	語る 建築家 谷口吉生 自分見つける静かな空間	日 経	4.9
びーぶる とぼけた表情 これもアート描き続けて「骸骨中毒」[田中靖夫]	白石 明彦	朝日夕刊	2.12	先進的たりえるか 改築されたMoMAの評判と行方[谷口吉生]	日影 眩 毎日夕刊	2.10
僕に沁みついた街	棚田 康司	芸術新潮	668	博物館明治村への誘い 明治村誕生秘話 夢のプロジェクトX 谷口吉郎の「明治の愛惜」に応えた友 土川元夫	西尾 正敏 太 陽	明治村記念号
巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.1 日本彫刻の精神とドイツで出会う	"	美術の窓	260	かぼちゃ頰[谷中安規]	丹尾 安典 一 寸	24
ひらがな日本美術史【連載】その百十八「マンガ」に属したものの 谷内六郎の作品と六浦光雄の作品	橋本 治	芸術新潮	670	近代美術の東京 谷中安規 ロケーション	都築千重子 読 売	9.2
『ガンソード』、もう狂い死に寸前! [谷口吾郎]	パルコキノシタ	STUDIO VOICE	359	特集 私はここに「いる」 農画家人生の今	谷本 重義 自由美術	2005
特集 ランドスケープ・デザインは建築を変えるか? 建築・都市空間とランドスケープ・デザイン6 ランドスケープ・デザインと環境デザインの未来[谷口吉生]	大野 秀敏	建築雑誌	1536	作家の貌 ^{かお} 18 谷本重義	一井 建二 美術の窓	266
村上隆の「リトルボーイ」 谷口吉生のMoMA ニューヨークに日本の原爆が落ちて	彦坂 尚嘉	新美術新聞	1061	第66回国際写真サロン 総評 海外作品に発想の面白さ	田沼 武能 朝 日	12.24
				特集 生活デザインの素 日本民芸館へいこう IVエッセイ 8人のプリズム 二と三と四	東 芋 芸術新潮	667
				東芋、ニューヨークでの個展は盛況!	" 美術の窓	261

— 238 —

建築望見 丹下作品 と国家の関係性	高野 清見	"	5.7	40×40 Project for BT 昭和40年 会の 七人も侍 第拾貳号 連載 5—わたしも40 年かい? 今日の客 人=塚本由晴(アト リエ・ワン)	40×40取材 班	美術手帖	873
建築季評 丹下の死 はモダニズムの終焉	中川 理	"	6.22	コミック教養講座 つげ忠男のシュール レアリズム つげ忠 男[著]	湯浅 学 朝 日	7.31	
戦後日本象徴する建 築 丹下氏死去「心 揺する何か」探求		日 経	3.23	きらめく一点 エミ ール・ガレ展から 1 花器(おそらく チョウセンアザミ) 力強さ、自然と「共 作」	辻 清明	日経夕刊	2.15
丹下健三先生を悼む 近代建築に日本を表 現 未来都市を模索	黒川 紀章	"	3.24	特 集 1 BankART Life 作家+作品紹 介[辻直之]		Bank- ART Life	創刊号
(チ)				辻直之『3つの雲』 囚われと解放をめぐ るトリロジー	北小路隆志	美術手帖	868
気鋭新鋭 近森基さ ん 久納鏡子さん (メディア・アーテ ィスト) 現実と仮 想のはざままで創作	(良)	読売夕刊	3.25	一蓮と水と光りの世 界—第二十六回日本 新工芸展出品作品 「蓮波紋」帖佐美行記 念賞 上野の森美術 館	辻 信夫	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30
法廷ひと模様 わい せつ図画裁判で証言 ちばてつやさん 描 く側の良識信じて	橋本 誠 東 京	3.27		特集 私はここにい る 私は、ここにい る	達 正夫	自由美術	2005
この人 文星芸術大 教授に就任した漫画 家 ちばてつやさん		"	5.7	やきもののことなど —細川護熙氏聞き書 き—	辻村 史朗	国華清話 会会報	5
惜別 漫画家 中尊 寺ゆつこさん 時代 駆けたオヤジギャル	小原 篤 朝日夕刊	4.11		人と書17、18 陶芸 家・辻村史朗の書 (1)(2)	真鍋 井蛙	目の眼	347、349
走り続けた「オヤジ ギャル」中尊寺ゆつ こさんを悼む	香山 リカ 毎日夕刊	2.8		資料紹介 津田清楓 遺墨及び関連資料	磯部 彰	東北アジ ア研究	9
中尊寺ゆつこさんを 悼む 本当の「オヤ ジギャル」今こそ 待ち望まれたが	渡邊 直樹 読売夕刊	2.4		津田直 『近づくと Coming Closer』	竹内万里子	STUDIO VOICE	357
小さな本の大きな世 界 追悼・長新太さ ん	長田 弘 東 京	7.5		表現の視座・7 風 と戯れる梢のイメー ジ	津田 益夫	主体美術	77
追悼抄 絵本作家長 新太さん 子供に愛 された「不条理」	伊藤 譲治 読売夕刊	8.2		惜別 むり絵作家 葛谷喜一さん 画風 が語る情熱と温かさ	河合 真帆	朝日夕刊	4.4
(ツ)				巻頭特集 風景画の 楽しみ方 航跡…お たやかな日…	津地 威汎	美術の窓	264
凛とした縞 小倉織 に息吹 武士やバン カラ学生が愛した伝 統織物、現代に再生	築城 則子 日 経	7.8		土浦亀城の戦前の独 立住宅にみる外観と 起居様式の特徴につ いて	田中 厚子	日本建築 学会計画 系論文集	598
巻頭特集 人気作家 101人の年賀状「戌」 犬をつくる作家たち 2 塚口紀子「愛犬 サンディー」を描く		美術の窓	266	第16回五島記念文化 賞 美術新人賞に高 橋匡太氏 現代美術 土田俊介氏 彫刻	(美)	新美術新 聞	1055
太陽と結婚する少女 たち	司 修 日 経	5.15					
神宮名品解説 神宮 美術館所蔵奉納美術 品 工芸「白瓷水鳥 文皿」[塚本快示]	(中村) 瑞 垣	200					

ピラミッド背に「環境芸術」披露 京都女大学生ら[土田隆生]	高橋 宗男	毎日夕刊	8.26
名画のなかの女性たち15 土田麦僊《舞妓林泉》	中山 忠彦	美術の窓	262
土田麦僊試論—《明粧》を中心にして	古田 亮	MUSEUM	599
土田ヒロミをさがせ!		芸術新潮	670
新・砂を数える 土田ヒロミ著		日 経	6.19
特集 クリエイターのための独立ガイドワークスタイル 卒業後そのままフリーランスに 土屋淳広さん	山本 高樹	デザインの現場	138
わたしのお気に入り不思議の国の名残り父のオシドリ時計	土屋 公雄 談	芸術新潮	669
巻頭特集 天地逍遙・いざ山水へ 山水を巡る巨匠たちの足跡	土屋 禮一、中野 嘉之 解説	ア ー ト ト ッ プ	203
次世代からの問いかけ アーティストの生き方とは Suggestion from Artist 14 土屋禮一—大竹司	大竹 司 インタビューアー	ギャラリー*	243
大臣賞制作意図 文部科学大臣賞「椿樹」	土屋 禮一	日展ニュース	119
都築響一の現代美術場外乱闘 第5回～第8回	都築 響一	ART iT	6～9
アトリエの扉をあけて59 都築潤 画材に導かれて拓く絵の可能性	杉瀬 由希	デザインの現場	138
古寺巡礼と中尊寺	堤 勝雄	関 山	11
未来を担う美術家達木を使ったリトグラフ制作会報告	角田 元美	連盟ニュース	413
椿昇インタビュー	酒井 千穂 文	STUDIO VOICE	358
ヤン・シュヴァンクマイエル 最後のシュルレアリスト 闇の消えゆく時代につける奇妙な葉 ネオ・シュヴァンクマイエルの威力	椿 昇	美術手帖	872
横浜ドキュメント2005 5 横浜トリエンナーレ2005緊急アンケート	"	"	873

21世紀のアーティストよ、吟遊詩人たれ	"	遠 近	7
坪内好子 時間を紡ぐ	波 多 野	版画芸術	130
津村耕佑 妄想オーダーモード 第1回～第3回 山口小夜子	津村 耕佑、山口小夜子 対談	ART iT	7～9
釣谷光輝 混沌を抱き佇むヒト	辺 見	版画芸術	127
「茶坊主」でなかった従軍画家[鶴田吾郎]	市原 尚士	読売夕刊	4.1
(テ)			
先輩に聞け! デザイナーが若いうちにしておくべきこと6 鄭秀和	石田 純子	デザインの現場	140
惜別 新幹線車両をデザインした東海大名誉教授 手銭正道さん 手がけた作品は愛らしく	西田 健作	朝日夕刊	3.28
コミック教養講座 ブラック・ジャックマガジン 手塚治虫[原作]	吉田 豪 朝	日	4.24
“偉大な父”への挑戦状 漫画 評『PLUTO』[手塚治虫]	猪谷 千香 産	経	6.18
懐かしの風景「漫画の神様」東京都新宿区[手塚治虫]	南 正時	日経夕刊	11.9
時代の証言者 日本のメルヘンやなせたかし11 手塚治虫と寝泊まりで仕事	渡辺 亮 担当	読 売	2.21
画家たちの美術史31 寺内曜子	鷹見 明彦	美術手帖	868
わたしの宝もの4 バッハ・平均律クラヴィーア	寺久保文宣	新美術新聞	1065
日展をひかえて もの想いの実の生る木を	"	日展ニュース	118
巻頭特集 謎の画家の全貌!! ラ・トゥールの神秘 現代作家が語るラ・トゥールの魅力 ラ・トゥールの造形美、そのささやかな解説としてラ・トゥールの古典性と現代的な造形性	"	美術の窓	258
新年特集 年男年女に聞く	寺坂 公雄	新美術新聞	1044
第61回日本芸術院賞 決まる 恩賜賞に川崎春彦氏[寺坂公雄]	"	"	1053

2005年度日本芸術院
新会員決定 第一部
(美術)は、寺坂公雄
洋画、蛭田二郎 彫
刻、河合磐徳 工芸
の3氏

” 1075

平成16年度新収蔵作品の紹介 寺崎廣業「王摩詰」1912(昭和40)年 保泉 充 A R K 44

寺崎武男 扶搖萬里
之風

修復研究
所報告 17

修復報告 渡辺 郁夫
村山 浩規試料片調査結果 宮田 順一

第34回中原悌二郎賞
優秀賞は3氏に決定
[寺田栄]

新美術新聞 1066

私が絵を描く理由 寺戸 恒晴 石見美術 3

石見を愛し続けた洋
画家 寺戸恒晴氏を 平坂 常弘 " "

巻頭特集 謎の画家
の全貌!! ラ・トゥール
の神秘 現代作家
が語る ラ・トゥール
の魅力 ラ・トゥール
な雑感—「蠟燭の
光」考

照沼 彌彦 美術の窓 258

卷頭特集 不思議の
国 ドイツの美術
Part.3 現代作家が
選ぶドイツの逸品
キーファー「ニル
ンベルク」

ナビゲーター 未来
へ向かう他者への一
歩〔昭屋勇賢〕 山盛 英司 朝日夕刊 2.15

殺す・な博ドキュメント

榎木 野衣
小田マサノ
リ
工藤 キキ
山本ゆう
ヲノサトル
宇治野宗輝
伊東 篤宏
カスガアキ
ラ
田中偉一郎
山川 冬樹
点
木下 勝弘

美術手帖 865

[特集]ガンダム行き
 ます!『ガンダム
 展』出展作家アンケ
 ート

天明屋 尚 ART iT 8

特集 「日本画」って
なんだろう？ 【状
況編】「日本画」は変
わるか？ Artist In-
terview 1 天明屋
尚

古田 亮
聞き手 美術手帖 864

現代美術の歩き方
異論反論・現代美術
FIFAワールドカッ
プ2006 アートボス
ターに天明屋尚

美術の窓 264

GUNDAM展 気鋭のアーティスト熱き思いを刺青ほどこし「進化」 東谷隆司、横山豊蘭、天明屋尚 産経 11.12

日本画 光る新時代
画壇から距離「近代」と一線[天明屋
尚]

富田 律之 日 経 12.17

顔 サッカーW杯の
公式アートポスター
を描いた 天明屋尚 永井 一颯 読 売 8.23
さん

(ト)

PAPER IN MY WORK
96 唐仁原教久 橋本 麻里 デザイン
「普通」であることの の現場 138
気持ち良さ

みづゑ100年記念
描き続けるために大切なこと 唐仁原教久 村上圭一 みづゑ 74

補陀落一海の果て 東野 光生 目 録 2.6

視線 Memoraphilia 飯沢耕太郎 朝 日 1.30
藤部明子著

方法としての『記録』：東松照明『太陽の鉛筆』と沖縄	鈴木 勝雄	東京国立近代美術館研究紀要	10
---------------------------	-------	---------------	----

風韻 被爆の実相写 西岡 一正
真に託して 写真家 インタビュー 朝日夕刊 8.13
東松照明 一

対談録「一九五〇年
代バリ君と僕の青
春」

芳賀啓子
高語堂
本ゲス
ト

徹、秀爾
尚郎

大原美術館
美術要
紀要

2

アート探究 画家堂
本尚郎の軌跡 無意
識を力に新境地 偶
然の広がりを楽しむ

白木 緑 日 経 12.10

アートリエ訪問 ドラム缶に抽象された世界に導かれながら古来東洋が内在させてきた悠々たる生の世

原田 平作 美術フォーラム21 11

界を具象的にさぐつてきた堂本元次

第24回損保ジャパン

大賞に後藤拓朗氏
〔遠山香苗〕

第24回損保ジャパン
美術財団選抜奨励展
受賞作品紹介 秀作
賞 遠山香苗さん
「15/02/04」

視線 Touch it! 遠山茂樹・遠山式開 発チーム著	山下 裕二 朝 日	1.16	
特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 富樫 義博	吉田 大助 STUDIO VOICE	354	
[特集]ガンダム行き ます! 『ガンダム 展』出版作家アンケ ート	常盤 響 ART iT	8	
古九谷浪漫 華麗な る吉田屋展 加賀の 美—180年の時を超 えて 古九谷、吉田 屋、今につながる加 賀の色絵釉薬	徳田八十吉 新美術新 聞	1075	
40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第貳号 [土佐正道(明和電 機)]	昭和40年会 美術手帖	861	
クリエイターズワー ク&ソウル 戸鋪誠	A X I S	115	
新しき誘惑への使徒 たちVol.16 戸田勝 久	ア ー ト ト ッ プ	201	
青いガラスの部屋の ひとたち	戸田 康一 多摩美術 大学研究 紀要	19	
土曜訪問 ネット発 表作品が相次ぎ単行 本化 言い過ぎるの はやっぱり嫌 戸田 誠二さん(漫画家)	野村由美子 東京夕刊	2.19	
制作ノート 戸田裕 介	戸田 裕介 武蔵野美 術大学研 究紀要	35	
柄折久美子のルリユ ール	荒川由紀子 ア ー ト ト ッ プ	206	
特集 春香山の本郷 新[柄内忠男]	林 忠文 L u r e	76	
特集 私はここに いる 私の居場所	十時 良 自由美術	2005	
木版彫師・村瀬錦司 一夢二・恭吉・孤雁 の版画をめぐる— [戸張孤雁]	岩切信一郎 一 寸	21	
第一 特集 GRAF- FITY AS CULTURE ENGINE!!! 拡張す るグラフィティ TOMI—Eが感じた 90's LAグラフィテ イ	有 太 マン STUDIO VOICE	360	
Go! Artists Go! 13 富井大裕	柘植 響 美術手帖	863	

[特集] ヴィジュー アル・カルチャー・ス タディーズ—作品か らイメージへ6 実 践としてのモダニズ ム—建築家・富家宏 泰の活動を通じて考 える	中川 理 美術フォ ーラム21	12	
特集 楽園—東と西 — 鉄斎の楽園 「口出蓬莱図」をめぐ って[富岡鉄斎]	中前 正志 アジア遊 学	82	
遅咲きのひと49 長 距離ランナー 富岡 鉄斎 息子の死乗り 越えまい進	足立 則夫 日 経	3.13	
富田溪仙 《筑紫八 景》より 観世音寺 の晩鐘/千代の松原 積雪	柴田 勝則 エスプラ ナード	138	
わたしの失敗 アニ メーション作家富野 由悠季さん 路線転 換図るも…監督降板	鶴野 光博 産 経	6.9	
ガンダム展 アート 界に新たな波を 富 野由悠季氏に聞く	酒井 潤 "	11.3	
古典が息づく現代の 工芸 富本憲吉「色 絵蒔模様角鉢」と九 谷の色絵磁器	木田 拓也 淡 交	723	
富本憲吉の人と焼物	内藤 匡 陶 説	623	
富本憲吉氏訪問記	藤岡 忠成 "	"	
富本憲吉の日常のう つわ	唐澤 昌宏 "	"	
特集 富本憲吉の美 と生活		目 の 眼	342
対談 陶工の情熱 と芸術家の眼	辻井 喬 唐澤 昌宏		
特集 富本憲吉の 美と生活 民芸と の交流	編 集 部		
日本のカタチ 「美」 と「用」矛盾に立ち向 かう 富本憲吉 「染付柘榴模様土瓶 ・湯呑」	前田 恭二 読売夕刊	1.29	
古寺巡礼と中尊寺 [土門拳]	堤 勝雄 関 山	11	
巻頭特集 プロが教 える水彩ステップア ップ講座 左手から 生まれた水彩—写真 家・土門拳の絵画世 界	藤森 武 美術の窓	265	
影から実体へ	戸谷 成雄 国立国際 美術館月 報	147	
特 集 YOSHITOMO NARA+graf、AtoZ		STUDIO VOICE	358

AtoZプロジェクト対談：奈良美智×豊嶋秀樹(graf)	奈良 美智、 豊嶋 秀樹 談			永〜井漫画家人生、 豪勢な夢語る まだ 還暦、作品ざっと300 点「これからは歴史 物を」映画化相 次ぎ、記念CDも[永 井豪]	山田 晴子 東 京	9.22
バンコク・リサーチ・ツアー	豊嶋 秀樹					
横浜トリエンナーレ 開催記念 奈良美智 ×豊嶋秀樹(graf)× 川俣正「AtoZ」へ の長い長い旅	編 集 部 構 成	美術手帖	871	巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 永井保 何ぞ遙かなる……。	林 健造 美術の窓	257
画家たちの美術史30 豊嶋康子	鷹見 明彦	"	866	皆川泰蔵先生を偲ん で 極寒のハイデル ベルクの想い出	中井 貞次 新美術新 聞	1058
街角 絵本の世界に フルートの音[とよ たかずひこ]		朝 日	2.6	はてな?おもしろ浮 世絵224~235	中右 瑛 目の眼	340~351
コミック教養講座 アンダーカレント 豊田徹也[著]	南 信長	"	12.4	Close-up37 中 尾 成 街へのまなざし	ギャラリ ー*	245
座談会：グループ (位)を語る	河口 龍夫、 豊原 康雄、 中田 誠、 向井 孟、 談 章一 平井 司会・編	ART RAMBLE	6	具象彫刻の新しい可 能性―第二回グルー プ環展メンバー特別 座談会	佐藤 守男、 石谷 孝二、 池田 秀俊、 長雄 新、 保田 井智之 対談 建二 司会	美術の窓 266
名流 最後の女性浮 世絵師 歌舞伎絵一 筋、黄綬褒章 鳥居 派9代目宗家 鳥居 清光さん	富沢 慶秀	東京夕刊	5.7	みづゑ100年 記念 デザイナーが選ぶ 100年後に残したい 職人の技 ナガオカ ケンメイ	藤田 容子 みづゑ	74
(ナ)						
Artist Interview 75 内藤成浩 天然力の ヒト	石田 純子	デザインの 現場	143	座談会 具象彫刻の 方向と現状―II	上野 弘道 司会 池田 宗弘、 桑山 賀行、 中垣 克久、 中村 義孝、 日原 公大、 吉野 毅、 渡辺 治美 談	ART LIBRARY 6
新しき誘惑への使徒 たちVol.20 内藤定 壽		ア ー ト ト ッ プ	205			
第24回「土門拳賞」に 坂田栄一郎「PIERC- ING THE SKY―天を 射る」選評 生 命のドキュメント	内藤 正敏	毎 日	3.23	CRAZY FANTASY 坂川守、中川敦夫、 東明、三宅砂織、児 島サコ	原 久子 STUDIO VOICE	357
昭和の「かわいい」今 も健在 内藤ルネ再 評価	藤田 綾子	産 経	9.25	交遊抄 伝統と最先 端	中川 衛 日 経	9.9
次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 15 内藤礼一宮永愛 子	宮永 愛子 インタビュ アー	ギャラリ ー*	244	長倉洋海写真展開催 記念講演会	長倉 洋海 美術館・ 友の会だ より	142
特集 私はここに いる 自らの存在につ いて	仲 隆三	自由美術	2005	私の20ドル 長倉洋 海1 手強いロシア 女性	長倉 洋海 朝 日	3.3
飾る愉しみを追う file 8 人生を変え てくれるような1点 に出会う[永井一正]	秋 田	版画芸術	129	視線 路地 中里和 人著	南 伸坊 "	1.9
こころの風景	永井 一正	朝日夕刊	9.26~28	作家訪問339 陶芸 家 中里浩子さん	編 集 部 目の眼	342
				古典が息づく現代の 工芸 中里無庵「唐 津水指」と桃山の唐 津焼	北村 仁美 淡 交	729

銀座ギャラリー日記 アーティストの思い を聴く[長沢明]	栗田 玲子	朝日夕刊	8.11	追悼 永島慎二さん 都市の若者愛し… 青春漫画の開拓者	川本 三郎	産 経	7.13
現代陶芸・長澤和仁 『記憶』の考古学的 表現	柴辻 政彦	陶 説	627	人間の孤独みつめた ダンさん 永島慎二 さんを悼む	大月 隆寛	毎日夕刊	7.13
浮遊する立体“when where how…”	長沢 桂一	多摩美術 大学研究 紀要	19	巻頭特集 至福のミ ュージアム 日本美 術の奥座敷 名品に は空間の贅を尽くす リニューアルした東 京国立博物館本館	中島 千波	ア ー ト ト ッ プ	201
巻頭特集 プロが教 える水彩ステップア ップ講座 技法なき 技法「セツ流」とは— 長沢節の水彩画	白坂 ゆり	美術の窓	265	アーティスト訪問24 中島千波		ギャラリ ー*	245
特集 日本近現代美 術 史1905▶2005 Chapter 5 1970— 1985 モダンの臨界 点・ポストモダンの 旋回	中ザワヒデ キ	美術手帖	866	新年特集 年男男女 女に聞く	中島 千波	新美術新 聞	1044
第21回現代日本彫刻 展 大賞に長澤英俊 氏		新美術新 聞	1072	「中島千波の画業の 展開」 驚くべき軽 やかさ	橘 秀文	〃	1070
巻頭特集 プロが教 える水彩ステップア ップ講座 永沢まこ と「線描を生かす 水彩」	永沢まこと 談	美術の窓	265	還暦記念インタビュ ー 千波&美子、い まなら話せる一師で あり父、清之との葛 藤[中島千波]	中島 千波、 中島 美子 談	〃	〃
モードの輪舞曲3 工芸を見つめ直して	永澤 陽一 上間 常正 聞き手	朝日夕刊	2.25	巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 中島千波に尋ねる 「日本画家と石膏デ ッサン」	中島 千波 談 鴻池 朋子 聞き手	美術の窓	267
中路 融人 2000~ 2003年 作品の解説	中路 融人	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3	永島正人×荒井良 二、競作 第1回、 第2回	来嶋 路子	み づ ゑ	73、74
新年特集 年男男女 女に聞く	〃	新美術新 聞	1044	ミュージアムと銭湯 絵師のコラボレーシ ョン〜交通博物館・ 模型鉄道パノラマの 背景を書き替える〜 [中島盛夫]	高杉 京子	MUSE- OLOGIST	20
日々好日 先人の残 せしもの	〃	〃	1053	クローズアップ 出 産を経て活動開始し た写真家 長島有里 枝さん 夫婦、親子 を見つめ直す		日経夕刊	1.13
技法と材料 「たま ごで描く絵と砂糖で 描く銅版画」	中嶋 修	主体美術	78	特集 グラフィック デザイナー 次に組 むならこの人 品格 を保ちつつ若者にも 訴求する、神社デザ インの革新 永田武 史	倉西 幹雄	デザインの 現場	144
還暦記念インタビュ ー 千波&美子、い まなら話せる一師で あり父、清之との葛 藤[中島清之]	中島 千波、 中島 美子 談	新美術新 聞	1070	座談会：グループ 〈位〉を語る	河口 龍夫、 豊原 康雄、 中田 誠、 向井 孟 談 平井 章一 司会・編	ART RAMBLE	6
[制作記録]テキスタ イルの装身具	中島俊市郎	金沢美術 工芸大学 紀要	49	【資料紹介】 中基瑞 真氏の木工芸制作道 具	布施 治也 毎田佳奈子 高山 優	港区立港 郷土資料 館研究紀 要	8
コミック教養講座 漫画家残酷物語 永 島慎二[著]	湯浅 学	朝 日	3.6				
若者の内面、鮮烈に 描写 漫画家・永島 慎二さんを悼む	村上 知彦	朝日夕刊	7.8				
惜別 漫画家 永島 慎二さん 誠実貴い た「教祖的存在」	三沢 敦	〃	8.1				

巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 すいどーばた美術学 院・学院長インタビ ュー「受験に石膏 デッサンは必要か」	中谷 川畑 談	児、 毅	美術の窓	267	巻頭特集 日本の銅 版画 メソチントの マチエール 長谷川 潔・浜口陽三からの 出発 座談会 長谷 川潔・浜口陽三のメ ソチントを解説する	三木 哲夫、 吉原 英雄、 中林 忠良、 猿渡紀代子 対談 松山 龍雄 司会	版画芸術	130
〈神〉と番記者とのカ ーニバル 赤塚不二 夫のことを書いたの だ!! 武居俊樹著	長谷 邦夫	東 京	6.5		〈版画年04~05〉この 一年	中林 忠良	連盟ニユ ース	412
天才ゴッホの素顔3 日本への思い温めた 部屋[中西繁]	森村 陽子	東京夕刊	3.18		特集 アートブック ガイド2005 プロが 読んでる美術の本27 テーマ300冊 アー トを多角的にとらえ るためのブックガイ ド デザインとアー トがわかる	永原 康史	美術手帖	859
尾形光琳《紅白梅図 屏風》と現代絵画一 岡本太郎と中西夏之 の见解をめぐって一	北澤 憲昭	跡見学園 女子大学 人文学フ ォーラム	3		プリントゴッコ 『RUA DO LIMOE- IRO〜レモン通りを ぬけて』 nakaban	藤田 容子	みづゑ	73
中庭煖華と「古仏” 画」という画題	福田 道宏	展覧会だ より	4		インタビュー 噴火 する色・言葉・生命 長瀬剛の詩画世界		ア ー ト ト ッ プ	203
メキシコで実施した 展覧会、スライドレ クチャー、ワークシ ョップの報告	長野 五郎	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1		作品「MONTPARNA- SSE」(2003年制作)の 解説	中町 力	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3
作家訪問340 染色 家 中野スズミさん	編 集 部	目の眼	343		川端龍子展 会場から 抜群の色彩感覚 大胆な構図評価	中村 一美	毎 日	12.10
古典が息づく現代の 工芸 長野埜志と “和銃”一松林の図 肩衝釜	唐澤 昌宏	淡 交	731		[作品研究]中村錦平 《日本趣味解題》一叛 逆の憂鬱	富田 康子	現代の眼	550
特集 ギャグまんが 大行進 少女マンガ のギャグ 武石りえ こと永野のりこ	小谷野 敦	ユリイカ	503		不穏な贈りもの 中 村錦平『東京焼 自 作自論』	北澤 憲昭	美術手帖	872
第30回木村伊兵衛写 真賞 中野正貴氏に 決定		新美術新 聞	1054		人・模・様 「今は敗 戦直後のようだ」[中 村錦平]	川辺 章生	毎日夕刊	8.3
ひと 第30回木村伊 兵衛写真賞を最高齢 で受賞した 中野正 貴さん	岩田 一平	朝 日	3.3		日々好日 インド・ 仏跡巡礼とスケッチ の旅	中村 晋也	新美術新 聞	1044
巻頭特集 天地道遙 ・いざ山水へ 山水 を巡る巨匠たちの足 跡	土屋 禮一、 中野 嘉之 解説	ア ー ト ト ッ プ	203		作家の貌 ^み 11 中村清 治	一井 建二	美術の窓	258
アーティスト訪問18 中野嘉之		ギャラリー 一*	239		近代美術の東京 中 村 穉	大谷 省吾	読 売	
2004年度芸術選奨 文部科学大臣賞に中 野嘉之氏、宮本隆司 氏 新人賞に青木淳 氏、宮崎吾朗氏	(美)	新美術新 聞	1053		大島風景			11.11
リレーエッセイ 「美について」一放射 の交歓一	中野 嘉之	た ま び	36		エロシエンコ氏の 像			12.9
中ハシクシゲ 《Nippon Cha Cha Cha》	山口 洋三	エスブラ ナード	141		Close-up34 ナカ ムラ徹 見る人に答 えを求めたい		ギャラリ 一*	242
一台の銅版画プレス 機を巡って	中林 忠良	絲綢之路*	47		個と集団 〈達成志 向集団〉のこと一ふ たたび主体美術とは 一	中村 輝行	主体美術	78

ROUND TABLE 2005[中村宏]	宮内桂川 中村森口 池田中村	嘉久寛 光行宏 龍雄宏	あいだ	112	巻頭特集 新・リアリズム宣言Ⅱ 写真VS. 現代美術 中山ダイスケインタビュー—僕は、未来の絵が描きたい	中山ダイスケ 談	美術の窓	262
書論の広場 投稿 中村不折—その歴史と書—	牛丸	好一	墨	173		上平貢、 遠藤幸一、 佐藤道信、 菅原教夫、 菅原忠彦、 中山堅太郎 橋本透石 清水司会	日展ニュース	119
巻頭特集 今、石膏デッサンは必要か。 中村政人インタビュー「石膏デッサンと美術教育」	中村 談	政人	美術の窓	267	座談会 「第三十七回日展—新たな歩み」			
[特集展示]戦後日本画の新風—横山操と中村正義	大谷	省吾	現代の眼	550	名画のなかの女性たち 9~20	中山 忠彦	美術の窓	256~267
加納豊廣—染めと織りにかけた生涯—	中村 神	康人 英雄	石見美術	3	巻頭特集 今、石膏デッサンは必要か。 洋画家・中山忠彦氏インタビュー 作家は自分のプロポジションを持つべきである	中山 忠彦 談	"	267
座談会 具象彫刻の方向と現状—II	上野 弘道 司会 池田 宗弘、 桑山 賀行、 中垣 克久、 中村 義孝、 日原 公大、 吉野 毅、 渡辺 治美 談	ART LIBRARY	6	粧春 衣裳の夢	中山 忠彦	日 経	1.1	
「素と形」展—“デザイン”に対する静かで深い問いかけ[中村好文]	川上典李子	A X I S	113	特集 私はここにいます 私はここにいます?	那須ゆいか	自由美術	2005	
特集 生活デザインの素 日本民芸館へいこう IVエッセイ 8人のプリズム 小春日和の教室	中村 好文	芸術新潮	667	みづゑ100年記念 描き続けるために大切なこと 灘本唯人	村上 圭一	みづゑ	74	
著者に会いたい 『意中の建築』上・下 中村好文さん	宮崎 健二	朝 日	11.13	アートスクールガイド2005 なぜアートスクールに行ったのか?そのきっかけと準備。アートスクールで得たものは?	夏目 彰	美術手帖	867	
巻頭特集 新・現代版画スタイル		版画芸術	127	マンガの居場所		毎日夕刊		
版画=身体 長森 仙子	長森 仙子			一から素手で始める 夏目[夏目房之介]	宮本 大人		3.17	
制作現場編 創作を広げる「身体」にある素材 長森仙子	秋 田			脱線事故で亡くなった 雑賀陽平氏	夏目房之介		5.12	
モダニズムノカケラ—中山岩太《補助足袋》をめぐる3~7	松実 輝彦	美術運動史研究会 ニュース	72、73、75~77	書店の快楽	"		9.21	
再始動した飴屋法水と話題騒然の展覧会を証言と批評で検証する「バングメント」展とはなんだったのか 白箱日記	中山ダイスケ	美術手帖	871	Close-up30 七 尾謙次郎 アメリカで今なお胸を締めつける青森のイメージ		ギャラリー	240	
				新年特集 年男男女女に聞く	那波多目功一	新美術新聞	1044	
				いのちを持つ写真 [那波多目功一]	一井 建二	美術の窓	261	
				特集 YOSHITOMO NARA+graf、AtoZ		STUDIO VOICE	358	
				AtoZへの道	宮村 周子			
				AtoZプロジェクト対談: 奈良美智×豊嶋秀樹(graf)	奈良 美智、 豊嶋 秀樹 談			

バンコク・リサーチ・ツアー	豊嶋 秀樹			
シミュレーション：初期作品	児島やよい			
特集 「アーティスト」になる基礎知識 奈良美智 「アーティスト」を職業として考えたことがない	東谷 隆司 聞き手	美術手帖	861	
横浜トリエンナーレ 開催記念 奈良美智 ×豊嶋秀樹(graft)× 川俣 正 「AtoZ」への 長い長い旅	編集部 構成	"	871	
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 ホワイトキューブから の脱出 奈良美智 +graft「A to Z」展、 来夏に開催決定！		美術の窓	265	
かたち百景 奈良美 智作「あおり犬」 美術館守り縄文へ敬意	(宝)	日 経	11.6	
交遊抄 アルプスの 師	奈良原一高	"	2.26	
—ON THE BREEZE—	奈良平宣子	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30	
特集 グラフィック デザイナー 次に組 むならこの人 直感的 に心をつかむ「世界 観」 成田久	杉瀬 由希	デザインの 現場	144	
四季の匠 手描き友 禅[成瀬優]	徳永 京子	新美術新 聞	1049	
次世代からの問いかけ アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 12 森村泰昌—名和 晃平	名和 晃平 インタビュー アー	ギャラリ ー	241	
特集 アート界最後の カリスマ！マシ ュー・バーニーの世 界 Who is MB? by the young artists	クリス・ル ビノ 佐藤 姿子 金氏 徹平 名和 晃平	STUDIO VOICE	356	
現代作家紹介 名和 晃平のCELL 「現実」 の表皮を解体する 試み	金 悠美	美術フォー ラム21	12	
旗手 名和晃平さん 美術家「物」を解 体、視覚を問う		日経夕刊	2.7	
特集 建築と書物 建築家的読書術 必 読書をめぐって	難波 和彦	10 + 1*	38	
日展会員賞制作意図 「逍遙・水無月」	難波 滋	日展ニュー ース	119	

(二)

現代工芸作家シリ ーズ21 魔術師たちの 贈り物 新里明士	富田 康子	ア ー ト ト ッ プ	206	
特集 私はここに いる 「私はここに いる」約束の場所	新村 稔	自由美術	2005	
天心と新納忠之介— 天心から受け継いだ 古美術保存の精神—	大森 壮一	茨城県近 代美術館 だより	67	
特集 私はここに いる 刻のはだまで	西 さだ子	自由美術	2005	
ジョン万次郎銅像 「自分が作った」東 京地裁原告の主張認 める[西常雄]		日経夕刊	6.23	
あの人に迫る 北陸 在住を貫きトップラ ンナー 西のぼる 挿絵画家	今宮 久志	朝日夕刊	7.29	
博物館明治村への誘 い		太 陽	明治村記 念号	
明治村建造物移築 物語 先人の夢を 引き継ぐ	西尾 正敏			
明治村誕生秘話 夢のプロジェクト X 谷 口 吉 郎 の 「明治の愛惜」に応 えた友 土川元夫	"			
[特集]ガンダム行き ます！『ガンダム 展』出展作家アンケ ート	西尾 康之	ART iT	8	
境界線上の開拓者た ち15 西尾康之	斎藤 環	美術手帖	872	
大臣賞制作意図 文 部科学大臣賞「花 屋さんになった夢」	西岡 義一	日展ニュー ース	119	
明星大学青梅校	西垣 泰子	明星大学 研究紀要	13	
特別企画 学校へ行 こう！ 錦織章三	カワイイフ アクトリ	デザインの 現場	144	
美術館建設現場から	西澤 徹夫	A - ism	10	
特集 アーキテク チャー&アート進化系		STUDIO VOICE	351	
金沢21世紀美術館 とNew Museum of Contemporary Art[西沢立衛]	神谷 幸江			
鼎談：妹島和世× 西沢立衛×長谷川 祐子/アートと建 築は睦まじいか!?				
トビックス ルーヴ ル分館をSANAA設 計[西沢立衛]		日 経	10.8	

平成17年定期刊行物所載文献(近ノ作ニノ)

毎日芸術賞 建築部門 妹島和世さん、西沢立衛さん 藤森 照信 毎 日 1.1

毎日芸術賞の人々2 建築部門「金沢21世紀美術館」の設計 妹島和世さん 西沢立衛さん 新しい美術館像 三田 晴夫 毎日夕刊 1.18

第46回毎日芸術賞 建築家 妹島和世さん 西沢立衛さん 毎日夕刊 2.1

特集 物語る絵画を読み解きたい欲望をそそるメディア 西島大介 土屋 誠一 美術手帖 865

西島大介さんの“不思議マンガ” 批評のうんちく語るかわいいキャラたち 佐藤 憲一 読売夕刊 4.27

西田潤の仕事 高満 律子 現代陶芸研究 2

平成15年度指定研究 片桐聖子シンポジウム「日本画の可能性」 片桐 聖子 西田 俊英 倉田 重友 北田 克己 蘆谷 実正 佐々木 正 広島市立大学芸術学部紀要 10

泊まれるアート中華街に登場[西野達郎] 日 経 9.17

西野恵 イメージと色彩の結婚 辺 見 版画芸術 130

巻頭特集 琳派力って何? 果てなく蘇生する造形 意匠と絵画のハーモニー 西野陽一 アートトップ 206

視点 プラハ随想一私の中のリアリズム 西房 浩二 美術の窓

〈その1〉 258

〈その2〉 259

みづゑ100年 記念絵本の未来を知りたくて 西巻茅子 来嶋 路子 みづゑ 74

山下裕二の今月の隠し球9、10 西村春海「本画」と「挿し絵」のはざまで(上)(下) 山下 裕二 美術の窓 264、265

特集 私はここにいる 8月のつぶやき 西村 幸生 自由美術 2005

西村龍介氏を悼む 思い出に残る「燦々会」のゴルフ 大山 忠作 新美術新聞 1051

日々好日 山河に想う 西本 瑛泉 〃 1068

先輩に開け! デザイナーが若いうちにしておくべきこと10 西山浩平 石田 純子 デザインの現場 144

コミック教養講座のだめカンタービレ 二ノ宮知子[著] 吉田 豪 朝 日 6.5

『のだめカンタービレ』ヒットの背景[二ノ宮知子] 矢澤 孝樹 毎日夕刊 6.8

(ヌ)

作家の貌16 塗師祥一郎 一井 建二 美術の窓 264

宿命と闘った画天使 山下清と沼祐一たち 三頭谷鷹史 名古屋造形芸大紀要 11

(ネ)

特集 私はここにいる 三度も「私はここにいる」 根木 達展 自由美術 2005

(ノ)

第61回日本芸術院賞 決まる 恩賜賞に川崎春彦氏[能島征二] 新美術新聞 1053

探訪 彫刻家能島征二先生を訪ねて 大自然の愛に抱かれる人間像 内なるなごれを造形に込めて 游 美 50

洗朱に祈りをこめて 能島浜江 アートトップ 202

わたしの好きなもの 好暦 能島 浜江 新美術新聞 1052

日展をひかえて 自然 〃 日展ニュース 118

日印友好の懸橋一野生司香雪とサルナート、ムラガンダー寺院壁画一 吉田千鶴子 早大津会津八一記念博紀要 6

パリ5年目の夢 野口 香子 女子美術 152

特集:特別展『野口小蘗と近代南画』シンポジウム「近代南画を再考する」報告書 発表3「近代南画史における野口小蘗の位置」 平林 彰 山梨県立美術館研究紀要 20

古典が息づく現代の工芸 野口光彦「陽炎」と御所人形 今井 陽子 淡 交 732

Europe Today 2004-2005 “In-between” [野口里佳] 編集部 STUDIO VOICE 355

対談 仏師の家系に導かれて—「鉄」から「木」へ— 梅原 猛 野崎 一良 美術京都 34

青春プレイバック 野田哲也 熊本県宇 城市不知火町高良	西澤 美子	新美術新 聞	1057	シルバーエイジ男の 楽しみ5 糸鋸が導 いた生涯の趣味[萩 洋伍]	産 経	2.3
平凡な日常ににじむ 普通 回顧展開催中 野田哲也さんに聞く	野田 哲也 石川 健次 聞き手	毎日夕刊	1.4	第9回 手塚治虫文 化賞 短編賞「上京 ものがたり」/「毎日 かあさん」西原理恵 子さん	関川 夏央 朝 日 萩尾 望都	5.10
AT204 Remarkable PERSON 「飽くな き厳密さ」を求めて 「現代写真絵画研究 所」と野田弘志の果 てしなき探求	(富)	ア ー ト ト ッ プ	204	父親・朔太郎伝える 写真 娘たちを撮っ た2枚発表[萩原朔 太郎]	白石 明彦	朝日夕刊 5.24
巻頭特集 謎の画家 の全貌!!ラ・トゥー ールの神秘 現代作 家が語るラ・トゥー ールの魅力 蝋燭の光 がもたらす宗教性、 精神の深さ	野田 弘志	美術の窓	258	母・萩原葉子を悼む 遺稿も朔太郎を題材	萩原 朔美	読売夕刊 7.5
ヨーロッパ文化セン ター(ギリシャ・デ ルフィ)にアジア人 初の作品設置を行っ た野田正明		ギャラリ ー*	241	NIPPONのカタチ 和のちから5 壁に 土あり革新あり[挾 土秀平]		日経夕刊 8.11
哀悼 野間伝治さん	五十嵐二朗	連盟ニュ ース	415	調査報告 橋口五葉 筆「此美人」明治44 (1911)年	中村 憲 黎 明	88
日展をひかえて 飛 翔	野間口 泉	日展ニュ ース	118	受賞者インタビュー 124 第7回小磯良 平大賞展 橋口徳次		ギャラリ ー* 237
地球巡礼 野町和嘉 著		日 経	12.4	改革する日展 3期 目を迎えた橋本堅太 郎理事長に聞く	橋本堅太郎 談	新美術新 聞 1056
戦後60年 我が心を 語る 焼け跡に戻っ て	野見山暁治	新美術新 聞	1075	座談会 「第三十七 回日展—新たなる歩 み」	上平 貢、 遠藤 幸一、 佐藤 道信、 菅原 教夫、 中山 忠彦、 橋本堅太郎 談 清水 透石 司会	日展ニュ ース 119
回顧『デアルテ』の 誕生 野見山暁治氏 の表紙絵	後藤 新治	デアルテ	21	絵具とものづくりの 楽しみ発見・再発見 24、25	橋本 弘安	美術の窓 256、258
アトリエ日記14~25	野見山暁治	美術の窓	256~267	視点 ブータン王立 美術工芸学校、タシ ・ヤンツェ校とティ ンブー校校長の来 日、岩絵具にめぐり あう	" "	256
巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 野見山暁治氏インタ ビュー 東京芸大・ 入試改革の顛末	野見山暁治 談 編集部 文責	"	267	ストロベリーフィー ルズ	橋本トモコ	多摩美術 大学研究 紀要 19
風韻 もっとと若者と 知り合いたい 画家 野見山暁治	田中 三蔵	朝日夕刊	10.22	巻頭特集 時代を変 えるアーティスト 評論家・キュレータ ー・美術記者が選ぶ 橋本トモコ 平面で あることの正統性を 貫く新しさ	中村 隆夫	美術の窓 259
二人の受賞者	野見山暁治	日 経	12.18	コミック教養講座 愉快な子熊・坊やの 密林征服 芳賀たか し[著]	瀧 悌三	" 267
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [野村恵子]	編 集 部	STUDIO VOICE	355			
夢の設計図 エディ トリアルデザイナー 「カーサブルータス」 を手がける野村昌彦 さん	芳垣 文子	朝日夕刊	3.7			
(ハ)						
コミック教養講座 愉快な子熊・坊やの 密林征服 芳賀たか し[著]	湯浅 学 朝 日	10.30				

彫刻家の現場から4 橋本裕臣	武田 厚	美術の窓	263
GO&SEE やっぱり 手書き 見直される 温かみ・個性 ポッ プやフォントが人気 [BaJoKa]	高橋 福子	朝日夕刊	3.7
巻頭特集 日本の銅 版画 メゾチントの マチエール 長谷川 潔、浜口陽三からの 出発 座談会 長谷 川潔・浜口陽三のメ ゾチントを解説する	三木 哲夫、 吉原 英雄、 中林 忠良、 猿渡紀代子 対談 松山 司会 龍雄	版画芸術	130
日々好日 無明の一 切れ	長谷川 昂	新美術新聞	1058
長谷川純	石井 芳征	美術手帖	873
日展をひかえて 「パッション」の町	長谷川 仂	日展ニユ ース	118
近代美術の東京 長 谷川利行 新宿風景	中村 麗子	読 売	4.12
作家訪問347 陶芸 家 長谷川奈津さん	編 集 部	目の眼	350
日展をひかえて 出 会い	長谷川雅也	日展ニユ ース	118
作家訪問342 金工 家 長谷川まみさん	編 集 部	目の眼	345
日展会員賞制作意図 「シーソー」	長谷川喜久	日展ニユ ース	119
自然の無関心一畠山 直哉の鉱物的都市写 真	田中 純	10 + 1*	38
東京 山手線 5 木 彫りの花 [畑佐功]		朝日夕刊	3.18
研究ノート 女流南 画家・波多野華涯と その周辺	中村麻里子	岡山県立 美術館ニ ュース	68
祭屋台飛騨の匠の腕 試し 高山祭の8台 新造に挑戦、150年 ぶりに技継承	八野 明	日 経	6.7
特集 ブログ作法 ブログ・ガイド100 @2005 アート [八 谷和彦]	野中 モモ	ユリイカ	505
『アンリミテッド: コムデギャルソン』 ができるまで 清水 早苗×服部一成	杉瀬 由希	デザインの 現場	143
大臣賞制作意図 内 閣総理大臣賞「耀貝 二曲屏風 朝陽の響」	服部 峻昇	日展ニユ ース	119
特集 水木しげる アンケート 選べる いけど、選んでみま した	[特集]ガンダム行き ます! 『ガンダム 展』出版作家アンケ ート コミック教養講座 青【オールルー】 羽生 生純 [著]	南 嶋山 田中 辛酸な め子 坂本頼 野光 松田徹 宮本洋 春人大 武彦	ユリイカ 511
	羽生生 純	ART iT	8
	吉田 豪	朝 日	6.26
	馬場淳一郎	明星大学 研究紀要	13
	羽場 文彦	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3
	荒井 良二 飯野和好 スズキコ ジ	みづゑ	74
	三木 哲夫、 吉原 英雄、 中林 忠良、 猿渡紀代子 対談 松山 司会 龍雄	版画芸術	130
	一展逸点 西瓜 浜 口陽三 暗闇からに んまり出現	西田 健作	朝日夕刊 2.12
	芸文百話 人間国宝 の半世紀2 「人」で なく「わざ」が対象 [浜田庄司]	竹田 博志	日 経 3.13
	資料調査こぼれ話 (1) 浜田台児 (1916~)の戦争画	笹木 繁男	jaiic会報 1
	秋の叙勲、褒章決ま る [旭日中授賞]濱 田台児氏 14代酒井 田柿右衛門氏ら 【紫綬褒章】山本正道 氏 江里佐代子氏ら		新美術新 聞 1074
	特集 グラフィック デザイナー 次に組 むならこの人 デザ イナーであるからこそ 「同じこと」はでき ない 浜田武士	倉西 幹雄	デザインの 現場 144
	雑報 近代史におけ る浜田知明		美術運動 史研究会 ニュース 73
	修復記録 早川銈太 郎《戦場の図》	坂井 史恵	ブリヂス トン・石 橋美術館 報* 53

Close-up31 早川重章 色から引き出される絵画	ギャラリー	240	「微動だにしないイメージの原像」『苦のむすまで』杉本博司著『HIROSHI SUGIMOTO』杉本博司ほか著	原 研哉	118
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=革新 早川知加子	早川知加子 版画芸術	127	対談シリーズ13 東北芸工大からの発信 山形からのムーブメントー東北芸術工科大学が果たす役割と存在の意味ー	山田 修市 保田井智之 原 すがね	Fontaine 39
林邦佳さん	小林 東五 陶 説	628	『平塚市美術館所蔵 原精一寄贈資料整理 報告書2003』について	端山 聡子	アート・ドキュメンテーション通信 64
林邦佳の古陶磁研究と美の創造	唐澤 昌宏	11	新聞旧聞 平塚市美術館の大貫松三展と阿修羅のアトリエ [原精一]	岩瀬 行雄	jaic会報 1
林邦佳さんのこと	中澤富士雄	11	私の美術放浪16 阿部次郎の肖像画 [原精一]	永井 信一	新美術新聞 1056
巻頭特集 2005年上半期美術界徹底ガイド 追悼 永井保何ぞ遙かなる……。	林 健造 美術の窓	257	巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.1 ピンクの窓が伝えるもの 原高史—Signs of Memory Project		美術の窓 260
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=情報 林里美	林 里美 版画芸術	127	銀座ギャラリー日記 彼女の心に届いた言葉は [原高史]	栗田 玲子	朝日夕刊 5.19
日本一水一心	林 潤一 京都嵯峨芸術大学紀要	30	交遊抄 知事の英断	原 広司	日 経 10.3
PAPER IN MY WORK 101 林規章 紙の白と響き合う	編集部 デザインの現場	144	手帳 実験住宅で理想の都市像探る [原広司]	高野 清見	読売夕刊 2.7
mannequins 林雅之著	日 経	6.12	丹下健三氏を悼む 戦後史象徴する建築群 弥生時代の美学を基調に	原 広司	11 3.23
ツル撮影世界飛び回る 優美な姿に魅了され43年間、各国での写真は13万枚に	林田 恒夫	1.18	角をまがって 原康著		日 経 4.24
クリエイターズワーク&ソウル 早野正寿	A X I S	116	@わたし 夢を支える6 変幻自在に映画の「部品」 [原口智生]	辻外 記子	朝 日 3.11
フォーカス 建築で文化交流、仏から勲章 建築家早間玲子氏	安藤 淳 日経夕刊	3.1	「山古志の春」寄贈 [原田泰治]		11 3.13
顔 レジオン・ドヌール勲章を受ける建築家 早間玲子さん	島崎 雅夫 読 売	1.24	交遊抄 絵と歌の旅 [原田泰治]	さだまさし	日 経 2.5
視点	速水 史朗 美術の窓		[作品研究] 原田直次郎《騎龍観音》についてーミュンヘンと護国寺と	蔵屋 美香	現代の眼 553
筑紫次郎		256	巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が選ぶドイツの逸品 ボイスのインスタレーション	原田 丕	美術の窓 260
中村主水の居る町		257			
「未来へ」		259			
長野との再会		265			
彫刻家の現場から3 速水史朗	武田 厚	262			
制作ノート 原一史	原 一史 武蔵野美術大学研究紀要	35			
新指定の文化財 [重要無形文化財の指定・保持者の認定 (各個認定)] [工芸技術] 鉄釉陶器 原清	文化庁文化財部 文化財*	504			
カバーインタビュー 原研哉	上條 昌宏 A X I S	117			

視点 第3回アート プログラム青梅に寄 せて	原田 丕	美術の窓	266	日影 眩の360° のニ ューヨーク111~115	日影 眩	ギャラリー 一	238,242、 244,245、 247
特集 私はここに いる 私はここに いる	原田 秀明	自由美術	2005	先進的たりえるか 改築されたMoMAの 評判と行方	〃	毎日夕刊	2.10
大村連さんをして 大村メモを中心 に	原田 文子	主体美術	78	CRAZY FANTASY 坂川守、中川敦夫、 東明、三宅砂織、児 島サコ	原 久子	STUDIO VOICE	357
コンピュータのしく み	原田 泰	多摩美術 大学研究 紀要	19	先輩に聞け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと7 東泉一郎	石田 純子	デザイン の現場	141
ヴェネツィア、新世 代アジア人作家 国 際展の招かざる客 パルコキノシタ		ART iT	8	『東山魁夷の世界』と 北欧フィンランド 日本画と音楽の二つ の芸術によって遠い 二つの国の橋渡し	福井チナミ	新美術新 聞	1060
特集 最終コミック ・リスト200 COL- UMN01 今参照す べき復刻作品 時代 の空気と共に読む、 マンガの教科書	パルコキノ シタ	STUDIO VOICE	354	両大家素顔の付き合 い『新潮』6月号 川端康成・東山魁夷 の往復書簡公開	米本 浩二	毎日夕刊	5.13
富野由悠季『機動戦 士Zガンダム 星を 継ぐ者』	〃	〃	〃	美が結んだ巨匠の友 情 往復書簡 川端 康成 東山魁夷 未 公開100通一部公開 へ		読 売	4.15
『ガンソード』、もう 狂い死に寸前!	〃	〃	359	再始動した飴屋法水 と話題騒然の展覧会 を証言と批評で検証 する「バング ント」展とはなん だったのか Half &Half Reviews Spe- cial	彦坂 尚嘉	美術手帖	871
40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第2号 [パルコキノシタ]	昭和40年会	美術手帖	861	フロントランナー 愛知万博の日本館を 竹かごで包み込む 建築家・環境デザイ ナー彦坂裕さん	六郷 孝也 朝 日		1.29
国際漆展石川2005 入賞入選作決まる 大賞受賞はフランス のエメリク・イザベ ル[春名淳一]		新美術新 聞	1070	特集 私はここに いる 気がつけば…	久松 孝彦	自由美術	2005
「進化する美術館建 築—ヴィトラ・デザ イン・ミュージアム とボンビドー・セン ター・メス」アレ クサンダー・フォン ・フェーゲザック 坂茂 三宅理一	前記 田	慶応義塾 大学アー ト・セン ター年報	12	資料紹介 菱田春草 筆「高士訪友図」明治 四十二年(一九〇九)	小 島	飯田市美 術博物館 ニュース	71
移動美術館の素材は ダンボールにティエ ラバッグ[坂茂]		芸術新潮	665	先輩に聞け! デザ イナーが若いうちに しておくべきこと8 日高英輝	石田 純子	デザイン の現場	142
被災地の住宅復興助 っ人 神戸・トルコ ・スリランカ…仮設 やシェルター建築	坂 茂	日 経	11.30	特集 人形愛 人形 作家列伝[陽月]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506
わたしの宝もの6 「オオバボダイジュ」	番場 三雄	新美術新 聞	1071	日名子実三のメダル	広田 肇一	大分県立 芸術会館 研究紀要	2
(ヒ)				第12回 VOCA 賞に 日野之彦氏	(美)	新美術新 聞	1047
追悼 上野泰郎さん 「その人ならではの 作品」…丘人	稗田 一穂	新美術新 聞	1066	銀座ギャラリー日記 新しい才能に出会う 醍醐味[日野之彦]	栗田 玲子	朝日夕刊	4.14
元理事長 上野泰郎 氏永眠 上野さん	〃	連盟ニュ ース	415				

座談会 具象彫刻の 方向と現状-II	上野 弘道 司会 宗弘、 池田 賀行、 桑山 克久、 中垣 義孝、 中村 公大、 日原 毅、 吉野 渡辺、 渡辺 美談	ART LIBRARY	6	平田実写真集「超芸術」	(前)	読	売	3.27
HIBINO EXPO 2005 日比野克彦の 一人万博 対談：日 比野克彦×深澤直人 「手癖」と「イメージ の出会いとところ」	森 司 司会	美術手帖	871	手作りに興奮「映画 屋台」日光で映し、 弁士が回す昭和 初期の街頭映画館を 復元	平田 泰規	日	経	11.11
アート探究 日比野 克彦の「一人万博」	内田 洋一	日 経	8.13	美術館の眼 10年間 の収集記録Ⅲ 平福 百穂「春山」1933	山本 丈志	A R K		43
特集 私はここに いる 絵を描くこと	姫井美貴子	自由美術	2005	平成16年度新収蔵作 品の紹介 平福百穂 「堅田の一夜」1929 (昭和4)年	"	"		44
百武兼行作《西洋婦 人像》について	野中 耕介	佐賀県立 博物館・ 美術館調 査研究書	29	『生命』	平松 國和	京都嵯峨 芸術大学 紀要		30
百武兼行「婦人像」 試料片調査結果	宮田 順一	修復研究 所報告	17	人ひとこと 平松譲 さん 早く三宅島描 きたい		朝 日		3.16
みづゑ100年記念 描き続けるために 大切なこと 100% ORANGE	村上 圭一	みづゑ	74	コミック教養講座 M8 (エムエイト) 高嶋哲夫[原作]平松 伸二[作画]	吉田 豪	"		10.16
平川典俊『サブジェ クト』	平川 典俊	STUDIO VOICE	356	画家として、美術館 長として思うこと	平松 輝子	あいだ		111
[特集]メディアア ートって何だ? 平川 紀道インタビュー	島中 実 開き手	ART iT	6	作家の貌 ^{かお} 19 平松礼 二	一井 建二	美術の窓		267
巻頭特集 不思議の 国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が 選ぶドイツの逸品 キーファー「ブリュ ンヒルデグラー ネ」	開 光市	美術の窓	260	土まんじゅうのある 風景 東洋人の心の 在りかにゆっくり溶 解していく私	平松 礼二	東京夕刊		8.16
平木孝志 2003~ 2004年 作品の解説	平木 孝志	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3	鮮烈なるジャポニ スム十選 1~10	"	日 経		5.3~ 5.9、10、 12、13、 16~18
平櫛田中 正座の国 の人だもの		芸術新潮	661	コミック教養講座 俺と悪魔のブルーズ 平本アキラ[著]	吉田 豪	朝 日		12.18
巻頭特集 謎の画家 の全貌!!ラ・トゥ ールの神秘 現代作家 が語るラ・トゥ ールの魅力 蝋燭の炎の 描き方 記憶を描く	平澤 篤	美術の窓	258	平成の洛中洛外 平 山郁夫展[平山郁夫 インタビュー]		ア ー ト ト ッ プ		201
特集 私はここに いる 私はどこに	平田 寛子	自由美術	2005	巻頭特集 岡倉天心 その眼差しのかなた 一戦後60年に考える 天心を語る	平山 郁夫	"		204
内科画廊展その後 1 平田実さんの写真	宮田 有香	あいだ	110	2005新春対談 平成 の洛中洛外を語る	平山 郁夫、 米倉 守 対談	新美術新 聞		1045
著者に会いたい 『超芸術 前衛美術 家たちの足跡』平 田実さん	依田 彰	朝 日	4.17	平山郁夫氏に韓国政 府から修交勲章		"		1047
				百寿への熱きメッセ ージ 百歳の年輪	平山 郁夫	"		1052
				戦後60年 我が心を 語る おかしな方向 へ行く風潮を憂う 文化力で再生を	"	"		1075

特別対談 アジアの世界遺産の保護を目指して 文化財を守るための国際協力と世界遺産条約が果たすべき役割について語る	渡邊 明義、平山 郁夫、野口 聞き手	ユネスコ世界遺産年報	10		
シンポ「日韓文化交流の未来」過去に学び寄り添う心 基調講演 画家東京芸大学長平山郁夫さん威圧でなく尊敬で	平山 郁夫	朝 日	6.25		
「日中韓文化交流フォーラム」結成 政治の壁越える出発点に 日本代表・平山郁夫氏に聞く	加藤 千洋	"	12.22		
平山郁夫さん「広島生変図」唯一の原爆絵 怒りよりも鎮魂		産 経	8.4		
「市場化テスト」博物館などに導入 平山郁夫氏ら反対の声明		"	11.19		
国際文化フォーラム 一文化の多様性「和」の精神世界が望む 認め合い吸収、パワーに 座談会 平和と文化	サリ・アンワル・ヌセイベ、ベン・アミニ・シロニ、レノア・G・マーチン 談 平山 郁夫 座長 山内 昌之 司会	日 経	12.24		
闊論 美術館に市場化テスト 蓄積、信用失う恐れ 日本画家平山郁夫氏	米本 浩二 構成	毎 日	12.19		
悠久の歴史や時間を視覚化 平山郁夫さんに聞く 新作67点を一挙発表	石川 健次	毎日夕刊	1.11		
日々好日 辿り辿る	蛭田 二郎	新美術新聞	1069		
2005年度日本芸術院新会員決定 第一部(美術)は、寺坂公雄 洋画、蛭田二郎 彫刻、河合誓徳 工芸の3氏		"	1075		
第40回昭和会賞に蛭田均氏	(美)	"	1048		
話の肖像画 黄昏どきにはまだ早い1〜7 漫画家弘兼憲史さん	記野 重公 聞き手	産 経	10.13 ~ 19		
Go! Artists Go! 12 廣澤仁	柘植 響	美術手帖	861		

[特集]オールジャンル 日本のクリエイター180人 対談：ヒロ杉山×テイ・トウワ	ヒロ杉山、テイ・トウワ 対談	ART iT	7		
特集 実験住宅 セルフビルドという構法 マニュアルのない住宅	広瀬 鎌二 今村 創平 聞き手	10 + 1 *	41		
テークオフ 現代美術家 廣瀬智央さんミラノの風的作用、確かめたくて	西田 健作	朝日夕刊	12.21		
先輩に開け! デザイナーが若いうちにしておくべきこと5 廣田尚子	石田 純子	デザインの現場	138		
東京工芸大学の新しいプロジェクト Presentation # 1 廣村正彰	カワイイフアクトリー	"	142		
第5回てんびんの里を描く日本画コンクール 大賞は広森守氏		新美術新聞	1048		
破壊された遺跡にブツダを描く パーミヤンアフガニスタンレーザープロジェクト[ヒロ・ヤマガタ]		ギャラリー一*	248		
パーミヤン石仏 レーザー光線 輪廻転生 ヒロ・ヤマガタさん再現へ		産 経	10.26		
ひと パーミヤンをオアシスに[ヒロ・ヤマガタ]		読売夕刊	11.8		

(フ)

交遊抄 映画好きの夢	深井 隆	日 経	5.14		
「時間と“練り”がつくる形」『アンジェロ・マンジャロッティ』ギャラリー・間企画・編集	深澤 直人	A X I S	113		
「武士道とインタラククション」『武士道』新渡戸稲造著／矢内原忠雄訳	"	"	114		
「造形感情について」『造形論 今和次郎集 第9巻』今和次郎著	"	"	115		
「胸に突き刺さる言葉」『壁を破る言葉』岡本太郎著	"	"	116		
「意図」『ダーウィンの方法』佐々木正人著	"	"	117		

「森のデザイナー」 『木洩れ日の庭で』中 谷耿一郎著	〃	〃	118	みづゑ100年記念 デザイナーが選ぶ 100年後に残したい 職人の技 福島彫刻 所 福島政(政山)	藤田 容子 みづゑ	74
新私のいる風景 工 業デザイナー深澤直 人さん 輪郭 エゴ 消し去り見える形	高野 清見	読売夕刊	12. 3	探訪 日本画家福田 謙二郎先生を訪ねて 神秘の青色 風景の 様踊	游 美	49
次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 9 深沢幸雄—集治 千晶	集治 千晶 インタビュー アー	ギャラリー 一*	238	目の冒険 だまし絵 と半世紀1~12	福田 繁雄 朝 日	10. 2、9、 16、23、 30、11. 6、 13、20、 27、12. 4、 11、18
特集 福井良之助 孔版画の世界 福井 良之助さん	深沢 幸雄	版画芸術	127	「MASTERWORKS」 福田繁雄著	(前) 読 売	7. 3
日々好日 悲しみの ニケII	吹田 文明	新美術新 聞	1055	読売国際漫画大賞 座談会 応募者へア ドバイス	ウノ・カマ キリ、どい えのき、ち ろろ、繁雄 談	〃 8. 5
座談会 現代木版画 —その技法と表現の 展開	吹田 文明、 古谷 博子、 爲金 義勝 対談 松山 司会 龍雄	版画芸術	128	第22回読売広告大賞 「読者が創る広告の 部」講評	福田 繁雄	〃 12. 28
巻頭特集 人気作家 101人の年賀状「戌」 吹田文明インタビュー 「版画と年賀状」	吹田 文明 談	美術の窓	266	手仕事紀行 漆の器 福田敏雄さん2~4	朝 日	1. 9、 16、23
弔辞 故淀井敏夫氏	吹田 文明	連盟ニ ュース	413	美術館の眼 10年間 の収集記録III 福田 豊四郎「田園抄 村 童12ヶ月」より「二 月かまくら」1964	山本 丈志 A R K	43
元理事長 上野泰郎 氏永眠 弔辞	〃	〃	415	わたしのお気に入り 屋根の上の覚醒 富 士山	福田 美蘭 談	芸術新潮 664
フェイス21世紀72 福井欧夏 絵画の煌 めく星の時間	常盤 茂	新美術新 聞	1046	《モノクロームで印 刷された花の静物 画》1994 福田美蘭 (1963~)	平芳 幸浩 国立国際 美術館月 報	151
日本画家・福井江太 郎氏がFMラジオの パーソナリティーに	(美)	〃	1054	こころの風景	福田 美蘭	朝日夕刊 4. 25~ 27、5. 2
特 集 2 Landmark Project 旧帝蚕倉 庫(北 中WHITE) mirrorerror+sullen 福井祐司		Bank- ART Life	創刊号	特集 私はここに いる 私はここに いる	福原 正樹	自由美術 2005
特集 福井良之助 孔版画の世界		版画芸術	127	コミック教養講座 僕の小規模な失敗 福満しげゆき[著]	吉田 豪	朝 日 11. 6
福井良之助さん	深沢 幸雄			藤雅三の仕事—ア メリカでの活動を中心 に—	瀧井 直子	近代画説 14
ドキュメント 福 井良之助と孔版画				視点 謎の画家 藤 雅三の発掘と浮上を	菅 久	美術の窓 263
孔版画 繊細な宇宙 福井良之助が高めた 独自の技法、版画史 に名刻む	谷口 満之	日 経	4. 7	特集 「アーティ スト」になる基礎知識 藤浩志 信頼し合え る人間関係がいい活 動を続ける力になる	白坂 ゆり 聞き手	美術手帖 861
技法の現場から2 「今日の日本画にお ける材料と技法につ いて」	福王 寺一 彦、松下 満 談	連盟ニ ュース	415			

巻頭特集 人気作家 101人の年賀状「戌」 犬をつくる作家たち 1 藤浩志「やせ犬」 との出会い		美術の窓	266	藤田の絵をどう読 むか(その2)		256
第8回岡本太郎記念 現代芸術大賞準大賞 に藤井健仁氏	(美)	新美術新 聞	1051	最初期の藤田のサ ロン出品「裸婦」 の謎(その1)〜 (その3)		257〜259
ようこそ 彫刻家 藤井健仁さん ぶっ たいたいて作る「鉄面 皮」	西田 健作	朝日夕刊	3.2	一九二四年サロン 出品作「雪の女神」 写真図版の発見 [藤田嗣治]		260
孤独の距離を測る 小さいけれど強い光 [藤井保]		芸術新潮	667	シュルレアリスム と藤田嗣治(1) (2)		261、262
アーティスト訪問26 藤井勉		ギャラリ ー*	247	藤田の絵をどう読 むか「猫(争闘)」 (1940年)について		263
シェル美術賞展2004 グランプリに藤井俊 治氏	(石)	新美術新 聞	1045	藤田の絵をどう読 むか「ソロモン海 戦に於ける敵の末 路」(一九四三年)		264
未来の大モノを探 せ! UNDER30の 実力者たち 藤井亮	大輪 俊江	デザインの 現場	144	藤田嗣治と舞台美 術		265
須磨の曲屋	藤木 庸介	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30	藤田嗣治と井上長 三郎の「漂流図」に ついての補記		266
未来を生きる君へ 藤子不二雄Aさんの 伝言 出会いはドラ マだ!	藤子不二雄 A	朝 日	3.20	藤田嗣治と舞台美 術2		267
特別企画 学校へ行 こう! 藤崎いづみ	カワイイフ アクトリー	デザインの 現場	144	修復記録 藤田嗣治 《横たわる女と猫》	坂井 史恵	ブリヂス トン・石 橋美術館 報*
藤島武二の朝鮮表象 —「装飾画」の観点か ら—	金 正善	美術 史	159	林英哲 藤田嗣治を 和太鼓で表現 日本 人芸術家の思いを		日経夕刊 1.31
藤城清治の影絵のつ くりかた 第三回、 第四回	水田 由紀	みづゑ	70、73	材料・技法にせまる ／7 赤の様式…私 の絵画的発想	藤田 俊哉	主体美術 77
みづゑ100年記念 描き続けるために大 切なこと 藤城清治	村上 圭一	〃	74	[特集]メディアア ートって何だ? 藤幡 正樹インタビュー	小崎 哲哉 聞き手	ART iT 6
特集 ストーリー構 成 感動を呼ぶイン ナーワールド 藤田 和二郎×村枝賢一	藤田 和日 郎、村枝 賢一	〃	71	藤牧版画の後摺りに ついて10〜12(その 2)	大谷 芳久	一寸 22〜24
巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 藤田喬平 藤田喬平のガラス— 幕の下ろし方	武田 厚	美術の窓	257	近代美術の東京 藤 牧義夫 赤陽	大谷 省吾	読 売 2.8
表紙の作品〜平成16 年度新収蔵品〜 藤 田嗣治「座る女性と 猫」1923年	谷口 雄三	グリーン ルーフ	58	特集 私はここに いる 私はここに いる	藤村 英子	自由美術 2005
—藤田嗣治1916年の 足跡調査—イギリス への旅、久米民十郎 を訪ねて(その3) (その4)	笹木 繁男	美術運動 史研究会 ニュース	71、72	器と中味	藤本 卓	主体美術 77
視点	〃	美術の窓		特集 アーキテク チャー&アート進化 系対談: 乾久美子×藤 本壮介/ゆたかなル ール違反!?		STUDIO VOICE 351
				特集 建築と書物 建築家的読書術 空 間・秩序・弱さと建 築	藤本 壮介	10 + 1* 38

アトリエの扉をあけて62 古きよき時代と、ごく普通の日常へのオマージュ フジモト・ヒデト	村瀬 由希	デザイン の現場	142	巻頭特集 謎の画家の全貌!! ラ・トゥールの神秘 現代作家が語るラ・トゥールの魅力 ラ・トゥールという謎	舟木誠一郎	美術の窓	258
特集 都市と文化環境 国民国家的な文化土壌が、新たなミュージアムの在り方を育む	藤森 照信 津田 雅人	Cultivate	26	講演会 舟越桂氏「おもちゃのいいわけ」		女子美	150
名誉会員丹下健三先生ご逝去一追悼の言葉	藤森 照信	建築雑誌	1539	巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.1 舟越桂とエルンスト・バルラッハ 時と場所を超え、たましいを見つめる二人の彫刻家		美術の窓	260
特集 実験住宅 実験住宅と発明 個別技術が可能にしたものの	藤森 照信 中谷 礼仁	10 + 1 *	41	銀座ギャラリー日記 新しい才能に出会う 醍醐味[舟越桂]	栗田 玲子	朝日夕刊	4.14
奇想遺産	藤森 照信	朝 日		巻頭特集 2005年上半期美術界徹底ガイド 追悼 佐藤太清若い頃。	船水 徳雄	美術の窓	257
ル・ビュイ・アン・ヴレ フランス			3.27	作家訪問337 漆芸作家 古石とみえさん	編集 部	目の眼	340
武雄温泉 楼門・新館 浴場 竜宮城、東京駅ときょうだい			4.24	第34回中原悌二郎賞優秀賞は3氏に決定 [古郡弘]		新美術新聞	1066
マレ・ベルニエ村の芝棟 屋根にアイリス、不思議の園			5.22	座談会 現代木版画一その技法と表現の展開	吹田 文明、 古谷 博子、 金勝 義勝 対談 松山 龍雄	版画芸術	128
シュバルの理想宮 フランス			6.19	受賞者インタビュー 127 第二回奈良県万葉日本画大賞展 古屋雅子		ギャラリー 一*	240
サグラダ・ファミリア教会 スペイン			7.24	第2回奈良県万葉日本画大賞展受賞者決まる 大賞は古屋雅子氏「緑 薫(りよくぶ)」		新美術新聞	1046
ファットジェム大聖堂 ベトナム			8.28	特集 最終コミック・リスト200 重要作家ファイル 古谷実	宮 昌太朗	STUDIO VOICE	354
泥の大モスク マリ共和国			10.2	特集 ギャグまんが 大行進 モグラとサル の闘争 古谷実の反ブルジョア精神	小泉 義之	ユリイカ	503
ツリーハウス イギリス			10.30	新しき誘惑への使徒たちVol. 21 古吉弘		ア ー ト ト ッ プ	206
ゴルのスターブ教会 バイキングの造船技術で立つ			12.4	巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真 VS. 現代美術 アメリカン・リアリズムは、今 出品者が語るアメリカン・リアリズム	古吉 弘	美術の窓	262
Shot05 高過ぎて風にゆらゆら 藤森教授の隠れ家 たそがれ日本に浮かぶ素人芸 いわば「野蛮ギャルド」[藤森照信]	西田 健作	朝日夕刊	1.7				
毎日芸術賞 建築部門 妹島和世さん、西沢立衛さん	藤森 照信	毎 日	1.1				
21世紀を読む 美しきものの機能的 丹下健三の遺産	"	"	4.17				
こと場 藤原新也さん 写真家・作家		朝日夕刊	1.18				
柳宗悦と有縁の人々(22) 陶芸家 船木研児	近藤 京嗣	陶 説	622				

蒐集家としての画家たち[別車博資]	(へ)		神戸市立博物館だより	87	堀尾 一郎	東京夕刊	10.18
	金井 紀子						
そこまでやるか 新・職人列伝2 オタク道まっしぐら BOME	(木)		日経夕刊	7.29			
コミック教養講座 きょうの猫村さん ほしよりこ[著]	南 信長	朝 日	8.21		西田 健作	朝日夕刊	10.21
「海から空へ」シリーズの展開	星野高志郎	大阪成蹊大学芸術学部紀要	1		堀尾 貞治(現代美術家)		
私のオアシス 神田川沿いの遊歩道 写真家細江英公 “生存の安心感”くれる命の源	今村 守之	東京夕刊	8.20		「我が輩は、めがねである……!」『眼鏡』島崎藤村著	朝日夕刊	10.21
バルーン何でも大変身 人間、恐竜、乗り物…大型作品への夢膨らむ	細貝 里枝	日 経	7.29		1920年代のパトスの行方—堀口捨己と表現主義	森 仁史	一 寸 24
アニメーションの“限界”に向き合う! [細田守]	宮 昌太郎	STUDIO VOICE	359		堀口捨己の作意—九間の生き—	松崎 照明	美史研ジャーナル 2
学芸員ノート 防染糊の賛歌—細野光男氏の世界—	水上嘉代子	遠山記念館だより	29		絵かきがゆく	堀越 千秋	読売夕刊 1.26、2.23、3.30
第22回平橋田中賞 保田井智之氏に決定	(石)	新美術新聞	1055		特集 春香山の本郷新	林 忠文	L u r e 76
具象彫刻の新しい可能性—第二回グループ展メンバー特別座談会	佐藤 守男、石谷 孝二、池田 秀俊、長雄 新、保田井智之 対談—井 建二 司会	美術の窓	266		プロダクションI. G 最新作『IGPX』とはなにか? [本郷みつる]	石川 光久 談 宮 昌太郎 インタビュー・文	STUDIO VOICE 359
彫刻家の現場から8 保田井智之	武田 厚	〃	267		フォーカス 大英博物館に作品収蔵 アラビア書道家 本田 考一氏		日経夕刊 8.25
対談シリーズ13 東北芸工大からの発信 山形からのムーブメント—東北芸術工科大学が果たす役割と存在の意味—	山田 修市 保田井智之 原 すがね	Fontaine	39		特集 春香山の本郷新[本田明二]	林 忠文	L u r e 76
特集 人形愛 人形作家列伝[堀佳子]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506		現代工芸作家シリーズ17 魔術師たちの贈り物 本間一恵	富田 康子	ア ー ト ッ プ 202
特集 2005年の美術界をふり返る すべてが潰れ、焼きつくされ、その灰の中からこそ新しい芽が出てくる	堀 浩哉	新美術新聞	1075		世界で編まれるかご文化 創刊20年のミニコミ誌編集、作者や作品の情報発信	本間 一恵	日 経 6.20
交遊抄 蝶々の文様 [堀文子]	浅見 真州	日 経	11.30		Europe Today 2004—2005 “In-between” [ホンマタカシ]	編 集 部	STUDIO VOICE 355
					特集 建築と書物 建築を拓くメディア 建築写真を拡張する三人の写真家[ホンマタカシ]	福屋 粧子	10 + 1 * 38
					Р е к а А м у р С у и р з н А м у р ール 翠れん 写真・ホンマタカシ		日 経 2.20
						(マ)	
					特集 物語る絵画 読み解きたい欲望をそそるメディア 舞城王太郎特別展覧会 Hits&Rarities		美術手帖 865
					水ありて、始まりは無意識の内に	眞板 雅文	たいせつな風景 4

前史雄 2003~2004 年 作品の解説	前 史雄	金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3	やっぱり目が離せない フィギュア	横村さとる	読売夕刊	7.9
岸田日出刀/前川國 男/丹下健三 日本 における建築のモダ ニズム受容をめぐつ て	磯崎 新 日塾 直彦 聞き手	10 + 1 *	41	日展をひかえて	猫 曲子 明良	日展ニュー ース	118
かたち百景 東京文 化会館の音響壁面 工事の苦楽 共にし た顔々[前川國男]	(卓)	日 経	6.5	しゃこ貝に託す一馬 越 祐一の足跡(上) (中)	山口 泰二	美術運動 史研究会 ニュース	77、78
弘前に息づくモダニ ズム 市内に残る前 川國男の建築、後世 に伝える	葛西ひろみ	"	12. 15	巻頭特集 新・現代 版画スタイル 版画 =革新 政木貴子	政木 貴子	版画芸術	127
平成15年度指定研究 表 象 都 市metamor- phosis広島一芸術実 験展示プロジェクト 2003—	武藤三千夫 伊東敏光 吉井前川 義春	広島市立 大学芸術 学部紀要	10	美術家散策 正延正 俊	松本 教仁	高知県立 美術館ニ ュース	48
現代工芸作家シリー ズ19 魔術師たちの 贈り物 前田昭博	富田 康子	ア ー ト ト ッ プ	204	巻頭特集 岡倉天心 その眼差しのかなた 一戦後60年に考える 天心を語る	間島 秀徳	ア ー ト ト ッ プ	204
前田寛治氏の想い出 を語る(2)(3)	田中 忠雄 語り手	連盟ニュー ース	412、413	特集 「日本画」って なんだろう? 現代 日本画家の制作現場 から2 間島秀徳	福住 廉	美術手帖	864
前田常作の天井マン ダラ		芸術新潮	666	表現の視座・7 『再会』の作品につい て	増坂 勲	主体美術	77
19・20世紀美術の 「東と西の出会い」 上海大学美術学院に おける講演から	前田 常作	新美術新 聞	1045	第1回みづゑ賞 絵 本部門・審査員特別 賞 荒井良二賞 増 田和子さん	荒井 良二	み ゅ ゑ	74
前田徹 春の土手に 出てきたつくしのよ うに		ア ー ト ト ッ プ	203	AT203 Remarkable WORK 増 田 貴 司 「夕まづめ」 第十一 回松柏美術館花鳥画 展大賞に		ア ー ト ト ッ プ	203
前田誠という果実の なる木 力、勢い、 純粹さ、 作品の若 さが面白い		"	204	第11回松柏美術館花 鳥画展 大賞に増田 貴司氏の「夕まづめ」	(石)	新美術新 聞	1051
山下裕二の今月の隠 し球3 前原冬樹 「修行僧」の神業(上) (下)	山下 裕二	美術の窓	258、259	古典が息づく現代の 工芸 増村益城「乾 漆盛器」と正倉院御 物	諸山 正則	淡 交	722
受賞記念フォーラム 「巨匠オスカー・ニ ーマイヤーの建築を 語る」	ジョゼ・カ ルロス・ス ッ セ キ ン ド、 横 文彦、 三宅 理一 談	ARTの森	20	ナビゲーター 未来 へ向かう他者への一 歩[増山麗奈]	山盛 英司	朝日夕刊	2. 15
ミュージアム・イン タビュー「Karesan- suiの牧岡一生さん にきました」の巻		a p r i r e	7	特集 写真集中毒の ススメ 写真集の 「つくり方」/制作者 たちの声 対談 町 口覚(アート・ディ レクター)×森本美 絵(写真家)	編 集 部	STUDIO VOICE	352
第22回読売広告大賞 「読者が創る広告の 部」 講評	牧野 圭一	読 売	12. 28	特集 本の魅力を引き 出すブックデザイン 町口覚 引き出 しを使い分ける	大城 穰司	デザインの 現場	143
巻頭特集 よみがえ る伝統木版画 木版 画の伝統を日々革新 する	牧野 宗則 談 田 取材・構成	版画芸術	129	特集 「日本画」って なんだろう? 【状 況編】「日本画」は変 わるか? Artist In- terview 2 町田久美	加藤 弘子 聞き手	美術手帖	864

平成17年定期刊行物所載文献(近/作マ)

日本画 光る新時代 画壇から距離「近代」と一線[町田久美]	富田 律之	日 経	12. 17	松岡映丘のふるさと 福岡町辻川界隈	堀澤 光栄	姫路市立 美術館だ より	86
追悼 直原玉青先生 拙い詞に託し	町田 泰宣	新美術新 聞	1073	「目をそらさず、知的 行動力の連鎖を求め て」『この惑星を遊 動する』芹沢高志著	松岡 恭子	A X I S	115
第1回みづゑ賞 絵 本部門・審査員特別 賞 飯野和好賞 松 井浩二さん	飯野 和好	み づ ゑ	74	40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第貳号 [松蔭浩之]	昭和40年会	美術手帖	861
特集 「日本画」って なんだろう? 【状 況編】「日本画」は 変わるか? Artist Interview 3 松 井 冬子	山下 裕二	美術手帖	864	巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 会田誠&松蔭浩之 「僕たちの石膏デ ッサン」	会田 誠、 松蔭 浩之 対談 集 部 聞き手	美術の窓	267
巻頭特集 新・リア リズム宣言Ⅱ 写真 VS. 現代美術 松 井冬子インタビュー 一爆発的といえる消 極的なイメージを他 人にシンクロさせた い	松井 冬子 一井 建二 聞き手	美術の窓	262	教員は語る 芸大へ の期待・抱負・提言 第2回	松下 計 藤本 隆文	芸大通信	10
日本画 光る新時代 画壇から距離「近代」と一線[松井冬子]	富田 律之	日 経	12. 17	収蔵品解説 松田諦 品《迫暮の羽根大塚 駅》	山村 仁志	府中市美 術館研究 紀要	9
松井康成の芸術世界 一現代陶芸としての 伝統工芸一	外館 和子	陶 説	627	特集 ギャグまんが 大行進「無敵の人」 への負け犬の遠吠え 松田洋子の長征に寄 せて	太田 晋	ユリイカ	503
Artist Interview 74 松井由美子 ある日 蘇る記憶	石田 純子	デザインの 現場	142	特集 水木しげる アンケート 選べな いけど、選んでみま した	南 鳩山 伸坊 純 中 辛酸なめ子 坂本 頼光 坂野 徹 松田 洋子 宮本 大人 春日 武彦	"	511
山田正亮 単一的な 複数性	松浦 寿夫	芸術新潮	667	designscape 48 四 角を円にする	松田 行正	デザインの 現場	138
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [松江泰治]	編 集 部	STUDIO VOICE	355	特集 本の魅力を引 き出すブックデザイ ン 松田行正 立案 →検証で引き出すベ ストなブックデザイ ン	石田 純子	"	143
画家たちの美術史33 松江泰治	鷹見 明彦	美術手帖	871	百寿への熱きメッセ ージ 片岡球子先生 の満百歳を寿ぎて	松村 公嗣	新美術新 聞	1052
視線 『gazetteer』 『CC』 松江泰造著	飯沢耕太郎	朝 日	5. 15	気概 風景と向き合 う86歳の背中[松村 三冬]	西田 健作	朝日夕刊	7. 8
松尾たいこが描いた 夢うつつの春夏秋冬 『えこよみ』		芸術新潮	666	from 冬の蜩	松村 六夢	産 経	1. 22
芥川記者の展覧会へ 行こう 延々と続く 砂の風景 松尾多英 常設展「砂」	芥川 喜好	読売夕刊	10. 5	特集 人形愛 反近 代の逆襲 生人形と 松本喜三郎	南 篤宏	ユリイカ	506
百寿への熱きメッセ ージ 全力で走り続 けた百年	松尾 敏男	新美術新 聞	1052	蓬春先生の思い出な ど	松本 榮	山口蓬春 記念館研 究紀要	4
リーダーな女たち 女流陶芸家 松尾優 子さん「自分らしさ」 絵付け萩焼に新風	江刺 弘子	毎日夕刊	10. 14	『所蔵品による松本 竣介・麻生三郎展』 で気づいたこと	橋 秀文	神奈川県 立近代美 術館年報	2003
井上通泰と松岡映丘	河野 雅子	手帖 姫 路文学館	54				

松本竣介 立てる像 ・部分下絵 少年の 手	田中智恵子 有村 麻里	修復研究 所報告	17	あいだのすみっこ不 定期漫遊連載 第 33、34回 戦争画と 平和画のあいだ 歴 史のなかの絵画作品 の運命：丸木位里・ 俊夫妻「原爆の図」再 考[上][下]	稲賀 繁美 あいだ	113、114
近代美術の東京 松 本竣介 ニコライ堂 と聖橋	大谷 省吾	読 売	6.14	丸木スマと原爆—被 爆経験と自己表現—	南塚 真史 美術史研 究	43
中特集 松本哲男 可能性への挑戦	切刀 知子	美術の窓	256	10年目の携帯電話	丸田 祥三 朝日夕刊	6.2
ROUND TABLE 2005	織田 達朗 松本 俊夫 山口 勝弘 中村 敏男 村上 善男	あいだ	113	棄景／origin 丸田 祥三著	日 経	3.27
コミック教養講座 たばこ屋の娘 松本 正彦[著]	湯浅 学 朝 日	3.27		丸山映先生を偲ぶ	上條 文穂 沖縄県立 芸術大学 紀要	13
交遊抄 白の衝撃	松本 路子 日 経	8.13		特集 荒川修作の 《死に抗う建築》イ ンタビュー 死なな いために	荒川 修作 丸山 洋志 聞き手	水声通信 1
倒木から「復興地蔵」 [松本明慶]		朝 日	3.10			
顔 北海道八十八か 所霊場の仏像を彫る 大仏師 松本明慶さん	西田 大智	読 売	1.18	(ミ)		
ROUND TABLE 2005	村岡 三郎 松本 陽子 飯島 耕一	あいだ	115	コミック教養講座 ガラスの仮面 美内 すずえ[著]	吉田 豪 朝 日	1.9
画家たちの美術史28 松本陽子	鷹見 明彦	美術手帖	864	三浦泉 二つの風景	三浦 泉 金沢学院 大学紀要 文学・美 術編	3
松本零士さんのお品 書き ステーキ 貧 しき少年の「夢の味」	伊藤 剛寛	読 売	2.28	特集 人形愛 人形 作家伝[三浦悦子]	今野 裕一 天野 昌直 ユリイカ	506
昭和版画家伝 4 馬淵聖 絵画に対抗 した色彩モザイク	伊藤 卓美	版画芸術	129	風韻 自然の形は深 いんです 染織家三 浦景生	四ノ原恒憲 朝日夕刊	1.29
間部時雄の水彩画作 品における「亦可」印 の謎について	志賀 秀孝	鹿島美術 財団年報 別冊	22	特集 建築と書物 建築家的読書術 そ れぞれの読書	みかんぐみ 10 + 1 *	38
交遊抄 人くさい羅 漢[幻一]	大島 伸一	日 経	11.11	特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[みかんぐみ]	Bank- ART Life 創刊号	
ブーシキン美術館 シチューキン・モロ ゾフ・コレクション をめぐる人びと MAYA MAXX	来嶋 路子	美術手帖	872	東京工芸大学の新しい プロジェクト Presentation # 1	カワイイフ アクトリー デザイン の現場	142
MAYA MAXXの「ふ るえるほど好き」 第2回～第5回	〃	みづゑ	72～74	作品解説：三岸好太 郎《海と射光》	長門 佐季 たいせつ な風景	3
第1回みづゑ賞	〃	〃	74	【論文紹介(二〇〇三 年度同志社大学大学 院修士論文梗概)】 三岸好太郎論—節子 像に見られる特異性—	松井紗智子 美学芸術 学	20
大賞決定 イラスト レーション部門 ・大賞 瀬藤優さん	来嶋 路子 セキユリヲ MAYA MA- XX			情熱の色彩 輝きな お 生誕100年 記念 三岸節子展	三岸黄太郎 朝日夕刊	4.16
イラストレーショ ン部門・審査員特 別賞 MAYA MA- XX賞 清水美紅 さん	MAYA MA- XX			AT202 Remarkable PERSON 生命力溢 れる木彫の動物たち 第15回タカシマヤ美 術賞に輝いた三沢厚 彦	ア ー ト ト ッ プ	202

第15回タカシマヤ美術賞に 三沢厚彦氏 田嶋悦子氏	(常)	新美術新聞	1047	水木氏と野坂氏「マッチ売りの少女」解題	平林 重雄			
特集 YOSHITOMO NARA + graf、AtoZ Artist's House : 三沢敦彦	田邊 寛実	STUDIO VOICE	358	悪魔くん、認識論的な救世主	高橋 明彦			
アートスクールガイド2005 なぜアートスクールに行ったのか? そのきっかけと準備。アートスクールで得たものは?	三沢 厚彦	美術手帖	867	一人の中の妖怪たち	岡崎乾二郎			
巻頭特集 プロが教える水彩ステップアップ講座 三沢厚彦 インタビュー 水彩と彫刻の間から	三沢 厚彦 談 一井 建二 聞き手	美術の窓	265	びびびのねずみ男をめぐる冒険	イルコモンズ			
巻頭特集 新・リアリズム宣言Ⅱ 写真 VS. 現代美術 アメリカン・リアリズムは、今 出品者が語るアメリカン・リアリズム	三嶋 哲也 談	"	262	ニートな奴ら 鬼太郎・悪魔くん・血太郎の系譜	蜂巢 敦			
水木しげるの妖怪画をめぐって	小松 和彦	日文研 NEWS*	57	水木しげるの新しい学 妖怪イメージの体系と方法	石岡 良治			
アーティストの原点、机の上の小宇宙 水木しげる	村上 圭一	みづゑ	72	水木しげるミニ年譜	平林 重雄			
特集 水木しげる		ユリイカ	511	春の褒章 漫画家水島新司さん 漫画で野球界残す		産 経	4.28	
師弟対談 面白くなきゃ、ダメなんです!	水 木 し げ る、京極 夏彦 談			春の褒章 漫画家水島新司さん 12球団、全選手に感謝		東 京	4.28	
戦中派水木しげる	四方田犬彦			春の褒章837人に漫画家・紫綬褒章 水島新司さん	鈴木 梢	毎 日	4.28	
妖怪の惑星 トタチテターと、ラッパが鳴っても。	三田 格			春の褒章 漫画家水島新司さん		読 売	4.28	
水木しげると戦争漫画(増補改訂版)	平林 重雄			特集 アーキテクチャー&アート進化系 アーティストが美術館をデザインしたら?	MR.	STUDIO VOICE	351	
水木しげる戦記漫画作品完全リスト	"			境界線上の開拓者たち 8 Mr.	斎藤 環	美術手帖	861	
証言構成 水木しげるに魅せられて四〇年	伊藤 徹			戦争体験を背負った美術家 追悼: 水谷勇夫さん	三頭谷鷹史	あ い だ	115	
武蔵野美大のころ	武良 幸夫			作家の貌15 水村喜一郎	一井 建二	美術の窓	263	
アンケート 選べないけど、選んでみました	南 伸坊 鳩山 郁子 田中 純 辛酸なめ子 坂本 頼光 坂野 徹 松田 洋子 宮本 大人 春日 武彦			わたし一番20 未来劇場の舞台 絵描き・ジャズ歌手水森重士 ハングリーな自分再び	森山 浩之	朝 日	1.30	
眼・三態の生命観 妖怪たちの眼差し	武村 政春			びーぶる 東山魁夷賞入賞 古都の風物を題材に生かす[三瀬夏之介]	戸田 拓	朝日夕刊	1.4	
				日本画 光る新時代画壇から距離「近代」と一線[三瀬夏之介]	富田 律之	日 経	12.17	
				特集 私はここにいる 頼りない人生の後半だが	溝口 武	自由美術	2005	
				特集 時を味わう 漆 梔 尼ッポンのかたち	三田村有純	目 の 眼	340	

ぼくは、「美術の中のかたち」とこんな風につきあってきた	光島 貴之	ART RAMBLE	8	原寸美術館 結城 昌子著				7.3
皆川泰蔵先生を偲んで 極寒のハイデルベルクの想い出	中井 貞次	新美術新聞	1058	蓮 花 LOTUS 鈴木 薫				8.7
リレーエッセイ 「美について」一色について	皆川魔鬼子	た ま び	39	山水戀圖 奥山民枝著				9.18
特集 写真よ、語れ!	港 千尋	芸術新潮	669	志ん朝の高座 横井洋司・写真+京須借充・文				10.23
Europe Today 2004-2005 "In-between" [港千尋]	編 集 部	STUDIO VOICE	355	赤い雪 勝又進著				11.20
建築という旅 「谷口吉生のミュージアム」展を見て 物質と想像力が拮抗するダイナミズム	港 千尋	東 京	5.28	懐かしの風景 昭和モダンの映画看板 東京都青梅市 甘く、ほろ苦い香り漂う	"	日経夕刊		8.24
国際文化フォーラム 一文化の多様性 「和」の精神世界が望む 認め合い吸収、パワーに 座談会 トボスと神話	バーバラ・グロチュスキ、パノス・マンツィアラス、港 千尋 河合座長中沢司会	日 経	12.24	彫刻家の現場から 2 峯田義郎	武田 厚	美術の窓	261	
南薫造『従軍日記』	藤崎 綾	広島県立美術館研究紀要	8	制作ノート 峰見勝蔵	峰見 勝蔵	武蔵野美術大学研究紀要	35	
惜別 銅版画家 南桂子さん 「メルヘン」の裏に葛藤	田中 三蔵	朝日夕刊	1.17	研究ノート 三橋健	妹尾 克己	岡山県立美術館ニュース	69	
巻頭特集 人物画にみる 現代70選 Part.1 右脳を使って楽しもう 南伸坊氏に聞く、人物画の楽しみ方		美術の窓	256	NIPPONのカタチ 和のちから 2 仏壇の“窓”から新風[三原昌平]		日経夕刊	8.6	
特集 水木しげる アンケート 選べないけど、選んでみました	南 伸坊 鳩山郁子 純 幸酸なめ子 坂本頼光 徹 坂野洋子 松田大人 宮本武彦	ユリイカ	511	特集1 BankART Life 作家+作品紹介[宮晶子]		Bank-ART Life	創刊号	
視線	南 伸坊 朝 日			鷗外が見守った画学生 一介の若者を支えた知られざる交流を追う[宮芳平]	堀切 正人	日 経	12.7	
路地 中里和人著			1.9	フェイス21世紀78 宮北千織 色彩が織り成す人物の世界	油井 一八	新美術新聞	1063	
我楽多じまん 中野翠著			2.13	わたしのお気に入り 打ちこまれた思い 鉄の楔	三宅 一生	芸術新潮	661	
いろはにコンペイトウ 栗原英次著、小泉佳春写真			3.20	特集 生活デザインの素 日本民芸館へいこう IVエッセイ 8人のプリズム デザインのDNA	三宅 一生	"	667	
アイノカテゴリー みうらじゅん			4.24	第17回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者 決定 彫刻部門に三宅一生氏、建築部門に谷口吉生氏が受賞	山口 昌子	産 経	6.30	

高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者の横顔 彫刻部門 三宅一生	産 経	10.18	「ハウルの動く城」の秘密をめぐって	野々村文宏			
世界文化賞祝宴 友と味わう受賞の喜び [三宅一生]	"	10.19	カステロフィリアとしての宮崎駿	五十嵐太郎			
話の肖像画 一枚の布に見る夢1~7 世界文化賞彫刻部門 受賞服飾デザイナー 三宅一生さん	藤田 綾子 聞き手	"	ジブリはデロリ?	菅野 洋人			
第72回毎日広告デザイン賞受賞者決まる 第2部・発言広告の部 最高賞三宅恵美里	冠木 雅夫	毎 日	《飛ぶ》ということあるいは、宮崎駿における「林と思想」	木下 長宏			
CRAZY FANTASY 坂川守、中川敦夫、東明、三宅砂織、児島サコ	原 久子	STUDIO VOICE	なぜ飛ばなければならぬか? 『ハウルの動く城』における物語の失効	土屋 誠一			
巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶミヤケマイ 空間処理の妙とユーモアが醸し出す、新しい粋な世界	伊東 順二	美術の窓	老体の城が動く、ということ	木村 覚			
2004年度芸術選奨 文部科学大臣賞に中野嘉之氏、宮本隆司氏 新人賞に青木淳氏、宮崎吾朗氏	(美)	新美術新聞	アニメーションという思想—宮崎駿試論—	長谷 正人	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50	
巻頭特集 2005年上半期美術界徹底ガイド 地軸上の悲歌—宮崎進とともに	水沢 勉	美術の窓	解いてみました3つの謎 映画「ハウルの動く城」ってわかりにくい? つながりのなさ、逆に魅力 [宮崎駿]	小原 篤 朝 日		1.19	
「運動」の軌跡—宮崎駿のアニメにおける「映画」—	長澤 唯史	椋山女学園大学研究論集	ベネチア映画祭 宮崎駿監督に荣誉金獅子賞	石飛 徳樹	朝日夕刊	2.9	
『ハウルの動く城』の評価軸とは? [宮崎駿]	藤津 亮太	STUDIO VOICE	ベネチア映画祭荣誉金獅子賞を宮崎監督に授与「アニメに光あててもらい感謝」	古賀 重樹	日 経	9.10	
『ショートショート』=ジブリ史! [宮崎駿]	"	"	ベネチア映画祭 荣誉金獅子賞「宮崎作品 子供心を呼び覚ました」		読売夕刊	2.9	
特集 動く絵画(アニメーション) 宮崎駿監督作品「ハウルの動く城」を読み解く		美術手帖	特集 地方美術館の連携 絵とふるさとを語る	石本 正、宮廻 対談	石見美術	3	
美術史で読み解く「ハウルの動く城」 構造でみる城/身体の方華鏡/埋め尽くしの美学/似て非なる形態/悲しみをたたえる有翼人/奇妙なオリジナリティー/巧みな描写によるリアル	編 集 部		交遊抄 映画好きの夢 [宮廻正明]	深井 隆 日 経		5.14	
			特集 私はここにいる 最近のこと	宮澤 修平	自由美術	2005	
			巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=情報 みやじけいこ	みやじけいこ	版画芸術	127	
			マンガの居場所 ゴンペエから見た戦国 [宮下秀樹]	瓜生 吉則	毎日夕刊	7.27	
			絵と物語10~21	宮島永太良	美術の窓	256~267	
			巻頭特集 陰翳礼賛—暗がりの文化史 インタビュー 宮島達男	長澤 章生 取材	ア ー ト ト ッ プ	205	
			アート探究 死と背中合わせの生凝視 宮島達男のデジタルアート	坂本 憲一	日 経	9.10	

芸術の力世界を変える 新たな価値連帯し創造 アーティストサミット 総括	宮島 達男	〃	12. 17		(ム)	河原 龍夫、 豊原 康雄、 中田 誠、 向井 孟 談 章一 司会・編	ART RAMBLE	6
Go! Artists Go! 17 宮島弘道	坂口 千秋	美術手帖	873	座談会：グループ (位)を語る				
こころの風景 二つの 風景	宮嶋 康彦	朝日夕刊	5. 9~11					
日展をひかえて 審査 されている	宮瀬 富之	日展ニュー ース	118	かたち百景 東京文化 会館の音響壁面 工事の苦楽、共にした 顔々[向井良吉]	(卓)	日 経	6. 5	
大臣賞制作意図 内閣 総理大臣賞 「はんなりと 石庭に」	〃	〃	119	マネキンに宿る芸術 家魂 彫刻家らが担 った製作活動、日本に おける歴史研究 [向井 良吉]	藤井 秀雪	〃	7. 25	
AT204 Remarkable PERSON 宮田亮平氏 がえびす像を制作 千代田区の神田明神 に設置	(根)	ア ー ト ト ッ プ	204	pulse	向山 麻子	明星大学 研究紀要	13	
人らんだむ 東京芸術 大学第9代目学長に 内定した 宮田亮平氏 垣根を越えていく芸術 を		新美術新 聞	1067	所蔵資料から「李朝 の壺といちはつ」「私 の八十七回目の誕生日」 [武者小路実篤]	福島さとみ	美 愛 真	8	
巻頭特集 新・現代 版画スタイル		版画芸術	127	マンガの居場所 「乙女ちつく」を見直 す[陸奥A子]	ヤマダトモ コ	毎日夕刊	8. 22	
制作現場編 木版 画一砂で刻む異空間 宮寺雷太	岡 部			ひらがな日本美術史 【連載】その百十八 「マンガ」に属したもの 谷内六郎の作品と六浦 光雄の作品	橋本 治	芸術新潮	670	
版画=革新 宮寺 雷太	宮寺 雷太			図版解説 カラー図 版解説 棟方志功 《勝鬘譜 善知鳥 版画 曼陀羅》	西山 純子	浮世絵芸 術	149	
次世代からの問いかけ アーティストの生き方 とは Suggestion from Artist 15 内藤礼一 宮永愛子	宮永 愛子 インタビュー アー	ギャラリ ー	244	ひらがな日本美術史 【連載】その百十七 讃歎するもの 棟方志 功筆「鍵板画櫃」 「釈迦十大弟子」	橋本 治	芸術新潮	669	
宮本三郎 日本の四季 朝・夜(旧白雲楼 ホテル壁画) 修復 報告	渡邊 一郎 桐生 論	修復研究 所報告	17	特集 私はここに いる 現実と表現の中 で	村秋 木綿	自由美術	2005	
伝統あしらった椅子 職人 日本の美意識 がつまった近代の椅子 を修復	宮本 茂紀	日 経	11. 14	特集 ポストノイズ 技術と音楽についての 自動筆記風覚書	村井 啓哲	ユリイカ	504	
2004年度芸術選奨 文部科学大臣賞に中 野嘉之氏、宮本隆司 氏 新人賞に青木淳 氏、宮崎吾朗氏	(美)	新美術新 聞	1053	作品解説：村井正誠 《水辺の人々》	是枝 開	たいせつ な風景	4	
アーティスト訪問19 三輪和彦		ギャラリ ー	240	Shot05 アトリエを 包む美術館 古さに 新しさ重ね温かみ [村井正誠]	西田 健作	朝日夕刊	4. 8	
私のノート	三輪なつ子	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1	特集 ストーリー構 成 感動を呼ぶイン ナーワールド 藤田 和二郎×村枝賢一	藤田 和日 郎、村枝 賢一 談	みづゑ	71	
Close-up39 三輪 道子 卵が創り出す 宇宙		ギャラリ ー	247	ROUND TABLE 2005	村岡 三郎 松本 陽子 飯島 耕一	あいだ	115	

ひたすら「読める書」 村上三島氏90歳超え 日に4時間		読売夕刊	11.21	村田省蔵 二つの風景	村田 省蔵	金沢学院 大学紀要 文学・美術編	3
村上三島先生をしの んで「多く習え」強 い教え	成瀬 映山	"	11.22	建築季評「安さ」だ けでは文化の貧困 [村野藤吾]	中川 理	読売夕刊	12.19
日影眩の360°のニ ューヨーク113、114 アート界の台風の 「目玉」村上隆キュレ ーションによる「リ トルボーイ」展をめ ぐる一考察(前編) (後編)	日影 眩	ギャラリー 一	244、225	巻頭特集 人物画に みる現代70選 Part.3 現代作家が 描く多様な人間のか たち 村松元子 人 生の通奏低音	村松 元子	美術の窓	256
特集 日本近現代美 術史1905▶2005 村 上隆「オタク」を 「美術」に翻訳しつづ けた爆走の14年間	藤原えりみ 聞き手・構 成	美術手帖	866	近代美術の東京 村 山槐多 バラと少女	大谷 省吾	読 売	7.12
巻頭特集 今、石膏 デッサンは必要か。 村上隆と石膏デッサ ン	村上 隆	美術の窓	267	ものの質感の表現に ついて—1910年代半 ばから1920年代の日 本油彩画における光 沢の表現をめぐる一 [村山知義]	小林未央子	鹿島美術 財団年報 別冊	22
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 日産、コンセプトカ ー「Pivo」のプロモ ーションに村上隆を抜 擢		"	"	境界線上の開拓者た ち13 村山留里子	斎藤 環	美術手帖	866
総特集 オタク×サ ブカル! オタク× サブカル15年戦争 [村上隆]	加野 瀬 末 友、 はる ぼら 談	ユリイカ	510	オマージュ展	室越 健美	多摩美術 大学研究 紀要	19
怪物アート十選 1 ~10	村上 隆	日 経	6.9、10、 15、16、 20、21、 23、24、 27、28	ドット模様の表現の 展開から発想の動 機、発表の形態を探 る	室田 泉	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1
視覚の天才 北斎展 より 1 唐土名所 之絵 幻想に遊ぶ幸 せ共感	"	日経夕刊	11.8	自分自身の作品を語 ると言うこと	室橋 信一	明星大学 研究紀要	13
美術館の眼 10年間 の収集記録III 村上 善男「津軽赤倉山西 南一帯釘打ちの圖 (甲)」1997	山本 丈志	A R K	43	(モ)			
ROUND TABLE 2005	織田 達朗 松本 俊夫 山口 勝弘 中村 敏男 村上 善男	あいだ	113	巻頭特集 不思議の 国 ドイツの美術 Part.3 現代作家が 選ぶドイツの逸品 ケルン大聖堂のブラ ン	最上 壽之	美術の窓	260
パッチワークに和の 装い デザインの幅 が広がる手法を考 案、海外へ伝える	村木 幸代	日 経	9.23	《絵画のための見晴 らし小屋》1999— 2004—絵画原理にむ けて開いた窓を有す 視覚装置 その構想 ・構造と展開—	母袋 俊也	東京造形 大学研究 報	6
木版彫師・村瀬錦司 —夢二・恭吉・孤雁 の版画をめぐる一	岩切信一郎	一 寸	21	第62回例会の報告 大正アナキズムの前 衛芸術運動—黒耀 と望月桂について—	足立 元	美術運動 史研究会 ニュース	74
コミック教養講座 ケシカスくん 村瀬 範行[著]	南 信長	朝 日	10.23	受賞者のことば	望月 重延	美術京都	35
				びーふる 漫画「め ぐみ」連載 拉致取 材重ね「現実伝えたい」 [本そういち]	北野 隆一	朝日夕刊	1.15
				[特集]ガンダム行き ます! 『ガンダム 展』出展作家アンケ ート	本 秀康	ART iT	8

コミック教養講座 本秀康の描く4ペー ジ 本秀康[著]	吉田 豪 朝 日 5.15		ROUND TABLE 2005	宮内桂川 中村口池田 森田中村	嘉久寛行 一宏雄宏	あいだ	112
碌山の画帖から	基 俊太郎 碌山美術 館報	25					
	山田 芳弘 幅谷 啓子 基 俊太郎 松野 幸穂 一志 開平 成沢 嘉彦 白沢 多郎 等々力 貞子 奥原 和子 古幡 良子 江崎 園子 池井 勝幸 降旗 正英 横田 功夫 小林 一憲 野口 繁雄 原田 久 田中 清 沢村 仁 泉 宏 原 尚 前田 由 沢 次 柳 廣			マンガの居場所 笑 いの現場を描く[森 田まさのり]	瓜生 吉則	毎日夕刊	1.26
				次世代からの問いか け アーティストの 生き方とは Sug- gestion from Artist 12 森村泰昌一名和 晃平	名和 晃平 インタビュ アー	ギャラリ ー*	241
美術講座 ストーブ を囲んで「笹村草家 人を語る」				コロナウイルス技術の現 在とこれから[森村 泰昌]	河内 知生	国華清話 会報	5
				特集 日本近現代 美術史1905▶2005 森 村泰昌 「ART」の極 点としてのセルフポ ートレート	天野 太郎 聞き手	美術手帖	866
				ピンホールコラム	森村 泰昌	朝日夕刊	1.29、 2.26、 3.26
MOTOKOと 京都、 MOTOKOとくろり ロックの聴こえる街 から	吉田 秀道 聞き手・構 成	美術手帖	864	わたしの失敗 美術 家森村泰昌さん1～ 4	丸橋 茂幸	産 経	8.30～ 9.2
Artist Interview 72 本図量子 手仕事に 込めたメッセージ	石田 純子	デザインの 現場	140	人語る 美術家 森 村泰昌 ゴヤは「現 代を映す鏡」		日 経	3.13
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [本山周平]	編 集 部	STUDIO VOICE	355	新私のいる風景 美 術家森村泰昌さん 美 極まった社会 どう向き合うか	高野 清見	読売夕刊	4.23
特集 最終コミック ・リスト200 重要 作家ファイル 森薫	後藤 勝	"	354	特集 写真集中毒の ススメ 写真集の 「つくり方」/制作者 たちの声 対談 町 口覚(アート・ディ レクター)×森本美 絵(写真家)	編 集 部	STUDIO VOICE	352
Close-up36 森 淳 一 ダ・ヴィンチへ の感動から		ギャラリ ー*	244	みづゑ100年記念 描き続けるために大 切なこと 森本美由 紀	来嶋 路子	みづゑ	74
映画、音楽、アート をデザインする cultural design stud- ies 森大志郎	大城 穰司	デザインの 現場	144	「森山・新宿・荒木」 展を語る[後編] [対談]森山大道×大 竹昭子×神林豊 写 真家というコンセプ チュアルな気分屋	森山 大道、 大竹 昭子、 神林 豊 対談 三橋 構成	美術手帖	863
四季の匠 ハンドメ イド・ウクレレ[森 孝之]	徳永 京子	新美術新 聞	1060	視線 ブエノスアイ レス 森山大道著	飯沢耕太郎	朝 日	7.24
森正洋の遺産	岩井美恵子	現代陶芸 研究	2	森山大道・荒木経惟 写真集『森山・新 宿・荒木』		東 京	2.13
人と書19 陶芸家・ 森岡成好の書(1)	真鍋 井蛙	目の眼	351	～WA・和・環～(メ タルワーク)	森山 幸子	京都嵯峨 芸術大学 紀要	30
古典が息づく現代の 工芸 森口華弘「友 禅訪問着・早春」と 慶長・寛文小袖	金子 賢治	淡 交	721				

もう一度キャンパス
デジタル漫画を伝え
たい 漫画家モンキ
ー・パンチ(下)

日経夕刊 3.4

(ヤ)

あいだのすみっこ不
定期漫遊連載 第31
回 古傷に宿る光
やきものと彫刻との
亀裂に八木一夫を読
む

稲賀 繁美 あ い だ 109

戦後陶芸史における
「オブジェ」と八木一
夫

外館 和子 陶 説 623

第24回損保ジャパン
美術財団選抜奨励展
大賞に後藤拓朗氏
[矢澤健太郎]

(美) 新美術新聞 1056

第24回損保ジャパン
美術財団選抜奨励展
受賞作品紹介 秀作
賞 矢澤健太郎氏
「ある日の午後」

産 経 3.9

受賞者インタビュー
125 別府アジアビ
エンナーレ2005—絵
画 矢嶋渉

ギャラリー 238

[作品研究]今日の安
井曾太郎 肖像画と
風景画

中林 和雄 現代の眼 554

修復で“新作”になっ
た? 安井曾太郎
「金蓉」が変容!

新美術新聞 1060

第63回例会の報告
安井曾太郎《金蓉》の
修復をめぐって

後藤 八郎 美術運動
史研究会
ニュース 75

第34回中原悌二郎賞
優秀賞は3氏に決定
[保井智貴]

新美術新聞 1066

スタイルの職人 18
カミロボ作者安居智
博さん「見せるつも
りなかった自分だ
けの世界」

伊藤 鉄平 産 経 3.20

多様さが表す一つの
こと[安井仲治]

小林 公 ART
RAMBLE 7

安井仲治

飯沢耕太郎 STUDIO
VOICE 356

特集 私はここに
いる 私は

安井余旺貢 自由美術 2005

次世代からの問いか
け アーティストの
生き方とは Sug-
gestion from Artist
13 田名網敬——安
岡亜蘭

安岡 亜蘭 インタビ
ュアー ギャラリー 242

写真家・安島太佳由
経験しなかった記憶

安島太佳由 辰野美術
館だより 31

顔 イタリア“彫刻
の町”に作品が永久
設置された 安田侃
さん

藤原 善晴 読 売 1.21

保田龍門の「母と子」
に寄せて

保田 春彦 和歌山県
立近代美
術館ニュー
ース 44

特集1 BankART
Life 作家+作品紹
介[安田博道]

Bank-
ART Life 創刊号

[特集]ガンダム行き
ます! 『ガンダム
展』出版作家アンケ
ート

安村 崇 ART iT 8

視線 日常らしさ
安村崇著

飯沢耕太郎 朝 日 11.6

日常らしさ 安村崇
著

日 経 10.23

矢田一嘯 蒙古襲来
図

修復研究
所報告 17

修復報告

後藤 八郎

試料片調査結果

宮田 順一

矢田一嘯の「元寇絵
図」について

西本 匡伸 " "

20世紀の感性のゆら
ぎ 進歩とカタスト
ロフィ モダニズム
夢の百年 多木浩二
著

八東はじめ 東 京 5.22

巻頭特集 陰翳礼賛
一暗がりの文化史
インタビュー やな
ぎみわ

ア ー ト
ト ッ プ 205

アーティスト訪問23
やなぎみわ

ギャラリー 244

わたしのお気に入り
苦痛の愉楽 纏足用
の靴

やなぎみわ 芸術新潮 671

鏡像世界の密会
「恋月姫 ルナティ
ック・パンテオン」
TALK SHOW 恋
月姫×やなぎみわ

樋口ヒロユキ 美術手帖 861

AT201 Remarkable
WORK 地球の壮大
な時間を構想 八〇
メートルの大壁画を
完成した柳沢正人

ア ー ト
ト ッ プ 201

三百六十度のエンド
レス・ワールド 柳
沢正人「刻—時空の
流転」幕張WBGで
公開中

" 202

柳沢正人「刻—時空
の流転」幕張新都心
ワールドビジネスガ
ーデンWBGに設置

新美術新聞 1048

受賞者のことば

柳原 睦夫 美術京都 35

柳原義達氏を悼む 続々・美術館の窓から その31	大川 栄二	ガス 燈	64	特集 私はここに いる 今と私	山我 敏	自由美術	2005
巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 追悼 柳原義達	五十嵐芳三	美術の窓	257	山川秀峰について一 息子方夫の年譜から	岩切信一郎	一寸	24
みづゑ100年 記念 絵本の未来を知りた くて やなせたかし	来嶋 路子	みづゑ	74	コミック教養講座 コーヒーをもう一杯 山川直人[著]	湯浅 学	朝 日	11.20
晩学の心得 やなせ たかし 70歳の巻き 返し	日出間和貴	産 経	1.29		樺木 野衣 小田マサノ リ 工藤 キキ 山本ゆうこ ラノサトル 宇治野宗輝 伊東 篤宏 カスガアキ ラ 田中偉一郎 山川 冬樹 点 木下 勝弘		
時代の証言者 日本の メルヘンやなせた かし1~16	渡辺 亮 担当	読 売	2.2、3、 7~10、 15~18、 21~24、 28、3.1	殺す・な博ドキュメ ント		美術手帖	865
OTAKUニッポン どんなモノにもかわ いさ発見 備長炭の キャラ化は新鮮	やなせたか し	読売タ刊	6.24				
かんらん席 Close up クローズアップ 矢野由美	林 茂樹	新美術新 聞	1053	わたしのお気に入り 波板ニッポン 塩化 ビニールの波板	山口 晃	芸術新潮	665
巻頭特集 新・現代 版画スタイル 版画 =身体 矢野里奈	矢野 里奈	版画芸術	127	わたしの好きなもの の正月	山口 晃	新美術新 聞	1044
中特集 矢能伶侑	磯部 靖	美術の窓	263	境界線上の開拓者た ち11 山口晃	斎藤 環	美術手帖	864
紙短情長	ヤノベケン ジ	A X I S	114	第34回フジサンケイ グループ広告大賞か ら5 メディア部門 新聞最優秀賞 三越 「新・日本橋三越本 店 開店」古くて新 しいが人気[山口晃]	松本 明子	産 経	3.16
アーティスト訪問22 ヤノベケンジ		ギャラリ ー*	243				
ヤノベケンジ 終わ ったはずの未来の先 へ		芸術新潮	669				
ヤノベケンジ『子供 都市計画』子供ら に贈る、未来の廃虚	坂口 千秋	STUDIO VOICE	352	ROUND TABLE 2005	織田 達朗 松本 俊夫 山口 勝弘 中村 敏男 村上 善男	あいだ	113
特集 YOSHITOMO NARA + graf、AtoZ Artist's House : ヤ ノベケンジ	大場 美和	〃	358	「版画ではメッセ ージを強く意識」多 彩な表現に取り組む 山口啓介さんに聞く	石川 健次	毎日夕刊	8.31
境界線上の開拓者た ち10 ヤノベケンジ	斎藤 環	美術手帖	863	「素と形」展—「デザ イン」に対する静か で深い問いかけ[山 口信博]	川上典李子	A X I S	113
40×40 Project for BT 昭和40年会の 七人も侍 第八号 新連載—わたしも40 年かい? 今日の客 人=ヤノベケンジ	40×40取材 班[昭和50 年生] 取材・文	〃	868	「形を味わい、色を 聴く人々の世界」 『共感覚者の驚くべ き日常』リチャード ・E・シトローウィ ック著/山下篤子訳	山口 信博	〃	114
視線 ヤノベケンジ 1969-2005 ヤノベ ケンジ著	山下 裕二	朝 日	9.25	山口八九子資料Ⅲ— 八九子の日記(昭和 八年一月~四月)—	丹尾 安典	早大會津 八一記念 博紀要*	6
人と書14 彫刻家・ 飯内佐斗司氏の書 (1)(2)	真鍋 井蛙	目の眼	341、343	第22回読売広告大賞 「読者が創る広告の 部」講評	山口はるみ	読 売	12.28
ただ絵のためだけに 暮らす 画家の生き 方 山内龍雄		ギャラリ ー*	243、244				

蓬春先生の思い出など[山口蓬春]	松本 榮	山口蓬春 記念館研究紀要	4	三代山田常山を偲んで	中野 晴久 陶 説	633
山口蓬春年譜の訂正について(その2)	川口 順啓	" "	"	煎茶陶を求めて 三代山田常山先生を悼む	仲野 泰裕 " "	"
蓬春研究ノート(4) 皇居宮殿正殿松の間杉戸《楓》及び関連作品をめぐって[山口蓬春]	岡田 修子	" "	"	陶工・山田常山さん	唐澤 昌宏 " "	"
《榻上の花》について[山口蓬春]	吉田 敬	" "	"	惜別 常滑焼・急須の人間国宝 山田常山さん	秋山 亮太 朝日夕刊	11.7
山口蓬春宛書簡について(2)	川口 順啓	" "	"	追想録 急須の名工、妻と二人三脚 山田常山さん(常滑焼の陶芸家)	日経夕刊	11.18
葉山美術講演会の開催		" "	"	悼 人間国宝の常滑焼・陶芸家 山田常山さん 急須に誇り「茶三昧」	林 幹洋 毎日	11.23
第5回 可能性としての「日本画」[山口蓬春]	水沢 勉			陶芸家山田常山さん飾らぬ「庶民の人間国宝」	柳沢 譲 読売夕刊	11.15
第6回 日本画近代化の歩みと山口蓬春	細野 正信			作家訪問343 ガラス作家 山田妙子さん	編集部 目の眼	346
学芸随想3 二千余通の葉書の友[山口牧生]	高橋 亨	フラミンゴ	85	ヤマダトミオのスペイン・アート通信58~68	ヤマダトミオ ギャラリー	237~247
人・模・様 4年ぶりの「記憶の都市」[山口都]	横田 一	毎日夕刊	12.8	アーティスト訪問21 山田正亮	"	242
みづゑ100年記念 描き続けるために大切なこと 山口裕子	村上 圭一	みづゑ	74	山田正亮の絵画—〈静物〉から〈Work〉…そして〈Color〉へ	神山 亮子 府中市美術館だより	15
わたしの一番18 千年の色 染織家山崎桃麿さん 色褪せぬ美陽光の恵み	滑川 照夫	朝 日	1.9	漫画でよみがえる雅「あさきゆめみし 源氏物語の世界」展 人形で名場面再現	大和 談 読売夕刊	8.15
薩摩藩の絵師 山路探定の作品	山西 健夫	グリーンルーフ	58	小特集 山名文夫の昭和デザイン大遍歴	芸術新潮	662
宿命と闘った画天使 山下清と沼祐一たち	三頭谷鷹史	名古屋造形芸大紀要*	11	油絵が醸す名場面の郷愁 元看板絵師が名作映画を再現、感動を呼び戻す	山中 一夫 日 経	4.26
美の美 はじめの一枚—4 イコン・山下りんの冒険	白木 緑	日 経	7.3	山永光甫の漆芸	友永 尚子 大分県立芸術会館研究紀要	2
巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶ山城知佳子 等身大の視線から語られる沖縄の姿	ロジャー・マクドナルド 小澤 慶介	美術の窓	259	カバーインタビュー 山中俊治	石橋 勝利 A X I S	116
対談シリーズ13 東北芸工大からの発信 山形からのムーブメント—東北芸術工科大学が果たす役割と存在の意味—	山田 修市 保田井智之 原 すがね	Fontaine	39	毎日デザイン賞 山中俊治氏「テクノロジーと人間をつなぐデザイン」	川崎 和男 毎日	2.23
巻頭特集 新・現代版画スタイル 版画=革新 山田純嗣	山田 純嗣	版画芸術	127	特集 グラフィックデザイナー 次組むならこの人 主役のモノを引き立てる“自然”なデザイン 山野英之	杉瀬 由希 デザインの現場	144
				学校と私 画家山本集さん 友人の言葉が絵筆とる糧に	野倉 恵 聞き手 毎日	10.17

日々好日 踊るサテ
ユロス 山本 眞輔 新美術新聞 1074

未来の大モノを探
せ! UNDER30の
実力者たち 山本拓
生 大輪 俊江 デザイン
の現場 144

日々好日 電波時計
の立場から 山本 貞 新美術新聞 1061

百寿への熱きメッセ
ージ 片岡球子先生 山本 直彰 " 1052

特集 「日本画」って
なんだろう? 現代
日本画家の制作現場
から1 山本直彰 福住 廉 美術手帖 864

特集 ムーンライダ
ーズ 薔薇がなくち
ゃ生きてゆけないん
だってば! ライダ
ーズのこの曲が好
き! または嫌い!! 山本 直樹 ユリイカ 507

特集 最終コミック
・リスト200 重要
作家ファイル 山本
英夫 三田 格 STUDIO
VOICE 354

作家の貌10 山本文
彦 一井 建二 美術の窓 257

秋の叙勲、褒章決ま
る【旭日中授賞】濱
田台児氏 14代酒井
田柿右衛門氏ら
【紫綬褒章】山本正道
氏 江里佐代子氏ら 新美術新聞 1074

フェイス21世紀80
山本雄三 画面に流
れる静寂な時間 油井 一八 " 1068

わたしとおとうさん
煙草もカネも「美し
く」 山本 容子 毎 日 6.29

新春対談 中 芸術
編〈モダン〉の100
年 新鮮な感受性、
庶民も獲得 坪内 祐三、
山本 容子 毎日夕刊 1.5

海外アート事情 パ
リで「ヨウジヤマモ
ト たかが服」展
目を見はる仕掛け、
展示構成 今津 京子 美連協ニ
ュース* 87

建築 建外SOHO
野心的な巨大プロジ
ェクト[山本理顕] 五十嵐太郎 毎日夕刊 4.7

山下裕二の今月の隠
し球5、6 山本竜
其 いじめられっこ
の内省(上)(下) 山下 裕二 美術の窓 260、261

ぐりとぐらに学ぶ、
くらしの基本 クリ
エーターからのメッ
セージ[山脇百合子] 松永 絵菜
合田 経郎 みづゑ 72

(ユ)

コミック教養講座
耳かきお蝶 湯浅ヒ
トシ[著] 湯浅 学 朝 日 12.11

アニメーションの
“限界”に向き合う! 宮 昌太朗 STUDIO
VOICE 359

上野の森美術館大賞
展「フジテレビ賞」
結城康太朗さん受賞 産 経 4.22

AT206 Remarkable
PERSON 名画は目
のごちそう『原寸
美術館』の著者・結
城昌子さん アー
ト
ト
ッ
プ 206

ミュージアムワーク
ショップを終えて 柚木沙弥郎 横須賀美
術館準備
ニュース 2

(ヨ)

特集 人形愛 人形
作家列伝[与偶] 今野 裕一
天野 昌直 ユリイカ 506

大学は古池のごとし 横内 敏人 瓜生通信 33

佐々木豊の本音でフ
ァイト 免許皆伝 横尾 忠則
美術稼業の奥義 第
二回 佐々木 豊 アー
ト
ト
ッ
プ 206

横尾忠則と一柳慧が
共闘した幻のアルバ
ム35年ぶりに堂々復
活 芸術新潮 664

特集 ゴッホ・ガイ
ドブック 横尾忠則
が語るゴッホ 横尾 忠則
西野 基久、
編集 部 美術手帖 863

映画 静の映像が誘
う美の思想 春の雪 横尾 忠則 朝 日 10.27

「オペラ横尾忠則を
歌う」60年代の熱
気 35年ぶり復刻 依田 彰 朝日夕刊 1.26

遠い視線近い視点
美術館「冬の時代」 横尾 忠則 東京夕刊 9.14

ゴッホ展を見て 1
模写作品に興味 " 東 京 4.30

1.12、26、
2.9、23、
3.9、23、
4.13、27、
5.11、25、
6.8、22、
7.13、27、
8.10、24、
9.28、
10.12、
26、11.9、
12.14、28

夜景の誘惑十選 ～10	1	横尾 忠則	日 経	1.27、 28、31、 2.1、3、 4、7、8、 10、11	芸苑雑事記147 吉 井淳二さんのこと	瀧 梯三	美術の窓	257	
資生堂がテレビCM 中止[横尾忠則]			"	4.8	追悼抄 吉井淳二さ ん 二科会再建に尽 力	川路 芳也	読 売	1.9	
Art of Christmas Namiki 2005 横 尾 忠則さん			"	12.2	日展をひかえて 大 学での出会い	吉居 寛子	日展ニュー ース	118	
特集 アーキテクチ ャー&アート進化系 ヨコミゾマコトの富 弘美術館		平塚 桂	STUDIO VOICE	351	旅する画家 富嶽三 十六景 絵の師は自 然、富士山描き95歳 の集大成	吉川 啓示	日 経	9.19	
特集 建築と書物 建築家的読書術 水 と鏡への憧れ		ヨコミゾマ コト	10 + 1 *	38	受賞者インタビュー 128 国際陶磁器フ ェスティバル美濃 '05 吉川周而		ギャラリ ー*	242	
巻頭特集 天地道遙 ・いざ山水へ 山水 を巡る巨匠たちの足 跡[横山大観]		土屋 禮一、 中野 嘉之 解説	ア ー ト ト ッ プ	203	受賞者のことば	吉川 弘	美術京都	35	
美学会第56回全国大 会発表要旨 横山大 観筆《聴法》と《エ クスプレッション》 一画中人物の性格・感 情の表現をめぐる一		植田彩芳子	美 学	223	吉川充 殷周青銅器 に仮借した現代陶芸	柴辻 政彦	陶 説	622	
横山大観筆《屈原》 (敝島神社)について の考察		"	美術史論 叢	21	建築史学会二〇〇五 年度大会 研究発表 会報告 吉阪隆正の 滞仏期の思考——九 五〇～五二二年の書簡 分析を通じて一	倉方 足立 記	俊輔 裕司	建築史学	45
横山大観の香川勝廣 宛て書簡について		萬木 康博	ふくやま 美術館研 究紀要	3	コミック教養講座 山手テレビキネマ室 テレキネシス 芳崎 せいむ[画]東周斎雅 楽[作]	南 信長	朝 日	7.3	
鉦鼓洞蔵墨譜—横山 大観旧蔵墨目録		野本 淳	横山大観 記念館館 報	21	巻頭特集 時代を変 えるアーティスト 評論家・キュレータ ー・美術記者が選ぶ 吉田暁子 独自の読 解力が生むエレガン トな空間	建畠 哲	美術の窓	259	
飾る愉しみを追う file 8 人生を変え てくれるような1点 に出会う[横山智子]		秋 田	版画芸術	129	作家訪問345 ジュ エリー 吉田高介さ ん 倉田裕子さん	編 集 部	目の眼	348	
[特集]ガンダム行き ます!『ガンダム 展』出展作家アンケ ート		横山 豊蘭	ART iT	8	特集 ギャグまんが 大行進 かかわるそ 化するポストモダン 吉田戦車から見た日 本社会	ドミニク・ チェン	ユリイカ	503	
GUNDAM展 気 鋭 アーティスト熱き思 い「書」は現代アート		東谷 隆司、 横山 豊蘭、 天明屋 尚 談	産 経	11.12	芸術を通した伝え合 いとコラボレーショ ン	吉田 晃良	大阪成蹊 大学芸術 学部紀要	1	
[特集展示]戦後日本 画の新風—横山操と 中村正義		大谷 省吾	現代の眼	550	研究ノート：風景画 の方法—吉田博の技 法書を中心に	岡本 正康	下関市立 美術館研 究紀要	10	
近代美術の東京 横 山操 塔		"	読 売	3.8	国際漆展石川2005 入賞入選作決まる 大賞受賞はフランス のエメリク・イザベ ル[吉田宏之]		新美術新 聞	1070	
横山光輝さん遺産11 億に			日経夕刊	5.24	特集 人形愛 人形 作家列伝[吉田良]	今野 裕一 天野 昌直	ユリイカ	506	
平成15年度指定研究 表象都市metamor phosis広島—芸術実 験展示プロジェクト 2003—		武藤三千夫 伊東敏光 吉井章 前川義春	広島市立 大学芸術 学部紀要	10	コミック教養講座 愛がなくても喰って ゆけます。よしな がふみ[著]	南 信長	朝 日	5.22	

座談会 具象彫刻の 方向と現状Ⅱ	上野 弘道 司会 池田 宗弘、 桑山 賀行、 中垣 克久、 中村 義孝、 日原 公大、 吉野 毅、 渡辺 治美	ART LIBRARY	6
日々好日 回顧展雑 感	吉原 英雄	新美術新 聞	1049
巻頭特集 日本の銅 版画 メソチントの マチエール 長谷川 潔、浜口陽三からの 出発 座談会 長谷 川潔・浜口陽三のメ ソチントを解説する	三木 哲夫、 吉原 英雄、 中林 忠良、 猿渡 紀代子 対談 松山 龍雄 司会	版画芸術	130
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [吉増剛造]	編 集 部	STUDIO VOICE	355
北欧近代建築先駆者 の美 アスブルンド の作品群、スウェー デン巡って撮影	吉村 行雄	日 経	9.26
Close-up26 吉本作 次 スロー・アート として		ギャラリ ー*	237
ひと 「ゴッホ」に魅 せられた画家 吉屋 敏さん	森 忠彦	毎 日	5.10
特集 人形愛		ユリイカ	506
秋葉原に電腦遊郭 を! 新しい「人 形論」のために	四谷シモン		
起源の幻影[四谷 シモン]	高原 英理		
追悼 淀井敏夫先生 豪にして和	星野 清一	新美術新 聞	1050
弔辞 故淀井敏夫氏	吹田 文明	連盟ニュ ース	413
特集 私はここに いる 私はここに いる	米坂ヒデノ リ	自由美術	2005
Europe Today 2004- 2005 "In-between" [米田知子]	編 集 部	STUDIO VOICE	355
米田知子 過去・現 在・未来	原田 環 取材・文	美術手帖	862
萬鐵五郎による南面 研究一大正15年を中 心に	名方 陽子	鹿島美術 財団年報 別冊	22
葉山美術講演会の開 催 第5回 可能性 としての「日本画」 [萬鉄五郎]	水沢 勉	山口蓬春 記念館研 究紀要	4
特集 私はここに いる 黄金色のつばや き	よろずふき こ	自由美術	2005

(ラ)

対談 西山の山荘か ら	十五代樂吉 左衛門 森 孝一 聞き手	陶 説	631
新私のいる風景 陶 芸家樂吉左衛門さん 振り子「長次郎」と 「今」行き来して	前田 恭二	読売夕刊	10.15

(ワ)

特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[ワークステーシ ョン]		Bank- ART Life	創刊号
【特集】釉葉の妙 素 材との格闘—鈴木藏 の志野・若尾経の青 瓷	唐澤 昌宏	淡 交	723
惜別 洋画家 脇田 和さん ドイツ的素 養と遊び心	田中 三藏	朝日夕刊	12.19
文化往来 脇田和、 身近なものの描き続け 80年余		日 経	12.1
和田英作《富士》につ いて—その制作姿勢 と位置付け—	泰井 良	静岡県立 美術館紀 要	20
ホームロボット・デ ザイン	和田 達也	多摩美術 大学研究 紀要	19
著者に会いたい 『日本の家』和田久 士さん	中村 謙	朝 日	2.20
小特集 和田誠 ア ナログの心意気		芸術新潮	667
特集1 BankART Life 作家+作品紹 介[和田みつひと]		Bank- ART Life	創刊号
巻頭特集 不思議の 国 ドイツの美術 Part.1 「ベルリン —陰影礼賛」	和田みつひ と	美術の窓	260
銀座ギャラリー日記 子育てと創造、輝く ふたり[渡邊かおり]	栗田 玲子	朝日夕刊	5.26
芥川記者の展覧会へ 行こう 漁民を描く 渡辺學の世界 実質 「生」問う日本画	芥川 喜好	読売夕刊	1.5
GO WATANABE 5 WORKS 渡辺剛著		日 経	12.11
渡邊省亭考	岩切信一郎	一 寸	22
特集 渡辺達正		版画芸術	130
銅版画家の感性と メチエ、そしてマ チエール	秋 田		

海外

ター・ク
クス・ト
ニブ
デヴィ
グ
マイケル・
ウエ
磯崎 新
五十五嵐 太郎

特集 写真集中毒の
スス メ 伝説の写真
集をひもとく／見る
者の視点 ダイアン
・アーバス

飯沢耕太郎 STUDIO VOICE 352

写真 ダイアン・アーバス回顧展
「Revelations(啓示)」
＝海外巡回中

" 毎日夕刊 7.6

漫画家アイズナー氏
を悼む 自己革新続
けた改革者[ウィル
・アイズナー]

小野 耕世 読売夕刊 2.7

特集 アーキテクチャー
& アート進化系
ヴィット・アコンチ@
クンストハウス・グ
ラーツ

野々村文宏 STUDIO VOICE 351

バリ バレの建築デザイン[フランクラン・アジー]

渡部 千春 " "

北歐近代建築先驅者の美 アスプルンドの作品群、スウェーデン巡って撮影[エーリック・グンナール・アスプルンド]

吉村 行雄 日 経 9.26

現在通信from NEW
YORK 消えてしま
うアート(1)[マリ
ナ・アブラモビッ
チ]

富井 玲子 新美術新聞 1074

カパーインタビュー
ロン・アラッド中島 恭子 A X I S 113

聖なる風景の誕生—
アルトドルファーの
『橋のある風景』によ
せて—[アルブレヒ
ト・アルトドルファ
ー]

齊藤 栄一 芸術学研究(明学) 15

現在通信from NEW-YORK 月の終わり
[ローリー・アンダーソン]

富井 玲子 新美術新聞 1052

新美術時評 二人の
女性アーティスト、
その対照的なジェン
ダー・ポリティクス
[ローリー・アンダ
ーソン]

長谷川祐子 " 1067

ローリー・アンダーソン・来日インタビュー「私の作品はいつもコミュニケーションすることについてのもの。」

高中 美术手帖 868

INERS the power

ラクネル・
アンタル

作家インタビュー
ホルスト・アンテス
氏 カチーナ人形と
私の作品は等しい価
値を持っている

森下 徹 美連協ニ
ユース* 88

巻頭特集 NIPPON
を見る目 欧米人に
教えてもらおう“楽し
い”日本のアート
あなたが推す日本の
アートとは?文化と
は? 日本文化を形
成してきた日本人女
性

マリオ・ア
ンブロスイ
ウス アー
ト 202

(イ)

第一特集 GRAF-
FITY AS CULTURE
ENGINE!!! 拡張
するグラフィティ
UKグラフィティ事
情[ELK]

鈴木 透子 STUDIO
VOICE 360

イーストとドレッサ
ーの漆工芸感[アル
フレッド・イース
ト]

藤田 啓子 富山市箕
牛人記念
美術館館
報 14

第14回青木繁記念大
賞公募展 大賞はエ
ム・イクバル氏に

(石) 新美術新
聞 1052

国際漆展石川2005
入賞入選作決まる
大賞受賞はフランス
のエメリク・イザベ
ル

” 1070

ヨハネス・イッテン
の色彩表現とその統
合性について

金子 宜正 鹿島美術
財団年報
別冊 22

(ウ)

天才の謎ここに?
[ジョルジョ・ヴァ
ザーリ]

朝日夕刊 6.21

名画に残された暗号
は…[ジョルジョ・
ヴァザーリ]

東京 6.22

名画のなかの女性た
ち16 ヴァトー《ジ
ェルサンの看板》[ジ
ェン=アントワヌ
・ヴァトー]

中山 忠彦 美術の窓 263

特集2 あの人が推
す、今注目のクリエ
イター2 ダニエル
・ヴィースマン

柴田 巖朗 A X I S 116

絵とものづくりを愛
する人に 海の向こ
うから届いた応援メ
ッセージ ヨゼフ・
ウィルコン

伊川 尚子、
阿部 律子、
内藤 文子
訳 みづゑ 74

石のない宝物 オラ
ンダのコンテンポラ
リー・ジュエリーデ
ザイン レオン・ウ
イルブリンク 思い
を伝える特別な素材

猪飼 尚司 デザイン
の現場 138

特集 写真集中毒の
ススめ 写真集中毒
者たちによる必見本
案内・海外版 クリ
ストファー・ウール

河内 タカ STUDIO
VOICE 352

そこまでやるか 新
・職人列伝3 和が
脈打つ筆さばき ア
ラン・ウエスト

日経夕刊 7.30

巻頭特集 NIPPON
を見る目 欧米人に
教えてもらおう“楽し
い”日本のアート
日本から得たインス
ピレーション

ロウラ・ド
ログウー
アラン・ウ
エスト
対談 アー
ト 202

ブルース・ウェバー
の映画『トゥルーヘ
ンの手紙』

ヴィヴィア
ン佐藤 美術手帖 871

アート探究 平穏な
日常かみしめる 米
国写真家が「犬のた
めのギャラリー」
原点は同時テロ[ブ
ルース・ウェバー]

窪田 直子 日 経 9.17

小説のストラテジー
快楽の装置[パオロ
・ヴェロネーゼ]

佐藤 亜紀 ユリイカ 509

クローズアップ 黒
人差別をテーマにす
る美術家 キャラ・
ウォーカーさん 人
生の一瞬、イメージ
に

日経夕刊 4.21

草間彌生のLOVE
FOREVER 第2回
私の大好きなアンデ
ィ! [アンディ・ウ
ォーホル]

草間 彌生 STUDIO
VOICE 356

指輪になりたい「リ
ズ」13億円 ウォ
ーホル名作宝石商の
手に

東京夕刊 5.12

ウィリアム・メレル
・ヴォーリスについ
ての一考察〜関西学
院大学の場合〜

塩田 昌弘 大手前大
学社会文
化学部論
集 5

W. M. ヴォーリス
(W.M.Vories)の韓国
における建築活動に
関する研究

鄭 昶源 日本建築
学会計画
系論文集 589

療養所の名建築 解
体しないで ヴォー
リスの代表作

日経夕刊 5.7

北に咲くヴォーリス
建築 北見開拓期の
宣教師ピアソン邸

大橋 牧人 ” 5.18

スライドによる《パ
ブリック・プロジェ
クション》—その性
格と起源[クシュシ
トフ・ヴォディチ
コ]

越前 俊也 文化学年
報(同大) 54

第3回京畿道世界陶磁ビエンナーレ 世界現代陶磁展に出品する元慶煥のひとつ

ギャラリー 239

ブリティッシュデザインは今 活躍する若手デザイナーの中から ヴーン・ウォング&ベンソン・ソー

中島 恭子 A X I S 113

奇想遺産 シドニーオペラハウス オーストラリア[ヨーン・ウツソン]

隈 研吾 朝 日 5.8

美術 「Have We Met?—見知らぬ君へ」展 初々しい美術家との出会い[ヘマ・ウパッデアヤエ]

山盛 英司 朝日夕刊 1.20

光の食卓、マッチョな悪魔 帝政ロシア末期の芸術[ミハイル・ヴルーベリ]

永島 章雄 芸術新潮 672

(エ)

傷ついた風景を救え 23の都市デザイン[ビル・エイルソップ]

由本みどり " 667

特集 写真集中毒のススめ 伝説の写真集をひもとく/見る者の視点 ウォーカー・エヴァンズ

日高 優 STUDIO VOICE 352

わたしのお気に入り 迷うこと、運ぶこと 地図の模型

マイク・エーブルソン 芸術新潮 672

目の冒険 だまし絵と半世紀8[エッシャー]

福田 繁雄 朝 日 11.20

マリー・ホール・エッツ 絵本作家 酒井駒子さんがいるく、エッツのもののなか

山本 麻実 みづゑ 73

幻の「エッフェル橋」 あった ベトナム近代化遺産を調査、仏建築家設計の橋確認[ギュスターヴ・エッフェル]

伊藤 孝 日 経 9.28

アンダース・エドストローム

Y O Y O STUDIO VOICE 351

晩年のモーツァルト? 「最後の肖像画」独・美術館公開へ[ヨハン・ゲオルグ・エドリンガー]

朝日夕刊 1.7

モーツァルト最後の肖像画[ヨハン・ゲオルグ・エドリンガー]

産 経 1.8

ピクトリアリズムの現在1 鈴木理策《サント・ヴィクトワール山》(前編)[ピーター・ヘンリー・エマーソン]

清水 穰 10 + 1* 40

M・エルンスト研究 その1 エルンストのカラージュ作品の材源(源泉)とそれらの有する方法的意義 一万国博覧会関連出版物掲載の図版の利用と『エジプト誌』の感化[マックス・エルンスト]

茂木 博 東京造形大学研究 6

マックス・エルンスト作《カストルとポリュシオン》における雷雲のモチーフと自然現象のテーマ

國吉 貴奈 美術史 158

マックス・エルンスト作《風景》(S/M 612)について—アメデ・ギルマン著『磁気学と電気学』からの一考察—

" 待兼山論 39

旬発力 フェデリコ・エレロー 現代美術家 “粹”を超えるアート

猪谷 千香 産 経 11.26

絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ エド・エンバリー

伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 みづゑ 74

(オ)

一本の糸から民族衣装をつくる 在日韓国人としての私の制作

呉 夏枝 あいだ 110

ローラ・オーエンズ an interview

松井みどり 聞き手 美術手帖 864

ブリティッシュデザインは今 活躍する若手デザイナーの中から バーバー・オズガビー

中島 恭子 A X I S 113

巻頭特集 琳派力って何? 果てしなく蘇生する造形 花の本質に向かう眼差し ダニエル・オスト

アート 206

ロシアの「日本ブーム」今むかし[アンナ・オストロウモフ=レベジェフ]

沼野 恭子 百 科* 510

親子は鏡 究極2ショット 撮り続けた日本の500組、家族の関係を写し出す

ブルース・オズボーン 日 経 7.21

(カ)

米で発見 太平洋横断時の勝海舟 肖像画で鮮明に[エドワード・カーン]	網谷利一郎	毎 日	10.31
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ マリイ・カイユ	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳	み づ ゑ	74
例会発表要旨 第98回例会:19世紀後半~20世紀初頭のバリ、その芸術活動の諸相「細部」の変容:ギュスターヴ・カイユボットにおける都市の断片の表象	宮坂 奈由	日仏美術学会会報	24
奇想遺産 サグラダ・ファミリア教会 スペイン[アントニオ・ガウディ]	藤森 照信	朝 日	7.24
特集 アーキテクチャー&アート進化系 カレン・シュナイダー&ニコラス・ガグニーニ	野々村文宏	STUDIO VOICE	351
カスティリオーニ兄弟の遺したもの 第4回~第8回、最終回	多木 陽介	A X I S	113~118
アーティストの原点、机の上の小宇宙 ルーシー・カズンズ	須長 千夏	み づ ゑ	72
ルーシー・カズンズ 子どもみたいに奔放なタッチ、のびのびとした絵のひみつ	"	"	73
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ ルーシー・カズンズ	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳	"	74
巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶガゼル 他文化によるアイデンティティの揺らぎ	岡部あおみ	美術の窓	259
新しい芸術の可能性 開く カッサンドル 広告展[アドルフ・ムーロン・カッサンドル]	浅野 素女	朝日夕刊	11.21
ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ 《1》《2》[エドワード・カッツ]	高橋 透	水声通信	1、2
風景画家カッフィが愛した19世紀イタリアの夜と霧[イッポリト・カッフィ]	高橋 恵理	芸術新潮	672

【論文紹介(二〇〇三年度同志社大学大学院修士論文梗概)】
一八世紀ヴェネツィア派のヴェドゥータにおける変遷—カナレットからグアルディへ—

クリス・カニンガム「Robber Johnny」	ドミニク・チェン	美術手帖	868
平成十六年度支部例会研究発表要旨「よき羊飼ひ」としての「洗礼者ヨハネ」—ボルゲーゼ美術館収蔵のカラヴァッジョ作品《洗礼者ヨハネ》の図像解釈—	木村 太郎	美術史	158
奇想遺産 大都市軸 フランス[ダニ・カラバン]	松葉 一清	朝 日	9.25
エミール・ガレとフォン・シーボルト	山根 郁信	国立国際美術館月報	147
1900年パリ万博におけるフィンランド館についての考察—ナショナル・アイデンティティの創造—[アクセル・ガレン]	本橋 弥生	鹿島美術財団年報別冊	22
カンディンスキーと日本(2)—戦前期の受容を中心に—[ヴァシリイ・カンディンスキー]	佐藤 幸宏	Hokkaido Art Mus. Studies	2005
美学会第56回全国大会発表要旨 第一次大戦直前におけるカンディンスキーのフランス進出計画:キュビズム—ベルクソン—カンディンスキー	真野 宏子	美 学	223
芸術をめぐる言葉 144 画家は、あれこれの鍵盤をたたいて、合目的に人間の魂を震動させる、手である。……カンディンスキー	谷川 渥	美術手帖	859
博士論文概要 ヴァシリイ・カンディンスキーとキュビズム	真野 宏子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50

(キ)

アンゼラム・キープアーの宇宙	深澤 友晴	多摩美術大学大学院修士論文作品集	2005
マルティ・ギシェ ファニーフェイスの裏側に隠されたスペイン・デザインの正統と逸脱	渡部 千春	デザインの現場	144

奇想遺産 ボルト・ドーフーヌ地下鉄出入口 フランス [エクトル・ギマーレ]

松葉 一清 朝 日 8.21

40×40 Project for BT 昭和40年会の七人も侍 第拾号 連載3ーわたしも40年かい? 今日の客人=キム・ソラ

浅尾 麗 美術手帖 871

“Resonance”(レゾナンス・共鳴) ニュージャージーの5人のアジア女性アーティスト[ヒージュン・キム]

由本みどり 美術運動史研究会 ニュース 74

Est Village USA ダン・キヤメロン

河内 タカ STUDIO VOICE 351

WORLD ARTIST 1 インゴ・ギュンター

ギャラリー 246

巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真VS. 現代美術 非ペインターが生み出す魅惑の平面ーカレン・キリムニックと曾根裕一

島田 淳子 美術の窓 262

ギルランダイオ作「ヴェスブッチ礼拝堂」壁画の問題ー《死せるキリスト(Corpus Christi)》とフランドル絵画の関係についてー[ドメニコ・ギルランダイオ]

江藤 匠 東京芸術大学西洋美術史研究室紀要 6-1

(ク)

【論文紹介(二〇〇三年度同志社大学大学院修士論文梗概)】一八世紀ヴェネツィア派のヴェドゥータにおける変遷ーカナレットからグアルディへー[フランチェスコ・グアルディ]

佐々木 愛 美学芸術学 20

特集 アーキテクチャー&アート進化系 ヴィット・アコンチ@クンストハウス・グラーツ[ピーター・クック]

野々村文宏 STUDIO VOICE 351

巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶシルバ・グプタ アジアの現代美術を担うインドの可能性

南條 史生 美術の窓 259

特集2 あの人が推す、今注目のクリエイター2 ジェームス・クラール

中島 恭子 A X I S 116

巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶフロリアン・クラール 実在のデジタルイメージ

清水 敏男 美術の窓 259

PARIS発 ヌーヴォーレアリズム[イヴ・クライン]

安部 雅延 新美術新聞 1072

「グランマ・モーゼス展」フォー・アートの虹、モーゼスおばあさん。

池上ちかこ 美術手帖 859

巻頭特集 人物画にみる現代70選 Part.1 ひとはなぜひとを描くのか 点景人物画としてのグランマ[グランマ・モーゼス]

宮澤 政男 美術の窓 256

特集2 あの人が推す、今注目のクリエイター2 エル・ウルティモ・グリート

中島 恭子 A X I S 116

パリの作家たち2 ピエール・クリスタン インタビュー

アート トップ 202

冬のクリスト詣ではサフラン色の平和に満ちて[クリスト&ジャンヌ=クロード]

由本みどり 芸術新潮 664

美術記者こぼれ話 私家版「一期一会」[クリスト&ジャンヌ=クロード]

田中 三蔵 国華清話会会報 5

現在通信 from NEWYORK 世界昔話[クリスト&ジャンヌ=クロード]

富井 玲子 新美術新聞 1049

クリスト&ジャンヌ・クロード「ザ・ゲーツ セントラルパーク、ニューヨーク」1979-2005年 NY史上最高のパブリックアート

1050

クリスト&ジャンヌ=クロード『ザ・ゲート』への道のりープロジェクトの発生から完結までを追う

高石 ゆみ From web てんびょう 2004.03.05~2005.07.06

2月のセントラルパーク“梱包” 世界文化賞・クリスト夫妻が新プロジェクト

長戸 雅子 産 経 2.13

NYに「鳥居」の大河 オレンジの門7500出現[クリスト&ジャンヌ=クロード]

東京夕刊 2.12

- クリスト夫妻「ザ・ゲーツ」 サフラン色のNY 「空気を時間を感じて」 あわやのぶこ 日経夕刊 2.17
- クリストとジャンヌ・クロードの「門」、NYに 16日間 サフラン色の夢 江木 慎吾 朝 日 2.15
- 名画のなかの女性たち10 グスタフ・クリムト《ゾニヤ・クニップスの肖像》 中山 忠彦 美術の窓 257
- アルテ・プログランマータとグルッポTの造形 イタリアにおけるキネティック・アートの展開(2) 関場亜利果 芸術学研究(筑波) 9
- 絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ アラン・グレ 伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳 みづゑ 74
- ダン・グレアムの《連結する三つのキューブ／ビデオ上映スペースのためのインテリアデザイン》について—コンテキストへの介入からコンテキストの仲介へ 水沼 啓和 採 蓮* 8
- 特集 アーキテクチャー&アート進化系ダン・グレアム@カサ・デル・ファシヨ 野々村文宏 STUDIO VOICE 351
- パウル・クレール作〈金色の縁のあるミニアチュール〉(1916年)成立をめぐる一考察 後藤 文子 鹿島美術財団年報別冊 22
- パウル・クレールと舞踏—第一次世界大戦勃発までに描かれた踊る人物線描画を中心に— 野田由美意 " "
- 特集 パウル・クレールの静かな闘い 芸術新潮 672
- 石切場からはじまる
- クレールの光陰60年
- 第1章 うごきの実験室 宮下 誠、前田富士男 解説
- 第2章 なぜ文字なのか? "
- 第3章 切る貼る回す "
- ベルン紀行 熊の古都でクレール散歩 編集部
- 第4章 1933年の顔
- 第5章 仰天としみじみのあいだ "
- 第6章 天使のゆくえ "
- 収斂する言説—シュルレアリストとしてのパウル・クレール— 宮下 誠 国学院雑誌 1181
- パウル・クレール作《雅歌による文字絵「彼の口のくちづけで、彼が私にくちづけしてくれたら」》—父ハンス・クレールの『雅歌』自由訳を巡って— 野田由美意 美 学 220
- 美学会第56回全国大会発表要旨 パウル・クレールの1920年代後半の《都市画》について 松友知香子 " 223
- 第五八回全国大会研究発表要旨 美術史 159
- パウル・クレールの両面作品について 柿沼万里江
- 《肥沃な土地への眺望》と「ポリフォニー」——九三二年のクレール書簡中に見られる「絵画」と「言葉」の再検討——「パウル・クレール」 藤本 真帆
- 展覧会評 「エル・グレコ」展をめぐる(ニューヨーク、2003—04年／ロンドン、2004年) 門田 彩 美術史学 25
- 新収作品 エティエンヌ・クレマンテル《太陽を背に飛ぶコウノトリの群れ》 高橋 明也 国立西洋美術館年報 38
- 石のない宝物 オランダのコンテンポラリー・ジュエリーデザイン スザンヌ・クレム 自律と解放が生み出す絶妙なバランス 猪飼 尚司 デザインの現場 138
- 愛の旅人 仏・パリ、カレー 傑作生んだ愛の行方 カミュー・クロードとロダン 「カレーの市民」 清水 弟 朝 日 11.26
- ブリティッシュデザインは今 創業から10年、インフレイトの歩みが示唆するもの—ニック・クロスビーが語るデザインとビジネス 谷口真佐子 A X I S 113

来嶋	路子	みづゑ	73
「制約」から生まれる無限のクリエイション			
ジョーン・ゴッソー 見えざる壁『ベル リン・イン・ザ・タ イム・オブ・ザ・ウ ォール』	鈴木 行	STUDIO VOICE	353
[特集]ゴッホ—孤高 の画家の原風景 ファン・ゴッホを展 示するということ [フィンセント・ファン ・ゴッホ]	アンドレー アス・プリ ュム 保坂健二朗 訳・解説	現代の眼	550
ファン・ゴッホ家の 家計簿	関府寺 司	国立国際 美術館月 報	148
特集 ゴッホ・ガイ ドブック		美術手帖	863
夢を生きる ゴッ ホを10倍たのしむ ための25のレッス ン Part 1—「私」 は何者なのか？／ 宗教か芸術か？／ 色彩の饗宴／ユ ートピアを求めて 変奏曲Ⅰ／他者の 孤独	石井 芳征 木下 長宏 小林 英樹 白坂 英樹 保坂 健二朗 村田 真		
夢を生きる ゴッ ホを10倍たのしむ ための25のレッス ン Part 2—渦巻 く力／弟／再生？ ／移動しつづける ひと／変奏曲Ⅱ… etc.	〃		
ゴッホ光線ピッカ ピカ	しりあがり 寿		
横尾忠則が語るゴ ッホ	横尾 忠則 西野 基久 編 集 部 構成		
思想を表現する絵	木下 長宏		
Van Gogh going to Work...	丹生谷貴志		
タンポポの咲き乱 れる野	小林 英樹		
ファン・ゴッホ 孤高の画家の〈現〉 風景	関府寺 司		
ゴッホの一生1853 —1890	村田 真		
ファン・ゴッホの 《馬鈴薯を食べる 人々》とティソの《庭 園のベンチ》	宮本 久宣	和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	45
美術 ツウのひとと 100年先を行ってた ゴッホ	村田 真	朝日夕刊	4.15
話題のゴッホ自画像	黒沢 潤	産 経	7.3

ゴッホ神話を考える 聖人崇拜と罪障感	三浦 篤	東京タ刊	4.27	人生編 路上を愛 す! 私はバリのボ スター野郎 II ヒ ゲと牝牛 1949年	"		
扉 日本人のゴッホ 好きは「色彩と遠近 法」にあり	深田 実	"	5.11	人生編 路上を愛 す! IIIよろずボ スター請け負いま す 1950—60年代 サ ヴィニャック傑作 選	"		
ゴッホ名画翻弄され 60年「星月夜」返還 メド立たず 戦利品 としてドイツからロ シアへ	山盛 英司	朝 日	7.13	人生編 路上を愛 す! IVサヴィニ ャック、苦戦す 1970年代	"		
ヨーゼフ・アントン ・コッホの英雄的風 景画「シュマードリ バッハの滝」	村田 誠一	文化学年 報(同大)	54	人生編 路上を愛 す! Vシトロエ ンで大復活! 1980年代	"		
ハンス・コパー:イ ギリス現代陶芸史研 究序説として	村山 閑	現代陶芸 研究	2	紀行編 トウル ヴィル 港町はサ ヴィニャック日和	"		
絵とものづくりを愛 する人に 海の向こ うから届いた応援メ ッセージ M. B. ゴフスタイン	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳	みづゑ	74	1時間のランデブ ー	小柳 帝		
平成十六年度支部例 会研究発表要旨 危 機克服の政治学の視 点から見た聖母マリ ア—六三二年ロー マにおけるベストク 服記念行列とピエト ロ・ダ・コルトーナ 作「行列旗(ステンダ ルド)」—	新保 淳乃	美術史	158	日本の路上でこん にちは	編集部		
移動美術館の素材は ダンボールにティ ーバッグ[グレゴリー ・コルペール]		芸術新潮	665	堅固な造形 セザン ヌの影 ザオ・ウ キー展	竹田 博志	日 経	1.6
開国一五〇年 明治 かがやく 第二章 鹿鳴館の時代と自由 民権運動 明治一 年から明治二〇年ま で 殖産興業を推進 政治参加を目指す運 動も[ジョサイア・ コンドル]	梶田 明宏	太 陽	明治村記 念号	クリエーターズワ ーク&ソウル ザ・デ イヴィジョン		A X I S	115
				複製版画と批評—ジ ュリオ・サヌート 《アポロとマルシュ アス》の場合—	渡辺 晋輔	鹿島美術 財団年報 別冊	22
(サ)				絵とものづくりを愛 する人に 海の向こ うから届いた応援メ ッセージ ロバート ・サブダ	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳	みづゑ	74
1900年パリ万博にお けるフィンランド館 についての一考察— ナショナル・アイデ ンティティの創造— [エリエル・サーリ ネン]	本橋 弥生	鹿島美術 財団年報 別冊	22	[特集2]アウグスト ・ザンダー[文献再 録]ケルン芸術協会 での個展にあたって	アウグスト ・ザンダー 増田 玲 訳・解説	現代の眼	554
特集 陽気で頑固な ポスター職人 レイ モン・サヴィニャッ ク		芸術新潮	666	絵とものづくりを愛 する人に 海の向こ うから届いた応援メ ッセージ インゲル & ラッセ・サンドベ リ	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳	みづゑ	74
人生編 路上を愛 す! 私はバリのボ スター野郎 I サ ヴィニャック誕生 前夜 1925—1948 年	編集部			(シ)			
				サラ・ジー ^{テンション} 美学	難波 祐子	美術手帖	861
				発光する身体/エゴ ン・シーレの自画像	平川さつき	多摩美術 大学大学 院修了論 文作品集	2005

画家シェーンベルクの不幸と幸福[アルノルト・シェーンベルク]	小笠原正佳	芸術新潮	666	ヤン・シュヴァンクマイエル 最後のシウルレアリスト		美術手帖	872
修士論文概要 ジャン＝レオン・ジェローム作《仮面舞踏会の後で》試論―人気の所在と時代の環境―	岡里 崇	早稲田大学大学院文学研究科紀要	50	インタビュー	椿 昇 聞き手 ベルト・ホ リー 通訳		
シケイロスがカウテモックに込めたもの[ダビッド・アルファロ・シケイロス]	(hina)	アートペーパー	65	闇の消えゆく時代につける奇妙な葉ネオ・シュヴァンクマイエルの威力	椿 昇		
南仏プロヴァンスの白亜の殿堂 マルセイユ国立高等バレエ学校に見る《ムーヴモン・モデルヌ》[ロラン・シムネ]	惣田くみ子	美術史論集	5	特集 アーキテクチャー&アート進化系		STUDIO VOICE	351
主な新収蔵(購入)資料の紹介 サークスのハート[マルク・シャガール]		馬事文化財団年報	26	カレン・シュナイダー&ニコラス・ガグニーニ	野々村文宏		
第五八回全国大会研究発表要旨 マルク・シャガール《ユダヤ劇場壁画》(一九二〇)をめぐる一ハスカラ、「脱ユダヤ化」の潮流の中で―	樋上 千寿	美術史	159	グレゴール・シュナイダー	宮村 周子		
修道士たちは遊ぶよ ジャコメッリ写真の詩情[マリオ・ジャコメッリ]		芸術新潮	665	美術出版社創業100周年記念 第13回芸術評論募集入選発表 佳作 グレゴール・シュナイダー試論: 建築と有限	大森 俊克	美術手帖	868
現在通信from NEW-YORK ジャッドのアトリエ[ドナルド・ジャッド]	富井 玲子	新美術新聞	1071	アジアの街角 10:00 ウブド・俗3(インドネシア・バリ) ケチャ創作の画家[ヴァルター・シュビース]		朝 日	3.17
シャルダンの王立絵画彫刻アカデミー入会について[ジャン・パティスト・シメオン・シャルダン]	多田美穂子	東京芸術大学西洋美術史研究室紀要	6-1	スヌーピーたちと暮らした日々、チャールズ・M・シュルツ	村上 圭一	みづゑ	72
美学会第56回全国大会発表要旨 肖像画としての風俗画、あるいは風俗画としての肖像画―シャルダンにおけるジャンル横断をめぐる―	喜田早菜江	美学	223	オピニオン2005 ジュリアス・シュルマン	瀧口 範子	A X I S	115
「undirected 1992―2002」の制作過程	クリストフ・シャルル	武蔵野美術大学研究紀要	35	オスカー・シュレンマー研究 〈トリアディック・バレエ〉に見る衣装論	外山 美穂	多摩美術大学大学院修了論文作品集	2005
特集 ポストノイズ(非)作曲(または解体、廃位)と「妨害なき相互浸透」	〃	ユリイカ	504	第五八回全国大会研究発表要旨 画家であること、ダダであること―一九五〇―六〇年代のマルセル・デュシャンとジャスパー・ジョーンズの評価―	平芳 幸浩	美術史	159
塾生諸君に建築からの眺望を! [ハンス・シャロウン]	前田富士男	慶応義塾大学アート・センター年報	12	ジョアン・ジョナス		STUDIO VOICE	354
				ジョアン・ジョナス 幻の(女)を捜して	市原研太郎 聞き手	美術手帖	865
				翻訳 ジョルジョーネの《三人の哲学者》	エドガー・ウイント 著 森田 義之、 甲斐 教行 訳	五浦論叢	12

建築家・P・ジョン
ソン死去に思う
「映像」のアメリカを
象徴[フィリップ・
ジョンソン]

隈 研吾 朝日夕刊 2.1

新古典主義の異端児
が描くアマゾネスの
官能[アンヌ・ルイ
・ジロデ=トリオン
ン]

永島 章雄 芸術新潮 672

“Resonance”(レゾナ
ンス・共鳴) ニュ
ージャージーの5人
のアジア女性アーテ
ィスト[スーンナム
=キム・シンガー]

由本みどり 美術運動
史研究会
ニュース 74

(ス)

スウ・ドーホー

美術手帖 863

透過性と映り込み
の先にある風景

スウ・ドー
ホー
片岡 真実
聞き手

異文化を移動しな
がらの探求

スウ・ドー
ホー
川仁央一郎
訳

第一特集 GRAF-
FITY AS CULTURE
ENGINE!!! 拡張す
るグラフィティ ジ
ェフリー・ダイチの
目に写るNYストリ
ートアート[Swoon]

河内 タカ STUDIO
VOICE 360

ヴィンチェンツォ・
スカモッツィの建築
理論における“in-
venzione”と“dise-
gno”について

下川 勇
白井 秀和 日本建築
学会計画
系論文集 593

VOICE OF ASIA
津波が及ぼした影響
そして復興への試み
スジト・ラトナヤケ

あじびニ
ュース 20

旧松方コレクション
由来のズッカレリ
の風景画について
[フランチェスコ・
ズッカレリ]

渡辺 晋輔 国立西洋
美術館研
究紀要 9

一くくりにできない
「アジア」 「Have
We Met?」展[キ
ラン・スッピア]

前田 恭二 読売夕刊 1.27

PARIS発 ニューヨ
ークとフランス人
[アルフレッド・ス
ティーグリッツ]

安部 雅延 新美術新
聞 1044

奇想遺産 バンテオ
ンとフーコーの振り
子 フランス[ジャ
ック・ジェルマン・
スフロ]

鈴木 博之 朝 日 5.1

没後32年 スミッ
ソンの浮島がゆく[ロ
バート・スミッ
ソン]

由本みどり 芸術新潮 672

現在通信from NEW-
YORK 70年代のロ
マン[ロバート・ス
ミッソン]

富井 玲子 新美術新
聞 1065

アンドレアス・スロ
ミンスキー 畏と痕
跡のたのしみ

Anna Kiz-
ibo 芸術新潮 667

(セ)

セザンヌ論素描 —
M・メルロ=ポンテ
ィに即して—

織田 春樹 石川県立
美術館紀
要 15

ポーラ美術館のポー
ル・セザンヌ

奥村 まき 関西大学
哲学 25

「造型」のセザンヌ受
容とその思想環境

永井 隆則 京都工繊
大工芸学
部報告* 53

現在通信from NEW-
YORK 二人芝居
[ポール・セザンヌ]

富井 玲子 新美術新
聞 1063

ビクトリアリズムの
現在1 鈴木理策
《サント・ヴィクト
ワール山》(前編)[ポ
ール・セザンヌ]

清水 穰 10 + 1* 40

両義性の実存的絵画
論—前期メルロ=ポ
ンティにおける「セ
ザンヌ」の意味—

横山 奈那 東京芸術
大学美術
学部論叢 1

講演 セザンヌの
「エチュード」

ジャン=ク
ロード・レ
ーベンシュ
ティン 日仏美術
学会会報 24

第五八回全国大会研
究発表要旨 セザン
ヌの「構築的ストロ
ーク」について

林 道郎 美術史 159

セザンヌ《漁師たち
—7月のある日》
(R.237)にかんする
一考察

工藤 弘二 美術史学 25

美の美 画家の言葉
1、2 [ポール・セ
ザンヌ]

竹田 博志 日 経 1.9、16

第一特集 GRAF-
FITY AS CULTURE
ENGINE!!! 拡張す
るグラフィティ

STUDIO
VOICE 360

グラフィティに関
して知るべき20項
目 By ZEPHYR

河内 タカ

Thinking about Message of Zephyr	荏開津 広、飯田 アキオ、有太 マン、NESM、NEIM、92 談				
(ソ)					
ブリティッシュデザインの今 活躍する若手デザイナーの中から ユーン・ウォング&ベンソン・ソー	中島 恭子	A X I S	113		
ミヒヤエル・ゾーヴァーミヒヤエル・ゾーヴァーさんの不思議な世界	山本 麻実	みづゑ	73		
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ ミヒヤエル・ゾーヴァー	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子	"	74		
顔 学習障害を克服した世界的な人気画家 マッケンジー・ソーブさん	南 砂	読 売	10.3		
奇想遺産 サー・ジョン・ソーン博物館イギリス	鈴木 博之	朝 日	5.29		

(タ)					
美学会第56回全国大会発表要旨 ヘンリー・ダーガー受容をめぐって	西野 真季	美 学	223		
巻頭特集 プロが教える水彩ステップアップ講座 ヘンリー・ダーガー 世界が認めたアウトサイダー水彩画		美術の窓	265		
加・仏・英3国政府の支援で実現した「ターナー ホイッスラー モネ」展[ウィリアム・ターナー]	桜井 武	毎日夕刊	4.14		
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ アンドレ・ダーハン	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子	みづゑ	74		
特集 アーキテクチャー&アート進化系ヨナス・ダールバリ	横山いくこ	STUDIO VOICE	351		
ブリティッシュデザインの今 「大胆になること。それが成功の鍵かもしれない」 ジェームズ・ダイソンからの提言		A X I S	113		

ダウ (Arthur Wesley Dow)の京都滞在 (II)―1903(明治36)年12月5日〜12月23日まで―	岡崎 昭夫	筑波大学芸術研究報告	45		
第五八回全国大会研究発表要旨《長崎の王》を描いた版画(伝承・ジェローム・ダヴィッド作)について	木村 三郎	美術史	159		
伝統と近代―もしくは真実と事実あるいはタウトと剣持[ブルーノ・タウト]	森 仁史	一寸	21		
ブルーノ・タウト「旧・日向邸」について	松友知香子	鹿島美術財団年報別冊	22		
サルバドール・ダリ《ダリの太陽》―自画像におけるメタモルフォーゼ	村松 和明	岡崎市美術館研究紀要	1		
21世紀を読む 解体する現代への危機感ダリ100年展	石川 翠	毎 日	2.13		
イメージの領域―シュルレアリスムにおけるイヴ・タンギーの特殊性―	長尾 天	美 学	223		

(チ)					
ひと 朝日陶芸展でグランプリを受賞した 崔永熙さん	秋山 亮太	朝 日	8.23		
翻訳 チェッリーニとその時代(四)[ペンヴェヌート・チェッリーニ]	イヴァン・アルナルデイ著 松本 典昭 訳	五浦論叢	12		
Comickers Gallery Selection 陳淑芬+平凡	陳淑芬、内藤 平談	みづゑ	71		
アネット・チゾン&タラス・テイラー「バーバー・ババ」35周年、おめでとう企画	貴田奈津子	"	73		
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ アネット・チゾン&タラス・テイラー	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子	"	74		
“Resonance”(レゾナンス・共鳴) ニュージャーシーの5人のアジア女性アーティスト[ウェイ=ジェイン・チャー]	由本みどり	美術運動史研究会ニュース	74		
巻頭特集 今、石膏デッサンは必要か。韓国・石膏デッサン事情	張 淳業	美術の窓	267		

奇想遺産 ラ・ビレ
ット公園 フランス
[ベルナル・チュ
ミ]

松葉 一清 朝 日 11.27

絵とものづくりを愛
する人に 海の向こ
うから届いた応援メ
ッセージ エルヴェ
・チュレ

伊川 尚子、
阿部 律子、
内藤 文子
訳 みづゑ 74

[特集]ガンダム行き
ます! 僕がガンダ
ムに出会ったころ

マイケル・
チョン ART iT 8

台湾の女性画家、陳
進の日本統治時代の
作品の評価について

児島 薫 美術運動
史研究会
ニュース 71

日本戦時体制下の台
湾画壇—陳澄波《雨
後淡水》(1944)を例
に—

李 淑珠 鹿島美術
財団年報
別冊 22

(ツ)

現在通信from NEW-
YORK マスモカの
蔡國強

富井 玲子 新美術新
聞 1046

『金門芸術館—18の
個展』全体が蔡國
強の作品のような

原 久子 STUDIO
VOICE 349

画家たちの美術史35
蔡國強

鷹見 明彦 美術手帖 873

我らの聖地 ローカ
ル@グローバル9
要塞跡平和のアート
台湾・金門島「対
中」の最前線 大陸
からも参加、展覧会
[蔡國強]

永地 裕紀 朝 日 1.10

絵とものづくりを愛
する人に 海の向こ
うから届いた応援メ
ッセージ リスバ
ー・ツヴェルガー

伊川 尚子、
阿部 律子、
内藤 文子
訳 みづゑ 74

(テ)

ファン・ゴッホの
《馬鈴薯を食べる
人々》とティソの《庭
園のベンチ》[ジェ
ームズ・ティソ]

宮本 久宣 和歌山県
立近代美
術館ニュ
ース 45

西洋美術史見直誌
第4回、第5回 マ
エストロと徒弟たち
ティツィアーノの工
房 前編、後編

瀬木 慎一 アート
トップ 201、202

名画のなかの女性た
ち11 ティツィアー
ノ・ヴェネチエリ
オ《フローラ》

中山 忠彦 美術の窓 258

警察沙汰は数知れず
チェコの盗撮マイス
ター[ミロスラフ・
ティヒー]

鈴木 里子 芸術新潮 670

アネット・チゾン&
タラス・テイラー
「バーバー・ババ」35周
年、おめでとう企画

貴田奈津子 みづゑ 73

絵とものづくりを愛
する人に 海の向こ
うから届いた応援メ
ッセージ アネット
・チゾン&タラス・
テイラー

伊川 尚子、
阿部 律子、
内藤 文子
訳 " 74

特集 アーキテクチ
ャー&アート進化系
リクリット・ティラ
ヴァニヤ

島田 淳子 STUDIO
VOICE 351

特集 art brut 我
ら孤独な幻視者な
り! アール・ブリ
ュットの驚くべき世
界 対話篇 語りつ
くそう、アール・ブ
リュットのすべて
を!

ブルノ・デ
シャルム、
小出由紀
子、
芸術新潮 671
バーバラ・
サファロバ
鼎談

「照明とは建築にも
う1つのレイヤーを
加えること」—照明
デザイナー、エルヴ
ェ・デスコット

瀧口 範子 A X I S 113

トーマス・デマンド
フェイク写真が語る
イメージの政治学

竹内万里子 STUDIO
VOICE 354

デューラーの『測定
法教則』(6)[アル
ブレヒト・デューラ
ー]

九州産業
大学芸術
学部研究
報告 36
下村 耕史

デューラー作「玉座
に座る老人と跪く青
年」の手本素描—遍
歴時代に描かれたデ
ューラー素描の制作
プロセスについて—

東京芸術
大学美術
学部論叢 1
青山 愛香

独ステンドグラスは
デューラー作 美術
史研究者が発表
「十戒」場面鮮やか

東京夕刊 6.7

特集 謎の男マルセ
ル・デュシャン

平芳 幸浩 芸術新潮 662

第五八回全国大会研
究発表要旨 画家で
あること、ダダであ
ること—九五〇—
六〇年代のマルセル
・デュシャンとジャ
スパー・ジョーンズ
の評価—

美術史 159

マルセル・デュシャ
ンとの再会—「55ノ
ート」再会 マルセ
ル・デュシャンと20
世紀美術

美術手帖 859
いとうせい
こう

特集 アーキテクチ
ャー&アート進化系
ダン・グレアム@カ
サ・デル・ファショ
[ジュゼッペ・テラ
ーニ]

野々村文宏 STUDIO
VOICE 351

イタリア合理主義建築—フィジーニとボッリーニ、G・テラーニを中心に—

平井 直子 フィロカリア 22

(ト)

ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち19 世界一の発信基地へ 中国美術通じ日中橋渡し[鄧林]

野村 義博 日経夕刊 6.2

ドーミエの彫刻に学ぶ 七月革命の笑い方[オノレ・ドーミエ]

永島 章雄 芸術新潮 669

ドーミエ作品介绍

芹沢 貞夫 美術館だより 106

印象派絵画と時間 モネとドガの作品にみる時間表現[エドガー・ドガ]

岩崎余帆子 化粧文化 45

作品・作家解説 エドガー・ドガ《美術館にて》 芸術的世界への誘い

原田 平作 美術フォーラム21 11

美の美 画家の言葉 3、4[エドガー・ドガ]

竹田 博志 日 経 1.23、30

特集 ランドスケープ・デザインは建築を変えるか? 序論:今日のランドスケープ・デザイン 大地と建築について

マーク・トライブ 三宅 咲恵 建築雑誌 1536

平成十六年度支部例会研究発表要旨 ドラクロワの色彩に関する一考察—M・E・シュヴルールの科学的色彩論の影響を中心に—[ウジェヌ・ドラクロワ]

伊村 靖子 美術史 158

イーストとドレッサーの漆工芸感[クリストファー・ドレッサー]

藤田 啓子 富山市箕牛人記念美術館報 14

クリエーターズワーク&ソウル トロイカ

A X I S 117

例会発表要旨 第98回例会:19世紀後半〜20世紀初頭のバリ、その芸術活動の諸相 ソニア・ドローネーの服飾芸術—「ローブ・ボエム」の生成と時代的意義

朝倉 三枝 日仏美術学会会報 24

巻頭特集 NIPPON を見る目 欧米人に教えてもらう“楽しい”日本のアート 日本から得たインスピレーション

ロウラ・ドログウール、アラン・ウエスト 対談 アート トップ 202

(ナ)

ブルース・ナウマン「亡霊」と化した観客たち

飯田 高誉 美術手帖 861

巻頭特集 NIPPON を見る目 欧米人に教えてもらう“楽しい”日本のアート あなたが推す日本のアートとは? 文化とは? 農業、古民家、温泉…日本の田舎文化にハマリ中!

生談 意気 アート トップ 202

特集 ブリコラージュ アーティスト「生意気」インタビュー ワクワク!なんでもブリコラージュ!

みんなく 329

(ニ)

特集 建築と書物 建築を拓くメディア 建築写真を拡張する三人の写真家[ウォルター・ニーダーマイヤー]

福屋 粧子 10 + 1* 38

受賞記念フォーラム「巨匠オスカー・ニーマイヤーの建築を語る」

ジョゼ・カルロス・スッセキンド、横三宅 文彦、理一談 ARTの森 20

ぴーぶる 想像力は今ピーク 97歳の建築家精力的に活動[オスカー・ニーマイヤー]

和泉 聡 朝日夕刊 2.15

カバーインタビュー グエナエル・ニコラ

谷口真佐子 A X I S 115

特集 トータルフードデザイン アンリ・シャルパンティエ×グエナエル・ニコラ

杉瀬 由希 デザインの現場 141

銀座ギャラリー日記 額装は、作品の引き立て役[ベン・ニコルソン]

栗田 玲子 朝日夕刊 9.1

(ヌ)

建築望見 歴史と現代二つ屋根の下[ジャン・ヌーヴェル]

高野 清見 読売夕刊 11.5

(ネ)

第6回ヒロシマ賞にシリン・ネシャット氏

新美術新聞 1045

新美術時評 二人の女性アーティスト、その対照的なジェンダー・ポリティクス[シリ・ネシャット]	長谷川祐子	〃	1067	巻頭特集 風景画の楽しみ方 大地そのものを作品に イサム・ノグチ「モエレ沼公園」	編集部	美術の窓	264
ひと 現代美術のヒロシマ賞を受賞した映像作家 シリン・ネシャットさん	森本 俊司	朝 日	8.4	葉山美術講演会の開催 第5回 可能性としての「日本画」[イサム・ノグチ]	水沢 勉	山口蓬春記念館研究紀要	4
第一特集 GRAFFITY AS CULTURE ENGINE!!! 拡張するグラフィティ KAWS以降の注目アーティスト[Neck Face]	河内 タカ	STUDIO VOICE	360	故イサム・ノグチが挑んだ札幌「モエレ沼」公園全体が一つの芸術 17年がかりで完成あすオープン 「使える」「役に立つ」彫刻集大成	佐藤 恵子 田中 三蔵	朝 日	6.30
特集 アーキテクチャー&アート進化系 金沢21世紀美術館アンケート	エルンスト・ネット 小谷 元彦 高木 正勝 石渡 誠 笹口 数	〃	351	チャイム[イサム・ノグチ]		産 経	6.2
(ノ)				イサム・ノグチ設計 モエレ沼公園札幌市に完成		日 経	6.22
特集 ランドスケープ・デザインは建築を変えるか? ランドスケープ・デザインの視点からの歴史再評価1 モダニストのランドスケープ観 土地と建築の二分法からサイトデザインへ[リチャード・ノイトラ]	宮城 俊作	建築雑誌	1536	かたち百景 イサム・ノグチ「ブラック・スライド・マントラ」 大地と人を結ぶ彫刻	(律)	〃	7.10
リチャード・ノイトラの初期住宅作品における設計手法について 1920年代後半及び30年代の実験的工業化住宅を中心として	玉田 浩之 石田潤一郎	日本建築学会計画系論文集	587	NIPPONのカタチ デザインでよみがえる2 アートなゴミの山[イサム・ノグチ]		日経夕刊	5.19
石のない宝物 オランダのコンテンポラリー・ジュエリーデザイン テッド・ノートン デザインとアートの間をシニカルに漂う	猪飼 尚司	デザインの現場	138	巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.3 内界からの風景 エミール・ノルデと宮沢賢治		美術の窓	260
イサム・ノグチさんというガイド	坂口 登 談	ア ー ト ト ッ プ	205	(ハ)			
美術記者こぼれ話 私家版「一期一会」[イサム・ノグチ]	田中 三蔵	国華清話会会報	5	皮肉とユーモアと好奇心 マーティン・パーの風俗写真術	浦田 薫	芸術新潮	671
一九五〇年代の前衛芸術における「伝統論争」—イサム・ノグチの影響を中心に—	足立 元	東京芸術大学美術学部論叢	1	特集 写真集中毒のススめ 写真集中毒者たちによる必見本案内・海外版 マーティン・パー	伊東 豊子	STUDIO VOICE	352
イサム・ノグチ、レジャー研究の旅—広島島のプロジェクトを中心に—	小橋 祥子	美学芸術学	20	犬とチーズと家庭菜園 ニック・パークは今日も粘土とたわむれる		芸術新潮	672
				[特別メールインタビュー]マッシュ・バーニー「拘束された身体」が向かう場所	鈴木 朋幸 取材・文・構成	ART iT	8
				長谷川祐子 日々の思索 第1回 「もののあはれ」の受肉—マッシュ・バーニー『拘束のドローイング9』ができるまで	長谷川祐子	〃	9

特集 アート界最後の カリスマ!? マシュ ー・バーニーの世界	STUDIO VOICE	356	再生されつづける 未来 拘束と創造 のファンタジー	長谷川祐子		
永遠を探し続ける アーティストが自 らに捧げた祝婚歌	濱中マコト		インタビュー マ シュー・バーニー 成長から恋愛へ/ 関係性のドローイ ング	ドミニク・ チェン 聞き手・構 成		
87年に始まった 「拘束のドローイ ング」シリーズと は?	前田 愛実		《拘束のドローイ ング9》撮影ウラ 話	西野 基久		
アスリートはアー ティストである: 天空のニジンスキ ー、バーニー	長谷川祐子		内紛を調停するセ クシュアル・フィ クション	斎藤 環		
未知なる外人アー ティストの作品に 出演して	高橋 慧、 池原 恵美、 大島 宗翠、 宮田 まゆみ 談 宮村 周子 文		貫通された歴史 マシュー・バーニ ーの示す身体の 「新しさ」	大森 俊克		
マシュー・バーニ ー・インタビュー	マシュー・ バーニー 談 前田 愛実 文		山口小夜子×藤田 博史 この世には 完全なものも自由 もないから美しい	天川 洋子 構成		
展覧会2週間前、 金沢にて	佐野 誠 談		マシュー・バーニ ーがブラジルで制 作した新作	天川 洋子		
クルー・メンバー ・アンケート	ビーター・ ストリート マン、 ゲイブ・パ ルタロス、 マシュー・ ワーリン、 マット・ラ イル 談		滝本誠×小谷元彦 ×ヴィヴィアン佐 藤 マシュー・バ ーニーに関する 「上」と「下」の謎	白坂 ゆり 構成		
カーニバルが結ん だ灼熱の映像とサ ウンド「デ・ラマ ・ラミーナ」ア ート・リンゼイ・ インタビュー	アート・リ ンゼイ 談 伊東 豊子 文		絵本のつくりかたも っと知りたい2 パ ーニンガムの静かな 情熱[ジョン・パー ニンガム]	山本 麻実 みづゑ	70	
異彩を放つファッ ション〜クレマス ターからビョーク へ	矢田明美子		絵とものづくりを愛 する人に 海の向こ うから届いた応援メ ッセージ			74
ビョーク:創造性 の交歓	児島やよい		ジョン・バーニン ガム	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳		
ビョーク:快樂主 義から遠く離れて	三田 格		スーザン・パーレ イ	〃		
『クレマスター・ サイクル』概説	奥村 雄樹		惜別 画家 ロバー ト・ハインデルさん 世界が愛した現代の ドガ	荒 香帆里	朝日夕刊	8.29
Who is MB? by the young artists	クリス・ル ビノ 佐藤 姿子 金氏 徹平 名和 晃平		静物	ミロスワフ ・パウカ	国立国際 美術館月 報	149
特集 新しい伝説の 聲立 マシュー・バ ーニー「拘束のドロー イング」	美術手帖	868	ジョヴァンニ・モレ ッリ『イタリア絵画 論—ローマのボルゲ ーゼ美術館とドーリ アニバンフィーリ美 術館』翻訳(4)—パ キアッカ、ビントウ リッキオ、フィリッ ピーノ・リッピ、ピ エロ・ディ・コジモ	上田 恒夫	金沢美術 工芸大学 紀要	49

絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ アンジェラ・バレット

伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳 みづゑ 74

特集 アーキテクチャー&アート進化系 ザハ・ハディドのシンシナティ現代美術館

平塚 桂 STUDIO VOICE 351

特集 ミンモ・パラディーノ(PINOCCHIO) 21世紀のピノッキオを描く

ミンモ・パラディーノ Mariko・Capelli・Goto 版画芸術 128
翻訳 秋田 構成

バルケンホールと現代[シュテファン・バルケンホール]

市原研太郎 国立国際美術館月報 147

《赤いワンピースの女、空間のレリーフ》2004 シュテファン・バルケンホール(1957～)

中西 博之 " "

特集 ドイツの現代美術 シュテファン・バルケンホール マテリアルとの対話

安藤由佳子 美術手帖 872

巻頭特集 人気作家101人の年賀状「戌」ハイブリッド彫刻の可能性—シュテファン・バルケンホール木の彫刻とレリーフ

飯田志保子 " 266

世界文化賞受賞 バルテュス氏の夫人、節子さん 平和のための芸術家 ユネスコから任命

山口 昌子 産 経 1.9

巻頭特集 不思議の国 ドイツの美術 Part.1 舟越桂とエルンスト・バルラッハ 時と場所を超え、たましいを見つめる二人の彫刻家

美術の窓 260

絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ アンジェラ・バレット

伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳 みづゑ 74

絵本のつくりかたもっと知りたい1 リサとガスパールのいる風景[ゲオルグ・ハレンスレーベン]

来嶋 路子 " 70

アン・グッドマン&ゲオルグ・ハレンスレーベン 旅で見た風景

安部 律子 麻実 " 73

NY“美の權威”に無断で展示[バンクシー]

江木 慎吾 朝 日 3.31

ツウのひと声 美術「ゲリラ展示」の痛快さ[バンクシー]

村田 真 朝日夕刊 6.3

古代人のお買い物…ニセモノでした。いたずら芸術家、大英博物館に[バンクシー]

岡安 大助 東京夕刊 5.21

絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ イシュトバン・バンニヤイ

伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳 みづゑ 74

(ヒ)

特集 写真集中毒のススめ 伝説の写真集をひもとく／見る者の視点 1995年スクール〜ピアノンとプリンス[ジャック・ピアノン]

鈴木 行 STUDIO VOICE 352

美術 一くくりにできない「アジア」[Have We Met?]展[シギット・ピウス]

前田 恭二 読売夕刊 1.27

絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ エマニュエル・ビエール

伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳 みづゑ 74

ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア=パンフィーリ美術館』翻訳(4)—バキアッカ、ピントウリッキオ、フィリッピン・リッピ、ビエロ・ディ・コジモ

上田 恒夫 金沢美術工芸大学紀要 49

第五八回全国大会研究発表要旨 ビエロ・デッラ・フランチェスカ作《キリストの復活》再考—制作年と意味をめぐって—

林 克彦 美術史 159

豊穣なる沈黙の画家—비에로・데라・프란체스카

石鍋 真澄 百 科* 511

美の美 비에로・데라・프란체스카 1~4

中野 稔 日 経 12.4、11、18、25

PARIS発

安部 雅延 新美術新聞

ピカソとペーコン

1053

南仏アルルのピカソ

1063

大いなる遊び—ピカソの陶器

田口 知洋 陶 説 627

瀬栄陶器で複製されたピカソの絵皿	鶴 勲 陶 説	628	ビュレン台風がグッゲンハイムに上陸 [ダニエル・ビュラン]	由本みどり 芸術新潮	666
平成十六年度支部例会研究発表要旨 パブロ・ピカソ《アヴィニヨンの娘たち》の図像分析—隠された古代神話—	孝岡 睦子 美術史	158	現在通信from NEW-YORK ダニエル・ビュラン	富井 玲子 新美術新聞	1060
パブロ・ピカソとプリミティヴィズム	〃 美術史論集	5	語る 美術家 ダニエル・ビュラン 風景を異化する縦じま	日 経	9.24
論文要旨《修士》パブロ・ピカソ《アヴィニヨンの娘たち》の図像分析—隠された古代神話—	〃 〃	〃	ピラネージ作《サンティ・ジョヴァンニ・エ・パオロ聖堂のクラウドイウス神殿遺構》第2版の制作年代および改版の意図について[ジョヴァンニ・パッティスタ・ピラネージ]	新田 建史 アマリリス	76
差し押さえピカソ2000万 中国人の夫妻落札	朝日夕刊	6.1	美学会第56回全国大会発表要旨 インスタクリプションとメタ・イメージ：ピラネージにおける石碑と銘文	小澤 京子 美 学	223
銀座ギャラリー日記 ピカソの版画との出会い	栗田 玲子 〃	10.6	Comickers Gallery Selection 陳淑芬+平凡	陳 淑芬、凡 平談	71
差し押さえピカソ県庁で競売	産 経	5.13	ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア・パニンフィーリ美術館』翻訳(4)—バキアッカ、ピントウリッキオ、フィリッビーノ・リッピ、ピエロ・ディ・コジモ[ベルナルディーノ・ピントウリッキオ]	上田 恒夫 金沢美術工芸大学紀要	49
差し押さえのピカソ2000万円 中国人落札	〃	6.2			
ピカソ愛人のデッサン落札	東京夕刊	6.28			
ピカソ作品格安?競売	〃	10.26			
ピカソの皿に手が届く!? 英で陶芸品競売	日経夕刊	10.26			
ピカソのデッサン27点2億円	毎日夕刊	6.28			
現在通信from NEW-YORK 二人芝居[カミーユ・ピサロ]	富井 玲子 新美術新聞	1063			
第五八回全国大会研究発表要旨 カミーユ・ピサロの「モデルニテ」と「プリミティブ」——八八〇年代の二枚の《リンゴ探り》をめぐる一考察—	石谷 治寛 美術史	159			
美術「Have We Met?—見知らぬ君へ」展 初々しい美術家との出会い[ウィット・ビムカンチャナボン]	山盛 英司 朝日夕刊	1.20	銀座ギャラリー日記 アーティストは変化する[アレコス・ファシアノス]	栗田 玲子 朝日夕刊	5.12
オーガスタス・ウェルビー・ノースモア・ピュージンのゴシック・リヴァイヴァルにおけるイングラント・カトリシズムの信仰と異教的建築批判	近藤 存志 建築史学	44	絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ サラ・ファネリ	伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 訳	みづゑ 74
			クリエーターズワーク&ソウル 方振寧	A X I S	115
			アルド・ファン・アイクの建築思想における「対現象」の概念について—ドゴン集落に関する論考を通して	朽木 順綱 日本建築学会計画系論文集	596

(フ)

- 石のない宝物 オランダのコンテンボラー・ジュエリーデザイン フェリカ・ファン・デル・リースト モノづくりの楽しみを直感的に伝える 猪飼 尚司 デザインの現場 138
- イタリア合理主義建築—フィジーニとボッリ—ニ、G・テラーニを中心に—[レイジ・フィジーニ] 平井 直子 フィロカリア 22
- 絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ マーカス・フィスター 伊川 尚子、阿部 律子、内藤 文子 みづゑ 74
- 巻頭特集 NIPPONを見る目 欧米人に教えてもらおう“楽しい”日本のアート あなたが推す日本のアートとは? 文化とは? インスピレーションが必要な時に読み返す『AKIRA』 セス・フィッシャー アートトップ 202
- J. B. フィッシャー・フォン・エルラッハの空間構成の研究—「庭園ハウス案」における集中式モチーフの平面構成分析—[ヨハン・ベルンハルト・フィッシャー・フォン・エルラッハ] 中村 恵三 日本建築学会計画系論文集 598
- 異端を貫いた芸術家 レオノール・フィニ 荒川由紀子 アートトップ 204
- フーケ作《運命と美德の論争》[ジャン・フーケ] 篠原田鶴子 群馬県立女子大学紀要 26
- ブーシェのシノワズリー—ルイ王朝とボーヴェー・タピスリー—[フランソワ・ブーシェ] 田中 英道 美術史学 25
- PARIS発 ヌーヴォーレアリズム[アルマン・フェルナンデ] 安部 雅延 新美術新聞 1072
- 都美術館でフェルメール作《絵画芸術》を見る[ヨハネス・フェルメール] 北澤 洋子 美史研ジャーナル 2
- 名画のなかの女性たち12 フェルメール《真珠の耳飾りの少女》 中山 忠彦 美術の窓 259
- ネオ・エチカ 新しいレンズを求めて1 フェルメールとスピノザ 近代照らした汎神論の光 田中 三蔵 朝日夕刊 1.4
- 拝啓こんな日々です 第27話 こだわりの巡礼1 フェルメールの絵に恋して 日経夕刊 9.7
- 建築 愛知万博・スペイン館 微妙な差異の反復[FOA] 五十嵐太郎 毎日夕刊 7.26
- 特集 情報化時代の建築設計のあり方 建築設計のIT化に関する問題点や利点の具体例7 コンピュータを応用した建築デザインとデザインプロセスの変遷—創造する機械たち[ノーマン・フォスター] 松永 直美 建築雑誌 1538
- クリエイターズワーク&ソウル ジョゼフ・フォラキス A X I S 114
- ブッサン作《詩人の靈感》—図像解釈の試み—[ニコラ・ブッサン] 清瀬みさを 文化学年報(同大) 54
- 高山旭先生寄贈のブノワ作品について[ワルワラ・ブノワ] 五十殿利治 早大會津八一記念博紀要 6
- 名画のなかの女性たち17 フラ・アンジェリコ《受胎告知》 中山 忠彦 美術の窓 264
- 特集 アーキテクチャー&アート進化系 セドリック・プライス 伊東 豊子 STUDIO VOICE 351
- パリの作家たち4 アンドレ・ブラジリエ インタビュー アートトップ 204
- Topics Special Interview プラッサイーボンピドゥーセンター・コレクション展 東京都写真美術館ニュース 47
- ローマ・フィオレンティーニ地区におけるジューリア通りの建築と発展[ドナート・ブラマンテ] 佐々木 学 日本建築学会計画系論文集 594
- アーティスト・イン・レジデンス 移動と交流の場から生まれるもの[アリシア・フラミス] 帆足 亜紀 遠近 7
- 特集 写真集中毒のススメ 伝説の写真集をひもとく／見る者の視点 ロバート・フランク 日高 優 STUDIO VOICE 352

巻頭特集 NIPPON
を見る目 欧米人に
教えてもらう“楽しい”日本のアート
あなたが推す日本の
アートとは?文化と
は? アーティスト
を魅了するシンプル
さ

フランシス アート
真悟 談 トップ 202

ふくろうのまなざし
—C. D. フリード
リヒのふくろう解釈
をめぐる考察—[カ
スパル・ダーフィッ
ト・フリードリヒ]

杉山あかね 東京芸術
大学西洋
美術史研
究室紀要 6-1

カスパル・ダヴィッ
ド・フリードリヒ
《人生の諸階段》の作
品解釈

落合 桃子 早稲田大
学大学院
文学研究
科紀要 50

ブリュッセル初期風
景素描に関する一考
察[ビーテル・ブリ
ュッセル]

廣川 暁生 お茶の水
女子大学
人文科学
研究 1

私の空想美術館17
ブリュッセル『パ
ベルの塔』

栗津 則雄 美術の窓 261

技能館の建築造形
—1925年パリ現代装
飾美術・工芸美術国
際博覧会の展示館に
関する考察 その3
—[シャルル・ブリ
ュッセル]

三田村哲哉 日本建築
学会計画
系論文集 596

特集 写真集中毒の
スズメ 伝説の写真
集をひもとく/見る
者の視点 1995年ス
クール〜ピアソンと
プリンス[リチャー
ド・プリンス]

鈴木 行 STUDIO
VOICE 352

特集 実験住宅 ジ
ャン・ブルーヴェの
工場製・組立住宅に
おける実験的試み

山名 善之 10 + 1 * 41

おたんじょうびおめ
でとうミッフィー
祝50年、ディック・
ブルーナさんへのお
くりもの

G o m a
ひびのこづ
え みづゑ 70
ランドスケ
ーププロダ
クツ
セキユリヲ

ディック・ブルーナ
さんの絵本のつくり
かた Vol. 1〜Vol. 3

来嶋 路子 " 72〜74

ひと うさぎの絵本
をかいて50年 ディ
ック・ブルーナさん

森本 俊司 朝 日 3.20

ウィリアム・ブレイ
クの『無垢と経験の
歌』

小谷 真弓 フィロカ
リア 22

巻頭特集 NIPPON
を見る目 欧米人に
教えてもらう“楽しい”日本のアート
あなたが推す日本の
アートとは?文化と
は? 室内で自然を
感じる和の建築

リチャード アート
・フレイビ トップ 202
ン

特集 アーキテク
チャー&アート進化系
ベトラ・プレーゼ・
インタビュー

槻橋 修 STUDIO
VOICE 351

シャルル・フレジェ
未来のポートレート
写真と物語と途上の
人々

竹内万里子 " 350

レオン・フレデリッ
ク「チョーク売り」に
ついて

高瀬 晴之 姫路市立
美術館だ
より 88

7億7000万円のヌー
ド スーパーモデル
のモスさんをフロイ
トの孫ルシアンさん
描く[ルシアン・フ
ロイド]

東京夕刊 2.10

翻訳 ボントルモ
からブロンツィーノ
まで

カルロ・デ
ル・ブラー
ヴォ 著 五浦論叢 12
甲斐 教行
訳・註解

偽装するごみ焼却場
[フリーデンスライ
ヒ・フンデルトヴァ
ッサー]

五十嵐太郎 みんなく 330

平成十六年度支部例
会研究発表要旨 エ
ルトマン・フンメル
再考—新たなカタロ
グ・レゾネに向けて
の試み—

尾関 幸 美術史 158

フンメル作《カニ
ディアとサガナ魔法
》に関する一考察

" 美術史論
叢 21

(へ)

PARIS発 ビカソと
ペーコン[フランシ
ス・ペイコン]

安部 雅延 新美術新
聞 1053

フランシス・ペイ
コンの準備資料に
関する考察

斎数賢一郎 多摩美術
大学大学
院修了論
文作品集 2005

ルドヴィッヒ・ペー
メルマンズ マドレ
ーヌに学ぶ絵本のつ
くりかた

山本 麻実 みづゑ 73

聖母の子宮—ベッ
カフミ作《三位一体
と聖者たち》をめぐ
る試論[ドメニコ・
ベッカフミ]

松原 知生 武蔵野美
術大学研
究紀要 35

マックス・ベックマン《アルゴー号の乗組員たち》試論—作品成立過程と中央人物グループの構図について—	浅野 泰子	東京芸術大学西洋美術史研究室紀要	6-1	カエルのカーミット物語	〃		
クリエイターズワーク&ソウル ガブリエル・ペッツィーニ		A X I S	113	「世界一長いストリート」を歩きながら	〃		
ベラスケス研究—慰めの人々の肖像画について—	柄沢裕美子	哲学会誌	29	ジム・ヘンソン・カンパニーの現在	金子 義則		
特集 アーキテクチャー&アート進化系ヘルツォーク&ドムローン 建築とは建築である	藤村 龍至	STUDIO VOICE	351	「ダーククリスタル」とアメリカンファンタジーの系譜	中山 珊瑚		
特集 人形愛		ユリイカ	506	Review 5 ジム・ヘンソンの映像作品レビュー	間庭 典子 金子 義則		
ベルメールの新世紀[ハンス・ベルメール]	榊山 裕子			(ホ)			
《瞬間の永遠》を人形と共に生きる	恋 月 姫 金原ひとみ			生成するマラルメ21、23[ジェイムズ・アボット・マクニール・ホイッスラー]	粕倉 康夫	ユリイカ	506、508
表象の心臓 人形と文字	田中 純			巻頭特集 人気作家101人の年賀状「戌」犬をつくる作家たち3 ディーン・ボーエン 愛すべきミュージシャンたち	宮脇 豊	美術の窓	266
奇想遺産 ル・ランシエのノートル・ダム教会 フランス[オーギュスト・ペレ]	隈 研吾 朝 日		12.18	静物画家、リュバン・ボージャン	栗山 守正	文化学年報(同大)	54
オールドナンスとデイスボジションについてのクロード・ペローの解釈—ウィトルウィウス『建築十書』註解にみる構成への見解—	笠原 英明	日本建築学会計画系論文集	591	エリオット・ポーターとアメリカン・ネイチャー・フォトローからポーターへ	飯沢耕太郎	STUDIO VOICE	350
絵とものづくりを愛する人に 海の向こうから届いた応援メッセージ マレーク・ペロニカ	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳	みづゑ	74	新連載 ボクのきまぐれピクニック01 ウィンスロー・ホーマーに魅せられた午後	山本 育男	ドーム	79
NIPPONのカタチ デザインでよみがえる6 我が家はノーボーダー[カール・ベックス]		日経夕刊	5.27	『ホーガース銅版画の詳細な解説』に見られるリヒテンベルクの機知とユーモアについて：ジャン・パウルとフロイトの機知論を手がかりに[ウィリアム・ホガース]	宮内 伸子	富山大学人文学部紀要	43
特集 Jim Henson ; The Prodigy of Imagination		STUDIO VOICE	358	芸術をめぐる言葉 151 ホーガース、滑稽の埋葬!私はむしろ、埋葬における滑稽だと言いたい。……ボードレール	谷川 渥	美術手帖	868
ジム・ヘンソンの伝説	金子 義則			一日の四風景[ウィリアム・ホガース]	ゲオルク・C・リヒテンベルク 佐々木 滋 訳	明星大学研究紀要	13
ジムが生きた、TVカルチャー黎明期	〃						
ジム関連作品の相関図	芦野 紀子						
マペット誕生	町田 雪						

W・ホッジズによる 建築の起源としての 洞窟視 W・ホッジ ズの「ヒンドゥー ムア、ゴシック、建 築の原型にかんする 論文」について	高松 由子 土居 義岳	日本建築 学会計画 系論文集	591	第五八回全国大会研 究発表要旨「アト リエ17」におけるボ ロックの銅版画作品 をめぐって—新たな 平面の成立へ—[ジ ャクソン・ボロッ ク]	岸 みづき	美術史	159
クリエイターズワー ク&ソウル ボッシ ュ&フィヨルド		A X I S	116	国際展に再考迫る試 み—ベネチアで見た ボロック展	高島 直之	毎日夕刊	12.14
アブラハム・ボッス の透視図法と絵画	井村 俊一	金沢美術 工芸大学 紀要	49	翻訳 ポントルモか らブロンツィーノま で	カルロ・デ ル・プラ ヴォ 著 甲斐 教行 訳・註解	五浦論叢	12
私の空想美術館18 ボス『(快楽の園)の 祭壇画』[ヒエロニム ス・ボッス]	栗津 則雄	美術の窓	262	コミック教養講座 everybody every- thing ウィスット ・ボンニミット[著]	吉田 豪 朝 日		4.3
巻頭特集 NIPPON を見る目 欧米人に 教えてもらう“楽し い”日本のアート あなたが推す日本の アートとは?文化と は? 根に昔の流れ を持つのが日本文化 の豊かさ	ニコル・ボ ッテ 談	ア ー ト ト ッ プ	202	(マ)			
パリの作家たち1 ニコル・ボッテ イ ンタビュー		" "	" "	描く自由求めて 池 袋に拠点14年 中国 生まれの水墨画家・ 馬驍さん		"	2.16
ボッティチェッリの 『神曲』素描とフィレ ンツェ人文主義	石澤 靖典	美術史学	25	マーグと巨匠たちが 開いたすばらしき版 画の世界[エメ・マ ーグ]	永島 章雄	芸術新潮	671
名画のなかの女性た ち14 ボッティチェ ッリ『プリマヴェー ラ』	中山 忠彦	美術の窓	261	カバリーインタビュー エンツォ・マーリ	上條 昌宏	A X I S	114
イタリア合理主義建 築—フィジーニとボ ッリーニ、G・テラ ーニを中心に—[ジ ーノ・ボッリーニ]	平井 直子	フィロカ リア	22	みづゑ100年記念 デザイナーが選ぶ 100年後に残したい 職人の技 エンツォ ・マーリ	藤田 容子	みづゑ	74
Close-up29 チェ ッコ・ボナノッテ 人間の精神を自由に する為の芸術		ギャラリ ー	239	ホモ・テクニクス、 ホモ・ナトゥーラ 《2》 マイブリッ ジ、押井、そしてカ ッツ[エドワード ・マイブリッジ]	高橋 透	水声通信	2
特集 ドイツの現代 美術 ジグマー・ボ ルケ 揺らぐ意識・ 変容のレイヤー	清水 穰 聞き手	美術手帖	872	現代におけるステレ オタイプとしての空 —ルネ・マグリット の青い空白い雲とい 日本広告業界における その普及—	藤井智佳子	芸術学学 報	12
語る 画家 ジグマ ー・ボルケ 色とは 生きていること		日 経	10.22	光の食卓、マッチョ な悪魔 帝政ロシア 末期の芸術[アレク セイ・マズーリン]	永島 章雄	芸術新潮	672
クリスチャン・ホル スタッド 美とおぞ ましさのポリティク ス	クリスチャ ン・ホルス タッド 市原研太郎 取材・文	美術手帖	859	デビッド・マッキー にじ色の楽園を描く アーティスト	来嶋 路子	みづゑ	73
身体を越えて描く レベッカ・ホルンの 宇宙	Anna Kizibo	芸術新潮	669	特集 写真集中毒の ススめ 写真集中毒 者たちによる必見本 案内・海外版 ライ アン・マッギンレー	河内 タカ	STUDIO VOICE	352

視点 ノエル・マッ
ケンナ展を開催する
にあたって 山木 武夫 美術の窓 263

1930年代イタリアの
鉄道デザイン研究
A. マッツォーニの
駅舎建築と鉄道車両
を事例として 臼井敬太郎 芸術学研
究(筑波) 9

マティスの布、初公
開 文様と絵画の関
係は? [アンリ・マ
ティス] 芸術新潮 665

アンリ・マチス『ジ
ャズ』—原画制作年
をめぐる考察— 大久保恭子 美 学 220

名画のなかの女性た
ち20 アンリ・マテ
イス《赤いキュロッ
トのオダリスク》 中山 忠彦 美術の窓 267

マティスからモロー
ヘーデッサンと色彩
の永遠の葛藤、そし
てサオシュヤントは
来ない 石崎 勝基 三重県立
美術館研
究論集 4

マティス布地への特
別な思い 森 光世 読売夕刊 7.22

特 集 1 BankART
Life 作家+作品紹
介 [mtrism surface
design] Bank-
ART Life 創刊号

『失われた時を求め
て』におけるマネの
《オランピア》[エド
ゥアール・マネ] 真屋 和子 慶応義塾
大学日吉
紀要 40

論文 ゾラ『パリの
胃袋』とマネの静物
画—近代芸術におけ
る物質主義と商品性 吉田 典子 日仏美術
学会会報 24

生成するマラルメ18
息子、父、母[エド
ゥアール・マネ] 柏倉 康夫 ユリイカ 503

わが内なるイタリア
—ハンス・フォン・
マレーの「イタリア
憧憬」の図について— 高阪 一治 文化学年
報(同大) 54

Close-up40 ジー
ン・マン 子どもの
ような純粋な絵画 ギャラリ
ー 248

「私は謎だ。」 I am
enigma. [マン・レ
イ] 友井 伸一 徳島県立
近代美術
館ニュー
ス 52

(ミ)

特集 ランドスケ
ープ・デザインは建築
を変えるか? ラン
ドスケープ・デザイ
ンの視点からの歴史
再評価1 モダニス
トのランドスケープ
観 土地と建築の二
分法からサイトデザ
インへ[ルース・ヴィ
ヒ・ミース・ファン
・デル・ローエ] 宮城 俊作 建築雑誌 1536

バルセロナ・パヴィ
リオンの平面にみら
れるグリッドシステ
ムについて[ルード
ヴィヒ・ミース・フ
アン・デル・ロー
エ] 高砂 正弘 日本建築
学会計画
系論文集 592

サン・ビエトロ大聖
堂再建事業における
ミケランジェロの計
画案 その1[ミケ
ランジェロ・ブオナ
ローティ] 塩井かおり 〃 598

私の空想美術館20
ミケランジェロ『ピ
エタ』 栗津 則雄 美術の窓 264

ミケランジェロの
『フィレンツェのピ
エタ』破壊の原因に
ついて 嶋谷 昭彦 文化学年
報(同大) 54

狩野芳崖とミケラン
ジェロ 井土 誠 潮 流 83

絵とものづくりを愛
する人に 海の向こ
うから届いた応援メ
ッセージ サラ・ミ
ッダ 伊川 尚子、
阿部 律子、
内藤 文子 み づ ゑ 74

ジョアン・ミッチェ
ルの《湖》の色彩、構
図のモダニズム的特
質 川谷 承子 アマリリ
ス 77

クリエイターズワー
ク&ソウル ルーク
・ミドルトン A X I S 116

サンダーソン・ミラ
ーによる人工廃虚建
築 18世紀イギリス
における廃虚崇拜に
関する研究 豊口真衣子 日本建築
学会計画
系論文集 594

「食」のアーティス
ト、アントニ・ミラ
ルダ来日 アートと
食文化の美術館
「フードカルチャー
ミュージアム」 小倉 正史 美術手帖 862

美学会第56回全国大会発表要旨 オリジナリティと複製—ジョン・エヴェレット・ミレイとペアーズ石鹸社の広告—

金光 陽子 美学 223

名画のなかの女性たち13 ジョン・エヴァレット・ミレイ《オフフェアリア》

中山 忠彦 美術の窓 260

“I Will for Peace”
ヨンスン・ミンの「反戦」 パフォーマンス・アート

レベッカ・ジェニスン 美術運動史研究会 ニュース 73

(ム)

ムーア作の彫刻クレインで盗む 英の公園 時価6億円余 [ヘンリー・ムーア]

東京 12.18

後期レジデンス・プログラム終了 福岡での滞在がもたらしたものは…? ムン・キョンウオン

あじびニュース 19

新連載 黒崎彰の続・版画史解剖20世紀編1 画家にして版画家、エドワルト・ムンク—20世紀の新しい版画表現

黒崎 彰 版画芸術 127

今度は水彩画と石版画 ムンクの作品また盗難

朝日 3.8

ムンク絵画強奪 初の逮捕 ノルウェー

朝日夕刊 4.9

ムンク「驚き」の隠し絵 独美術館で発見

東京夕刊 6.4

(メ)

奇想遺産 アインシュタイン塔 ドイツ [エーリヒ・メンデルスゾーン]

鈴木 博之 朝日 4.3

(モ)

旧モーガン邸特集 [ジェイ・ヒル・モーガン]

菅 孝能 日本ナショナルトラスト報 428

横浜山手聖公会焼ける [ジェイ・ヒル・モーガン]

朝日 1.5

モーガン和風な人生設計 旧丸ビル建設などに携わった米建築家の謎を追う

水沼 淑子 日経 2.9

AT 204 Remarkable MOVIE 生きた愛した描いた…「モディリアーニ 真実の愛」[アメデオ・モディリアーニ]

殿島 三紀 アートトップ 204

モネ《カピュシーヌ大通り》—「現在」を描く/描くことの「現在」

六人部昭典 大手前大学人文科学部論集 5

印象派絵画と時間 モネとドガの作品にみる時間表現

岩崎余帆子 化粧文化 45

例会発表要旨 第96回例会：ゾラと印象主義絵画 モネ《カピュシーヌ大通り》：描くことの「現在」

六人部昭典 日仏美術学会会報 24

「モネの庭園」花ざかり 花博跡地や村おこし 各地で“増殖”

日経夕刊 4.7

カレント・エッセー 透視点 夏のルーアン大聖堂に寄せて ポストモダンの先駆者モネ

中条 省平 毎日夕刊 9.7

中間評価論文梗概 モホイ=ナジの「光の造形」概念 [ラスロー・モホリ=ナギ]

徐 希妊 芸術学研究(筑波) 9

特集 モランディのまなざし

芸術新潮 665

作品をめぐる四つの事柄 1 演技する場たち [ジョルジオ・モランディ]

岡田 温司

作品をめぐる四つの事柄 2 忘れた過去

〃

モランディ折々の言葉

人生をめぐる四つの事柄 1 「ほつといてくれ」

〃

人生をめぐる四つの事柄 2 聖なるアトリエ

〃

人生をめぐる四つの事柄 3 友人

〃

人生をめぐる四つの事柄 4 レンブラントが好き

〃

作品をめぐる四つの事柄 3 風景が溶けだす時

〃

作品をめぐる四つの事柄 4 なぜ反復するのか?

〃

ボローニャ紀行 雪とアトリエとロマネスク

編集部

本棚から歌い出す タルウイン・モリスの装幀美

〃 667

ミニマリズムの彫刻とダンスと映画：ロバート・モリスとイヴォンヌ・レイナー	久郷雄一朗	美史研ジャーナル	2
生成するマラルメ25ある主題による変奏曲[ペルト・モリゾ]	柏倉 康夫	ユリイカ	511
ギュスターヴ・モロー作《オルフェウス》—新しい神話画の試み—	田中 麻野	美術史	159
マティスからモローへ—デッサンと色彩の永遠の葛藤、そしてサオシシュヤントは来ない	石崎 勝基	三重県立美術館研究論集	4
銀座ギャラリー日記 戦争の記憶と温かい風景[ヤン・モンティン]	栗田 玲子	朝日夕刊	9.29

(ヤ)

製造の現場、アジアに移住したデザイナー プロダクトデザイナー マイケル・ヤング	渡部 千春	デザインの現場	138
---	-------	---------	-----

(ヨ)

巻頭特集 時代を変えるアーティスト 評論家・キュレーター・美術記者が選ぶ 楊雅淳 「にじ色」からうまれた、現代を語る絵画	名古屋 覚	美術の窓	259
--	-------	------	-----

(ラ)

世界各国におけるサステナブル・ビルディングの動向	ニールス・ラールソン 横尾 昇剛 翻訳	建築雑誌	1532
知識ベースを用いた住宅の設計手法—その2—フランク・ロイド・ライト設計による十字形プランを持つ住宅平面の再構成—	川窪 広明	大手前大学社会文化学部論集	5
特集 ランドスケープ・デザインは建築を変えるか?		建築雑誌	1536

ランドスケープ・デザインの視点からの歴史再評価1 モダニストのランドスケープ観 土地と建築の二分法からサイトデザインへ[フランク・ロイド・ライト]	宮城 俊作		
---	-------	--	--

建築・都市空間とランドスケープ・デザイン6 ランドスケープ・デザインと環境デザインの未来[フランク・ロイド・ライト]	大野 秀敏		
建築史学会二〇〇五年度大会 研究発表会報告 フランク・ロイド・ライトのユニティ教会と東照宮	谷川 正己 足立 裕司	建築史学	45
フランク・ロイド・ライトの落水荘へ写真家・上田義彦が語る森と建築		STUDIO VOICE	350
奇想遺産 ジョンソンワックス本社ビル アメリカ[フランク・ロイド・ライト]	隈 研吾	朝 日	9.18
アルヌルフ・ライナーのアー・プリュット魂	浦田 薫	芸術新潮	670
ひと 原爆がテーマの作品展を日本で初開催するオーストリア人画家 アーヌルフ・ライナーさん	能登 智彦	朝 日	8.5
WORLD ARTIST 3 ロバート・ライマン		ギャラリー*	248
第17回高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決定 彫刻部門に三宅一生氏、建築部門に谷口吉生氏が受賞[ロバート・ライマン]		新美術新聞	1072
高松宮殿下記念世界文化賞 受賞者の横顔 絵画部門 ロバート・ライマン		産 経	10.18
高松宮殿下記念世界文化賞 絵画部門ロバート・ライマン氏外に向かう「白の美」	酒井 潤	〃	10.25
ロバート・ラウシェンバークの《ゴールド・スタンダード》—現代美術のグローバル化に関する一試論—	池上 裕子	美術史	158
ジャン＝フランソワ・ラギオニ短篇集	(川)	毎日夕刊	7.1
今月のほれぼれ 眺める少女の眺め ロレッタ・ラックス《窓辺にて》[ロレッタ・ラックス]		芸術新潮	672
ロレッタ・ラックス「時」の訪れを待つ瞳	竹内万里子	STUDIO VOICE	355

LORETTA LUX ロレッタ・ラックス 著	日 経	4.17	芸苑雑事記151 蠟燭の画家 ラ・トゥール	瀧 悌三	〃	261
特集 神秘の画家 ラ・トゥールの夜へ [ジョルジュ・ド・ ラ・トゥール]	芸術新潮	663	ヴィラ・マダマラ ファエロのオリジナル ・プランと二通の 手紙―[ラファエロ ・サンツィオ]	小谷 訓子	美学芸術 学	20
新収作品 ジョルジ ュ・ド・ラ・トゥール 《聖トマス》	高橋 明也	国立西洋 美術館年 報	第一特集 GRAF- FITY AS CULTURE ENGINE!!! 拡張す るグラフィティ オ ールド・スクールの アーティストが何を 経験したか[ラメル ジー]	佐開津 広	STUDIO VOICE	360
巻頭特集 謎の画家 の全貌!! ラ・トゥール の神秘		美術の窓	258			
宗教画として見る ラ・トゥール作品 の魅力 闇の心に 光を求めた画家	町田 俊之					
30年戦争の時代に 闇を描いたラ・ト ウール フランス 十七世紀美術の再 発見・フランスゴ シックの源流	田中 英道					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 夜の光が生んだ驚 きの写実力	青木 敏郎					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 蠟燭の光がもたら す宗教性、精神の 深さ	野田 弘志					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 蠟燭の炎の描き方 記憶を描く	平澤 篤					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 ラ・トゥールな雑 感―「蠟燭の光」考	照沼 彌彦					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 ラ・トゥールとい う謎	舟木誠一郎					
現代作家が語るラ ・トゥールの魅力 ラ・トゥールの造 形美、そのささや かな解説として ラ・トゥールの古 典性と現代的な造 形性	寺久保文宣					
ザビエル像が語る 17世紀ロレーヌの 宗教的背景とラ・ トゥールの聖人像 に見る克明なリア リズム	木村 三郎 編 集 部 聞き手					
モチーフは何を語 る?						
ラ・トゥールをも っとよく知る!! 15 のキーワード						
			映画 アニメ「ルネ ・ラルー」 仏の大 御所の作品集	小原 篤 朝 日		3.17
			特集 建築と書物 建築を拓くメディア 建築写真を拡張する 三人の写真家[ルイ ザ・ランブリ]	福屋 粧子	10 + 1 *	38
				(リ)		
			アーティスト訪問25 李禹煥		ギャラリ ー*	246
			特集 日本近現代美 術史1905▶2005 李 禹煥 時代と国境を 越えた「出会い」を求 めて	鷹見 明彦 聞き手・構 成	美術手帖	866
			画家たちの美術史34 李禹煥	鷹見 明彦	〃	872
			アート探究 李禹煥 「余白の芸術」 空間 ふるわせる一点 重 ね塗り作為をそぐ	白木 緑 日 経		8.20
			あの時の私 李禹煥 さん 美術家 関根 さんの「位相―大地」 にぼう然 無と有 見えない世界を感知	前田 恭二 聞き手	読売夕刊	1.29
			巻頭特集 時代を変 えるアーティスト 評論家・キュレータ ー・美術記者が選ぶ 李準美 イメージの 生産	米倉 守	美術の窓	259
			特集 私はここにい る 遠い日	李 貞美	自由美術	2005
			特集 ルーシー・リ ーと日本		目の眼	348
			日本人に愛される 造形のエッセンス	金子 賢治 談		
			作品の見所徹底紹 介 どこから見て もルーシー・リー	編 集 部		
			日本人コレクター の眼	西 マーヤ、 太田美喜子 対談		

佐野乾山と七代目乾山、バーナード・リーチ 近藤 京嗣 陶 説 627

奇想遺産 シュレーダー邸 オランダ [ヘリット・リートフェルト] 隈 研吾 朝 日 11.13

特集 ドイツの現代美術 ヴェーブケ・レーパー+イエント・リープヒェン 河合 純枝 美術手帖 872

ドイツの遊び 美術でめぐる、とっておきの旅ガイド フランケン地方 ドイツ・ルネサンスのもうひとりの巨匠リーメンスシュナイダーを訪ねて[ティルマン・リーメンスシュナイダー] 編集部 芸術新潮 668

ティルマン・リーメンスシュナイダーの《マリア祭壇》 薩摩 雅登 東京芸術大学西洋美術史研究室紀要 6-1

クリエイターズワーク&ソウル アレックス・リッチ A X I S 118

ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア=パニンフィーリ美術館』翻訳(4)—バッキアッカ、ピントウリッキオ、フィリッピノ・リッピ、ピエロ・ディ・コジモ 上田 恒夫 金沢美術工芸大学 49

フィリッポ・リッピの恋の街から 芸術新潮 670

インタビュー ゲルハルト・リヒター 「物はいつだって正確には見えていない」 平出 隆 聞き手 〃 668

特集 ドイツの現代美術 リヒターを観るためのキーワード 林 寿美 北出智恵子 美術手帖 872

ジョゼペ・デ・リベラ初期ナポリ時代(1616—26年)における制作とパトロネージ[ホセ・デ・リベラ] 川瀬 祐介 東京芸術大学西洋美術史研究室紀要 6-1

若き日のディエゴ・リベラ 深谷 克典 名古屋市美術館研究紀要 13

美術 一くくりにできない「アジア」 「Have We Met?」展 [ポインタウィーサク・リムサクン] 前田 恭二 読売夕刊 1.27

VOICE OF ASIA 経験を培い、それを糧に飛躍していく真摯な姿勢 リュウ・リユン あじびニュース 19

1900年パリ万博におけるフィンランド館についての一考察—ナショナル・アイデンティティの創造—[アルマス・リンドグレン] 本橋 弥生 鹿島美術財団年報別冊 22

(ル)

26歳のルーベンスが描いた横長のキリスト降架図初公開[ピーテル・パウル・ルーベンス] 高橋 恵理 芸術新潮 671

美学会第56回全国大会発表要旨 ルーベンス《ガニユメデスと鷲》について 東山 大奈 美 学 223

特集 ランドスケープ・デザインは建築を変えるか? 建築雑誌 1536

ランドスケープ・デザインの視点からの歴史再評価1 モダニストのランドスケープ観 土地と建築の二分法からサイトデザインへ[ル・コルビュジェ] 宮城 俊作

建築・都市空間とランドスケープ・デザイン6 ランドスケープ・デザインと環境デザインの未来[ル・コルビュジェ] 大野 秀敏

ル・コルビュジェによるサン・ピエール教会堂の最終構想と再建築の比較検討—建築的景観のオーセンティシティに関する一考察(2)— 千代章一郎 建築史学 45

思想史的連関におけるル・コルビュジェ—九三〇年代を中心に1—4 八東はじめ 10 + 1 * 38~41

ル・コルビュジェの1920年の住宅作品における身体文化 ル・コルビュジェとその協働者ピエール・ウィンターの身体文化 森山 学 日本建築学会計画系論文集 593

文化往来 ル・コルビュジェ、インドに根ざした建築 日 経 8.18

21世紀を読む 美し きものの機能 丹下健三の遺産[ル ・コルビュジェ]	藤森 照信	毎 日	4.17	
建築望見 インドに 「未知のコルビュジェ」	高野 清見	読 売	10.15	
パリの作家たち3 ピエール・ルシュ ール インタビュー		ア ー ト ト ッ プ	203	
アーティスト・イン ・レジデンス 移動 と交流の場から生ま れるもの[ライケ・ ルッター]	帆足 亜紀	遠 近	7	
オディロン・ルドン 研究の方法論的問題 —図像解釈学と受容 研究—	山上 紀子	芸術論究	32	
私の空想美術館16 オディロン・ルドン 『キリスト』	栗津 則雄	美術の窓	260	
ルノワール対3億 1000万円ナリ 国内 史上2位の高額[ピ エール・オーギュス ト・ルノワール]		産 経	6.5	
ルノワールも盗難 パリで2800万円相当		東京夕刊	3.31	
ルノワール絵画もロ スで無事に回収 強 奪5年		"	9.17	
ルノワール作品も		日経夕刊	9.17	
ルノワールの油彩画 「花かごを持つ女」 「婦人習作」3億1000 万円で落札	三田 晴夫	毎 日	6.5	
ルノワール3億1000 万円		読 売	6.5	
特集 アート界最後 のカリスマ! ? マン シュ・バーニーの世 界 Who is MB? by the young artists	クリス・ル ビノ 佐藤 姿子 金氏 徹平 名和 晃平	STUDIO VOICE	356	

(レ)

WORLD ARTIST 2 ジャン＝ピエ ール・レイノー		ギャラ リー	247	
クリエイターズワー ク&ソウル ユルグ ・レーニ		A X I S	114	
特集 ドイツの現代 美術 ヴェーブケ・ レーパー・イェンツ ・リープヒェン	河合 純枝 聞き手	美術手帖	872	
くずおれた彫刻—ヴ ィルヘルム・レーム ブルック、その特異 な位置—	水沢 勉	ART LIBRARY	6	

PARIS発 ダ・ヴィ ンチのモナリザ[レ オナルド・ダ・ヴィ ンチ]	安部 雅延	新美術新 聞	1055	
私の空想美術館19 レオナルド・ダ・ヴィ ンチ『聖アンナと 聖母子』	栗津 則雄	美術の窓	263	
モナリザ尽きぬ謎 くすぶる「複数存在 説」	山盛 英司	朝 日	4.20	
挑むイタリアのオヤ ジたち2 モナリザ 素性追い古文書と格 闘		朝日夕刊	3.8	
深い謎 「モナリザ」 は切断されたか	山盛 英司	"	5.6	
名画の下からダビン チの新作 「岩窟の 聖母」に「隠れ絵」		"	7.2	
パリの屋根の下で モナリザの謎	山口 昌子	産 経	4.13	
質高すぎ「弟子の作 品」実は…裸像、ダ ビンチ共作可能性		"	9.24	
こちらダヴィンチ共 作?		東 京	9.24	
ダビンチ「モナリザ」 も描いた? イフィ レンツェ工房か、壁 に絵 名作の“生地”		東京夕刊	1.14	
ダ・ヴィンチ手稿、 今秋日本へ ゲイツ 氏「うれしい」	重長 聡	毎 日	7.2	
隠れた“新作” ダビ ンチの下絵発見	小松 浩	"	"	
絵とものづくりを愛 する人に 海の向こ うから届いた応援メ ッセージ ナタリー ・レテ	伊川 尚子、 阿部 律子、 内藤 文子 訳	みづゑ	74	

レンブラントの《百 ギルデン版》につい て—主題と内容を中心—	阿天坊 耀	群馬県立 女子大学 紀要	26	
レンブラントの《百 フルデン版画》—構 図に関する一考察—	佐藤真実子	東京芸術 大学西洋 美術史研 究室紀要	6-1	
名画のなかの女性た ち9 レンブラント 《ヘンドリック・エ ・ストッフエルの肖像	中山 忠彦	美術の窓	256	

修復記録 レンブラント・ファン・レイン《聖母の死》《大きな樹と小屋のある風景》《帽子と襟巻を着けた暗い顔のレンブラント》《版画商クレメント・デ・ヨンゲ》《説教するキリスト》	坂本 雅美	ブリヂストン・石橋美術館報*	53	ロビン・ロード チョーク一本ポケットにしはせて	難波 祐子	美術手帖	873
レンブラント5年ぶり戻る 自画像窃盗事件		朝日夕刊	9.17	特集 情報化時代の建築設計のあり方 建築設計のIT化に関する問題点や利点の具体例7 コンピュータを応用した建築デザインとデザインプロセスの変遷—創造する機械たち[リチャード・ロジャース]	松永 直美	建築雑誌	1538
レンブラント作新たに4点 オランダの美術館鑑定		〃	9.24	ロダンのデッサンの普及に関する一考察—オクターヴ・ミルボー著『拷問の庭』挿絵制作の意図[オーギュスト・ロダン]	南 美幸	静岡県立美術館紀要	20
レンブラント自画像戻る 売買の現場、4人逮捕		産 経	9.17	平成十六年度支部例会研究発表要旨 ロダンとその時代—同時代の彫刻、日本という視点を中心に—	泰井 良	美術史	158
質高すぎ「弟子の作品」実は…レンブラントの4点と認定		〃	9.24	愛の旅人 仏・パリ、カレー 傑作生んだ愛の行方 カミュー・クロードとロダン「カレーの市民」	清水 弟 朝 日		11.26
「レンブラント」救出 45億円自画像	池田 千晶	東 京	9.17	アーティスト・イン・レジデンス 移動と交流の場から生まれるもの[シャロン・ロックハート]	帆足 亜紀 遠 近		7
作者不明など4作品 実はレンブラント美術館がX線鑑定		〃	9.24	特集 写真集中毒のススメ 写真集中毒者たちによる必見本案内・海外版 バオロ・ロベルシ	パトレック・レミ	STUDIO VOICE	352
レンブラント作? 論争の末 4点本物と判明		日 経	9.24	人らんだむ 日本で公開制作のデモンストラーションを行なったフランスの画家 エルベ・ロワリエ氏 無言の文化交流が生まれた会場	(林)	新美術新聞	1049
レンブラント自画像戻る イラク人ら4人逮捕		日経夕刊	9.17	トウッリオ・ロンバルド作、ベルナボ礼拝室のための祭壇彫刻一再解釈の試み—	須網美由紀	美術史	159
レンブラント絵画真贋決着 美術館「4点とも」		毎 日	9.24				
名画戻る 盗難のレンブラント5年ぶり美術館へ	飯塚 恵子	読 売	9.17				
レンブラントの真作でした 男女4人 “身元”判明	鶴原 徹也	〃	9.24				
名作JOURNEY レンブラント「夜警」の舞台 オランダ・アムステルダム 追想する「黄金の17世紀」	鶴原 徹也	読売夕刊	4.18				
(ロ)							
永遠のヒットメイカー レイモンド・ローウィ	浦 典子	生活文化研究所年報	18				
アドルフ・ロースのラウムプランとアルノルト・シェーンベルクの十二音技法との関係	木阪 尚志 上松 佑二	日本建築学会計画系論文集	593				
クリエイターズワーク&ソウル ローダウン		A X I S	113				
(ワ)							
				巻頭特集 天地道遙・いざ山水へ 創造の宇宙 黒と白の間に広がる「胸中の山水」[ワン・ウーシェン]	汪 蕪生 談 一戸 厚 聞き手	アートのトップ	20

そ の 他
美術関係者

日 本

(ア行)

會津八一『南京新唱』への道—俳句から短歌へ—	中西 亮太	早大會津八一記念博紀要*	6	
會津八一コレクションについて 5	金澤 邦夫	" "	" "	
こころの風景 秋 秋 道人會津八一	大橋 一章	朝日夕刊	3.8	
考古学の先駆者 赤星直忠博士の軌跡(2)—通称「赤星ノート」の古墳時代資料の紹介—	上田 植山 英史 柏木 善治 須藤 智夫 谷 正秋 近野 正幸	かながわの考古学	10	
キュレーターインタビュー 第6回 東谷隆司	白坂 ゆり 取材・文	ART IT	8	
美の一代記 実業家ミュージアム3 足立美術館 故足立全康さん		朝日夕刊	10.11	
追悼 網野善彦氏の逝去を悼む	(K・T)	歴史と民俗	21	
びーぶる 仏政府が芸術勲章 オルセーが祝賀会場に「飯山雅英」	富永 格	朝日夕刊	3.7	
ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち7 農家と画家 地産地消お互いを刺激[五十嵐清彦]	野村 義博	日経夕刊	5.17	
市民派コレクター時代の夜明け	池田 一朗、 山下 透 対談	ギャラリー	237	
(紹介)伊藤延男先生文化功労者に	大和 智	建築史学	44	
交遊抄 生意気病	岩城 見一	日 経	11.26	
“縄魂弥才”の宗教心 建築家・建築史家上田篤氏に聞く	稲垣 真澄	産 経	3.19	
文字は語る7 剥平成17年 キトラ古墳第一発見者 上田俊和さん	舛田奈津子	" "	12.21	
交遊抄 現金書留	歌田 真介	日 経	9.10	
宋定窯刻花文鉢[梅澤彦太郎]	蘭山 順吉	陶 説	629	

私のデビュー時代
流行にさきがけた芸術論「忘れられた」スタイル通じ世界を語る

海野 弘 東京 11.6

寺の秘宝運ぶ仕事人
仏像など古美術品の梱包・輸送を手掛けて30年

海老名和明 日 経 12.22

近江榮先生を悼む

大川 三雄 建築史学 45

美の一代記 実業家ミュージアム4 大川美術館 大川榮二さん

朝日夕刊 10.12

毎日デザイン賞 特別賞 大迫修三氏「デザインギャラリーの20年間の活動」

毎 日 2.23

人らんだむ 第16回
倫雅美術奨励賞を受賞した 東京国立近代美術館研究員 大谷省吾氏 作品に文脈を与えたい

(石) 新美術新聞 1046

こだわり会館 うちわコレクター そよぐ風に時代は乗る [大橋博司]

松浦 新 朝 日 3.5
荒俣 宏

やさしい経済学—ニッポンの企業家 大原孫三郎 8 高い理想と陰徳

猪木 武徳 日 経 12.26

傷ついた美術史 連載33、34 岡倉天心と文化財保存1、2

小泉 晋弥 アー ト プ 202、203

巻頭特集 岡倉天心 その眼差しのかなた一戦後60年に考える

" 204

岡倉天心を魅了した日本美術史に瞬く綺羅星

"

朦朧の彼方に見据えた日本画の可能性

佐藤 道信

岡倉が世界に発信した日本絵画とは?『ジャパン』を今、再検証する

木下 長宏

「アジアは一つ」の呪縛が解かれるとき “天心神話”解体へ

"

たどりついた風景、自然へのまなざし

大久保喬樹

天心を語る

松岡 正剛

傷ついた美術史 連載35 岡倉天心と文化財保存3 高松塚と法隆寺の壁画をめぐる

小泉 晋弥 " "

日露戦争前後の岡倉天心	岡倉 登志	五浦論叢	12
岡倉天心 The Book of Teaの多重構造と交響的音楽構成	東郷登志子	" "	" "
アメリカに渡った日本人修復家たち(その2) ポストン美術館の岡倉天心	西尾 喜行	新美術新聞	1064
現代によみがえる『茶の本』—刊行百年をめぐって[岡倉天心]	大久保喬樹	淡 交	725
岡倉覚三とボストン美術館	久世夏奈子	美術史	159
岡倉天心筆「日本美術史講義メモ」について	池田 博子	横山大観記念館館報	21
文化財建造物修理技術者・建築史学者岡田英夫氏の人と仕事	山岸 常人	鴨東通信	59
《追悼》岡本敏子さんとの思い出	窪田 修	あいだ	113
追悼 岡本敏子さんわが意中の人	村田慶之輔	新美術新聞	1058
追悼：岡本敏子	榎木 野衣	美術手帖	865
コンパス 敏子さんがまき続けた種	(陽)	東京夕刊	6.4
ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち17 レクイエム妻への思い、収集に結実[小倉敬一]	野村 義博	日経夕刊	5.31
ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち14 浮世絵トラック 収集・出張美術展に駆ける[小田昭夫]	"	"	5.26

(力行)

春の褒章 紫綬褒章前国立西洋美術館長樺山紘一さん モノ通して歴史を再現		読 売	4.28
キュレーターインタビュー 第5回 神谷幸江	渡辺 真也 取材・文	ART iT	7
悠遊閑飲 川部重臣		ア ー ト ト ッ プ	202
零戦機体に迫る技術の夢 先端素材から往時の日本の水準探る	北田 正弘	日 経	9.12
「絵画の約束」論争と木下奎太郎	梶野真知子	女子美術大学研究紀要	35

ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち13 あうんの呼吸夫婦の夢、自宅を美術館に[木村悦雄]	野村 義博	日経夕刊	5.25
新・旧刊案内21 コレクションについて、あるいは若樹と仙秀[木村仙秀]	青木 茂 一 寸		21
ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち13 あうんの呼吸夫婦の夢、自宅を美術館に[木村正子]	野村 義博	日経夕刊	5.25
〈日本学〉についての一考察—九鬼周造にとつての日本とベルクソンにとつてのフランスを比較してみる—	安孫子 信	The News-letter HOSEI I.J.S.	2
こころの風景 父の絵皿	窪島誠一郎	朝日夕刊	12.14
4 SITES アートという商品1 シンワアートオークション社長 倉田陽一郎さん 誰もが平等に美術品売買	高野 清見	読売夕刊	6.13
明治期国学者による画史画人伝の編集—小杉楹邨・黒川真頼を中心に—	吉田 衣里	鹿島美術財団年報別冊	22
こころの風景 上海の嘘	河野 元昭	朝日夕刊	1.12
肥塚隆教授を送る	奥平 俊六	フィロカリア	22
明治期国学者による画史画人伝の編集—小杉楹邨・黒川真頼を中心に—	吉田 衣里	鹿島美術財団年報別冊	22
新人作家が国際的アーティストへと至るステップ	小山登美夫	遠 近	7
4 SITES アートという商品3 小山登美夫ギャラリー小山登美夫さん 買う文化の確立めざす	高野 清見	読売夕刊	6.15

(サ行)

佐々木丞平教授を送る	根立 研介	京都美学美術史学	4
佐々家と日本刀	佐々 淳行	刀剣美術	579
びーぶる 4年前に学校設立 ミャオ族の刺繍 夫婦で継承支援[佐藤みずよ]	吉岡 桂子	朝日夕刊	2.7
ひと 高松塚古墳の石室解体に取り組む石工 左野勝司さん	小滝ちひろ	朝 日	7.12

特筆すべきデュシャン論—東野芳明氏を悼む 酒井 忠康 毎日夕刊 11.25

東野芳明さんをしのぶ 前衛の原野に視界広がる情景 海老塚耕一 読売夕刊 11.22

あとがきのあと「徳川慶喜家の食卓」徳川慶朝氏 “十八代將軍”が食を語る 日 経 10.2

(ナ行)

この人この本『浮世絵再発見』出光美術館主任学芸員 藤正人さん 久間木 聡 東京 10.23

テークオフ 国立国際美術館主任研究官 中井康之さん 西洋否定でなく違い認識を 山盛 英司 朝日夕刊 4.27

ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち19 世界一の発信基地へ 中国美術通じ日中橋渡し[中川健造] 野村 義博 日経夕刊 6.2

言葉を生きる 天命を悟り中庸でいる 永田 生慈 読売夕刊 7.2

追悼—中村敬治氏を偲ぶ 天野 太郎 aica JAPAN 6

新美術時評 中村敬治氏の訃報 美術を俯瞰するということ 山下 裕二 新美術新聞 1055

惜別 美術評論家 中村敬治さん 権威無縁 愛された辛口 大西 若人 朝日夕刊 5.2

美の一代記 実業家 ミュージアム1 ウッドワン美術館 中本利夫さん " 10.7

現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 西村画廊30周年展開催される 西村画廊の30年を支えたポリシー[西村建治] 美術の窓 256

(ハ行)

対談録「一九五〇年代バリ 君と僕の青春」 芳賀 徹、高階 秀爾、語り手 堂本 尚郎 大原美術館紀要 2

ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち10 カフェで現代美術 無料で開放、皆で楽しむ[長谷川亀之助] 野村 義博 日経夕刊 5.20

新私のいる風景 金沢21世紀美術館学芸課長長谷川祐子さん 現代アート自由に巡る 高野 清見 読売夕刊 1.15

解釈広がるジャポニスム 和洋文化交流の好例 研究領域に幅 双方向に作用 [林忠正] 宝玉 正彦 日 経 11.19

新・旧刊案内21 コレクションについて、あるいは若樹と仙秀 [林若樹] 青木 茂 一 寸 21

原三溪と矢代幸雄 美のたより 150

美の一代記 実業家 ミュージアム2 原美術館 原俊夫さん 朝日夕刊 10.8

土方定一—の美術思想—『ヘーゲルの美学』からリアリズム論争まで— 浅沼 敬子 デアルテ 21

ドキュメント挑戦 市民派コレクターたち6 アートは生活必需品 作家と交流、二重の喜び[日野直道、日野典子] 野村 義博 日経夕刊 5.16

ひと 開幕を待つ愛知万博チーフプロデューサー 福井昌平さん 六郷 孝也 朝 日 3.12

美の一代記 実業家 ミュージアム5 地中美術館 福武聰一郎さん 朝日夕刊 10.13

福部信敏教授の古代美術史学—研究と教授— 越 宏一 東京芸術大学西洋美術史研究室紀要 6-1

第17回国華賞に武藤純子氏 国華奨励賞には姜素妍と福山泰子氏 新美術新聞 1073

90年代から“男子”作家に並走してきた山本ゆうこ(山本現代)&藤城里香(ミヅマアートギャラリー)の女子対談 山本 ゆうこ、藤城 里香 対談 ART iT 8

奥村 秀雄、佐藤 昌武、林 昌夫、長谷部 奈爾、西川 幸治、笹津 悦也、角井 義人、味岡 桂子、浅沼 桂子 考古学雑誌 89-3

追悼 故藤田國雄名誉会長

茨木キリシタン遺物の発見[藤波大超] 高木 博志 新修茨木市史年報 4

追想録 近衛元首相
の秘書官 細川護貞
さん「風流の人」徹
した余生 工藤 憲雄 日経タ刊 10.21

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち4 頑固一徹の江
戸っ子 美術の発展
願い辛口批評[堀皓
史] 野村 義博 " 5.12

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち15 個人美術館の
悩み 資金不足、作
品融通で解消[堀良
慶] " " 5.27

(マ行)

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち16 理想の店 客
の喜び、ケーキ・ア
ートで[松浦隆広] 野村 義博 " 5.30

[特集]ヴィジュアル
・カルチャー・スタ
ディーズー作品から
イメージへ11 明治
一九年のギャラリー
画一松浦武四郎コレ
クションの欲望につ
いて 岸 文和 美術フォ
ーラム21 12

特集 雑誌の黄金時
代 アンケート大会
わたしを／がつくつ
た雑誌 松浦 寿夫 ユリイカ 509

ひと 入館料を一部
無料化「ちひろ美術
館」館長 松本猛さん 反橋 希美 毎 日 8.10

東洋陶磁を愛した人
たち(一)〜(三)美術
商 蘭山松太郎(上)
(中)(下) 川島 公之 陶 説 629〜631

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち5 美術館には頼
らない 眼力磨き無
名作家を発掘[御子
柴大三] 野村 義博 日経タ刊 5.13

第17回倫雅美術奨励
賞決まる 美術評論
部門 杉山悦子氏
美術史研究部門 光
田由里氏 新美術新
聞 1074

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち2 とにかく買っ
てみる 毎日鑑賞、
作家・作品身近に
[御村良隆] 野村 義博 日経タ刊 5.10

発刊の記 宮島 新一 東風西声* 1

イチオシ! マンガ
史研究者 宮本大人
さん 戸田 拓 朝日タ刊 8.2

第17回国華賞に武藤
純子氏 国華奨励賞
には姜素妍と福島泰
子氏 新美術新
聞 1073

交遊抄 ハワイの旧
友 村井 康彦 日 経 1.20

美学及芸術学専攻の
思い出 村田 誠一 文化学年
報(同大) 別冊

アート心わき出る湯
の里 経営する温泉
宿に前衛的な現代芸
術ズラリ 室井 俊二 日 経 10.26

物部見二先生一哲学
的な含羞の人一 中谷 伸生 関西大学
哲学 25

《連載インタビュー》
病い膏盲 本の虫一
『一寸』同人紳士録最
終回 森仁史氏の巻 丹尾 安典 あ い だ 110
聞き手

(ヤ行)

矢代幸雄の『歎美抄』 水田 徹 美のたよ
り 150

原三溪と矢代幸雄 " " "

この人 廃校利用の
美術館「共星の里」ア
ートディレクターを
務める 柳和暢さん 東 京 5.26

柳宗悦と有縁の人々
(22)(23) 近藤 京嗣 陶 説 622、623

柳宗悦の近代性一現
代工芸における創造
のための民芸理論解
釈の試み一 外館 和子 " 622

尾形乾山が招いた柳
宗悦の草稿 近藤 京嗣 " 625

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち18 灯台下暗し
「産直作家」発掘し応
援[山口裕美] 野村 義博 日経タ刊 6.1

山口昌男先生と札幌
大学文化学部 石塚 純一 比較文化
論叢 16

山口昌男年譜及び著
・訳書一覧 川村 伸秀 " "

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち1 趣味と社会貢
献合体 NPO作り若
い作家支援[山下透] 野村 義博 日経タ刊 5.9

《連載インタビュー》
病い膏盲 本の虫一
『一寸』同人紳士録7
山田俊幸氏の巻 森 仁史 あ い だ 109
聞き手

作品を見ている眼
山辺知行先生のこと 関口 正之 国華清話
会会報 5

ドキュメント挑戦
市民派コレクターた
ち20「アートソムリ
エ」消費者不在変革
を訴え[山本勝彦]

野村 義博 日経夕刊 6.3

90年代から“男子”作
家に並走してきた山
本ゆうこ(山本現代)
&藤城里香(ミヅマ
アートギャラリー)
の女子対談山本 ゆう
こ、藤城
里香 ART iT 8ひと 旧科技庁出身
で初、新文科事務次
官 結城章夫さん

田中 万紀 産 経 1.12

ひと 「地元学」で、
新設の「芸術振興部
門」の芸術選奨を受
賞 結城登美雄さん

千葉 卓朗 朝 日 3.9

自著を語る『画家
の手もとに迫る 原
寸美術館』結城昌子
さん(アートエッセ
イスト)

東京夕刊 7.21

シリーズ歴史資料紹
介11 創立者のひと
り 横井玉子先生1

青木 純子 女子美 152

蒐集家の愛情[横河
民輔]

廣田 松繁 陶 説 629

巻頭特集 人気作家
101人の年賀状「戌」
吉井長三(吉井画廊
オーナー)の思い出
の年賀状

美術の窓 266

吉岡健二郎館長の逝
去を悼む小針由紀隆 アマリリ
ス 77吉田靖雄教授略年譜
および著作年譜

歴史研究 42

顔 岡本太郎氏の壁
画修復に取り組む
吉村絵美留さん

澤本 浩二 読 売 12.23

ひと 「マンガミュ
ージアム」開設の仕
掛け人 吉村和真さ
ん

鶴谷 真 毎 日 2.6

(ワ行)

受賞者スピーチ 大
佛次郎賞 美術史家
若桑みどり氏「クワ
トロ・ラガッツィ」
「鎖国」の意味を自問

朝 日 1.28

海外

美学会第56回全国大
会発表要旨 フラン
チェスコ・アルガラ
ッティはアングロマ
ニア?—ヴェネツィ
ア伯爵によるアング
ロ的啓蒙思想の伝
道—

小谷 訓子 美 学 223

海外アート事情 美
の擁護者二人、注目
のプロジェクト[ベ
ルナル・アルノ
ー]今津 京子 美連協ニ
ュース* 88ひと プーシキン美
術館を40年以上かじ
とりする館長 イリ
ーナ・アントーノワ
さん

山盛 英司 朝 日 11.3

我が師、我が友、オ
リバー・インビー博
士の死を悼む

今泉 吉博 陶 説 632

傷ついた美術史

小泉 晋弥 アー
ト
ト
ッ
プ連載33 岡倉天心
と文化財保存1
ウォーナー像の変
化[ラングドン・
ウォーナー]

202

連載34 岡倉天心
と文化財保存2
中国美術コレクシ
ョンと天心[ラン
グドン・ウォーナ
ー]

203

[百年史余録]ウォ
ーナーの髭新納 義雄 美術院紀
要 7銀座ギャラリー日記
さわやかな一匹オオ
カミ[ロビン・ガー
トン]

栗田 玲子 朝日夕刊 6.9

ひとりのチカラ チ
ャレンジャーたち10
「北斎」掘り起こし町
おこし[セーラ・マ
リ・カミングス]

読 売 7.16

第17回国華賞に武藤
純子氏 国華奨励賞
には姜素妍と福島泰
子氏新美術新
聞 1073テークオフ 韓国美
術史研究院研究員
姜素妍さん 母国の
仏画表現 特殊性考
えたい

山盛 英司 朝日夕刊 11.16

世界中の北斎 目録
に集合 各地に散ら
ばる版画を探し出し
2860作品収録ロジャー・
S・キーズ 日 経 11.3交遊抄 日本びいき
[ウィラード・クラ
ーク]

小林 忠 〃 10.22

クルリーさんのこと
[マリー・テレーズ
・クルリー]

青山 益朗 陶 説 627

憂楽帳 再会[ドニ
ー・ジョージ]

福島 良典 毎日夕刊 6.30

追悼 ミシエル＝ス
ワミエ教授

池田 温 東方学 109

この世の終わりー追悼ハラルト・ゼーマンー	山本 和弘	aica JAPAN	6
新美術時評 一つの時代の終わりにーゼーマン追悼[ハラルト・ゼーマン]	長谷川祐子	新美術新聞	1050
追悼:ハラルト・ゼーマン	長谷川祐子	美術手帖	864
自著を語る『カラー版 世界遺産 高句麗壁画古墳の旅』全浩天さん(考古学者)		東京夕刊	4.21
特集1 ヴェネツィア・ビエンナーレで見る最新★世界の注目アーティスト122人 ローサ・マルティネス&マリア・デ・コラル インタビュー 世界の知覚から思考・創造・抵抗へ	三木あき子	美術手帖	870
こと場 マリア・デ・コラルさん ベネチア・ビエンナーレ総合監督		朝日夕刊	7.27
テロール男爵[イシドール・テロール]	バーバラ・スコット 石井美佐子訳	bandaly	4
テークオフ 建築史研究者 包慕萍さん 新たな「遊牧都市」の可能性探る	渡辺 延志	朝日夕刊	7.27
悠遊閑歌 林アメリカ		アートトップ	203
ピエール・バルブトー(1862-1916) (5) 一知られざる日本美術愛好家ー	高山 晶	慶応義塾大学日吉紀要	40
交遊抄 頑固な秀才 [ミケランジェロ・ピエアチェンティニ]	青柳 正規	日 経	11.7
海外アート事情 美の擁護者二人、注目のプロジェクト[フランソワ・ピノー]	今津 京子	美連協ニユース*	88
展覧会紹介『形の生命、アンリ・フォションと芸術』展(2004年1月-4月、リヨン美術館)ーエレーヌ・バルトルシャイティス(1906-2003)に捧げる	藤原 貞朗	日仏美術学会会報	24
集まれ歌舞伎ヒーロー 役者を描いた浮世絵収集、魅力を世界へ発信	ヘンク・ヘルウィック	日 経	1.6
フランク・ホーレーの古辞書研究ー森立之編著「夜合不開録」に見る『箋注倭名類聚抄』の刊行ー	横山 學	生活文化研究所年報	18

特集1 ヴェネツィア・ビエンナーレで見る最新★世界の注目アーティスト122人 ローサ・マルティネス&マリア・デ・コラル インタビュー 世界の知覚から思考・創造・抵抗へ	三木あき子	美術手帖	870
ビーぶる パーミヤン遺跡「国民の象徴」流出防止訴え[グラムラスール・ユースフザイ]	中村 俊介	朝日夕刊	1.15
ビーぶる 娯楽から見た社会 ウィーン大教授斬新に日本分析[セップ・リンハルト]	青木 雪雄	"	1.31
絵はがきの時代10 発行者カール・ルイス	細馬 宏通	ユリイカ	504

書 評

和 書

『會津八一ー人生と芸術』原田清著	小島ゆかり	朝日夕刊	1.19
『青木繁《海の幸》美術研究作品資料 第3冊』東京文化財研究所美術部・石橋財団石橋美術館編		芸術新潮	666
『赤塚不二夫のことを書いたのだ!!』武居俊樹著	長谷 邦夫	東 京	6.5
"	榎野 信治	読 売	7.17
『アカデミーとフランス近代絵画』アルバート・ボイム著、森雅彦・阿部茂樹・荒木康子訳		芸術新潮	667
『アジアの本・文字・デザイン 杉浦康平とアジアの仲間たちが語る』杉浦康平編著	長澤 忠徳	A X I S	117
『飛鳥幻の寺、大官大寺の謎』木下正史著	井上 章一	毎 日	4.3
『アスブルンドの建築 1885-1940』吉村行雄写真、川島洋一著		芸術新潮	671
『アンジェロ・マンジャロッティ』ギャラリー・間企画編集	深澤 直人	A X I S	113
『安藤忠雄 建築手法』二川幸夫著	(前)	読 売	3.20

- 『イームズ入門』イームズ・デミトリオス著、助川晃自訳、泉川真紀日本語版監修 藤崎圭一郎 美術手帖 859
- 『生きつづける光琳—イメージと言説をはこぶ《乗り物》とその軌跡』玉蟲敏子著 岡 佳子 日本史研究 518
- 〃 大熊 敏之 美術フォーラム21 11
- 『異教的ルネサンス』アビ・ヴァールブルク著、進藤英樹訳 森田 團 10 + 1* 38
- 『イギリス大聖堂・歴史の旅』石原孝哉・市川仁・内田武彦著 尾崎 寔 学 鑑 102-4
- 『池田満寿夫一流転の調査』宮澤壯佳著 [理] jaic会報 2
- 『イザベラ・バード極東の旅1』イザベラ・バード著、金坂清則編訳 栗原 俊雄 毎日夕刊 6.28
- 『石井鶴三日記Ⅰ～Ⅴ』石井鶴三著、長原ルリヤ・石井蹊子編 酒井 忠康 新美術新聞 1058
- 〃 池内 紀 毎 日 4.10
- 『石山寺蔵 四百画面 源氏物語画帖』鷺尾遍隆監修、中野幸一編集 日向 一雅 国文学解釈と鑑賞 893
- 『イスラーム世界の都市空間』陣内秀信・新井勇治編著 河原 弥生 史学雑誌 114-3
- 『一色一生』志村ふくみ著 産 経 3.13
- 『いつも今日 私の履歴書』野見山暁治著 栗津 則雄 美術の窓 265
- 〃 日 経 8.21
- 『イングランド住宅史』大橋竜太著 星 和彦 建築史学 45
- 『印象派の歴史』ジョン・リウオールド著、三浦篤・坂上桂子訳 芸術新潮 661
- 〃 日 経 1.30
- 『植田実の編集現場』花田佳明著 中川 理 読売夕刊 9.27
- 『浮世絵再発見 大名たちが愛でた逸品・絶品』内藤正人著 山盛 英司 朝 日 9.29
- 『漆とジャパン 美の謎を追う』三田村有純著 石川 健次 新美術新聞 1069
- 『映画の論理—新しい映画史のために』加藤幹郎著 芸術新潮 664
- 『ADC年鑑2004』美術出版社刊 藤崎圭一郎 デザインの現場 138
- 『描かれた日本の中世—絵図分析論—』下坂守著 古代文化 556
- 〃 高岸 輝 日本歴史 681
- 『描かれた歴史』山梨俊夫著 木下 直之 新美術新聞 1072
- 〃 佐藤 道信 日 経 9.11
- 『越境のアヴァンギャルド』波瀾剛著 榎木 野衣 〃 9.4
- 『絵解き中世のヨーロッパ』フランソワ・イシエ著、蔵持不二也訳 渡邊 浩 史学雑誌 114-1
- 『江戸見物と東京観光』山本光正著 西海 賢二 地方史研究 317
- 『仏教大学鷹陵文化叢書 7 江戸時代の図書流通』長友千代治著 藤實久美子 古文書研究 60
- 『江戸大名下屋敷を考える』児玉幸多監修、品川区立品川歴史館編 西 光三 立正史学 97
- 『江戸の動物画』今橋理子著 辻 惟雄 日 経 2.6
- 『大倉陶園創成ものがたり』砂川幸雄著 〃 10.9
- 『大阪における都市の発展と構造』塚田孝編 西坂 靖 日本歴史 686
- 『オオヤマト古墳群と古代王権』オオヤマト古墳群シンポジウム実行委員会編 笹川 尚紀 日本史研究 512
- 〃 北尾 悟 歴史地理教育 681
- 『岡倉天心 物ニ観ズレバ竟ニ吾無シ』木下長宏著 木下 直之 朝 日 3.27
- 〃 酒井 忠康 日 経 4.10
- 『尾形光琳筆 国宝紅白梅図屏風』MOA美術館・東京文化財研究所編 芸術新潮 668
- 〃 村瀬 博春 美 学 223
- 〃 (前) 読 売 6.19
- 『オセアニア美術にみる「知流」を超えるもの』埼玉県鶴ヶ島市教育委員会編 田中 三蔵 朝日夕刊 5.13
- 『[小山田徹：しあわせのしわよせ]展 漫画家・滝田ゆうの視線とのコラボレーション』図録[ASAHI ART COLLABORATION] ド ー ム 83

平成17年定期刊行物所載文献(他／書評)

『オランダ絵画のイ コノロジー』エディ ・デ・ヨング著、小 林頼子訳	三浦 篤	読 売	12.4							『カラヴァッジョ』宮 下規久朗著	日 経	2.13
『女を描く ヨーロ ッパ中世末期からル ネサンスの美術に見 る女のイメージ』ク リスタ・グレシンジ ャー著、元木幸一・ 青野純子訳	児島 薫	産 経	1.17							『環境考古学への招 待 発掘からわかる 食・トイレ・戦争』 松井章著	武田佐知子 朝 日	3.6
『怪異学の技法』東ア ジア怪異学会編	湯本 豪一	日本歴史	680							『神原神社古墳』蓮岡 法障・勝部昭・松本 岩雄ほか編著	澤田 秀実 考古学雑 誌	89-4
『回想の浅川兄弟』高 崎宗司・深沢美恵子 ・李尚珍編	森 孝一	陶 説	633							『完璧な家 パラー ディオのヴィラをめ ぐる旅』ヴィトルト ・リプチンスキ著、 渡辺真弓訳	横手 義洋 建築史学	45
『回想の芸術家たち ―「芸術新潮」と歩 んだ四十年から』山 崎省三著		芸術新潮	667							『観覧車物語 110年 の歴史をめぐる』福 井優子著	木下 直之 朝 日	2.20
〃	中原 佑介	産 経	5.29							〃	細馬 宏通 産 経	2.13
〃	堀江 敏幸	毎 日	7.31							『紀州徳川家伝来楽 器コレクション』国 立歴史民俗博物館編	日高 薫 歴 博	128
〃	三浦 篤	読 売	7.10							『吉備大臣入唐絵巻 の謎』黒田日出男著		芸術新潮 672
『かえるがいる 大 原美術館教育普及活 動この10年の歩み 1993―2002』財団法 人大原美術館著		ド ー ム	82							『希望の美術・協働 の夢 北川フラムの 40年 1965―2004』 北川フラム著	編 集 部 美術手帖	873
『画家がいる「場所」 ―近代日本美術の基 層から』田中淳著		日 経	7.3							〃	三浦 篤 読 売	11.27
〃	川本 三郎	毎 日	7.17							『九州古墳時代の研 究』宇野慎敏著	高木 恭二 日本歴史	682
〃	三浦 篤	読 売	7.24							『九州弥生文化の特 質』中園聡著	柳田 康雄 〃 〃	
『学芸員の仕事』神奈 川県博物館協会編	國 雄行	地方史研 究	316							『京の色事典330』藤 井健三監修		朝 日 1.30
〃	湯浅 浩	民具マン スリー	448							『虚飾の愛知万博』前 田栄作著	飯島 洋一 日 経	4.10
『鷺湖及鼎湖』覆刻 版』石井柏亭編、 青木茂解題		芸術新潮	672							『近世災害情報論』北 原系子著	菊池 勇夫 日本歴史	687
『家族をつくった家』 芦原太郎著	佐藤 卓	A X I S	118							『近世フィレンツェ の政治と文化―コジ モー一世の文化政策 (一五三七―一六〇 一)』北田葉子著	亀長 洋子 史学雑誌	114-3
『葛飾北斎・春画の 世界 カラー版 江戸 の春画2』浅野秀 剛著	山下 裕二	朝 日	7.10							『近代工芸案内―東 京国立近代美術館工 芸館コレクションを 中心として』東京国 立近代美術館編集	石川 健次 毎日夕刊	4.28
『壁紙のジャポニ スム』松村恵理著	三浦 篤	ジャポニ スム研究	25							『偶然の揺れ幅―そ の出来事の地平』図 録『川崎市市民ミュ ージアム』		ド ー ム 79
『家宝の行方 美術 品が語る名家の明治 ・大正・昭和』小田 部雄次著	磯貝 洋次	新美術新 聞	1047							『草双紙と演劇―役 者似顔絵草創期を中 心に―』高橋則子著	池山 晃 国語と国 文学	980
〃	木下 直之	朝 日	1.9							『グッド・ルッキン グ―イメーjing新 世紀へ』バーバラ・ M・スタッフォード 著、高山宏訳	三浦 篤 読 売	4.3
『紙と羊皮紙・写本 の社会史』箕輪成男 著	鶴岡 真弓	産 経	3.20									

『グレー＝シュル＝ロワンに架かる橋』 荒屋鋪透著	"	"	11.6	『苔のむすまで』杉本 博司著	原 研哉	A X I S	118
『芸術新潮(大特集 アール・ブリュット の驚くべき世界)』 11月号	安藤 礼二	毎 日	11.20	"	児島やよい	産 経	11.6
『芸術新潮(大特集 光琳の七不思議)』 10月号	(保)	"	10.16	"	三浦 篤	読 売	10.30
『原始・古代日本の 集落』山岸良二編	坂井 秀弥	日本歴史	689	『個人美術館へよう こそ!—日本全国敵 選52館』石川健次著	(霧)	毎 日	10.23
『源氏物語—その生 活と文化—』日向一 雅著	工藤 重矩	古代文化	557	『古代地方木簡の研 究』平川南著	渡辺 晃宏	古文書研 究	60
『原寸美術館』結城昌 子著	南 伸坊	朝 日	7.3	"	服藤 早苗	歴史評論	662
"	古知 朋子	朝日夕刊	7.19	『古代日本の王権空 間』千田稔著	仁藤 敦史	"	663
『建築遺産の保存 その歴史と現在』ユ ッカ・ヨキレット 著、益田兼房監修、 秋枝ユミ・イザベル 訳	下間久美子	建築史学	45	『ゴッホはなぜゴッ ホになったか 芸術 の社会学的考察』ナ タリー・エニック 著、三浦篤訳	馬淵 明子	日 経	4.24
『建築家のメモ』(社) 日本建築家協会監修	鳥谷部恭通	学 鑑	102-1	『古陶磁 真贋鑑定 と鑑賞』出川直樹著	"	"	5.1
『建築美学』ヘルマン ・ゼルゲル著、吉岡 健二郎訳	杉本 俊多	建築史学	44	『この博物館が見た い!』桑原茂夫著	"	"	6.19
『原爆写真ノーマア ヒロシマ・ナガサ キ』黒古一夫・清水 博善編	宝田 茂樹	産 経	4.12	"	佐藤 由紀	毎日夕刊	6.27
『ケンブリッジ大学 秘蔵明治古写真』小 山騰著		日 経	10.9	『この惑星を遊動す る』芹沢高志著	松岡 恭子	A X I S	115
『工芸の道』柳宗悦著	(飼)	読 売	9.18	『「コマ」から「フィ ルム」へ』秋田孝宏著	宮本 大人	毎日夕刊	10.20
『考古学万華鏡』石部 正志著		古代文化	552	『木洩れ日の庭で』中 谷耿一郎著	深澤 直人	A X I S	118
『好古家たちの19世 紀』鈴木廣之著	表 智之	美術研究	386	『こんなに面白い東 京国立博物館』新潮 社編	木下 直之	日 経	9.4
『講座日本美術史[全 6巻]』佐藤康宏・ 板倉聖哲・長岡龍作 ・玉蟲敏子・木下直 之編		新美術新 聞	1053	『西大寺古絵図の世 界』佐藤信編	北村 安裕	史学雑誌	114-9
『講座日本美術史1 物から言葉へ』佐藤 康宏編	五味 文彦	毎 日	5.29	『在独日本文化財総 目録1、2』ビルギ ト・マヤー、佐々木 利和編	及川 茂	浮世絵芸 術	149
『皇室切手』内藤陽介 著	梅森 直之	日 経	11.13	『ざっくばらんに話 そう 私の写真観』 細江英公著	飯沢耕太郎	東 京	12.11
『好太郎と節子 宿 縁のふたり』澤地久 枝著	工藤美代子	"	5.22	『讃岐漆芸 工芸王 国の系譜』住谷晃一 郎著	山下 裕二	朝 日	10.30
"	佐藤 由紀	毎 日	6.12	"	前田 恭二	読売夕刊	12.24
『黒人彫刻』カール・ アインシュタイン 著、鈴木芳子訳		朝 日	1.30	『Sensation サンサ ション1923—33 名 古屋画壇の青春時 代』名古屋画廊編	中島 理壽	jaic会報	1
				"	中山 真一	新美術新 聞	1046
				『斬首の光景』ジュ リア・クリステヴァ 著、星埜守之・塚本 昌則訳	松村 一男	日 経	2.27
				『山東京山年譜稿』津 田真弓著	藤澤 茜	浮世絵芸 術	149

『思想としての日本近代建築』八束はじめ著	岡崎乾二郎	東	京	9.18	『聖地を巡る人と道』田中智彦著	山本 博子	日本史研究	516
『指定管理者制度で何が変わるのか』文化政策提言ネットワーク編	木下 直之	日	経	9.4	『生と死の図像学—アジアにおける生と死のコスモロジー—』林雅彦編	鷹巢 純	絵解き研究	19
『写真ノ話』荒木経惟著	嵐山光三郎	産	経	10.30	『静物画』エリカ・ラングミュア著、高橋裕子訳		芸術新潮	662
『蒐集物語』柳宗悦著	穂村 弘	朝	日	2.27	『世界遺産』D・オドルリ、R・スシエ、L・ヴィラール著、水嶋英治訳	日高健一郎	日 経	8.7
『ジュエリーの歩み100年 近代日本の装身具—八五〇—九五〇』関昭郎・大橋紀生編	山下 裕二	"		6.5	『世界遺産 高句麗壁画古墳の旅』全浩天著		"	4.3
『修験道の考古学的研究』時枝務著	西海 賢二	地方史研究		318	『世界遺産知床の素顔 厳冬の野生動物王国をいく』佐古浩敏・谷口哲雄・山中正実・岡田秀明編著	日高健一郎	"	8.7
『出土史料の古代史』佐藤信著	亀谷 弘明	歴史評論		657	『世界のイスラーム建築』深見奈緒子著	岡田 保良	建築史学	45
『上宮聖徳法王帝説注釈と研究』沖森卓也・佐藤信・矢嶋泉著	田中 嗣人	日本歴史		688	『世界の博物館 謎の収集』井出洋一郎著	佐藤 由紀	毎日夕刊	6.27
『肖像の眼差し』ジャン＝リュック・ナンシー著、岡田温司・長友文史訳	鷺田 清一	朝 日		1.23	『戦国期本願寺教団史の研究』草野顕之著	岡村 喜史	日本歴史	687
『昭和モダンキモノ』中村圭子編		産 経		1.31	『千字文を読み解く』野村茂夫著	(友)	墨	174
『初期浮世絵と歌舞伎—役者絵に注目して—』武藤純子著	佐藤 知乃	浮世絵芸術		150	『戦争と万博』樺木野衣著	菊畑茂久馬	あいだ	116
『植民地神社と帝国日本』青井哲人著	木下 直之	朝 日		3.20	"	土屋 誠一	美術手帖	863
『書 筆蝕の宇宙を読み解く』石川九楊著	青木 昌彦	"		10.23	"	鷺田 清一	朝 日	4.24
"	芹沢 俊介	東 京		11.6	"	五十嵐太郎	日 経	3.6
『信仰の美学』阿部仲麻呂著	稲垣 真澄	産 経		3.12	"	飯島 洋一	"	4.10
『進歩とカタストロフィ モダニズム夢の百年』多木浩二著	八束はじめ	東 京		5.22	"	御厨 貴	毎 日	6.26
『人類と建築の歴史』藤森照信著	丸谷 才一	毎 日		5.29	"	苅部 直	読 売	4.3
『水族館学 水族館の望ましい発展のために』鈴木克美・西源二郎著	矢島 稔	博物館研究		450	『造形論 今和次郎集 第9巻』今和次郎著	深澤 直人	A X I S	115
『すぐわかる画家別近世日本絵画の見かた』安村敏信著	山下 裕二	朝 日		11.27	『そうだったのか手塚治虫 天才が見抜いていた日本人の本質』中野晴行著	中条 省平	朝 日	7.17
『図説西洋建築史』陣内秀信ほか著		日 経		4.17	"	手塚さや香	毎 日	6.5
『図説 西洋建築の歴史 美と空間の系譜』佐藤達夫著		芸術新潮		671	『続日本紀の諸相—創立五十周年記念—』続日本紀研究会編	武井 紀子	史学雑誌	114-7
					『その後の慶喜』家近良樹著		産 経	2.28
					『大徳寺塔頭・聚光院』聚光院編		淡 交	724

『大仏破壊』高木徹著	中西 寛 朝 日	3.27							
『高尾山薬王院文書を紐解く』村上直編著	西海 賢二	地方史研究	318						
『立ちどまって』李禹煥著	吉井 由吉	日 経	1.23						
『立山曼荼羅—絵解きと信仰の世界—』福江充著	西海 賢二	地方史研究	318						
『田辺写真館が見た“昭和”』田辺聖子著	川本 三郎	日 経	6.12						
『だれが源氏物語絵巻を描いたのか』皆本二三江著	山折 哲雄	〃	8.21						
『タンタンとエルジェの秘密』セルジュ・ティスロン著、青山勝・中村史子訳	堀江 敏幸	毎 日	6.26						
『断片からの世界美術稿集成』種村季弘著	高島 直之	東 京	9.25						
〃	川本 三郎	毎 日	11.6						
『知覚の宙吊り—注意、スペクタクル、近代文化』ジョナサン・クレアリー著、石谷治寛・大木美智子・橋本梓訳	平田 知久	10 + 1 *	41						
『筑前御抱え絵師』小林法子著	狩野 博幸	デアルテ	21						
『中国芸術光と闇』王凱著		新美術新聞	1053						
『中国古代の民俗と文化』桐本東太著	齋藤 道子	歴史学研究	802						
『中国城郭都市社会史研究』川勝守著	高村 雅彦	史学雑誌	114-3						
『中国の埋められた銭貨』三宅俊彦著	高木 久史	歴史と地理	590						
『中世花押の謎を解く—足利将軍家とその花押—』上島有著	五味 文彦	〃	582						
『中世寺院の姿とくらし 密教・禅僧・湯屋』国立歴史民俗博物館編	高橋 一樹	歴 博	128						
『中世寺院の僧団・法会・文書』山岸常人著	藤井 恵介	建築史学	45						
〃	衣川 仁	日本史研究	516						
〃	西岡 芳文	日本歴史	691						
〃	井原今朝男	歴史学研究	806						
『中世総合資料学の提唱』前川要編	大田 高祐	古代文化	554						
『中世東国日蓮宗寺院の研究』佐藤博信著	黒田 基樹	歴史学研究	798						
『中世和歌とその時代』谷知子著	山崎 桂子	国語と国文学	985						
『長江文明の探求』梅原猛・安田喜憲・稲盛和夫監修	又吉 栄喜	産 経	1.30						
『芋麻・絹・木綿の社会史』永原慶二著	綿貫 友子	歴史研究	42						
『珍寺大道場』小嶋独観著	都築 響一	朝 日	1.23						
『テヅカ・イズ・デッド ひらかれたマンガ表現論へ』伊藤剛著	吉田 大助	STUDIO VOICE	360						
〃	中条 省平	朝 日	11.13						
〃	竹熊健太郎	産 経	11.6						
〃	宮本 大人	毎日夕刊	10.20						
『出羽の古墳時代』川崎利夫編	渡部 育子	日本歴史	687						
『「伝統」とは何か』大塚英志著	篠 雅廣	産 経	2.6						
『ドイツにおける〈日本=像〉—ユーゲントシュティールからバウハウスまで』クラウディア・デランク著、水藤龍彦・池田祐子訳	林 洋子	美術フォーラム21	11						
『東京美術骨董繁盛記』奥本大三郎著	丸谷 才一	毎 日	7.3						
〃	(清)	読 売	5.8						
『東京焼 自作自論』中村錦平著	北澤 憲昭	美術手帖	872						
『塔と仏堂の旅 寺院建築から歴史を読む』山岸常人著	松本 裕介	建築史学	45						
『時の震え』李禹煥著	前川佐重郎	朝 日	3.6						
『都市江戸への歴史視座—大江戸八百八町展・武家拝領地・江戸首都論—』竹内誠監修、大石学編	加藤 貴	地方史研究	315						
〃	石山 秀和	立正史学	98						
『都市と娯楽—開港期〜一九三〇年代—』奥須磨子・羽田博昭編著	田中 裕二	地方史研究	313						
『都市の記憶Ⅱ 日本の駅舎とクラシックホテル』鈴木博之・増田彰久・小沢英明・吉田茂・オフィスビル総合研究所著	窪田 直子	日 経	8.7						
『都市の空間史』伊藤毅著	仁木 宏	歴史学研究	798						
『都市平安京』西山良平著	市川 理恵	日本史研究	520						
〃	北村 優季	日本歴史	682						

平成17年定期刊行物所載文献(他/書評)

『土門拳の格闘』岡井 耀毅著	小高 賢 朝 日	12.4	『日本と渤海の古代 史』佐藤信編	石見 清裕	古文書研 究	60
〃	平木 収 日 経	9.25	『日本の「自画像」 1945—1964』マーク ・フューステル編	岡井 耀毅	学 鏡	102-2
『鳥居龍藏伝』中茵英 助著	〃	11.20	『日本の博覧会 寺 下勅コレクション』 別冊太陽編集部編	山下 裕二	朝 日	2.20
『中味の無い人間』ジ ョルジュ・アガンベ ン著、岡田温司・岡 部宗吉・多賀健太郎 訳	平田 知久	10 + 1 *	41	『日本横穴墓の形成 と展開』池上悟著	近野 正幸	立正史学 98
『中村屋のボース』中 島岳志著	長崎 暢子	日 経	5.15	『ニューヨーク美術 案内』千住博・野地 秩嘉著		読 売 10.30
『名古屋と金シャチ』 井上章一著	高千穂 遙 産 経	3.6	『ぬりえ文化』金子マ サ著		〃	9.17
『奈良絵本・絵巻の 生成』石川透著	三角 洋一	国語と国 文学	983	『ネクスト・ソサエ ティ』P. F. ドラッ カー著、上田惇生訳	工藤 青石	A X I S 113
『なんでもやってみ よう 私の写真史』 細江英公著	飯沢耕太郎	東 京	12.11	『猫と小石とディア ギレフ』福原義春著		朝 日 1.9
『南都仏教史の研究』 遺芳編、堀池春峰著	菊池 大樹	仏教史学 研究	47-2	『イサム・ノグチ(上 ・下)』ドウス昌代 著		日 経 10.23
『「二重言語国家・日 本」の歴史』石川九楊 著	芹沢 俊介	東 京	11.6	『廃墟の前衛』桂川寛 著	門田 秀雄	あいだ 113
『2000年後の冒険ミ ュージアム』柴川敏 之編著		ド ー ム	81	『ハイデガー拾い読 み』木田元著		芸術新潮 662
『二代目市川团十郎 一役者の氏神』田 口章子著	佐藤 知乃	浮世絵芸 術	150	『幕藩権力と寺院・ 門跡』杉田善雄著	澤 博勝	日本史研 究 511
『ニッポン・プロダ クト』日本インダス トリアルデザイナー 協会監修	石井 芳征	デザインの 現場	140	『博物館の誕生』関秀 夫著	木下 直之	産 経 8.21
『日本絵画の見方』榎 原悟著	三浦 篤	読 売	3.13	〃		日 経 6.26
『日本絵画名作101 選』辻惟雄・小林忠 ・河野元昭監修		日 経	2.27	〃	木下 直之	〃 9.4
『日本近代建築の歴 史』村松貞次郎著		〃	6.5	『白鳳天平時代の研 究』松尾光著	荻木 美行	日本歴史 684
『日本幻獣図説』湯本 豪一著		〃	8.21	『八森遺跡 先史編 ・先史図録編』佐藤 禎宏・大川貴弘著	渋谷 孝雄	山形県埋 蔵文化財 センター 研究紀要 3
『日本建築技術史の 研究—大工道具の発 達史』渡邊晶著	佐々木昌孝	建築雑誌	1531	『HAPTIC 五感の覚 醒』株式会社竹尾編、 原研哉・日本デザイ ンセンター原デザイ ン研究所企画・構成		芸術新潮 662
『日本古代宮都構造 の研究』小澤毅著	古市 晃	日本史研 究	516	『原っぱと遊園地』青 木淳著	鷺田 清一	朝 日 1.9
『日本古代金石文の 研究』東野治之著	森 公章	日本歴史	681	『巴里・印象派・日 本』吉川節子著		日 経 6.19
『日本古代地方寺院 の成立』三舟隆之著	内藤 亮	歴史評論	666	『パリ・キュリイ病 院』野見山暁治著	安倍 寧	朝 日 1.9
『日本古代の格と資 財帳』川尻秋生著	小倉 慈司	史学雑誌	114-2	『バリー九〇〇年・ 日本人留学生の交遊 』パンテオン会雑誌、 資料と研究』パンテ オン会雑誌、研究会 編、高階秀爾監修	真銅 正宏	国語と国 文学 983
『日本古代木簡集成』 木簡学会編	亀谷 弘明	日本歴史	690			

— 315 —

『フランシス・ペイ コン』マイケル・ペ ビアット著、夏目幸 子訳	芸術新潮	664							『宮大工千年の「手と 技」』松浦昭次著	産 経	2.6
〃	榎木 野衣	日 経	4.3						『宮大工棟梁・西岡 常一「口伝」の重み』 西岡常一著	加藤 千洋 朝 日	5.15
『フルクサスとは何 か』塩見允枝子著	森 司 東 京	12.11							〃	吉田 直哉 読 売	5.29
『文化的景観を評価 する 世界遺産富山 県五箇山合掌造り集 落の事例』垣内恵美 子著	日高健一郎	日 経	8.7						『宮本常一写真・日 記集成』宮本常一著	飯沢耕太郎 毎日夕刊	8.4
『平安時代貴族住宅 の研究』飯淵康一著	藤田 勝也	建築史学	44						『明末清初の出版文 化(研文選書92)』大 木康著	村上 正和 史学雑誌	114-2
『平家と福原京の時 代』歴史資料ネット ワーク(史料ネット) 編	谷口 榮	地方史研 究	318						『ムーサの贈り物 ドイツ編』喜多尾道 冬著		朝日夕刊 2.28
『北京遷都の研究— 近世中国の首都移 転』(汲古叢書55)新 宮学著	大田由紀夫	史学雑誌	114-7						『夢窓疎石 日本庭 園を極めた禅僧』枡 野俊明著	日 経	5.1
『ボイスから始まる』 菅原教夫著	浅沼 敬子	美術手帖	862						『紫の雨』福井爽人著	大矢 鞆音 新美術新聞	1050
〃		産 経	1.10						『室町王権と絵画 初期土佐派研究』高 岸輝著	並木 誠士 美術研究	386
『僕の叔父さん 網 野善彦』中沢新一著	小高 賢	〃	2.27						『明治・大正図案集 の研究—近代にいか された江戸のデザイ ン』樋田豊次郎・横 溝廣子編集	大熊 敏之 美術フォー ラム21	11
『細谷巖のデザイン ロード69』細谷巖著	藤崎圭一郎	デザインの 現場	138						『木造建造物の保存 修復のあり方と手 法』独立行政法人文 化財研究所奈良文化 財研究所発行	安田 徹也 建築雑誌	1534
『墓標の民族学・考 古学』朽木量著	西海 賢二	地方史研 究	316						『「モナ・リザ」ミス テリー』北川健次著		朝 日 2.27
『ボルソ・デステと スキファノイア壁 画』京谷啓徳著	浦上 雅司	デアルテ	21						〃	梶山 龍介 産 経	1.17
『前川國男—賊軍の 将』宮内嘉久著	陣内 秀信	朝 日	10.9						『物語 大英博物館』 出口保夫著	佐藤 由紀 毎日夕刊	6.27
〃	鈴木 博之	日 経	10.16						『モンゴルにおける 都市建築史研究—遊 牧と定住の重層都市 フホト』包慕萍著	深見奈緒子 建築史学	45
〃	御厨 貴	毎 日	10.30						『柳田國男の絵葉書』 田中正明編		日 経 7.10
〃	中川 理	読売夕刊	9.27						『柳宗悦—時代と思 想』中見真理著	筒井 正夫 日本歴史	682
『町に住まう知恵— 上方三都のライフ スタイル』谷直樹著	伊藤 毅	建築史学	45						『山本丘人 著作と 画談集』平岡栄二編	高岡 忠雄 新美術新聞	1061
『「間取り」で楽しむ 住宅読本』内田青蔵 著	生田 誠	産 経	2.6						『唯美主義とジャパ ニズム』谷田博幸著	小野 文子 ジャポニ スム研究	25
『マンガ学への挑戦』 夏目房之介著	宮本 大人	毎日夕刊	3.17						〃	林 洋子 美術フォー ラム21	11
『マンガの深読み、 大人読み』夏目房之 介著	〃	〃	〃						『夢・現・記』池田龍 雄著	[理] jaic会報	2
『マンガは今どうな っているのか?』夏 目房之介著	〃	〃	10.20						『ヨーロッパ 生と 死の図像学』馬場恵 二・三宅立・吉田正 彦編	神品 芳夫 駿台史学	124
『三つの教会と三人 のプリミティブ派画 家』J・K・ユイス マンス著、田辺保訳	川村 二郎	読 売	10.16								

『吉阪隆正とル・コ
ルビュジエ』倉方俊
輔著 飯島 洋一 日 経 10.9

『リトルボーイ 爆
発する日本のサブカ
ルチャー・アート』
村上隆編著 ドー ム 80

『良寛』栗田勇著 山折 哲雄 日 経 5.1

『琳派模様—近代図
案コレクション』古
谷紅麟・神坂雪佳・
中村芳中他著 (才) 毎 日 10.30

『ルイ14世—作られ
る太陽王—』ピータ
ー・パーク著、石井
三記訳 正本 忍 史学雑誌 114-7

『Lucie Rie ルーシ
ー・リーの陶磁器た
ち』エマニュエル・
クーバー編、刈茅由
美訳 (前) 読 売 4.24

『ルネサンスの工学
者たち レオナルド
・ダ・ヴィンチの方
法試論』ベルトラン
・ジル著、山田慶兒
訳 芸術新潮 669

『レンブラントと和
紙』貴田庄著 津野海太郎 芸術新潮 665
" 日 経 4.24

『路上観察学入門』赤
瀬川原平・藤森照信
・南伸坊著 和田 精二 A X I S 116

『ロダン事典』フラン
ス国立ロダン美術館
監修 日 経 4.17

『ロラン・バルト著
作集7 記号の帝
国』ロラン・バルト
著、石川美子訳 清水 克雄 朝日夕刊 2.1

『ロンドンの小さな
博物館』清水晶子著 佐藤 由紀 毎日夕刊 6.27

海外刊行書

Ayako HOSODA, Da-
rstellungen der Pa-
rabel von barmher-
zigen Samariter, Mi-
chael Imhof Verlag,
Petersberg, 2002 渡辺 和子 オリエン
ト 48-1

Andreas Ruby, Spoil-
ed Climate, Birk-
häuser, Basel, 2003 長谷川祐子 A X I S 113

Birgit RECKI, Äs-
thetik der Sitten :
Die Affinität von äs-
thetischem Gefühl
und praktischer Ver-
nunft bei Kant, Vi-
torio Klostermann,
Frankfurt am Main,
2001 鈴木 賢子 カリスタ 12

『英蔵黒水城文献1』
西北第二民族学院・
上海古籍出版社・英
国国家図書館編纂、
二〇〇五年 西田 龍雄 東洋学報 87-3

『近現代金石書画家
潤例』王中秀・茅子
良・陳輝編著、上海
画報出版社、二〇〇
四年 松村 茂樹 中国近現
代文化研究 8

『從撒馬爾干到長安
—粟特人在中国的文
化遺迹』榮新江・張
志清主編、北京圖書
館出版社、二〇〇四
年 辻 正博 東洋史研
究 64-1

『鐘鈴象徵文化論』庚
華著、遼寧民族出版
社、二〇〇四年 石田 肇 梵 鐘 18

『中国古鐘史話』于汝
著、中国旅游出版
社、一九九九年 " " "

『皇龍寺の造営と王
権』梁正錫著、書景、
二〇〇四年 中西 章 建築雑誌 1540

時 評

前年度分

Art Top Critical
Words アー
ト
ト
ッ
プ

10月・11月の展覧
会から 野地耕一郎 201

前衛から伝統へ 岸 桂子 "

「痕跡という身振
り」—12月・1月
の展覧会から— 野地耕一郎 202

アートで語る記憶 岸 桂子 "

「求心と拡散」—2
月・3月の展覧会
から— 野地耕一郎 203

展覧会を変える美
術の視点 岸 桂子 "

2004年の県内美術界 渋谷 重弘 秋田美術 41

新美術時評 新美術新
聞

「若冲ブーム」のゆ
くえ インターネ
ットの功罪 山下 裕二 1046

「やりっ放しの20
世紀から回収・定
着の21世紀へ」 長谷川祐子 1047

美術市場レーダー
157 2004年展覧会
の地政学的観察 瀬木 慎一 " 1048

巻頭特集 2005年上
半期美術界徹底ガイ
ド 2004年美術界重
大ニュース 美術の窓 257

当年度分			“税立美術館”よ、 何処へ往く？			林 紀一郎		
Art Top Critical Words	ア ー ト ト ッ プ		すべてが潰れ、焼 きつくされ、その 灰の中からこそ新 しい芽が出てくる			堀 浩哉		
「地道な創作活動 が、いま」—4月 ・5月の展覧会か ら—	野地耕一郎	204	日常生活に生きて いる「美」の発掘か ら			米倉 守		
「非主流派」に光を 当てる	岸 桂子	〃	この1年 2005 美 術 文化行政の迷走 と微かな可能性 公 共施設の民間委託加 速 イベントでは独 自の試み			藤田 一人 東 京 12.10		
「偉才(異才)たち の筆遣い」—6月 ・7月の展覧会か ら—	野地耕一郎	205	回顧2005 美術 聖 域なき改革に揺れる			白木 緑 日 経 12.19		
木を使った表現— 3人のそれぞれ—	岸 桂子	〃	この一年			毎日夕刊		
「喪失と生成」—8 月・9月の展覧会 から—	野地耕一郎	206	マンガ 媒体、読 者の選択眼、ジャ ンル… 枠を超え る広がり			村上 知彦 12.7		
総括春の大型展 多 かった洋モノ企画 大入りゴッホ 続く 「ルーヴル展」 健闘 ラトゥール	新美術新聞 1058		写真 「踊り場」脱 却の兆しも一特筆 される杉本博司展			飯沢耕太郎 12.13		
秋の主な大型展を総 括する 上野の山で 「ブーシキンVS北 斎」一騎打ち 新規 の九州博「美の国 日本」展は44万人超	〃 1075		考古学 高松塚 「石室解体」の痛み 一問われる「文化 財保護とは」			佐々木泰造 12.19		
特集 2005年の美術 界をふり返る	〃 〃		美術 戦後の見直 しに成果 逆境を はね返した川俣正			三田 晴夫 12.20		
東アジア発のアー ト、文化を育てる 動き	石川 健次		建築 京都迎賓 館、小建築に救い —「耐震偽装」の苦 さの中で			鈴木 博之 12.21		
民営化はチャンス にも 大きな転換 期を迎えた美術館	後小路雅弘		回顧2005 美術 大 衆化果たした展覧会 海外発信へ批評に厚 みを			前田 恭二 読売夕刊 12.7		
効果的なシステムの 再構築 近代美 術史の書き直し	宝木 範義		回顧2005 文化財 高松塚古墳痛々しい 姿 保護の理念再確 認して			片岡 正人 〃 12.8		
法人化優遇が招く 美術団体の非自由 化	瀧 悌三		写真この一年 杉本 博司 質と奥行き			前田 恭二 〃 12.9		
万博で美術が主役 を演ずるなんてこ とは夢のまた夢か	武田 厚		受賞・美術賞					
制度的問題の外部 で働いている本当 の充実した時間や アート	谷 新		芸術新潮特別企画 シェル美術賞 2005 グランプリ決定!! 前進し続ける、平面 表現のために。			芸術新潮 672		
「本質的なものを 作れ」制作の営 為だけが何かを生 んでいく	千葉 成夫		現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 世界文化賞受賞者決 まる			美術の窓 267		
引き籠もりの時代 はもう終わっても 良いのでは	中村 隆夫							

熱い語りあり、コスプレあり… 手塚治虫文化賞贈呈式 受賞者あいさつ、会場沸かせる

小原 篤 朝日夕刊 6.8

美術市場

特集 アートフェア東京でアートを買う！

編集部 ギャラリー 244

アートフェア東京へアートを買いにいこう！

" "

アートフェア東京いよいよ始まった日本のアートフェア入場者は2万8212人

" 245

美術市場リーダー156、158～162

瀬木 慎一 新美術新聞 1045、1051、1054、1057、1060、1063

新たにマレットオークションが発足 元MAAの高橋智明氏が立ち上げ 7・15に記念オークション開催へ

" 1061

元時代の染付け壺、32億円で落札 東洋美術で史上最高額、クリスティーズ・ロンドン

" 1064

美術関連業者では初!! シンワアートオークション「ヘラクレス」に株式上場! 美術業界にどのような風が吹くか?

美術の窓 260

巻頭特集 2005年下半期美術界徹底ガイド 第1回アートフェア東京

" 263

スペシャル座談会 東美アートフェアの新しい出発

岡崎 守一、川田 哲也、郡司 茂、浦上 満、味岡 一郎、林 利彦、対談 建二司会

" 265

特別レポート ニューヨーク最大のアジア美術フェア 本場のアートフェアに行こう

目の眼 347

骨董とインターネット～古美術専門サイトで安心のお買い物～

編集部 " "

Report アートフェア～現代美術との協調

" " 350

銀座ギャラリー日記 栗田 玲子 朝日夕刊

古典版画をめぐる「変化」 6.30

広がるアート・マーケット 7.7

ネット取引、新たな仕組みを 7.14

縦横コラム 画廊街版画取り引きやっと上向き 田中 三蔵 " 8.5

時価 時代の欲望映す絵の値段 山盛 英司 " 10.28

美術品競売市場 200億円規模に急拡大 7年前の5倍 主役は個人マネー 産 経 10.17

オークション、身近に 50代男性、参加目立つ アートで生活に彩り まずカタログ参考、下見を 野村 義博 日 経 5.15

美術品市場 オークションが活況 価格に透明性 個人も関心 余裕資金で長期投資を " " 11.13

美術館・博物館・画廊

一般

傷ついた美術史 連載32 視覚障害者と美術館 小泉 晋弥 アート 201

AT202 Remarkable PERSON アートを通じたコミュニケーションの可能性 “対話型”鑑賞教育プログラムを考案したアメリカ・アレナス " 202

傷ついた美術史 連載37 「改革」旋風と美術館・博物館 小泉 晋弥 " 206

美術館の密かな楽しみ方 (sy) アートペーパー 64

美術館の周縁 いつか、誰かのために 岸野 裕人 ART RAMBLE 7

指定管理者制度の問題 河崎 晃一 ARTLET 23

「外部」との架橋へー美術史学会東支部シンポジウム「美術館・博物館の新たな公共性を求めてー指定管理者制度・NPO・地域社会」傍聴記 木方 幹人 あいだ 113

平成17年定期刊行物所載文献(他/美博)

展覧会はいつまで可能か?	田中 正之 あ い だ	117	不可視のギャラリー	ヤロスワフ・スーハン	国立国際美術館月報	149
文庫への提言・随想 市民に開かれた博物館をつくる	小山 修三 池田文庫	26	美術館の可能性	建 昌 哲	"	151
美術館・博物館「冬の時代」打開に向けた展望	村瀬 博春 石川県立美術館紀要	15	1920年代ロシア極東の博物館研究活動発展史	N. N. ルーバン	国立民族学博物館研究報告	29-4
特集 地方美術館の連携	石見美術	3	第三部 博物館を活用した学びの環境と方法のデザイン		国立民族学博物館調査報告	56
共同研究 文化庁平成16年度芸術拠点形成事業「石見地方における美術館運営に関する共同研究」について			博学提携と博物館教育の今日的課題—近代学校の問題点を越えて—	小笠原喜泰		
〈事例報告3〉いわみ美術回廊の歩みと活動	神 英雄		経験のパブリッシング	上田 信行		
共生のダイナミズム	足立 明男		時間と歴史表象 ミュージアムにおけるその表現の試み/阪神大震災を中心として	寺田 匡宏	国立歴史民俗博物館研究報告	121
開館十五周年記念シンポジウム「地域と博物館」概要報告(抄)	木村 至宏、上原 恵美、松浦 俊和	大津市歴史博物館だより 61	立ちこめる記憶の重さ ドイツ・ポーランド・イギリスのミュージアムにおける戦争	"	"	"
変革の時代と美術館 続・新美術館の窓から その1	大川 栄二 ガ ス 燈	65	アメリカの美術館と緑茶文化	鈴木 一彦	斎田茶文化振興財団紀要	5
[平成15年度特別奨励研究報告]博物館(ミュージアム)における展示環境の位置づけとその運営について	角谷 修 金沢美術工芸大学紀要	49	大正十一年平和記念東京博覧会における埼玉県展示について—埼玉県博物館発達史の研究2—	宮瀧 交二	埼玉県立博物館紀要	30
特集 都市と文化環境 文化への社会的投資が、都市の競争力を培う	松葉 一清、津田 雅人、聞き手	Cultivate 26	学校との連携事業に関する考察—千葉市美術館での実践をふまえて	山根 佳奈 採 蓮*	8	
連載ミュージアム・マーケティング講座 第3回「マーケティング発想によるミュージアムの活性化」	井関 利明	" "	レポート 韓流で行く博物館・遺跡めぐり	田平 徳栄	佐賀県立博物館・美術館報	135
歴史民俗専門職員研修会に参加して2(報告)	山里 克也 久米島自然文化センター紀要	5	災害対策チェックシート of 作成を終えて	日比野秀男、清水 秀男、萩原 美広、田中 之博、今田 徹、飯田 真、友田 千恵	静岡県博物館協会研究紀要	28
[在外研修報告]イギリスでの研修を終えて—ホワイトチャペル・アートギャラリーおよびエンゲージでの経験から	蔵屋 美香 現代の眼	552	災害における文化財被害の実態と救済活動について—福井・伊豆の文化財被災報告	友田 千恵	" "	"
特集 生活環境のリストラクチュアリング 施設と地域の再構築 エコミュージアムと高齢者施設にみる	大原 一興 建築雑誌	1533	視座 指定管理者制度	菅野 和郎 S H Ū	24	
			各自治体の美術館現場で対応に苦慮「指定管理者制度」の導入をめぐる		新美術新聞	1045

2004年展覧会入場者数ベスト30 創造の諸相を見せた「マティス展」がトップ 森美術館の草間彌生展は52万人		"	1046	総合司会木下直之	木下 直之 談		
全国博物館園アンケート調査 入館者は減少、学校週5日制で子供無料は6割に	(美)	"	1051	報告1 変わる美術館制度～指定管理者制度下の新しい美術館マネジメントの課題	小松崎拓男 談		
市町村合併で変わる公立美術館	"	"	1052	報告4 指定管理者制度の概要と今後の展望～現代のパトロンは誰か	小林 真理 談		
全国美術館会議 第20回学芸員研修会開催 指定管理者制度を緊急テーマに多角的に討議	"	"	1053	特集2 美術史学会東支部大会シンポジウム 美術館・博物館の新たな公共性を求めて—指定管理者制度・NPO・地域社会 総合討議	黒沢 伸、 清水 実、 小林 真理、 小池田 修、 小松崎拓男 談 誠	"	"
2005美連協総会開かれる 加盟は116館に		"	1059				
第54回全国美術館会議総会開かれる 厳しい環境下新たな美術館像を模索		"	1061	特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 広報編 神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 箱根・小田原・足柄・真鶴・熱海ミュージアム・ラリーマップ。+ミュージアム・ラリースタンプブック 二〇〇三十二〇〇四年度文化庁拠点形成事業			
博物館と著作権	岡村 豊	玉川大学 教育博物館 館報	2				83
ヨーロッパとアメリカ合衆国における美術館・博物館のサイン計画に関する実態調査—美術館・博物館におけるサイン計画の指針構築に関する研究—	田中佐代子	筑波大学 芸術研究 報告	45				
博物館情報論の講義をふりかえって	榊原 聖文	東京家政 学院生活 文化博物 館年報	15	活動報告 徳島県立近代美術館における「鑑賞教育推進プロジェクト」の活動と鑑賞シートについて—美術館と学校教育の連携の視点から	森 芳功	徳島県立 近代美術 館研究紀 要	7
研究ノート：荒木貞夫と「国家の興隆と博物館の重要使命」について	後々田寿徳	東北芸術 工科大学 紀要	12	鑑賞ガイド開発のデザイン—実践論報告	竹内 利夫	"	"
連載「モノの力」・「もどく力」—ミュージアム・キットの効用—6(最終回) 視覚・触覚・体験覚 ミュージアムキットの意味って何だろうか。	藤田 千織	ドーム	78	研究報告 博物館に未来はあるか	郷道 哲章	長野県立 歴史館研 究紀要	11
特集1 美術史学会東支部大会シンポジウム 美術館・博物館の新たな公共性を求めて—指定管理者制度・NPO・地域社会 ようやく産みの苦しみをともなうミュージアムが出てくる時代に		"	81	1980年代におけるわが国の大規模公立科学館の設置と役割の変化	馬淵 浩一 堀越 哲美	日本建築 学会計画 系論文集	588
				時評 指定管理者制度から考える公立博物館の存続問題	瀧端真理子	日本史研 究	511
				博物館と日本史 座談会 博物館の現状と将来	市川 寛明、 小島 道裕、 水藤 真、 戸高 一成、 藤田 励夫、 宮瀧 交二、 中村 順昭、 深井 雅海 司会	日本歴史	680

博物館と日本史 アンケート 私の選ぶ図録・展示

林 雄史
仁 敏夫
藤 敏文
筑 金孝
福 文彦
横 史
原 晋
永 秀雅
小 貞弘
寺 隆正
西 隼正
山 研一
斉 俊文
矢 隆幸
河 一
野 弘
島 幸
志 諄
脇 修
榎 英
吉 芳
藤 正
高 行
野 信
落 一
佐 弘
藤 能
畑 光
川 健
浪 健
額 治
田 裕
木 朗
藤 重
原 雄
西 文
榎 寛
村 之
高 人
大 弥
眞 幸
下 学
有 智
青 男
木 厚
西 博
山 一
松 弘
川 樹
宮 太
野 幸
伊 繁
藤 雅
松 樹
本 茂
堀 樹
工 隆
藤 志
須 川
内 俊
一 也
ノ 瀬
本 宏
村 祐
井 義
岩 光
原 朝
中 今
武 奈
香 美
高 英
島 之
湯 治
浅 久
千 和
々 到
畑 尚
山 浩
家 樹
沢 和
池 寿
田 昭
小 昭
高 順
中 徹
野 目
目 直
安 哉
達 紳
柴 孝
田 之
佐 雅
藤 海
深 敏
井 信
黒 一
嶋 信
村 太郎
藤 健
森 良
田 哲

日本歴史 680

二〇〇五年度前期
全国博物館企画展案
内

683

二〇〇五年度後期
全国博物館企画展案
内

689

随筆 助け合う心

山口 松蔵 博物館研究

440

鼎談「市民とともに
創る博物館」(1)
(2)

竹内 誠
江 喜
竜 之
布 知
谷 夫

441、442

丸の内だより 平成
17年度 文部科学省
・文化庁における博
物館振興施策の概要
について

441

巻頭言 青少年を美
術館に呼び込もう

辻村 哲夫

443

市民とともに創る博
物館—なぜ、ボラン
ティア制度を導入す
るのか—

石川 昇

444

巻頭言 博物館に求
められていること

横山 秀樹

445

巻頭言 日博協の再
生・強化について～
「博物館 冬の時代」
を共に乗り切るため
に～

中川 志郎

447

指定管理者制度につ
いて

五十嵐耕一

448

指定管理者制度と公
立博物館

寺西 貞弘

449

巻頭言 博物館にお
ける高齢者への対応

鈴木 隆雄

450

巻頭言 平成16年度
博物館総合調査を実
施して

飯田 浩之

451

随筆「チャングムの
誓い」と企画展示

黒田日出男

452

一人のお客さんとし
て扱ってほしい!—
中学・高校生アンケ
ートに寄せられた声
から—

百瀬 新治

453

巻頭言 緩慢なる市
民革命

建畠 哲

454

随筆 現代社会と博
物館

青柳 正規

455

巻頭言 歴史の舞台
(博物館)

杉谷 昭

456

随筆 “自分の眼で
観て楽しむところ、
それが博物館”

西川杏太郎

457

学芸員トーク「子供
と美術館」

PATIO 21

平成十六年度シンポジウム「美術館・博物館はなぜ必要か？」

美術史 158

開催趣旨	美術史学会 美術館博物 館委員会 編		
報告五 美術館・博物館が必要なものとなるために	山田 論		
報告六 「美術館・博物館はなぜ必要か？」を考えるために	貝塚 健		
報告七 ミュージアムは世界を変える	吉田 憲司		
報告八 補遺二点	井上 明彦		
総合討議総括 シンポジウム討議の総括と問題点—学芸員の専門性と「価値」の創出について	小勝 禮子		
ミュージアムX Vol.7 美術館にみる国家の文化戦略 独立行政法人化によって国立美術館はどう変わったか	暮沢 剛巳	美術手帖	859
特集 「アーティスト」になる基礎知識 現代美術を駆動しつづける貸画廊の盛衰	村田 真	〃	861
ミュージアムX Vol.8 文化財を災害からどう守るか ミュージアムの地震対策と免震装置のいま	暮沢 剛巳	〃	〃
Vol.11 ミュージアム・シンクタンクという存在			864
特集 ドイツの現代美術 ケルンのアートシーンから	安藤由佳子	〃	872
特集 崩壊する？「美術館」—問われる美術史学の社会性	小勝 禮子	美術フォーラム21	11
1 西欧におけるミュージアムの誕生と展開	馬淵 明子		
2 文化財保護と博物館	鈴木 廣之		
3 政治のなかの博物館—明治から昭和初期の博物館政策を通して	金子 淳		

4 西欧のミュージアム思想と日本の「博物館」 松宮 秀治

5 アジアの新たな関係性の構築に向けて—国際交流基金アジアセンターの活動 古市 保子

6 コレクションの思想—日本の美術館の現場から 山田 論

7 日本における美術館教育の現状と可能性 並木 誠士

8 観客から見た美術館—美術館は、社会の弱者の立場に立つことができるのか 森 理恵

9 ヘルシンキ・ヒューマン・ミュージアム 吉岡 洋

仲介の感性論 〃 〃

鑑賞教育再考—学校と美術館を取り結ぶもの 福本 謹一

事例研究1 美術館教育の動向と課題—美術館をめぐる考える美術の使い方 齋 正弘

論文1 第三の領域“キュレーション”がめざすもの—〈見せる〉意義を語る場をつくる 赤木里香子
山口 健二

論文3 学校と美術館との連携から見えてくること ふじえみつる

論文4 美術教育における鑑賞学習をメデイエートする教育的想像力 福本 謹一

ヴィジュアル・エデュケーション5 教育的な場としての展示 中谷 至宏 12

海外博物館事情 非文字資料研究

アメリカ 博物館・美術館・大学図書館・暴力のあと 富澤 達三 7

ロシア 自由と想像—ロシアの博物館展示が教えるもの— 穆愷 黛絲 8

コンゴ コンゴ国立美術館研究所(IMNC) ムンシロジエヴァンジラ 9

平成17年定期刊行物所載文献(他／美博)

コラム 同時代を見る 眼と博物館	丸山 泰明	非文字資料研究	9	〈報告〉教職員のための 博物館利用ガイド ブックについての試 案—エデュケーター (学校支援担当)業務 の中間報告として—	荻原 兼光	〃	〃	
海外博物館事情 オーストラリア 文化展示への模索	サイモン ジョン	〃	10					
「美術」と「アート」— 美術館の昨今	(Mi)	HILL WIND	8	展覧会企画とプレゼン テーション	山田 磯夫		横浜美術 短期大学 教育・研 究紀要	2
海外アート事情 テロ、 災害……跳ね上る輸送クレート代	今津 京子	美連協ニ ュース*	86	ナチス遺跡の新展示 館を見る	平田 哲男		歴史地理 教育	681
展示公開施設の館内 環境調査報告—平成 15年度—	石崎 武志 佐野 千絵	保存科学	44	文学系博物館小考	駒見 和夫		和洋国文 研究	40
博物館のコレクション は何を物語るのだ ろうか—文化人類学 研究としての博物館—	出利葉浩司	北海道開 拓記念館 だより	34-4	特派員メモ ベルリ ン しやれた長い夜	能登 智彦	朝 日		3.1
博物館の地質部門に おける小中学校への 支援	串間 研之 松田 清孝 山本 琢也	宮崎県総 合博物館 研究紀要	26	博物館経営 自ら評 価基準作り活用を	水嶋 英治		〃	4.16
博物館としてのブラ ンドについて	鬼頭 智美	MUSEUM	595	水／地平線 美術館 はだれのもの？	江木 慎吾		〃	4.17
老博物館学徒のver- tigo(めまい)	倉田 公裕	ミュージ アム・デ ータ	68	公の美術館 民が参 入 指定管理者制度 始まる コスト削減 へ管理委託 学芸員 には危機感も	山盛 英司 西田 健作		〃	4.27
博物館から「えこ」ミ ュージアムへ	糸魚川淳二	〃	〃	探究 国立美術館・ 博物館今後の展開 やみくもな効率化に 懸念	田中 三蔵		〃	5.12
シンポジウム報告— 『博物館の可能性』		〃	69	美術館はイベント会 場化 効率重視 都 の文化施設	西田 健作		〃	5.18
基調講演1：多様 化する博物館	布谷 和夫			be between テー マ：ミュージアム 夜間の開館や混雑情 報を	牧村健一郎		〃	5.21
基調講演2：「新 しい博物館像の構 築」—博物館の将 来像について—	里見 親幸			デザイン・ミュージ アム続々 六本木・ アキバ進む再開発	西田 健作		〃	9.27
美術館とコレクション の現在	宮崎 法子	MUSE- OLOGY	24	探究 国立美術館・ 博物館の行方 やみ くもな効率化は危険	田中 三蔵		〃	11.10
《特集・日本の地域 博物館シンポジウム 2》博物館人と地域 その2—第2回日本 の地域博物館シンポ ジウムについて—	吉田 優	MUSE- OLOGIST	20	時時刻刻 国立美術 館・博物館 激論 文化が効率か 小原 流「民間開放を」	〃		〃	12.8
博物館教育法につい ての問題提起—実物 資料の観察を不可欠 とする教育論への展 望—	外山 徹	明治大学 博物館研 究報告	10	美術館素朴なクエス ション	安村 敏信		朝日夕刊	
資料 海外のユニバ ーシティ・ミュージ アム(北米編)	伊能 秀明 織田 潤	〃	〃	Q巡回展の開催地 はどう決まるの A学芸員の交流か らも				1.6
〈報告〉平成一六年度 「地域子ども教室推 進事業」実施の記録 —体験学習室・図書 閲覧室利用の活性化 の試み—	小林 紀子	横浜市歴 史博物館 紀要	9	Q学芸員になるに は A一生つきあ える分野を				1.13
				Q写真撮影なぜ禁 止 A画像流用を 防ぐため				1.20

Q入場料はどう決まる A時流によっても変化			1. 27	from 文化施設の使命	上原 恵美 産 経	3. 18
Q美術品の価格どう決まる A館の買値基準のひとつ			2. 3	企画・迅速さ“脱官僚”変わった!?国立美術館・博物館「サービス先行」危機研究費削除は慎重に	岡本 耕治	8. 31
Q贋作を見分けるには A複雑な古美術の真贋			2. 10	国立博物館・美術館初詣で客いらっしやい “自立経営”の波……元旦から開館も	猪谷 千香	12. 31
Q我が家のお宝、どうしたら Aまず自分で調べてみる			2. 17	横浜美術館公募で運営 市の4施設来年度にも 外郭団体“独占”を転換	東 京	6. 19
Q展覧会の額縁はどう決まる A時代背景を色濃く反映			2. 24	間奏曲「指定管理者制度」への疑問	三品 信	10. 15
Qグッズ開発は誰が A作家学芸員も積極的に			3. 3	展示品転倒防止の有効策 東京国立博物館課長ら実験 免震台に五徳、てぐす糸	東京夕刊	5. 12
こだわりの美術館グッズ 学芸員のおすすめはコレ!			3. 9	文化往来 ミュージアムの苦しい台所事情浮き彫り	日 経	2. 18
美術館素朴なクエスチョン				公設民営導入進む美術館・博物館に効率と活力 役割分担明確に 所蔵品管理などに課題	松岡 資明	5. 28
Q保険や災害対策は A天災に備える難しさ	安村 敏信		3. 10	小さな博物館個性キラリ コレクターの逸品にうなる		7. 23
Q寄贈や保管はどのようにに A館の収蔵方針に沿って			3. 17	今を読み解く 岐路に立つ公立ミュージアム「民」参入、どう生かす	木下 直之	9. 4
Q私の考える理想の美術館1 A魅力たっぷりの作品を	辻 惟雄		3. 24	ミュージアム「民」参入の行方		
Q私の考える理想の美術館2 A余暇を過ごしたい場所	安村 敏信		3. 31	1 長崎の「実験」学芸員は契約社員		10. 10
都の文化施設 運営主体企業に門戸 6館、09年度から			5. 11	3 民間人館長の改革 工夫重ね入場者増		10. 13
こころの風景 ハイパー・ミュゼオロジー	平木 収		6. 14	4 市場化テストの波「国立」も利益優先?		10. 14
銀座ギャラリー日記 画廊は銀座文化の担い手	栗田 玲子		10. 13	合理化に揺れる国立博物館・美術館 統合や競争原理導入	白木 緑	11. 26
縦横コラム 東文研美術研究支える地道な仕事	田中 三蔵		11. 11	歴史遺産災害から守れ 専門家や市民活動の輪 所属の枠超えネットワーク	松岡 資明	12. 24
美の現在 文化財管理の民間委託 人員・設備の充実など まず「官」の責務明確に	高階 秀爾		12. 12	文化往来 国立美術館・博物館の「市場化」見送り		12. 30
土曜フォーカス 銀座の画廊に陰り い賃料を敬遠	高橋 福子		12. 17			

ミュージアム・グッズ 博物館など本格企画で集客 精巧な模型、伝統柄も学芸員が自ら監修

小島 充 日経タ刊 3.5

博物館展示品転倒防止 免震台に固定有効 東京国立博物館五徳などで実験

" 5.12

育てたい美術館好きの子ども 自由な鑑賞の場大切 気軽な対話通じ想像力引き出す

一條 彰子 " 11.18

Xマス・正月を華やかに 国公立のミュージアム 演奏会・照明・福袋…新たな趣向

" 12.8

闊論 美術館に市場化テスト 発展には競争が必要 規制改革・民間開放推進会議専門委員福井秀夫氏

手塚さや香 構成 毎 日 12.19

西洋の「美術館展」が相次ぐわけ 所蔵品や建築をテーマに

村田 真 毎日タ刊 5.18

「指定管理者制度」に揺れる公共美術館 「効率だけでは文化が死ぬ」 美術問い直すきっかけにも

米本 浩二 " 6.24

「美術館連絡協議会」座談会 「美術館と地域活動」文化拠点を目指す運営の工夫が必要

河合 隼雄、酒井 忠康、安藤 忠雄、菅原 司会 読 売 4.25

美術館と出版社、提携で「両得」 展覧会カタログ書籍化 互いの役割理解がポイント

前田 恭二 読売タ刊 7.13

国立美術館など統合案 「文化芸術衰退を危惧」38人が声明

高野 清見 " 11.10

「官」か「民」かのせめぎ合い

" " 12.22

日 本

(ア行)

仲介の感性論 事例研究4 創造的な鑑賞教育を目指して アメリア・アレナスの対話型鑑賞法に学ぶー『誰がポスターを破ったの?』(小学6年)の実践から[愛知県美術館]

小崎 真 美術フォーラム21 11

第21回 支部が推薦する博物館情報1.北海道支部 私立アイヌ民族博物館の必死

中村 齋 博物館研究 447

青森県立美術館のVI計画

黒岩 恭介 A - ism 10

青森県立美術館のVI Bluemark 菊地敦己のアートディレクション

橋本 麻里 デザインの現場 144

青木淳設計・青森県立美術館がついに竣工!

保坂健二郎 美術手帖 872

特集 石川達三の世界ー生誕百年 紹介 秋田市立中央図書館 明德館 郷土文学館 石川達三記念室

北条 常久 国文学解釈と鑑賞 887

芦屋市立美術博物館「存続」へ 広範な反響を受け 市当局が「必要」と判断

新美術新聞 1068

大義なき美術館の迷走ー芦屋市立美術博物館休館危機にみる日本の文化行政

藤田 一人 From web てんびょう 2004.03.05~2005.07.06

平成十六年度シンポジウム 「美術館・博物館はなぜ必要か?」 報告三 芦屋市立美術博物館の存続について、現状報告

河崎 晃一 美術史 158

ミュージアム「民」参入の行方2 育たぬ担い手「NPO委託」で迷走[芦屋市立美術博物館]

日 経 10.12

コレクション/安曇野高橋節郎記念美術館

佐野 順子 博物館研究 443

長野・安曇野彫刻から絵本まで多彩 北アルプス、水墨画の趣 田園に癒しの美術館[安曇野ちひろ美術館]

岩田 三代 日経タ刊 7.13

特集 CMアーカイブの現状と課題 「アド・ミュージアム東京」におけるデジタル・アーカイブについて

坂口 由之 アート・ドキュメンテーション通信 64

「アド・ミュージアム東京」の役割 江戸期からの広告体系的に

山川 浩二 東京 1.29

「池袋モンパルナス」アトリエ村資料室オープン 豊島の西部区民事務所

" 11.24

コレクション/荒木集成館

水野 知枝 博物館研究 448

現代美術の発信基地「ANPONTAN」		美術手帖	871	中国地方美術館周遊自然の光と個性の輝きと[植田正治写真美術館]	進藤 昭	東京夕刊	10.19
博物館展示のいま4飯田市美術館と柳田國男館「地育」を育む博物館	桜井 弘人	歴 博	133	海辺の小さな陶磁資料館[上野陶磁資料館]	小川 後楽	陶 説	625
座談会 池田文庫の今・未来	熊倉 功夫、 荻田 清 談 松田 常志 司会	池田文庫	26	インドネシア タナ・トラジャ伝統的家屋の修復支援事業—博物館づくりの初期動作としての取り組み—[牛の博物館]	高野 教導 細田 亜津子 阿部 正勝	博物館研究	448
文庫への提言 どうぞこの継続の努力を—二回の見学から—	森田 憲司	"	27	特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 教師用ガイド+キット+記録集編	伊藤 伸子	ド ー ム	83
美術館めぐり 石川県立美術館	江藤 望	ART LIBRARY	6	仲介の感性論 事例研究2 ミュージアム・ワークショップ[宇都宮美術館]	岡本 康明	美術フォーラム21	11
新年のご挨拶 地域社会における公立美術館の役割	嶋崎 丞	石川県立美術館だより	255	文化往来 宇都宮美術館がデザインの出前授業		日 経	9.15
講演会記録 石川県立美術館コレクションこぼれ話	嶋崎 丞	"	262	第20回 支部が推薦する博物館情報10.九州支部 海の中道海洋生態科学館における教育活動	岩田 知彦	博物館研究	444
特集1 住民や利用者とともに育つ、やわらかな公共施設 石ノ森萬画館と石巻市マンガロード 住民と行政が手を取りあって、ミュージアムによるまち起こし		ド ー ム	78	「博学連携」、ここから始まる—2004年度「博学連携フォーラム」報告[浦安市郷土博物館]	西尾 円	美濃加茂市民ミュージアム紀要	4
学校で教えられない大事なこと—伊丹市立美術館の「いのちを考える」シリーズ	編 集 部	あいだ	111	館長所感[うらわ美術館]	臼杵 信裕	うらわ美術館ニュース	11
飾る愉しみを追うfile9 現代美術でもてなす[板室温泉大黒屋]	秋 田	版画芸術	130	「官製市場」の…裏側 日本一小さな町の「絵金蔵」 米蔵再生町の核に 脱箱モノ 住民主導 美術館半年で1万人超	吉原 康和	東 京	8.2
AT206 Remarkable TOPIC 新しいイタリア文化会館が完成10月29日にグランドオープン		ア ー ト ト ッ プ	206	Do it 街 self 高知県赤岡町の絵金蔵盛況、半年で1万1000人 幕末絵画、ぬくもり演出	原 孝二	日 経	10.3
開館記念特別展「東山魁夷の軌跡」開催 市川市東山魁夷記念館が11月12日(土)いよいよ開館		新美術新聞	1072	建築望見 建物の息づかいが聞こえる[江戸東京建物園]	高野 清見	読売夕刊	8.6
「博学連携」、ここから始まる—2004年度「博学連携フォーラム」報告[一宮市博物館]	西尾 円	美濃加茂市民ミュージアム紀要	4	新年度ごあいさつ 平成十七年度の江戸東京博物館	竹内 誠	江戸東京博物館NEWS	49
解説員に関する来館者アンケート調査報告	伊藤 敦子 阿部 美智子	岩手県立博物館研究報告	22	東京都の「箱もの」美術施設に巨額の施設修繕費 江戸東京博や都現美の長期保存計画に初の予算化[江戸東京博物館]		新美術新聞	1055
展示替えのご案内 MCギャラリーと分類展示室の再編		岩手県立博物館だより	104				
博物館紹介 印刷博物館	宗村 泉	浮世絵芸術	149				

新美術新聞 1057

随筆 鹿児島島の自然 便り[鹿児島県立博 物館]	椎原 和郎	博物館研 究	444	特集1 美術史学会 東支部大会シンポジ ウム 美術館・博物 館の新たな公共性を 求めて—指定管理者 制度・NPO・地域社 会 ようやく産みの 苦しみをともなうミ ュージアムが出てく る時代に 報告2 「みんなでつくる美 術館」金沢21世紀美 術館の場合	黒沢 伸	ドーム	81
コレクション／樫原 市昆虫館	木村 史明	〃	442				
事業報告 普及 大 和川水系ミュージア ムネットワーク		柏原市立 歴史資料 館館報	17				
ワンポイントミュ ージアム83 《〈私の 地球〉の上に立つ 美術館 香月泰男美術 館		ドーム	83				
葉山館の開館と鎌倉 館、鎌倉別館の再開	山梨 俊夫	神奈川県 立近代美 術館年報	2003	特集 全国のおもし ろ「カタログ+セル フガイド+広報」大 集合 ガイドブック +記録集編 金沢21 世紀美術館	〃	〃	83
美術館のもうひとつ の使命と普及課の創 設	太田 泰人	〃	〃	巻頭特集 2005年上 半期美術界徹底ガイ ド 金沢と新しい美 術、新しい美術館 [金沢21世紀美術館]	清水 敏男	美術の窓	257
開館当時の展覧会 [神奈川県立近代美 術館]	柳生不二雄	たいせつ な風景	3	窓 論説委員室から 金沢21世紀美術館	川名 紀美	朝日夕刊	3.18
連載 ミュージアム ・グッズ04 見えない 時間に思いを馳せ て—ミュージアムを 感じるCD[神奈川県 立近代美術館]	八巻 香澄	ドーム	82	旬の人 金沢の新設 美術館、驚異的な集 客 養豊さん[金沢 21世紀美術館]		日 経	4.18
美と食を求めて海沿 いの美術館へ 初夏 の潮の薫りに大満足 の小さな旅! 神奈 川県立近代美術館 葉山		ギャラリ ー*	241	美術館、ダンスに接 近 展覧会を企画 館内で公演も[金沢 21世紀美術館]		日経夕刊	9.29
トピックス3—北か ら南から—[神奈川 県立生命の星・地球 博物館]	田口 公則	博物館研 究	444	ひと 金沢市助役を 兼ねる美術館長 養 豊さん[金沢21世紀 美術館]	池内 敬芳	毎 日	6.21
AT201 Remarkable TOPIC 開館・移転 が示す美術館の方向 性とは 国立国際美 術館と金沢21世紀美 術館		ア ー ト ト ッ プ	201	銀座ギャラリー日記 カタログの魅力と楽 しみ[ギャラリー・グ ラフィカ]	栗田 玲子	朝日夕刊	9.15
美術館めぐり 金沢 21世紀美術館	江藤 望	ART LIBRARY	6	博物館に行ってみた 再生 財産を災難か ら守る「蔵」[川越市 立蔵造り資料館、川 越市立博物館]		読売夕刊	8.19
庭からの視線 最終 回 アートがひらく 未踏の沃野—金沢21 世紀美術館	伊藤 公文 文 久家 靖秀 写真 川上典李子 協力	A X I S	113	ミュージアム X Vol.10 ミュージア ムの評価と改革—川 崎市市民ミュージア ム	暮沢 剛巳	美術手帖	863
特集 都市と文化環 境 文化教育行政と 地域経済を一体化 し、新たな都市文化 を構築する[金沢21 世紀美術館]	養 豊 談	Cultivate	26	第9回 手塚治虫文 化賞 特別賞 川崎 市市民ミュージアム		朝 日	5.10
金沢21世紀美術館 6ヶ月で65万6000人 開館記念展会期中の 入館者数	(美)	新美術新 聞	1055	学校教育における紀 伊風土記の丘の活用 について	大江 康丈	紀伊風土 記の丘年 報	31
				びーぶる 森に「え ほんの郷」「命の大 切さ」伝え続け10年 [木城えほんの郷]	大久保真紀	朝日夕刊	2.22

博物館に行ってみた 飼育[北九州市ほたる館]			読売夕刊	7.8					ミュージアムサイエンスノート 博物館とシックハウス[九州国立博物館]	本田 光子	東風西声*	1
北九州市立小倉城庭園の指定管理者制度	山本 紀一	博物館研究		449					有野克巳と歩く！九州国立博物館の秘境探検の記！	森 依里	"	"
巻頭言 遙かなる46億年の歩み[北九州市立自然史歴史博物館]	小野 勇一	"		440					有野さんインタビュー 施設係有野さんの現在・過去・未来[九州国立博物館]	松尾かをる	"	"
《特集・日本の地域博物館シンポジウム2》地域博物館・研究所における各種教育講座利用者論 北区飛鳥山博物館のこれまでと今後	鈴木 直人	MUSE-OLOGIST		20					特集 九州国立博物館開館によせて[本特集号にあたって]	宮島 新一	仏教芸術	282
コレクション/宜野座村立博物館	知名 定順	博物館研究		447					連載・開館カウンタダウン 九州国立博物館4～12	小林 公治	文化財*	496～504
学校との連携をめぐる活動の軌跡と今後の展望～特別展「大地のこどもたち」の実施をめざして～[岐阜県現代陶芸美術館]	岩井 利美	現代陶芸研究		2					特集 九州国立博物館開館記念 生きている博物館 九州国立博物館		"	505
“ふりこ型”展示室も登場 広がる免震構造 美術館・博物館の災害対策 専門家育成、マニュアル…遅れるソフト面[岐阜県現代陶芸美術館]	千葉 淳一	日 経		1.15					親子で楽しむ九博体験—あじっばー	三木 美裕		
文化往来 建築文化を発信するギャラリー開設[ギャラリーA ⁴]	石元 泰博	"		10.28					ミュージアム・サイエンス—博物館科学—	今津 節生		
第20回 支部が推薦する博物館情報9. 四国支部 ふるさとの母のような美術館になりたい！—美術館の敷居を下げるために—[ギャラリーしろかわ]	浅野 幸江	博物館研究		443					九州国立博物館九州国立博物館の収藏品—オンラインワン、さもなければベストピース—	基信 祐爾		
果物老舗の企業文化ギャラリー閉廊を前に さらなる美で顧客を創造[ギャラリー高野]	天野 秀二	東京夕刊		3.22					新しい情報システム—ウェブ、データベース、情報システム—	東 昇		
建築望見 展覧会無償で大学巡回[ギャラリー・間]	高野 清見	読売夕刊		4.16					九州国立博物館の壁付展示ケースにおける換気回数、温度、相対湿度の測定	犬塚 将英 鳥越 俊行 石崎 武志 本田 光子	保存科学	44
小特集 太宰府の森とアジアの海 九州国立博物館オープン		芸術新潮		672					日本史のひろば 九州国立博物館	赤司 善彦	歴史と地理	590
10・16九州国立博物館 福岡県太宰府市に開館 地元福岡県と連携協力して運営される形で		新美術新聞		1069					ひと 15日開館した九州国立博物館の館長 三輪嘉六さん	中村 俊介	朝 日	10.16
私の美術放浪22 夢をかきたてる博物館[九州国立博物館]	永井 信一	"		1073					Shot05「保存箱」和風で新調 九州国立博物館 杉材が活躍、伝統技は高機能 業に頼らぬ防虫管理	宮代 栄一	朝日夕刊	3.11
									ツウのひと声 美術新しい博物館像を提示[九州国立博物館]	村田 真	"	12.2
									九州国立博物館今秋オープン 注目される集客手腕 最初から「独立行政法人」で運営	野崎 貴宮	産 経	1.31
									実現した「百年の夢」九州国立博物館オープン「アジア文化交流」テーマに五感を動かす展示	宮島 新一	東京夕刊	11.18

“ふりこ型”展示室も登場 広がる免震構造 美術館・博物館の災害対策 専門家育成、マニュアル…遅れるソフト面[九州国立博物館]	千葉 淳一	日 経	1.15	仲介の感性論 事例研究6 学校と美術館—ともに考える学習支援の可能性[神戸市立小磯記念美術館]	池田真規子	美術フォーラム21	11
アート探究 九州国立博物館、あす一般公開 子ども集客 不文律に挑戦	中沢 義則	”	10.15	わくわくmuseum ナポレオンは、その衣装で夢をみた[神戸ファッション美術館]	松井 潤 朝 日		4.17
九州国立博物館開館国内4番目 対アジア交流展示の重点		”	10.16	康耀堂美術館 京都造形芸術大学に寄贈館長に日本画家の千住博氏		新美術新聞	1069
顔 きょう開館する九州国立博物館館長三輪嘉六さん	池田 和正	読 売	10.16	美術館ごと大学へ寄贈 土地・建物、収蔵品…しめて16億 左鳥電機前会長遺族「若い人に役立てて」[康耀堂美術館]		読 売	10.18
全国4番目にオープン 九州国立博物館		読売夕刊	10.22	大学博物館訪問 国学院大学考古学資料館	宇野 慶記	S H U	25
異例?京近美術館の人選 「慣例」人事なく美術館内で波紋[京都国立近代美術館]		新美術新聞	1064	日本実業史博物館準備室旧蔵資料のうち「広告の部」資料について[国文学研究資料館]	原島 陽一	国文学研究資料館紀要(ア)	1
平成十六年度シンポジウム「美術館・博物館はなぜ必要か?」報告二 美術館をつかみ取るために[京都市美術館]	中谷 至宏	美術史	158	国立科学博物館新館のグランドオープンについて	都川 匡史	博物館研究	445
巻頭特集 新・リアリズム宣言II 写真VS. 現代美術 銀座スルガ台画廊・串田光子氏に聞く「レスポワール展」を巡る作家たち	串田 光子	美術の窓	262	AT201 Remarkable TOPIC 開館・移転が示す美術館の方向性とは 国立国際美術館と金沢21世紀美術館		ア ー ト ッ プ	201
特集 熱い視線を浴びる県立美術館の古美術品調査[熊本県立美術館]	大倉 隆二	V i e w	112	仲介の感性論 事例研究5 子どものためのワークショップ—国立国際美術館の実践から	安来 正博	美術フォーラム21	11
アスベストで群馬県立近代美術館が休館		新美術新聞	1073	大阪・国立国際美術館の館長建昌哲さん「総合的アートの場」に	前田 恭二	読売夕刊	4.28
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術那須の地に「芸術倉庫」リニューアルオープン		美術の窓	263	高階秀爾氏に聞く 国立新美術館運営協議会座長		国立新美術館準備室ニュース	2
「原爆の図」展示 丸木美術館危機 入館激減、かさむ維持費[原爆の図丸木美術館]		朝 日	8.1	国立新美術館の貸し出し基準に変更 各団体の要望受け設立準備室が修正		新美術新聞	1044
高知県立美術館 教育普及事業報告—学校を対象とした事業を中心に	河村 章代	高知県立美術館研究紀要	6	「新美術館か都美術館か」主要100団体に緊急アンケート～思惑と不安秘め揺れる各団体内部～[国立新美術館]		”	1048
美術館、ダンスに接近 展覧会を企画館内で公演も[高知県立美術館]		日経夕刊	9.29				

127団体が申請—予想を超え決定調整難航か 平成19年度国立新美術館使用申し込み	新美術新聞	1051	佐藤 優香 八代 健志	博物館を利用した「鑑賞」と「表現」による異文化理解教育—4年生図工科「願いをこめた仮面をつくろう」のとりくみから—
平成19年度国立新美術館使用団体ほぼ決まる 応募127団体の半数近くに割当て	"	1056		民博との連携を活かした異文化理解教育のカリキュラムづくり—砂絵を用いた小学校図画工作の実践と10の活動例—
空きスペースをどう埋める—都美術館の新たな対応—'07国立新美術館使用団体決定を受けて[国立新美術館]	"	1057	中山 京子	第二部 アウトリーチ教材の開発・実践と展望
着々と準備進む国立新美術館 8月中に全団体の館内見学実施へ	"	1063		コミュニケーション・ツールとしての「みんなつく」—ミュージアム・アウトリーチキットの可能性—
Shot05 六本木にデンと「大波」 国立新美術館 日本最大級の展示空間に	山盛 英司	朝日夕刊 7.1	佐藤 優香	多文化社会アメリカ理解のためのトランクキット教材の開発と実践—博物館をトランクへ—
鑑賞補助ツール「びじゅつーる」のもつ意味	藤田 千織	国立西洋美術館研究紀要 9	高橋 順一	
鑑賞補助ツール「びじゅつーる」—その開発から改善まで	寺島 洋子 藤田 千織	" "		仲介の感性論 事例研究7 モノがメディアイトするもの—ミュージアムにおける鑑賞と表現のための学習デザイン[国立民族学博物館]
特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 セルフガイド編 独立行政法人国立西洋美術館	寺島 洋子	ドーム 83	佐藤 優香	美術フォーラム21 11
第21回 支部が推薦する博物館情報4. 東京支部 国立西洋美術館ボランティア—導入から初年度の活動まで	酒井 敦子	博物館研究 450	榎澤 和夫	歴博 128
仲介の感性論 事例研究3 美術館教育のミッション—学校との連携から[国立西洋美術館]	寺島 洋子	美術フォーラム21 11	上野 和男	" 129
“ふりこ型”展示室も登場 広がる免震構造 美術館・博物館の災害対策 専門家育成、マニュアル…遅れるソフト面[国立西洋美術館]	千葉 淳一	日経 1.15		美術の窓 261
序論 国立民族学博物館を活用した異文化理解教育のプログラム開発—学びのメディアとしての民博の可能性—	森茂 岳雄	国立民族学博物館調査報告 56	(美)	新美術新聞 1056
第一部 民博を活用した学習プログラムの開発と実践	"	"	(サ行)	
			吉村 裕之	博物館研究 444
				巻頭言 知識・情報社会と斎宮歴史博物館改革

特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 セルフガイドマップ+新聞編 埼玉県立近代美術館+NPO芸術資源開発機構

中村 誠 ドーム 83

常設展脱マンネリ学芸機能も活性化ミニ企画4本立て寺院風に仏像展示[埼玉県立近代美術館]

白木 緑 日 経 7.9

体験学習の体験しない部分一序にかえて一

下村 克彦 さいたま市博物館研究紀要 4

コレクション/佐賀県立佐賀城本丸歴史館

松田 和子 博物館研究 445

人らんだむ 銀座・相模屋美術店十数年ぶりのグループ店「如月会」を発売させた 原田吉蔵氏 原田裕介氏 美術商の系譜—祖父から孫へ

(常) 新美術新聞 1047

コレクション/さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—

砂岡 礼子 博物館研究 449

さようなら赤坂 サントリー美術館が六本木へ

(美) 新美術新聞 1045

広がる生活資料保存暮らしの記憶昭和を語る 家電・成績表・日用雑貨… 学術的視点に課題[師勝町歴史民俗資料館]

田村 雅弘 日 経 2.5

《要旨紹介》提言：評価と経営の確立に向けて 静岡県立美術館評価委員会(2005年3月)

あいだ 115

調査報告 実践女子学園香雪記念資料館の成り立ちについて

愛甲 晴美 実践女子学園香雪記念資料館館報 2

信濃デッサン館資金難で閉鎖へ 館主の窪島さん「分館の無言館に集中」

西田 健作 朝 日 5.22

こころの風景 軒先貸して…[信濃デッサン館]

窪島誠一郎 朝日夕刊 12.13

信濃デッサン館経営難 野田英夫51点競売へ 予想額700万～800万の名作も

高野 清見 読売夕刊 5.2

日本史のひろば 渋沢史料館—渋沢栄一の生涯を経糸に、日本社会の近代化を緯糸に—

石井 浩 歴史と地理 582

特集 地方美術館の連携 石見美術館との連携 石見美術館の目指すもの[島根県芸術文化センター]

的野 克之 石見美術 3

島根県芸術文化センター(グラントワ)10・8オープン

新美術新聞 1069

地元密着型の島根県芸術文化センター「グラントワ」10月8日オープン!

小森佳代子 美術の窓 265

21世紀の美術館に求められるもの—島根県芸術文化センター「グラントワ」オープンに寄せて

澄川 喜一、福原 義春、森 英恵 対談 編集 部 司会 266

島根県・益田に文化の殿堂「グラントワ」完成 華やかなスタート[島根県芸術文化センター]

" 267

指定管理者制度に思う—島根県三瓶自然館の場合—

森本 直知 博物館研究 450

島根県立美術館の指定管理者制度について

矢内高太郎 " 447

とれんどin美術 改革促す民間委託 公立美術館「指定管理者制度」導入[島根県立美術館]

高野 清見 読売夕刊 6.7

美術館における教育普及活動の一考察

中村 美幸 下関市立美術館研究紀要 10

随筆 世界自然遺産と博物館[斜里町立知床博物館]

中川 元 博物館研究 447

お寺と文化財—臨済宗相国寺派管長・有馬頼底氏聞き書き—[承天閣美術館]

関口 正之 聞き手 山本ゆかり 構成 国華清話会会報 6

広がる生活資料保存暮らしの記憶昭和を語る 家電・成績表・日用雑貨… 学術的視点に課題[昭和館]

田村 雅弘 日 経 2.5

渋谷の変容一目で 区郷土博物・文学館ハチ公の時代の「文化住宅」も[白根記念渋谷区郷土博物館・文学館]

読 売 7.8

わくわくmuseum ナポレオンは、その衣装で夢をみた[シルク博物館]

松井 潤 朝 日 4.17

新富弘美術館 複雑さを許容する仕組みを持つ建築

伊藤留美子 A X I S 114

第20回 支部が推薦する博物館情報6.北信越支部/新湊市博物館—地方博物館の課題	野積 正吉	博物館研究	440	立山博物館におけるIPMの導入について	寺島 禎一	博物館研究	450
首都圏新カルチャースポット スーパーデラックス		ART IT	7	資料館を開くまで[多摩ふるさと資料館]	高橋 榮治	民具マンスリー	451
杉並はアニメでいっぱい 施設・資料が充実 再オープン ミュージアムと専門職大学院 特区使い 来春にも開校[杉並アニメーションミュージアム]		朝 日	3.4	地中美術館に“モネの庭” 5月1日「地中の庭」開園 香川県・直島	(美)	新美術新聞	1055
国内初総合アニメ拠点杉並に 名作ヒストリー堂に[杉並アニメーションミュージアム]		産 経	3.6	そこでしかあり得ないアート 直島・地中美術館で“体感”部屋サイズ、デザイン、素材—作品にあわせ選定	稲葉 千寿	東京夕刊	11.1
高峰秀子さん11点の肖像画、世田谷区に寄贈[世田谷美術館]		新美術新聞	1073	巻頭言 沼田真構想による自然誌研究博物館との20年[千葉県立中央博物館]	中村 俊彦	博物館研究	446
特集3 住民や利用者とともに育つ、やわらかな公共施設 せんだいメディアテーク 13本の光のチューブがゆらめく、せんだいメディアテーク		ドーム	78	未来の鑑賞者に期待 ちひろ美術館が高校生以下の入館料を無料に[ちひろ美術館・東京]		新美術新聞	1068
特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 広報編 せんだいメディアテークガイドツアー年間スケジュール2004	吉田 敏子	"	83	大学博物館訪問 津田塾大学津田梅子資料室	宇野 慶記	S H U	24
草月美術館が今年度も休館	(美)	新美術新聞	1045	カウンターのあある小さな画廊 昼間でもウイスキー! Des-sin Galerie「とき」		ギャラリー	241
資料保存利用施設の紹介—袖ヶ浦市郷土博物館の概要—	多田 信子	千葉県の文書館	10	天理参考館のイスラーム陶器	巽 善信	東洋陶磁	34
(タ行)				紙パイプ使ったギャラリー閉廊 東京[21_21DESIGN SIGHT]		朝 日	12.21
文書館・史料館めぐり 醍醐寺霊宝館	黒板 伸夫	日本歴史	691	第一線の人材集結 防衛庁跡地に「21/21」建設へ	藤田 綾子	産 経	7.26
ワンポイントミュージアム82 また「朝食さんのお宅」に遊びに行きたいなあ 台東区立朝倉彫塑館		ドーム	82	東京にデザイン発信 拠点「21_21DESIGN SIGHT」		読売夕刊	8.30
新たな観光の目玉来秋完成 新札幌押し建物も一新 台東区立「一葉記念館」	関 厚夫	産 経	1.12	「東京国立近代美術館の半世紀」		現代の眼	
沿革と十年の総括・展望	遠藤 幸一	高岡市美術館年報	2004	連載25 フィルムセンターの歩み	大場 正敏		550
スポット1 日本の美を体感する館[竹久夢二伊香保記念館 日本昔硝子館「義山楼」]		目の眼	340	連載26 写真部門の発足とその前史	増田 玲		551
				夏休みの宿題事情 自由研究主流に 美術館・企業、お手伝い[東京国立近代美術館]		日経夕刊	8.5
				第2特集 ふれる喜び、みる楽しみ。[東京国立近代美術館工芸館]	編集部	目の眼	340
				巻頭特集 至福のミュージアム 名品には空間の贅を尽くすリニューアルした東京国立博物館本館	中島 千波	アートトップ	201

東京国立博物館リニューアルから1年 どう変わった?— 「まだ進化の途中!」	新美術新聞	1066	東京都の「箱もの」美術施設に巨額の施設修繕費 江戸東京博や都現美の長期保存計画に初の予算化 [東京都現代美術館]	産 経	1055
ようこそ! 博物館の舞台裏へ	東京国立博物館ニュース		4月から大コレクション展 東京都写真美術館10周年記念事業	産 経	1.25
第3回「私はこうして東博研究員になりました」	小林 牧	669	文化往来 写真表現の意欲あふれる歴史紹介 [東京都写真美術館]	日 経	10.31
第4回「ご本尊、上野へ—虚舎那仏五四〇キロの旅」	岩佐 光晴	670	写真史、4部で通観 都写真美術館10周年事業	日経夕刊	1.17
第6回「仏頭ができるまで の できるまで」	小林 牧	673	美術館、ダンスに接近 展覧会を企画 館内で公演も [東京都写真美術館]	日経夕刊	9.29
第7回 庭を守る 日々—ベテラン庭師のお仕事	〃	674	都写真美術館が開館 10年 通史展で示した専門館の意義	前田 恭二 読売夕刊	5.10
特集 東博変わった? 東博変わった! 目に見える変化のラッシュ。合い言葉は「観客のために!」	ド ー ム	82	真室佳武東京都美術館長に国立新美術館オープン後の対応を聞く 「公募展は2会場時代へ」	新美術新聞	1047
2 もし何をしたらいいのか迷うことがあったら、来館者が何を望んでいるか考えよう ボランティアとともにかたちづくる、新しい来館者サービス [東京国立博物館]	加島 勝、井上 洋一 談		「新美術館か都美術館か」主要100団体に緊急アンケート～思惑と不安秘め揺れる各団体内部～ [東京都美術館]	〃	1048
3 東博のパンフレットを見ると、変化の姿が見えてくる 東博が発信するさまざまなメディアの力	小林 牧 談		東京都美術館 2005年度前期使用割当決まる	〃	1050
4 あ、この部屋のこの空間、絵はがきにしてみても帰りたいな 東博初の展示デザイナーの誕生	木下 史青 談		空きスペースをどう埋める—都美術館の新たな対応 '07国立新美術館使用団体決定を受けて	〃	1057
東京国立博物館における環境保全計画—所蔵文化財の恒久的保存のために—	神庭 信幸	MUSEUM 594	公募団体展2会場時代 日展など抜けた「2007年問題」 新たな方策練る東京都美術館	〃	1062
常設展脱マンネリ 学芸機能も活性化 ミニ企画4本立て 寺院風に仏像展示 [東京国立博物館]	白木 緑	日 経 7.9	平成19年度都美館展示室「使用割当作業」大詰め 満杯か? 国立新美術館との併用は約20団体	〃	1071
文化財保存に向けた東博の実践	神庭 信幸	NPO JCP NEWS 11	美術商はどこから来たか 芸術振興策の中に位置づけられた起源たどる [東京美術倶楽部]	横井 彬 日 経	12.5
東京ステーションギャラリーと根津美術館が来春から休館	新美術新聞	1061	新潟県中越地震における十日町市博物館の対応	竹内 俊道 博物館研究	447

首都圏新カルチャースポット トーキョーワンダーサイト/トーキョーワンダーサイト2	ART iT 7	美術館が生まれる風景19 長崎県美術館	ギャラリー一*	241
REAL TOKYO Picks 東京の新たなカルチャースポット Tokyo Wonder Site Shibuya[トーキョーワンダーサイト渋谷]	" 8	長崎県美術館 歴史の街・出島地区に4・23オープン テーマは「運河の上で、呼吸する美術館」	新美術新聞	1054
東京都が若手芸術家の作品販売を支援 トーキョーワンダーサイト渋谷がオープン	新美術新聞 1062	連載 ミュージアム・グッズ04 見えない時間に思いを馳せて—ミュージアムを感じるCD[長崎県美術館]	八巻 香澄 ドーム	82
巻頭特集 至福のミュージアム 大名のゴージャスを極める 徳川園 徳川美術館 蓬左文庫	アートトップ 201	運河を内蔵する長崎県美術館 4月23日オープン!	小森佳代子 美術の窓	260
尾張徳川家21代当主 徳川義宣さん 美術館中興“ムコの使命”[徳川美術館]	伊藤 暢彦 読売夕刊 12.20	長崎歴史文化博物館と指定管理者制度	原田 博二 博物館研究	447
《特集・日本の地域博物館シンポジウム2》徳川林政史研究所における「公開講座」の取り組み	太田 尚宏 MUSE-OLOGIST 20	Shot05 博物館に御奉行ご出座 長崎に新設館 集客担い御白州の寸劇[長崎歴史文化博物館]	宮代 栄一 朝日夕刊	12.2
コレクション/とちぎ蔵の街美術館	河野 エリ 博物館研究 444	「官製市場」の…裏側 全国初 学芸部門ごと民間委託 調査研究どう継続 長崎歴史文化博物館	吉原 康和 東京	11.6
巻頭言 中長期目標と博物館[栃木県立博物館]	柏村 祐司 " 442	長崎奉行所、現代にマッチ 長崎歴史文化博物館に江戸時代の建築を復元	黒川 紀章 日経	11.4
第21回 支部が推薦する博物館情報3. 関東支部 展示に興味を持ってもらうための試み—民族分野の展示を中心に—[富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館]	伊藤 克枝 " 449	博物館展示のいま 3 中山道広重美術館 美術館から持ち帰るもの	菅原 真弓 歴史博	132
口に絵筆の詩画作家 富弘美術館“新装開館”	読売夕刊 4.16	中国地方美術館周遊 自然の光と個性の輝きと[奈義町現代美術館]	進藤 昭 東京夕刊	10.19
長野・安曇野彫刻から絵本まで多彩 北アルプス、水墨画の趣 田園に癒しの美術館[豊科近代美術館]	岩田 三代 日経夕刊 7.13	Topic 名古屋のクリモグラフィについて	角田美奈子 名古屋市美術館研究紀要	13
首都圏新カルチャースポット トラウマリス	ART iT 7	新潟県中越地震における博物館の被災状況について[新潟県立近代美術館、新潟県立歴史博物館]	小見 秀男 戸根与八郎 博物館研究	445
スポット2 江戸の匠の技をみる[とんぼ玉美術館]	目の眼 350	みなとびあ 新潟市歴史博物館 インタラクティブな情報の編集からものや歴史の世界へといざなう	甘粕 健、伊東 祐之、若月 憲夫、津田 雅人 聞き手	Cultivate 24
(ナ行)		コレクション/新潟市歴史博物館	伊東 祐之 博物館研究	450
新潟県中越地震における長岡市立科学博物館の被災状況について	小熊 博史 博物館研究 447	第40回昭和会展を迎えて—日動画廊・長谷川徳七社長に聞く—	新美術新聞	1046

博物館に行ってみた 「明かり」は魔法の道具 木や草の根の「たき火」が始まり 「ろうそく」は貴重なもの [日本のあかり博物館]		読売夕刊	7.1	芸術新潮特別企画 芸術の秋、箱根に行こう！箱根美術館	芸術新潮	670
ほっとすぺーす 案内は木村重信さん 日本民家集落博物館 大阪府豊中市 現代の喧噪忘れる異空間	(由)	読売	2.27	美術館が生まれる風景18 箱根ラリック美術館	ギャラリー	239
特集 生活デザインの素 日本民芸館へいこう		芸術新潮	667	巴里発、箱根ゆきラリック急行でお茶を[箱根ラリック美術館]	芸術新潮	665
I 22の美しいもの 古道具屋・坂田和實の選択	坂田 和實			芸術新潮特別企画 芸術の秋、箱根に行こう！箱根ラリック美術館	"	670
II 鼎談 デザイン、好み、身のまわり	坂田 和實、 尾久 彰三、 山口 信博			箱根ラリック美術館がオープン	産経	3.5
III ものがたり日本民芸館				特集 地方美術館の連携(事例報告1)浜田市世界こども美術館の回廊活動への考え方と具体的取組みの様子	寺尾 堂 石見美術	3
IV エッセイ 8人のプリズムデザインのDNA	三宅 一生 勝本みつる ばくきょん 中村 好文 東 芋 高橋みどり 千村 宗屋弘			資料紹介 菰野に息づく異色の現代美術館 パラミタミュージアム	橋本 綾子 美術フォーラム21	11
根岸芳郎美術館(Siti安曇野) 10月15日オープン		新美術新聞	1068	首都圏新カルチャースポット BankART 1929 Yokohama / BankART Studio NYK	ART iT	7
東京ステーションギャラリーと根津美術館が来春から休館に		"	1061	特集 都市と文化環境 都市を読み、まちを開く[BankART 1929]	池田 修 Cultivate	26
(ハ行)				特集1 美術史学会東支部大会シンポジウム 美術館・博物館の新たな公共性を求めて—指定管理者制度・NPO・地域社会— ようやく産み出さる時代に 報告5 公設民営の新しい可能性—BankART 1929の活動を通して	池田 修 ドーム	81
〈リニューアル情報〉萩博物館のリニューアルについて～萩市郷土博物館から萩博物館へ～	清水 満幸	博物館研究	445	現代美術の歩き方 異論反論・現代美術P—House 再始動!! 六本木に新たなアートの新拠点	美術の窓	265
ほっとすぺーす 案内は陳舜臣さん 白鶴美術館 神戸市東灘区 日中の文化平和に共存	(浪)	読売	4.24	東山魁夷せとうち美術館 2人の巨匠の“交差点” 変わらぬ谷口吉生の哲学 完成度高い「小品」	猪谷 千香 産経	12.1
博物館明治村への誘い		太陽	明治村記念号	平成十六年度シンポジウム「美術館・博物館はなぜ必要か？」報告一 兵庫県立美術館の活動	越智裕二郎 美術史	158
博物館明治村 館長村長対談 明治村は全部ほんもの。心を今に伝えて。	飯田喜四郎 小沢 昭一					
明治村建造物移築物語 先人の夢を引き継ぐ	西尾 正敏					

第20回 支部が推薦する博物館情報7. 近畿支部/生涯学習機関としての博物館とパートナーシップの可能性[兵庫県立人と自然の博物館]	赤澤江崎	宏樹保男	博物館研究	441	平成十六年度シンポジウム「美術館・博物館はなぜ必要か?」報告四 ヒトが主役の「美術館になる」ために[福岡県立美術館]	〃	美術史	158
地域・市民と連携する博物館への脱皮一ひとはくの場合[兵庫県立人と自然の博物館]	江崎	保男	〃	446	特集 福岡市美術館のボランティアvol.1 その歴史を振り返る	鬼本佳代子	エスプラナード	139
美術館の周縁 兵庫陶芸美術館が開館しました	西田	桐子	ART RAMBLE	9	福島県歴史資料館文書庫の温湿度調査	轡田 克史	福島県歴史資料館研究紀要	27
兵庫陶芸美術館丹波焼の里に開館			新美術新聞	1070	若手が競演 美術がメディア化 第2回府中ビエンナーレ[府中市美術館]	宝玉 正彦	日 経	1.12
丹波立杭に新しい陶芸美術館[兵庫陶芸美術館]	弓場	紀知	陶 説	630	北条市立ふるさと館歴史体験教室の活動報告—赤米・黒米づくりと民具・考古資料の違いについて—	梅木 謙一	民具マンスリー	444
芥川記者の展覧会へ行こう 平賀敬美術館 帰ってきた湯本の主人	芥川	喜好	読売夕刊	12.7	鳳来寺山自然科学博物館と友の会—市民とともに創る博物館・地方博物館の事例—	加藤 貞亨	博物館研究	441
第21回 支部が推薦する博物館情報5. 東海支部 平塚市博物館ではなぜ定期的な展示替えが行えたか?	浜口	哲一	博物館研究	451	ボーダレス・アートギャラリーNO—MAの開館	服部 正	ART RAMBLE	5
学校との連携事業「美術作品鑑賞授業」実施報告(2002~2004)	宮本真希子		広島県立美術館研究紀要	8	芸術新潮特別企画 芸術の秋、箱根に行こう! ポーラ美術館		芸術新潮	670
平成16年度美術館ネットワーク巡回展「美術の探検! 広島県ゆかりの美術展」実施報告[広島県立美術館]	松原	香織	〃	〃	連載 ミュージアム・グッズ02 ポーラ美術館の「ポラカード」は、ちょっと謎めいたおみくじ	八巻 香澄	ド ー ム	80
歴教協第57回大会 今年の夏は広島じゃけん(6) 美術館へのお誘い[広島県立美術館、広島市現代美術館、ひろしま美術館]	大井	健地	歴史地理教育	685	ポーラ文化研究所の化粧道具と主要資料の紹介		マ キ エ	25
わくわくmuseum ナボレオンは、その衣装で夢をみた[風俗博物館]	松井	潤	朝 日	4.17	シリーズ・博物館への指定管理者制度の導入を考える1 開拓記念館に指定管理者制度はなじむか[北海道開拓記念館]	桑原 真人	北海道開拓記念館だより	35-3
小中学校受け入れへの取り組み—楽しく学べる博物館を目指して—	高瀬	裕美	福井市立郷土歴史博物館研究紀要	13	(マ行)			
特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 ガイドブック+ワークシート編 福岡県立美術館	川浪	千鶴	ド ー ム	83	特集 地方美術館の連携(事例報告2) 素人館長奮闘記—美術回廊の諸先輩に学ぶ—[益田市立雪舟の郷記念館]	吉崎 佳慶	石見美術	3
					松岡美術館のイスラーム陶器	後藤 修	東洋陶磁	34
					コレクション/松下電工汐留ミュージアム	増子 美穂	博物館研究	440

物語とともに、心に刻む原風景—安藤忠雄の絵本美術館「まど」のそこのまたむこう」	幅	允孝	A X I S	118	Shot05 財閥奥の院「お宝」あり 東京・日本橋 三井本館が美術館に改装[三井記念美術館]	西田 健作	朝日夕刊	11.4
「戦争の記憶を風化させない」丸木美術館・無言館 存続に向け始動			新美術新聞	1064	三井記念美術館オープン ブズリ名家のお宝		読 売	10.9
丸木美術館支援カンパ1500万円に			"	1074	日印 美の交流拠点を守れ 中越地震で被災「ミディラー美術館」復興に全力	長谷川時夫	日 経	9.22
三重県立美術館の地震対策	(Ty)		HILL WIND	10	特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 広報編 水戸芸術館現代美術センター	森 司	ド ー ム	83
〈アートカードみえ〉シリーズの誕生—学校と美術館をつなぐ「美術鑑賞教育支援教材」—	下	栄子	三重県立美術館研究論集	4	特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 ワークシート編 MIHO MUSEUM	駒井 勉	"	"
「博学連携」、ここから始まる—2004年度「博学連携フォーラム」報告[三重県立美術館]	西尾	円	美濃加茂市民ミュージアム 紀要	4	実践報告「手で見える彫刻—佐藤忠良の世界」展[宮城県美術館]	加野 恵子	博物館研究	445
美術館が生まれる風景17 三鷹の森ジブリ美術館			ギャラリ一	238	コレクション/宮崎県立西都原考古博物館	東 憲章	"	451
[開館]三井記念美術館	樋口	一貴	ARTLET	24	特集 こうあるべきだのミュージアム像から、少し離れて		ド ー ム	79
特集 都市と文化環境 江戸商人の伝統をいまに伝え、未来に貢献する[三井記念美術館]	清水 眞澄 津田 雅人	聞き手	Cultivate	26	1 宮崎県立美術館の10年 「たんけんミュージアム」の冒険はつづく!?	岩切 正憲、 高野 明広、 藤森 茂次、 吉田 健 談		
日本橋に三井記念美術館開館 特別展「美の伝統 三井家伝世の名宝」で幕開け			新美術新聞	1068	3 宮崎県立美術館/ユニークな鑑賞研究 作品も観客も仕掛けも、すべてが等しい教育資源	奥村 高明 談		
三井文庫別館あらため、「三井記念美術館」開館。	清水	実	陶 説	631	コレクション/民音音楽博物館	中村 靖範	博物館研究	441
特集1 美術史学会東支部大会シンポジウム 美術館・博物館の新たな公共性を求めて—指定管理者制度・NPO・地域社会 ようやく産みの苦しみをともなうミュージアムが出てくる時代に 報告3 日本橋再開発のなかの三井記念美術館	"		ド ー ム	81	「戦争の記憶を風化させない」丸木美術館・無言館 存続に向け始動		新美術新聞	1064
〈リニューアル情報〉三井文庫別館から三井記念美術館へ—重要文化財三井本館に新設された美術館—	"		博物館研究	449	こころの風景 「借りもの」世代[無言館]	窪島誠一郎	朝日夕刊	12.12
日本橋の新しいランドマーク 三井家300年の歴史を伝える 三井記念美術館10月8日開館へ!!	清水 眞澄		美術の窓	265	無言館は「反戦平和」の美術館か 館主・窪島誠一郎さんが講演	三品 信	東京夕刊	9.2
					顔 第53回菊池寛賞を受ける「無言館」の館主 窪島誠一郎さん	服部 牧夫	読 売	11.8

生き続ける創造の住まい—村井正誠記念美術館開館—	植野比佐見	和歌山県立近代美術館ニュース	44	文書館・史料館めぐり 大和文華館	高岸 輝	日本歴史	689
村井正誠記念美術館好評裏にオープン半年 肌で感じる創作空間	塩野 栄	東京タ刊	11. 8	大和文華館の自然と日本鉄道神社	水田 徹	美のたより	149
「村井正誠記念美術館」が開館 抽象絵画の先駆者 アトリエそのままに	石川 健次	毎日タ刊	5. 2	日本史のひろば 山梨県立博物館—かいじあむ—	中山 誠二	歴史と地理	587
建築 廃材つぎはぎ 不思議な味わい[村井正誠記念美術館]	飯島 洋一	読売タ刊	3. 14	特別インタビュー リニューアルした山梨県立美術館「ミレー力」で25年 いま見直される先進性	島田 紀夫	ドーム	78
芥川記者の展覧会へ行こう 村井正誠記念美術館 あたたかな抽象の世界	芥川 喜好	"	4. 6	《特集・日本の地域博物館シンポジウム2》横浜市歴史博物館における各種教育講座—事例の紹介と若干の感想—	斉藤 司	MUSEOLOGIST	20
文書館・史料館めぐり 毛利博物館	柴原 直樹	日本歴史	686	アートギャラリー活動記録1999年〜2003年	庄司 尚子	横浜美・横浜市民ギャラリー紀要*	7
第21回 支部が推薦する博物館情報2. 東北支部 盛岡市遺跡の学び館の紹介—盛岡市の遺跡や文化財の拠点施設としての役割—	鷹背あゆみ 今野 公顕	博物館研究	448	「官製市場」の…裏側 横浜市公募選定の波紋は ブランド力民間へ波及効果 都、運営は4年後先送り[横浜美術館]	吉原 康和 金杉 貴雄	東京	6. 19
本学卒業生による活動報告 森美術館	松丘 律子	MUSEOLOGY	24	美術館が生まれる風景16 財団法人横山大観記念館		ギャラリー一*	237
(ヤ行)				開館10周年記念特別展「平山郁夫コレクション ブッダの生涯とガンダーラをめぐる人びと」	堀越 光信	四日市市立博物館研究紀要	12
第61回例会の報告 靖国神社にみる戦争の表象 1932—1944 [靖国神社遊就館]	河田 明久	美術運動史研究会 ニュース	73	特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 セルフガイド編 萬鉄五郎記念美術館 萬鉄五郎の美作り箱(ビックリパコ) 二〇〇四年度文化庁芸術拠点形成事業	平澤 広	ドーム	83
ミュージアムX Vol.9 ナショナルリズムとミュージアム 靖国神社遊就館が伝える近代史	暮沢 剛巳	美術手帖	862	(ラ行)			
随筆 人類の叡智[山形県立博物館]	伊藤美喜雄	博物館研究	448	特集 アートブックガイド2005 プロが読んでる美術の本27 テーマ300冊 LA GALERIE DES NAKAMURA avec lim-Art いいアートブックには、ふさわしい場所がある。	編集部	美術手帖	859
特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 広報編 山口県立美術館	杉野 愛	ドーム	83	中国地方美術館周遊 自然の光と個性の輝きと[ルイス・C・ティファニー庭園美術館]	進藤 昭	東京タ刊	10. 19
『つくる・みる・ささえる』の創造的調和」とは—第60回 山口県美術展覧会にむけての現状分析—	河野 通孝	山口県立美術館研究紀要	5	首都圏新カルチャースポット ル・ペイン		ART iT	7
美術館ボランティア活動報告	前田 淳子	"	"				
山口博物館における博学連携に関する一考察	松尾 勝美 勝田 賢則 徳本 正	山口県立山口博物館研究報告	31				
新潟県中越大地震からの資料救出活動—山古志村民俗資料館—	田邊 幹	民具マンスリー	453				

長野・安曇野彫刻から絵本まで多彩 北アルプス、水墨画の趣 田園に癒しの美術館[碌山美術館]

岩田 三代 日経夕刊 7.13

(ワ行)

民具を活用した体験学習と博物館教育活動—紀井風土記の丘子ども学芸員の試みから—[和歌山県立紀井風土記の丘]

加藤 幸治 民具マンスリー 442

特集 全国のおもしろ「カタログ+セルフガイド+広報」大集合 ワークシート集編 和歌山県立近代美術館

浜田 拓史 ドーム 83

資料目録 喜多村進収集絵はがき目録(1)

和歌山県立博物館研究紀要 11

海外

ヘンリー・コールとサウス・ケンジントン博物館[ヴィクトリア&アルバート美術館]

村上 晃子 MUSEUM STUDY 16

講演会「進化する美術館建築—ヴィトラ・デザイン・ミュージアムとボンビドー・センター・メス」アレクサンダー・フオン・フェーゲザック 坂茂 三宅理一

前記 田 慶成義塾大学アート・センター年報 12

歴博けんきゅう便第21回 東アジアの民俗学の発展をめざして—韓国国立民俗博物館との学術交流—

上野 和男 歴博 129

オピニオン2005 ポール・トンプソン[クーパー・ヒューイット国立デザイン博物館]

瀧口 範子 A X I S 118

現在通信from NEW-YORK 秋から冬のNY[グッゲンハイム美術館]

富井 玲子 新美術新聞 1068

グッゲンハイム美術館 若い芸術家育てるNY

酒井 潤 産経 6.9

「オルセー」以来 パリに大型美術館 来年開館 西洋以外にも光[ケ・ブランリー美術館]

富永 格 朝日夕刊 9.28

《特集》東アジア—漢文文化圏を読み直す《東アジアの資料学》故宮博物院と国家図書館(台北)[国立故宮博物院]

高橋 智 文学 6-6

銀座ギャラリー日記 中国現代美術のやる気[香格納画廊]

栗田 玲子 朝日夕刊 6.2

光あふれる邸宅美術館で東洋美術を見る 欲び[セルニユスキ美術館]

浦田 薫 芸術新潮 671

「朝日ディスプレイ」大英博物館で始まる

朝日 2.2

大英博物館、本社寄付で新展示

朝日夕刊 1.25

サイパンの激戦、後世に 現地に第2次大戦展示館オープン 戦前の姿や日米両国の見解を紹介[第二次世界大戦展示館]

東京夕刊 5.27

ディア・アート・フアウンデーション ディレクター:マイケル・ガヴァン アートそのものの力によって支えられる理念[ディア・ピーコン]

逸見 陽子 美術手帖 871

過激な変革も伝統的手法 テムズ湖畔の美術館から[テイト・ブリテン、テイト・モダン]

桜井 武 遠近 7

ザクセンの盛衰、ドレスデンの至宝 インタビュー マルティン・ロート ドレスデン国立美術館総裁「ドレスデン国立美術館」

アート トップ 203

ドレスデン美術館 ふたりの王の見果てぬ夢[ドレスデン国立美術館]

編集部 芸術新潮 668

独ドレスデンの美術館 水害教訓に「空中収蔵庫」

日経 1.15

ニューヨーク近代美術館(MoMA)リニューアル・オープン 「人と建築の展示のインタラクションとは？」

瀧口 範子 A X I S 114

現在通信from NEW-YORK

富井 玲子 新美術新聞

ニューヨーク MoMA 3 [ニューヨーク近代美術館]

1044

秋から冬のNY[ニューヨーク近代美術館]

1068

銀座ギャラリー日記 美術館を支える努力と文化[ニューヨーク近代美術館]

栗田 玲子 朝日夕刊 6.23

好 MoMAの“秩序”	酒井 潤 産 経	6.4							
新美術時評 思考を促す展覧「SPRING THE WEB」[ハウス・デル・クンスト]	長谷川祐子	新美術新聞	1073			前記	田	慶応義塾大学アート・センター年報	12
丘陵に生れた波うつ建築 パウル・クレー・センター開館		芸術新潮	669						
銀座ギャラリー日記ひと足先に「クレール・センター」	栗田 玲子	朝日夕刊	7.21					博物館研究	446
グロジェコフ博物館史—ハバロフスク市ロシア帝室地理学協会沿アムール支部博物館の歴史 1894—1917—[ハバロフスク地方郷土博物館]	L.V.コーネルヴァ	国立民族学博物館研究報告	29-4						
姉妹館提携20周年記念講演「大森貝塚を発見したモース博士のコレクションの魅力」[ビーボディー・エセックス博物館]	アンドルー・マスキ	大田区立郷土博物館紀要	15						
例会発表要旨 第98回例会：19世紀後半～20世紀初頭のバリ、その芸術活動の諸相 中世芸術、復興から復権へ—比較彫刻美術館(1882年)の考察	泉 美知子	日仏美術学会会報	24						
奇想遺産 ビルバオ・グッゲンハイム美術館 奇抜さ 街と芸術の行く末は	隈 研吾 朝 日		7.10						
斬新建築“未来都市”へ脱皮[ビルバオ・グッゲンハイム美術館]	松本 良一	読売夕刊	5.6						
新美術時評 思考を促す展覧「SPRING THE WEB」[フランクフルト近代美術館]	長谷川祐子	新美術新聞	1073						
アメリカに渡った日本人修復家たち(その4) ワシントンDC・フリーア美術館	西尾 喜行	〃	1066						
現在通信from NEW-YORK 秋から冬のNY[ホイットニー美術館]	富井 玲子	〃	1068						
ホイットニー美術館と20世紀アメリカ美術	山村 仁志	府中市美術館だより	15						
講演会「進化する美術館建築—ヴィトラ・デザイン・ミュージアムとボンビドー・センター・メス」アレクサンダー・フォン・フェーゲザック 坂茂 三宅理一									
9・11事件と摩天楼博物館	東 自由里								
現在通信from NEW-YORK 秋から冬のNY[メトロポリタン美術館]	富井 玲子	新美術新聞	1068						
美術館便り—二〇〇四年メトロポリタン美術館の秋—	渡辺 雅子	美史研ジャーナル	2						
「美術館で服を見る」ことの意義[モード&テキスタイル美術館]	成実 弘至 産 経		8.23						
「日本の考古—曙光の時代—」展 日本の考古学世界へ発信ドイツで展覧会 大きな一歩[ライプ・エンゲルホルン博物館]	山成 孝治	毎日夕刊	2.3						
アジアの美術館#001 リウム ホン・ラヤン副館長インタビュー	小崎 哲哉 聞き手	ART iT	6						
ナポレオン美術館のドゥノン[ルーヴル美術館]	臺 矢島 由子 國雄	MUSEUM STUDY	16						
写真撮りたい、撮らせない…「モナリザ」前攻防戦[ルーヴル美術館]		朝日夕刊	10.26						
お時間はいしゃく 商業的な利益より良質な文化 ルーヴル美術館長 アンリ・ロワレットさん	久原 穂	東京夕刊	3.16						
「モナ・リザの間」明るく快適に ルーヴル美術館改装	安藤 淳 日 経		4.6						

海外展

(ア行)

特集2 海外で見る・見せる・つくる！世界No.1のアートフェアを見る！Art Basel FAIR 2005 [バーゼル市(スイス)、6/15—6/20]	北澤ひろみ	美術手帖	870						
銀座ギャラリー日記アートフェアの「暑い夏」[アート・バーゼル]	栗田 玲子	朝日夕刊	7.28						

現代美術と原爆
「アトミカ」と「リト
ルボーイ」—2つの
展覧会を通して考え
ること[「アトミカ
見えないものを見せ
る」展、エッソ・ギ
ャラリー、6/7—
7/29]

由本みどり 美術運動
史研究会 ニュース 77

海外のアートシーン
から ニューヨーク
原爆をテーマに集結
した国際的作家の秀
作群[「アトミカ 見
えないものを見せ
る」展]

梁瀬 薫 美術手帖 870

国際展2005 元気
韓国アート界[安養
パブリックアートプ
ロジェクト、安養リ
ゾート、11/5—12
/15]

田中 三蔵 朝 日 11.17

韓国・安養パブリッ
クアートプロジェクト

三田 晴夫 毎日夕刊 11.17

海外のアートシーン
から アラーキーin
シンガポール! [ラ
イフ・ライク 荒木
経惟の写真世界展、
epSITEエブソン・
イメージング・ギャ
ラリー、ナンヤン・
アカデミー・オブ・
ファイン・アーツ
(NAFA)、3/23—
4/23]

中西 多香 美術手帖 865

海外のアートシーン
から ゲイツヘッド
+ ロンドン 4000点
でつづる天才・アラ
キーの軌跡[「アラ
キ 私・生・死」展、
バービカン・アート
・ギャラリー、10/
6—2006/1/22]

伊東 豊子 美術手帖 873

写真 ロンドンの荒
木経惟展 噴出する
エネルギー[「アラ
キ 私・生・死」展]

飯沢耕太郎 毎日夕刊 11.25

「中国陶都—宜興国
際陶芸検討会暨陶芸
展」に参加して[宜興
陶瓷博物館、6/1
—6/4]

城塚 朋和 明星大学
研究紀要 14

石内都氏ベネチア・
ビエンナーレへ
「傷」見据える写真家
開花[第51回ヴェネ
チア・ビエンナーレ
mother's 2002—2005
—未来の刻印、ジャ
ルディーニ地区b、
6/12—11/6]

田中 三蔵 朝日夕刊 5.11

海外のアートシーン
から ウィーン 汝
の過去と現在を想え
[井上廣子個展、オ
ットー・ワグナー
精神病院ユーゲント
シュティール・テア
ター、10/11—11/
28]

小勝 禮子 美術手帖 874

海外のアートシーン
から 上海 上海ア
ートに刺激を与えた
南條史生企画の展覧
会[ヴィジョン・エ
クスプレス・インタ
ーナショナル展、明
園文化芸術中心(ミ
ンユエン・アート・
センター)、5/25
—6/10]

石田留美子 " 870

戦乱・激動抗議の美
術 ベネチア・ビエ
ンナーレ初参加の
国々[第51回ヴェネ
ツィア・ビエンナー
レ、ジャルディー
ニ、アルセナーレ
他、6/12—11/
6]

西田 健作 朝日夕刊 7.29

フェミニズム・ア
ート浮上と、モダニ
ズム再検証が始まった
今年のヴェネツィア
・ビエンナーレ

森下 泰輔 ギャラ
リ 244

ヴェネチア・ビエン
ナーレ報告 審査員
として見た今年の特
徴 未完成でも新し
いもの生む熱気欲し
い

南條 史生 新美術新
聞 1063

新美術時評 ベネチ
ア・ビエンナーレの
弱小国 ルクセンブ
ルク館に拍手

山下 裕二 " 1065

ヴェネツィア・ビエ
ンナーレ、韓国館
「ドアの向こうは秘
密」

伊東 豊子 STUDIO
VOICE 357

生身の個から考える
第51回ヴェネツィア
・ビエンナーレ報告

武居 利史 美術運動
史研究会 ニュース 76

特集1 ヴェネツィ
ア・ビエンナーレで
見る最新★世界の注
目アーティスト122
人

美術手帖 870

「Always A Little
Further いつも
少し遠くへ」展

市原研太郎
伊東 豊子
北澤ひろみ
中原紗代子
三木あき子
BT

「The Experience
of Art アートの
経験」展

市原研太郎
中原紗代子
保坂健二郎
BT

ビエンナーレの歩き方2 〈世界の断片〉をつなぐニューフェイスの共有感覚

ピエンナーレの歩き方3 ゲリラ&便乗イベントこそ国際展の醍醐味だ！

アジアの熱風！
中国館 100年 遅
れの国家パビリオン・デビュー！

アジアの熱風！
韓国館 総勢15万
人の韓流パワー！

アジアの熱風！
東南アジア館

アジアの熱風！
中央アジア館

〈政治性〉をめぐる
てー第51回ヴェネ
ツィア・ビエンナ
ーレを観て

現代美術の歩き方
異論反論・現代美術
第51回ヴェネツィア
・ビエンナーレ美術
展 日本館の展示概
要決定「女同士で
ヴェネツィアへ」

「ベネチア・ビエンナーレ」開幕 女性による女性の展示 110年の歴史初の総合監督

ツウのひと声 美術
ベネチアでは絵画が
見たい！

文化往来 石内都、
ベネチア・ビエンナ
ーレに挑む

ベネチア・ビエンナーレを見て 上、下

報告ベネチア・ビエンナーレ 上、下

海外のアートシーンから アカルイミライ?新スペース「FUTURE PROSPECTS」立ち上げの舞台裏[江上計太・乃美希久子二人展「FISSION PRODUCTS」、FUTURE PROSPECTS、2/19-3/10]

海外のアートシーン
から ロサンジェルス
+ サンディエゴ &
ティファナ [エクスタシー
意識の変容のなかで/について、
ロサンジェルス
現代美術館、10/9
—2006/2/20]

廣 李果 " 874

ひとネコの木版画
ベルリンで[大野隆
司展、アトリエ&ギ
ャラリー「オコ」、3
/11-4/22]

読売夕刊 3.14

海外のアートシーンから 台北+高雄
日本統治時代の神社
の再現プロジェクト
[岡本光博 橋仔頭
神社境内再現プロジ
ェクト、橋仔頭糖廠
芸術村(高雄)、7/
18—11/5]

岩切 みお 美術手帖 876

海外のアートシーンからベルリン開発好明による発泡スチロールの茶室[開発好明個展「茶室発泡苑」、ベルリン東洋博物館、7/7—8/28]

河合 純枝 " 871

京畿道世界陶磁ビ
エンナーレ開幕へ
「文化を盛る陶磁」を
テーマに日本はじ
め世界67カ国、約
3000名が参加[第3
回京畿道世界陶芸
ビエンナーレ、利川世
界陶芸センター、広
州朝鮮宮窯博物館、
驪州世界生活陶磁
館 4/23-6/19]

新美術新聞 1049

韓国の文化振興とイ
ベントー〈第3回京
畿道世界陶芸ビエン
ナーレ〉を中心に
“韓流”の更なる躍進

藤田 一人

From web
てんぴょ
う

〈第3回京畿道世界
陶芸ビエンナーレ〉
多様な文化的交流の
証として

11

,

2004. 03.
05～
2005. 07.
06

不安感・人間存在映
す造形 世界最大級
「第3回京畿道世界
陶磁ビエンナーレ」
67カ国から3000人が
出展

福島 建治 朝 日 5.11

韓国・京畿道で陶磁
の国際展

目 録 5.2

国際展2005 元氣
韓国アート界[光州
ビエンナーレ、光州
ビエンナーレホー
ル、10/18-11/
3]

田中 三蔵 朝 日 11.17

特集 アジアンア
ートイベントプロ
グラム KIAF2005(韓
国・ソウル)[Korea In
ternational Art Fair
2005、COEX Indian
Hall(ソウル)、5/
24-5/29]

ギャラリー 241

ソウルに誕生した新
しいアートフェス
ティバル[2005年光
化門国際アートフェ
スティバル—光、人、
門、世宗文化会館
(ソウル)、4/13-
5/3]

" "

海外のアートシー
ンから 評価が高
まる小金沢健人が
新作を発表[小金
沢健人個展「Sex
without Sex」、
ペルリニニッ
シエ・ガレリー、
2/21-4/24]

河合 純枝 美術手帖 863

(サ行)

海外のアートシー
ンから ニューヨ
ーク ニューヨ
ークを360
度見回す風景[佐
藤時啓個展 グ
リーニング・ラ
イト、レスリー
・トンコナウ
画廊、12/9-2006/
1/9]

梁 瀬薫 " 876

現在通信from NEW-
YORK 消えてしま
うアート(2)[the
backroom、カル
バー・シティ地
区(ロサンジェ
ルス)、9/1-12/
31]

富井 玲子 新美術新聞 1076

特集 アジアンア
ートイベントプロ
グラム CIGE(中国・北
京)[China Interna
tional Gallery Expo
sition、国際貿易
中心(北京)、5/
5]

ギャラリー 241

北京レポート
China International
Gallery Exposition
早くも2年目で大
きく内容を充実
させたCIGE

" 242

通信J to A アジ
アへ ジャカルタ
のCPビエンナー
レ開幕 国際展
の功罪はどこに
あるのか[第2
回CPビエンナー
レ、インドネシ
ア銀行ユタ・ミ
ュージアムほか
ジャカルタ市内
各所、9/5-10/
5]

南條 史生 新美術新聞 1070

東アジアから世界
へ ソウルで二つ
の意欲的な展覧
会[City net Asia
2005、ソウル
市美術館、10/
5-11/20]

石川 健次 毎日夕刊 11.15

英国王立甲冑博物
館「SHOGUN」開
場式典参加訪問
を振り返って[英
国王立甲冑博物
館、6/6-8/31]

青山 隆生 大日光 76

特集 アジアンア
ートイベントプロ
グラム SIPA2005
(韓国・ソウル)
[ソウル国際版
画写真アートフ
ェア、ソウルア
ートセンター、
ハンガラム美術
館、10/21-10/
30]

ギャラリー 241

特集 ソウルの新し
いアートフェア
の形と… SIPA

" 248

東アジアから世界
へ ソウルで二つ
の意欲的な展覧
会[ソウル国際
版画写真アート
フェア、ソウル
アートセンター、
ハンガラム美術
館、10/21-10/
30]

石川 健次 毎日夕刊 11.15

(タ行)

異形のチェス・セ
ット 鑑賞すべき
か遊ぶべきか[草
間彌生][チェス
の芸術展、チェ
ルシー、ルアリ
ング・オーガス
ティン画廊、10/
28-12/23]

由本みどり 芸術新潮 674

第6回「中日美術
交流合同展」開
催される《北京
、10.17-23》
(社)日本南
画院と北京画
院が16年振
りに共催[第6
回中日美術交
流合同展、北
京画院美術
館、10/17-10/
23]

新美術新聞 1072

海外のアートシーン から ニューヨーク 照屋勇賢の次なる一 歩とは? [照屋勇賢 個展「フォレスト・ インク、ジョゼ・ ベンビエヌ・ギャラ リー、9/9-10/ 15]	杉浦 邦恵	美術手帖	873	産 経	1.13
海外のアートシーン から 上海 世界が 注目する上海にまた 新しい美術館が開館 した「[電子園林] 展、上海証大現代芸 術館、6/25-8/ 25]	石田留美子	"	870	遠藤 水城	美術手帖 864
海外のアートシーン から トリノ トリ ノ・トリエンナーレ の第1章[第1回トリ ノ・トリエンナーレ ・3美術館展「パン タグリユエル症候 群」、カステッロ・ ディ・リヴォリ現代 美術館、サンドレッ ト・レ・レバウデン ゴ財団美術館、GAM トリノ現代美術館、 11/11-2006/3/ 19]	かないみき	"	876		
(ナ行)					
特集 YOSHITOMO NARA+graf、AtoZ		STUDIO VOICE	358		
ソウルハウス [From the Depth of My Drawer、ロ ダン・ギャラリー (ソウル)、6/17 -8/21]	木村 覚				
世界との繋がりを 再構築してゆくと めに [From the Depth of My Draw- er]	松井みどり				
“書の巨人”西川寧回 顧展北京で開幕 中 国の書法究めた足跡 [西川寧書法芸術 展、中国国家博物 館、4/25-5/8]	高野 清見	読売夕刊	4.14		
オーストリアで日本 現代美術展 6月か ら「日本の知覚」 展、クンストハウス ・グラーツ、6/4 -9/11]			日 経	1.12	
「日本の知覚」展オー ストリアで「画一 的な日本観」覆す	前田 恭二	読売夕刊	8.24		
京の伝統工芸 NY 共同出展 異業種交 流会Kyooohoo! ? 畳や和紙など12社参 加[ニューヨーク国 際ギフトフェア、ジ エイコブ・ジャビッ ツセンター、1/29 -2/3]					
海外のアートシーン から アカレイミラ イ?新スペース「FU TURE PROSPECTS」 立ち上げの舞台裏 [江上計太・乃美希 久子二人展「FIS- SION PRODUCTS」、 2/19-3/10]					
(ハ行)					
舟越桂とエルンスト ・バルラッハ展-A Map of the Time[エ ルンスト・バルラッ ハ・ハウス、4/24 -7/24]	庄司 美樹	美術の窓	265		
舟越桂とエルンスト ・バルラッハ展-A Map of the Time	"	"	"		
秋の国際展から 北 京ビエンナーレ 西 洋近代美術の啓蒙に 力点[第2回中国北 京国際美術双年展、 中国国立美術館、中 華世紀壇芸術館、9 /20-10/20]	中原 佑介	毎日夕刊	11.22		
(マ行)					
「句」をうみだすアー トフェア マイアミ ・バーゼル~NADA ~GEISAI[マイアミ ・バーゼル・アート フェア、コンベンシ ョンセンター(ダウ ンタウン)、サウス ビーチ、ブルガリ・ パヴィリオン、12/ 6-12/10]	松井みどり	STUDIO VOICE	363		
magic village COS- MIC WONDER Yuki- nori Maeda[前田 征 紀 COSMIC WON- DER個展「マジック ・ビレッジ」、MU (アイントホーフェ ン)、6/11-7/ 10]	武藤 彩	"	356		
海外のアートシーン から ミュンヘン+ アイントホーフェン +バーゼル 衣服と 空間の自然な融合 [前田征紀 COSMIC WONDER個展「マジ ック・ビレッジ」]	保坂健二朗	美術手帖	870		

アートと一体未知の
領域[前田 征紀
COSMIC WONDER
個展「マジック・ビ
レッジ」]

成実 弘至 産 経 9. 11

海外のアートシーン
から ベルリン バ
ーカウターで現代
人の孤独を痛切に実
感[増山士郎個展「バ
ーキー・パーティー」
、芸術家会館ベ
タニエン、6/30—
7/17]

河合 純枝 美術手帖 871

海外のアートシーン
から ニューヨーク
街の記憶を表現した
マルチカルチャー展
[「街に住む」展、ジ
ャック・シャインマ
ン画廊、6/30—8
/5]

梁瀬 薫 " 870

(ヤ行)

海外のアートシーン
から ニューヨーク
NYの街を席卷する
パフォーマンス・ア
ート[ヤマタカEYE
個展 ONGALOO、
GBEY(ギャヴィン
・ブラウン・エンタ
ープライズ)パッサ
ーバイ、11/17—12
/10]

藤森 愛実 " 874

現在通信from NEW-
YORK 女性四題[暴
走族写真展(吉永マ
サユキ)、M WAKA-
SA PRESENTS(ニ
ューヨーク)、2/
4—3/5]

富井 玲子 新美術新聞 1048

(ラ行)

現在通信from NEW-
YORK

富井 玲子 " "

速報[リトルボー
イ：爆発する日本
のサブカルチャー
・アート、ジャパ
ン・ソサエティ
・ギャラリー、4
/8—7/24]

1053

速報「リトルボ
ーイ」展 村上隆、
一世一代の野心的
企画

1054

リトルボーイ私見

1055

村上隆の「リトルボ
ーイ」 谷口吉生の
MoMA ニューヨー
クに日本の原爆が落
ちて

彦坂 尚嘉 " 1061

『Little Boy:The Arts
of Japan's Exploding
Subculture』 愛と闘
いの旅の果てに：ス
ーパーフラット世界
戦略の名誉ある帰結

松井みどり STUDIO
VOICE 354

現代美術と原爆
「アトミカ」と「リト
ルボーイ」—2つの
展覧会を通して考え
ること

由本みどり 美術運動
史研究会
ニュース 77

村上隆キュレーショ
ン「リトルボーイ」展
in NY

美術手帖 865

「オタクの敵」村上
隆の明確なる変化

あさのまさ
ひこ

村上隆のスタンド
・ポジション

藤森 愛美

「脱力」に宿る芸術の
力 NYで異例のヒ
ット[リトルボー
イ：爆発する日本の
サブカルチャー・ア
ート]

村上 隆 朝日夕刊 5. 16

文化往来 村上隆企
画の「おたく」展、NY
で開催[リトルボー
イ：爆発する日本の
サブカルチャー・ア
ート]

日 経 4. 5

自嘲的な「日本像」を
提示 人気集める村
上隆企画「リトルボ
ーイ」展

森川嘉一郎 毎日夕刊 5. 23

村上隆が企画 NY
で「リトルボーイ」展

榎木 野衣 読売夕刊 7. 6

進む版画の“拡大解
釈” リュブリャナ
国際版画ビエンナー
レ50周年 映像・砂
上の足跡……幅広い
表現[第26回 リュ
ブリャナ国際版画ビ
エンナーレ、スロベ
ニア・リュブリャナ
国際グラフィックア
ート・センター、6
/23—10/2]

西田 健作 朝日夕刊 7. 28

(ワ行)

海外のアートシーン
から ベルリン 見
えないものが見えて
くる：不可視イコー
ル不在ではない
[「replace it for the
life」展、or'est、5/
27—6/23]

河合 純枝 美術手帖 868

「夢を見る」展@カル
ティエ現代美術財団
世界があなたを待っ
ている！？日本の若
者よ大志を抱け！
[「わたしはそれを夢
見ている」展、カル
ティエ財団現代美術
館、6／24—10／
30]

宮村 周子 STUDIO
VOICE 357

海外のアートシーン
から パリ 20周年
を迎えたカルティエ
現代美術財団の記念
企画[「わたしはそれ
を夢見ている」展]

三木あき子 美術手帖 870

平均25歳、異色の展
覧会 パリ・カルテ
ィエ現代美術財団
[「わたしはそれを夢
見ている」展]

西田 健作 朝 日 8.23

美術展覧会図録所載文献

企画展

(ア行)

アートSO展 2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会文化芸術協賛イベント 長野県信濃美術館

KALEIDOSCOPE
—5人の個性と表現展 高橋 直裕

「アートSO展」によせて 関 孝之

アール・デコ展 きらめくモダンの夢 東京都美術館他

序 ギレーヌ・ウッド

「アール・デコ」の位相—装飾芸術／ブラック・デコ／モダン・ガール 天野 知香

パリ1925 消費のモダニティー タグ・グロンバーク

アメリカのアール・デコ—即興、機械、摩天楼 宮本陽一郎

アール・デコと日本の工芸—「構成派」と呼ばれた工芸家たち 木田 拓也

アール・デコと商業建築・商業展示 千葉真智子

ファッションとアール・デコ—20世紀衣服の創造 深井 晃子

アール・デコとポスター 吉田 紀子

アジアのキュビズム—境界なき対話 東京国立近代美術館

アジアのキュビズム 建畠 哲

オン・ザ・テーブル—静物の実験 林 道郎

「複数の近代性」の交渉—アジア美術におけるキュビズムとの出会い アフマド・マシャディ

キュビズムにおける身体 松本 透

ネイション—国民の創生 後小路雅弘

中国のキュビズム

アジアのキュビズム—インドの場合

自律性のイメージ—1950年代および60年代におけるインドネシアのキュビズム絵画をめぐる諸問題

キュビズムと日本

韓国におけるキュビズム

一見したところ、キュビズム

マレーシアとシンガポールにおける近代美術の展開とキュビズムとの関わり

スリランカ美術におけるキュビズムの記号／語法の「存在」

タイのキュビズム—キュビズムから抽象美術へ

アジアの潜在力 海と島が育んだ美術 愛知県美術館

海から川へ

日本人のアジア美術認識を踏まえて

飛鳥の奥津城—キトラ・カラト・マルコ・高松塚。 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

終末期古墳のなかのキトラ・カラト・マルコ・高松塚古墳

付章、壁画古墳の保存—キトラと高松塚—

アナザームーブメント2005—Slow Arts— 金沢市内各所

§ 作家の言葉 §

伊藤 英高

伊能 一三

内田紫陽子

北岡 哲

木村たけし

舩田 正樹

李 超

ガヤトリ・デヴィ・シンハ

リスキー・A. ザエラニ

大谷 省吾

金 英那

パトリック・D. フローレス

アフマド・マシャディ

シャガト・ウィーラシンハ

スティ・クナーウィッチャーノン

市川 政憲

樋田豊次郎

相原 嘉之

〃

サイモン・リー・クラーク

〃 笹岡 敬

〃 少年少女科学クラブ

〃 辻 和美

〃 中島俊市郎

〃 中野キミオ

〃 本郷 仁

〃 山田 太郎

〃 行武 治美

天橋立紀行—その歴史と美術—開館35周年記念秋季特別展 京都府立丹後郷土資料館

天橋立紀行—雪舟のみた中世の風景— 福島 恒徳

アメリカ—ホイットニー美術館コレクションに見る—アメリカの素顔展 長崎県美術館他

アメリカを描く ダナ・A・ミラー

アメリカという造形概念 伊東 順二

モダニズムの教え 山村 仁志

アルス・ノーヴァ—現代美術と工芸のはざまに— 東京都現代美術館

アルス・ノーヴァ、あるいは剥きだしのアルス—なぜ、いま工芸と現代美術なのか— 北澤 憲昭

アルテ・ボーヴェラ 貧しい芸術 豊田市美術館

アルテ・ボーヴェラ (1967、68) ジェルマーノ・チュラント

アルティ・ボーヴェレ、複数形 金井 直

厳島神社国宝展 台風被災復興支援 奈良国立博物館他

世界遺産厳島の文化財保存について 平山 郁夫

厳島神社の工芸品—刀剣・甲冑を中心に— 原田 一敏

平家納経と平安文化	梶谷 亮治	対談 浮世絵から聞こえてくる音	ジェラルド・グローマースティーン・アデイス	第一帝政下での装飾芸術と宝飾	カトリヌ・アルマンジョン
厳島神社の舞臺と能—装束を中心に—	河上 繁樹	日本の音楽図像学のあゆみ	蒲生 郷昭	ローマ、ナポレオン博物館—叙事詩と一族の歴史の狭間のコレクション	ジュリア・ゴルゴーネ
祈りのすがた—下野の仏画—	栃木県立博物館	琵琶	藤田 治子	ローマ、マリオ・ブラーツ住居博物館	バトリツイア＝ロザツァ・フェッラーリス
下野の信仰と絵画	本田 論	描かれた三味線とその周辺	前原 恵美		
祈りの美—奈良国立博物館の名宝—	神奈川県立金沢文庫	北斎の馬の鈴	茂手木潔子	series I 「絵図」と「絵画」との間で	岡村桂三郎・菅原健彦・間島秀徳・三瀬夏之介 ギャラリー・オーブ
「祈りの美—奈良国立博物館の名宝」によせて	梶谷 亮治	美しき日本 大正昭和の旅	江戸東京博物館	「絵図」と「絵画」との間で 中間項としての「日本画」	天野 一夫
いわて近代洋画100年展	萬鉄五郎記念美術館／もりおか啄木・賢治青春館／岩手町立石神の丘美術館	川瀬巴水の「Miyajima Shrine in Snow」—昭和7年発行の鉄道省ポスターについて	小山 周子	§ 作家の言葉 §	岡村桂三郎
いわて洋画史への試みと黎明期の作家たちあれこれ	千葉 瑞夫	情報化する風景—「日本新八景」候補地の選考過程	新田 太郎	〃	菅原 健彦
岩手の近代洋画—明治末から大正期の美術団体	平澤 広	ウナセラ・ディ・トーキョー—ANOHI ANOTOKI—残像の東京物語 1935～1992 世田谷美術館		〃	間島 秀徳
昭和前期・美術団体の流れ	中村 光紀	残像のなかから—展覧会に寄せて	酒井 忠康	〃	三瀬夏之介
岩手の戦後美術	六岡 康光	「都市へ、そしてトーキョーへ」	高橋 直裕	江戸と桐生 華やかなりし文人交流展 群馬県立近代美術館	
インドネシア90年代後半の若手作家達 Passing on Distance	ギャラリーNAF	写真の時間	石崎 尚	第二回協同企画展に寄せて	榊原 悟
インドネシアの現代美術：第四の世代	廣田 緑	海・川・水の造形 徳島市立徳島城博物館	小川 裕久	I 佐羽淡斎と桐生	鶴見 香織
距離を保って	ヌルディアン・イッサン	海・川・水の造形	〃	II 『花濺涙帖』の文人・画人たち	大石 利雄
VOCA展2005 現代美術の展望—新しい平面の作家たち	上野の森美術館	「源平合戦図屏風」について		III (1) 富士・筑波—江戸のランドマーク—	乙村 静佳
選評	酒井 忠康	海を渡った日本文化 日韓交流展 宮崎県立西都原考古博物館		III (2) 隅田川—文人・画人交流の場—	松尾 有美
拡散について	本江 邦夫	栄山江流域における前方後円墳からみた古代の韓半島と日本列島	朴 天秀	IV 『江戸流行料理通』の世界	榊原 悟
絵画類似物	天野 一夫	栄光の大ナポレオン展 文化の光彩と人間のロマン 東京富士美術館他		江戸の武家屋敷 昭和女子大学光葉博物館	
選考にあたっての若干の感想	塩田 純一	建築家・都市計画家としてのナポレオン—壮大に、美しく、そして有益に—	ブリュノ・フカール	泥絵に描かれた大名屋敷	平井 聖
VOCA 2005 所感	松井みどり	帝政様式の成立	ハンス・オットーマイヤー	絵になった富士山 山梨県立美術館	
浮世絵の楽器たち	太田記念美術館	光と影の間で：芸術と芸術創造者たちの前でのナポレオン	ドニ・ラヴァル	「富士山の絵」雑考	田中 晴久
特別展「浮世絵の楽器たち」の企画にあたって	茂手木潔子			絵本におけることばとイメージ展 武蔵野美術大学美術資料図書館	
				絵本におけることばとイメージ	今井 良朗
				単純なシンデレラ物語にみる複雑なイメージとは！	本庄美千代
				赤ずきんにみる物語の解釈とイラストレーション	畠山紀美代

「赤ずきん」というアイテム	横井麻衣子	太田記念美術館の収蔵作品	永田 生慈	オランダと日本	越智裕二郎
絵本のイメージの飛躍	申 明浩	浮世絵の展開	〃	17世紀オランダ絵画と近代日本—无声会の活動に着目して—	飯尾由貴子
言葉とイメージ「おやゆびひめ」のイメージ	前沢 明枝	大原美術館展 古典になった前衛たち ルノワール、マティスからフォントナまで 岡崎市美術館		織の挑戦者たち—北村武資とうすはたの会 ダイワ・ジャパン・ハウス	北村 武資
エルミタージュ美術館展 華やぐ女たち ルネサンスから新古典まで 名古屋市美術館他		歴史の中の大原美術館	大原謙一郎	ごあいさつ	
美の女神は永遠に美しく	タチヤーナ・クストージェワ	古典となった前衛たち	芳賀 徹	(力行)	
女性像における肖像表現の推移	深谷 克典	大原コレクションに見る前衛精神	村松 和明	絵画でつづる源氏物語—描き継がれた源氏絵の系譜— 徳川美術館	
16—17世紀の女性像—イタリアとオランダ—	加藤 俊明	岡倉天心と日本美術院展 近代日本画の歩み 高島屋(日本橋)他		源氏絵の製作と受容—中世を中心として	龍澤 彩
描かれた母と子 ヴィジェ=ブランの母子像を中心に	南目 美輝	滔滔たる日本美術院の流れ 第一章・岡倉天心、その人と業績	細野 正信	江戸時代における源氏絵の享受について—婚礼調度を中心に—	吉川 美穂
王朝貴族の装束展—衣服を通してみる文化の国風化— 東京大学駒場博物館美術博物館		日本美術院(前期)第二章・東京美術学校開校と前期日本美術院	〃	絵画の行方—現代美術の美しさって何? 府中市美術館	
王朝貴族の装束展—衣服を通して見る文化の国風化—	義江 彰夫	黎明期の画家たち第三章・鑑画会とその後の共進会	〃	絵画の行方	本江 邦夫
近江八景から琵琶湖八景へ 彦根城博物館		伝統の継承と創造第四章・再興日本美術院の90年	〃	起源の絵画へ—須賀昭初と大谷有花について	山村 仁志
近江八景から琵琶湖八景へ	小井川 理	贈るころろ・受けとられた美—世界の国々との交流のなかで 宮内庁三の丸尚蔵館		現象としての絵画—二木直巳と小林俊介	神山 亮子
大阪・アート・カレイドスコープ2回 OSAKA 05 交通するアート／万華鏡的複眼思考のススメ 大阪府立現代美術センター／海岸通ギャラリー・CASO		皇室の外国交際と受けとられた美の品々—昭和天皇の2回のヨーロッパご訪問を中心に—	五味 聖	抵抗としての絵画—鈴木省三と水上央子の仕事から	武居 利史
アラン・ジョンストン インタビュー	アラン・ジョンストン	踊るサテュロス 東京国立博物館		§ 作家の言葉 §	大谷 有花
日英交流 大坂歌舞伎展—上方役者絵と都市文化— 大阪歴史博物館他		踊るサテュロス	青柳 正規	〃	小林 俊介
歌舞伎文化と座の創造性	C. アン德里ュー・ガーストル	海から美術館へ	セバスティアノー・トゥーサ	〃	須賀 昭初
江戸時代の歌舞伎ファン	神楽岡幼子	謎に満ちたブロンズのサテュロス	ロベルト・ペトリアッジ	〃	鈴木 省三
クローズ・アップの時代—江戸と大坂の役者似顔絵	ティモシー・クラーク	修復にあたっての問題と実際	バオラ・ドナーティ	〃	二木 直巳
太田記念美術館名品展 開館25周年 記念 太田記念美術館		オモテウミ 宇都宮美術館		〃	水上 央子
		「オモテウミ」	皆川 明	雅楽—伝統とその意匠美 宮内庁三の丸尚蔵館	宮内庁三
		オランダ絵画の黄金時代—アムステルダム国立美術館展 兵庫県立美術館		雅楽—伝統とその意匠美	太田 彩
		黄金時代—アムステルダム国立美術館の名品	ルー・ブリーム	金沢文庫の名宝—鎌倉武家文化の精華— 奈良国立博物館	
				金沢文庫と称名寺 その歴史と名宝	高橋 秀榮
				蒲生氏郷—戦国を駆け抜けた武将— 蒲生氏郷生誕450年記念 滋賀県立安土城考古博物館	
				総論「蒲生氏郷—戦国を駆け抜けた武将—」	高木 叙子

唐物茶入 根津美術館

唐物茶入一茶人に
選ばれた中国産褐
釉小壺一 西田 宏子

中世瀬戸茶入の編
年 井上喜久男

華麗なる伊万里、雅の京焼 東京国立博物館表慶館

ようこそ、伊万里
と京焼へ 伊藤 嘉章

華麗なる梅花の表現展 茨城県近代美術館

梅の花はどのよう
に描かれたかーと
くに室町時代から
江戸時代にかけて
一 小川 知二

「梅」の工芸一意味
から利用へ 竹内 順一

華麗なる梅花の表
現一近代日本画に
見る多彩な展開 中田 智則

漢詩人岡本黄石の生涯一第二章 その詩業と交友一 世田谷区立郷土資料館

岡本黄石の交友 村山 吉廣

正伝 岡本黄石の
生涯 武田庸二郎

菅茶山とその世界III 黄葉夕陽村舎に憩う 広島県立歴史博物館

菅茶山と松平定信
・白河藩士たち 佐川 庄司

一枝の梅の物語 岡野 将士

菅茶山と詩人たち
一文化十一年・江
戸での豊韻をめぐ
って一 花本 哲士

官展を彩った名品・話題作一大正～昭和初期の絵画と工芸 宮内庁三の丸尚蔵館

官展の美術一三の
丸尚蔵館所蔵の大
正から昭和初期に
かけての諸作をめ
ぐって 大熊 敏之

キアロスクーロールネサンスとパロックの多色木版画 フリッツ・ルフト・コレクションの所蔵作品による 国立西洋美術館

フリッツ・ルフト
コレクター、鑑定
家、美術史家 マーリア・
ファン・ペ
ルヘ=ジェ
ルボー

[補論]美術史家と
してのフリッツ・
ルフト 陳岡めぐみ

キアロスクーロ木
版画の歴史 エリック・ヒ
ルテルディ
ング

着彩された画面一
ネーデルラントの
キアロスクーロ木
版画 幸福 輝

キアロスクーロ木
版画と浮世絵版画 渡辺 晋輔

北大路魯山人と岡本家の人びと展 川崎市岡本太郎美術館

北大路魯山人と、
岡本可亭、かの
子、太郎の書につ
いて 萱原 晋

北大路魯山人と岡
本家の人びと 佐々木秀憲

「きのうよりワクワクしてきた。」
ブリコラージュ・アート・ナウ 国立民族学博物館

ブリコラージュに
針路をとれ!! 佐藤 浩司

ブリコラージュな
表現者たち 僕の
イメージは、どん
なことがあっても
つぶれない はたよしこ

『思い出と記録と
テクノロジー』 野島 久雄

枠をすり抜ける表
現者たち はたよしこ

ワクワクのありか
た 今村 源

美術展でもなく、
博物館展示でもな
く一井めしのある
(現場) 山下 里加

木下翔近コレクション 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

木下翔近コレクシ
ョンとマンダラ 真鍋 俊照

俵屋宗達筆《狗子
図》(木下翔近コレ
クション) 河野 元昭

木下翔近とコレク
ション 木下和香子

気まぐれ美術館 洲之内コレクション展 茨城県近代美術館

コレクションのな
かのコレクション 小泉 淳一

京の優雅～小袖と屏風～千總コレク
ション 京都文化博物館

小袖類のこと一魅
力の諸相一 切畑 健

友禪染の展開と千
總 藤本 恵子

千總の歴史 泉 要次郎

巨匠たちのパレット&絵画展～梅
原、安井からピカソ、ダリまで～
川崎市立美術館

パレット絵とその
作家、その時代 瀧 悌三

北川民次の作品に
ついて 浅見 千里

煌めきのかたち一20世紀ガラスの
精華 釧路市立美術館

20世紀ガラスの精
華 水田 順子

桐生再演11回 街における試み
桐生市

§ 作家の言葉 § 加藤 力

〃 姜 宇英

〃 赤坂 有芽

〃 小林加奈子

〃 皆川 俊平

〃 石井香菜子

〃 上村 豊

〃 海老原 慧

〃 久保田邦仁

〃 久保 福子

〃 小高 敦子

〃 田中 詩子

〃 赤池 孝彦

〃 飯沢 康輔

〃 石井 理絵

〃 岡田 賢司

〃 佐藤比南子

〃 西村 雄輔

〃 平野 昌史

近代から現代へ 木版画の革新一恩
地孝四郎から萩原英雄まで一 山梨
県立美術館

近代から現代へ一
木版画の革新 向山富士雄

モダニズム/反モ
ダニズム一1930年
代の革新的木版表
現一 滝沢 恭司

モダニズム都市の
観察者 前田藤四
郎一初期の前衛作
品一

橋爪 節也

再読『日本の現代
版画』—恩地孝四
郎にとつての「版
画」—

井上 芳子

近代日本美術の名作展—高橋由一か
ら松本竣介まで—収蔵品による 神
奈川県立近代美術館(鎌倉)

はじめに—明治大
正の洋画について

太田 泰人

熊野速玉大社の名宝—新宮の歴史と
ともに—世界遺産登録記念特別展
和歌山県立博物館

概説 熊野速玉大
社の名宝—古神宝
を中心に—

安永 拓世

くらしの造形16 回れ・まわれ・
水車〜武蔵野の水車ミュージアム〜
武蔵野美術大学美術資料図書館

水車に魅せられた
日本画家がいた
伊藤綾春の画帖発
見

石野 律子

グローバル・プレイヤーズ 日本と
ドイツの現代アーティスト ギャラ
リー—なつか／コバヤシ画廊／ギャラ
リーK／ギャラリー現／ギャラリー
山口／ギャラリー東京ユマニテ／藍
画廊／ギャラリー21+葉／なびす画
廊／ギャラリーQ／東京画廊／ギャ
ラリー 菊／CAI Contemporary Art
Institute他

「歩み寄りの試み」

ハラルド・
クンデ

「気概と抵抗」が残
したもの

上田 雄三

黒田清輝、岸田劉生の時代 コレク
ションにみる明治・大正の画家たち
ポーラ美術館

ポーラ美術館の明
治・大正の洋画

荒屋鋪 透

洋画の灯火は消え
てしまうのか—小
山正太郎と《濁醪
療渴黄葉村店》の
時代

内呂 博之

黒田清輝《野辺》に
ついて

荒屋鋪 透

藤島武二による
「日の出」の連作に
ついて

内呂 博之

岡田三郎助《少女
像》と美人写真コ
ンテスト

佐藤みちこ

《あやめの衣》を描
いた画人、岡田三
郎助—技法材料研
究に捧げたその画
道を追って

内呂 博之

富士と薔薇を愛し
た画家—和田英作

佐藤みちこ

萬鐵五郎の裸体表
現—下絵と本画の
関係を中心に

内呂 博之

村山槐多《湖水と
女》をめぐる

佐藤みちこ

岸田劉生の鵲沼、
京都・鎌倉時代—
「家族の肖像」と東
洋の美

”

群馬青年ビエンナーレ'05 群馬県
立近代美術館

審査総評

会田 誠
東谷 隆司
谷 新
原 久子
やなぎみわ

芸術院の日本画 日本芸術院所蔵

天竜市立秋野不矩美術館他

芸術院の日本画

野口 玲一

源氏絵—華やかなる王朝の世界—
出光美術館

源氏絵 その歴史
と展開

内藤 正人

幻想のコレクション 芝川照吉 劉
生、達吉、柏亭らを支えたもう一
つの美術史 渋谷区立松涛美術館

芝川照吉と近代美
術のパトロンたち

瀬尾 典昭

芝川コレクション
と藤井達吉

木本 文平

芝川照吉の生涯と
美術家たち

瀬尾 典昭

現代ガラス大賞展2回・富山2005
富山市民プラザ・アートギャラリー

審査講評(第二次
審査)

武田 厚
福田 繁雄
横山 尚人
八木 近直
バヴェル・
トルンカ

素材にどこまでこ
だわるか—オース
トラリアの場合と
日本の今

武田 厚

「第2回現代ガラ
ス大賞展・富山
2005」その内容
と今後の展望につ
いて

川上 貴裕

現代ガラスの挑戦—光の彫刻展
Toyama City Collection 菊池寛実
記念智美術館

現代ガラスをどう
見るか—その成り
立ちとスタジオ・
グラス

武田 厚

現代中国の美術展 中国第10回全
国美術展受賞優秀作品による 茨城
県近代美術館他

「第10回全国美術
展受賞作品展」を
見て

安永 幸一

21世紀の文化環境
と中国美術の発展
の特徴—「第10回
全国美術展受賞作
品展」日本展に寄
せて

範 迪安

遣唐使と唐の美術 東京国立博物館
他

井真成の墓誌と天
平の遣唐使

東野 治之

唐時代の金銀器

松本 伸之

唐三彩をめぐる諸
問題

今井 敦

8世紀における東
アジアの外交情勢
と遣唐使による中
日交流

栄 新江

ゲント美術館名品展 西洋近代美術
のなかのベルギー 高松市美術館他

ゲント美術館と近
代美術

ロベール・
ホーゼー

近代ベルギー美術
とヴラアンデレン
(フランドル)文化

高木 陽子

皇后陛下のご養蚕と正倉院裂の復元
宮内庁三の丸尚蔵館

皇室とご養蚕

太田 彩

正倉院宝物の模造
と正倉院裂復元模
造の意義

三宅 久雄

構造社展 昭和初期彫刻の鬼才たち
福井市美術館他

序にかえて—構造
社の沿革

浜崎 礼二

両大戦間期の日本
の彫刻界

田中 修二

構造社と「総合試作」	齊藤 祐子
境界領域としてのフィギュールー清水三重三と萩島安二	前村 文博
「構造社」の時代	浜崎 礼二
芸術を通して自己探求した自由人ー雨田禎之(光平)	石堂 裕昭
彫刻と道楽の世界	山口 昌男
齋藤素庵とその時代	迫内 祐司
寺畑助之丞における工芸、建築と彫刻	田中 典子
日名子実三	広田 肇一
陽成二の彫刻とその意義	伊豆井秀一
興福寺創建1300年記念 国宝 仏頭 東京国立博物館	
興福寺 国宝 仏頭 金子 啓明	
古九谷浪漫 華麗なる吉田屋展 加賀の美ー180年の時を超えて 松屋(銀座)他	
華麗なる吉田屋 古九谷再興への道	中矢 進一
古九谷、吉田屋、そして現代につながる加賀の色絵釉薬	徳田八十吉
加賀文化と吉田屋窯	北 春千代
江戸・化政時代の粹ー吉田屋の陶画	荒川 正明
古九谷と若杉窯、吉田屋の銘について	新井 光風
吉田屋文書	中矢 進一
九谷吉田屋窯の理解に向けて	藤田 邦雄
山代吉田屋窯跡について	田嶋 正和
極楽ー北陸の浄土教美術ー 福井市立郷土歴史博物館	
浄土教ー思想とその表象	末木文美士
北陸の浄土教美術ー展示作品を中心にー	志賀 太郎
心の風景ー寺田小太郎の眼から 川越市立美術館	

心の風景／心象のコレクションー寺田小太郎氏蒐集の作品について 堀 元彰

古代エジプト展 ルーヴル美術館所蔵 名古屋博物館他

エジプト学の誕生についてールーヴル美術館エジプト部門 クリスティアーヌ・ジグレル

エジプト美術 鈴木まどか

古代エジプト文明3000年の世界 京都文化博物館他

古代エジプト文明へのいざない 山花 京子

古密教 日本密教の胎動 奈良国立博物館

古密教展概説 内藤 榮

奈良朝古密教の歴史に関する覚書ー中国武周期前後の状況を中心に 稲本 泰生

奈良時代の悔過会と造像 谷口 耕生

(サ行)

最澄と天台の国宝 天台宗開宗一〇〇〇年記念 京都国立博物館他

比叡山一千二百年の歴史 武 覚超

日本天台の教学と美術 大久保良峻

日本天台宗の祖師ー最澄・円仁・円珍 赤尾 榮慶

装飾経の歴史ー天台寺院伝来の経典を中心に 島谷 弘幸

伝統の継承ー最澄自刻の薬師と円仁請来の阿弥陀 浅瀬 毅

天台絵画の森に踏み迷うー思想と美術の横断的小考 泉 武夫

天台系の垂迹画ー山王曼荼羅の造形世界 行徳真一郎

初期天台密教における法具の整備 久保 智康

金色堂の荘厳と中尊寺経の軸端金具 加島 勝

天台宗略年表 三井田妙久編

挿絵本のたのしみー近代西洋の彩りうらわ美術館

挿絵本と色をめぐ 坂本 満

静岡New Art「あなたの居場所」展 静岡県立美術館／旧浜松銀行協会

静岡New Art「あなたの居場所」展について 堀切 正人

作家の言葉 居城 純子

高橋 唐子

ー建築にまつわる個の記憶ー 柳原 詮子

Farewell to fathers 米原 昌郎

自然をめぐる千年の旅 山水から風景へ 愛知県美術館

描かれた日本の自然 辻 惟雄

第一章 聖なる自然 信仰と自然ー鎌倉時代の絵画を主にー 中島 博

第二章 理想の風景 河野 元昭

第三章 季節の中で 季節の移ろう自然の中で 小林 忠

第四章 動植物へのまなざし 馬淵 美帆

第五章 実在の場所ー名所絵から風景画へー日本美術の実景描写ー江戸時代までー 佐藤 康宏

第五章 実在の場所ー名所絵から風景画へー近代黎明期の風景表現ー高橋由一を中心にー 牧野研一郎

宿院仏師ー戦国時代の奈良仏師ー 奈良国立博物館

展覧概説 宿院仏師ー戦国時代の奈良仏師ー 鈴木 喜博

名勝縮景園の原風景ー縮景園山荘図を中心にー 広島城

縮景園の景観に関する二、三の考察 荒木 清二

修羅と菩薩のあいだでーもうひとり人間像ー 京都市美術館

修羅と菩薩 梅原 猛
 思い出す二人 鶴見 俊輔
 近代、「仏画」空間の意味のひとつ 尾崎 真人
 ～春光うらら～さくら・桜展 箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション
 天童市美術館
 さくら讃歌 細野 正信
 正倉院展57回 奈良国立博物館
 装束から見た伎楽 田中 陽子
 玄奘三蔵の帰朝と「仏弟子観自在」の写経・造像 稲本 泰生
 基子の数 岩田 茂樹
 中倉に伝わるガラス玉について 吉澤 悟
 松涛美術館公募展2005 渋谷区立松涛美術館
 審査を終えて 清原 啓一
 聖徳太子と国宝法隆寺展 愛媛県美術館他
 法隆寺の歴史—平安時代までを中心に— 東野 治之
 法隆寺の建築 鈴木 嘉吉
 法隆寺の彫刻 鷺塚 泰光
 法隆寺の絵画 梶谷 亮治
 考古学から見た法隆寺の創建と変遷 前園実知雄
 飛鳥時代の工芸 内藤 榮
 昭和の美術 1945年まで—〈目的芸術〉の軌跡 新潟県立近代美術館
 〈目的芸術〉としてのプロレタリア美術と戦争美術 澤田 佳三
 「戦争美術」研究小史 長嶋 圭哉
 “つながらなさ”と“つながり”—昭和戦前・戦中期の彫刻 田中 修二
 広告から宣伝へ—グラフィック・デザインの転機 森 仁史
 新シルクロード 幻の都楼蘭から永遠の都西安へ 江戸東京博物館他
 近年の楼蘭考古の新収獲 新疆文物考古研究所 小澤 正人 翻訳

陝西唐墓壁画の発見と研究の概要 申 秦雁 八木 春生 翻訳
 親鸞と青砥藤綱—東京下町の歴史伝説を探る— 葛飾区郷土と天文の博物館
 中世真宗の本尊 津田 徹英
 「葛西門徒」の謎をさぐる 西岡 芳文
 近世葛西氏の中世伝承 今野 慶信
 スイス現代美術展 リアルワールド—現実世界 千葉市美術館
 宵のうち、天気が穏やかなら、外で散歩ができる フランソワーズ・ニンゲット
 リアルワールドについて語るアーティストたち 水沼 啓和
 スイス・スピリッツ 山に魅せられた画家たち 松本市美術館他
 スイス・スピリッツ—山とスイス美術 ペアート・ウィズマー 後藤 文子 訳
 岩倉使節団の見たスイスの風景『特命全權大使 米欧回覧実記』より 小林 純子
 隋唐の美術 中国国家博物館所蔵 正倉院宝物の故郷を辿る 佐川美術館
 漢風胡韻 6～10世紀の中華古文明 高 世瑜
 唐俑 孫 機
 唐代駱駝俑小考 梁 豊
 中国国家博物館所蔵 盛唐期の工芸品と正倉院宝物 河田 貞
 菅橋彦大賞展6回 高島屋(難波)他
 § 審査を終えて § 内山 武夫
 第6回菅橋彦大賞展に参加して 草薙奈津子
 審査雑感 現代風俗に突き入る難しさ 瀧 悌三
 § 審査を終えて § 土屋 禮一
 ” 中野 嘉之
 スコットランド国立美術館展 新潟市美術館他

新しい世紀に向かって—フランスとスコットランドの美術、1850—1900年 クリストファー・ペイカー
 19世紀の「眺望」 宮澤 政男
 ストーリーテラーズ—アートが紡ぐ物語— 森美術館
 アートが紡ぐ物語 荒木 夏実
 語るオブジェの花園で 巽 孝之
 映像：移動する視点がとらえる物語 神谷 幸江
 § 作家の言葉 § エイヤニリーサ・アハティラ
 ” ジャナン・アルアニ
 ” イケムラレイコ
 第3章「遭難」について 鴻池 朋子
 § 作家の言葉 § トレイシー・モファット
 ” 小谷 元彦
 ” マーク・ウオリンジャー
 ” キャレン・ヤシンスキ
 聖地への憧れ 中世東国の熊野信仰 神奈川県立歴史博物館
 聖地への憧れ 中世東国の熊野信仰 古川 元也
 研究ノート 熊野権現影向図考 梅沢 恵
 世界の呼吸法—アートの呼吸 呼吸のアート 川村記念美術館開館15周年記念 川村記念美術館／佐倉市立美術館
 世界の呼吸法—芸術の蕊のための 小泉 晋弥
 世界の呼吸法—芸術・呼吸・生命 上神田 敬
 関野貞アジア踏査 平等院・法隆寺から高句麗古墳壁画へ 東京大学コレクションXX 東京大学総合研究博物館
 関野貞の足跡—序論に代えて 藤井 恵介

関野貞と日本建築史研究	藤井 恵介	前衛の女性 1950—1975 栃木県立美術館		写真展 地球を生きる子どもたち Bunkamuraザ・ミュージアム他	
関野貞における様式の形容表現	加藤 悠希	戦後の「前衛」芸術運動と女性アーティスト 1950—60年代	小勝 禮子	人類の課題	田沼 武能
法隆寺非再建論解説	鈴木 智大	フルクサスと日本人女性芸術家たち	由本みどり	いま「子どもの写真」を見ること	竹内万里子
解体修理の誕生—関野貞による古社寺修理手法の開拓	清水 重敦	戦後美術と下関 下関市立美術館		子どもと写真の力	平木 収
文化財行政の運用	角田 真弓	下関の戦後美術(洋画篇)	濱本 聡	茶と金沢貞顕 開館75周年記念特別展 神奈川県立金沢文庫	
教育から読み解く工学・建築・美術認識	"	漫画少年の描いた虹の放物線—戦後に芽生えた長府版トキワ荘の夢—	(潤)	金沢文庫文書にみる茶の効能と用途	高橋 秀榮
関野貞と日本美術史	大西 純子	造形集団 海洋堂の軌跡 水戸芸術館現代美術ギャラリー他		茶の湯 名碗—新たなる江戸の美意識 五島美術館他	
関野貞と日本考古学	網内田 伸也 好昭	海洋堂の軌跡—日本で最初を試みる	宮脇 修	文献・史料にあらわれた茶碗 江戸時代前半期を中心に	佐藤 豊三
関野貞と東京美術学校	大西 純子	フィギュアと現代美術—アーティストの unseen	浅井 俊裕	韓国陶磁史における高麗茶碗	片山 まび
日録からみた家庭における関野博士のすがた	深津 裕子	欲望と消費、あるいは戦後日本文化と海洋堂	工藤 健志	中宮寺 国宝 菩薩半跏像 東京国立博物館	
関野貞と韓国建築史	韓 三建	日本のプラモデル史	山本 直樹	中宮寺 国宝 菩薩半跏像	金子 啓明
関野貞による韓国最古木造建築の追求：浮石寺無量寿殿	韓 志晩	(タ行)		中国☆美の十字路展 森美術館他	
関野貞による古建築価値判断基準について	韓 三建	大名細川家一文と武の軌跡— 八代市立博物館未来の森ミュージアム他		漢唐期の東西南北の文化交流	曾布川 寛
関野貞と朝鮮考古学	早乙女雅博	I 山城・丹後時代	有川 宜博	暗黒時代、あるいはグローバル・ヴィレッジか? 3世紀から7世紀の中国文化	デヴィッド・エリオット
関野貞の朝鮮古蹟調査	高橋 潔 広瀬 繁明 山本 雅和	II 豊前在国時代の細川家	日比野利信	何家村出土の宝物と東西交流	斉 東方
関野貞と楽浪遺跡の調査研究	鄭 仁盛	III 肥後入国後の細川家	林 千寿	漢から唐への越窯青磁の発展	出川 哲朗
高句麗壁画古墳の調査と保存	早乙女雅博	IV 細川家と文芸—細川幽斎と文芸・故実	鳥津 亮二	南北朝時代の華北における陶磁の革新	森 達也
高句麗・広開土王碑・東大建本本の調査	"	V 工芸と数寄	福原 透	中世信濃の名僧 知られざる禅僧たちの営みと造形 飯田市美術博物館	
関野貞と中国の古物古跡保存事業	徐 蘇斌	大名茶陶 高取焼 福岡市美術館他		「渡来僧の世紀」と信濃	村井 章介
関野貞の中国彫刻史研究と石窟調査	肥田 路美	筑前藩窯高取焼—筑前焼から高取焼へ	尾崎 直人	中世絵画の形成と発展	中島 純司
関野貞の画像石調査・研究—武氏祠画像石を中心に—	下野 玲子	楽しい版画展 笠岡市立竹喬美術館他		開善寺開山の背景—伊賀良莊地頭江間氏に関する考察—	祢津 宗伸
関野貞の中国考古学研究	谷 豊信	楽しい版画—近代版画の技法と歩み	上 蘭 四郎	開善寺と大鑑派の禅僧—中世日中交流の立役者—	織田 顕行
関野貞の亀趺碑研究	平勢 隆郎	国画創作協会と創作版画	"	知久氏出身の宗匠	早苗 憲生
関野貞の中国建築史学	田中 淡	版画技法に魅せられて	日野 幸治	中世妙心寺派の伊那谷への布教	横山 住雄

『大鑑清規』の喫茶
儀礼—中世喫茶事
情を解く鍵— 祢津 宗伸

肖像画に込められ
たメッセージ—清
拙正澄の頂相— 織田 顕行

椿会展2005 資生堂ギャラリー

§ 作家の言葉 § 堂本 右美

〃 青木 野枝

〃 山本 直彰

〃 イワタリ

〃 辰野登恵子

〃 世良 京子

〃 三輪美津子

〃 鷺見和紀郎

〃 児玉 靖枝

椿会の5年間を振
り返って 座談会 北澤 憲昭
建畠 哲
樋口 昌樹

「D/J Brand」～ドイツに学んだアー
ティストの発火点～ 東京芸術大学
大学美術館

ドイツに学ぶ作家
たち 薩摩 雅登

D/J in Brand?—
東京は燃えている
か? 山本 和弘

ドイツと日本／メ
ディアアートにお
ける共生 伊藤 俊治

§ 作家の言葉 § 宮田 亮平

〃 佐藤 一郎

〃 坂口 寛敏

「芸術家のポート
レート」 高木 公史

§ 作家の言葉 § 渡辺 好明

〃 中瀬 康志

〃 宮嶋 葉一

〃 野村 和弘

§ 作家の言葉 §
[ヘンク・ファン
・デア・ハイデン] 戸川 英夫

§ 作家の言葉 § O JUN

「横溢するカルナ
ション」 紫牟田和俊

§ 作家の言葉 § 大西 博

〃 ビルギット
・ミューラー

〃 山野辺英明

〃 斎藤美奈子

〃 菊池 省吾

〃 今 義典

〃 増山 裕之

〃 藤幡 正樹

「ドイツと私と音
楽」 古川 聖

「ベッド・ラム」 ドベルト・
ダロル

§ 作家の言葉 § 田中奈緒子

庭園植物記 東京都庭園美術館

庭園植物記—絵画
から写真へ、観察 岡塚 章子
から表現へ

転換期の作法 ポーランド、チェ
コ、スロヴァキア、ハンガリーの現
代美術 国立国際美術館他

光は東方より? 加須屋明子

中欧地域の「転換」
その社会・政治的
背景 羽場久泥子

身体の諸相—それ
ぞれのポジショニ
ング 岡村 恵子

新時代の主体^{サブジェクト} ヤロスワフ
・スーハン

オルタナティヴな
文化から、ポスト
社会主義の真の文
化へ—チェコの現
代美術に関するふ
たつのノート イジー・シ
ェフチーク

スロヴァキアの現
代美術のおかれた
状況 カタリーナ
・ルスナー
コヴァー

ユートピアとの訣
別 ネーライ・
カタリン

転形する中欧 小島 亮

前衛という宿命、
あるいは20世紀ポ
ーランド美術—コ
プロとスツジェミ
ンスキ 関口 時正

ドイツ写真の現在—かわりゆく「現
実」と向かいあうために 東京国立
近代美術館他

現実とイメージの
はざまに—ドイツ
現代写真の状況
インカ・グ
レーヴェ・
インゲルマ
ン
中田 耕市
訳

東京国際ミニプリント・トリエンナ
ーレ2005 多摩美術大学付属美術
館

審査評 峯村 敏明

版画の原点 本江 邦夫

版画とは何なのか 小作 青史

審査に関する感想
・評価 高橋 士郎

審査評 建畠 哲

世界の背後にひそ
んでいるイメージ 米倉 守

東京府美術館の時代 1926—1970

開館10周年記念 東京都現代美術
館

東京府美術館の時代 齊藤 泰嘉

「美術館」という場
所で—1926年から
70年まで 加藤 弘子

上野公園と東京府
美術館 米崎 清実

画家／批評家／教
育者による展覧会
場の可能性 関 直子

美術館とアヴァン
ギャルド—制度史
的観点による仮説
的エスキス 北澤 憲昭

明治40年から大正
15年を経て昭和2
年に至る交響的変
奏—美術工芸の長
い道のり 森 仁史

紀元二千六百年奉
祝美術展覧会—
「帝展改組」と「東
京美術学校改革」
のはざままで 林 洋子

「非常な冒険」の展
覧会—東京ビエン
ナーレ'70再考 渡部 葉子

唐招提寺展 国宝鑑真和上像と盧舍
那仏 TBSテレビ50周年記念 金

堂平成大修理記念 東京国立博物館
他

鑑真和上の思い 木村 清孝
箕輪 顕量

鑑真和上と仏像 岩佐 光晴

鑑真和上 陳 舜臣

盧舍那仏坐像 浅見 龍介

鑑真和上坐像 〃

梵天・帝釈天・四
天王立像 丸山 士郎

御影堂障壁画 松嶋 雅人

東大寺公廩上人—江戸時代の大仏復
興と奈良— 奈良国立博物館

東大寺公慶上人
江戸時代の大仏復興と奈良 西山 厚

トヨタコレクション展—モノづくりの源流 産業技術記念館

絵具箱の謎 海外交流の結晶 勝盛 典子

「書画」から「絵画」へ 横山松三郎を中心に 山梨絵美子

ドレスデン国立美術館展—世界の鏡 兵庫県立美術館他

ドレスデンの美術収集室 知と技の道具 マイケル・コーリー

数学物理学サロンの地球儀に見られる16世紀から18世紀における日本の表現 ヴォルフラム・ドルツ

大航海時代以降の東アジアにおける西洋文化の影響 越智裕二郎

ドレスデン宮殿の中国磁器 フェルディナンド・デ・メディチから1590年に贈られた品々 エヴァ・シュトレパー

陶磁器の贈答による宮廷間の文化交流 ウルリヒ・ビーチュ

支配者像の手本—モードの手本 アウグスト強王の私的な衣服と調度の手引きとなったフランス王ルイ14世 ユッタ・ボイメル

ドレスデンの「王の収集室」? アウグスト強王の銅版画室におけるフランス受容 クラウディア・シュニッツァー

フランス王ルイ14世の「金工品による歴史」と、アウグスト強王治世下のザクセンにおけるメダル美術とその受容について マルティン・ハイデマン

「聖マルコのライオンの翼に乗って」ザクセン=ポーランド王アウグスト2世とアウグスト3世の時代におけるヴェネツィア芸術移入の様々な道筋 ヴォルフガング・ホラー

「なぜならこの宮殿はまさに、オリエント風の離宮であるべきなのだから」18世紀ドレスデンの城館建築に見られる異国風の要素について

日本近代美術におけるレンブラントの受容 鏡の前の中村彝 佐藤 直樹

ロイスダール—非ロマン主義的な詩作とロマン主義的な絵画 ペトラ・クルマン=ホディック

(ナ行)

長崎大万華鏡—近世日蘭交流の華
長崎—開館記念特別展 長崎歴史文化博物館

国立民族博物館の発展と、ブロンホフ、フィッセル、シーボルトの日本コレクションに求められるそのルーツ

川原慶賀とデ・フイレンヌフェー石橋助左衛門の肖像図をめぐって— 岡 泰正

阿蘭陀通詞石橋氏と「石橋助左衛門御絵像」 本馬 貞夫

『唐館蘭館図屏風』の成立及び唐館蘭館絵巻との関係について 海江田義広

唐絵目利広渡家と二人の広渡湖秀 原田 博二

ナポレオンとヴェルサイユ展 皇帝戴冠200年記念 ヴェルサイユ宮殿美術館所蔵 神戸市立博物館他

ヴェルサイユ—新しい芸術の鏡 クレール・コンスタン

ヴェルサイユのコレクションに見る革命から帝政までの帝政時代のヴェルサイユ ジェミレー・ブノワ

革命から帝政までの工芸様式の変遷

描かれた英雄—ナポレオンと君主の肖像 大野 芳材

ナポレオンと江戸 江戸のナポレオン図像 岡 泰正 塚原 晃

生の芸術 アール・ブリュット展
HOUSE OF SHISEIDO

百年のコレクション、収集家の一世紀 バーバラ・サファロヴァ

南国土佐を後にして 高知の近代美術交流史 高知県立美術館

高知の近代美術交流史—西洋画の受容を中心に— 奥野 克仁

日本三景展 松島・天橋立・厳島 広島県立美術館他

日本三景への誘い 島尾 新

日本三景—概念の形成と名所景観の保存— 長谷川成一

天橋立と歴史都市—メディアからみた名所— 伊藤 太

厳島の歴史をめぐって 市・芝居、そして富籤 高橋 修三

浮世絵にみられる日本三景について 鈴木 浩平

江戸時代の人々は日本三景の絵画をどう見たか 野口 剛

月まつしまに日がのぼる 佐藤 琴

日本三景展ノムコウ 知念 理

日本に向けられたヨーロッパ人の眼
EUROPEAN EYES ON JAPAN
JAPAN TODAY VOL.7 神奈川県民ホールギャラリー他

作家の言葉 デヴィッド・ファレル

日本・神奈川への旅 ダラ・マクグラス

芙蓉の花 人々と彼らの暮らす場所 イトカ・ハンズブロヴァ

日本での出会い ヴァレンティナ・サイデル

日本のアール・ヌーヴォー1900—1923 工芸とデザインの新時代 東京国立近代美術館工芸館

日本のアール・ヌーヴォー1900—1923—「新しい芸術」としての工芸 木田 拓也

浅井忠のモダニティ 今井 陽子

まぼろしのモダン
ティー藤井達吉を
めぐって 富田 康子

日本のジュエリー100年—私たちの
装身具：1850—1950 東京都庭園
美術館

私たちの装身具
ジュエリー再考の
試み 関 昭郎

近代装身具の発生
とその変遷 指輪、
帯留、髪飾りを中
心に 露木 宏

彫金の伝統技法 飯野 一朗

ニューヨーク・パーク・コレクショ
ン展 日本の美 三千年の輝き 岐
阜県美術館他

パーク・コレクシ
ョンの香気 辻 惟雄

パーク・コレクシ
ョン—その成り立
ち メアリー・
グリッグス
・パーク

パーク・コレクシ
ョン／《伝周文筆
山水図屏風》—室
町水墨画の制作法
をめぐって— 松木 寛

パーク・コレクシ
ョンの《平治物語
絵巻断簡》をめぐ
って 畑中 章良

(ハ行)

幕末明治の浮世絵 青木コレクショ
ンによる 千葉市美術館

浮世絵との奇しき
因縁 青木 元治

江戸から明治へ—
青木コレクション
を概観して 田辺 昌子

羽子板の美とわざ 埼玉県立博物館

羽子板の歴史と習
俗 三田村佳子

押絵羽子板職人の
わざとその周辺 内田 幸彦

花めぐり—日本画にみる花— 茨城
県天心記念五浦美術館

花めぐり断想 澤渡 麻里

版画にみる印象派展 陽のあたる午
後、天使の指がそっと 宇都宮美術
館

マネを通してみる
19世紀の版画の世
界 大森 達次

萬古焼 伊勢の茶陶—古萬古・有
節、そして四日市へ— 四日市市立
博物館

萬古焼研究の動向 井上喜久男

外国人から見た明
治の四日市萬古焼 岡村奉一郎

美術の20世紀 豊かなる表現 静
岡県立美術館・滋賀県立近代美術館
の名品80点でたどる 静岡県立美
術館他

美術の20世紀—豊
かなる表現 泰井 良

「仏画らしくない
幾つかの仏画」—
小倉遊亀の【信心】 高梨 純次

バルラッパ随想 占部 敏子

絵画の触覚性 川谷 承子

感性の古層を尋ね
る旅—「越境する
美術」への解題 村上 敬

秘すれば花：東アジアの現代美術

森美術館
秘すれば花 新しい
東アジアのアート
を探して 金 善姫

アジアの花 南條 史生

豊かなる沈黙 建昌 哲

天国でもなく、家
でもなく 東アジ
アの現代美術にお
ける風景と内部空
間の描写 巫 鴻

秀吉と城 佐賀県立名護屋城博物館

名護屋城の中の
「桃山文化」—名護
屋城「山里丸」の空
間構成— 武谷 和彦

人と自然の表情 茅ヶ崎ゆかりの写
真家たち 茅ヶ崎市美術館

4つのまなざしの
位置—茅ヶ崎ゆか
りの写真家たち 金子 隆一

ひな人形の世界5 徳島市立徳島
城博物館

仲秀英の雛人形 小川 裕久

殿様の鍾馗図 //

美の国日本 開館記念特別展 九州
国立博物館

美の国日本 宮島 新一

美の浮標—多摩美術大学の洋画家た
ち— 鹿追町民ホール

作家の言葉 相笠 昌義

// 今井 信吾

// 大津 英敏

// 木嶋 正吾

// 高橋 幸彦

// 鶴見 雅夫

百花の絵 館蔵の江戸時代絵画と関
連の優品 府中市美術館

花と江戸時代後期
の画家たち 金子 信久

表現を通して through the surface—
現代テキスタイルの日英交流 京都
国立近代美術館

表現を通して—日
英テキスタイル作
家の交流 レスリー・
ミラー

表現を通して—日
本の立場から 川嶋 啓子

知覚を解きほぐす
芸術 ジェイ・メ
リック

表現を通してプロ
ジェクト 上野真知子

途上のアーティスト アニケン・
アムンゼン

物語性を通して ジャネット
・アップル
トン

放浪の旅 吉本 直子

現代の布の文体を
求めて 新井 淳一

天才との制作：先
生の向こう側に見
えるもの ティム・パ
リーニウィ
リアムズ

物質の痕跡—時間
と空間の作定 マキシー
ン・ブリス
トウ

ポケットと境界 新田 恭子

…であればどうだ
ろう フランシス
・ギーシン

イギリス・言語 細澤 香織

素材の力 河原林美知
子

日本をフォーカス
エイリッ
シュ・ウィ
ルソン

出会いと伝え合い 吉田 晃良

立入禁止サイン近
くに留まって クレア・パ
ーバー

兵庫国際絵画コンペティション 震
災復興10周年記念国際公募展 兵
庫県立美術館

<p>針生 一郎 木村 重信 ウィリアム・S・リー バーマン アンドレア・ローズ 建畠 哲</p>	<p>なべて地平線は火に包まれ…世紀転換期のモスクワ、6つの《光景》</p> <p>亀山 郁夫</p>	<p>ベリー ベリー ヒューマン 豊田 市美術館</p> <p>ベリー ベリー ヒューマン 小西 信之</p> <p>ヒューマンへの視点 北川 智昭</p>
<p>審査講評</p> <p>ひろがる美術 1945—2000 横須賀市所蔵 横須賀市文化会館市民ギャラリー</p> <p>美術はひろがる 井上 清水</p>	<p>福岡市美術館展39回 福岡市美術館</p> <p>賢智 幸幸 宮木 松尾 奥 蘭 釜我 武永 白川 青</p>	<p>ベルギー近代美術とサイモン・コレクション</p> <p>府中市美術館他</p> <p>ピート・ボイエンズ</p>
<p>城郭研究の最前線 広島城</p> <p>広島県の城郭関係論文一覽</p>	<p>コレクション+αで楽しむシリーズ 文学「美術を《よむ》」 徳島県立近代美術館</p>	<p>前衛的ベルギー</p> <p>本江 邦夫</p>
<p>執轡如組 ひ(手綱)をとることそのごとし 元興寺総合収蔵庫</p>	<p>+αをめぐる 安達 一樹</p> <p>平行芸術展20回 崩落の記譜法 エスパスOHARA</p>	<p>「自由美学」とベルギーの近代美術</p> <p>富田 章</p>
<p>執轡如組 ひ(手綱)をとることそのごとし 小村 眞理</p> <p>南宋時代の絹生産について—陳男農書、耕織図詩、蚕織図をてがかりに— 志村 明</p>	<p>崩落の記譜法は崩落しない 峯村 敏明</p> <p>「崩落」によせて 遠藤 利克 黒須 信雄 染谷 亜里可 戸谷 成雄 山下 香里 横尾 忠則</p>	<p>ベルギー象徴派展 Bunkamuraザ・ミュージアム他</p> <p>はじめに ミッシェル・ドラゲ 宮澤 政男 訳</p>
<p>『延喜式』の茜染について 宮崎 明子</p> <p>染料の科学分析について—分析技術とそれから分かること— 佐々木良子 佐藤 昌憲</p>	<p>平行芸術展の歩み</p> <p>ベトナム近代絵画展 東京ステーションギャラリー他</p> <p>20世紀のベトナム美術—概説— ベトナム文化情報省美術写真局</p>	<p>第1章 ロップスとボードレールの遺産 ミッシェル・ドラゲ 松田 和之 訳</p> <p>第2章 『現代芸術』を通して『若きベルギー』から「二十人會」まで ミッシェル・ドラゲ 今井 裕子 訳</p>
<p>染料の退色とは 植田 直見</p> <p>ファウスト 伝説と作品—フランクフルト・ゲーテ博物館の名品— 大谷大学博物館</p> <p>ファウスト ある魔術師の変容と救済 友田 孝興</p>	<p>ベトナム美術の「近代」—東南アジア的視点から 後小路雅弘</p> <p>美術学校 〃</p> <p>植民地博覧会と万国博覧会 〃</p>	<p>第3章 象徴主義は不在と存在のはざまに ミッシェル・ドラゲ 中田 宏明 訳</p> <p>第4章 1886年—象徴主義の創造 ミッシェル・ドラゲ 松下 和美 訳</p>
<p>プーシキン美術館展 シチューキン・モロゾフ・コレクション 東京都美術館他</p> <p>プーシキン美術館、その歴史と未来 プーシキン美術館という神殿、公共広場、保存庫、研究センター</p>	<p>ベトナム近代美術の技法 〃</p> <p>「インドシナ美術学校」のフランス人教師たち 林田 龍太</p> <p>抗仏・抗米戦争と美術 〃</p>	<p>第5章 ワーグナーとラファエル前派の間で ミッシェル・ドラゲ 郡司 桃子 訳</p> <p>第6章 初期フランドル美術とベルギー象徴派 ミッシェル・ドラゲ 廣川 暁生 訳</p>
<p>プーシキン美術館所蔵の新しいフランス近代絵画</p> <p>マネからピカソまでのオリジナル版 画 プーシキン美術館コレクション</p>	<p>いくつももある絵 ラワンチャクイン寿子</p> <p>ベトナム戦争ポスター—戦う美術 山木 裕子</p> <p>民衆版画 ドンホーとハンチョン 田中 晴子</p>	<p>第7章 理想に向かつて—現代性に直面する象徴主義 ミッシェル・ドラゲ 郡司 桃子 訳</p> <p>第8章 理想から理想主義へ—秘教主義に取り込まれた象徴主義 ミッシェル・ドラゲ 大場 恒明 訳</p>
<p>シチューキン・モロゾフと西洋近代絵画コレクション</p> <p>三浦 篤</p>	<p>ベトナムの近代絵画と私—大衆性と共鳴の妙— 富山 栄吉</p>	

第9章 都市から 離れて	ミッシェル・ドラゲ 宮澤 政男、 廣川 暁生 訳	邪馬台国時代の鉄 —北部九州と東北 世界—	松井 和幸	アメリカの版画工 房とマルチプル— エピソードから	高木 幸枝
ベルリンの至宝展—よみがえる美の 聖域 世界遺産・博物館島 東京国 立博物館他		ポスターで観る日本映画Part 3 ポ スターの図像学 武蔵野美術大学美 術資料図書館		三井家 伝世の名宝 美の伝統 三 井記念美術館	
「ベルリンの至宝 展」コンセプト	金子 啓明	ポスターの図像学	立花 義達	概説 三井記念美 術館の所蔵品	清水 実
神々の島	ペーター＝ クラウド・ シュスター	(マ行)		宮島家三代—宮島詠士の書を中心に — 米沢市上杉博物館	
古代の神観念と現 代	ディートリ ヒ・ヴィル ドゥング	街かど美術館 アート@つちざわ (土澤)—土澤の30日間— 土澤町		宮島詠士における 書法思想	魚住 和晃
ベルリン博物館島 の奇跡	ペーター＝ クラウド・ シュスター	美術を彩る街「土 澤」	平澤 広	祖父・宮島大八の 思い出	宮島 吉亮
古代人は「聖なる もの」をどう感 じ、どう表現した か	後藤 健	《in・formation》	若江 漢字	ミラノ展 大阪市立美術館他	
ロマン主義絵画と 聖なるもの	千足 伸行	見えない力	眞板 雅文	聖俗の食卓—レオ ナルドからチェル ティまで	宮下規久朗
ポーラ美術館の印象派展 モネ、ル ノワール、セザンヌと仲間達 開館 3周年記念展 ポーラ美術館		イメージの崩壊	倉重 光則	ミラノとイタリア 近現代彫刻—メロ ッティとロッソー	上村 清雄
ポーラ美術館の作 品でたどる、フラ ンス印象派の物語	荒屋鋪 透	不確定性正方形	〃	ミラノの美術館・ 博物館 その歴史 と将来像	ピエトロ・ C・マラー ニ
印象派展(1874— 1886年)をめぐる 考察—エドガー・ ドガの視点と制作 から	岩崎余帆子	喪古	高山 登	ミラノ 知られざ る芸術の都	ステファノ ・ズッフィ
マネの《サラマン カの学生たち》再 考	三浦 篤	あーと@〈土澤〉・ ・ gradation : ma- genda to purple・	百瀬 寿	魅惑の17—19世紀フランス絵画展 南仏モンペリエ ファーブル美術館 所蔵 損保ジャパン東郷青児美術館 他	
ポール・クローデルと京都画壇 ポ ール・クローデル没後50年記念 京都国立近代美術館		記憶された美術展 (アート@つちざ わ・感)	渡辺 豊重	蒐集の歴史：モン ペリエのファーブ ル美術館の場合	ミッシェル・ イレール
詩人大使クローデ ルと日本	芳賀 徹	85/05—幻のつくば写真美術館から の20年— せんだいメディアテーク		1855年のクールベ	賀川 恭子
クローデル、京 都、日本画	ミッシェル ・ワッセル マン	あるコレクターの 夢	石原 悦郎	フレデリック・バ ジール《身づくろ い》について	小林 晶子
描かれたポール・ クローデル	林 洋子	写真美術館という 夢	飯沢耕太郎	明清の絵画と書跡展—中国五百年の 筆墨と彩— 静嘉堂文庫美術館	
北陸の玉と鉄 弥生王権の光と影 大阪府立弥生文化博物館		記念講演会+トー クセッション「あ るコレクターの夢 復活つくば写真美 術館20年目の写真 史」	石原 悦郎 講演 飯沢耕太 郎、 石原 悦郎 セッション 清水 有 進行	静嘉堂コレクショ ンの明清書画	湊 信幸
北陸の弥生首長と 瀬戸内	森本 幹彦	smt写真講座「た まごと塩の写真館 —日光写真村II」	三橋 純予	明・清の書画を見 つめた人々	小林 優子
日本海沿岸域の 「鉄」が北陸にもた らした変革	林 大智	国際シンポジウム 「東アジア写真都 市ネットワーク会 議」	金升 坤、 吳 嘉寶、 飯沢耕太郎 清水 有 進行	無言館 遺された絵画展 東京ステ ーションギャラリー他	
		展示ノート	笹木 一義	特別寄稿 展覧会 に寄せて	野見山暁治
		企画ノート	清水 有	木彫から立体造形へ—1960年の新 人たち— 三鷹市美術ギャラリー／ 三鷹市芸術文化センター・アートス タジオ	
		マルチプル・ショー デュシャンか らリキテンスタインへ 町田市立国 際版画美術館		回想の1960年代	豊福 知徳
		戦後、美術の大衆 化の中で—マルチ プルと瀧口修造	杉野 秀樹		

漂流と原形—私の彫刻履歴 江口 週

作品制作・いろいろ 田中 栄作

別感考 べっかんこう 最上 壽之

1960年の新人たち 富田 智子

木版画のぬくもり 小林清親から棟方志功まで 府中市美術館

木版画の誘惑 本江 邦夫

木版画のぬくもり 志賀 秀孝

模写・模造と日本美術—うつす・まなぶ・つたえる— 東京国立博物館

よみがえる仏たち 松浦 正昭

近代日本の模写・模造 佐藤 道信

モダニズム心斎橋—近代大阪／美術とシティライフ「大大阪」誕生80年記念 大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室

モダニズム心斎橋コレクション わが心のモダンエイジ 肥田 皓三 乾 由明 岡本 政泰 増田 健次郎 青木 和子

モダニズム心斎橋—失われた美の記憶を求めて— 橋爪 節也

旦那衆の、粋なる遊び 吉川 武志

モダニズム心斎橋・万華鏡 橋爪 節也

心斎橋北二丁に、「大阪画廊」出現 高柳有紀子

百貨店は連なる「美の回廊」 橋爪 節也

モダニズムの主演たちの競演 高柳有紀子

小大丸と小出橋重 //

モダニズムの傍らに咲く可憐な花、「柳屋」 熊田 司

「丹平ハウス」からの招待状 橋爪 節也

前衛の華「丹平写真倶楽部」 菅谷 富夫

我が家のように温かい、「赤松洋画研究所」 小川 知子

大大阪の豊潤な交響美、「大丸心斎橋店」 酒井 一光

名工たちのモダニズム、「大丸」家具装飾部 //

モダニズム芸術の大聖堂、「心斎橋そごう」 橋爪 節也

画家たちの心の拠りどころ、「河内洋画材料店」 //

もの派—再考 国立国際美術館

もの派—再考 中井 康之

存在を問う美術の系譜 峯村 敏明

表現に於ける石子順造の呪縛「絵画とは何物か」 鈴木 慶則

石子順造と「幻触」の者たち 飯田 昭二

枕木について 高山 登

資質としてのミニマム・アーチスト。 狗巻 賢二

〈ものはあるように、あった〉 菅 木志雄

(ヤ行)

やきもののふるさと 丹波一名品でたどる800年のあゆみ— 兵庫陶芸美術館

私見 丹波のやきもの 乾 由明

中近世の丹波焼 長谷川 眞

丹波焼の需要について—考古学の視点から— 松岡 千寿

矢代幸雄資料展 神奈川県立近代美術館(葉山)

〈太陽を慕ふ者〉が〈美しきものへの思慕〉をいदैて—矢代幸雄の仕事— 橋 秀文

やまとうた—千年 古今集から新古今集の名筆をたどる 五島美術館

勅撰和歌集は進化する 片桐 洋一

勅撰集と歌人あれこれ 久保木哲夫

古今和歌集 鈴木 宏子

後撰集と拾遺集 増田 繁夫

後拾遺集から千載集へ—付・統詞花集— 中村 文

『新古今和歌集』 田淵句美子

勅撰集の享受史 浅田 徹

勅撰和歌集の古筆愛好 名児耶 明

やまとうた—美のこころ 宮内庁三の丸尚蔵館

古今集・新古今集—和歌の伝統— 杉本まゆ子

やまとうたの美—表され続けた和歌のイメージと歌仙たち— 太田 彩

山内一豊とその妻 大河ドラマ功名が辻特別展 江戸東京博物館他

山内一豊とその妻 渡部 淳

土佐藩山内家の至宝 加藤 寛

ユートピアを探しに—想像力の彼方へ— 新潟県立万代島美術館

絵画の無何有郷 ユートピア 谷川 渥

ユートピア、どこに探すか 桐原 浩

ヨーロッパ絵画名作展 宮廷絵画からバルビゾン派へ 山寺後藤美術館所蔵 三越(新潟)他

山寺 後藤美術館のコレクション 阿部 信雄

横浜トリエンナーレ2005 アートサーカス 日常からの跳躍 横浜市山下ふ頭3号、4号上屋他

〔総合ディレクターとしての見解〕アートサーカス(日常からの跳躍) 川俣 正

〔キュレーションの現場から1〕国際展の課題—その可能性と限界— 天野 太郎

〔キュレーションの現場から2〕山下ふ頭乗り継ぎラウンジ 芹沢 高志

〔キュレーションの現場から3〕二重の役割—アジアのプロジェクト型アートと横浜トリエンナーレ— 山野 真悟

義経展—源氏・平氏・奥州藤原氏の至宝— 千葉市美術館他

総論 義経展に寄せて 有賀 祥隆

義経画像小考 五十嵐公一

よみがえる須磨コレクション—スペイン美術の500年 長崎県美術館

- 序 東シナ海の夢—500年の時を超えて 伊東 順二
- 須磨コレクションとスペインの美術—過去、現在から未来へ— 大高保二郎
- 長崎県美術館の須磨コレクション ヘスス・グティエレス・ブロン
- 須磨コレクションについて 徳山 光
- 現在所在の確認できる旧須磨コレクション 森園 敦

(ウ行)

life/art '05 資生堂ギャラリー

- recollection—life/art 北澤 憲昭
- 5人5様—そして最後は何もなくなる 樋口 昌樹

琉球の美 石橋美術館

- 「もの」から琉球という王国 平間 理香
- 「ひと」から鎌倉芳太郎先生と沖縄 宮城 篤正

両洋の眼 新美術主義の画家たち 2005 三越(日本橋)他

- 座談会『両洋の眼』は、永遠に変わって続けること 和田 義彦
齊藤 典彦
草薙奈津子
石川 健次

りんごの秘密 描かれた禁断の果実 ひろしま美術館

- りんごの美術史 古谷 可由

琳派と江戸の美 京都・細見美術館所蔵 伊勢丹(新潟)

- 江戸美術への誘い 岡野 智子
- 越後の琳派画家 池田孤邸—その人と芸術— //

ルーヴル美術館展 19世紀フランス絵画—新古典主義からロマン主義へ 横浜美術館他

- 「国家の栄光である美術を開花させる」ルーヴル美術館と19世紀フランス絵画 ヴァンサン・ボマレット

ドラクロワと1819年から1827年のサロンにおけるロマン主義絵画

セバスティアン・アラール

ローマ留学、そしてフランス革命—18世紀末から19世紀初頭のヨーロッパ美術

雪山 行二

ロマン主義的風景画の生成—ジェリコーの《大洪水の風景》とその周辺

新畑 泰秀

過去への新たな眼差し—ドラクロワとウォルター・スコット

後藤結美子

レアル・スペイン美術の現在 長崎県美術館

レアル・スペインの生と死

伊東 順二

6月のイギリス ホガースからホックニーまで イギリス美術の250年 栃木県立美術館

栃木県立美術館のイギリスコレクション

杉村 浩哉

ロシア民族学博物館アイヌ資料展—ロシアが見た島国の人びと— 北海道開拓記念館他

ロシア民族学博物館の至宝 V.N. ヴァシーリエフのアイヌ民具収集

V. V. ゴルバチョフ

(ワ行)

Y氏コレクション展 ある日本近代洋画へのまなざし 大川美術館

Y氏コレクション展によせて

大川 栄二

ある日本近代洋画へのまなざし

春原 史寛

和歌浦—その景とうつりかわり—

和歌山市立博物館

描かれた和歌浦

高松 良幸

和歌浦における景観の変遷

額田 雅裕

輪島漆芸の苦難と復活—戦後60年にふりかえる— 石川県輪島漆芸美術館

—戦後60年にふりかえる—輪島漆芸の苦難と復活

森下貴久美

作家展

(ア行)

アーキグラムの実験建築 1961—1974 水戸芸術館現代美術ギャラリー

アーキグラムがやってくるヤア! ヤア! ヤア!

五十嵐太郎

磯崎新による、ピーター・クックへのインタビュー

磯崎 新
ピーター・クック

アーキグラムの実験建築1961—1974: 時空を超えたアイデア・サーカス

高橋 瑞木

會津八一 絵画の世界—中岳先生と早稲田中学美術部の画家たち—開館30周年記念特別展 新潟市會津八一記念館

會津八一と早中美術部の画家たち

丹尾 安典

會津八一と小泉清—その知られざる師弟愛—

關田かをる

キャンバスに刻まれた魂—浅野弥衛の世界— 四日市市立博物館

浅野先生の思い出

伊藤 利彦

銀の光輝—しろがねのこうき

永見 隆幸

仙台的絵師 東東洋—ほのぼの絵画の世界—生誕250年記念 仙台市博物館

東東洋の生涯とその作品世界

桶口 智之

ハンス・アルプ展 20世紀彫刻の開拓者 神奈川県立近代美術館(葉山)他

表徴の帝国におけるアルプ

ライムント・シュテツカー
千葉真智子訳

ダダ発、宇宙行—アルプへの切符

山梨 俊夫

ハンス・アルプ—詩人、画家、彫刻家

アストリット・フォン・アステン
初山 昌夫訳

アルプ美術館バー
ンホフ・ローラン
ズエッグ

ジェームズ・アンソール展 東京都
庭園美術館他

ジェームズ・アン
ソール概論

眺めのいい三つの
部屋—ジェームズ
・アンソールがア
トリエの窓から見
たオーステンド

ジェームズ・アン
ソールのジャポニ
スム

線・色彩・光

Lee Bae Exhibition[李英培] ギャ
ラリー川船

Lee Baeの[黒]

五百城文哉展 咲き競う百花百草
甞る明治の洋画家 東京ステーショ
ンギャラリー

五百城文哉の人と
作品

五百城文哉の植物
画

池田遙邨展 生誕110年記念 倉敷
市立美術館他

父を語る

序にかえて

池田遙邨、初期の
画業について

移動する眼差し—
広重と山頭火をめ
ぐる旅

伊砂利彦—型染の美 東京国立近代
美術館工芸館

伊砂利彦の型染

石井礼子展—わたしのまわり— 平
塚市美術館

わたしのまわり—
石井礼子の世界—

永遠なる薔薇 石内都の写真と共に
HOUSE OF SHISEIDO

薔薇の放射する時
間

薔薇の朝に

アストリッ
ト・フォン
・アステン
千葉真智子
訳

ヘルウィッ
グ・トッツ

ノルベルト
・ホステイ
ン

高木 陽子

龍野 有子

アンリ・フ
ランソワ・
ドゥバイユ
ー

寺門 寿明

大場 秀章

倉敷

池田 道夫

毛利伊知郎

道田 美貴

佐々木千恵

今井 陽子

平

土方 明司

伊藤 俊治

石内 都

伊勢正義展 没後20年 秋田県立
近代美術館

魂の歌を歌わん〜
伊勢正義の生涯と
故郷小坂町への想
い〜

亀沢 修

伊勢正義 知られ
ざる横顔

金沢 資子

クリテリウム62 磯邊 一郎 水戸
芸術館現代美術ギャラリー

絡み合う視点と断
片

窪田 研二

市村しげの展 光と時間 ベイスギ
ャラリー(日本橋)

市村しげの展によ
せて

ジュディス
・ペイジ

若冲と京の画家たち 静岡県立美術
館

若冲と 柘目 画—
《樹花鳥獣図屏風》
がある愉快

森 充代

池大雅の魅力—
《龍山勝会図》鑑賞
のポイント

飯田 真

鑑賞のツボ—蘆雪
のコントラスト—

山下 善也

清親と安治 近代錦絵の光芒[井上
安治] 川越市立美術館

近代錦絵の光芒
清親と安治

濱中 真治

西洋の風景画と風
景版画

浅見 千里

植田正治：写真の作法 僕たちはい
つも植田正治が必要なんだ！ 東京
都写真美術館開館10周年記念 東
京都写真美術館

僕たちはいつも植
田正治が必要なん
だ！

金子 隆一

オブジェを我らに
植田正治とシュル
レアリスムのオブ
ジェ礼賛

神保 京子

ファインダーに棲
む人

仲田 薫子

上村松園・松篁・淳之—松伯美術
館名品展 受けつがれる美へのまなざ
し 高崎市タワー美術館

松園、松篁、そし
て私

上村 淳之

上村家三代の軌跡

青木 忍

広重・ふたつの富士三十六景[歌川
広重] 馬頭町広重美術館

広重・ふたつの富
士三十六景

折井 貴恵

広重画業展 開館五周年記念特別展
馬頭町広重美術館

広重の生涯

市川 信也

デザイン国際化時代のパイオニア
川上元美・喜多俊之・梅田正徳の椅
子デザイン 武蔵野美術大学美術資
料図書館

デザイン国際化時
代のパイオニア—
川上元美・喜多俊
之・梅田正徳の椅
子デザイン—

寺原 芳彦

§作家の言葉§

梅田 正徳

瑛九 フォト・デッサン展 国立国
際美術館

フォト・デッサン
は瑛九の写真術

細江 英公

瑛九のフォト・デ
ッサンとフォトグ
ラム—1930年代美
術の一視覚

五十殿利治

フォト・デッサン
考—写真と絵画の
はざまの世界で

安来 正博

榎倉康二展 東京都現代美術館

スペース戸塚'70
の周辺

高山 登

榎倉康二

熊谷伊佐子

円空さん 北海道立近代美術館他

円空とその時代

田邊三郎助

円空体験

立松 和平

円空さん

奥出 賢治

木と塩と硫黄と—
北海道の円空仏を
めぐって

中村 聖司

東北地方における
円空の足跡—特に
瑞巖寺所蔵釈迦如
来坐像から—

酒井昌一郎

中部の円空さん

奥出 賢治

遠藤健郎絵画展 戦後は終わった
千葉市美術館

遠藤健郎 三様の
画業

小林 忠

我が生涯の……来
し方ゆく末

遠藤 健郎

ローラ・オーエンズ 資生堂ギャラ
リー

ローラ・オーエンズ カースティ・ベル
名づけられず、手なづけられず：ローラ・オーエンズの作品 河野 晴子
湘南の洋画家・大貫松三展 生誕100年目の発見 平塚市美術館
大貫松三の人生と芸術について 端山 聡子
展示油彩画作品の年代順一覧表の作製について //

大巻伸嗣個展 ECHOES—INFINITY— 資生堂ギャラリー
豪快にして繊細—大巻伸嗣の仕事について 樋口 昌樹

国宝 燕子花図—光琳 元禄の偉才「尾形光琳」 根津美術館
尾形光琳—その芸術の示すもの 河合 正朝
「燕子花図屏風」の国際性 中部 義隆
「八橋蒔絵硯箱」に見る文学意匠 内田 篤呉
光琳と紋—光琳の意匠性と光琳関係資料 江村 知子

復古大和絵師 為恭—幕末王朝恋慕—「岡田為恭」 大和文華館
為恭芸術の近代性 中部 義隆

岡本太郎・誇らかなメッセージ《明日の神話》完成への道 川崎市岡本太郎美術館
明日の神話—絵画最大の太郎劇 村田慶之輔
岡本太郎—《明日の神話》への戦後史 瀬木 慎一
岡本太郎の戦争体験 片岡 香
岡本太郎《明日の神話》完成に至る反戦・反核へのメッセージ 大杉 浩司

爆発する芸術 岡本太郎展 福島県立美術館
「芸術・爆発」—岡本太郎の挑発 酒井 哲朗

写真展 岡本太郎の視線 東京都写真美術館

岡本太郎のコンタクトプリントを読む 田沼 武能
劇薬としての写真 山下 裕二
岡本太郎のいた場所 藤村 里美
写真家・岡本太郎は存在するのか 楠本 亜紀

尾崎愛明の世界 amorphous 1995—2005 村松画廊
§作家の言葉§ 尾崎 愛明

小関利雄と子供たちの世界 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
恩師小関利雄—思い出の中を生きる 佐藤完児郎
神奈川県立近代美術館と小関利雄 稲庭彩和子

小野州—展—線描のコロリスト—北海道立旭川美術館
小野州—線描と色彩の画家 光岡 幸治

オノサト・トシノブ展—織部・桐生に生きた抽象画家 大川美術館
オノサト・トシノブ展によせて 大川 栄二
オノサト芸術 藤岡 時彦
オノサト・トシノブと桐生 春原 史寛
オノサトさんのこと 宮地 佑治
思い出すままに 有村 真鐵
オノサト芸術の遺したもの 奈良 彰一
思い出すこと 渡邊 保
回生のオノサト・トシノブ 原田 勇
オノサト・トシノブとわたし 新井 淳一
「オノサト・トシノブの制作」の思いで 保倉 一郎
オノサトさんの思い出 中上 光雄
オノサト回想—桐生と越前勝山との交流 荒井 由泰
オノサトの絵に湧く記憶をとどめる 遠藤 京子

オノデラユキ写真展 国立国際美術館

オノデラユキの写真 島 敦彦
身体を得た影たち—オノデラユキの作品 エヴァンス・ヴェルデイエ

小山田二郎展 異形の幻視力 東京ステーションギャラリー他
小山田二郎の眼球譚 原田 光
小山田二郎の絵画 神田 直子

ポエジーと抒情 恩地孝四郎をめぐる人々 大川美術館
ポエジーと抒情—恩地孝四郎をめぐる 春原 史寛

(カ行)

クリテリオム63 風間サチコ 水戸芸術館現代美術ギャラリー
怒りの彫刻刀、ここに復活 高橋 瑞木

片岡球子展 現代日本画の巨星—100歳を記念して— 神奈川県立近代美術館(葉山)他
「思うままに」の持続—片岡球子の絵画 山梨 俊夫
「面構」に至る道…初期の片岡球子 神谷 浩

北斎展「葛飾北斎」 東京国立博物館
北斎の画業と研究課題 永田 生慈
画狂人北斎の実像 小林 忠
北斎の主題選びの法則—フリーア美術館所蔵の肉筆画調査レポート 浅野 秀剛

チャールズ・ラング・フリーアと彼の北斎肉筆画コレクション アン・米村

金重陶陽展 備前焼中興の祖 人間国宝 はつかいち美術ギャラリー
金重陶陽の近代性—現代備前のパイオニアとしての陶芸— 外館 和子

鴨居玲—私の話を聞いてくれ—没後20年 石川県立美術館他
夢の夢の夢 鴨居玲—虚実の画人 瀧 悌三
金沢時代の鴨居玲 二木伸一郎

鴨居玲のイメージ・ソースについて 思うこと	渡辺 純子
鴨居玲と舞台芸術—スペイン時代の 作品から—	森園 敦
鴨居玲と神戸	廣田 生馬
加守田章二展 20世紀陶芸界の鬼 才 京都国立近代美術館他	
20世紀陶芸界の鬼 才 加守田章二の 軌跡	松原 龍一
加守田章二の技法	佐野 素子
証言 天才・加守 田章二の生涯	吉田 耕三 松原 龍一、 平野 公憲、 金子 正之 参加者
年譜	松原 龍一、 根本 亮子、 鎌田 智子 編
エミール・ガレ展 没後100年記念 江戸東京博物館他	
物体化してゆくガ ラス—アルチザン からアーチストへ—	鈴木 潔
ガレとパリの万国 博覧会	フィリップ ・ティエボ ー
ガレと漱石の1900 年パリ万博	橋本由起子
陶芸家・高級家具 師・素描家としての ガレ	フィリップ ・ティエボ ー
エミール・ガレへ の日本美術の影響 —展示品を中心に—	飯塚 晴美
揺れるイマージュ としてのガラス	安来 正博
エミール・ガレ 創造の軌跡展 岐 阜県現代陶芸美術館他	
エミール・ガレー 創造の軌跡	鈴木 潔
エミール・ガレの 植物と庭園	ピエール・ ヴァルク
陶芸家・高級家具 師・素描家としての ガレ	フィリップ ・ティエボ ー
ガレのジャポニ スムと近代日本陶磁 の動向	佐野 素子
ガレの陶器制作シ ステムをめぐって	山根 郁信

ジャック・カロ版画展 神奈川県立 近代美術館コレクション 伊丹市立 美術館	
ジャック・カロを 考えながら—版画 が印す時代の精神—	山梨 俊夫
ジャック・カロ物 語—年譜にかえて	松原 徹
コレクター長谷川勝三郎と川上澄生 川上澄生 生誕110周年 鹿沼市立 川上澄生美術館	
川上澄生と長谷川 勝三郎	長谷川勝朗
コレクターとして の長谷川勝三郎	早川 未央
近代日本のコレク ター誕生から現在 まで	臼井佐知子
山口進と川上澄生 創作版画の流れ のなかで 川上澄生生誕110周年 鹿沼市立川上澄生美術館	
創作版画の流れの 中で 山口進と川 上澄生	原田 敏行
Printed matters 2005 河口 龍夫 関係一本 横田茂ギャラリー	
吸い取り紙として の本	河口 龍夫
川島清 水量 ギャラリー東京ユマ ニテ	川島 清
水量	川島 清
川端龍子展 生誕120年展 江戸東 京博物館他	
祖父、川端龍子の 思い出	川端 捷良 川端 美波
健剛なる美の巨人 —わが師、川端龍 子先生—	牧 進
再評価すべきは川 端龍子—大正・昭 和の日本画バロッ クの源流、その生 涯—	岡部 昌幸
洋画から日本画へ	稲葉 睦子
川端龍子の画業— 仏教崇拝と、その 莊厳としての琳派 讃歌—	國賀由美子
龍子、南へ行く— 近江丸Ⅱと南洋の 旅—	岩城 紀子

「川村清雄」を知っていますか? 初 公開・加島コレクション展 目黒区 美術館	
展覧会について	山田 敦雄
加島虎吉と「至誠 堂」	降旗千賀子
小林陸一郎と環境造形Q 伊丹市立 美術館	
開かれたQ/Qか らの開放	高橋 亨
想像の風景	酒井 忠康
〈開かれた〉モニュ メント	環境造形Q
デザイン国際化時代のパイオニア 川上元美・喜多俊之・梅田正徳の椅 子デザイン 武蔵野美術大学美術資 料図書館	
北村武資展 現代に生きる織 和光 ホール	
北村武資さんの織 りの偉業	富山 秀男
羅と北村武資氏の 邂逅	澤田ふじ子
ごあいさつ	北村 武資
クールベ美術館展—故郷オルナンの クールベ— 三鷹市美術ギャラリー 他	
オルナンにて— 《感動の美術館》	ジャン=ジ ヤック・フ エルニエ
祖国の《偉大なる 画家》	〃
クールベの「レア リスム」絵画への 道程	久保 尋二
クールベの故郷へ の旅	谷 哲夫
グランマ・モーゼス展 Bunkamura ザ・ミュージアム他	
グランマ・モーゼ ス 伝説は息づく	ジェーン・ カリヤー
黒田重太郎展 没後35年 滋賀県 立近代美術館他	
黒田重太郎につい て思うこと	島田 康寛
黒田重太郎がめざ したもの—浅井忠 からの継承—	前川 公秀
追想	黒田 暢
義父のこと	黒田富紀子

黒田重太郎、憧憬 の地へ再び	戸村 知子	ゴッホ展 孤高の画家の原風景	ファン・ゴッホ美術館／クレラー＝ミ ュラー美術館所蔵 東京国立近代美 術館他	序 ファン・ゴッ ホを美術展で歴史 的コンテキストと ともに語ること	関府寺 司	小林古径について	尾崎 正明
黒田重太郎の修業 時代—聖護院洋画 研究所・関西美術 院での人物デッサ ン	木邨かおり	フィンセント・フ アン・ゴッホは 「孤高の画家」だっ たのか	エフェルト ・ファン・ アイテルト	わが師 小松崎茂 先生	根本 圭助	小林古径をめぐ る、5つの断章	古田 亮
解体された風景— 黒田重太郎におけ る西洋美術の受容	田平 麻子	ファン・ゴッホ： 風景画の諸相	クリス・ス トルウェイ ク	『少年』にみる小松 崎の絵物語 その 変遷と特徴	松本 育子	小林陸一郎と環境造形Q	伊丹市立 美術館
×2 kuroda 風景画	黒田悠子+黒 田寛 kuroda living	ヘレーネ・クレラ ー＝ミュラーと彼 女のファン・ゴッ ホ・コレクション	ピート・ド ・ヨンゲ	コマツザキ・メカ ・ファクトリー メカを描き続けた 画家	神谷 剛生	ぼくらの小松崎茂展	子どもたちの 夢やあこがれを描き続けた画家 刈 谷市美術館他
ブルー・ラインの 行方	清水 哲朗	書家・豊道春海と彫刻家・後藤良 目黒不動尊の近代美術	伝統と近代 の相克 目黒区美術館	小松崎茂と少年文 化 1960年代生ま れによる回想	大下 智一	夢やあこがれを描き続けた画家 刈 谷市美術館他	
NEW Spirits 福島 鴻崎正武・高橋 克之・小林浩—物語をめぐって 福 島県立美術館		後藤良の軌跡、そ して彫刻作品の再 評価のために—入 門者のインタビュー	綿引 孝司、 安原 喜孝 正木 基 聞き手	ケーテ・コルヴィッツ展	茨城県つ くば美術館他		
ニュー・スピリッ ツ福島 物語をめ ぐって	酒井 哲朗	回想 豊道春海作 品欧米著名美術館 へ	大島 清次	日本におけるケー テ・コルヴィッツ 美術館 ベルリン 傑作展	グートルン ・フリッチ ユ 大山 美 由 紀、佐川美智子 訳		
\$ 作家の言葉 \$	鴻崎 正武	豊道春海の軌跡、 そして書作品の再 評価のために—書 入門者のためのイ ンタビュー	印南 溪峻 正木 基 聞き手	ケーテ・コルヴィ ッツ—その全体像 への出発点として —	佐川美智子		
「タウン」について	高橋 克之	此木三紅大の世界 感動と笑いの造 形 ガンダ彫刻 東御市梅野記念絵 画館		もはや苦痛ではな く……ケーテ・コ ルヴィッツ《ピエ タ》をめぐる考察 —	佐々木奈美 子		
\$ 作家の言葉 \$	小林 浩	此木三紅大さんの 芸術—五つの驚き —	梅野 隆				
私たちの物語	荒木 康子	此木三紅大さんの 彫刻について—遊 び心を共有させる 作品—	仲川 与志				
河野鷹思のグラフィック・デザイン 東京国立近代美術館		「ガンダ」に誘われ て—心世界の案内 人—	佐藤 瑛子				
歴史の中の河野鷹 思	金子 賢治	ガンダの詩	此木三紅大				
河野鷹思のグラフ ィック・デザイン —初期活動の背景 をめぐって	北村 仁美	清親と安治 近代錦絵の光芒[小林 清親] 川越市立美術館					
ジャン・コクトー展 サヴァリン・ ワンダーマン・コレクション 北海 道立近代美術館他		NEW Spirits 福島 鴻崎正武・高橋 克之・小林浩—物語をめぐって 福 島県立美術館					
至高の芸術家	トニー・ク ラーク	小林古径展 東京国立近代美術館他					
ジャン・コクトー 21世紀への提言	ウィリアム ・エンポー デン						
コクトーと日本	笠井 裕之						
小島善太郎—画にみがかれた魂 八 王子市夢美術館							
小島善太郎—芸術 と友情、そして再 生	児島 薫						
小滝雅道展「筆跡のはためき」 香染 美術館廊							
亡き母に捧げる	小滝 雅道						
「書画、装飾と細 みと」	鷹見 明彦						

《扉》について 寺口 淳治
 坂口國男展 高島屋(日本橋)他
 作家からのメッセージ 坂口 國男
 坂倉新平展 未発表新作 ガレリア
 グラフィカ
 愚者の日記 坂倉 坂倉 新平
 新平 二宮於
 櫻井忠剛と関西洋画の先駆者たち—
 洋画の先駆者にして初代尼崎市長—
 尼崎市総合文化センター開館30周
 年記念 尼崎市総合文化センター
 分岐点の画家、櫻 木下 直之
 井忠剛
 櫻井忠剛の位置 宮下規久朗
 櫻井忠剛と関西洋 大槻 晃実
 画壇
 市の為に幾分己を 桃谷 和則
 犠牲に供す—初代
 尼崎市長櫻井忠剛
 の事績—
 mini-max 定兼恵子 佐藤 勲 パ
 ク・ホンチョン 資生堂ギャラリー
 コンビニ・田周率
 ・作品タイトル— 樋口 昌樹
 「mini-max」を取
 り巻く時代考証
 作品解説—「見る」 高石 由美
 こと
 天童が生んだ工芸家 佐藤豊樵 中
 川哲哉 天童市美術館
 職人芸から伝統工 池田 良平
 芸へ 手工業の近
 代化のなかで 佐
 藤豊樵の場合
 佐野繁次郎展 東京ステーションギ
 ャラリー他
 佐野繁次郎展によ 鹿海 信也
 せて
 器用でぶきっちょ 橋 秀文
 な画家佐野繁次郎
 の人と芸術
 篠原有司男 ボクシング・ペインテ
 イングとオートバイ彫刻 神奈川県
 立近代美術館(鎌倉)
 こうなったら、や 中原 佑介
 けくそだ!
 消えない「やな感 樫木 野衣
 じ」—「戦後」とそ
 の由来
 そこのけ そこの エドワード
 け 有司男がとお M. ゴメ
 る ス

篠原有司男 イン
 タビュー
 ボクシング・ペイ
 ンティングの履歴
 をめぐって
 なぜ蛙か?
 ボクシング・ペイ
 ンティングの意味
 未来美術館へ行こう! 柴川敏之展
 奈義町現代美術館
 2000年後の未来を
 現代人の目線で考 岸本 和明
 察
 マルク・シャガール展 シェークス
 ピア『テンペスト』挿絵版画を中心に
 大川美術館
 シャガールとシェ
 ークスピア『テン
 ペスト』 春原 史寛
 造形と映像の魔術師 シュヴァンク
 マイエル展 GAUDIA[ヤン・シュ
 ヴァンクマイエル] 神奈川県立近
 代美術館(葉山)他
 GAUDIA
 「驚異の部屋」のグ
 ロテスクーシュヴ
 ァンクマイエルに
 寄せて 山梨 俊夫
 蒐集物の陳列室
 ヤン・シュ
 ヴァンクマイ
 エル
 触覚についての総
 括
 ゲーム エロチシ
 ズム ゲーム エ
 ロチシズム ゲー
 ム
 シュヴァンクマイ
 エル夫妻の世界の
 背景—チェコのア
 ヴァンギヤルド運
 動と社会体制—
 ヤン・シュヴァン
 クマイエルの映画
 における空間、触
 覚、アニメーショ
 ン現象
 菅木志雄インスタレーション 揺ら
 ぐ体空 岩手県立美術館
 〈揺らぎ〉の中へ 菅 木志雄

菅木志雄と「揺ら
 ぐ体空」 濱淵 真弓
 菅沼稔作品 ギャラリーJ2
 § 作家の言葉 § 菅沼 稔
 杉浦康益 陶による大地の恵みを謳
 う 自然の息吹とかたち 神奈川県
 民ホールギャラリー
 無心の造形、杉浦
 康益の無作為の作 石井 太
 為
 杉浦康益の迷宮 樋田 豊郎
 杉浦康益の存在証
 明—〈陶による岩
 の群〉から〈陶の博
 物誌〉まで 唐澤 昌宏
 鈴木昭男 点音in和歌山 2005 和
 歌山県立近代美術館/田辺市立美術
 館/熊野古道なかへち美術館
 PLAYFULNESS— カトリヌ
 大いなる遊び心— ・グルー
 開かれる風景—聴
 覚の和歌山— 奥村 一郎
 鈴木昭男インタビ
 ュー 鈴木 昭男
 カトリヌ
 ・グルー
 奥村 一郎
 聞き手
 須田国太郎展 京都国立近代美術館
 他
 須田国太郎の道 島田 康寛
 須田国太郎の描法 山野 英嗣
 須田国太郎語録 西崎 泰豪
 編
 建築家 清家清展 《私の家》から
 50年 松下電工汐留ミュージアム
 /日本建築学会建築博物館ギャラリ
 ー他
 清家清先生を思う 林 昌二
 昇華される和の輝
 きをいまだ放つ 野沢 正光
 清家清の住宅
 つくりながら考え
 る 自邸に象徴さ
 れる清家清の建築
 観 藤岡 洋保
 父清家清の愛用品 八木 ゆり
 明代絵画と雪舟 根津美術館
 雪舟と明代絵画— 島尾 新
 亀裂と同調—
 成化画壇と雪舟 板倉 聖哲
 潑墨花卉図の誕生
 —徐渭と明後期の
 浙江文人画壇— 西上 実

芹沢銈介展 生誕110年 松坂屋美術館他

「父・芹沢銈介を語る」芹沢長介氏インタビュー 芹沢 長介 濱田 淑子 聞き手

芹沢銈介について—少年時代から戦争直後まで— 白鳥誠一郎

戦前の民芸運動と芹沢銈介—柳宗悦との関係を中心に— 森谷 美保

芹沢と建築—大原美術館工芸館を中心に— 東 容子

芹沢工房が遺したもの 花田 美穂

石村コレクションによる仙厓展 福岡市美術館

石村コレクションについて 石村 善悟

仙厓の書画—聖と俗をこえて— 渡邊 雄二

曾我蕭白—無頼という愉悅— 京都国立博物館

無頼という愉悅—曾我蕭白への視座— 狩野 博幸

十河雅典の世界 茨城県つくば美術館

十河雅典の芸術—同時代を生きる絵画— 舟木 力英

染谷亜里可 三重県立美術館

引き足し掛け割り 虚数無理数 石崎 勝基

(タ行)

高島野十郎展 没後30年 福岡県立美術館他

高島野十郎—その新たな生に向けて— 西本 匡伸

高島野十郎の「空気が」 川崎 洸

働くものから見るものへ(高島野十郎論のために) 浅倉祐一郎

野十郎の衝撃 歌田 眞介

「孤」の妖しき業 菊畑茂久馬

NEW Spirits 福島 鴻崎正武・高橋克之・小林浩—物語をめぐって 福島県立美術館

高橋松亭(弘明) 版画の世界 大田区立郷土博物館

高橋松亭(弘明)、その生涯と画業 清水 久男

高山辰雄 素描と作品自選展 特別展シリーズI 日展会館

「高山辰雄—素描と作品自選展—」に寄せて 佐藤 直司

瀧口修造 夢の漂流物 世田谷美術館他

「瀧口修造 夢の漂流物」展に寄せて 酒井 忠康

瀧口修造と時代—「昭和の日本」という現実のなかで— 小沢 節子

窓辺の邂逅—瀧口修造とアンドレ・ブルトン— 谷 昌親

「絶対」探求者の非望—瀧口修造の詩的実験1927～1937—における言語意識 林 浩平

『近代芸術』—批評の契機としての— 林 道郎

瀧口修造と前衛美術—新しい芸術を育む場をめぐる態度とその変容— 藤井 亜紀

サイナジ—瀧口修造と実験工房— 永続する創造の絆 手塚美和子

物質の夢—瀧口修造と前衛写真— 高島 直之

瀧口修造と映画—P・C・L映画製作所から美術映画「北斎」へ— 矢野 進

瀧口修造と作曲家—音楽にみる夢のかたち— 小沼 純一

「この狂おしい美貌の青空」—瀧口修造と土方巽— 國吉 和子

デザインへのまなざし—美術という場所から— 稲塚 展子

瀧口修造とコラボレーション—ジョアン・ミロ、マルセル・デュシャンと— 野田 尚稔

ある疑問符—瀧口修造の「造形的実験」— 光田 由里

透明な部屋—瀧口修造の「オブジェの店」を開く構想の余白に— 土淵 信彦

慶応義塾大学アート・センター—瀧口修造アーカイヴから— 笠井 裕之

西落合の書斎からの漂着物—多摩美術大学図書館・瀧口修造文庫— 恩蔵 昇

謎を残したままの、夢の漂流物—富山県立近代美術館の瀧口修造コレクション— 杉野 秀樹

瀧口修造という場—その存在が意味するところ— 杉山 悦子

近代建築の好奇心 武田五一の軌跡 文京ふるさと歴史館

武田五一とアール・ヌーヴォー—転換期の建築課題について— 足立 裕司

谷岡ヤスジ—ニッポンの〈アサー!〉と丸い地平線—展 三鷹市美術ギャラリー

「絵」のチカラ—谷岡ヤスジと日本美術— 山下 裕二

天才が天才になるまで 細萱 敦

谷岡ヤスジはやってくれました 赤田 祐一

The STORY of ヤスジ—ド忠犬ハジ公誕生秘話— 角南 攻

先生はミーハーのためのアーティストだった! 石井志津男

マンガ家・谷岡ヤスジの横顔—谷岡ヤスジ夫人 谷岡まち子さんに聞く— 谷岡まち子 話し手 富田 智子 聞き手

索々として田村一男染みわたる 松本市美術館

我流の土壤に咲いた「ひとり」王道の風景 米倉 守

追想 田村一男先生 庄司 栄吉

田村一男と信州の自然—膨大な作品群は松本市へ— 伊藤 正大

過ぎし日の田村一男先生 金山 桂子

父の背中 中村由紀子
高原と人—静かな堆積 澁田見 彰
日の果て 細萱 禮子
近代の能画家 月岡耕漁 城西国際
大学水田美術館

月岡耕漁の画集
《能楽図絵》と《能
楽百番》を中心に
渡辺華山・椿椿山が描く人物画
19世紀の迫真に会おう 田原市博
物館

椿椿山筆渡辺華山
像をめぐる一泉
石・華山・椿山—
日比野秀男
華山の肖像画と椿
山 鈴木 利昌
いわゆる「椿山的」
なもの 増山 禎之

堂本尚郎展 Hisao DOMOTO Ret-
rospective 京都国立近代美術館他
堂本尚郎の日本画 内山 武夫
ひとつの選択—堂
本尚郎展に寄せて 酒井 忠康
世界に飛翔する日
本的感性 高階 秀爾
堂本尚郎 移動と
断絶 尾崎信一郎

徳丸滋の世界 神田日勝記念館
徳丸滋とニセコ山 吉田 豪介
麓の四季

鉄斎—仙境への道— 開館30周年
記念「富岡鉄斎」 鉄斎美術館
\$ 概説 \$ 村越 英明
鉄斎の粉本—人物画を中心に— 鉄
斎美術館

\$ 概説 \$ 奥田 素子
鉄斎—印癖を娛しむ03—開館30周
年記念 鉄斎美術館
鉄斎の印癖を娛し
む「落款印」 奥田 素子

十勝の新時代VIII 富谷智展 北海
道立帯広美術館
充ちている「かた
ち」、あるいは空
間 石尾乃里子

(ナ行)

天童が生んだ工芸家 佐藤豊樵 中
川哲哉 天童市美術館

職人芸から伝統工
芸へ—手工業の近
代化のなかで— 中
川哲哉の場合 池田 良平

中川久 藤田修 刻印された光と記
憶 横須賀市文化会館市民ギャラリ
ー

絵画が刻む時間 三上 豊
絵画／偏在の強度 中川 久
中川久の絵画 工藤 香澄
花人中川幸夫の写真・ガラス・書—
いのちのかたち 宮城県美術館他

君はどこまで歩いて
行くらん 早坂 暁
中川幸夫の「天地
創造」 森山 明子
なぜ中川幸夫なの
か 三上 満良
花をいける 中川
幸夫 安藤 輝美

中村直人展 最後のエコール・ド・
パリ 生誕100年記念 小杉放菴記
念日光美術館

中村直人について 田中 正史
中村直人—苦境の
時代、彫刻で生き
るには— 千田 敬一

那須勝哉日本画展 武蔵野美術大学
教授退任記念 武蔵野美術大学美術
資料図書館

喪失した〈風景〉の
記憶と回復—那須
勝哉の時代と仕事 高島 直之

西雅秋展 空と大地と記憶の造形
神奈川県立近代美術館(葉山)

空と大地と記憶の
造形 山梨 俊夫
〈現代畸人伝〉のう
ち西雅秋の巻—こ
の男は、鉄の仙人
か、時代の証言者
か 橋 秀文

今日の作家X 西村盛雄・松本陽子
展 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

あいさつ—甘露の
雨にふれて 山梨 俊夫
西村盛雄—在るも
のうちに在らぬ
もの フリードヘ
ルム・メン
ネクス
時の器 長門 佐季
実のなる木 西村 盛雄

耳鳥斎！～近世大坂の戯画～笑いの
奇才 伊丹市立美術館

耳鳥斎の滑稽と虚
無—近世大坂の戯
画 中谷 伸生
鬼を描く—その眼
差しの先にあるも
の 藤巻 和恵
耳鳥斎の版本作品
について 肥田 皓三

イサム・ノグチ展—ゼロからほとば
しるエナジー—札幌芸術の森美術館
開館15周年記念 札幌芸術の森美
術館

イサム・ノグチ頌 酒井 忠康
活かされる道 和泉 正敏
モエレ沼公園に託
したイサム・ノグ
チのメッセージ 八代 克彦

野口小蘗と近代南画—明治の宮廷画
家— 山梨県立美術館

文明論としての南
画と野口小蘗の歴
史的位置 佐藤 道信

野口小蘗試論 平林 彰

野地正記—迷宮という秩序— 福島
県立美術館

野地正記 未完の
誘惑 堀 宜雄
【資料紹介】野地正
記 抑留手記 野地 正記
野地 友子
判読

(ハ行)

mini-max 定兼恵子 佐藤勲 バ
ク・ホンチョン 資生堂ギャラリー
渡辺豪×橋爪彩展 シークレットガ
ールズ up and down ASK? art
space kimura

橋爪彩 Peak Ex-
perience 岡部あおみ
橋本由雄 作陶展 東邦画廊

\$ 作家の言葉 \$ 橋本 由雄
ゲオルク・バゼリッツ展—絵画の凱
歌— 栃木県立美術館

「反—対象」絵画に
ついて ゲッツ・ア
ドリアーニ
絵画レッスン2
絵画におけるゴペ
ルニクスの転回—
ゲオルク・バゼリ
ッツを例として 山本 和弘

ヨーゼフ・ボイス の(ウィークエンド) (副題: ヨーゼフ・ボイスと『純粋理性批判』)	〃	“少年”のゆくえー 弘田一成のために	天野 一夫	人形作家堀柳女の 生まれた時代	本橋 浩介
シュテファン・バルケンホール: 木の彫刻とレリーフ 国立国際美術館 他		レオノール・フィニ展 ザ・ミュージアム他	Bunkamura	堀柳女作品 その 技と、人の形に 込めた思い	坪井 則子
シュテファン・バルケンホールと日本	中西 博之	闇夜の女王、レオ ノール・フィニ	ミシェル・ ニユリザニ	シグマー・ボルケ展 不思議の国の アリス 上野の森美術館他	
シュテファン・バルケンホールの同時代人	ディートマル・エルガー	装いと変身のゲー ムーレオノール・ フィニの描く女性 のイメージ	坂上 桂子	§ 作家の言葉 §	ジグマー・ ボルケ
シュテファン・バルケンホール: 普通であって普通でないこと	飯田志保子	深沢幸雄銅版画展 千葉市美術館		ジグマー・ボルケ	ペーターニ クラウド・ シュスター
シュテファン・バルケンホールの多元宇宙	グードルン・インボーデン	深沢幸雄の国松画 廊・サトウ画廊時 代	浅野 秀剛	不確実性の考古学 ージグマー・ボル ケ	林 道郎
東山魁夷の世界 創作の軌跡と同時代人の人々 東山魁夷館開館15周年記念 長野県信濃美術館東山魁夷館		福井良之助孔版画展 佐倉市立美術館 他	佐倉市立美術 館他	ジグマー・ボルケ インタビュー	ジグマー・ ボルケ 談
開館十五周年を迎え 想い出すために	東山 すみ	回想	宮崎 進	(マ行)	
東山すみ夫人にきく ー素顔の東山魁夷	東山 すみ 松本 猛 聞き手	福井良之助の孔版 画の仕事	吉田 尊子	人間国宝 前史雄の世界 沈金が奏 でる旋律 ^{メロディー} 石川県輪島漆芸美術館	
東山魁夷ーその創作の軌跡と同時代人の人々	岸田 恵理	年譜	黒川 公二 編	前史雄芸術の世界	柳橋 眞
ピカソ版画展 青の時代から晩年まで 荒井記念美術館所蔵 北海道立帯広美術館		藤浩志展 違和感を飛び超える術! 21世紀の作家ー福岡6回 福岡市美術館		前史雄さんのこと	百々 俊雅
「版画から見たピカソの魅力」	小澤 資子	僕は違和感を越えることができるのか?	藤 浩志	私の師(先生)	鳥毛 清
日比野克彦の一人万博 HIBINO EXPO 2005 水戸芸術館現代美術ギャラリー		藤浩志の美(=違和感を飛び(超)える)術	山口 洋三	前史雄の沈金	細川 英邦
「一人の理由」	日比野克彦	藤城凡子 ラブレター 愛知県美術館		前川國男 建築展 生誕100年 東京ステーションギャラリー他	
「日比野克彦の一人万博」	森 司	藤城凡子と私たちの宇宙	深山 孝彰	建築家・前川國男の生涯	鬼頭 梓
平沢淑子 オマージュ瀧口修造展 27回 フジテレビギャラリー		中川久 藤田修 刻印された光と記憶 横須賀市文化会館市民ギャラリー		前川國男と日本近代建築	山口 廣
瀧口修造の「速達便」ー平沢淑子展のために	巖谷 國士	藤田修の作品ー物質化された闇	近藤 幸夫	近代建築に生命を吹き込むー前川國男の求めたもの	松隈 洋
深層としての海、そして山ー平沢淑子を誤解する権利	鶴岡 善久	イメージの定着する瞬間	藤田 修	花咲くパリへー近代建築の倫理的的精神をめぐって	富永 譲
弘田一成展ーヴァーチャル・アニメズム・ペインティングー他者再訪 ギャラリーIK		藤田修のこと	石渡 尚	大学卒業までの軌跡	橋本 功
		藤原洋次郎と若人たち 現代郷土作家展 姫路市民ギャラリー		前川國男の思想的基盤ー「近代建築の騎手」と「中世主義者」	藤岡 洋保
		ハンカチアートから見えてくるもの	堀澤 光栄	ル・コルビュジェ・アトリエにおける同僚たちと担当作品について	山名 善之
		藤原洋次郎と若人たち	亀田 正司	前川國男とアントニン・レーモンド	三沢 浩
		堀柳女展 人形に心あり 没後20年 佐野美術館他		レーモンド時代の前川國男	〃
		堀柳女三話	柳橋 眞	前川國男と伝統	藤森 照信
				コンペ連続挑戦の意味	松隈 浩

在盤谷日本文化会館建築競技をめぐる	倉方 俊輔	私的光景(緑の絵画をめぐる)	松本 陽子	パウラ・モダーゾーン=ベッカーの擁護者たち—ベルンハルト・ヘトガーとルートヴィヒ・ロゼリウス	木村理恵子
木造モダニズムの模索	大川 三雄	水越松南展 没後20年 美術館	姫路市立	自然に抗する病める身体の兆し—パウラ・モダーゾーン=ベッカーの子ども像—	後藤 文子
前川国男と戦後近代建築	布野 修司	水越松南について	平瀬 礼太	年譜	西村 勇晴編
ブレモスの挑戦	内田 洋士	ホタルと鎮魂 三橋国民 絵画・彫刻展 ギャラリー東松山		主要参考文献	水沢 勉、三本松倫代編
紀伊國屋書店の意味するもの	花田 佳明	§ 作家の言葉 §	三橋 国民	パウラ・モダーゾーン=ベッカーとヴォルプスヴェーデの画家たち—素描と版画1895—1906—	伊丹市立美術館
前川國男と風土	平良 敬一	緑川洋一とゆかりの写真家たち 1938—59 岡山県立美術館		序文	ヴルフ・ヘルツォーゲンラート
前川國男と時間	内藤 廣	緑川洋一 風景写真家への道	廣瀬 就久	ヴォルプスヴェーデ、ドイツの芸術家村	カタリーナ・エーリング
前川國男とテクニカル・アプローチ	松隈 洋	近代陶芸の精華 宮之原謙 千葉県立美術館		芸術家たちとその仕事	〃
前川國男と集合住宅	井出 建	宮之原謙の表現と技法	金田 雅成	最上壽之展 武蔵野美術大学教授退任記念 コドモ ドコマデモ コドモ 武蔵野美術大学美術資料図書館	
前川國男の前衛性	鈴木 博之	宮之原謙の陶芸指導	石崎千津子	話す彫刻	中原 佑介
近代建築をこえる試み	松隈 洋	新潟陶苑と宮之原謙	前川 公秀	「コドモ ドコマデモ コドモ」オキテミルユメの自問自答	最上 壽之
前川國男と都市	野沢 正光	村上華岳展 京都国立近代美術館他		奎田たけを展—油彩・パステル・水彩・コラージュ—	東邦画廊
東京海上ビルと都市への提案	橋本 功	村上華岳の生涯	島田 康寛	奎田たけを／ここに追憶の詩学あり	末永 照和
前川國男と技術—關将が、なぜ守勢へ	林 昌二	北に澄む—村上善男展 川崎市岡本太郎美術館他		元永定正 いろながれ かたちうごいて おどりだす	長野県信濃美術館
風景のなかに「くつろぎ」とともに連結されてゆく空間—後期作品の意味するもの	富永 譲	村上善男について	西野 嘉章	展覧会という作品	松本 猛
前川國男と現在	横 文彦	闘い続ける美術家—村上善男	平澤 廣	元永定正—いろながれ かたちうごいて おどりだす—	木内真由美
前川國男の最晩年の思考	中田 準一	村上善男と岡本太郎 1950—60年代の前衛美術	佐藤 玲子	森岡純展 さまざまな眼145	かわさきIBM市民文化ギャラリー
前川貫一・國男父子と新潟	松沢 寿重	馬場彬と「サトウ画廊」の画家たち	村上 善男	世界と人間を仲介する画像—見馴れた物質と意識の残像について	高島 直之
母・田中菊枝と弘前のつながり	古跡 昭彦	パウラ・モダーゾーン=ベッカー時代に先駆けた女性画家 宮城県美術館他			
人間国宝 松井康成の全貌 開館5周年記念展覧会 茨城県陶芸美術館他		プレーメンの3つのコレクションに見るパウラ・モダーゾーン=ベッカー	ヴォルフガング・ベルナー		
練上の求道者 松井康成	乾 由明	パウラ・モダーゾーン=ベッカーとの出会い—ひとつの歴史的な視点から	水沢 勉		
[記念座談会]松井康成—20世紀後半を駆け抜けた陶芸家	松井 康陽 松井 秀子 石井 良空 外館 和子	パウラ・モダーゾーン=ベッカーにおける浮世絵の触発と統合	佐藤 洋子		
今日の作家X 西村盛雄・松本陽子展 神奈川県立近代美術館(鎌倉)		パウラ・モダーゾーン=ベッカーとパリ	西村 勇晴		
絵画の場所について—松本陽子の多重の空間	山梨 俊夫				
新作(緑の絵画)から遡行して—松本陽子の絵画にみる独自性	是枝 開				

ギュスターヴ・モロー展 フランス
国立ギュスターヴ・モロー美術館所
蔵 開館6周年記念展 島根県立
美術館他

ギュスターヴ・モ ロー 画家の暮ら し	マリ＝セシ ール・フォ レ
当時の美術批評か ら見たサロンにお けるギュスターヴ ・モロー	ルイサ・カ ポディエチ
サロメと《出現》に ついての幻想	木島 俊介

(ヤ行)

安井曾太郎展 没後50年 宮城県
美術館他

画家安井曾太郎が 遺したもの一没後 50年の思い出を中 心に	富山 秀男
安井曾太郎の「実 写図」について	有川 幾夫
安井曾太郎の技法 の魅力(断片)	田中 善明
滞欧期、安井曾太 郎の洋画撰取	井野 功一

よみがえる明治絵画 修復された矢
田一嘯「蒙古襲来図」 福岡県立美
術館

伝える「蒙古襲 来図」を護り続 けて	佐野 前延
福岡県立美術館 矢田一嘯 彼が画 人としてあること について	西本 匡伸

やなぎみわ[マダム・コメット]大原
美術館・有隣荘 大原美術館

[対談] 箒星を語る やなぎみわ
高階 秀爾

柳幸典展 イカロス・プロジェクト
飛翔の夢一国境を越えて 21世紀
の作家一福岡7回 福岡市美術館

アーティスト・メ ッセージ	柳 幸典
柳幸典は、渡り鳥 である。	柴田 勝則
オーニソプター	柳 幸典

ヤノベケンジーキンダガルテンー
豊田市美術館

ヤノベケンジーそ の造形の謎	都筑 正敏
-------------------	-------

いのちを考える 山口啓介と中学生
たち 粒子と稜線 伊丹市立美術館
/旧岡田家住宅

「いのちを考える」 山口啓介と中学生 たち	島 敦彦
花のいのちー山口 啓介に	新見 隆
絵を見ることー 1、いのちを考え ることー2、粒子 と稜線ー3	山口 啓介

山口進と川上澄生 創作版画の流れ
のなかで 川上澄生生誕110周年
鹿沼市立川上澄生美術館

山田正亮の絵画 〈静物〉から〈Work
…そして〈Color〉へ 府中市美術館

作品と作品のあい だ	山田 正亮
回帰する絵画	本江 邦夫
「静物画」からの出 発ー山田正亮の初 期作品について	神山 亮子
〈Work〉について ー1956年から1963 年まで	山村 仁志

山本昇雲展 浮世美人と懐かしき日
本の情景 高知県立美術館

山本昇雲 人と作 品	後藤 雅子
私の山本昇雲蒐集 記	恵 俊彦
昇雲の美人画	鍵岡 正謹
「光と鬼」横須賀功光の写真魔術	

東京都写真美術館

横須賀功光の写真 魔術「光と鬼」につ いて	松岡 正剛
-----------------------------	-------

横山大観と近代日本画の巨匠たち
足立美術館名品選 茨城県天心記念
五浦美術館

「横山大観と近代 日本画の巨匠た ち」への誘いー日 本美術院を中心に ー	稲葉 睦子
足立美術館・日本 画コレクションの 紹介一本展出品作 家のうち京都画壇 を中心にー	植野 康朋

吉原治良展 生誕100年記念 ATC
ミュージアム他

吉原治良ー物質を 切り裂く線の軌 跡、あるいは一本 の道ー	熊田 司
--	------

吉原治良ーマティ エール・平面化・ 円・美術史	拝戸 雅彦
-------------------------------	-------

吉原治良研究のこ れまでとこれから	大谷 省吾
----------------------	-------

作品《風景》と1935 年頃の吉原治良	和田 浩一
------------------------	-------

〔文献目録・出品 展覧会記録〕	大谷 省吾 編
--------------------	------------

Isao YOSHIMURA La Mémoire [吉
村勲] 京都文化博物館

吉村勲先生作品展 について	伊庭新太郎
------------------	-------

吉村弘の世界 音のかたち、かたち
の音 神奈川県立近代美術館(葉山)
他

距離についてー 「吉村弘」を満たす もの	水沢 勉
----------------------------	------

オマーージュ	マリス・カ ンディンス
--------	----------------

自然体のアヴァン ギャルド	星野 共
------------------	------

環境音楽から環境 音へ	塩川 博義
----------------	-------

吉村芳生展 ギャラリー川船

日常を刻む込む 花々たち	菊屋 吉生
-----------------	-------

吉本作次展 三重県立美術館

失楽園と復楽園と のあいまに	石崎 勝基
-------------------	-------

Art Sprit / くしろの造形4 米坂ヒ
デノリ展 釧路市立美術館開館5
周年記念 釧路市立美術館

米坂さんの「かた ち」ーその想と技 ー	倉田 公裕
---------------------------	-------

祈りのかたちー漂 泊の道程	瀬戸 厚志
------------------	-------

米谷雄平展 北海道立近代美術館

跛行から浮遊へー 米谷雄平・解脱へ の絵画	佐藤 友哉
-----------------------------	-------

米谷雄平の原感覚 と原風景 東洋哲 学の宇宙像と生命 活動の驚異	吉田 豪介
---	-------

米谷雄平・自作を 語る	米谷 雄平 鈴木 正實
----------------	----------------

(ラ行)

楽吉左衛門 一九九九年秋—二〇〇五年春 創作 菊池寛実記念智美術館

楽吉左衛門—創作の軌跡— 林屋 晴三
 叢芒独言 楽吉左衛門
 創造に関する三つの断章 花里 麻理

ジョルジュ・ド・ラ・トゥール展 国立西洋美術館

緒言 ジャック・デュリエ
 闇からの声—日本における初の「ラ・トゥール展」を巡って 高橋 明也
 ジョルジュ・ド・ラ・トゥール—90歳の若い画家(90年前に出現した17世紀の画家) ジャン＝ピエール・キユザン 望月 典子 訳
 2005年のラ・トゥール—10の問い ジャン＝ピエール・キユザン 大野 芳材 訳
 ロレーヌのラ・トゥール—画家を育んだ世界 大野 芳材
 ジョルジュ・ド・ラ・トゥール：その生涯の略伝 ディミトリ・サルモン 平泉 千枝 訳
 ラ・トゥールに基づいて ディミトリ・サルモン 石川 恭子 訳
 記憶の場としての絵画—ジョルジュ・ド・ラ・トゥールの作品の科学的調査 エリザベト・マルタン 太田 みき 訳

李禹煥 余白の芸術 横浜美術館

交通 李 禹煥
 余白の芸術 ”
 始まりの絵画—李禹煥の絵画について 柏木 智雄
 ものの広がり—李禹煥の彫刻について 倉石 信乃
 年譜 崔 玉憬

李允碩展 メタル・アート・ミュージアム光の谷

宇宙から自我へ—李允碩の創造のプロセス 崔 乗勳

ゲルハルト・リヒター展 金沢21世紀美術館他

リヒター芸術の多面的展開 林 寿美
 ゲルハルト・リヒターの絵画 アルミン・ツヴァイテ
 デュシャンの網膜化 カラーチャート 清水 穰
 灰色の絵画 林 道郎
 ミラー、蠟燭、髑髏 清水 穰
 フォト・ペインティング 《モーターボート》など 菅原 教夫

残像の回帰 18. Oktober 1977 林 道郎

団栗と写真 ゲルハルト・リヒターおよび「像」について 畠山 直哉

ゲルハルト・リヒター、風景 ディートマー・エルガー

アトラス 雄弁なる写真群 大橋 浩美

8枚のグレイ ミラー、ガラス 北出智恵子

鏡、ガラスから「窓」へ 林 寿美

良寛遺墨展—御三家を中心に— 重要文化財指定25年県指定文化財51年記念 新潟県立近代美術館

良寛の書の魅力、また文化財として 松矢 国憲

ルオーと音楽 悪の華 回想録 松下電工汐留ミュージアム

苦悩こそは唯一の高貴なもの—ルオーとボードレール 気谷 誠

ルオーと白樺派 近代日本のルオー受容 松下電工汐留ミュージアム

対談 ルオーと白樺派 柳 宗玄 吉井 長三

日本の近代美術と西洋 千足 伸行

近代日本のルオー受容のための予備的考察—1930年代を中心に— 後藤 新治

画家たちのルオー受容 丸橋 茂幸

《ルオーと日本》・証言アンソロジー 山田 俊幸 編

ルオー展 出光コレクションによる 東京都現代美術館他

出光佐三とルオー・コレクション 八波 浩一

ジョルジュ・ルオー、終わらない主題をめぐる覚書 ファブリス・ヘルゴット 関 直子 訳

ルオーの絵画作品 安井 裕雄

連作油彩画「受難」 ”

ルオーの本／版画連作 藪前 知子

ミセレーレ ”

ROR(レボリューションズ・オン・リクエスト) MAM PROJECT 003

森アーツセンターギャラリー RORな生き方—ROR FOREVER 片岡 真実

(ワ行)

若林奮版画展 デッサンと彫刻のあいだ 世田谷美術館

若林奮版画展に寄せて—発想の周辺 酒井 忠康

若林奮の版画—焼きなまし銅板をめぐる 石井 幸彦

和田義彦展 ドラマとポエジーの画家 三重県立美術館他

和田義彦の絵 加藤 貞雄

ドラマとポエジーの世界 毛利伊知郎

作家の言葉 和田 義彦

和田義彦の芸術—主題とモチーフ 舟木 力英

渡辺華山・椿椿山が描く人物画 19世紀の迫真に出会う 田原市博物館

渡辺剛「TRANSPLANT」 資生堂ギャラリー

渡辺剛の仕事—部分という幻想— 福岡 伸一

静かに語らかけてくるもの 森本 美穂

王舒野展 高島屋(日本橋)

王舒野の境地 池田 龍雄

王舒野個展・讀一 林 紀一郎
(即)心象風景一

団 体 展

从展31回 東京都美術館

从展・从会に 中村 正義

物 故 者

索 引 (50音順)

石 田 徹 也(美	5 月23日	31歳).....387	丹 下 健 三(建	3 月22日	91歳).....383
伊 藤 孝(彫	4 月25日	85歳)	中尊寺 ゆつこ(漫	1 月31日	42歳)
岩 上 青 稜(日	7 月30日	89歳)	長 新 太(その他	6 月25日	77歳)
岩 本 春 峰(書	7 月30日	85歳)	薦 谷 喜 一(その他	2 月24日	91歳).....383
上 野 泰 郎(日	8 月11日	79歳).....389	手 銭 正 道(デ	2 月15日	70歳)
内 田 昭 人(学	8 月16日	55歳).....389	東 野 芳 明(評	11月19日	75歳).....392
江 里 宗 平(彫	5 月16日	96歳)	徳 川 義 宣(美関	11月23日	71歳).....393
近 江 栄(学	1 月31日	79歳)	鳥 巢 水 子(工	12月29日	79歳)
大河内 菊 雄(評	6 月 9 日	75歳)	長 江 録 弥(彫	4 月 6 日	79歳)
岡 田 史 子(漫	4 月 3 日	55歳)	中 川 政 昭(写	7 月18日	61歳).....388
岡 部 冬 彦(漫	5 月16日	82歳)	永 島 慎 二(漫	6 月10日	67歳)
岡 本 敏 子(美関	4 月20日	79歳)	中 野 稔(美関	11月 2 日	82歳)
小 川 正 隆(評	10月 4 日	80歳)	中 村 敬 治(評	3 月24日	68歳).....385
貝 原 浩(その他	6 月30日	57歳)	中 村 淳(書	12月 7 日	84歳)
笠 松 宏 有(洋	7 月17日	67歳)	中 村 宗 哲(工	11月 5 日	73歳)
片 山 攝 三(写	3 月23日	91歳).....384	西 村 龍 介(洋	2 月21日	85歳).....382
加 藤 舜 陶(工	6 月24日	88歳).....388	濱 中 真 治(学	9 月18日	43歳).....390
加 藤 卓 男(工	1 月11日	87歳).....379	細 川 護 貞(美関	10月 3 日	93歳)
鹿 野 幸 子(彫	10月16日	72歳)	益 田 一(写	12月 8 日	84歳)
川 原 肇 子(デ	1 月21日	69歳)	松 重 美 人(写	1 月16日	92歳)
川 面 稜 一(日	1 月 9 日	91歳).....379	松 永 鶴 雲(書	4 月22日	73歳)
木 川 かえる(漫	3 月 4 日	81歳)	松 原 雪 邦(書	8 月31日	83歳)
来 野 月 乙(工	12月28日	81歳)	松 本 正 彦(漫	2 月14日	70歳)
黒 川 勉(デ	7 月24日	43歳)	水 谷 愛 子(日	3 月22日	80歳).....384
國 分 直 一(美関	1 月11日	96歳)	水 谷 勇 夫(美	6 月 5 日	83歳).....387
斎 藤 都世子(デ	11月13日	91歳)	三 谷 一 馬(日	6 月15日	93歳)
佐々木 侃 司(その他	1 月24日	72歳)	三 谷 敬 三(美関	12月18日	89歳).....396
佐 藤 昌 祐(洋	6 月30日	85歳)	皆 川 泰 蔵(工	4 月10日	87歳).....386
澤 野 文 臣(日	5 月15日	90歳)	三 宅 敏 之(美関	6 月 5 日	81歳)
直 原 玉 青(日	9 月30日	101歳)	村 井 和 夫(彫	3 月13日	67歳)
篠 崎 輝 夫(洋	10月29日	76歳)	村 上 三 島(書	11月20日	93歳).....392
志 水 晴 児(彫	1 月21日	76歳)	村 越 伸(美関	12月17日	83歳).....396
下 山 肇(学	9 月22日	59歳).....391	基 俊太郎(彫	6 月 2 日	81歳).....387
杉 浦 日向子(漫	7 月22日	46歳)	柳 生 不二雄(評	12月17日	80歳).....395
鈴 木 たくま(その他	4 月10日	86歳)	山 田 常 山(工	10月19日	81歳).....391
鈴 木 八 朗(デ	12月29日	68歳)	吉 岡 健二郎(学	2 月 2 日	78歳).....380
須 田 寿(洋	1 月24日	98歳).....380	吉 岡 専 造(写	5 月 2 日	88歳)
清 家 清(建	4 月 8 日	86歳).....385	吉 澤 章(その他	3 月14日	94歳)
関 口 正 男(日	8 月28日	92歳).....390	淀 井 敏 夫(彫	2 月14日	93歳).....381
高 井 寛 二(洋	6 月24日	83歳)	米 陀 寛(日	8 月28日	88歳).....390
武 基 雄(建	10月 8 日	95歳)	脇 田 和(洋	11月27日	97歳).....393
田 中 敦 子(美	12月 3 日	73歳).....395			
田 中 穰(評	4 月25日	80歳).....386			

凡例：

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成17年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ()内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。

3. 職種は、下記のように略記した。

日：日本画家、洋：洋画家、版：版画家、彫：彫刻家、工：工芸家、デ：デザイナー、映C：映像・CG作家、漫：漫画家、書：書家、写：写真家、建：建築家、学：研究者、評：美術評論家、美関：美術関係者、その他：絵本作家・イラストレーター等、美：美術家(前記の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)

4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。

5. 各記事末尾の〈 〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

稲葉一稲葉 信子 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター

今井一今井 陽子 東京国立近代美術館工芸館

唐澤一唐澤 昌宏 東京国立近代美術館工芸館

北村一北村 仁美 東京国立近代美術館工芸館

皿井一皿井 舞 東京文化財研究所企画情報部

塩谷一塩谷 純 東京文化財研究所企画情報部

島 一島 敦彦 国立国際美術館

菅沼一菅沼万里絵 東京文化財研究所企画情報部

田中一田中 淳 東京文化財研究所企画情報部

増田一増田 玲 東京国立近代美術館

松本一松本 透 東京国立近代美術館

森井一森井 順之 東京文化財研究所保存修復科学センター

山梨一山梨絵美子 東京文化財研究所企画情報部

綿田一綿田 稔 東京文化財研究所企画情報部

「物故者」 ページ (379～396 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.379-396)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印 刷 平成20年 3 月 1 日

発 行 平成20年 3 月19日

---

日 本 美 術 年 鑑 ©

——平成 18 年 版——

編集者 東京文化財研究所企画情報部

発行者 独立行政法人国立文化財機構  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園 13-43  
電 話 (03) 3823-2241

製 作 中央公論美術出版  
東京都中央区京橋 2-8-7  
電 話 (03) 3561-5993

~~~~~  
出版助成：東京美術商協同組合寄附金